福岡市埋蔵文化財調査報告書第 1276 集

九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

# Motooka Kuwabara
# 元岡・桑原遺跡群 25

## —第 42 次調査の報告（４）—

２０１５

福岡市教育委員会

福岡市埋蔵文化財調査報告書第 1276 集

九州大学統合移転用地内埋蔵文化財調査報告書

Motooka Kuwabara

# 元岡・桑原遺跡群 25

－第 42 次調査の報告（４）－

調査番号 0451

２０１５

福岡市教育委員会

第 42 次・52 次調査区と伊都キャンパス （南より）

第 42 次調査Ⅱ区全景（東より）

土器群 106 検出状況 （西より）

107-1079

107-1141

107-1142

108-1149

107-1143

33-231

121-92

114-1255

120-78

38-268

31-208

76-742

34-240

第 42 次調査区出土の土器・土製品

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29-1

29-2

29-3

30

31

32

77

第 42 次調査Ⅱ区出土の玉類

# 序

九州大学は、福岡市箱崎地区・六本松地区・筑紫地区のキャンパスを統合移転し、福岡市西区元岡・同桑原・糸島市にまたがる新キャンパスを建設する事業を進めています。移転は平成 17 年度から始まり，現在は平成 31 年度までの第Ⅲステージにはいっています。

福岡市は九州大学統合移転事業の円滑な促進のための協力を行うとともに、多角連携型都市構造の形成に向けて、箱崎・六本松地区の移転跡地や西部地域のまちづくりなど、長期的・広域的な視点から対応を行っております。 統合移転用地内における埋蔵文化財の事前発掘調査もこの一環として平成７年度から当教育委員会が取り組んでおり、当初は土地の先行取得を行った福岡市土地開発公社の委託をうけて発掘調査を行い、つづいて平成 14 年度からは九州大学の委託をうけて発掘調査を行ってまいりました。

本書で報告する元岡・桑原遺跡群第 42 次調査では、縄文時代から弥生・古墳時代にいたる集落跡や流路など､長期にわたる遺構･遺物が確認されました｡調査では、自然流路内から、弥生時代から古墳時代初頭にかけての膨大な量の土器や、大陸との交流を示す資料が出土し、地域の歴史を明らかにする貴重な発見となりました。

本書が文化財保護の理解の一助となり、学術研究の資料としても活用いただければ幸いです。

調査にご協力いただいた九州大学をはじめとする関係機関ならび各位に厚くお礼を申し上げます。

平成 27 年 3 月 25 日

福岡市教育委員会

教育長　酒井　龍彦

# 例　言

1．本書は福岡市が九州大学統合移転に伴い、西区大字元岡地内で平成 16 ～ 21 年度に発掘調査を実施した元岡・桑原遺跡群第 42 次調査の報告書である。
2．発掘調査および整理報告書作成は、受託事業として実施した。
3．実測図作成および写真撮影の実施者は、以下のとおりである。

| | 第 42 次調査（Ⅱ区） |
|---|---|
| 遺構実測図作成 | 米倉秀紀、木下博文、常松幹雄、吉留秀敏 |
| 遺構写真撮影 | 米倉、常松、木下 |
| 遺物実測図作成 | 常松、林田憲三、山崎賀代子、髙橋幸作、森本幹彦、山口譲治、山口朱美 |
| 遺物写真撮影 | 常松、田上勇一郎 |
| 製図 | 山崎、常松、柴田志乃、山口譲治、山口朱美 |

4．本書に使用した空中写真撮影は、福岡市土地開発公社が制作委託し、その成果を使用した。
5．本文に掲載した公共座標は世界測地系である。
6．本文中に掲載した方位は、すべて磁北を示す。
7．本文中に使用した遺構略号とその性格は、以下のとおりである。
　SD：溝　SK：土坑　P：ピット（柱穴）　SX：その他の遺構
8．本書に関わる記録・遺物等の資料は、福岡市埋蔵文化財センターに保管される予定である。
9．調査・整理・報告書作成にあたり、文化財部内諸氏の協力を賜った。
10．執筆は常松が担当した。
11．本書の編集は、米倉との協議のもと、常松が行った。

| 遺跡名 | 元岡・桑原遺跡群 | 調査次数 | 42 次 | 調査略号 | MOT- 42 |
|---|---|---|---|---|---|
| 調査番号 | 0451 | 分布地図図幅名 | 140　元岡 | 遺跡登録番号 | 2782 |
| 調査地 | 福岡市西区大字元岡地内 | | | 調査面積 | 4,800 ㎡ |
| 調査期間 | 平成 16（ 2004 ）年 10 月 1 日～平成 21（ 2009 ）年 6 月 30 日 | | | | |

# 目　　次

元岡・桑原遺跡群第 42 次調査の報告（４）―Ⅱ区出土の土器・土製品・石器・石製品―
Ⅰ　第 42 次調査の記録 …… 2
　1　第 42 次調査区 …… 2
　2　本書の構成 …… 2
　3　調査の組織 …… 3
　4　調査区の概要 …… 3
　5　ＳＤ０２の土層 …… 6
　6　遺物の出土状況 …… 9
　7　126 号住居跡（SC126）……12
　8　土器群出土の土器 ……15
　　甕棺墓 ……32
　9　包含層出土の土器について ……139
　10　遺構・包含層出土の土製品 ……152
　11　動物形土製品 ……158
　12　遺構出土の石器 ……160
　13　包含層出土の石器 ……170
　14　玉類 ……181
　15　縄文時代の遺物 ……184
　16　剥片石器 ……185
Ⅱ　結　語 ……189

巻頭図版
巻頭図版 1　　調査区と伊都キャンパス・第 42 次調査 Ⅱ区全景・土器群 106 検出状況
巻頭図版 2　　第 42 次調査Ⅱ区出土の土器・土製品
巻頭図版 3　　第 42 次調査Ⅱ区出土の玉類

挿図
第 1 図　　元岡・桑原遺跡群　第 42 次・52 次調査区主要遺構配置図…… 4
第 2 図　　元岡・桑原遺跡群　第 42 次グリッド配置図 …… 5
第 3 図　　元岡・桑原遺跡群　第 42 次・52 次調査区　SD02 土層断面図 …… 6
第 4 図　　元岡・桑原遺跡群　第 42 次・52 次調査区遺構配置図 ……折込 1
第 5 ～ 9 図　元岡・桑原遺跡群　第 42 次　土器群遺物出土状況実測図 ……8・折込 2 ～ 4
第 10 図　　126 号住居跡（SC126）　全体図 ……12
第 11 図　　126 号住居跡（SC126）遺構実測図 ……13
第 12 図　　126 号住居跡（SC126）出土土器実測図 ……14
第 13 ～ 15 図　土器群 101 出土土器実測図 （１）～（３）……16 ～ 18
第 16・17 図　土器群 102 出土土器実測図 （１・２） ……20・21
第 18 ～ 25 図　土器群 103 出土土器実測図 （１）～（８）……23 ～ 30
第 26 図　　土器群 103 内検出の K-01・02 号甕棺墓出土状況……32
第 27 図　　土器群 103 内検出の K-01・02 号甕棺・管玉実測図 ……33
第 28 ～ 32 図　土器群 104 出土土器実測図 （１）～（５）……35 ～ 39
第 33・34 図　土器群 105 出土土器実測図 （１・２）……41・42
第 35 ～ 50 図　土器群 106 出土土器実測図 （１）～（16）……43 ～ 58
第 51・52 図　土器群 107 出土土器実測図 （１・２）……65・67
第 53 図　　土器群 108 出土土器実測図 ……68
第 54 図　　土器群 109 出土土器実測図 ……69
第 55 ～ 58 図　土器群 110 出土土器実測図 （１）～（４）……70 ～ 73
第 59 図　　土器群 111 出土土器実測図 ……75
第 60 ～ 74 図　土器群 112 出土土器実測図 （１）～（15）……76 ～ 90
第 75 ～ 81 図　土器群 113 出土土器実測図 （１）～（７） ……96 ～ 102

第 82・83 図　土器群 115 出土土器実測図 （1・2）……105・106
第 84 図　土器群 116 出土土器実測図 ……109
第 85 ～ 87 図　土器群 117 出土土器実測図 （1）～（3）……110 ～ 112
第 88 図　土器群 118 出土土器実測図 ……115
第 89 ～ 91 図　土器群 120 出土土器実測図 （1）～（3）……116 ～ 118
第 92 ～ 95 図　土器群 123 出土土器実測図 （1）～（4）……120 ～ 123
第 96・97 図　土器群 133 出土土器実測図 （1・2）……125・126
第 98・99 図　土器群 134 出土土器実測図 （1・2）……128・129
第 100・101 図　土器群 135 出土土器実測図 （1・2）……130・131
第 102 ～ 105 図　土器群 136 出土土器実測図 （1）～（4）……134 ～ 137
第 106 図　土器群 164 出土土器実測図 ……138
第 107 ～ 115 図　包含層出土土器実測図 （1）～（9）……140 ～ 151
第 116 ～ 120 図　遺構出土土製品実測図 （1）～（5）……152 ～ 156
第 121 図　動物形土製品実測図 ……158
第 122 ～ 131 図　遺構出土石器実測図 （1）～（10）……161 ～ 170
第 132 ～ 140 図　包含層出土石器実測図（1）～（9）……172 ～ 180
第 141・142 図　第 42 次調査Ⅱ区出土玉類実測図（1・2）……182・183
第 143 図　第 42 次調査Ⅱ区出土縄文土器実測図 ……184
第 144 ～ 146 図　第 42 次調査Ⅱ区出土剥片石器実測図 （1）～（3）……186 ～ 188
第 147 図　糸島における鉤状文のある土器 ……192
第 148 図　格子タタキのある器台 ……192

図版

図版 1　第 42 次調査区全景
図版 2　第 42 次調査区 SD-02
図版 3・4　126 号住居跡（SC126）
図版 5・6　土器群 103 土器出土状況
図版 6・7　土器群 103 出土甕棺墓検出状況
図版 8　第 42 次調査区 SD02
図版 9　土器群 104　土器出土状況
図版 10　土器群 106 全景・塩町式土器（38-268）出土状況
図版 11　土器群 106 イノシシ下顎出土状況
図版 12　土器群 113（Z-2）シカ角出土状況・土器群 112　土器出土状況
図版 13　土器群 112 下層　土器出土状況・SD-02 北西　土器出土状況
図版 14　土器群 112（W-5）石錘出土状況・土器群 105　線刻土器出土状況
図版 15　土器群 101・105・107・110
図版 16・17　土器群 103 出土土器
図版 18　K-01・02 号甕棺墓出土土器
図版 19　土器群 104 出土土器
図版 20 ～ 24　土器群 106 出土土器
図版 25 ～ 27　土器群 112 出土土器
図版 28　土器群 112(4)・120 出土土器
図版 29 ～ 32　土器群 113 出土土器
図版 33　土器群 123 出土土器
図版 34　土器群 134・135・136 出土土器
図版 35　土器群 107・164 出土土器
図版 36 ～ 37　包含層出土土器（1）～（2）
図版 38　調査区包含層出土土製品（1）～（4）
図版 39 ～ 42　調査区出土石錘
図版 43 ～ 46　調査区出土石器（1）～（4）

※表目次は省略

# 元岡・桑原遺跡群第 42 次調査の報告（4）

## —Ⅱ区出土の土器・土製品・石器・石製品—

# Ⅰ　第 42 次調査の記録

## 1 第 42 次調査区（第１・３図）

糸島地域は、福岡平野の西に位置する早良平野と山塊を隔てた一帯の呼称である。玄界灘に突出する糸島半島は､東西から湾入する入海をはさんで北の志摩郡と南の怡土郡とに分かれている。元岡･桑原遺跡群は、旧志摩郡の東部に展開する九州大学伊都キャンパス用地（約 280 ｈａ）がその主体をしめている。

第 42 次調査区は九州大学伊都キャンパスの南西部，福岡県道 85 号福岡志摩線に近接した糸島市との市境に位置している。第 42 次調査区と北に接する 52 次調査区はいずれもキャンパス内におかれる防災調整池が計画された箇所で、工事によって影響をうける埋蔵文化財について発掘調査を実施したものである。

調査区は不整台形を呈しており、南側から約 60 ｍの６区までを 42 次調査区、以北の拡張区を 52 次調査区と呼称している。42 次調査は、調査区を東西に分け東側をⅠ区、西側をⅡ区と呼称してきた。第３図の南北のグリット線を目安にするとＡ軸を境に東側がⅠ区、西側がⅡ区にあたる。

42 次調査は 2004 年 10 月に東半分の表土を除去して遺構検出に着手した。その結果谷筋を南北にはしる流路で多量の土器が出土したことから、西側にかけても調査区の拡張をおこなった。

Ⅱ区では、土器や石器類のほか「鞘尻金具」や「有文木製品（翳)」､「絵画のある琴」など木製品や金属器類に重要遺物が多くみられた（福岡市 2009 ）。これら要保存処理遺物は処理が滞ると資料の保全上支障をきたしかねない。調査時において随時報道発表をおこなってきたが、資料の保全をはかるとともに、展示や研究などに活用できるようつとめた。

## 2 本書の構成

第 42 次と北接する 52 次調査では、出土遺物は多量で小コンテナに換算すると１万箱を超す遺物が出土している。遺物の種類も多岐にわたるため、どのような括りで報告するかについて改めて担当者間で協議をおこなった。

まず 2012 年に刊行されたのが「元岡・桑原遺跡群 21 」で、42 次調査区Ⅰ区の流路 SD 01 南側で検出された土器類について報告した（福岡市 2012 ）。

つづいて「元岡・桑原遺跡群 23 」では 42 次調査区西半部（Ⅱ区）の流路 SD 02 で検出された木製品について事実報告を行った。さらに同書では金属器類については、資料の全体像を示す必要から、第 42 次Ⅰ・Ⅱ区と第 52 次調査区の資料を掲載した。これによって要保存処理遺物の全容は把握されると考えられる。

今年度は、42 次調査区東半部（Ⅰ区）の「元岡･桑原遺跡群 24 」と「元岡･桑原遺跡群 25 」（本書）の２冊を刊行する。「元岡・桑原遺跡群 24 」では 42 次調査区東半部（Ⅱ区）の流路 SD 02 で検出された土器（北側）と木製品について報告する。

本書「元岡･桑原遺跡群 25 」では調査区西半部（Ⅱ区）の流路 SD 02 にかかる遺構と土器･土製品、石器・石製品について事実報告を行うものである。

本書の構成は，流路内および周辺部の遺物出土状況を示し、前半部では土器群を構成する主だった器種について図示し、土製品、石器・石製品についても典型となる資料の図化につとめた。また後半部では包含層や流路内で検出された遺物についても特徴的な器種を選別して図示した。本書に掲載した出土遺物は、土器 1280 点、土製品 92 点、石器 267 点、玉類 77 点の計 1,716 点である。

調査区の全容が把握できるよう努めたつもりだが、土器には図化されていない資料も多い。出土遺物は、未図化の資料も含めて埋蔵文化財センターに収蔵される予定なので、展示をはじめ幅広い研究にご活用いただきたい。

【参考文献】

福岡市教育員会 2009「九州大学新キャンパス地内　元岡・桑原遺跡群発掘調査パンフレットⅡ」
福岡市教育員会 2012「元岡・桑原遺跡群 21 」『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第 1174 集
福岡市教育員会 2014「元岡・桑原遺跡群 23 」『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第 1246 集
福岡市教育員会 2015「元岡・桑原遺跡群 24 」『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第 1275 集

## 3 調査の組織

第 42 次調査の発掘調査時及び平成 23 年度までの組織については、「元岡・桑原遺跡群 21・23」において記した。本書では平成 24 年度から平成 26 年度までの整理体制について記す。

なお、文化財部は平成 24 年 4 月 1 日に教育委員会から経済観光文化局に移管された。

福岡市経済観光文化局文化財部埋蔵文化財調査課

| | |
|---|---|
| 課長 | 宮井善朗（平成 24･25 年度）→常松幹雄（平成 26 年度） |
| 調査第 2 係長 | 菅波正人（平成 24 年度）→榎本義嗣（平成 25･26 年度） |
| 第 42 次整理担当 | 米倉秀紀（Ⅰ区）・常松幹雄（Ⅱ区） |
| 庶務担当　埋蔵文化財審査課管理係 | 横田　忍・川村啓子 |

## 4 調査区の概要（第 1 図）

本章で報告する第 42 次調査区は、遺跡群の南西端にあたる北の丘陵部に杜をいだく標高 8 ～ 10 mの南斜面に立地する。この地は、東から湾入する今津湾の最奥部に南面し、入り海をはさんだ南には「イト」の拠点集落や中国鏡やガラス製品を厚葬墓が立地する三雲・井原遺跡群を望むことができる。

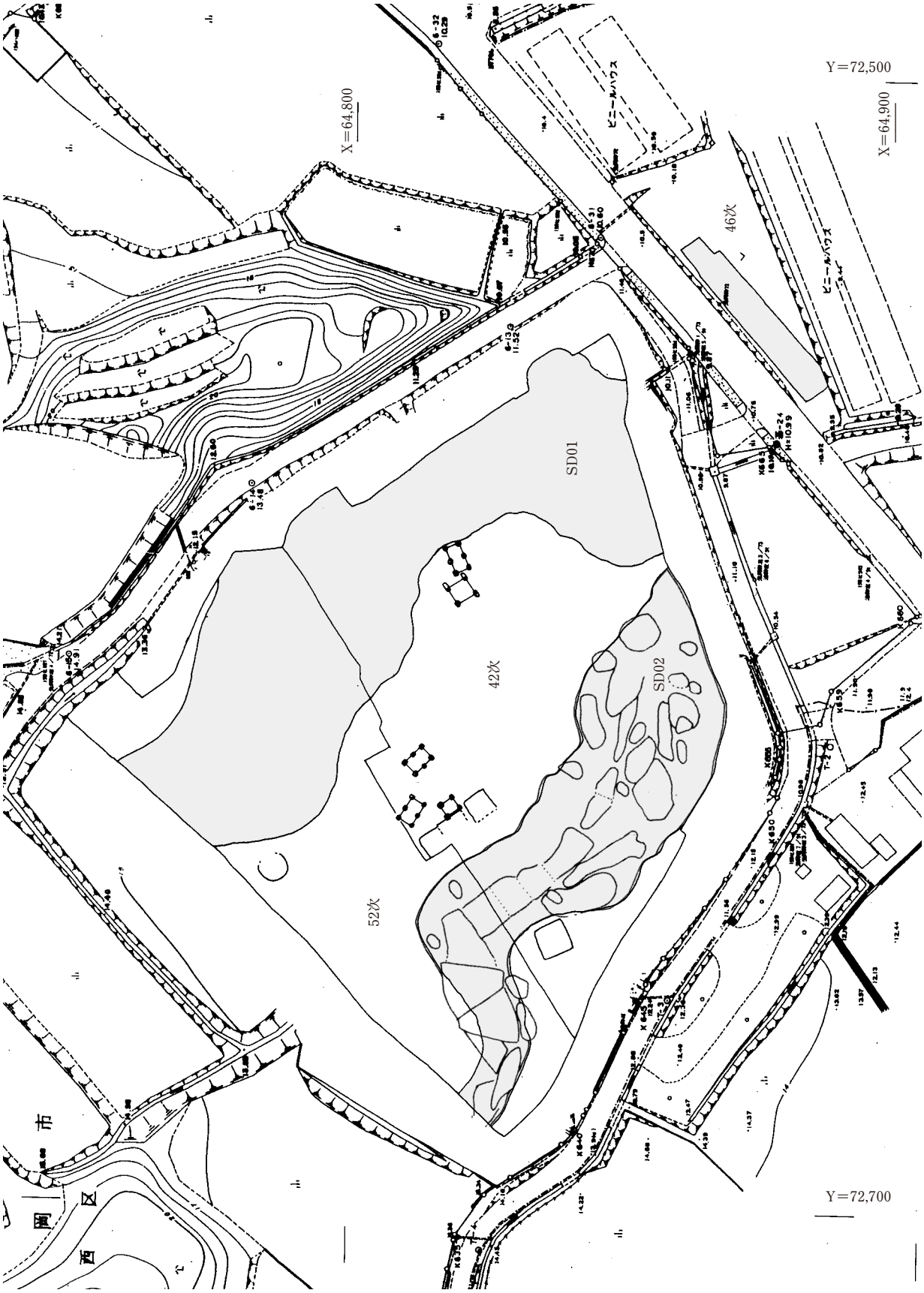
調査区の東西には斜面を開析する二つの流路（ＳＤ０１・ＳＤ０２）が貫流し、その間に掘立柱建物や竪穴住居跡が検出された。流路で検出された弥生中期後半から後期にかけての膨大な土器は、紀元前後から３世紀代にかけての営為を現在に伝えている。

出土品で注目されるのは、土器，木製品、金属器類のなかに九州や国内でも希少な資料が少なからず含まれていたことである。特徴的なものをあげると弥生中期後葉の山陰地方や中国山地などの外来系土器、朝鮮半島の後期無文土器や楽浪系土器、絵画を描いた琴の部材や祭祀儀礼に用いられた木製品、五銖銭や貨泉など漢代の貨幣、青銅製鞘尻金具、辰砂の粒子、イノシシの下顎骨の集積などがある。また半世紀以上にわたって形状が分からなかったヒョウタン形土器が完形に復元できたことも貴重な成果である（福岡市 2012）。

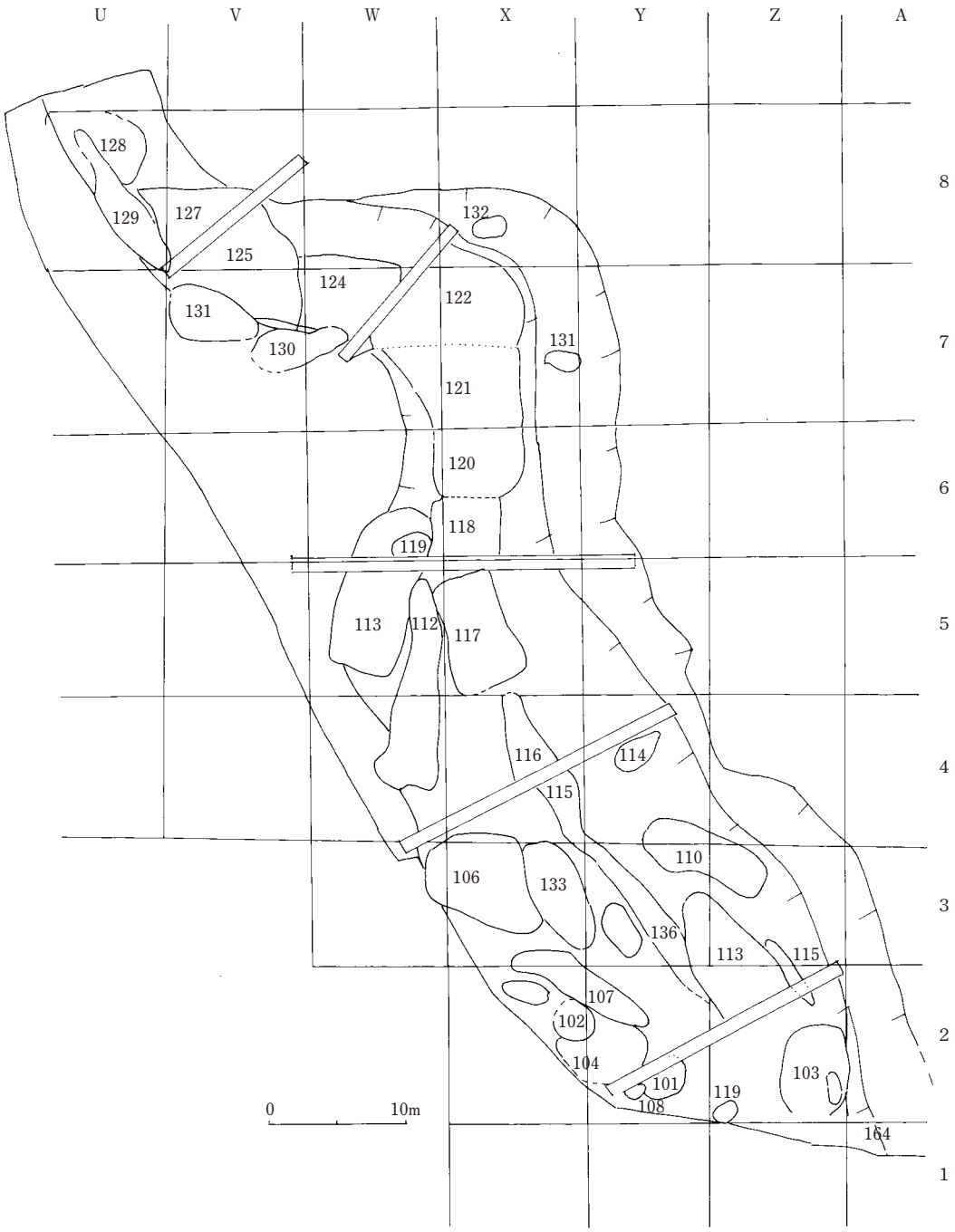
こうした遺物の集中は、弥生中期後半に祭祀遂行の場であったこの地が以後、対外交流の拠点としておよそ３世紀にわたって機能したことを物語っている。

【註】

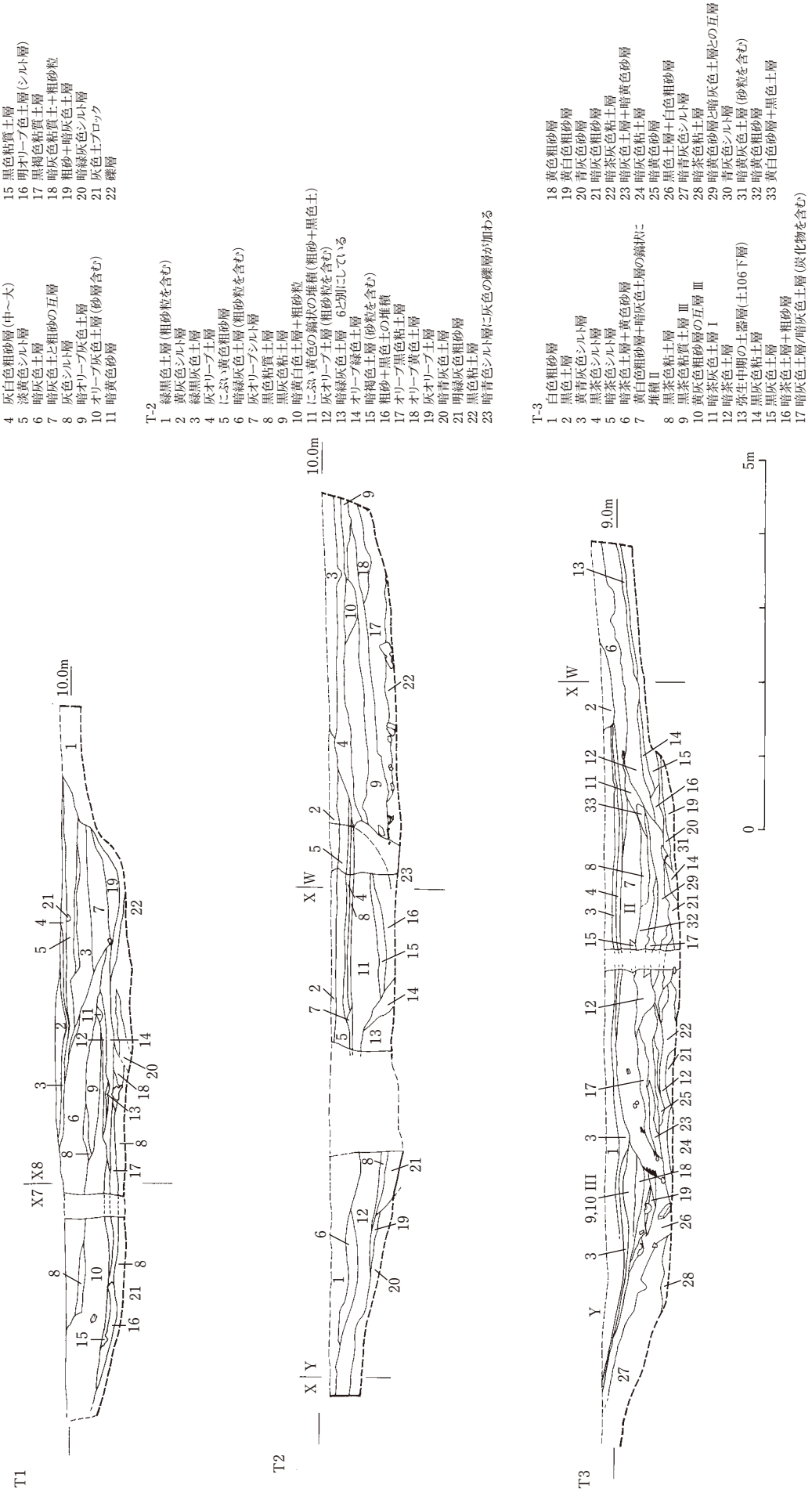
福岡市教育員会 2012「元岡・桑原遺跡群 21」『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第 1174 集
福岡市教育員会 2014「元岡・桑原遺跡群 23」『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第 1246 集




**第1図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次・52 次調査区主要遺構配置図［1/1,000］

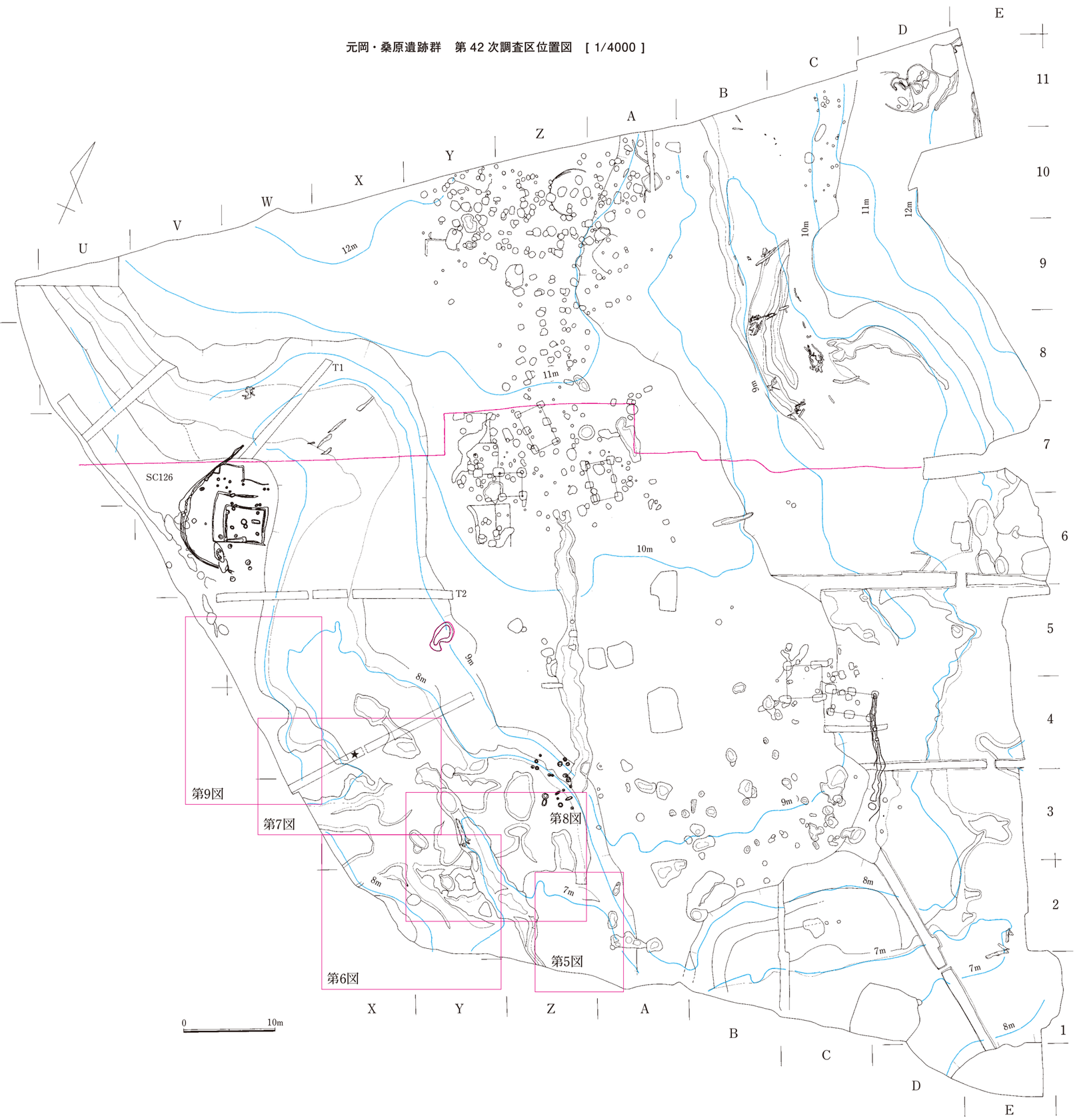



**第2図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次Ⅱ区グリッド配置図［1/500］




**第3図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次・52 次調査区　SD02　土層ベルト断面図［1/80］

元岡・桑原遺跡群　第 42 次調査区位置図　[ 1/4000 ]




第 4 図　元岡・桑原遺跡群　第 42 次・52 次調査区遺構配置図　[ 1/400 ]

**５ ＳＤ０２の土層**（第２・３図）

約 10,000㎡の調査区で検出された遺構は、調査区の東西の谷筋を流れる幅 20 ～ 30 ｍの２条の自然流路（ＳＤ０１・ＳＤ０２）と、両者にはさまれた中州部分に分布する掘立柱建物および竪穴住居跡である。南北 80 ｍにわたって蛇行する自然流路には、弥生時代中期後葉から後期にかけての多量の土器が流れ込んでおり、流路の両岸には土器群とよぶ土器の集積が多数確認された。

調査区の基盤層は花崗岩質であるが、調査区南では青灰色シルト層が厚く堆積している。土層柱状図は元岡・桑原遺跡群 21（1174 集）の第４図を参照いただきたい（福岡市 2012）。

流路が開析された時期は縄文時代晩期頃で、流路の最下層から城ノ越式土器が検出されることから弥生時代中期初頭には自然流路沿いに集落の形成がはじまったとみられる。流路の落ち際に土器の集積が形成されるのは弥生中期後半である。土器群とよぶ集積は、ＳＤ０２の両岸で検出され、ひとつの集積で出土した土器の量もコンテナ 500 近い多量なもの（土器群 103･106）もあることから、岸辺で土器を用いた祭祀は後期初頭にかけて継続したことがうかがえる。弥生後期前半になると、土器の量は減少するが、後期後半には再び増加する傾向がみられる。126 号住居跡は，後期後半から終末にかけての時期にあたる。流路は開析と埋没を繰り返しながら、弥生後期後半には幅はかなり狭くなっていったのではないか。５世紀後半から６世紀代にかけてほぼ埋没したと推定される。

ＳＤ０２の土層図（第２図）は、上流（北側）から下流にかけての土層ベルトの観察所見である。Ｔ － １、Ｔ － ２、Ｔ － ３とした土層ベルトの位置は第３図に示すとおりである。

**Ｔ - １**

Ｔ - １はＷＸ－７・８区にかかる土層で、ＳＤ０２が東に大きくカーブする箇所にあたる。22 の礫層は花崗岩質の基盤層上の堆積で遺物は包含されていない。シルト質の粘質土と粗砂層の互層がいったん埋没した後、土層西よりで開析された流路が確認できる。この流路は西側の基底面を抉り込んでいることから急な流れであったと推定される。

**Ｔ － ２**

Ｔ － ２は東西軸ＷＸＹと南北５・６の境界に設定した土層ベルトである。20 の暗青灰色の土層を開析した流路で幅は約 30 ｍになる。断面の東側でシルト質の粘質土と粗砂層の互層を開析する流路が確認できる。この流路はＳＤ０２が埋没した後の流路で、Ｔ - １の土層西よりで開析された流路と同一のものである可能性がある。

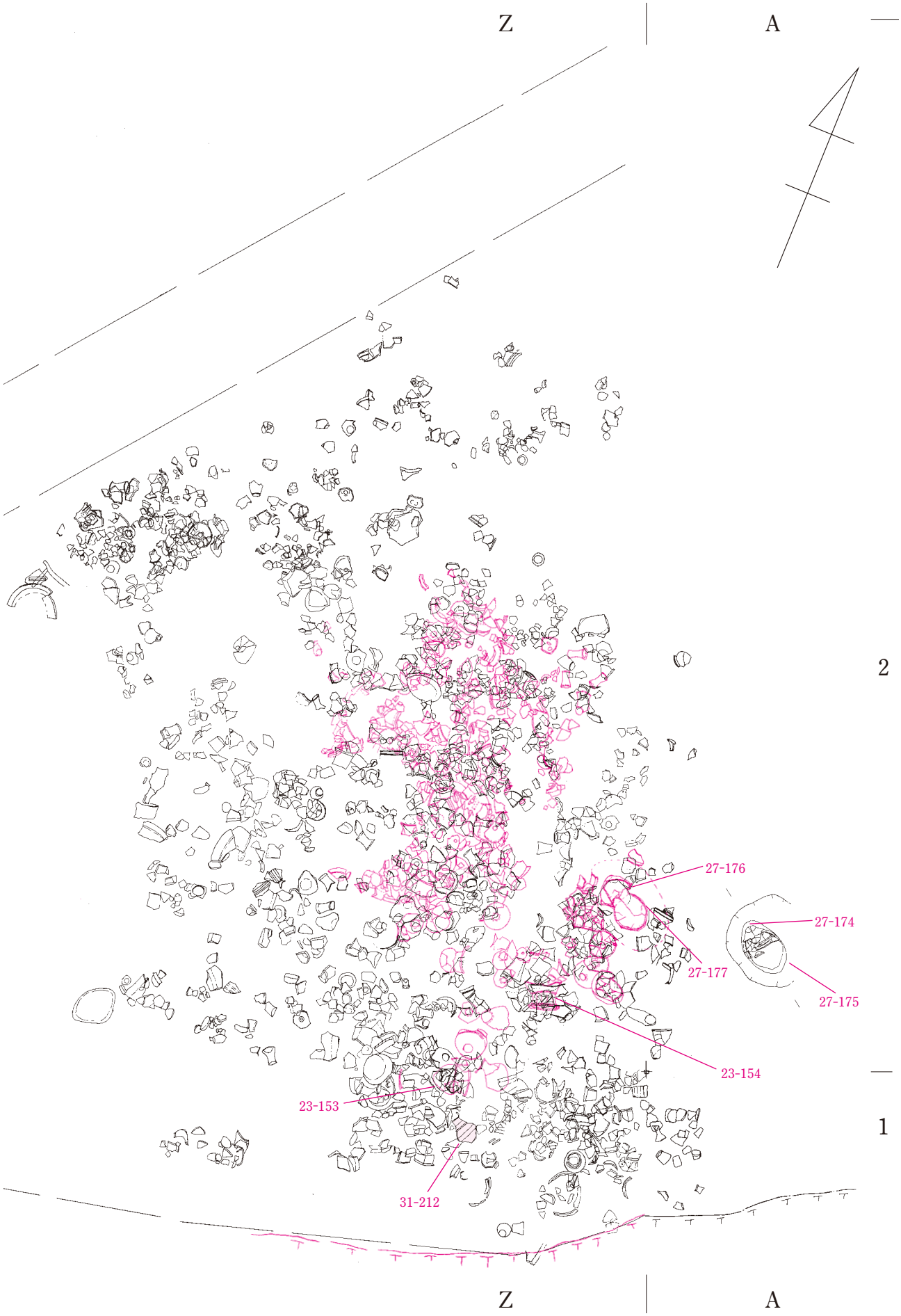
**Ｔ － ３**

Ｔ － ３はＴ － ２からおよそ 10 ～ 18 ｍ下流に設定した土層ベルトである。27 の暗青灰色シルト層は花崗岩質の基盤層に堆積したものである。ここも一旦窪地になった後、開析されてシルト層に覆われていった過程を読みとることができる。基底部の粗砂層では弥生中期初頭の土器が検出された。

以上の土層ベルトの所見からＳＤ０２は弥生時代中期前葉には開析され、中期後半に一旦埋没した後に後期に幅を狭めた流路によって再度開析されたとみられる。そして後期終末までに流路はほぼ埋没し、古墳時代前期には調査区の南に広がる糸島半島東に湾入する今津湾奥部へ雨水の排水路として機能していたのではないかとみられる。

【註】

福岡市教育員会 2012「元岡・桑原遺跡群 21」『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第 1174 集
福岡市教育員会 2014「元岡・桑原遺跡群 23」『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第 1246 集




**第5図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次　土器群 103 遺物出土状況実測図　[ 1/50 ]

## ６　遺物の出土状況（第４～９図）

調査区北側の微高地の標高は約 12 m、南側では約８mをはかる。およそ 80 mで４mの傾斜がみられる。流路内底部は上流で９m、下流で６m代の標高となる。11 m前後の標高がある調査区南側をはしる道路面は３m近い客土となっている。

遺物の出土量は地点によって粗密がみられるが、土器は層位的に堆積した箇所が多くみられることから、上層、中層、下層というように可能な限り分層的なとりあげをおこなった。すなわちグリッドごとに手測によって１／20 で平面図を作成し、標高を記入し、コピーした図をもとに番号をつけて遺物を取り上げる。そして次の面を清掃し１／20 で平面図を作成する。この作業の繰り返しによって調査をすすめたため､遺構実測図は大部に及ぶものとなった。だがこの作業工程を遂行したことで、土器の隙間で動物遺体や銅鏃、貨幣、石製管玉、ガラス玉などの脆弱で小型の遺物を検出する精度はかなり高まったと振り返っている。

ここでは土器を主体とする遺物がまとまって出土した５区画について解説する。土器群の番号については第２図に示すとおりで、第４図（折込）に１区～５区として設定した範囲である。各地区の出土状況で特定できる遺物については茶色のアミで示した。出土遺物の番号は挿図のキャプションと合致する。

１区（第５図、図版 12・13）

１区は、ＳＤ０２下流の東岸に位置する。第５図は土器群 103 の検出状況で、Ａ・Ｚ１区北側から２区にかけての範囲である。

ここでは弥生時代中期後半から後期にかけての土器の集積が検出された。土器は密集した状態であり小面積にもかかわらず土器はコンテナ約 300 箱にのぼる。

斜面に折り重なるように堆積していたが、分層的に捉えることは困難であった。流路の落ち際で２基の甕棺墓が検出された（第 26・27 図、図版 18)。中期末と後期中頃で時期には隔たりがあるが軸方向はいずれも流路の等高線に沿っている。２号甕棺墓は中期の土器を除いて墓壙を掘削した後，周囲の土器で再び覆っている。この時期に伴う後期中頃の壷が出土している。

弥生時代中期後半では丹塗研磨のある土器が目立っている（第 18 ～ 25 図)。器種としては袋状口縁壷、高杯、蓋形土器などで，この中には秀逸な製作技法が伺える資料も含まれている。ここでは有窓土器も出土したが完形に復元されるものはない（第 19 図）口径が 30 ～ 40㎝の大型の壷形土器、多条突帯の壷などもみうけられる（第 23 図)。

このほか土器の隙間において検出されたシカ・イノシシ・イルカなどの動物遺体の量はⅡ区の土器群中もっとも多い。

２区（第６図、図版 9）

２区は、ＳＤ０２下流の西岸から流路に位置する。ＸＹ２区の土器群の検出状況である。

土器群 102 と 104 は同じ範囲に集積された土器群で弥生後期から古墳時代前期を主体とする上層を 102、弥生中期後半の丹塗研磨土器を主体とする下層を 104 として分層的にとり上げを行った。土器は 102 がコンテナ約 30 箱、104 がコンテナ約 130 箱にのぼる。

土器群 102 では在来の西新式の甕類や鉢、器台を主体とする器種に布留系甕や二重口縁壷など外来系土器が加わった組成である。

土器群 104 は弥生中期後葉から後期にかけての土器を主体とする。中期では袋状口縁壷、広口壷、

高杯、蓋形土器、注口土器などの器種がみられる。流路内にかけての土器には後期の器種もみられ、円と長方形の穿孔をもつ高杯の脚部（31 － 212）や大型甕（32 － 228）は後期後葉から末にかけてのものである。流路内で検出された甕形土器（31 － 208）は器面に煤の付着がみられる。山陰地方からの搬入品と考えられる。このほか格子タタキのある瓦質土器片（31 － 206）なども採集された。

土器群 107 は，土器群 104 の北西に位置する。古式土師器を主体とする流路内のまとまりである。布留系甕や山陰系の大型甕（51 － 483），精製の鉢などと在来系の甕や支脚，器台，脚付の鉢などで構成される。

土層ベルトの南で検出された土器群 108 は中期と後期終末の土器を主体とするもので，北接する土器群 102 や 104 と本来同一の集積を構成していた可能性がある。

３区（第７図、巻頭図版１下、図版 10・11）

３区は、ＷＸ３区～４区にかかる箇所で土器群 106 にあたる。土器群 106 はコンテナ 650 を超す多量の土器の集積で、42 次調査区でも遺物の集積密度が最も濃い場所である。土器群 106 の上層は弥生時代終末の土器が大半を占めており、厚さ 20 ～ 30㎝の堆積の下から丹塗土器を含む弥生中期後半の土器の集積が検出された。中期では袋状口縁壷、広口壷、鋤先口縁壷、短頸壺、高杯、脚付壺、蓋形土器などの器種のほか、有窓土器がまとまって出土した（第 40・41 図）。脚付鉢（42 － 319）は土器群 103 の脚付鉢（20 － 117）と作風が共通している。多条突帯の大型壺も装飾性がたかい（37-262・263）。

３区で注目されるのは南東部で中国山地の塩町式土器（38 － 268）が須玖Ⅱ式土器に伴って出土したことである。塩町式土器の分布の西限とみられる。出土状況が確認されたことで土器の併行関係を示す知見が得られたことは重要である。

木製品では祭祀具としての性格がつよい翳とされる有文木製品が中期後半の土器の直下で出土した。このほか青銅製鞘尻金具や貨泉２枚が検出された。

上層では後期前葉から終末にかけての複合口縁壷や長胴甕、高杯、器台などの器種が確認された。甕を例にとれば「く」字口縁で平底→凸レンズ底→丸底という時系列にそった型式変化を捉えることができる。複合口縁壷もほぼ同様であり、中期から後期全般にわたる時期の土器が集積されている。また外来系土器には楽浪系土器の椀（50 － 450）や瓦質土器が含まれている。また多孔の土器底部（50 － 473）なども朝鮮半島の影響をうけた可能性がある。

土器群 115 は，土器群 106 の北西に位置する。流路内に埋没した土器群で後期中頃から終末にかけての在来系の器種を主体に構成されている。脚付の甕や多孔の土器底部（82 － 807・812）なども含まれている。

土層ベルトをはさんで北側の土器群 116 も同様に流路内に埋没したと考えられる土器群である。中期と後期終末の在来系の器種が主体をしめている。杓子形土製品（84 － 862・863）が出土している。流路内を含めてⅡ区では土器群で多くの杓子形土製品が検出されている。

４区（第８図、図版 12）

４区は、Ｚ２～３区にかかる箇所で、流路内に根を張った楠を囲む土器群 113 の範囲である。コンテナ約 60 からなる。土器群 113 はＳＤ０２の流路内に堆積した資料を主体とする。流路内に流れ込んだものであるが中期後葉から後期前半にかけての土器の遺存度がたかい。器種は袋状口縁壷や「く」字口縁の甕、蓋形土器、台付甕（80 － 771）、鉢、器台などである。成果としては後期無文土器の甕（76

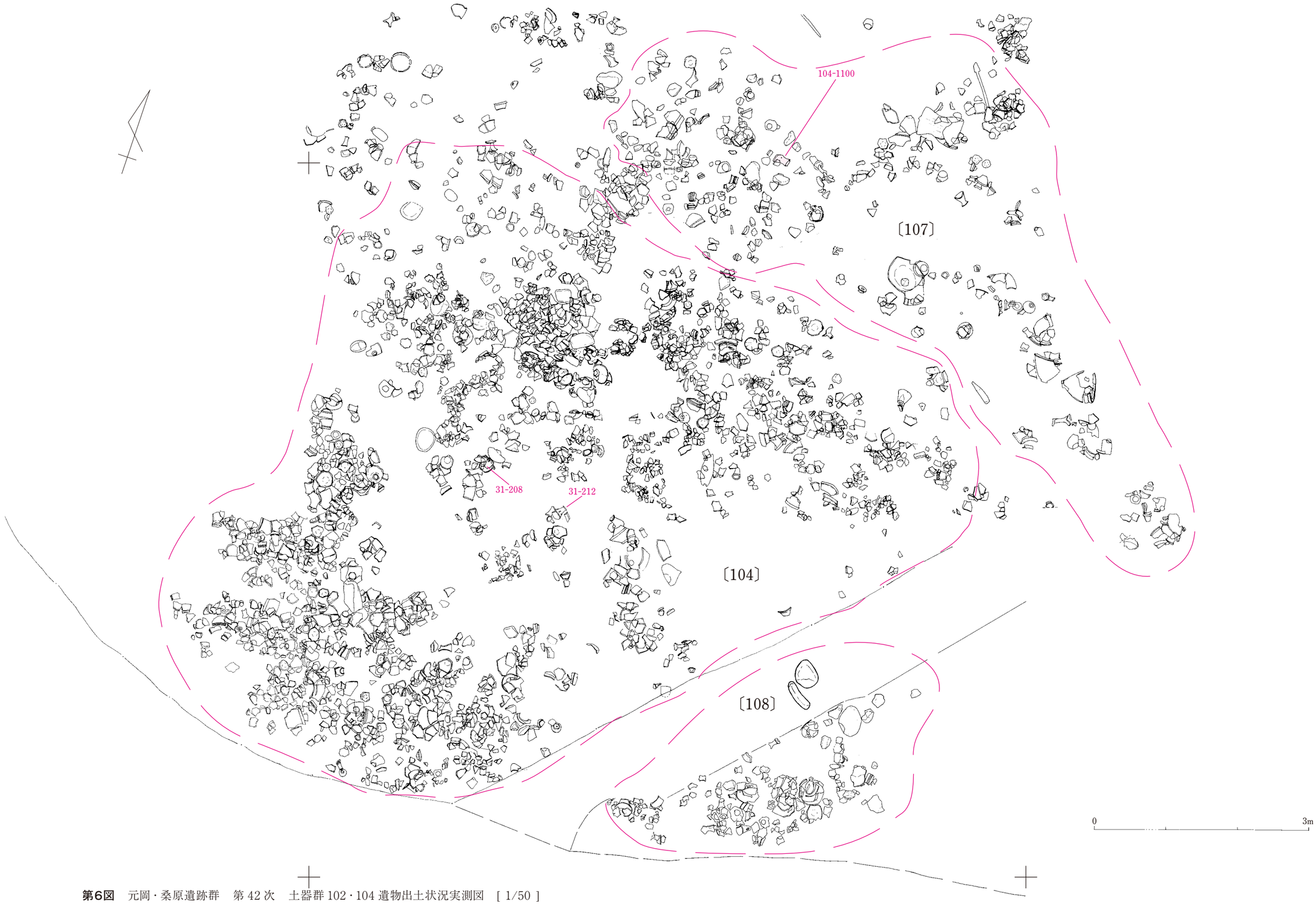
X

Y

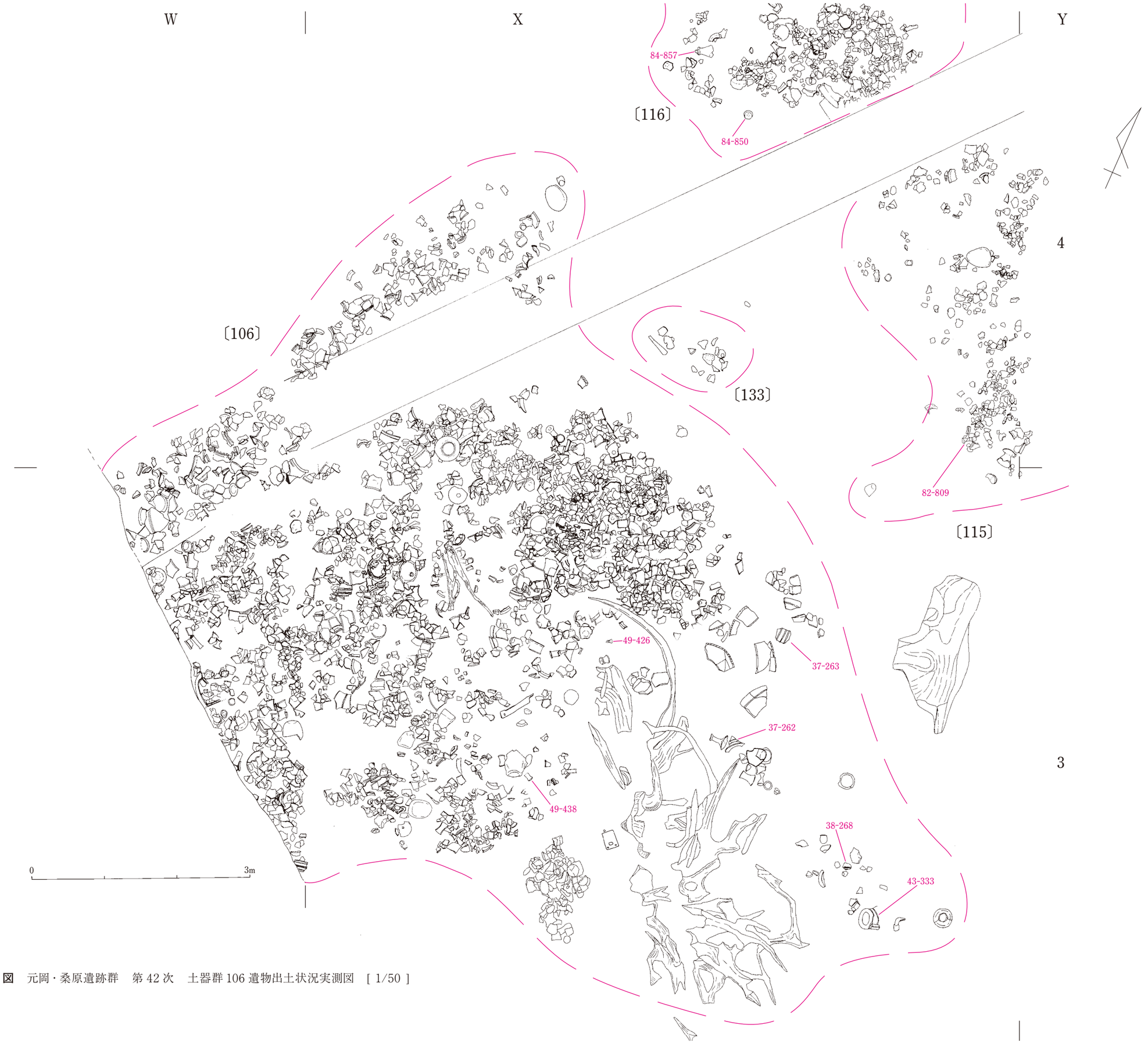
Z

3

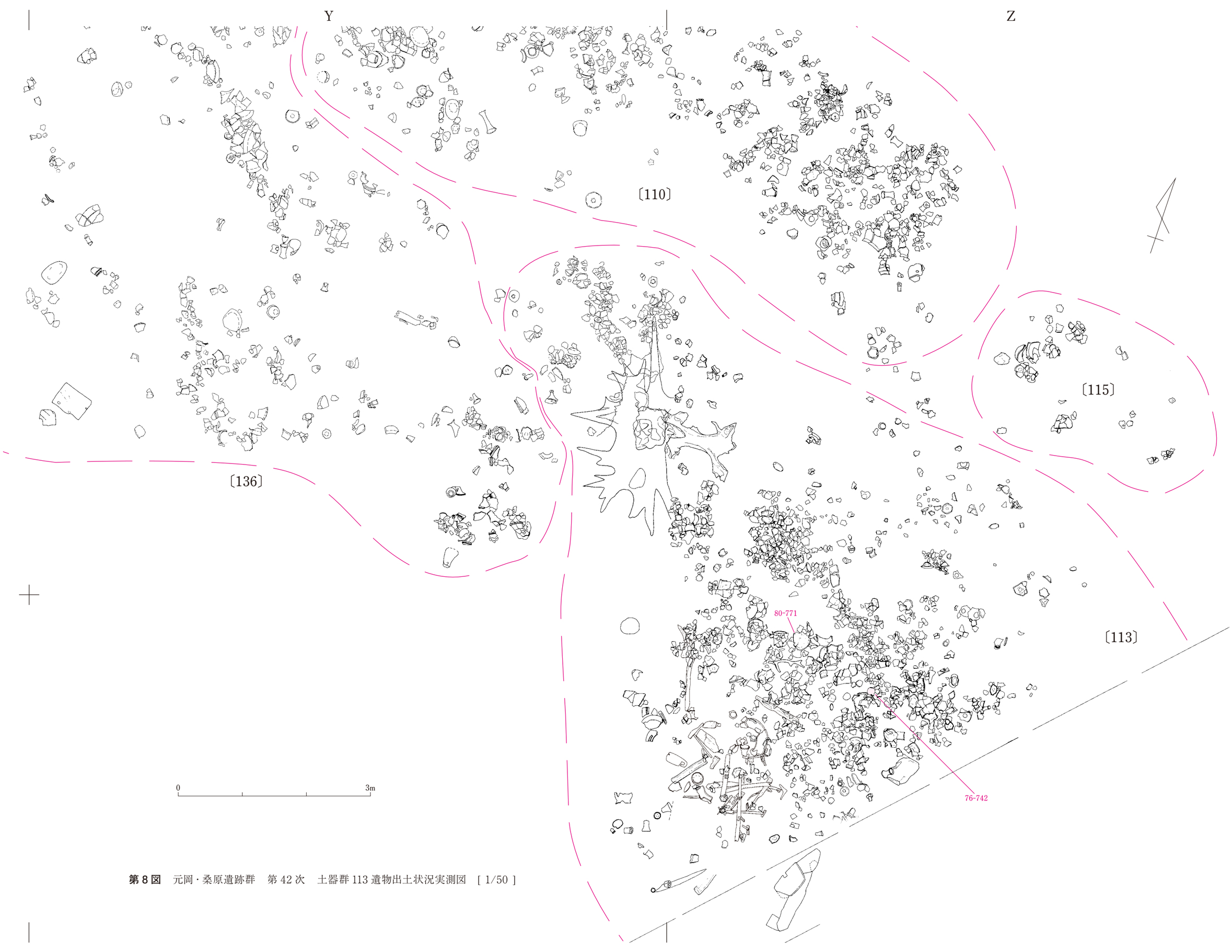
2



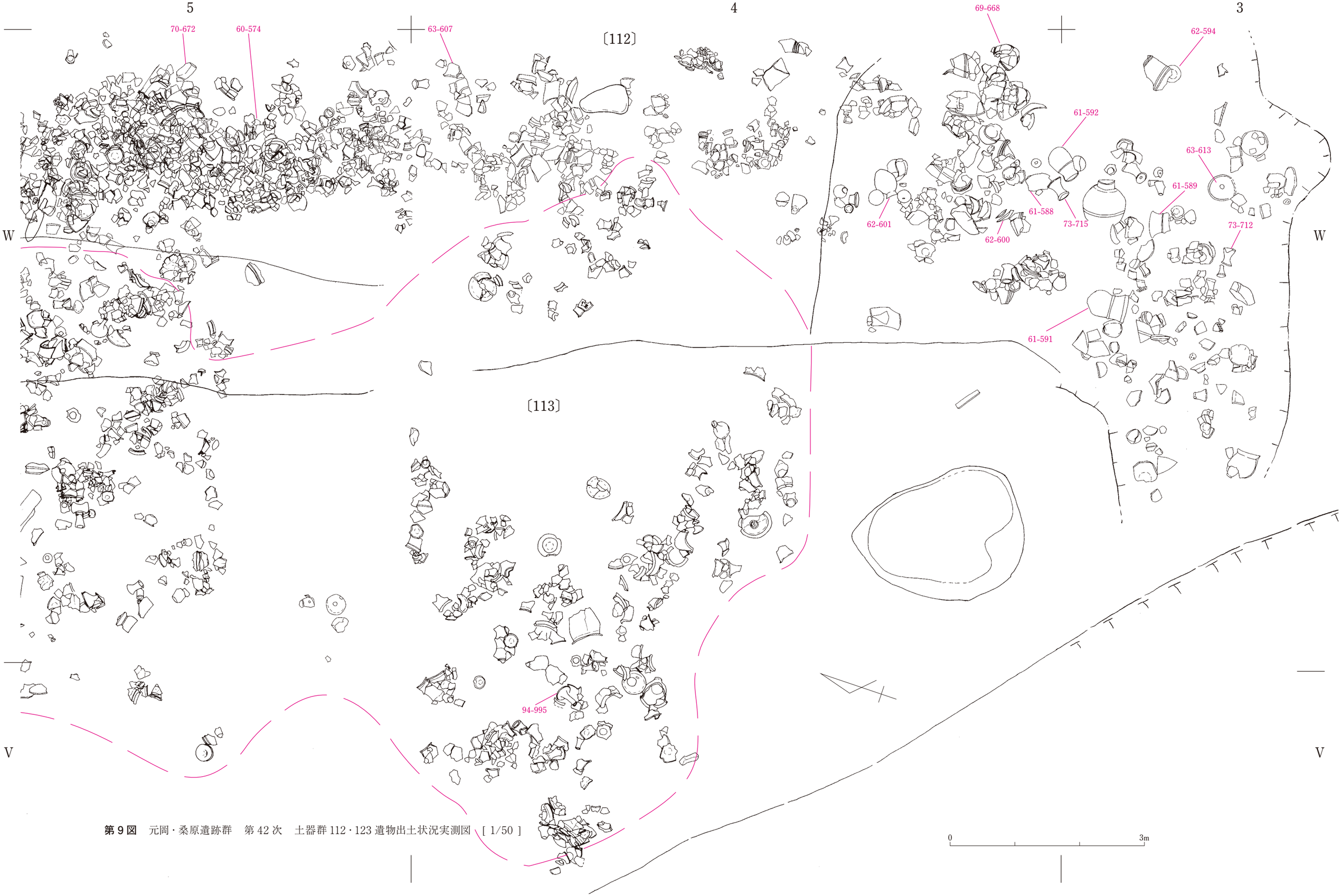

**第6図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次　土器群 102・104 遺物出土状況実測図　[ 1/50 ]




**第 7 図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次　土器群 106 遺物出土状況実測図　[ 1/50 ]




**第 8 図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次　土器群 113 遺物出土状況実測図　[ 1/50 ]




**第 9 図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次　土器群 112・123 遺物出土状況実測図 ［ 1/50 ］

－ 742）の出土位置が確認されたことがある。無文土器の甕は、口縁部の粘土帯の断面はいわゆるソラマメ状を呈しており、底部の輪郭にそって刻目を入れる特徴がみられる。このほか土器群の中央部で鹿角が検出された。

土器群 110 は，土器群 113 の北側で確認された流路内に堆積した資料である。中期末と後期前葉、後期終末の土器群を主体としている。後期前葉の大型壷（56 － 544･547）や長い脚部をもつ器台（58 － 567）などが含まれている。

５区（第 9 図、図版 12 ～ 14）

５区は、ＳＤ０２の西側の斜面に堆積した土器群 112 と 123 を中心とする範囲である。土器群 112 はコンテナ約 250、土器群 123 はコンテナ約 200 にのぼる。

土器群 112 は、南側が溝状に抉れており西側からの流れ込んだものと想定される。弥生中期後半から後期後半にかけての幅広い時期の土器が多量に検出された。中期では鋤先口縁の壷や高杯、甕、蓋形土器、後期では大型の広口壷、長胴甕、直口壺などがあり土器の遺存度も良好である。後期では三韓系土器の扁球形の胴部の壷を模倣したと考えられる土器（62 － 594）も注目される。

鐸形土製品（62 － 598）は舞に１孔を有し鐸身中央に円孔を有している。表面に丁寧な研磨を施す調整から弥生中期後葉と推定される。土器群 112 では、流路の落ち際でトリ形木製品が出土しており周辺でもさらに作風の異なる２点のトリ形木製品が確認された。鐸形土製品やトリ形木製品が近接して出土したことから流路西岸における祭祀の場としての性格が補強される。

土器群 123 は、土器群 112 に西接しており鉤状のレリーフのある壺（92 － 957・959）や脚付の注口土器、高杯、筒形器台、短頸壺など中期の丹塗土器が目立っている。このほか後期の長頸壺や支脚なども出土しており、土器の構成からみると両者は本来ほぼ同時期に形成されたと考えられる。

図の枚数や記述には制約があるため本稿で紹介したのは全体の一部に限られている。土器群と表現したが祭祀の結果遺棄された土器が集積したと考えられるものや、西側の高台から流れ込んできた結果一ヶ所に集中した可能性があるものなど、個々の土器群の成り立ちについてはさらに検証を行う必要がある。動物遺体の分析はその判断の手がかりとなる期待がある。

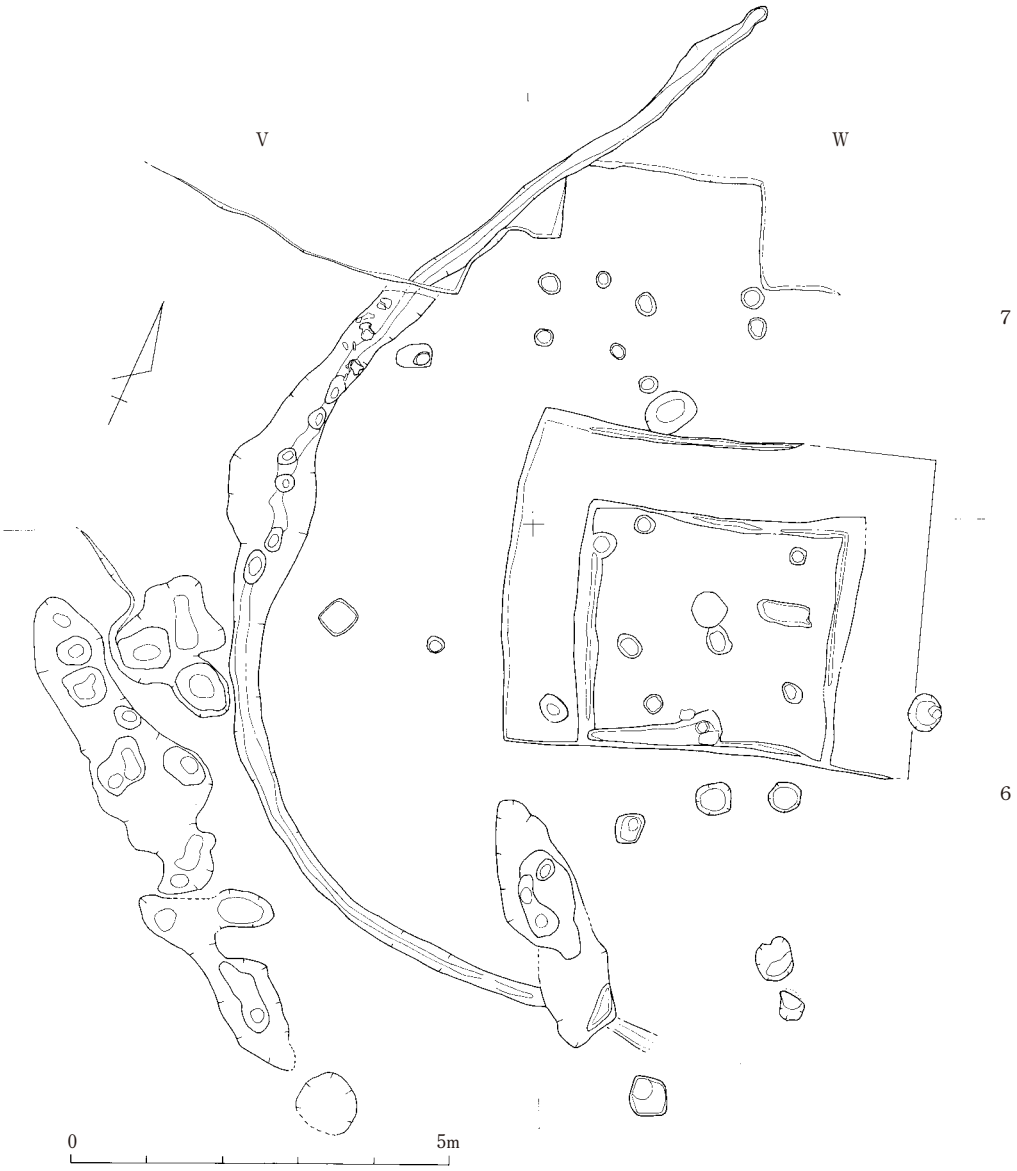
調査の過程で得られた図面類は記録として埋蔵文化財センターに収蔵される予定である。

### ７ 126 号住居跡（ＳＣ 126）（図 10・11）

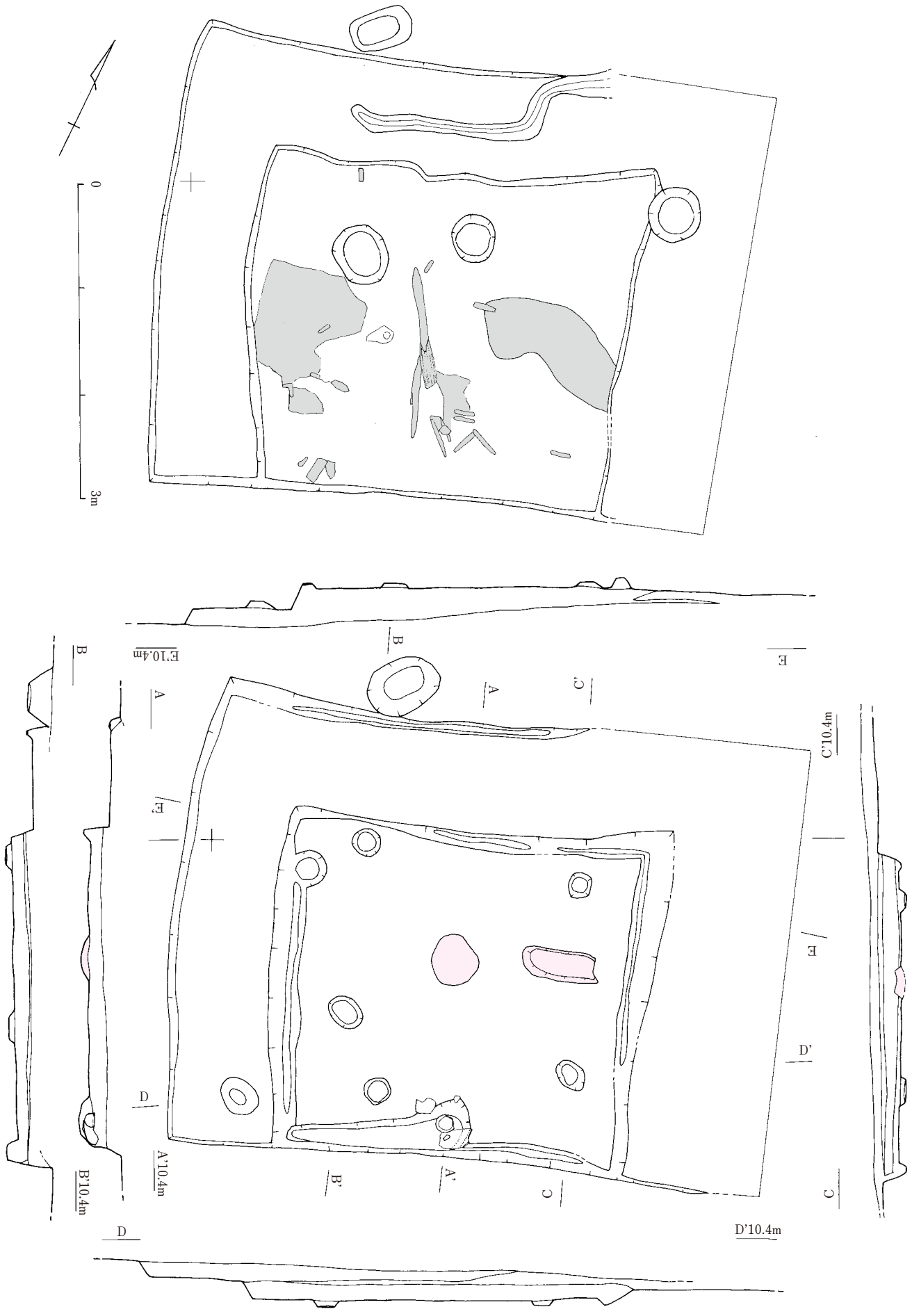
ＳＣ 126 は、６区と７区の境、流路（SD-02）の西側で検出された長軸を東西にもつ長方形プランの竪穴住居跡である。住居跡の東側は削平を受けているが長軸は５．５ｍに復元される。短軸は４．１ｍをはかることから平面積は 22.55㎡と推定される。東西および北辺にコ字形にベッド状遺構を配している。住居跡の中央に炉を有し、その東側では長楕円形に焼土が７～ 8㎝の厚みで堆積している。炉に溜まった焼土を掻き出したものであろうか。また炉の直上では炭化木がまとまって検出された。

ベッド状遺構の落ち際に沿って細く浅い溝が検出された。その四隅では径 20㎝から 30㎝程度の浅い柱穴が検出された。柱穴はいずれも浅いがこれらのピットが主柱穴の可能性がある。このほか南辺の中央で検出された不整形な土坑は、出入口の階段下に設けられた土坑と推定される。土坑内では鉢形土器や壺形土器が出土した。住居跡出土の土器は弥生中期から後期まで時期幅があるが、南辺中央の土坑内の土器は不安定な平底をもつ器種の遺存度がよいことから弥生後期後半から終末に比定される。弥生後期後半、流路の埋没もかなり進んだ時期に構築された住居跡である。

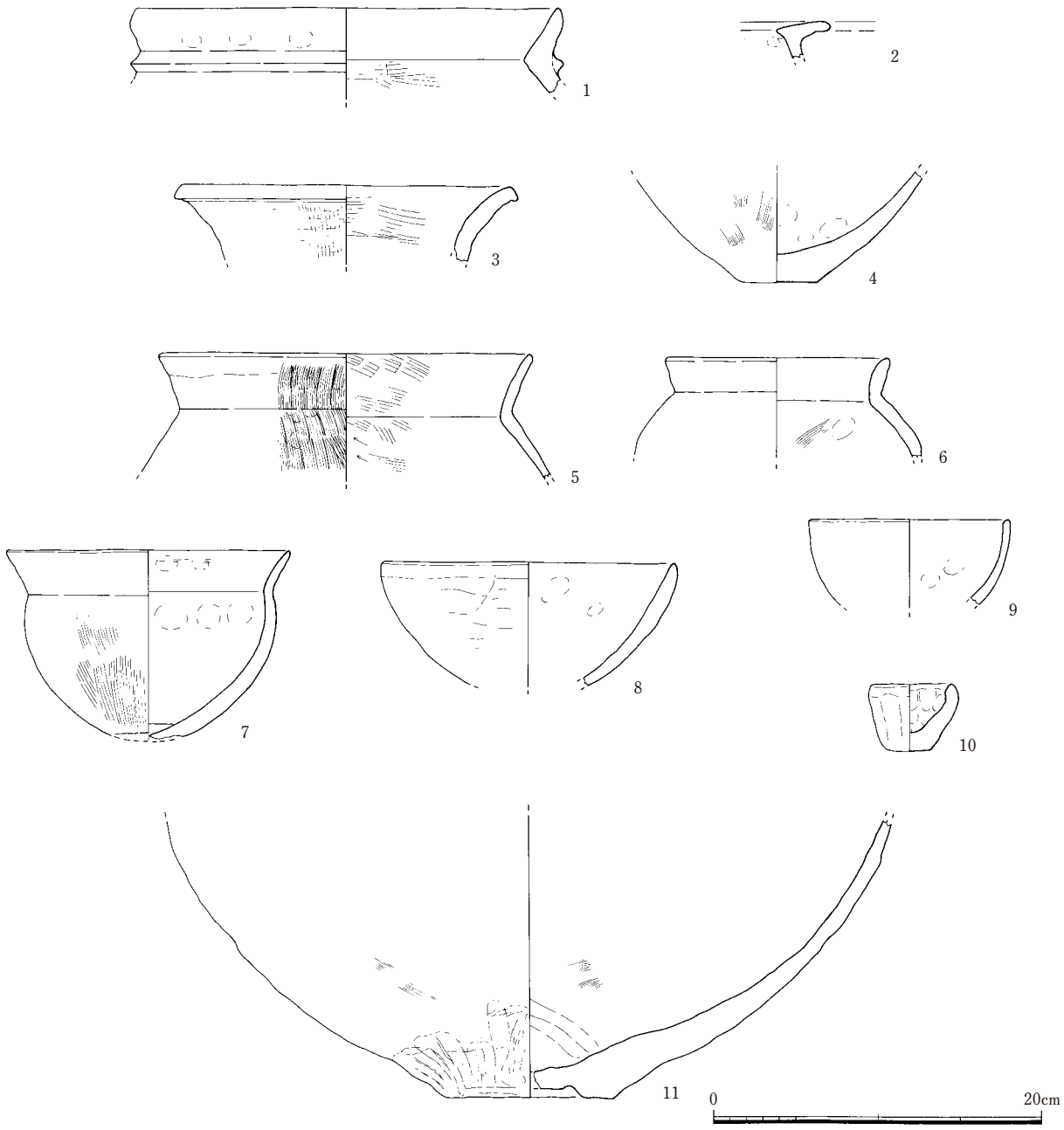
住居跡の西側では弧状にとりまく溝 SD170 が検出された。住居への排水を意図した可能性がある。溝は深さ 30 ～ 20㎝で後期の器台などが出土した。




**第 10 図**　126 号住居跡（SC126）全体図［1/ 100］




**第 11 図**　126 号住居跡（SC126）遺構実測図［1/50］




**第 12 図**　126 号住居跡（SC126）出土土器実測図 [ 1/ 4]

**表1**　126 号住居跡（SC126）出土土器観察表

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 12 | 1 | Ⅱ | | W-6・7 | 甕 | — | 25.6 | — | 横ナデ | 口縁部は横ナデ、肩部は横ナデ・横斜の刷毛 | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・黒色粒 | 良好 | 残存：1/6（口縁部） |
| 12 | 2 | Ⅱ | | W-6・7 | 甕 | — | — | — | 磨滅・ナデ | 磨滅・ナデ | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 甕（弥生）の口縁部小片 |
| 12 | 3 | Ⅱ | | W-6・7 | 壺 | — | 20.0 | — | 縦刷毛のち横ナデ | ナデ・粗い横刷毛 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・橙色粒子 | 良好 | 残存：1/3（口縁部） |
| 12 | 4 | Ⅱ | | W-6・7 | 壺 | — | — | 4.8 | 刷毛目 | ナデ | 灰黄褐色～黒褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・褐色粒 | 良好 | 残存：底部は全周有り |
| 12 | 5 | Ⅱ | | W-6・7 | 甕 | — | 22.8 | — | 縦刷毛 | 口縁部は横刷毛、肩部は横・斜の刷毛かケズリ | 外：にぶい黄橙色<br>内：灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存:1/6(弥生甕の口縁部) |
| 12 | 6 | Ⅱ | | W-6・7 | 壺 | — | 13.4 | — | 口縁部は横ナデ、肩部は磨滅 | 口縁部は横ナデ･磨滅、肩部は刷毛目・磨滅 | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・黒色粒 | やや軟 | 残存：1/5（口縁部） |
| 12 | 7 | Ⅱ | | W-6・7 | 鉢 | 11.6 | 17.2 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 外：黒褐色<br>内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、4㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：7/8 |
| 12 | 8 | Ⅱ | | W-6・7 | 鉢 | — | 17.8 | — | ケズリか磨滅 | 横ナデ | 灰黄褐色～褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 残存：1/5（上半部）<br>全体的に磨滅 |
| 12 | 9 | Ⅱ | | W-6・7 | 鉢 | — | 12.0 | — | 磨滅 | 磨滅 | 浅黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母・橙色粒子 | やや軟 | 残存：1/4（口縁部） |
| 12 | 10 | Ⅱ | | W-6・7 | ミニチュア土器 | 4.1 | 4.8 | 3.0 | ナデ・磨滅 | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母・褐色粒 | 普通 | 残存：2/3 |
| 12 | 11 | Ⅱ | | W-6・7 | 鉢 | — | — | 約 10.0 | 胴部は部分的に細かい刷毛目痕、底部はヘラ削りか | 細かい刷毛目 | にぶい黄橙色 | 6㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/3（弥生壺の底部） |

## 8 土器群出土の土器

流路の落ち際で検出された土器の集積および流路に堆積した土器については一律に土器群という呼称で 101 から番号を設定した。このため土器群には土器群 106 のように弥生後期後半を主体とする土器層の下に中期後半の土器が堆積したものや土器群 103 のように弥生中期後半の土器群だけから構成されるもの、さらに流路内で検出された土器をグリッドによって分けたものなど、さまざまな事例が含まれている。

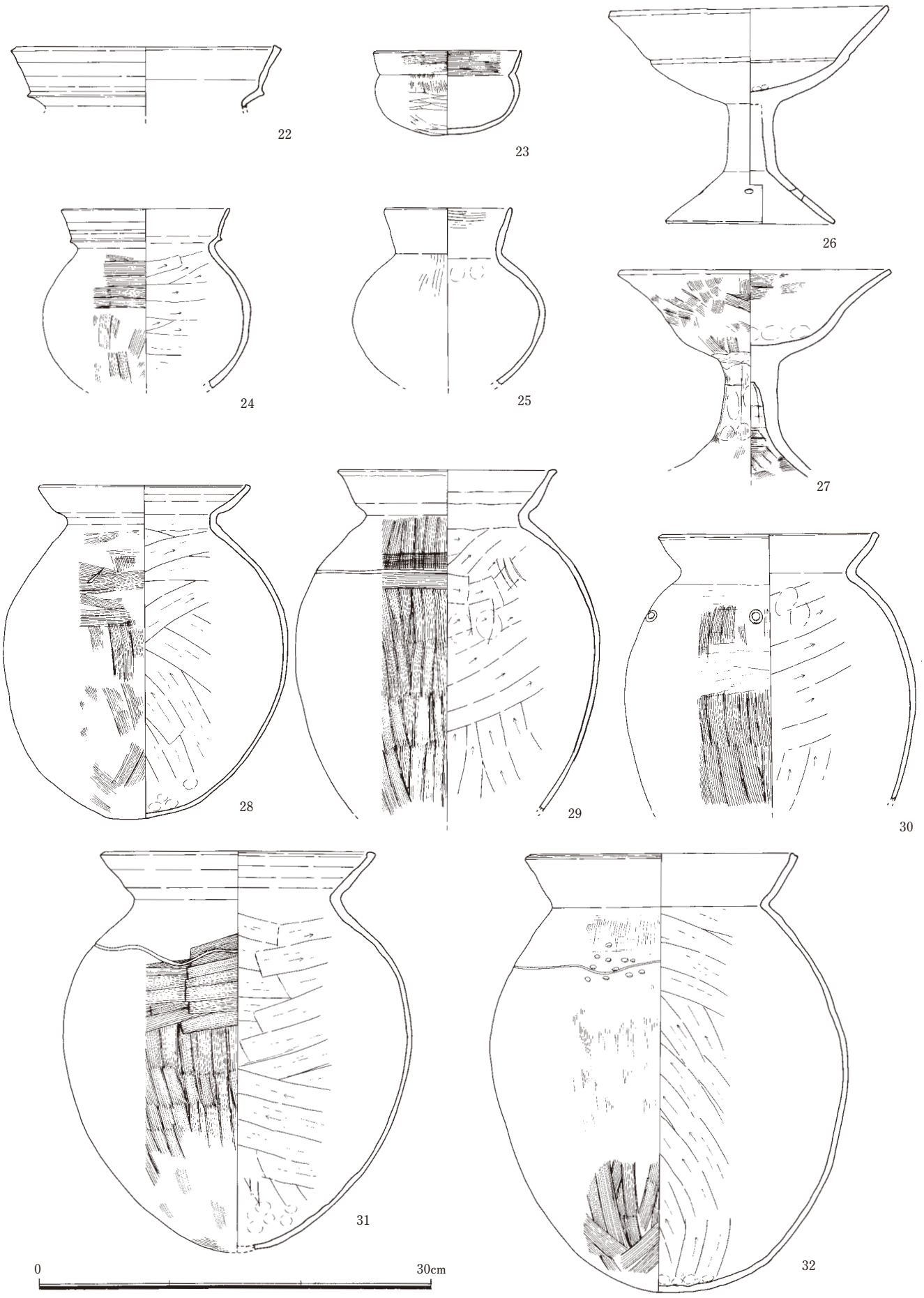
このほか遺構検出の段階で検出された土器は包含層出土の土器として別項目を設けた。土製品や石器類，玉類についても項目を設けている。一覧表を参照していただきたい。

また丹塗研磨土器や土器の表面に赤色顔料を塗布した痕跡が認められる資料については赤色のアミをかけて表現した。

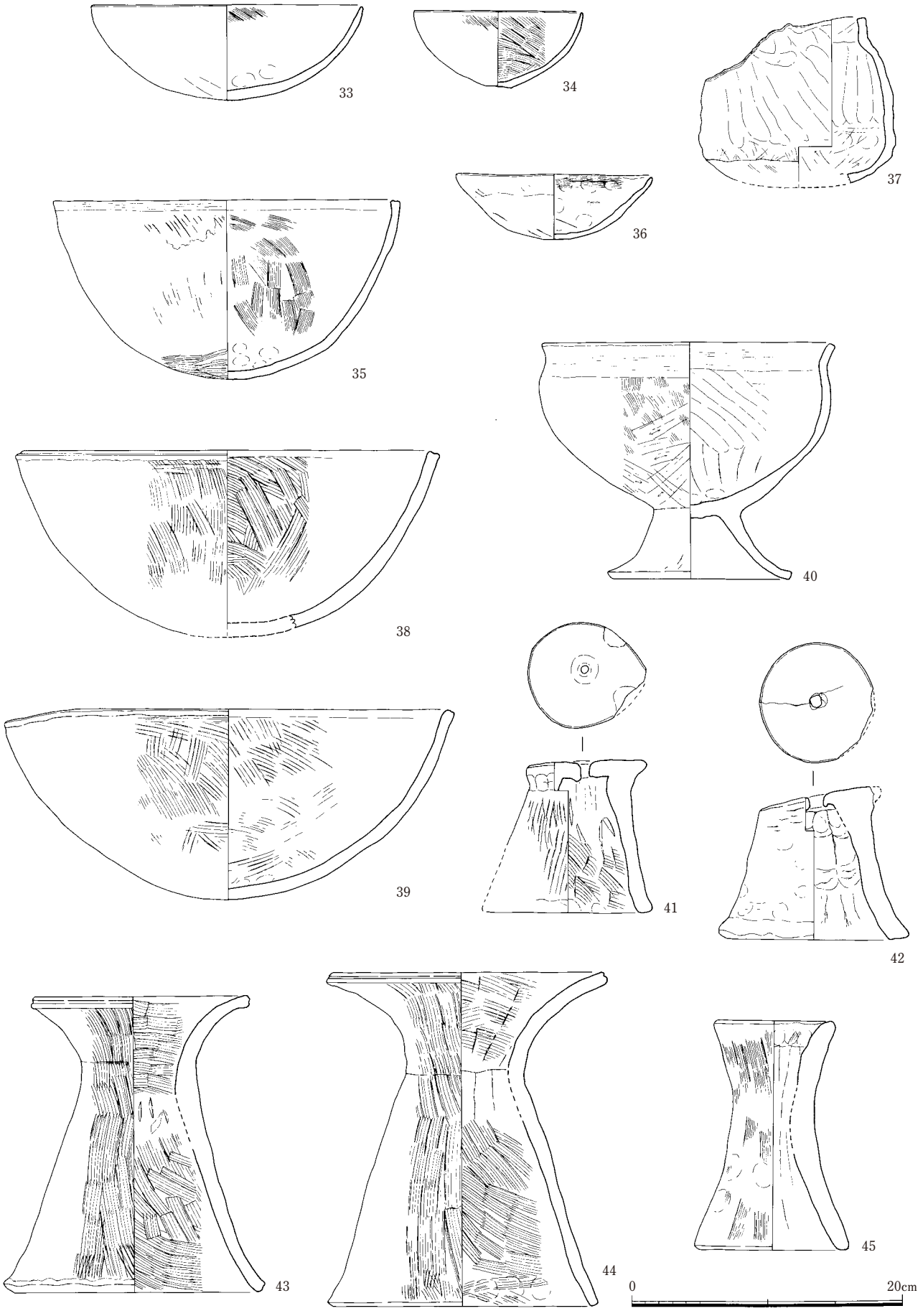
**表 2**　土器群 101 出土土器観察表（1）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 13 | 12 | Ⅱ | 101 | 検出面 | 高坏 | — | 24.2 | — | 口縁部横ナデ、胴部はナデ | ナデ | 灰白～淡橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒・雲母 | 良好 | 残存：1/10 |
| 13 | 13 | Ⅱ | 101 | R 55 | 丹塗りの壺 | — | 24 | — | 口縁部横ナデ | 口縁部上面に横ナデ～全体に横ナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微量の雲母 | 良好 | 残存：1/2、口縁部上面に意識的に？輪状に凹線が入る |
| 13 | 14 | Ⅱ | 101 | 検出面 | 鉢 | — | 17.6 | 6.2 | 口縁部～胴部ヘラ削り、底部付近はヘラ削り | 口縁部上面は横ナデ、口縁～胴部はナデ・指押さえ | にぶい橙色 | 精緻、微粒の白色粒と雲母 | 良好 | 17 とは同一個体、底部に焼成後の穿孔、低い突帯様な隆起がある |
| 13 | 15 | Ⅱ | 101 | 検出面 | 甕 | — | 29 | — | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部横ナデ、胴部はナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒の雲母 | 良好 | 1/3 残存、外面口縁端部～胴部に煤付着、低い突帯様のものあり |
| 13 | 16 | Ⅱ | 101 | 検出面 | 鉢 | — | — | 6.6 | 胴部下位と底部の境は指押さえ | ナデ・指押さえ、丹塗の飛沫あり、丹が点状に | 灰白色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 坏部 1/2 残存、外面は底部を除き丹塗を施す、 |
| 13 | 17 | Ⅱ | 101 | R4 | 甕 | — | 16 | — | 口縁部は横刷毛目、口縁下は縦刷毛目・横斜の刷毛目、下部は磨滅 | 口縁部は横刷毛目から指押さえ、胴部は細かい横刷毛目からナデ消し | 外：灰黄褐<br>内：にぶい黄橙 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3、全体的に煤付着、手捏ね、弥生後～古墳初 |
| 13 | 18 | Ⅱ | 101 | R64 | 甕 | 17.8 | 13 | — | 口縁部～胴部中位は粗い刷毛、胴部下位～底部はケズリ | 口縁部～胴部は粗い刷毛、底部はナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 普通 | 残存：4/5、煤付着か、粘土のよりあり |
| 13 | 19 | Ⅱ | 101 | R34 | 甕 | — | 22.1 | — | 口縁部は縦刷毛目～ナデ消し、肩部は細かい縦刷毛目 | 口縁部横ナデ・刷毛、胴部ケズリ | 灰黄褐色～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：4/5 |
| 13 | 20 | Ⅱ | 101 | R02 | 甕 | — | 22.1 | — | 口縁部～頸部横ナデ、胴部は細かい刷毛目から磨滅（板ナデ？） | 口縁部は横ナデ～磨滅、胴部は斜・横の粗い刷毛目～磨滅 | 外：にぶい褐色<br>内：橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、微粒の赤色粒 | 良好 | 残存：3/5、磨滅が著しい、煤付着 |
| 13 | 21 | Ⅱ | 101 | R2 | 甕 | — | 22.3 | — | 口縁部上面は横刷毛目、胴部は縦斜刷毛目、下位はタタキ～縦斜刷毛目、ナデけし | 口縁部は斜横の細かい刷毛目、頸部ナデ、胴部は細かい斜刷毛 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：3/4<br>煤付着、少し胴部が歪んでいる |
| 14 | 22 | Ⅱ | 101 | R10 下・R37 | 甕 | — | 20.6 | — | 横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部はケズリ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部～頸部 2/3 残存 |
| 14 | 23 | Ⅱ | 101 | R35 | 小壺 | 6.4 | 11.3 | 2.0 | 口縁部は横刷毛目からナデ消し、肩部は細かい縦刷毛目、胴部中位から下位まで横ヘラ磨き、底部は刷毛目？ | 口縁部は細かい横刷毛目、肩部～底部はナデ | 外:にぶい黄橙色 | 精緻、赤色粒子 | 良好 | 全体の 4/5 残存 |
| 14 | 24 | Ⅱ | 101 | R26 | 壺 | — | 12.8 | — | 口縁部に 3 本の凹線、頸部はナデ、肩部は横刷毛目、下位は細かい縦刷毛目 | 口縁部横ナデ胴部は横方向に削り | 外：浅黄橙色<br>内：灰白～にぶい橙 | 3㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒子 | 堅緻 | 頸部の径を取って復元、煤が付着か灰色～黒灰を呈している |
| 14 | 25 | Ⅱ | 101 | R10 | 小壺 | — | 9.8 | — | 口縁部は横ナデ～磨滅、肩部縦刷毛目～全体に磨滅 | 口縁部横刷毛目～磨滅、胴部は磨滅 | 外：にぶい黄橙色<br>内：褐灰 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | やや軟 | 残存：1/2 弱 |
| 14 | 26 | Ⅱ | 101 | R15 | 高坏 | 16.7 | 21.6 | 13.0 | 磨滅のため不明 | 磨滅のため不明 | 橙色 | 精緻、白色微粒子＋赤色粒子 | 普通 | 全体の 4/5 残存、外面は丹塗りか、0.7 × 0.7㎝の焼成後の穿孔が 3 ヶ所 |
| 14 | 27 | Ⅱ | 101 | R41 | 高坏 | — | 21 | — | 坏部は不定方向の細かい刷毛目、頸部は粘土を貼りつけ、脚部は縦刷毛目～磨滅 | 口縁部細かい横刷毛目、坏部下位はナデ磨滅、脚部刷毛目 | 橙色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：3/4<br>弥生後期 |
| 14 | 28 | Ⅱ | 101 | R62 | 甕 | 25.5 | 16.2 | 3.0 | 口縁部横ナデ、肩部縦刷毛・横刷毛～磨滅、胴部細かい縦刷毛～磨滅 | 口縁部横ナデ・刷毛、胴部ケズリ | 灰白色 | 2㎜以下の石英・長石粒、5㎜以下の赤色粒 | 普通 | 全体に 4/5 残存、1 ヶ所に工具痕？文様が見られる |
| 14 | 29 | Ⅱ | 101 | R26 | 甕 | — | 16.8 | — | 口縁部横ナデ、肩部縦＋横刷毛目、凹線が一条めぐる　胴部は縦刷毛 | 口縁部横ナデ胴部ケズリ | 外：にぶい褐色<br>内：浅黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | 良好 | 残存：1/3、外面口縁端部～胴部下位まで煤付着、土師器 |
| 14 | 30 | Ⅱ | 101 | R11 | 甕 | — | 16.9 | — | 口縁部～肩部は横ナデ、胴部中位まで縦のち横刷毛目、下位は細かい刷毛目 | 口縁部は横ナデ、肩部～胴部中位は横方向の削り、胴部下位は縦方向の削り | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 2/3 残存、外面肩部に竹管文が 2 箇所にある |
| 14 | 31 | Ⅱ | 101 | R10 | 甕 | 約 30.6 | 21 | — | 肩部横ナデ、胴部上位は細かい横刷毛、下部は細かい縦刷毛 | 口縁部横ナデ、胴部はケズリ | 灰白～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微量の雲母、微粒の雲母 | 良好 | 残存：1/3、スス付着、肩部に波線が一周めぐる |
| 14 | 32 | Ⅱ | 101 | R10 | 甕 | 33.7 | 20.8 | 2.0 | 口縁端部に凹線、口縁部横ナデ、肩部細かい縦刷毛～横ナデ、胴部は細かい縦刷毛目 | 口縁部横ナデ・刷毛、胴部ケズリ | にぶい褐色～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の黒色粒・赤色粒子 | 良好 | 残存：3/5、11 ヶ所の米粒状の凹んだ文様？あり、波線か単線が 1 本入っている |
| 15 | 33 | Ⅱ | 101 | R11 | 浅い鉢 | 7 | 20 | 1.0 | 磨滅 | 口縁部は刷毛目、全体的に磨滅 | 外：にぶい褐色<br>内：橙色 | 3㎜以下の石英長石粒赤色粒 | 普通 | 残存：9/10 |
| 15 | 34 | Ⅱ | 101 | R19 | 小鉢 | 5.5 | 12.4 | 2.0 | 口縁部は斜刷毛目、他は磨滅のためめい不明 | 口縁部～底部は斜刷毛目 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の赤色粒 | 普通 | 全体で 4/5 残存、外底部から脚？あるいは脚台？の欠落？ |
| 15 | 35 | Ⅱ | 101 | R36 | 鉢 | 13.4 | 25.7 | 3.0 | 口縁端横ナデ、胴部は粗い刷毛目～縦ナデ消し、底部は工具で整える | 口縁端は横ナデ、胴部は細かい刷毛～ナデ消し底部は指押さえ | にぶい橙～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 良好 | 残存：4/5、型にはめて造ったか、粘土のよりあり |
| 15 | 36 | Ⅱ | 101 | R38 | 浅鉢 | 4.8 | 14.4 | 2.0 | ナデ～磨滅 | 口縁部は細かい横刷毛目、他は磨滅 | 外・内：橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：7/8 |
| 15 | 37 | Ⅱ | 101 | R2 | 手捏ねの鉢？ | 約 12.5 | — | — | 胴部中位指押さえ底部付近ナデ刷毛目 | 胴部中位指押さえ下位はケズリ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の赤色粒子 | 良好 | 残存：1/2、弥生後～古墳初、口を造りだすようにとがっている |

**第 13 図**　土器群 101 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 14 図**　土器群 101 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]



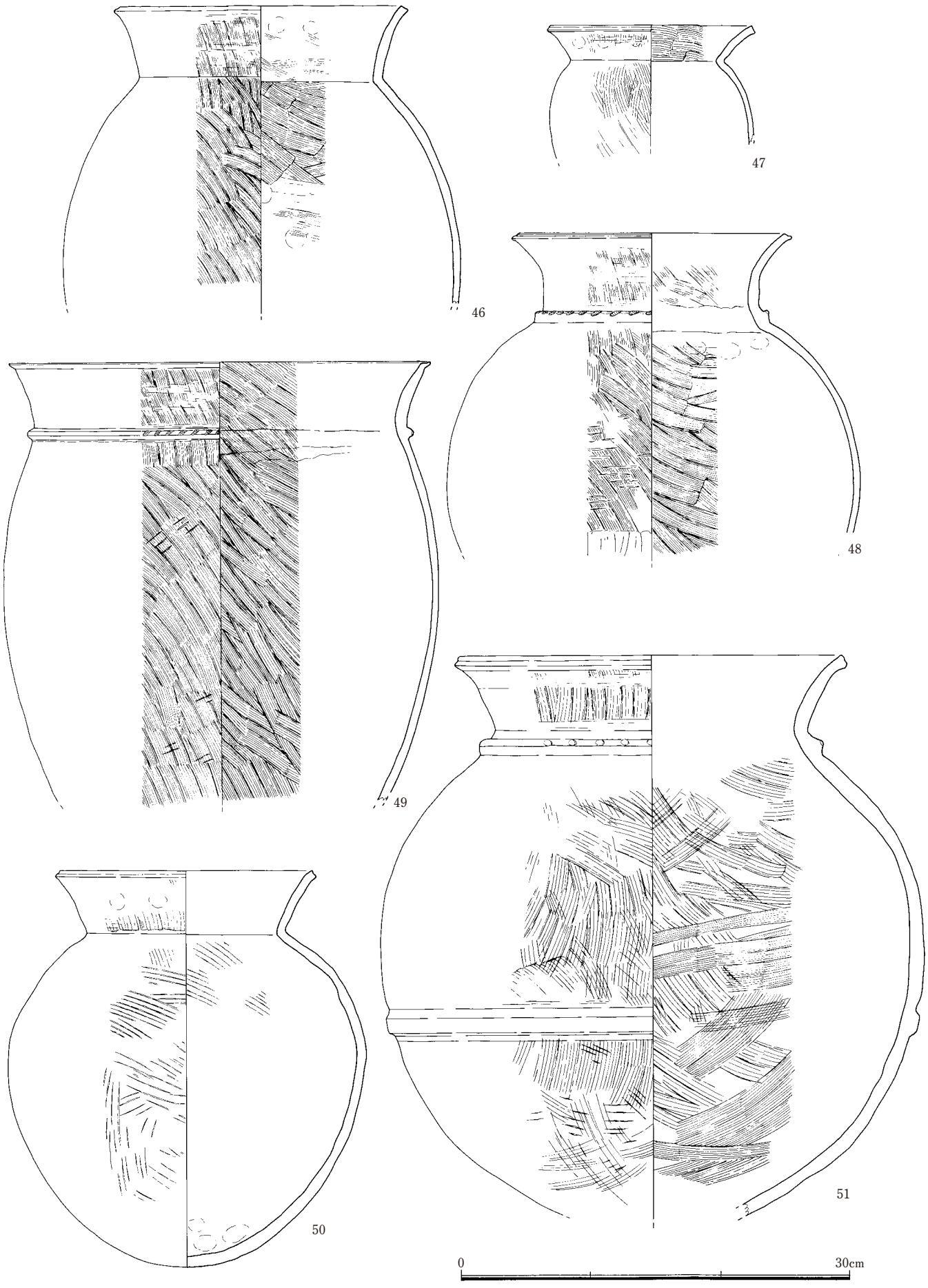

**第 15 図**　土器群 101 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]

## 表3　土器群 101 出土土器観察表（2）

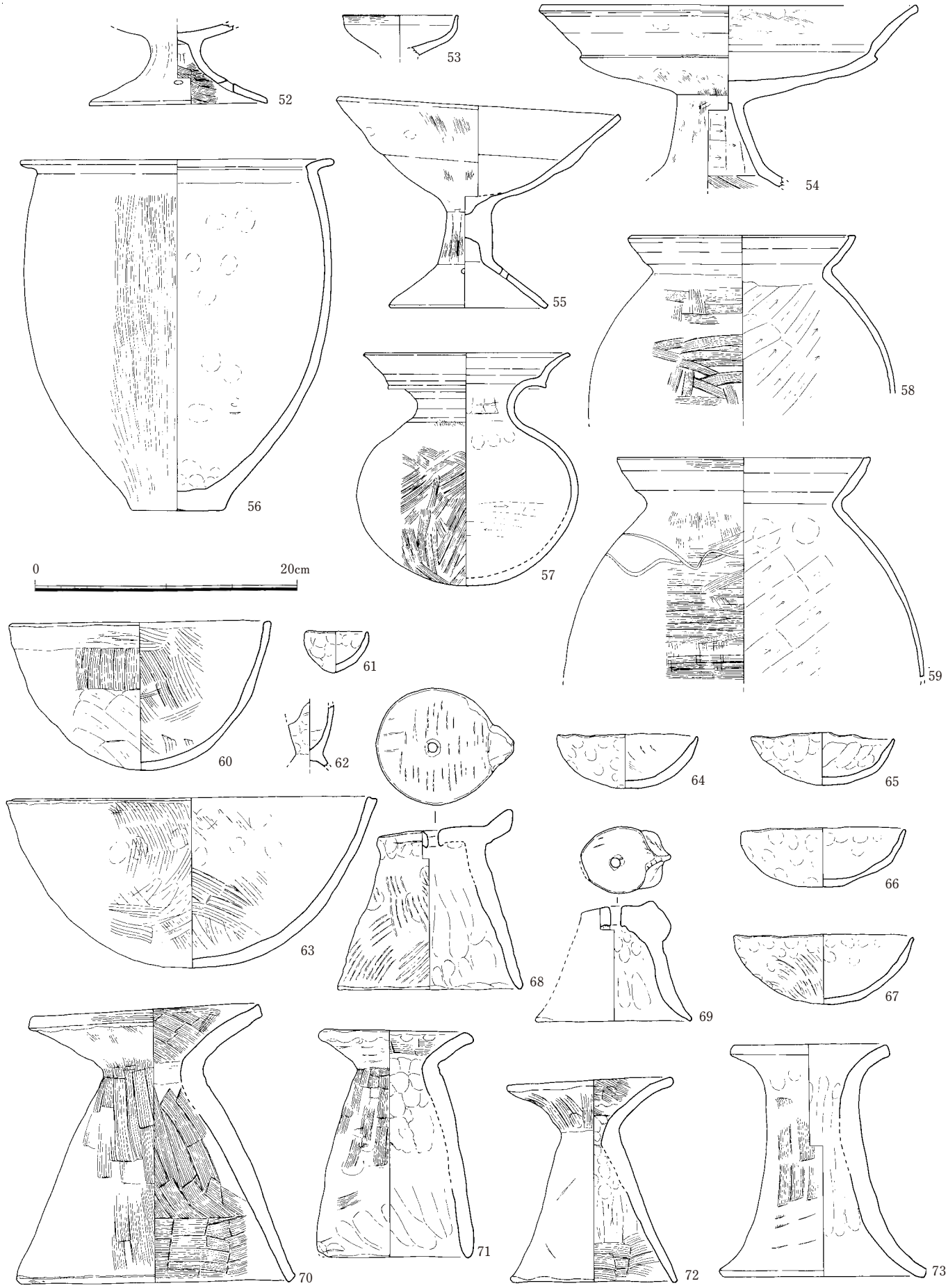
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 15 | 38 | Ⅱ | 101 | R20 | 鉢 | — | 31.3 | — | 粗い刷毛目、口縁部は横ナデ | 粗い刷毛目、口縁部は横ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒 | 普通 | 残存：3/4<br>口縁部上面凹み |
| 15 | 39 | Ⅱ | 101 | R42 | 鉢 | 14 | 33.2 | 2.0 | 口縁端部は横刷毛・横ナデ、胴部上位は粗い不定方向の刷毛、下位～底部はナデ・ナデ消し | 口縁部は粗い刷毛目、胴部～底部は刷毛目～ナデけし | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 全体の 8/9 残存 |
| 15 | 40 | Ⅱ | 101 | R53 | 脚台付鉢 | 17.4 | 21.5 | 13.5 | 口縁部横ナデ、胴部は刷毛目～ナデ消し、下位はケズリ、脚部はナデ・横ナデ | 口縁部は横刷毛かナデ、胴部はナデ、脚部はナデか磨滅 | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 普通 | 全体の 5/6 残存 |
| 15 | 41 | Ⅱ | 101 | R16 | 支脚 | 8.6 | 11.3 | 12.6 | 上部は磨滅、口縁部指ナデ、胴部～粗い刷毛目 | 上部ナデ胴部は粗い刷毛目（調整工具不明）底部に繊維痕？あり | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母・赤色粒 | 普通 | 弥生後～古墳初、残存:1/5（下半部）、何かの上に載せて造ったらしい繊維痕？あり |
| 15 | 42 | Ⅱ | 101 | R04 | 支脚 | 8.3 | 11.3 | 13.9 | 磨滅 | 胴部指押さえ、裾部は粘土のひび割れ（型にはめて造ったか？） | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 弥生後～古墳初，ほぼ完形、嘴状にとがっていたかも、上端に 0.8 ｃｍの孔あり、裾部には繊維質の圧痕あり |
| 15 | 43 | Ⅱ | 101 | R58 | 器台 | 21.8 | 16.4 | 19.2 | 粗い刷毛目 | 口縁部横ナデ～粗い横刷毛、胴位～裾部は斜の刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | 良好 | 受部 1/5 欠損<br>口縁部に凹みあり |
| 15 | 44 | Ⅱ | 101 | R57 | 器台 | 24.6 | 20.8 | 19.8 | 粗い縦刷毛目 | 刷毛目、頭部はなで | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | 良好 | 残存：7/8 |
| 15 | 45 | Ⅱ | 101 | R01 | 器台 | 16.9 | 9 | 11.4 | 縦刷毛目～磨滅 | 上位指押さえ～全体にナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：3/5<br>弥生後期 |

## 表4　土器群 102 出土土器観察表

| 図 | No. | Ⅱ出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 16 | 46 | Ⅱ | 102 | R01,02,03 | 甕 | — | 22.6 | — | 口縁部は細かい斜刷毛目、胴部は細かい縦・斜刷毛目 | 口縁部は刷毛目（不規則）・指押さえ、胴部は斜刷毛目のちナデ消し | 浅い黄橙色 | 3㎜以下の石英･長石粒、褐色粒、橙色粒子、微粒の金雲母 | 良好 | 全体の 1/2 弱残存 |
| 16 | 47 | Ⅱ | 102 | 周辺 | 甕 | — | 16 | — | 口縁部縦刷毛目～横ナデ消し、胴部上位は縦刷毛下位は板ナデ | 口縁部横ナデ胴部はナデか磨滅 | 浅黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：上半部 5/6<br>外側にスス付着 |
| 16 | 48 | Ⅱ | 102 | R03 | 壺 | — | 21.5 | — | 口縁部は縦刷毛目のちナデ消し、突帯には刻み目、胴部は縦・斜刷毛目のちタタキ、胴部下位はケズリ？ | 口縁部はナデ、頸部は斜刷毛目、胴部は横・斜刷毛目 | にぶい橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒及び 7㎜以下の赤色粒・橙色粒子、1㎜以下の黒色粒、雲母 | 良好 | 全体の 1/2 残存 |
| 16 | 49 | Ⅱ | 102 | R04,05,06 | 甕 | — | 32.4 | — | 口縁部は縦刷毛目のち横ナデ消し、突帯には刻み目を施す、胴部は縦・斜刷毛目・タタキ痕 | 口縁部～胴部は斜刷毛目 | 外：にぶい橙色～灰褐色<br>内：橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/2 弱残存、外面口縁部～胴部に煤の付着 |
| 16 | 50 | Ⅱ | 102 | R05,09 | 壺 | 30.5 | 20 | — | 口縁部は指押さえ・縦刷毛目・横ナデ、肩部ナデ・ナデけし、胴部は縦・横・斜叩きか、底部にかけナデ・ナデ消し | 口縁部はナデか磨滅、頸部は平行方向の当て具痕か、胴部は磨滅 | にぶい橙色～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6 |
| 16 | 51 | Ⅱ | 102 | R02 | 壺 | — | 29.6 | — | 口縁部は横ナデ、頸部は縦刷毛目のちナデ消し、胴部は粗い縦・斜刷毛目、胴部突帯から底部にかけてタタキ・粗い刷毛目痕 | 口縁部は横ナデ、胴部には粗い斜・横刷毛目と細かい斜・横刷毛目を施す | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存、突帯には円形状の浅い凹を施す |
| 17 | 52 | Ⅱ | 102 | R09 | 高坏の脚台部 | — | — | 13.6 | 磨滅 | 頸部は磨滅、脚部は横方向にケズリ・ナデ、脚部裾は細かい刷毛目 | にぶい橙色 | 精緻、白色微粒子 | 良好 | 残存：1/2、丹塗り、0.7 × 0.7 ㎝の焼成後の穿孔 3 カ所あり |
| 17 | 53 | Ⅱ | 102 | R07.09 | 精製小型器台 | — | 8.8 | — | 口縁部は横刷毛？胴部はナデ・磨滅 | ナデ磨滅 | 橙色 | 精緻、微粒の白色粒を含む | 良好 | 残存：7/8、山陰系？、下半部がすっぽり抜け落ちている |
| 17 | 54 | Ⅱ | 102 | R08 | 高坏 | — | 29 | — | 口縁部は横ナデ～横刷毛、頸部にかけて刷毛・ナデ消し、脚部は縦刷毛・磨滅 | 口縁部は斜刷毛、頸部にかけナデ消し・ナデ、脚部は磨滅・ケズリで裾部に刷毛 | 灰白～浅黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の微粒の黒色粒・赤色粒・雲母 | 良好 | 残存：2/3 |
| 17 | 55 | Ⅱ | 102 | R09 | 高坏 | 18.1 | 21.8 | 12.1 | 口縁部～胴部は細かい縦刷毛目、脚部は細かい縦刷毛目、裾部は磨滅のため不明 | 内面全体にわたって磨滅のため不明 | 淡橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の黒色粒 | やや軟 | 坏部 1/2 残存、裾部付近には穿孔が 3 箇所ある |
| 17 | 56 | Ⅱ | 102 | R08 | 甕 | 26.8 | 24 | 7.2 | 口縁部から胴部下中位は縦刷毛？～磨滅かナデ消し、底部にかけナデかナデけし | 口縁上面横ナデ、他は指押さえあり | 底部付近は橙色、その他は灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の褐色粒と 1㎜以下の黒色粒子 | 良好 | 残存：1/2 弱　口縁はほんの少々、底部は全周有り（底部は凸凹） |
| 17 | 57 | Ⅱ | 102 | R08.13 | 壺 | 17.8 | 15.8 | 3.0 | 口縁部横ナデ、肩部は細かい縦刷毛・ナデ、胴部～細かい刷毛目 | 口縁部横ナデ、頸部は指ナデ肩部指押さえ・ナデで胴部～ケズリ | 浅黄橙色～にぶい黄橙 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：口縁 1/2 欠く<br>胴部～口縁にかけ黒斑あり<br>焼成は良だが案外もろく粉っぽい |
| 17 | 58 | Ⅱ | 102 | R05 | 甕 | — | 17.4 | — | 口縁部横刷毛、肩部縦横刷毛・ナデ・磨滅、胴部は横縦刷毛がうっすら見える | 口縁部横ナデ胴部はケズリ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色～褐色粒 | 良好 | 残存：1/2 |
| 17 | 59 | Ⅱ | 102 | R08 | 甕 | — | 19.4 | — | 口縁部は横刷毛のち横ナデ、肩部は細かい縦・横刷毛のーナデ消し、胴部は縦・横刷毛目 | 口縁部構面に凹線めぐる、口縁部は横ナデ頸部はナデ、胴部はケズリ | 外：黄橙<br>内：浅黄橙 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の黒色粒・褐色粒 | 良好 | 残存：1/5<br>肩部付近に波線が見られる。一周巡ってとじる部分か |
| 17 | 60 | Ⅱ | 102 | R04 | 鉢 | 11.3 | 20 | 1.0 | 口縁部は横刷毛か板状工具による横ナデ、胴部は縦刷毛、底部付近はケズリ～ナデ | 口縁端部は横ナデ、他は粗い刷毛 | 灰黄褐色（外は黒い） | 9㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/2、外側は黒い、煤か、鉢と煮炊き用に使用したか |
| 17 | 61 | Ⅱ | 102 | R01 | 手捏ねミニチュア | 3.1 | 4.8 | — | 指押さえナデ | 指押さえナデ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：1/2 強、外側が若干赤みを帯びる（丹塗りだったか |
| 17 | 62 | Ⅱ | 102 | R03 | 手捏ねミニチュア | — | — | — | ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：1/3 |
| 17 | 63 | Ⅱ | 102 | R04.05 | 鉢 | 13 | 28.2 | — | 口縁部は刷毛目・指押さえ～横ナデ、胴部はケズリ刷毛目、底部にかけナデ・ナデけし | 口縁端部横ナデ、口縁部は指押さえ～斜刷毛～ナデけし、胴部は刷毛目 | 外：浅黄色＋橙色<br>内：浅黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：1/2 |
| 17 | 64 | Ⅱ | 102 | R04 | 手捏ねの小鉢 | 4.1 | 11 | 2.0 | 指ナデ指押さえ | ナデ | 外：にぶい黄橙<br>内：にぶい黄橙 | 白色粒子と雲母を若干含む | 良好 | 完形 |
| 17 | 65 | Ⅱ | 102 | 周辺 | 手捏ねの小鉢 | 4 | 11 | 1.0 | ナデ | 指押さえ | 内・外：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、赤色粒 | 良好 | 残存：5/6 |
| 17 | 66 | Ⅱ | 102 | R06 | 手捏ねの小鉢 | 4.5 | 12.6 | 2.0 | ナデ指押さえ | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、黒色粒や微粒の雲母 | 良好 | 残存：2/3 |
| 17 | 67 | Ⅱ | 102 | R04 | 手捏ねの鉢 | 5.3 | 13.8 | 1.0 | 指押さえ＋刷毛目～磨滅 | 磨滅 | 外：橙色<br>内：浅黄橙 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：8/9 |
| 17 | 68 | Ⅱ | 102 | R13 | 支脚 | 13.8 | 10.4 | 14.2 | 受部先端はナデ、他受部はタタキ・ナデ消し、胴部は指押さえ～タタキ | 指押さえ | にぶい黄橙色～にぶい黄褐 | 3㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：裾部が少々欠ける |
| 17 | 69 | Ⅱ | 102 | 周辺 | 支脚 | 9.2 | 5.5 | 12.0 | 上面は板ナデ・アレ | ナデ・磨滅 | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：2/3、上部は指でつまみだしている |
| 17 | 70 | Ⅱ | 102 | R6・11 | 器台 | 21.1 | 17.8 | 21.2 | 口縁端部は横刷毛目、口縁部刷毛目のちナデ消し、脚部は縦刷毛目、一部ナデ消し | 口縁部は横刷毛目、頸部はナデ、脚部は縦・斜刷毛目、裾部は横刷毛目 | にぶい橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒及び 2㎜以下の黒色粒 | 良好 | 全体の 5/6 残存 |
| 17 | 71 | Ⅱ | 102 | R04 | 器台 | 17.3 | 11.8 | 12.3 | 口縁部はナデ頸部～胴部中位は縦刷毛、裾部は指ナデ・押さえナデ | 口縁部は横刷毛、胴部は指押さえ裾部指ナデ | 灰黄褐～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒と、微粒の雲母 | 良好 | 受部が 1/4 欠ける |
| 17 | 72 | Ⅱ | 102 | R06 | 器台 | 15.7 | 12.3 | 12.8 | 口縁部はナデ、口縁部～頸部にかけ縦刷毛、胴部は板状工具によるナデ | 口縁部は刷毛、頸部は指押さえ（粘土のつなぎ目あり）、胴部はナデ、裾部横刷毛 | にぶい橙色～にぶい黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 造りが粗雑で火を受けているのではと思う部分あり、支脚？ |
| 17 | 73 | Ⅱ | 102 | — | 器台 | 17.7 | 12.2 | 15.9 | 口縁部は横ナデ、胴部は細かい縦刷毛目、裾部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は指押さえ、裾部は横ナデ | にぶい橙色～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の黒色粒 | 良好 | 全体の 1/3 弱残存 |



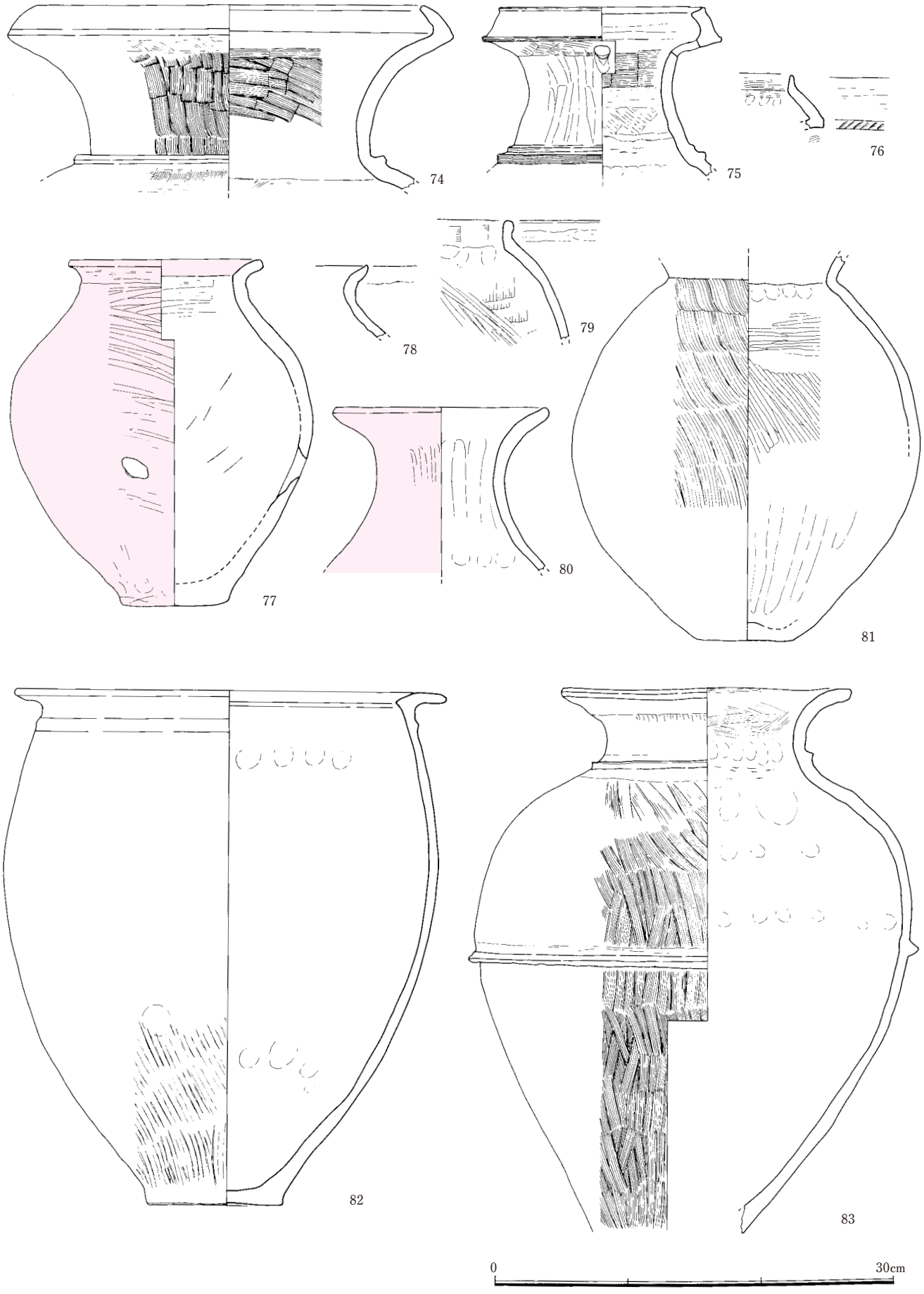

**第 16 図**　土器群 102 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]



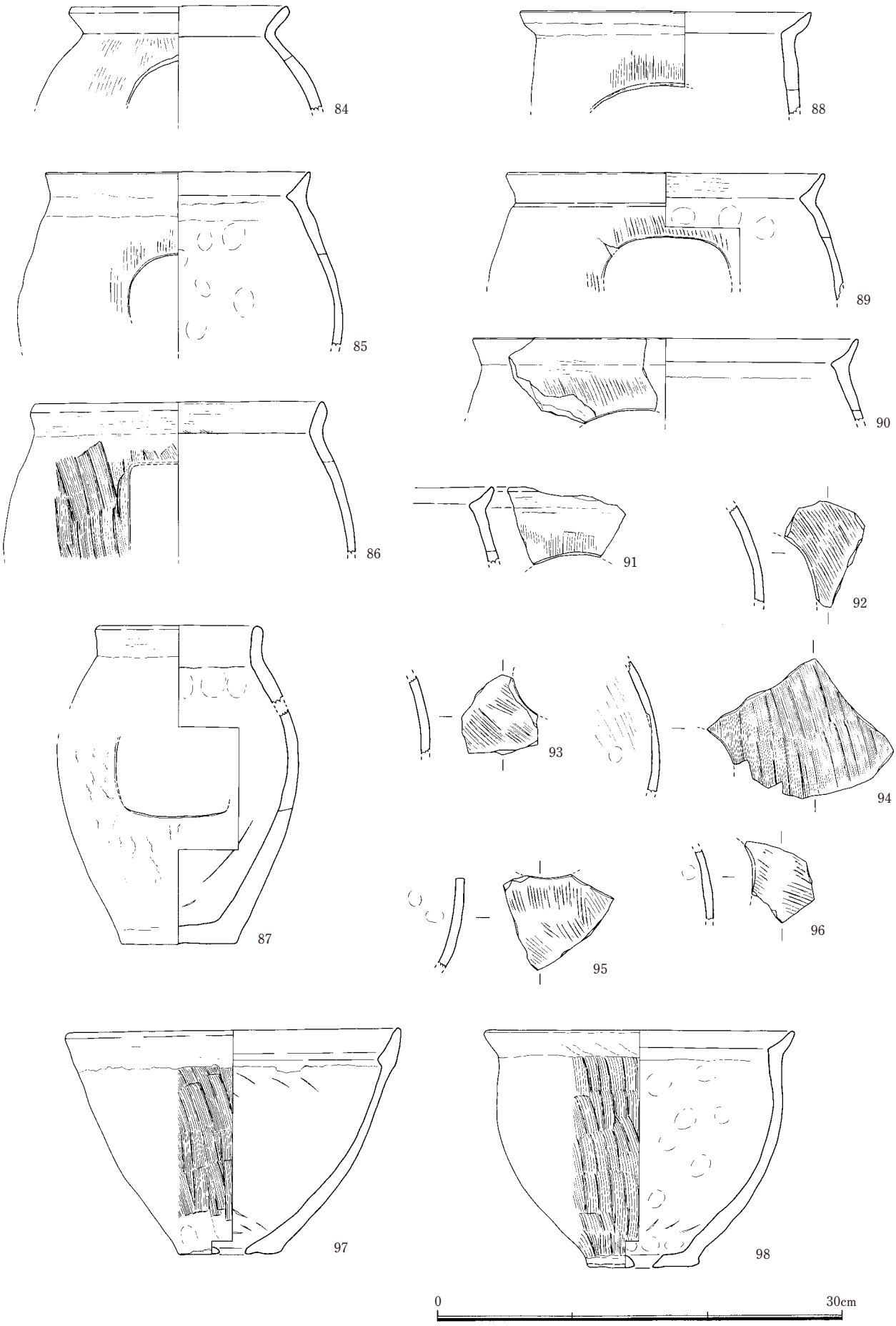

**第 17 図**　土器群 102 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]

# 表 5　土器群 103 出土土器観察表（1）

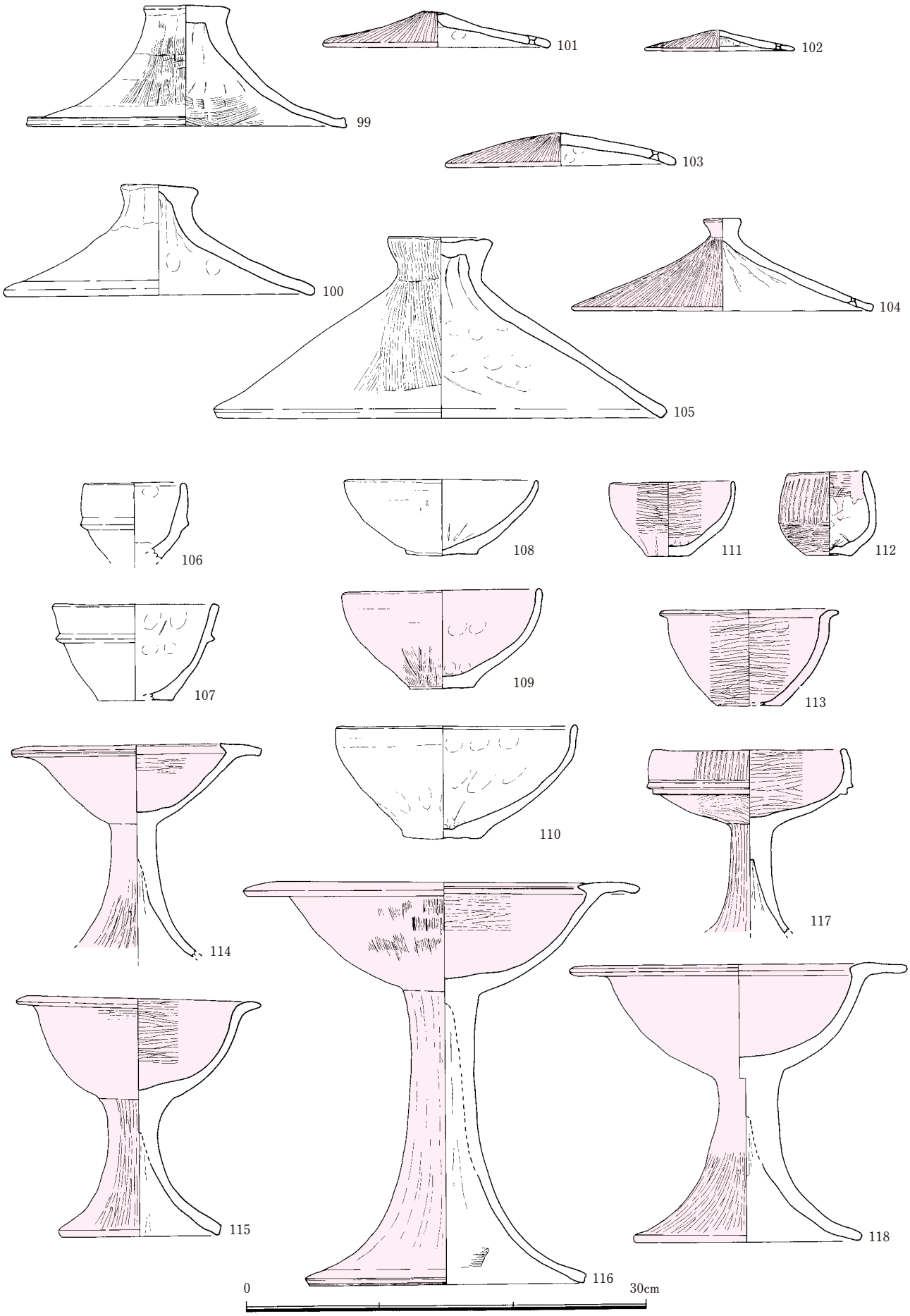
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 18 | 74 | Ⅱ | 103 | お⑥F | 壺 | — | 33.4 | — | 口縁部端は横ナデ、頭部は横ナデ･ナデけし～縦刷毛、突帯部は横ナデ消し、肩部は縦刷毛・横ナデ | 口縁部端は横ナデ、頭部にかけ横・斜めの刷毛、突帯付近はナデ・ナデ消しで肩部は刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英･長石粒･黒色粒･雲母 | 良好 | 残存：1/2 弱（壺の上半部） |
| 18 | 75 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | — | 15.6 | — | 口縁部は横刷毛、頭部上位は横・斜刷毛目・縦刷毛目、中位～下位は縦ヘラナデ、突帯部付近は横刷毛目 | 口縁部端から口縁部は横ナデ､頭部上位は横刷毛目、下位は斜刷毛目、肩部はナデ、粘土の貼り付け | 灰白色～浅い黄橙色 | 精緻、微粒の灰白色粒 | 良好～かたい | 壺の口縁部と頸部の境に 2.0 × 1.5cmの焼成後の穿孔あり |
| 18 | 76 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | — | — | — | 口縁部上位は横ナデ、口縁部下位はナデ | 口縁端部は横刷毛目、口縁部上位横刷毛目、下位はナデ、 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 口縁部と頸部との境は刻み目を斜めに施す |
| 18 | 77 | Ⅱ | 103 | Y-3 | 壺 | 26 | 14.7 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、肩部～横ヘラ研磨・ナデ底部付近は縦ヘラか | 口縁部上端は横ナデ、頸部は横方向の板ナデか他はナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：(口縁を 1/3 欠く)、斑状の黒斑あり、胴部中位以下に 2.3 × 1.2cmの焼成後の穿孔あり |
| 18 | 78 | Ⅱ | 103 | R01 | 壺 | — | — | — | 磨滅～ナデ | ナデ | 灰白色～灰オリーブ | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | やや軟 | うっすらと器表に赤い部分がある。丹塗りだったか、傾きが不正確 |
| 18 | 79 | Ⅱ | 103 | き-4 | 壺 | — | — | — | 磨滅 | 口縁部は横刷毛、肩部～粗い刷毛、胴部に工具痕あり | にぶい黄橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 小片 |
| 18 | 80 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | — | 16.2 | — | 器表の磨滅が著しい（ヘラ？） | 口縁部はアレ・磨滅、頸部は指ナデ・指押さえ | 橙色 | 3㎜以下の赤色粒、1㎜以下の石英・長石粒 | やや軟 | 残存：3/5 |
| 18 | 81 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | — | — | 7.3 | 口縁部は横ナデ、肩部から胴部中位は縦刷毛目底部付近はナデ | 口縁部はナデ、頸部は指押さえ肩部は横ヘラナデ、胴部は縦方向にヘラ状工具でナデ、底部付近は指ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：口縁部より下は全周残っている（割れ口は古くなく意図的に打ち欠いたものではない） |
| 18 | 82 | Ⅱ | 103 | V-1 | 甕 | 38.8 | 32.4 | 10.1 | 磨滅が著しい、胴部下位～粗い縦刷毛 | 口縁部上面は横ナデ、他は磨滅 | 外：にぶい黄橙色～灰黄、内側下半部は灰黄色、 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3、外側上半部の磨滅著しい、口縁直下に低い突帯が一条巡る、口縁上端は橙色（丹塗り？） |
| 18 | 83 | Ⅱ | 103 | Z-1・2 | 壺 | — | 22 | — | 口縁部は横ナデ､頸部は工具痕、突帯部は横ナデ、肩部から胴部は縦刷毛・ナデ消し～刷毛 | 口縁部は横刷毛、頸部は刷毛、突帯部は指押さえ他はナデ | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 石英・長石粒を多く、1.3cm大の大粒白色粒も混じる | 良好 | 残存：3/5（底部欠損） |
| 19 | 84 | Ⅱ | 103 | — | 壺 | — | 16 | — | 口縁部は磨滅、肩部～縦刷毛・磨滅 | 口縁部は磨滅、肩部～ナデか磨滅 | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/6<br>半径約 3.8cmの丸い窓あり |
| 19 | 85 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 甕 | — | 19.6 | — | 口縁部は横ナデ・アレ、肩部から細かい縦刷毛・磨滅 | 口縁部は横ナデ、肩部からナデ・磨滅 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の赤色粒・橙色粒子 | 良好 | 残存：1/2（甕上半部）<br>径 7cm位の窓が開けられている |
| 19 | 86 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 甕 | — | 22 | — | 口縁部は横ナデ、肩部から胴部は刷毛目～縦刷毛 | 口縁部は横ナデ・横刷毛、肩部～ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/4（甕の口縁部）<br>隅丸方形の孔があけてあった様だ。鋭い工具で土器を切り取っている |
| 19 | 87 | Ⅱ | 103 | き⑥1・4 | 壺 | — | 約 12.4 | 8.5 | 横ナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 明黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3、口縁部は僅か残存、壺には珍しく丸隅方形様の窓がある |
| 19 | 88 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 甕 | — | 21.6 | — | 縦刷毛・磨滅 | 口縁部・頸部は横ナデ、肩部～ナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/7（甕の口縁部）<br>丸ではなく大きな楕円の窓 |
| 19 | 89 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 甕 | — | 23.6 | — | 口縁部は横ナデ、肩部～縦刷毛・刷毛目あり | 口縁部は粗い横刷毛・ナデ、肩部～横ナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、黒色微粒子 | 良好 | 甕の口縁、隅丸方形の孔があいている |
| 19 | 90 | Ⅱ | 103 | Z-1・2 | 甕 | — | 28.6 | — | A：口縁部は横ナデ、頸部～縦刷毛<br>B：刷毛目 | A：口縁部･頸部は横ナデ、肩部～ナデ、B：ナデ | 灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 甕の口縁部<br>A B同一個体か？ |
| 19 | 91 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 甕 | — | — | — | 口縁部は横ナデ、頸部～縦刷毛 | 横ナデ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 甕の口縁部 |
| 19 | 92 | Ⅱ | 103 | Z-1・2 | 甕 | — | 28.6 | — | A：口縁部は横ナデ、頸部～縦刷毛<br>B：刷毛目 | A：口縁部･頸部は横ナデ、肩部～ナデ、B：ナデ | 灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 甕の口縁部<br>A B同一個体か？ |
| 19 | 93 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 甕 | — | — | — | 刷毛目 | — | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒 | 良好 | 甕の胴部破片 |
| 19 | 94 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 胴部片 | — | — | — | 細かい刷毛目 | 指ナデ・工具でナデたか | にぶい赤褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 胴部片 |
| 19 | 95 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 甕 | — | — | — | 刷毛目 | 指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、黒色微粒子 | 良好 | 甕の胴部破片 |
| 19 | 96 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 甕 | — | — | — | 刷毛目 | 指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 甕の胴部破片 |
| 19 | 97 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 16.8 | 24.8 | 7.6 | 口縁部は横ナデ、頸部から胴部下位は細かい縦刷毛、底部付近はナデ | 口縁部は横ナデ、他は板ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：7/8<br>焼成前の穿孔（径 2.0cm）あり |
| 19 | 98 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 17.6 | 23 | 8.3 | 口縁部は横ナデ、胴部中位から縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部は指押さえあり | にぶい黄橙色、外側下半部が橙色部分あり 丹か | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：7/8<br>焼成前の穿孔（1.3 × 1.5cm）あり |
| 20 | 99 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 蓋 | 9 | 6.4 | 24.0 | 頂部は細かい刷毛・ナデ消し、肩部から裾部は細かい縦刷毛、裾部端は横ナデ | 頂部付近はナデ、裾部は横・斜の刷毛、裾部端はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好<br>かたい | 残存：2/3 |
| 20 | 100 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 蓋 | 8.3 | 5.7 | 23.3 | ナデ | 頂部付近はしぼり、裾部はナデ、裾部端は横ナデ | 外：にぶい黄橙色、内：褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子 | 良好 | 残存：4/5、煮炊きに使用したのか縁は黒く内側は褐色で汚れか？ |
| 20 | 101 | Ⅱ | 103 | — | 蓋 | 2.8 | 1.8 | 17.2 | 放射状のヘラ暗文 | ナデ・磨滅 | 橙色 | 精緻。2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子、 | 良好 | 残存：9/10、焼成前の穿孔（両端に 2 箇所 / 計 4）、頂部に凹みあり、丹塗り |
| 20 | 102 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 蓋 | 1.5 | 0.8 | 11.2 | 縦にヘラ研磨 | — | 橙色 | 精緻。微粒の白色粒 | 良好 | 残存：5/6、焼成前の穿孔 4 ヶ所あり、頂部はやや凹み。丹塗り |
| 20 | 103 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 蓋 | 2.5 | 1.1 | 17.2 | 放射状のヘラ暗文 | ナデ | 橙色、外：丹塗り、内：なし | 精緻。3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：7/8、焼成前の穿孔あり、頂部に少し凹みあり、円形でなくやや歪み |
| 20 | 104 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 蓋 | 7 | 2.9 | 22.5 | 細かいヘラ暗文 | 頂部付近はしぼり、裾部はナデ | 橙色 | 精緻。微粒の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/2、焼成後の穿孔か（片方に 2 カ所もう一方に半個）、頂部は平ら |
| 20 | 105 | Ⅱ | 103 | — | 蓋 | 13.5 | 8 | 34.0 | 頂部から細かい縦刷毛、裾部は横ナデ | ナデ・指押さえ | 浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：4/5 |
| 20 | 106 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 小鉢 | — | 7.3 | — | 口縁部～胴部はナデか | ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子 | 良好 | 全体の 1/3 残存 |
| 20 | 107 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 小鉢 | 7.2 | 12.6 | 5.6 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部ナデ | 灰黄褐色 | 白色粒子粒 | 良好 | 全体の 1/2 残存 |
| 20 | 108 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 5.8 | 14.6 | 5.8 | 横ナデ | 横ナデ | 黄灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好<br>かたい | 残存：7/8 |
| 20 | 109 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 7.5 | 15 | 4.8 | 口縁部～胴部上位は横ナデ、胴部中位～縦刷毛 | 口縁から底部まで横ナデ・指押さえ | もともとにぶい黄橙色<br>内・外ともに橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 口縁部：1/6 欠け<br>内・外：丹塗り |
| 20 | 110 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 8.4 | 18 | 6.0 | 口縁部～胴部はナデかアレ、底部にかけ削れている | 指押さえ・ナデ | 外：にぶい橙色<br>内：にぶい褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子 | 普通 | |
| 20 | 111 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 小鉢 | 5.6 | 9.3 | 3.0 | 口縁部～胴部中位は横ヘラ磨き、胴部下位は縦ヘラ磨き、底部はケズリ | 口縁部～胴部は横ヘラ磨き、底部は指押さえ | 灰黄色 | 5㎜以下の石英・長石粒、微粒の褐色粒子 | 良好 | 外底部を除き内外面に丹塗を施す |
| 20 | 112 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 小鉢 | 6.4 | 6 | 3.4 | 口縁部～胴部中位は縦方向の暗文、胴部下位は細かいヘラ磨き、底部はナデ | 口縁部は横刷毛目、胴部～底部は板状工具によるナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 口縁部わずかに欠損、内面の丹塗は胴部上位まで施す、外底部は施さず |
| 20 | 113 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 7.2 | 13.4 | 4.8 | 口縁部はナデ、肩部は磨滅 | 口縁部はナデ、胴部は横ヘラミガキ | にぶい黄橙色 | 精緻、3㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の褐色粒 | 良好 | |
| 20 | 114 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 高坏 | — | 18.7 | — | 坏部から頸部は磨滅、脚部下位は縦ヘラ研磨か | 坏部はよこヘラ研磨か磨滅、脚部は磨滅・ナデか | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | やや軟 | 残存：裾部欠損 |



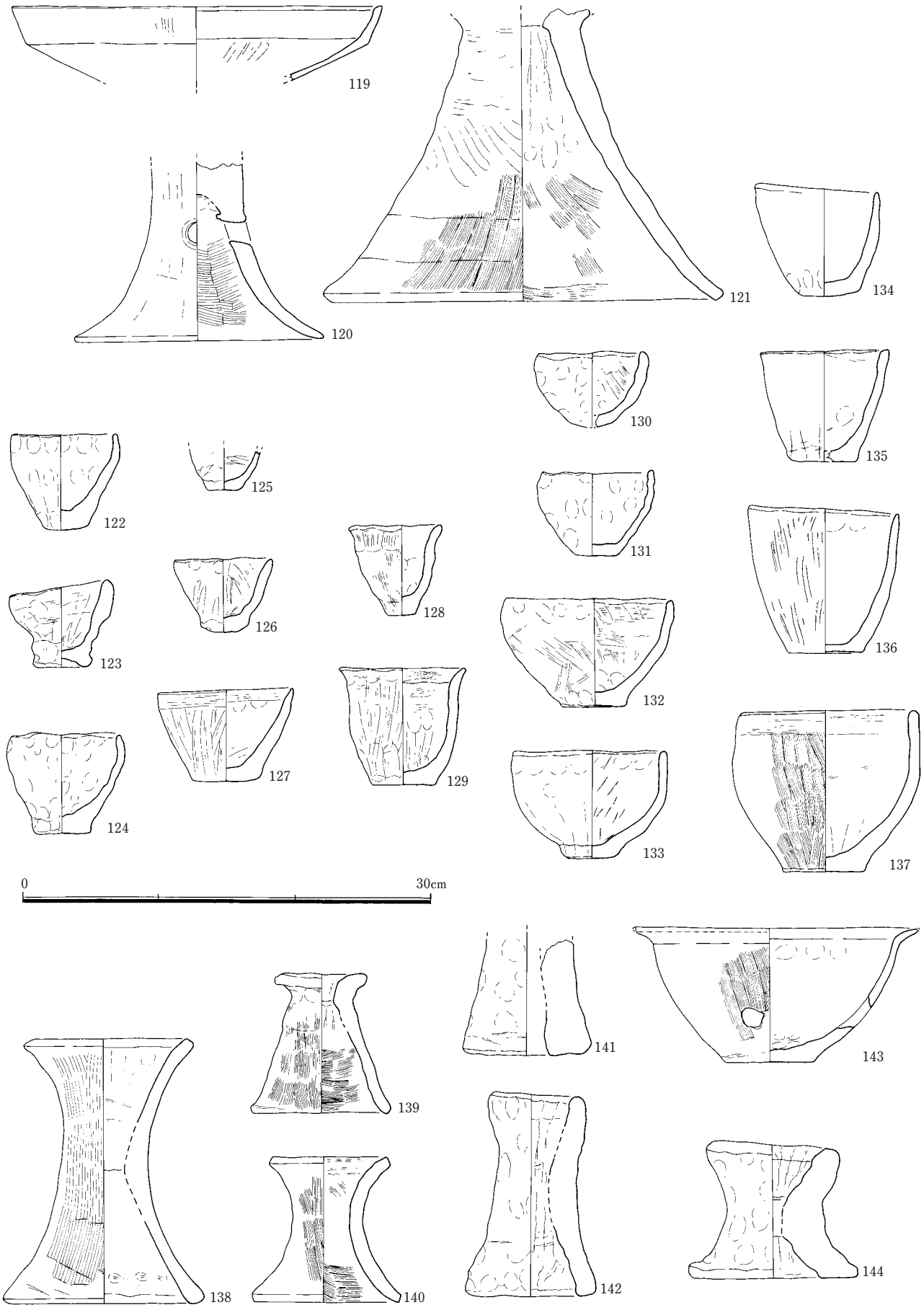

**第 18 図**　土器群 103 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]



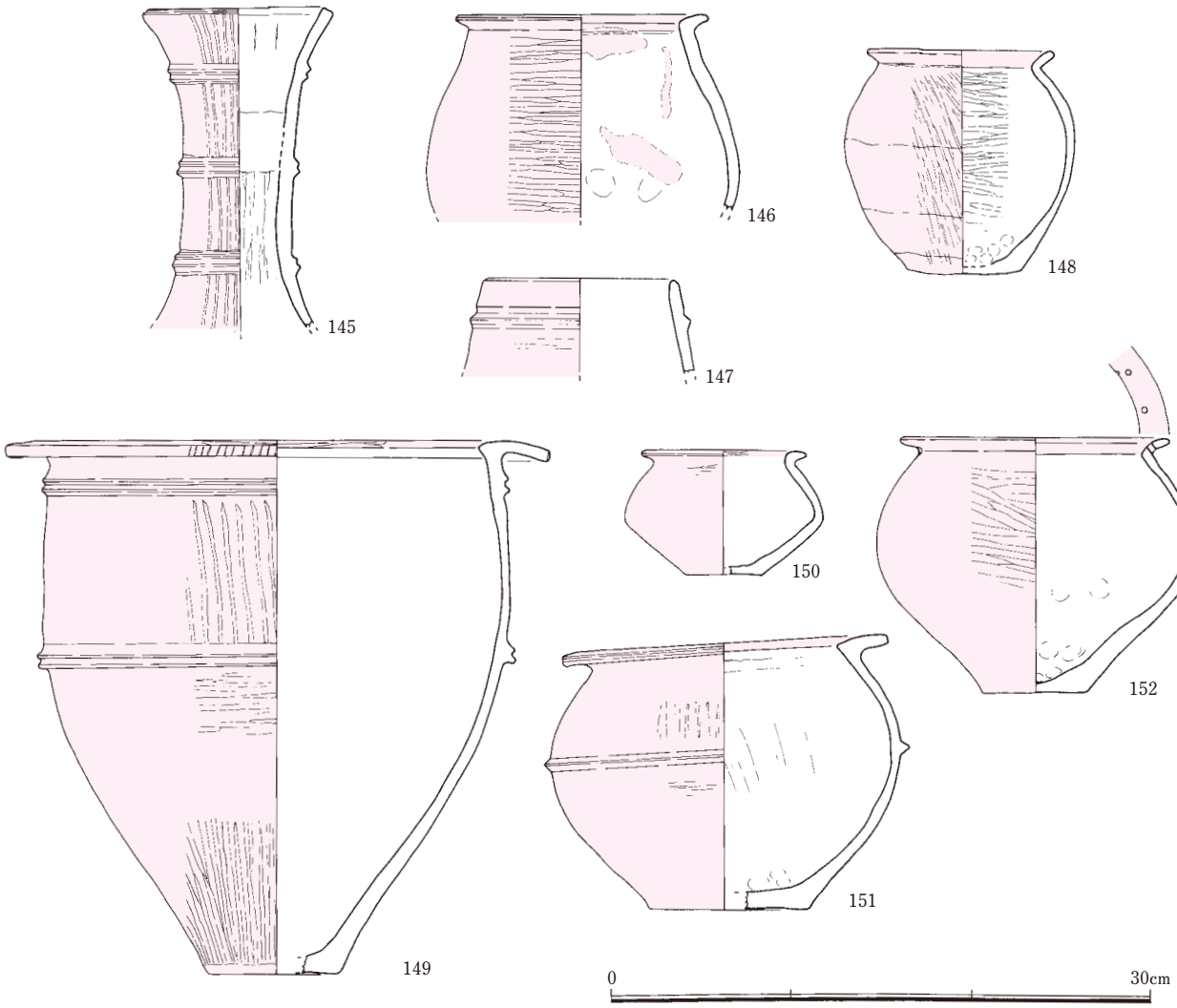

**第 19 図**　土器群 103 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]




**第 20 図**　土器群 103 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]



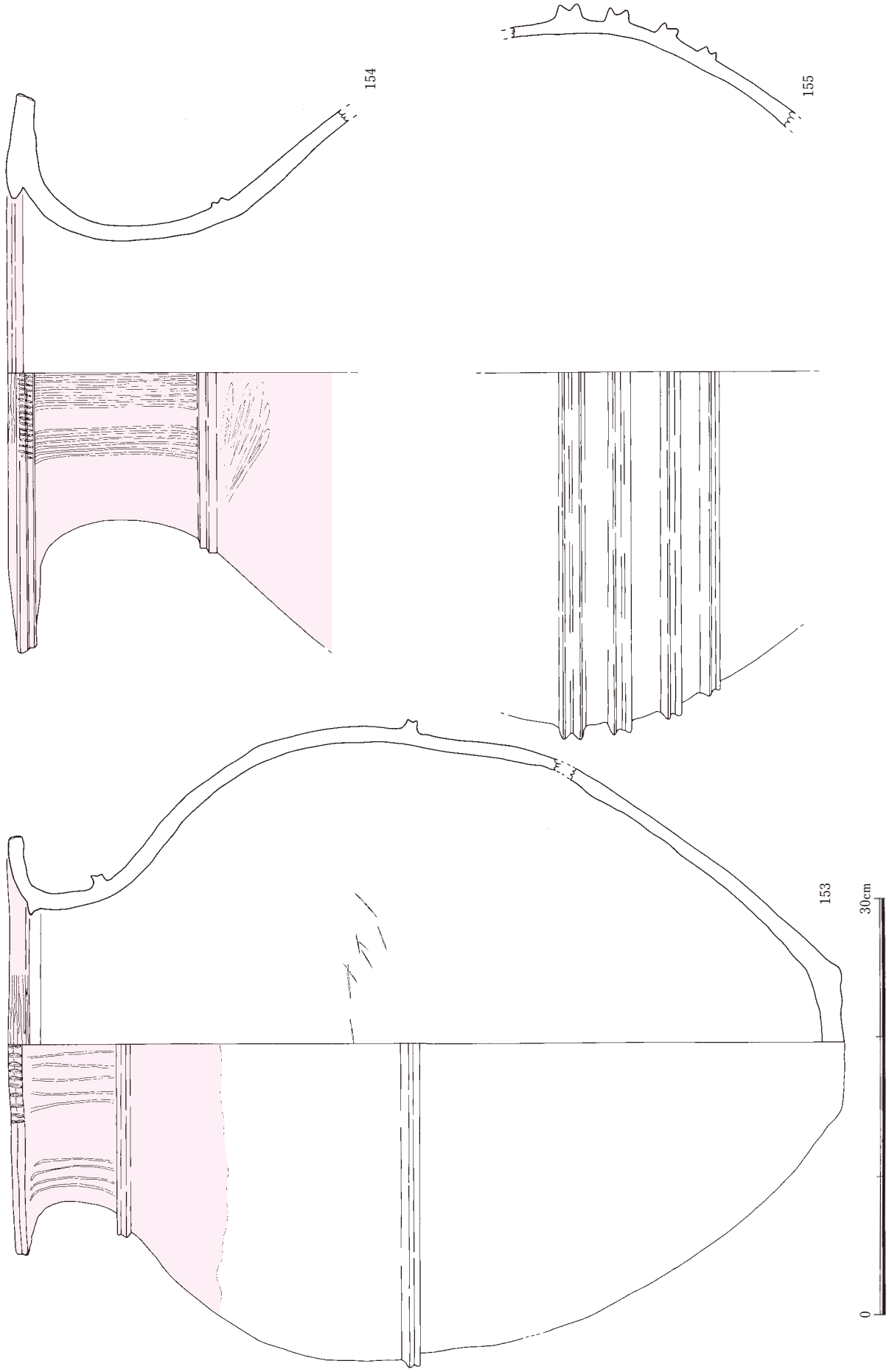

**第 21 図**　土器群 103 出土土器実測図（4）[ 1/ 4]



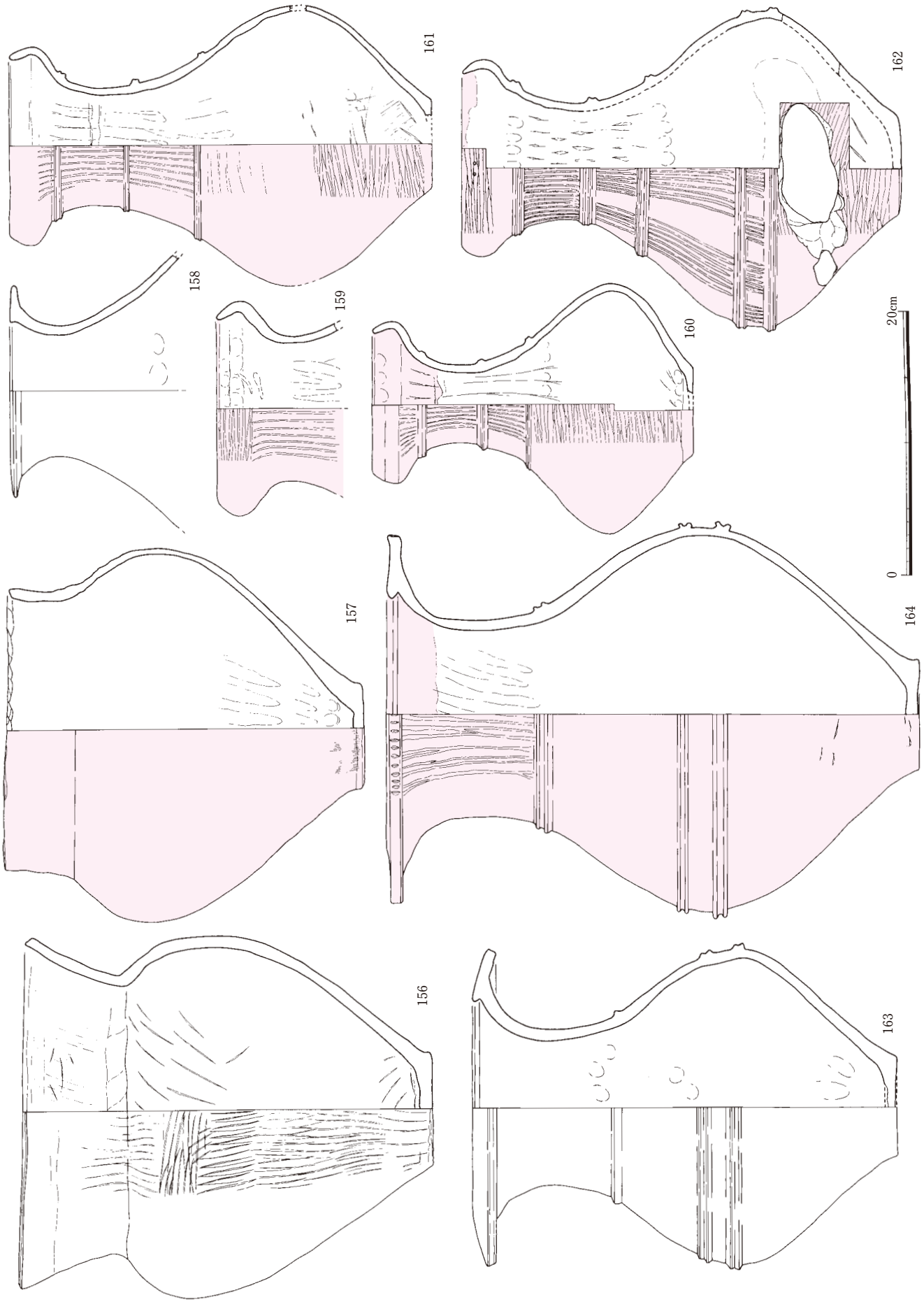

**第 22 図**　土器群 103 出土土器実測図（5）[ 1/ 4]

**表6**　土器群 103　出土土器観察表（2）

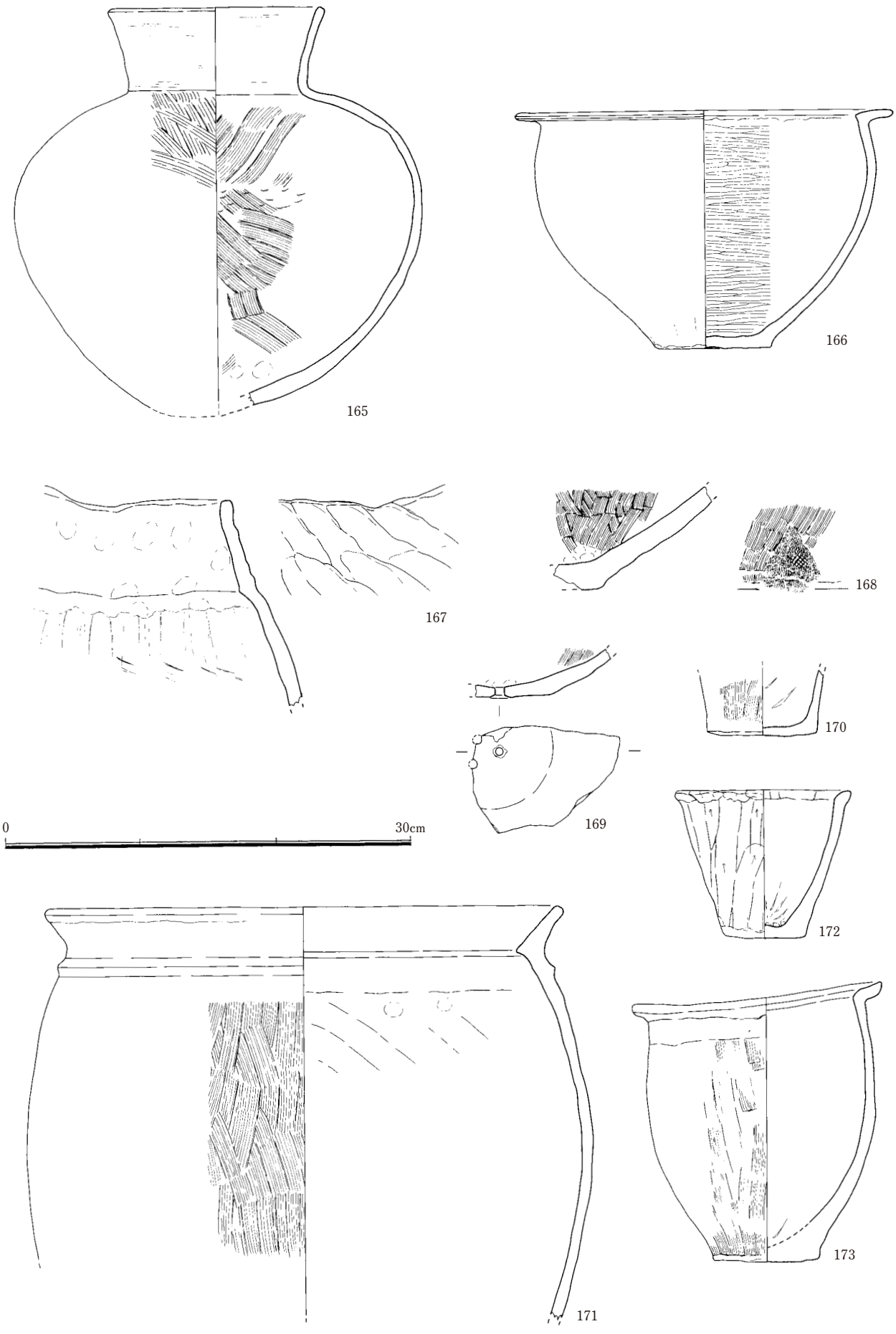
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 20 | 115 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 高坏 | 17.6 | 18.4 | 12.2 | 坏部は磨滅、脚部は縦ヘラ・研磨か | 口縁部は横ヘラ研磨、坏部は磨滅、脚部はナデ裾部は磨滅 | 橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒・赤色粒 | 普通 | 残存：7/8 |
| 20 | 116 | Ⅱ | 103 | A -2 | 高坏 | 30.3 | 29.8 | 21.0 | 口縁部は細かい刷毛、坏下部は磨滅、脚部は縦ヘラ研磨・磨滅 | 口縁部上面は横ナデ、坏部は横ヘラ研磨～磨滅、脚部下位は磨滅・横ナデ | 橙色 | 精緻、白色微粒子 | 良好 | 残存：9/10 |
| 20 | 117 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 高坏 | — | 14.5 | — | 口縁部は縦ヘラ、坏下部は横・斜ヘラ研磨、脚部は縦ヘラ研磨 | 口縁部は横ヘラ研磨、坏下部は横ヘラ・斜のヘラ研磨 | 浅黄橙 | 精緻、白色微粒子・雲母 | 良好 | 残存:7/8（上半部）、裾部なし、外側丹塗り |
| 20 | 118 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 高坏 | 20.8 | 25.2 | 17.0 | 坏部は磨滅、脚部は縦ヘラ・研磨か | 口縁部上面から坏部は磨滅、脚部はしぼり～ナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の橙色粒子 | 普通 | 残存：7/8<br>丹塗り |
| 21 | 119 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 高坏 | — | 27.2 | — | 口縁部～胴部はヘラ磨き | 口縁部～胴部は横ナデ（器面の磨滅著しい） | 灰白色～灰黄色さらににぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の黒色粒、褐色粒、微粒の雲母 | 良好 | 坏部 1/2 残存，内外面に丹塗りを施していた可能性ある |
| 21 | 120 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 高坏 | — | — | 18.2 | 磨滅 | 粗い刷毛～磨滅 | 灰黄色 | 5㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の褐色粒 | 良好 | 高坏の脚台部（裾部はほとんどない）、径 1.6 ｃｍの焼成前の穿孔が３カ所あり<br>磨滅が著しい |
| 21 | 121 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 脚台部 | — | — | 29.3 | 頸部はタタキ・ナデ～指押さえ裾部は細かい縦刷毛目 | 頸部からしぼり～指ナデ裾部は細かい縦刷毛、裾部端は横刷毛 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/10 弱（脚台部）<br>脚台部（大）で実測 |
| 21 | 122 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 7 | 7.1 | 3.2 | 口縁部～胴部は縦ナデ・指圧痕 | 口縁部～底部までまで・指圧痕 | にぶい赤褐色 | 細かい粘土、石英、長石粒 | 良好 | 完形、外底は僅かに丸みを持つ |
| 21 | 123 | Ⅱ | 103 | R15 | 手捏ねの鉢 | 6.4 | 7.2 | 3.5 | 横ナデ・板状工具でも調整、底部は手で高台らしきものをつくりぶよぶよ | 口縁部から胴部にかけ横ナデ、底部付近は先の鋭い工具で調整 | 灰白色 | 精緻、微粒の石英・長石粒 | 良好 | 完形<br>中の方だけ黒い |
| 21 | 124 | Ⅱ | 103 | Z-1・2 | 手捏ねの鉢 | 7.4 | 8 | 4.0 | 指押さえ | 指押さえ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・微粒の雲母 | 良好 | 残存：口縁部 2/3 欠く |
| 21 | 125 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 小鉢 | — | — | 2.5 | 不明 | 胴部横刷毛 | 外：にぶい褐色<br>内：橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 口縁部欠損 |
| 21 | 126 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 手捏ねの鉢 | 7.2 | 5.5 | 3.4 | 口縁部～胴部はナデか | 口縁部～胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完形 |
| 21 | 127 | Ⅱ | 103 | Z-1・2 | 手捏ねの鉢 | 6.9 | 10 | 5.0 | 口縁部は横ナデ、胴部から底部にかけ板状工具で器表を調整 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 橙色 | 微粒の石英・長石粒・黒色粒・雲母 | 良好 | 残存：7/8 |
| 21 | 128 | Ⅱ | 103 | Z-1・2 | ミニチュア手捏ね土器 | 約 6.7 | 約 7.0 | 2.0 | 刷毛目 | 口縁から胴部は磨滅、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英･長石粒･黒色粒･赤色粒 | 良好 | 残存：口縁 1/2 欠く<br>天地逆で支脚か？ |
| 21 | 129 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 手捏ねの小さい甕 | 8.6 | 9.3 | 4.8 | 口縁部は指押さえ・横ナデ、胴部から底部は板状工具により器壁を調整 | 口縁部から胴部下位は横ナデ、底部は指押さえ、胴部下位は板状工具で調整 | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：殆ど完形、内・外ともに黒い、全体に煤付着、内底も黒い |
| 21 | 130 | Ⅱ | 103 | X-3 | 手捏ねの鉢 | 5.5<br>推定 | 8 | — | 口縁～底部は指押さえ | 口縁～底部は指押さえ | 浅い黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 全体の 1/2 残存，丹塗りを内外面に施す |
| 21 | 131 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 6.2 | 8 | 3.2 | 口縁端部～胴部は指押さえ | 口縁部～底部まで指押さえ | にぶい赤褐色～褐色 | 細かい粘土、石英、長石粒 | 良好 | 完形、底部は僅かに丸みを持つ |




**第 23 図**　土器群 103 出土土器実測図（6）[ 1/ 4]



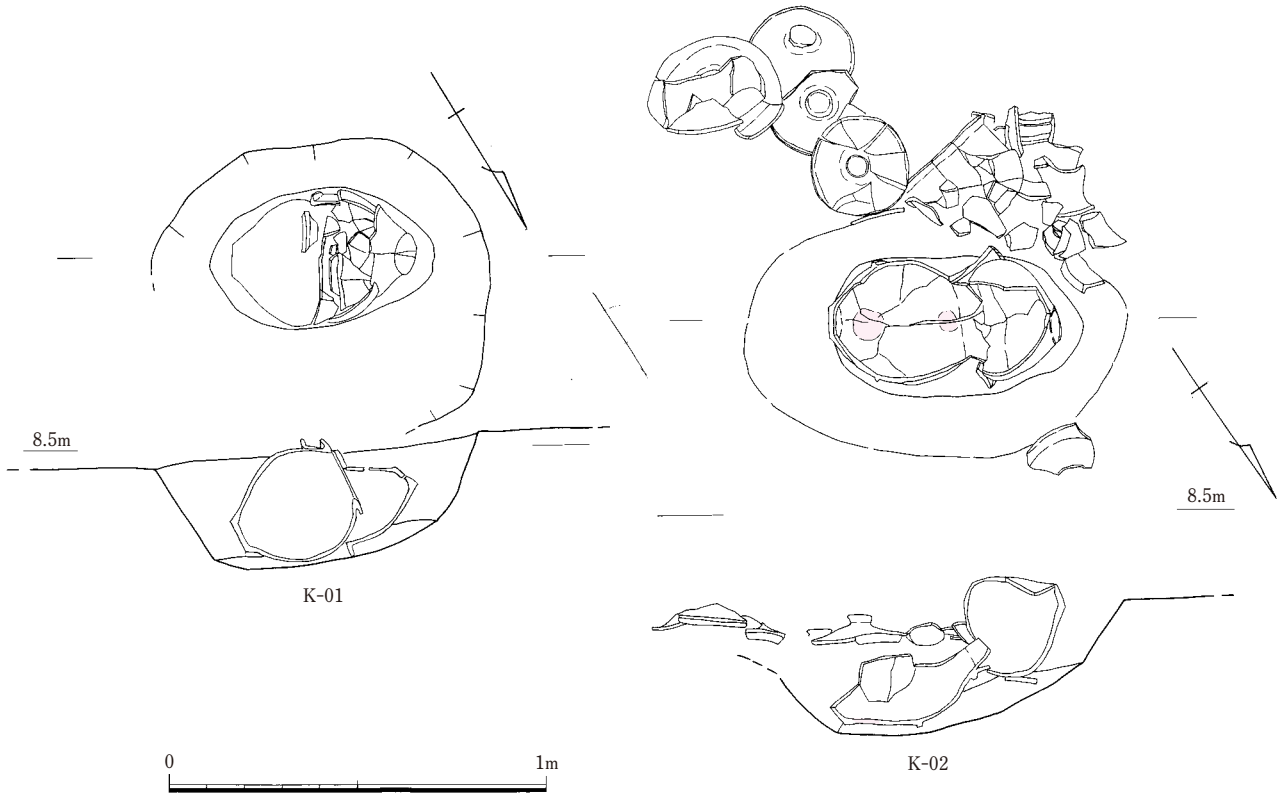

**第 24 図**　土器群 103 出土土器実測図（7）[ 1/ 4]




**第 25 図**　土器群 103 出土土器実測図（8）[ 1/ 4]

## 表7　土器群 103 出土土器観察表（3）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 21 | 132 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 8.1 | 12.2 | 4.8 | 口縁部は指押さえ・横ナデ、胴部は以下状工具でナデ、胴部と底部の境には指圧痕が見られる | 口縁部は横ナデ、胴部は横刷毛目、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、黒色粒 | 良好 | 全体の 9/10 残存、底部はやや上げ底ぎみである |
| 21 | 133 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 7.9 | 11.2 | 4.4 | 磨滅があるが指圧痕がみられる | 口縁部は指押さえ、他は磨滅であるが板状工具の圧痕ある | 橙色 | 精緻、灰色微粒子粒 | 普通 | 全体の 9/10 残存、内・外面に丹塗をしっかりと施す |
| 21 | 134 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 7.9 | 8.9 | 4.3 | 口縁端部は横ナデ、口縁から胴部まではナデ、胴部と底部の境には指圧痕ある | 口縁部～底部はナデ | にぶい赤褐色 | 細かい粘土、石英、長石粒 | 普通 | 全体の 1/2 残存、外底部は僅かに丸みを持つ |
| 21 | 135 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 8.2 | 9.4 | 5.0 | 口縁部～胴部はナデ？ | 口縁部～底部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、褐色粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存 |
| 21 | 136 | Ⅱ | 103 | お６② | 甕 | 10.8 | 11 | 5.6 | 口縁部～胴部は粗い刷毛目 | 口縁部は指押さえ、胴部～底部はナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母・黒色粒 | 良好 | 全体の 1/2 残存 |
| 21 | 137 | Ⅱ | 103 | — | 鉢 | 11.7 | 12.4 | 6.2 | 口縁部横ナデ、胴部～底部は縦刷毛 | 口縁部横ナデ、胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 全体の 5/6 残存 |
| 21 | 138 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 器台 | 19.5 | 12.4 | 14.7 | 口縁部～裾部まで縦刷毛目（木口の圧痕明瞭） | 口縁部は横ナデ、その他はナデ、裾部に指押さえ痕 | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完形 |
| 21 | 139 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 支脚、器台？ | 10.3 | 6.6 | 10.3 | 口縁部～裾部縦刷毛目 | 口縁部はナデ、裾部は横刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/2 |
| 21 | 140 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 器台 | 10.7 | 8.4 | 10.1 | 口縁端部は横ナデ、口縁部は縦刷毛目のちナデ消し、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横・斜刷毛目、胴部はナデ、裾部は横・刷毛目斜 | にぶい黄橙色～橙色 | 細かい石英・長石粒や粘土 | 良好 | 完形 |
| 21 | 141 | Ⅱ | 103 | — | 器台 | — | — | 9.3 | 胴部～裾部は指押さえ | — | 明褐色～褐色 | 金雲母・銀雲母、その他 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 下半部は全周有り<br>底部には何かの上で造った痕跡あり |
| 21 | 142 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 器台 | 15 | 6.3 | 9.6 | 口縁部～裾部まで指押さえ | 向ん部は指押さえ・ナデ、胴部は指しぼり、裾部はナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完形 |
| 21 | 143 | Ⅱ | 103 | お⑥２ | 鉢 | 10cm 前後 | 21cm位 | 6.6 | 胴部～底部は縦刷毛・磨滅 | 口縁部は磨滅、口縁下ら胴部はナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母・黒色粒 | 良好 | 残存：4/5（先端が全周欠けている、意識的に欠いたのかは不明）、焼成後の穿孔あり |
| 21 | 144 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 器台 | 10.2 | 9.7 | 12.5 | 口縁部～裾部まで指押さえ | 裾部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形 |
| 22 | 145 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 壺 | — | 10.5 | — | ヘラによる暗文 | 口縁部は横ナデ、頸部はナデ～しぼり、口縁部に工具痕あり | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒<br>緻密な胎土 | 普通 | 残存：5/6（壺の口縁部） |
| 22 | 146 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | — | 17 | — | 口縁部～胴部は横ヘラ・研磨 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：上半部 1/3<br>口縁部内側から外側にかけ丹塗り |
| 22 | 147 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 壺 | — | 10.2 | — | 口縁部～胴部上位は横ナデ or 横ヘラ磨き（磨滅により不明） | ナデ | にぶい黄橙色 | 白色微粒子・黒色粒・雲母 | 良好 | 口縁～胴部上位 1/6 残存 |
| 22 | 148 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | 12.5 | 10.5 | 6.3 | 斜・縦方向のヘラ | 口縁部は磨滅、胴部は横方向のヘラナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の黒色粒・雲母 | 普通 | ほぼ完形 |
| 22 | 149 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 甕 | 29.5 | 30.2 | 7.2 | 頸部は横ナデ～縦ヘラ研磨、胴部は横ヘラ研磨らしいが磨滅し不明、胴部下位は縦ヘラ研磨 | 口縁部上面は横・斜のヘラ研磨、他はナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒・雲母 | 良好 | 残存：8/9、口縁部上面横に刻み目あり、 やや上げ底気味、底部の残存は少ないが、丹塗は施さず |
| 22 | 150 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | 6.9 | 9.2 | 4.2 | 口縁部～胴部は横ヘラ磨き？底部はナデ | 口縁端部は横ヘラ磨き、他はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 内外面ともにきめ外底部を除き内外面に丹塗を施す |
| 22 | 151 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | 15.2 | 18.1 | 8.8 | 肩部は縦ヘラのち横ナデか（磨滅が著しい）、突帯部横ナデ胴部は横ヘラか（磨滅） | 口縁上部は横ナデ、口縁部横ナデ、胴部は縦ナデ底部は指押さえ | にぶい黄橙色<br>外側：丹塗り | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の褐色粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：3/5 |
| 22 | 152 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | 14.2 | 15 | 6.0 | 口縁部から胴部はヘラ研磨・磨滅、胴部下位から底部は磨滅・アレ | 口縁部から胴部下位はナデ、底部は指押さえ | 浅黄橙色 | 微粒の白色粒・橙色粒子 | 普通 | 残存：4/5（無頸壺）、器表は大部分はがれて磨滅しているよう、口縁部に両端に２ヵ所ずつ焼成前の穿孔あり、口縁部にヘラがふれたか凹んでいる箇所あり |
| 23 | 153 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 壺 | 約 59.5 | 28 | 10.0 | 口縁部上端は刻みが全周めぐる、頸部は暗文が全周めぐる。肩部～ナデ | 口縁部上面はミガキ、頸部は横ナデ、他はナデ | 灰黄色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3（図上復元）、暗文は４本 -5 本 -4 本 -5 本となっているが薄く見えない部分もあるため不確か |
| 23 | 154 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | — | 40 | — | 口縁部上端は刻み目、口縁部は横ナデ、頸部は暗文が等間隔に全周、突帯部は横ナデ肩部はナデ | 口縁部から頸部は横ナデ、肩部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：4/5（壺の上半部）、突帯下（１カ所）に鈍なギザギザの暗文、橙色の丹塗り |
| 23 | 155 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 壺 | — | — | — | 横ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 最大胴部径は 50cm、多数突帯の胴部破片は多数見つかっているが同一かは不明、外側は黒っぽい（黒色顔料か汚れか） |
| 24 | 156 | Ⅱ | 103 | Z-1・2 | 壺 | 31.4 | 26.7 | 8.6 | 口縁部は横ナデ～ナデ・粗い刷毛目、肩部は横方向、胴部は粗い刷毛目 | 口縁部は横ナデ～縦ナデ、頸部は指ナデ、肩部から英部には工具痕あり。 | 外・内：橙色<br>外側全体と内側口縁部は丹塗り | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の赤色粒 | 良好 | 残存：4/5<br>外側全体と口縁内側は丹塗り |
| 24 | 157 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | 27.2 | 21.3 | 8.0 | 口縁部から胴部下位まで器表が全部剥離、下位から底部にかけ刷毛目（丹塗り） | 口縁部ナデ、胴部は指ナデ底部は指押さえ | 外：明黄褐色<br>内：灰褐色 | 5㎜以下の赤色粒・石英・長石粒を多く含む | 普通 | 残存：9/10、口縁打ち欠き（口縁部全周残なし、意図的に打ち欠き） |
| 24 | 158 | Ⅱ | 103 | — | 壺 | — | 16 | — | — | 磨滅・アレ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 普通 | 残存：1/4 |
| 24 | 159 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | — | 14 | — | 口縁部は横方向のヘラ研磨、頸部は縦ヘラ・縦の暗文が全周に周る | 口縁部指押さえ、頸部から肩部はナデ～指ナデ | 橙色（外は丹塗り） | 微粒の石英・長石粒・赤色粒・雲母 | 普通 | 壺口縁部：全周有り |
| 24 | 160 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | 24.3 | 10.8 | 6.5 | 頸部から肩部はヘラ暗文、胴部は横ヘラ磨き | 口縁部は横ナデ・指押さえ頸部はしぼり胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 精緻 | 普通 | 残存：3/5、丹塗りだが橙色でなくにぶい赤褐色を呈す、底部中心欠損 |
| 24 | 161 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | — | 13.6 | 6.7 | 袋状口縁部は横ナデ、頸部は縦ヘラの暗文、肩部は横ヘラ研磨か磨滅、胴部下位は横ヘラ研磨 | 口縁部は横ナデ、頸部はしぼり他は板ナデ | 橙色（丹塗り） | 精緻、白色微粒子 | 良好 | 残存：4/5（丹塗り磨研の壺）、図面上で復元、不定方向に削りあり |
| 24 | 162 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | 33.5 | 13.2 | 7.1 | 口縁部横ヘラ・研磨、頸部にかけ横ナデ～縦ヘラによる暗文（全周）、肩部も横ナデ～縦ヘラによる暗文（6～7本ずつ間隔をあけている。胴部にかけ横ナデ・縦ヘラによる暗文（等間隔）。胴部下位から底部は横ヘラ研磨 | 袋状口縁部は横ナデ、頸部はしぼり胴部はナデ～ヘラ研磨<br>中位より下に丹が少し塗られている | にぶい橙色～明褐色 | 細かい粘土、石英・長石 | 良好 | 丹塗り磨研・袋状口縁壺、残存：口縁部 1/2 欠損、・口縁外側に焼成後の未貫通の孔（径 0.2cm）あり（反対側の口縁部は欠損のため対称的か不明）、・下半部に２つ焼成後の孔（大 /5.5 × 9.0cm小 /2.4 × 2.7cm）あり |
| 24 | 163 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 壺 | 32.2 | 24 | 7.6 | 頸部から肩部はナデ、突帯部は横ナデ、胴部下位からナデ | 口縁部上面は横ナデ、頸部はナデ、胴部から底部は剥離が著しい・ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | 普通<br>やや軟 | 残存：1/2<br>下半部内部は器表の剥離が著しい |
| 24 | 164 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | 40.4 | 27.4 | 8.4 | 口縁部から頸部は暗文が全周めぐる。肩部～磨滅・ナデ | 口縁部上面は横ナデ、口縁部はナデ、頸部は指ナデ、胴部から底部はナデ、底部中心がもり上がる（やや上げ底） | にぶい橙色 | 精緻 | 良好 | 残存：5/6、丹塗りだが全体的に薄黒い。下に黒色顔料を施したか、汚れ |
| 25 | 165 | Ⅱ | 103 | R19 | 壺 | — | 16 | — | 口縁部は横ナデ、頸部から肩部は刷毛・ナデ消し、胴部はナデ | 口縁部は横ナデ、肩部は刷毛目と爪痕？ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6（底部欠損） |




**第 26 図**　土器群 103 内検出の K-01・02 号甕棺墓出土状況 [ 1/20]

## 甕棺墓（図 26）

土器群 103 では流路の落ち際で甕棺墓 2 基が検出された。

Ｋ０１は胴部上半の張った下甕を鉢形土器の上甕が口を覆うように組み合わせたもので，土器群との切りあいは認められなかった。約 28 度の埋置角度をはかる。上下ともに平坦な口縁部をもつ。下甕の内面は器壁が粒状に剥落した箇所がある。時期は中期後半に比定される。

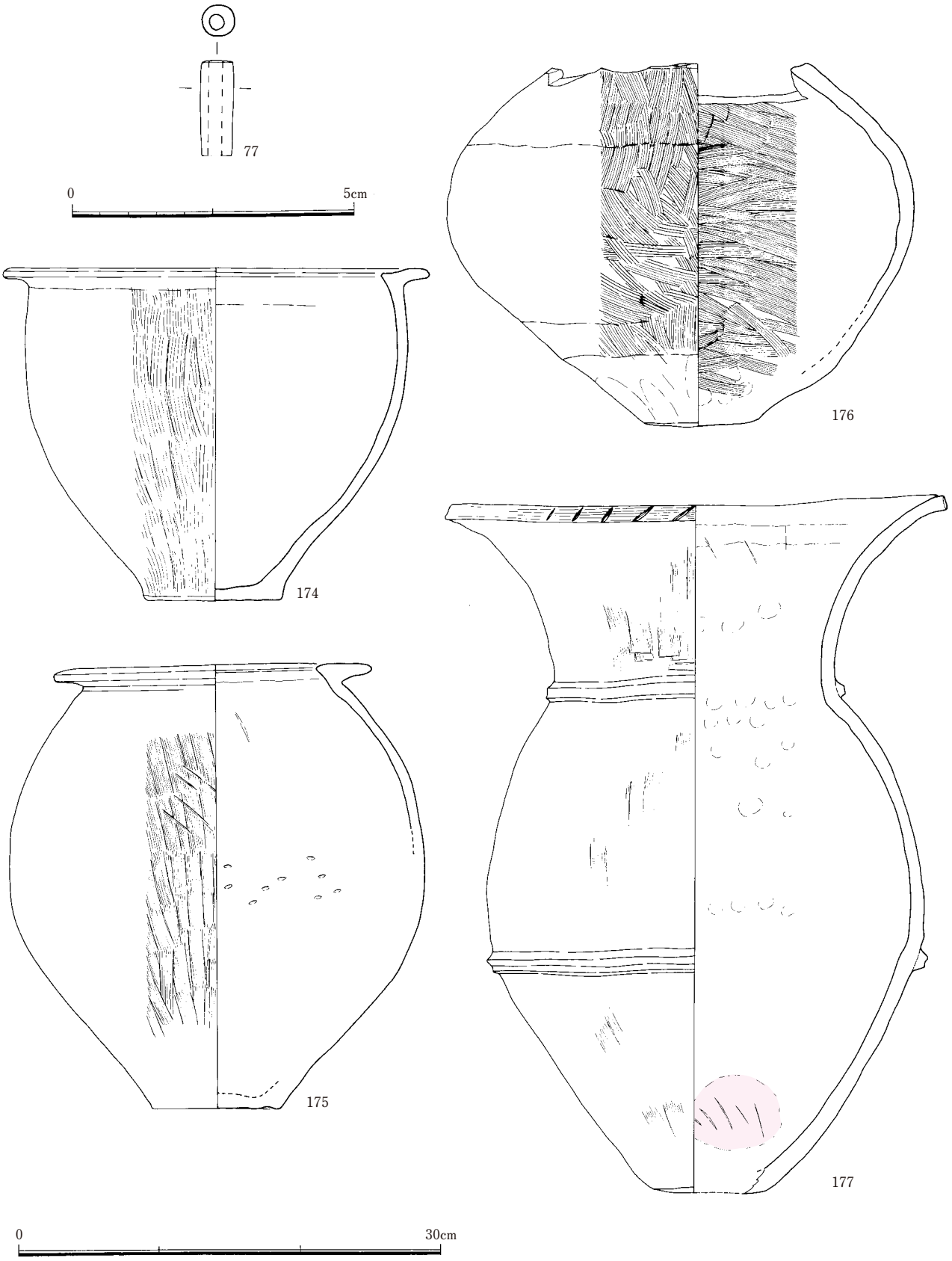
Ｋ０２は土器群を掘りこんで埋置されている。約 20 度の埋置角度をはかる。下甕は口縁部を打ち欠いているが広口壺として復元することができた。上甕は口縁部を打ち欠いた壺形土器を用いているが、口縁部は検出されなかった。下甕の打ち欠いた口縁部は、上甕の下に置いた状態で出土した。下甕の頸部と底部付近で赤色顔料が検出された。また下甕から暗緑色の管玉 1 点が出土した。

Ｋ０２は上下ともに不安定な平底であること、ハケ目をナデ消していないことから弥生後期中頃の古段階の高三瀦式新段階から下大隈式にかけての時期に比定される。

42 次調査で確認できた甕棺はこの 2 基のみである。土器の大きさだけからみると何れも小児用甕棺に分類される。

**表8**　土器群 103 内で検出された K-01・02 号甕棺墓出土土器観察表

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 27 | 174 | Ⅱ | 103 | K-01 | 鉢 | 23.5 | 30.2 | 9.6 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | にぶい黄橙色～灰白色 | 5㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 良好 | 残存：5/6<br>甕棺か |
| 27 | 175 | Ⅱ | 103 | K-01 南 | 甕 | 31.5 | 22.5 | 9.0 | 口縁部上面～頸部は横ナデ、胴部上位は斜方向の条痕あり（一部）、胴部は細かく丁寧な縦刷毛、底部付近は磨滅 | 口縁部は横ナデ、他はナデ（胴部中位に工具不明の調整痕あり） | 浅黄色 | 精緻<br>2㎜以下の石英・長石粒・褐色粒を含む | 良好 | 甕棺<br>ほとんど完形<br>底面は平底（一部周辺が凹む） |
| 27 | 176 | Ⅱ | 103 | K-02 上 | 壺 | 25.7 | — | 約 8.0 | 口縁部は打ち欠き、肩部から縦刷毛胴部中位は縦・横・斜の刷毛下位は縦刷毛、底部付近はケズリ | 細かい横・斜方向の刷毛 | 灰黄褐～にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 良好 | 甕棺の上部分<br>底部は若干丸みを持つ<br>1/2 周位表面が朱い部分あり。下甕の口縁内側にも赤い部分あり。水銀朱を被葬者に施した痕跡か。橙色ではない赤褐色の赤橙色 |
| 27 | 177 | Ⅱ | 103 | K-02 下 | 壺 | 49.5 | 35.4 | 約 8.0 | 口縁部端は横刷毛・刻み目、頸部は細かい縦刷毛・磨滅、上突帯部は横ナデ胴部は縦刷毛・磨滅、下突帯は横ナデ底部付近は細かい縦刷毛・磨滅 | 口縁部は横ナデ、指押さえ、底部に工具痕の中に朱色が入っている（水銀朱の痕跡か） | 灰黄～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 良好 | 残存：2/3（甕棺下甕）<br>口縁部は 2/3 残存、内側に朱い部分（20㎝）あり。 |
| 27 | 77 | Ⅱ | | K-02 | 管玉 | 1.7 | 0.59 | 0.59 | | | 暗緑灰色 | | | 完形品、緑泥変岩、孔径 0.25cm |

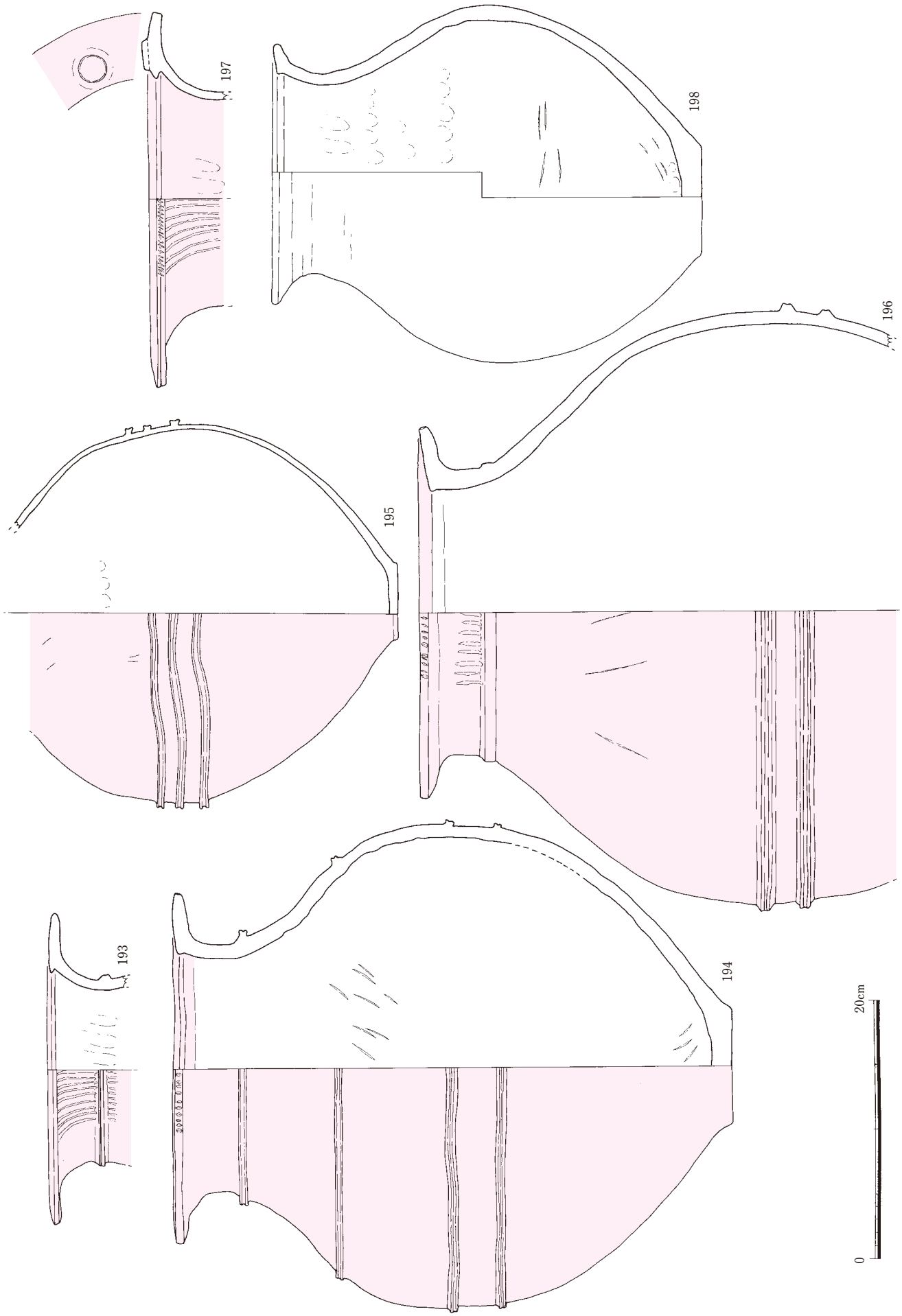



**第 27 図**　土器群 103 内で検出の K-01・02 号甕棺墓出土土器・管玉実測図 [ 1/ 1・1/ 4]

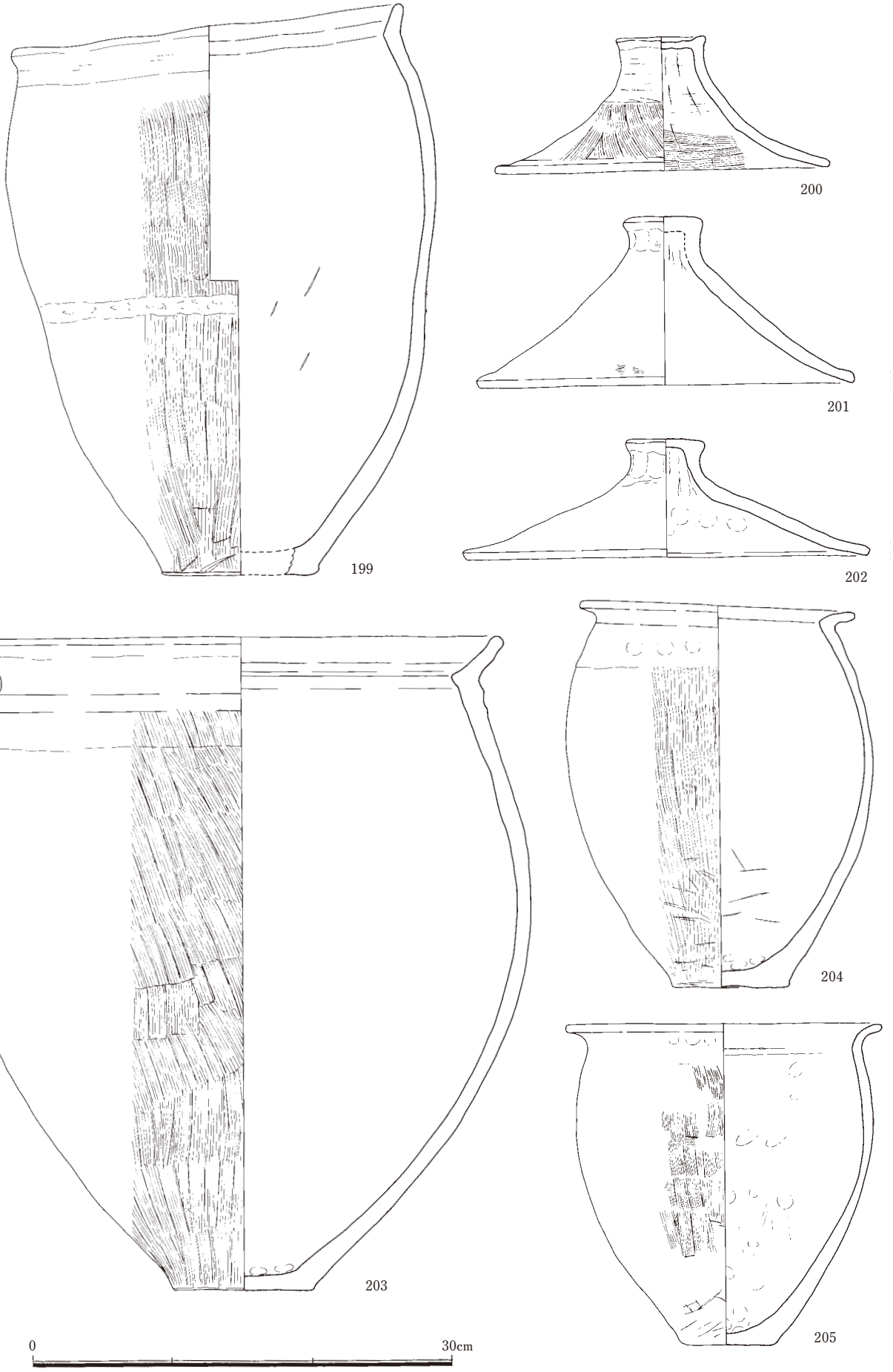
## 表9　土器群 103 出土土器観察表（4）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 25 | 166 | Ⅱ | 103 | Z-1 | 鉢 | 17.5 | 28 | 8.3 | ナデ・磨滅<br>剥離している | 口縁部上面は横ナデ、他は横ヘラ研磨、底部は一定方向のナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・黒色粒を多く含む | 普通 | 残存：2/3、内側は丹塗り、外側は表面剥離のため不明 |
| 25 | 167 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 壺 | — | — | — | 口縁部はナデ、肩部は磨滅 | 口縁部は指押さえ、肩部は縦ナデ、頭部には粘土の貼りつけ | 灰黄色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 全体に磨滅が著しい、特に外面は剥離して若干赤みを帯びる、丹塗りの可能性 |
| 25 | 168 | Ⅱ | 103 | き -1 | 壺 | — | — | — | 刷毛目、底部の下の方に網目状？細かい格子目状のスタンプ様なものがある。施文具不明。 | 刷毛目～指押さえ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒、黒色 | 良好 | 大きな壺の底部（底部残存：わずかで歪む） |
| 25 | 169 | Ⅱ | 103 | き -3 | 甕 | — | — | — | 磨滅 | 刷毛目・指圧痕 | 外：灰黄<br>内：にぶい黄褐 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 多孔土器の底部、土師器、外底が少し黒い、二次焼成か |
| 25 | 170 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 鉢 | — | — | 8.2 | 胴部は縦刷毛目、底部は不明 | 胴部～底部はナデ | 橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、橙色粒子 | 良好 | 口縁部は欠損 |
| 25 | 171 | Ⅱ | 103 | Z -1 | 甕 | — | 38 | — | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛 | 口縁部・口縁下は横ナデ、肩部は斜ナデ胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：5/6（甕の上半部・口縁部全周有り） |
| 25 | 172 | Ⅱ | 103 | Z -2 | 甕 | 10.9 | 13 | 6.0 | 口縁部～胴部は板状工具木口による削り | 口縁部端は板状工具による調整、胴部はナデ、底部は棒状のもので隅を押さえる | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 全体の 2/3 残存 |
| 25 | 173 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 甕 | 20.8 | 18.7 | 7.8 | 口縁部は横ナデ胴部は器表を枝状工具で調整した後ナデ消し | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6 |
| 28 | 178 | Ⅱ | 104 | 周辺 | 蓋 | 1.6 | 13.7 | — | 口縁部はナデ、他はミガキ | ナデ | 外：橙色<br>内：橙色（一部丹がはげにぶい橙色） | 細かい粘土、石英・長石粒 | 良好 | 2 カ所に穿孔、反対側も同様と考えられるが完存でないため不明、丹塗り |
| 28 | 179 | Ⅱ | 104 | 下層 | 注口土器 | — | — | — | ナデ・磨滅 | 横ヘラ研磨 | 外：丹塗り<br>内：一部に丹がかかる（落ちる）、にぶい黄橙色 | 精緻<br>微粒の白色粒・黒色粒を含む | 普通 | 注口土器小片、注口下に突帯がつく、注口先は欠損 |
| 28 | 180 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 壺 | — | 27 | — | ミガキか磨滅 | 磨滅・指押さえ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 残存：2/5、表面は研磨か磨滅している |
| 28 | 181 | Ⅱ | 104 | X-2 | 壺 | — | 12.2 | — | 口縁部上端は磨滅のちミガキ、突帯部 3 カ所は横ナデ、頸部・肩部は暗文、胴部は磨滅 | 口縁部は横ナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 袋状口縁壺の口縁部（上半部は全周有り） |
| 28 | 182 | Ⅱ | 104 | X-2 | 壺 | — | 10 | — | 口縁部は横研磨、頸部は縦研磨 | 口縁部は横ナデ、頸部はケズリ | 橙色 | 精緻、微粒の白色粒・雲母 | 良好 | 壺の口縁（全周有り）、丹塗り |
| 28 | 183 | Ⅱ | 104 | Z-2 | 壺 | — | — | 6.6 | 肩部は刷毛目、胴部～磨滅 | 頸部内側に粘土を貼りつけているようだ。ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：口縁欠損，他は全周有り<br>頸部内側に粘土を貼りつけている |
| 28 | 184 | Ⅱ | 104 | X-2 | 壺 | — | 6.4 | — | 磨滅 | ナデ | 灰白色 | 精緻、3㎜大の白色粒も見られる | やや軟か | 残存：1/2（壺の上半部） |
| 28 | 185 | Ⅱ | 104 | 42 下層 | 壺 | — | 14.8 | — | 口縁部は横ナデ、肩部～ナデ・磨滅 | 口縁部は横ナデ、胴部は磨滅・指圧痕あり | にぶい橙色～浅黄橙色 | 細かい粘土、石英・長石粒 | 良好 | |
| 28 | 186 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 鉢 | 12.6 | 11.8 | 5.9 | 口縁端部に一本沈線が入る。頸部は横ナデ肩部～粗い刷毛 | 口縁部は横ナデ、肩部は少し横ヘラナデ胴部はナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6、丹が塗られているが下半部は不明瞭 |
| 28 | 187 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 壺 | 15.6 | 12.6 | 7.5 | 口縁部は磨滅、胴部中位から底部付近は細かい刷毛目・磨滅 | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：4/5、外側に丹が塗ってあったようだ。口縁内側は不明 |
| 28 | 188 | Ⅱ | 104 | X-2 | 壺 | — | 11 | — | 口縁部は刷毛目少々、肩部～ナデ・磨滅、胴部下位から底部付近は少し粗い刷毛目 | 口縁部は横ナデ、頸部から胴部上位はヘラ状工具？、胴部下位は指押さえ | 外：浅黄色<br>内：灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3、あまり丁寧な造りではない |
| 28 | 189 | Ⅱ | 104 | — | 壺 | 28.7 | 10.7 | 6.7 | 肩部から胴部下位は細かい縦・斜の刷毛、底部付近は刷毛・ナデか磨滅か | 口縁部は不明瞭、肩部から胴部中位は粘土のつなぎ目痕、下位はナデで | 浅黄色～にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3、内底部に棒状工具で突いたような深い凹みあり |
| 28 | 190 | Ⅱ | 104 | X-2 | 壺 | — | 12 | — | 口縁部から頸部は細かい刷毛 | 口縁部は細かい刷毛頸部は指押さえ・ナデ | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/3（壺の上半部） |
| 28 | 191 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 壺 | — | 10.4 | — | 口縁部は横ナデ、肩部～ナデ・磨滅 | 口縁部は横ナデ、胴部は磨滅 | 外：暗赤褐色<br>内：薄褐色 | 細かい粘土，石英・長石粒 | 良好 | 袋状口縁、胴部中位に粘土のつなぎ目あり |
| 28 | 192 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 壺 | — | 24 | — | 口縁部端部は横・斜の刷毛、横ナデ頸部にかけて刷毛目 | 口縁端部は横刷毛、指押さえ～ナデ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 二重口縁壺の口縁、残存：1/6 |
| 29 | 193 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 壺 | — | 24 | — | 口縁部上面は磨滅、頸部は暗文、突帯部は横ナデ、肩部は暗文 | 口縁部は磨滅、頸部は指ナデ | 浅黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 壺の口縁（全周有り） |
| 29 | 194 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 壺 | 約 43.0 | 27 | 9.0 | 口縁端部は刻み目あり、頸部はナデ突帯部はすべて横ナデ、肩部ナデ、胴部はナデ・磨滅 | 口縁部上面はナデ、口縁部下は横ナデ他は剥離 | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：3/5、磨滅・剥離・歪み著しい、壺上半部は丹塗りを確認、下半部は不明 |
| 29 | 195 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 壺 | — | — | 11.6 | 肩部は板ナデ、突帯部は横ナデ | ナデ | 浅黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 壺（棺）大：同上部欠損、大型の壺だが丹塗り、歪んでいる、器壁：0.8㎝ |
| 29 | 196 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 壺 | — | 28.4 | — | 口縁端部は刻み目、頸部は暗文が全周、突帯部はすべて横ナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 精緻 | 残存：4/5（壺の上半部）、帯状突帯めぐる |
| 29 | 197 | Ⅱ | 104 | X-2 | 壺 | — | 28.4 | — | 口縁端部は刻み目、その下は横ナデ、頸部は暗文 | 口縁部上面は横ナデ、2.2 × 2.3 円形状の粘土貼り付け、頸部はナデ | にぶい黄橙色 | 微粒の白色粒と雲母 | 普通 | 残存：1/4（口縁）、口縁部上面に 2.2 × 2.3㎝の円形状の粘土を貼る |
| 29 | 198 | Ⅱ | 104 | X-2，Y-2 | 壺 | 33.1 | 20 | 8.4 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部から胴部は指押さえ、下位はナデ・工具痕あり | 外：にぶい黄橙色<br>内：褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3 |
| 30 | 199 | Ⅱ | 104 | X-2，Y-2 | 甕 | 40.6 | 27.7 | 11.2 | 口縁部は横ナデ、胴部～縦刷毛、胴部中位に粘土のつなぎ目のような凸凹あり | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | 淡黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3、底部から肩部付近に煤付着、底部欠損 |
| 30 | 200 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 蓋 | 4.5 | 6.3 | 23.5 | 胴部は刷毛目・磨滅、裾部はナデ | 頂部はヘラ切りしたような凸凹、裾部は横刷毛 | 浅黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/3（つまみ全周有り）<br>外側は丹塗り |
| 30 | 201 | Ⅱ | 104 | X-2 | 蓋 | 12 | 5.5 | 27.0 | 頂部はナデ,頭部～刷毛目、胴部は磨滅で裾部は刷毛目 | 磨滅・ナデ | にぶい黄橙色 | — | 良好 | 残存：5/6（つまみ全周有り） |
| 30 | 202 | Ⅱ | 104 | 周辺流土 | 蓋 | 8.4 | 5.6 | 28.6 | 頂部はナデ、他は磨滅 | 頂部はしぼり胴部は指押さえ、裾部は横ナデ | にぶい褐～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：1/2<br>内外とも褐色（使用されている） |
| 30 | 203 | Ⅱ | 104 | X-2 | 甕 | 46.5 | 39.4 | 10.0 | 口縁部は横ナデ、肩部～斜の刷毛 | 口縁部は横ナデ他は磨滅・ナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒を含む | 良好 | 残存：5/6、口縁部内側から外側底部にかけ丹塗りの痕跡。底部外側は黒く汚れ付着か黒色顔料？ |
| 30 | 204 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 甕 | 27.6 | 19.7 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、肩部は指押さえ,胴部は粗い縦刷毛、胴部下位から工具痕 | 口縁部上面・頸部は横ナデ、他はナデ底部は指押さえ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・微粒の雲母 | 良好 | 残存：8/9 |
| 30 | 205 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 甕 | — | — | 6.6 | 口縁部は横ナデ、胴部は細かい刷毛目・磨滅 | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部は指押さえ | — | — | — | — |
| 31 | 206 | Ⅱ | 104 | X-3 | 甕 | — | — | — | 格子目叩き | ナデ | 青みを帯びた灰色 | 灰白色・1㎜以下の黒色粒 | 堅緻 | 胴部破片、外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 31 | 207 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 高坏 | — | — | — | 磨滅、調整工具（刻み目）は非常に薄く細かいので貝殻の縁部でも使用か | — | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の白色粒・黒色粒・赤色粒 | 良好 | 高坏の脚部か（脚部のみ）3 箇所焼成前の穿孔あり |

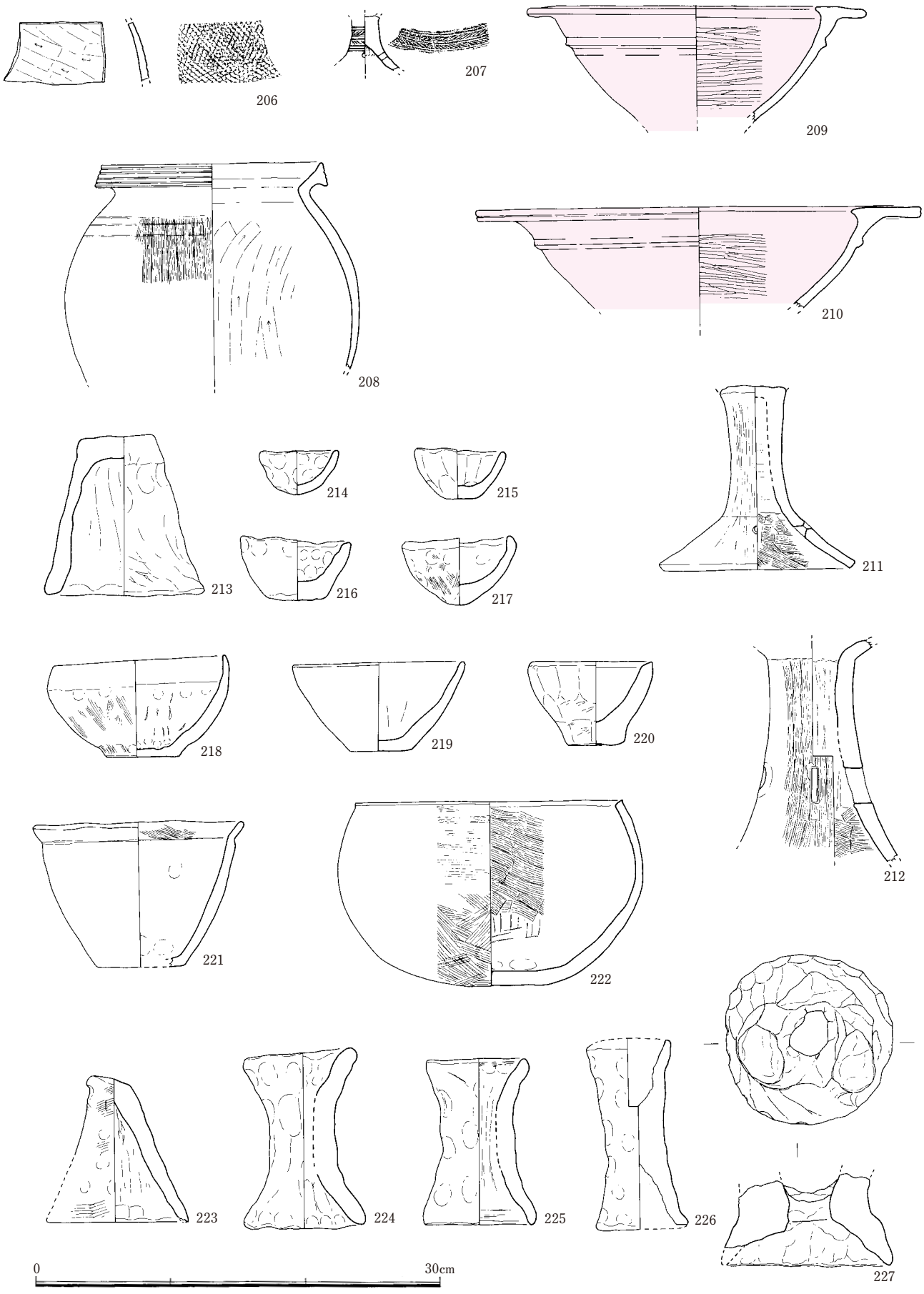
**第 28 図**　土器群 104 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]



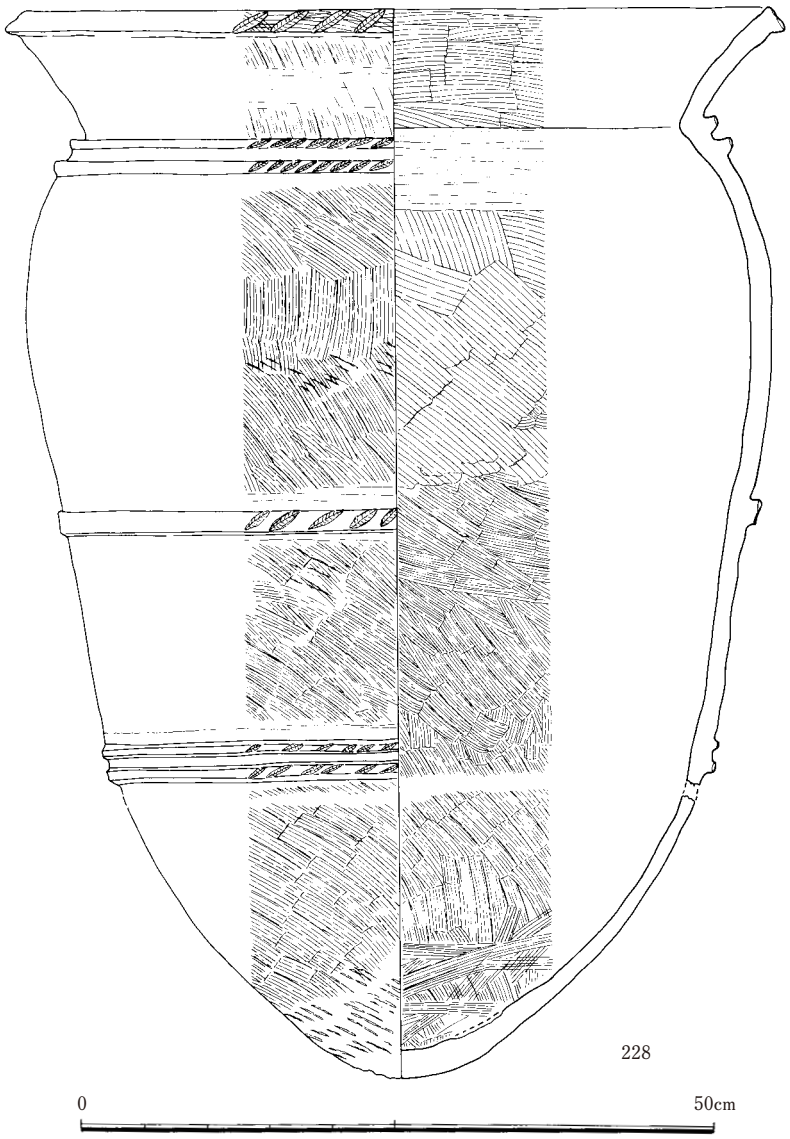

**第 29 図**　土器群 104 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]




**第 30 図**　土器群 104 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]




**第 31 図**　土器群 104 出土土器実測図（4）[ 1/ 4]




**第 32 図**　土器群 104 出土土器実測図（5）[ 1/ 6]

**表 10**　土器群 104 出土土器観察表（1）

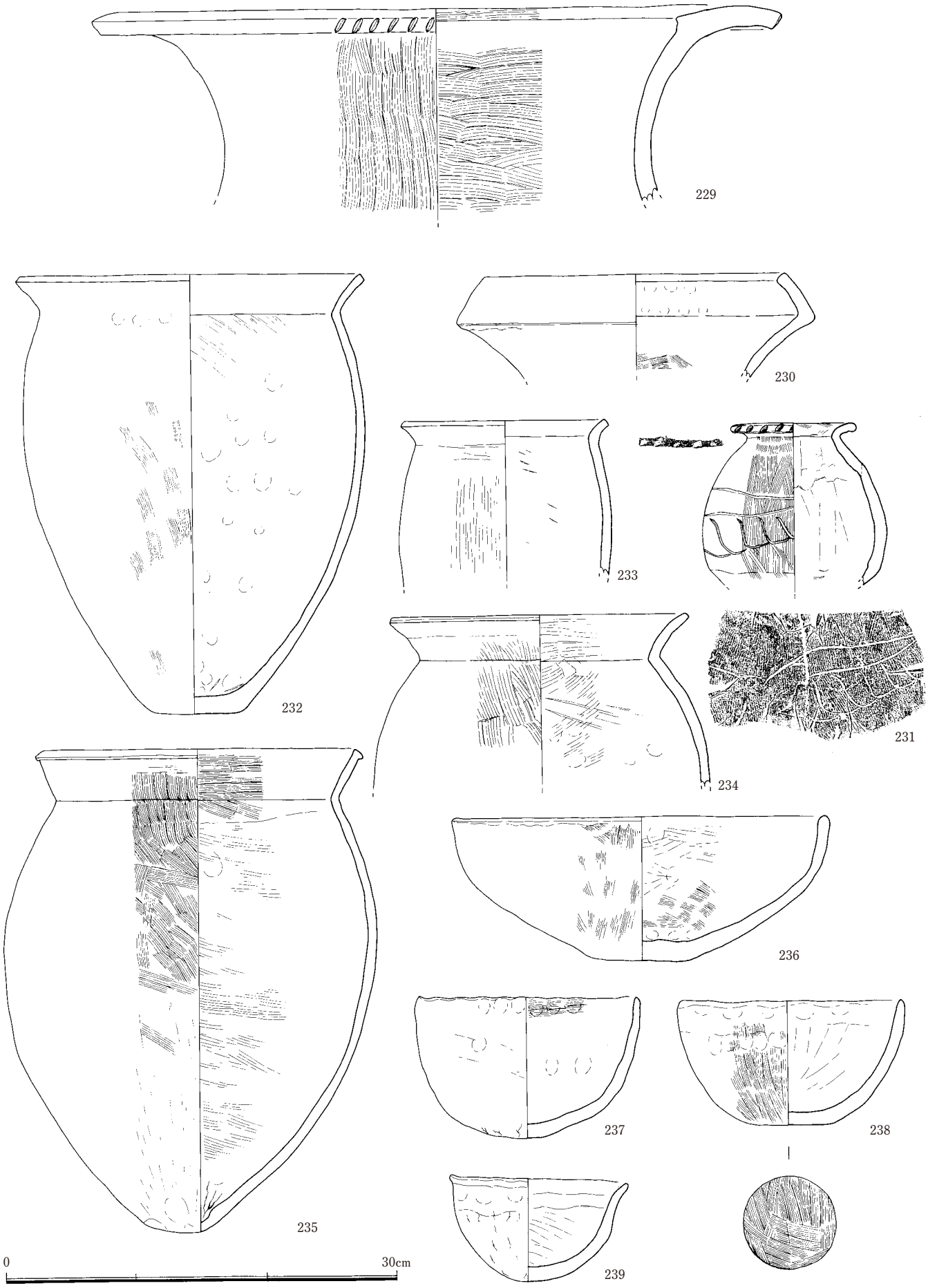
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 31 | 208 | Ⅱ | 104 | Y-3 | 甕 | — | 16.2 | — | 口縁部は凹線、頸部は横ナデ、肩部から胴部は細かい縦刷毛のち横刷毛・横ナデ、胴部下位は器表が剥離 | 口縁部は横ナデ、肩部～削り（調整工具は不明） | 外：㋑黒褐色<br>㋒橙色<br>内：明黄褐色～黒褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：上半部はほぼ残存、外来系（山陰系）、煮沸の際の煤や焦げ付着 |
| 31 | 209 | Ⅱ | 104 | X-2 | 高坏 | — | 25.2 | — | 磨滅 | 口縁部上面はナデ、他は研磨 | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/4（高坏の坏部） |
| 31 | 210 | Ⅱ | 104 | X-2 | 高坏 | — | 33 | — | 口縁部に沈線あり。突帯部は横ナデ、他は磨滅 | 口縁部上面は横ナデ、口縁部下～研磨 | 橙色 | 精緻、微粒の白色粒 | 良好 | 残存：1/4（高坏の坏部）、丹塗り |
| 31 | 211 | Ⅱ | 104 | X-2 | 高坏 | — | — | 14.5 | 脚部上部から裾部まで研磨・磨滅 | 脚部上部はケズリ、裾部は刷毛目 | 褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 高坏の脚部（全周有り）、裾部に焼成後の孔３つあり |
| 31 | 212 | Ⅱ | 104 | — | 器台 | — | — | — | 頂部はナデ、他は細かい縦刷毛 | 胴部はしぼり、胴部下位は指ナデ裾部は横刷毛 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 器台の脚部（全周有り）、2.8×0.5㎝の方形の孔が１つ，1.7×1.㎝の円孔が３つ焼成前に穿たれている |
| 31 | 213 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 支脚 | 11.8 | 5.5 | 11.8 | 頂部は平ら、他は指押さえ・指ナデ<br>磨滅している | しぼり・ナデ | 上半部：灰白色<br>下半部：灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完存、非常に粗い造り |
| 31 | 214 | Ⅱ | 104 | X-2 | ミニチュア小鉢 | 3.2 | 6.5 | 丸底 | 指押さえ | 指押さえ | 浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 完存、手捏ね土器 |
| 31 | 215 | Ⅱ | 104 | — | ミニチュア手捏ね鉢 | 3.8 | 6.8 | 2.6 | 指押さえ | 指押さえ、底部は一方向の刷毛 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | 良好 | 完存 |
| 31 | 216 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 手捏ねの小鉢 | 4.8 | 8.2 | 4.3 | ナデ・磨滅 | 指押さえ | 灰黄色<br>外底は黒い黒斑か | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 口縁が若干欠ける |
| 31 | 217 | Ⅱ | 104 | Y-2 | ミニチュア小鉢 | 5 | 8.4 | 1.0 | 口縁部付近は指押さえ胴部～細かい刷毛 | ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完存<br>手捏ね土器 |
| 31 | 218 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 鉢 | 7.2 | 12.7 | 5.7 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ・磨滅、底部は平坦 | 口縁部端・口縁部は横ナデ、胴部は爪痕ありナデ、底部は工具の押し付け痕あり・ナデ | 橙色 | 細かい粘土、石英・長石粒を含む | 良好 | 完形に近いが数ヶ所口縁が欠ける |
| 31 | 219 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 鉢 | 6.7 | 12.8 | 4.6 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 横ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | ほぼ完存（口縁部少し欠く）<br>繊維状のものの上で造った痕跡あり |
| 31 | 220 | Ⅱ | 104 | X-2 | 手捏ねの小鉢 | 6.2 | 9.5 | 4.2 | ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完存 |

## 表 11　土器群 104 出土土器観察表（2）

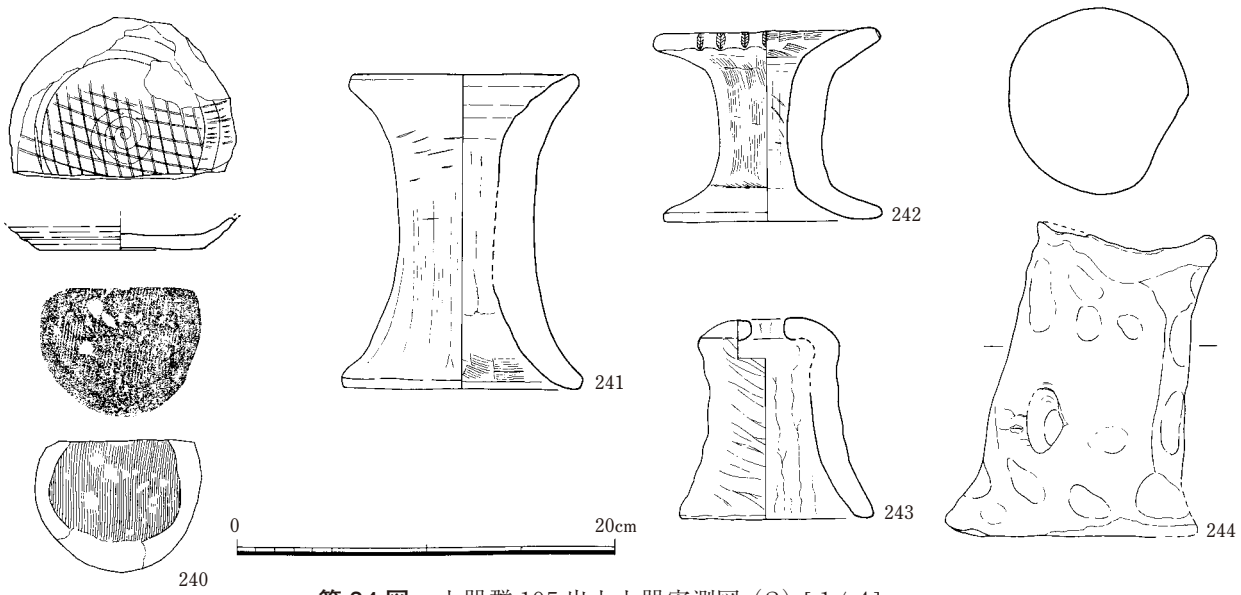
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 31 | 221 | Ⅱ | 104 | X-2 | 鉢 | 10.7 | 15.6 | 6.5 | ナデ | 口縁部は細かい刷毛目、他はナデ・指押さえ | 外：灰黄色<br>内：灰白色 | 精緻、3㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：1/3<br>手捏ね |
| 31 | 222 | Ⅱ | 104 | X-2 | 鉢 | 13.6 | 19.6 | 6.5 | 口縁部付近は横刷毛・磨滅、胴部～刷毛目 | 口縁端部は横刷毛、口縁部から胴部下位は刷毛目、底部はヘラ・ナデ | 外：にぶい黄橙色<br>内：黒い | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3 |
| 31 | 223 | Ⅱ | 104 | X-2 | 支脚 | 10.8 | 3 | 約 10.5 | 頂部はナデ、頂部下は刷毛目・指押さえ、裾部は刷毛目 | 胴部はナデ、裾部は指押さえ | 橙色～にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/4（支脚） |
| 31 | 224 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 支脚 | 13.3 | 8 | 9.0 | 指押さえ | 指押さえ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒・雲母を含む | 良好 | 完存 |
| 31 | 225 | Ⅱ | 104 | X-2 | 器台 | 12.3 | 8.2 | 8.3 | 指押さえ・磨滅 | 頂部は横刷毛・指押さえ<br>胴部はしぼり、裾部は横ナデ | にぶい黄橙色～橙色 | 9㎜大の石英粒混じる。その他2㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒を含む | 良好 | 完存（支脚）<br>器表の磨滅が著しいが丹塗りだったかも |
| 31 | 226 | Ⅱ | 104 | X-2 | 器台 | 約 14.1 | 6.3 | 6.3 | 指押さえ | — | 明赤褐色 | 雲母 | 普通 | 残存：2/3（器台か支脚） |
| 31 | 227 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 支脚 | — | — | 13.0 | 指押さえ・横ナデ | — | にぶい黄橙色～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 特殊器台（支脚）受部分3カ所欠損<br>3本の細長い受部が上に立ち上がる形か。3カ所とも折れている。 |
| 32 | 228 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 甕 | 約 85 | 約 62 | 丸い | 口縁端部は刻み目・横刷毛、肩部～刷毛目・タタキ、突帯は刻み目、胴部下位はタタキ・刷毛目、胴部下位は刷毛目で底部はタタキ | 口縁部は横刷毛、頭部は横ナデ肩部は粗い刷毛、胴部中位からは細かい刷毛 | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 大型の甕残存：2/3<br>底部は離れている（図上復元）<br>底部は環状のものにのせてタタキ枝でたたいたか |

## 表 12　土器群 105 出土土器観察表

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 33 | 229 | Ⅱ | 105 | Y-3,R46 | 壺 | — | 53 | — | 口縁端部は刻み目、頸部は縦刷毛目 | 口縁部上面は横刷毛目、口縁部はナデ、頸部は横刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：4/5 |
| 33 | 230 | Ⅱ | 105 | Y-3 | 壺 | — | 23 | — | 口縁部上位は横ナデ、頸部は磨滅 | 口縁部は横ナデ、頸部はナデ～刷毛目 | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/4（壺の口縁部） |
| 33 | 231 | Ⅱ | 105 | Y-4 | 壺 | — | 9.6 | — | 口縁部は刻み目、他は縦刷毛目。胴部中位から下位に線刻あり | 口縁部は刷毛・ナデ消し、他は指ナデ・枝ナデ | 灰白色～灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 普通 | 残存：縦に 1/5 ～ 1/6、底部付近は黒い |
| 33 | 232 | Ⅱ | 105 | | 甕 | 33.6 | 26.6 | 7.0 | 板状工具によるナデ | 口縁部はナデ、肩部～胴部は刷毛目、胴部中位からナデ・指圧痕 | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒 | 良好 | 残存：1/3（底部全周有り） |
| 33 | 233 | Ⅱ | 105 | Y-3 | 甕 | — | 15.8 | — | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目・磨滅 | ナデ | にぶい黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 残存：1/3 |
| 33 | 234 | Ⅱ | 105 | Y-3 | 甕 | — | 23 | — | 口縁部は縦刷毛目・横ナデ、肩部は粗い刷毛目、胴部はナデ | 口縁部～肩部は板状工具で粗い刷毛目、磨滅、工具痕あり | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/2（甕の上半部）、スス付着 |
| 33 | 235 | Ⅱ | 105 | Y-3 | 甕 | 39 | 25 | 尖っている | 口縁部は横刷毛・ナデ、肩部は刷毛目、胴部下位は板状工具で調整、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は粗い浅い条痕（刷毛目か） | 暗灰黄色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存:2/3、黒い、火を受けたか、内底にはしほった様なしわがある |
| 33 | 236 | Ⅱ | 105 | Y-3,R33 | 鉢 | 11 | 29 | 7.5 | 刷毛目・磨滅 | 口縁部は板状工具で粗く調整、胴部は刷毛目、底部は指押さえ | 橙色 | 0.8㎜以下の石英・長石粒・雲母・角閃 | 良好 | 残存：1/5 |
| 33 | 237 | Ⅱ | 105 | Y-3,<br>R11 | 鉢 | 10.8 | 16.8 | 丸底 | 出捏ね成形、底部はひび割れ多い | 口縁部は刷毛目・ナデ、他はナデ | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒を少量含む | 良好 | 残存：口縁部、体部とも少し欠損、黒斑あり |
| 33 | 238 | Ⅱ | 105 | Y-3,<br>R16 | 鉢 | 9.5 | 16.7 | 6.5 | 口縁部は横ナデ、胴部は密に刷毛目、底部はやや平坦で全体に刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部は何らかの工具で調整 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の黒色粒、7㎜以下の石英、3㎜以下・長石粒 | 良好 | 口縁部は 2/3 欠損、体部は少し欠け一部剥離、長さ 7 ㎜の石が体部内側に入っている |
| 33 | 239 | Ⅱ | 105 | Y-3,<br>R06 | 鉢 | 7.8 | 13 | 丸底 | 口縁部は横ナデ、体部にはひび割れが多い、やや丸底 | 口縁部は横ナデ、体部は板状工具で平らに調整 | にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英・長石粒を少量含む | 良好 | ほぼ完形、口縁部内外に丹塗り、長さ 1.3cmの石が口縁部内側に入っている |
| 34 | 240 | Ⅱ | 105 | Y-3,R12 | 鉢 | — | — | 8.8 | 胴部下位は段をなす、底部中心は定方向の刷毛、外側はケズリ | 胴部下位は縦の暗文が部分的に見られる、底部は斜格子の暗文 | 浅黄色<br>黒 | 精緻 | 良好 | 外来系土器・底部（楽浪系）、弥生～古墳初、ろくろ使用、体部外側は幅のある凹線気味 |
| 34 | 241 | Ⅱ | 105 | Y-3,<br>R19 | 器台 | 16.6 | 12.1 | 12.8 | 受部は磨滅、下位は刷毛目か | 受部はナデ、胴部はナデ・ケズリ、胴部下位は指押さえ・指ナデ、裾部は刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：7/8 |
| 34 | 242 | Ⅱ | 105 | R27 | 器台 | 10.1 | 12 | 11.6 | 上端部は全周に刻み目あり。頭部～縦刷毛・磨滅、裾部はナデ | 受部は刷毛、胴部はしぼり・ケズリで裾部は磨滅 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：4/5 |
| 34 | 243 | Ⅱ | 105 | Y-3,R31 | 支脚 | 10.6 | 2 | 10.0 | 頂部は横ナデ・平坦～横ナデ、他は斜のねじれ・しぼり | しぼり、裾部は平坦でひび割れ多い | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | ほぼ完形、上面は平ら |
| 34 | 244 | Ⅱ | 105 | Y-3 | 支脚 | 16.5 | 約 10.0 | 約 14.0 | 受部上位は指押さえ・ナデ、下位は指押さえ | | 灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒・褐色粒を含む | 良好 | 残存：5/6　支脚？火を受けたような黒斑状あり、受部はやや凹む |



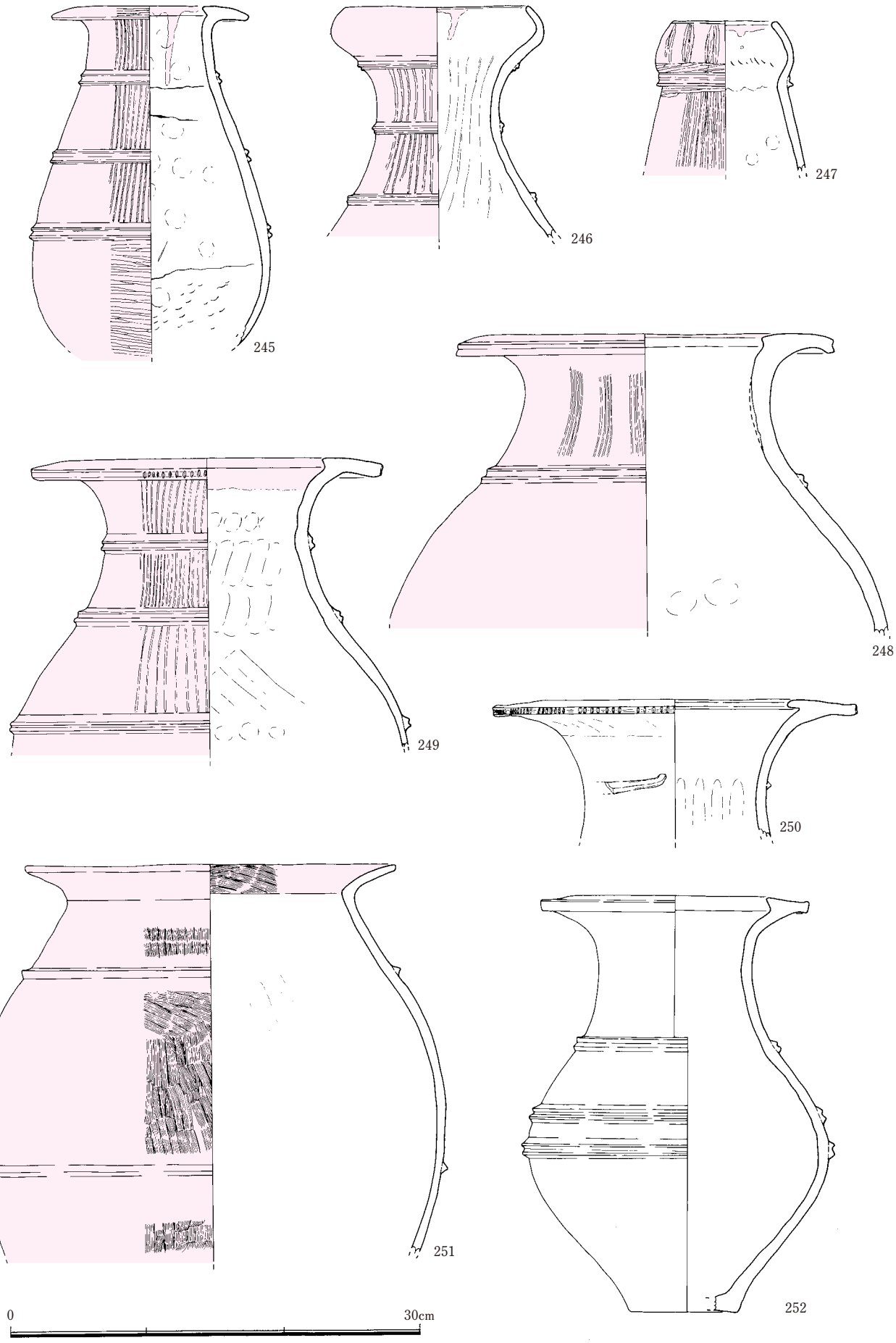

**第 33 図**　土器群 105 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]



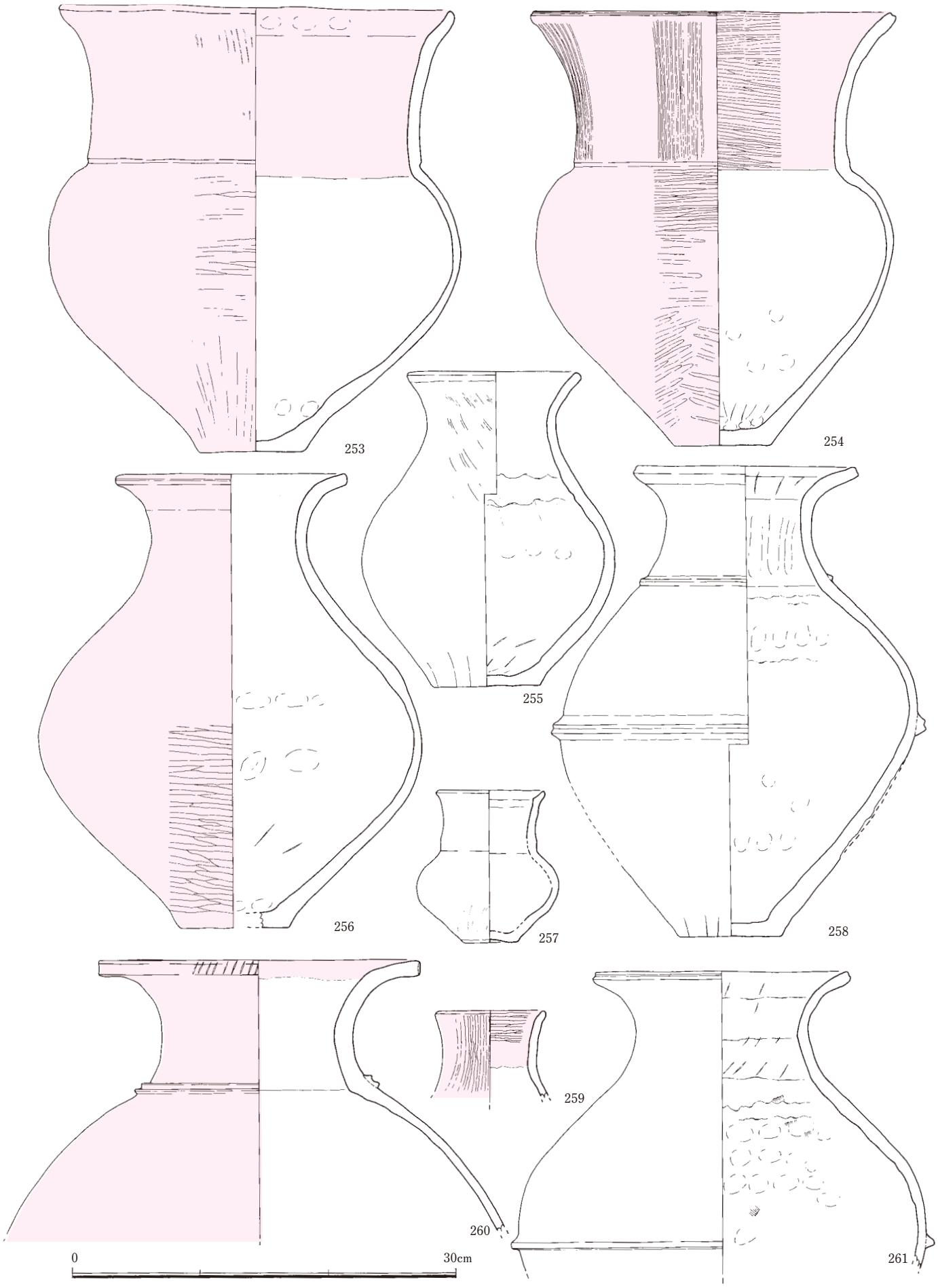

**第 34 図**　土器群 105 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]

**表 13**　土器群 106 出土土器観察表（1）

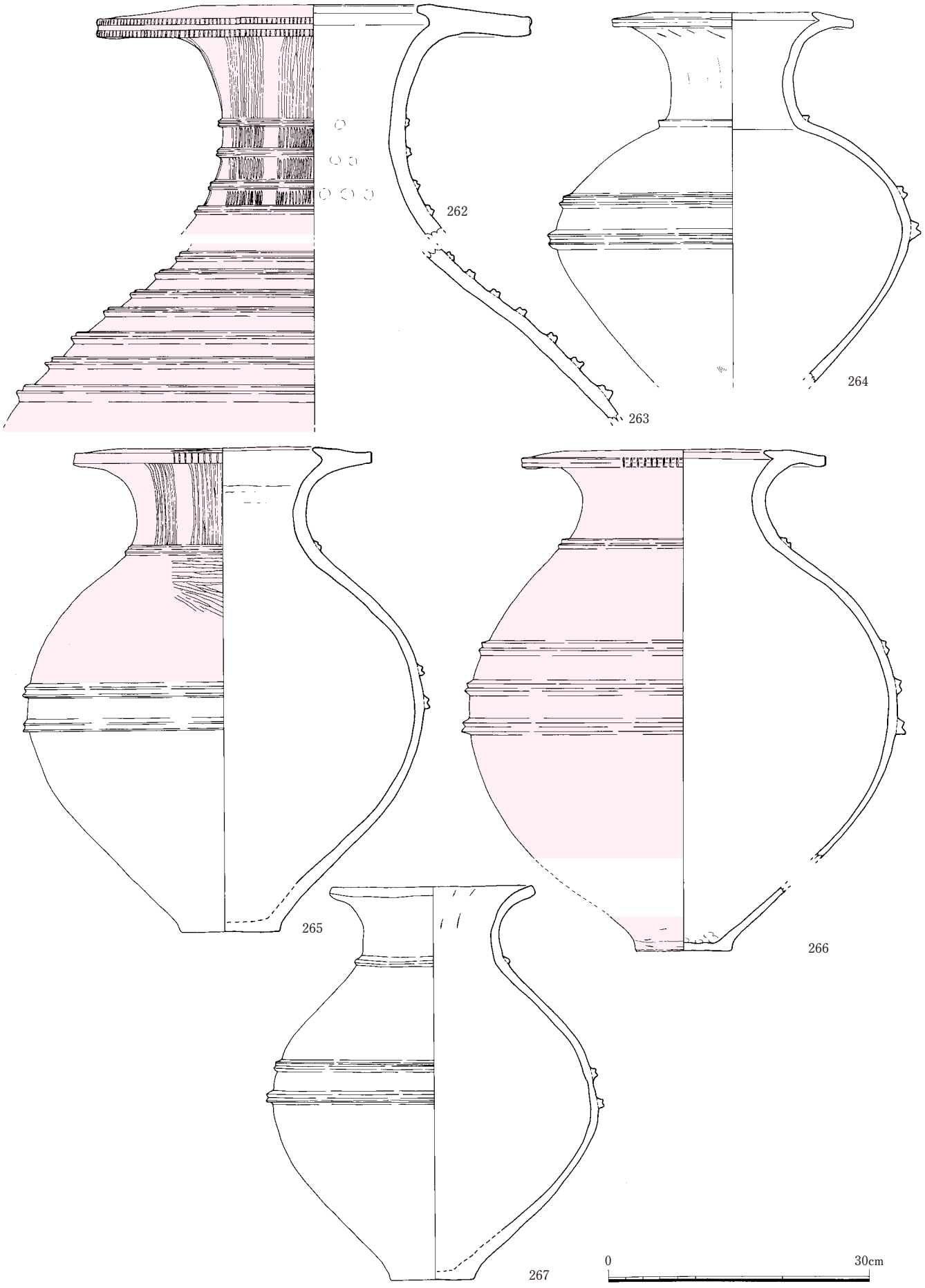
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 35 | 245 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 14.5 | — | 頸部から胴部中位は縦方向の研磨・暗文をつくる。胴部下位～は横方向の研磨 | 口縁部上面は研磨、口縁部は横ナデ、胴部は指押さえ、胴部下位から底部は爪痕か | にぶい橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：1/3、丹塗り、内側の胴部下位から底部に爪痕？ |
| 35 | 246 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 13.4 | — | 口縁部は磨滅・剥離、突帯部は横ナデ、頸部は縦研磨が等間隔で全周めぐり、肩部は横研磨？ | 口縁部は横ナデ、頸部はしぼり | にぶい黄橙色 | 精緻 | 普通 | 残存：4/5（袋状口縁壺上半部） |
| 35 | 247 | Ⅱ | 106 | W-3・4 ベルト下 2 | 壺 | — | 7.4 | — | 口縁部は縦に間隔をあけ研磨、突帯部付近は横研磨、頸部は縦に細かく研磨 | 口縁部は横ナデ、突帯部付近に工具痕か爪痕、粘土のつなぎ目あり、頸部はナデ | 橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：1/6（壺の口頸部） |
| 35 | 248 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 27.6 | — | 口縁部は横ナデ、頸部は縦方向の細かい暗文が等間隔に全周めぐる、突帯部は横ナデ、胴部は横ナデ・ナデ | 口縁部上面は横ヘラ磨き、口縁部は横ナデ、他は器表が剥離 | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒と微粒の雲母 | 良好 | 3/4 残存、内側の器表がかなり剥離し丹塗りの範囲が不明瞭 |
| 35 | 249 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 25.8 | — | 口縁端部は刻み目あり、頸部は縦の暗文、突帯部は全て横ナデ、頸部下位は間隔の狭い暗文、肩部はやや幅広の暗文 | 口縁部は横ナデ、頸部は指押さえ、他はナデ・板ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の赤色粒子 | 良好 | 上半部 2/3 残存、口縁部内側から外へ丹塗り |
| 35 | 250 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 26.6 | — | 口縁端部に刻み目（1 カ所のみ 7 本，他は 6 本）、口縁部は横ナデ、頸部は斜のナデからナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は指押さえ・指ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 壺の口縁部、頸部中位に鉤のような粘土が貼りつけてある（先端がやや欠け） |
| 35 | 251 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 27 | — | 口縁部は横ナデのち縦刷毛、突帯部はいずれも横ナデ、胴部上位は横刷毛、中・下位は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他はナデ・板ナデ | 外：にぶい黄橙色<br>内：黄灰色～浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 1/3 残存、口縁部内側から外側全体に丹塗り |
| 35 | 252 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 30.3 | 19.6 | 8.0 | 口縁端部から胴部中位は横ナデ、胴部下位からナデ | 口縁部上面は横ナデ、他はナデ・磨滅が著しい | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | |
| 36 | 253 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 35 | 30.4 | 8.0 | 口縁部は縦に暗文、頸部は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き・磨滅、胴部下位は縦ヘラ磨き・磨滅、底部はナデ | 口縁部は指押さえ・横ナデ、他は磨滅が著しい、底部は指押さえ | 橙色（内底は灰色） | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 3/4 残存、器表の磨滅が著しい。内側の丹の範囲も不明瞭 |
| 36 | 254 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 34 | 28.5 | 7.4 | 口縁端部は横ナデ、縦方向のヘラによる暗文が全周めぐる、頸部は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き・磨滅、胴部下位は斜めのヘラ磨き・磨滅、底部はケズリ | 口縁部は横ヘタミガキ、他はナデ、底部は指押さえ | 橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 7/8 残存、口頸部は若干黒い（黒色顔料か汚れか不明）、底部まで丹塗り |
| 36 | 255 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 24.6 | 13.5 | 8.4 | 口縁部は横ナデ、頸部は縦刷毛・横刷毛、他はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部はナデ、胴部はナデ・指押さえ、底部は指ナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒，2㎜以下の赤色粒 | 良好 | 肩部付近にの 2 箇所に粘土のつなぎ目あり |
| 36 | 256 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 35.4 | 18 | 8.4 | 口縁端部は浅い沈潜、口縁部は横ナデ、頸部から胴部中位はナデ、残りはヘラ研磨・磨滅 | 口縁部は横ナデ、他はナデ、胴部中位に指押さえ | 淡橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒と 1㎜以下の褐色粒子 | 良好 | 1/2 弱残存、外側丹塗りと思われる<br>平底 |
| 36 | 257 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 11.9 | 8.5 | 4.4 | 口縁部は横ナデ、肩部からナデ、胴部下位は縦ナデ | ナデ | 灰黄褐色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒子 | 良好 | 残存：5/6 |
| 36 | 258 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 36.8 | 19.6 | 8.0 | ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は指ナデ、肩部と胴部下位には指押さえの痕跡 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 普通 | 2/3 残存、胴部下位の剥離が著しい<br>口縁部内外と底部外に丹の痕跡あり。全体に丹塗りか |
| 36 | 259 | Ⅱ | 106 | W-3・4 ベルト下 | 壺 | — | 8.6 | — | 縦方向の磨き | 口縁部上位は横磨き、頸部はナデ | にぶい橙色 | 精緻、微粒の石英・長石粒 | 良好 | 残存：全周有り（壺口縁部） |
| 36 | 260 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 25 | — | 口縁端部に鋭い工具の刻み目が全周あり、他は磨滅 | 磨滅 | 橙色～にぶい黄橙色（内側は灰色～黒色部分が多い） | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：上半部全周、器表が剥離している。口縁内側から外側全体に丹塗り？、M 字突帯 |
| 36 | 261 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 20 | — | 口縁端部に沈線、口縁部からナデ、肩部・突帯部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部に粘土のつなぎ目と刷毛目、肩部から指押さえ・ナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 良好 | 残存：上半部のみ 2/3、胴部に丹塗りの痕あり |
| 37 | 262 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | — | — | 横ナデ | ナデ | 外：黒色（黒色顔料？）<br>内：浅黄色～にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 壺（大）の胴部片、接点はないが 263 と同一個体？、外側は丹塗りの痕跡と飛沫，内側は若干橙色で痕跡はあり、外側は黒色顔料？ |
| 37 | 263 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 50 | — | 口縁端部は刻み目、頸部は突帯を 4 本挟み暗文が巡る、肩部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/3（壺の上半部）、丹塗りだが黒っぽい部分も多い（黒色顔料？）、262 と同一個体？ |
| 37 | 264 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 27.6 | — | 頸部は縦ナデ、肩部はナデ、突帯部は横ナデ、底部付近に細かい縦刷毛痕あり（全体に刷毛・ナデ消し？） | 口縁部上面から頸部は横ナデ、他はナデ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 底部欠損、口縁端部に沈線、全体的に黒っぽい（黒色顔料？） |



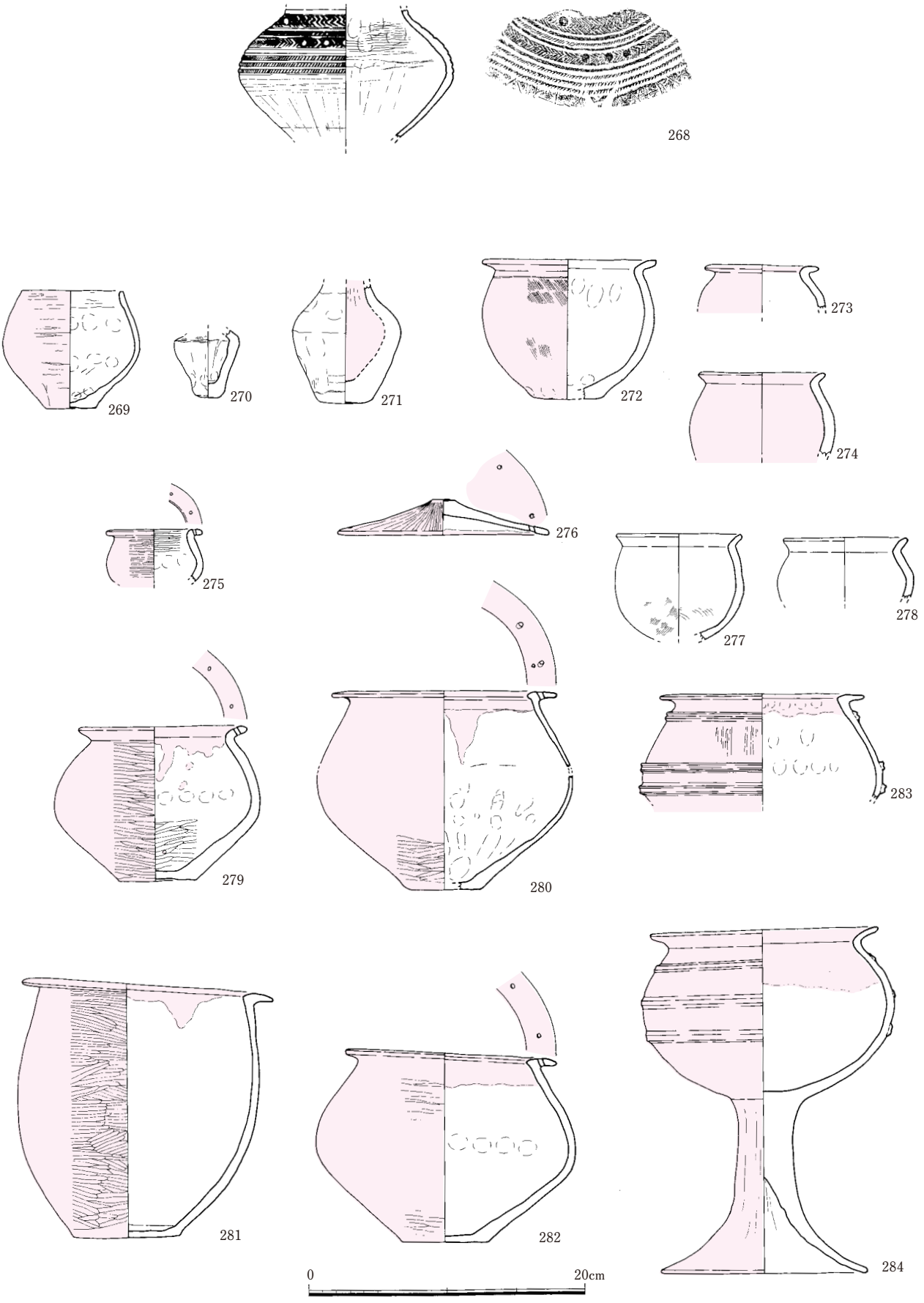

**第 35 図**　土器群 106 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]



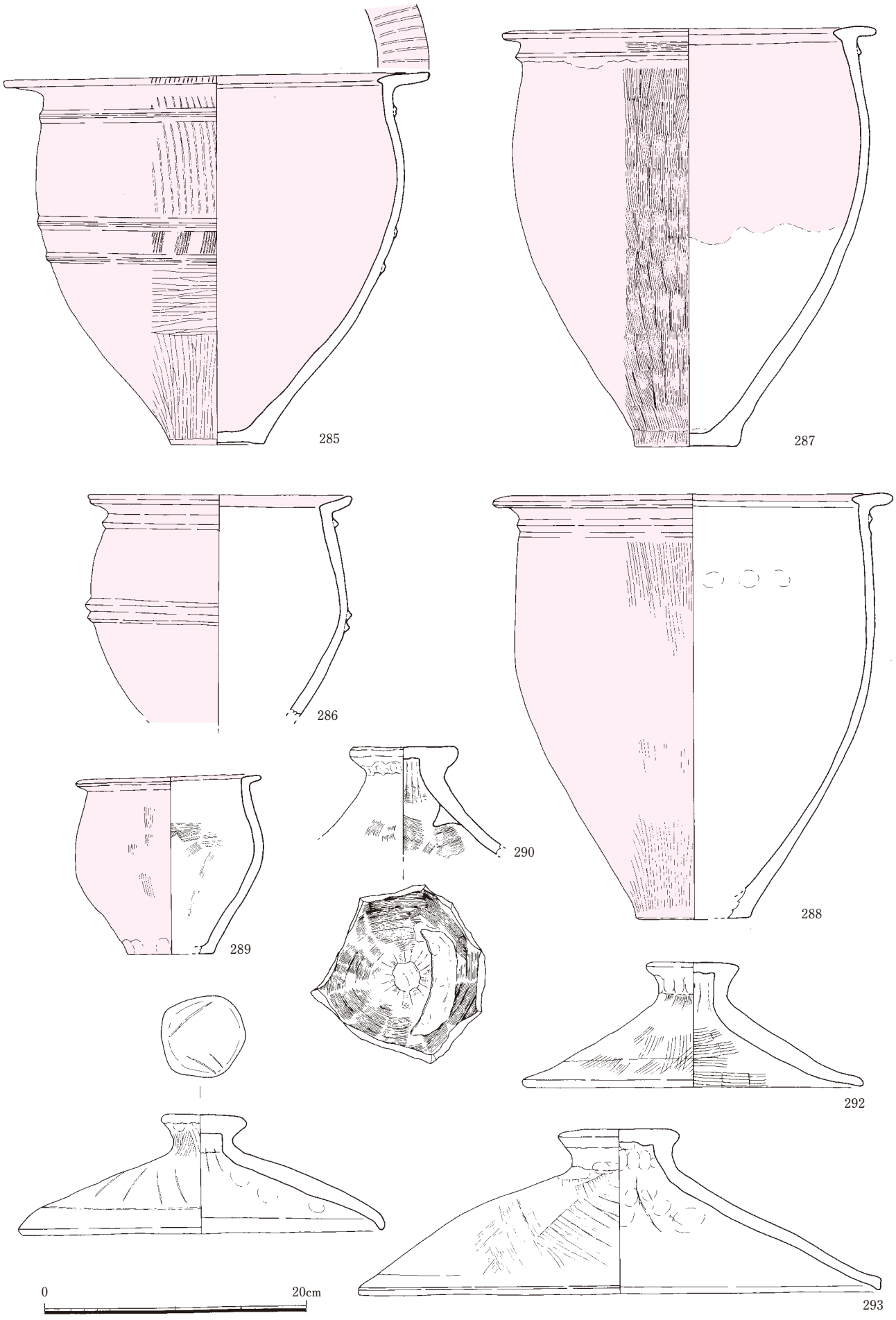

**第 36 図**　土器群 106 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]



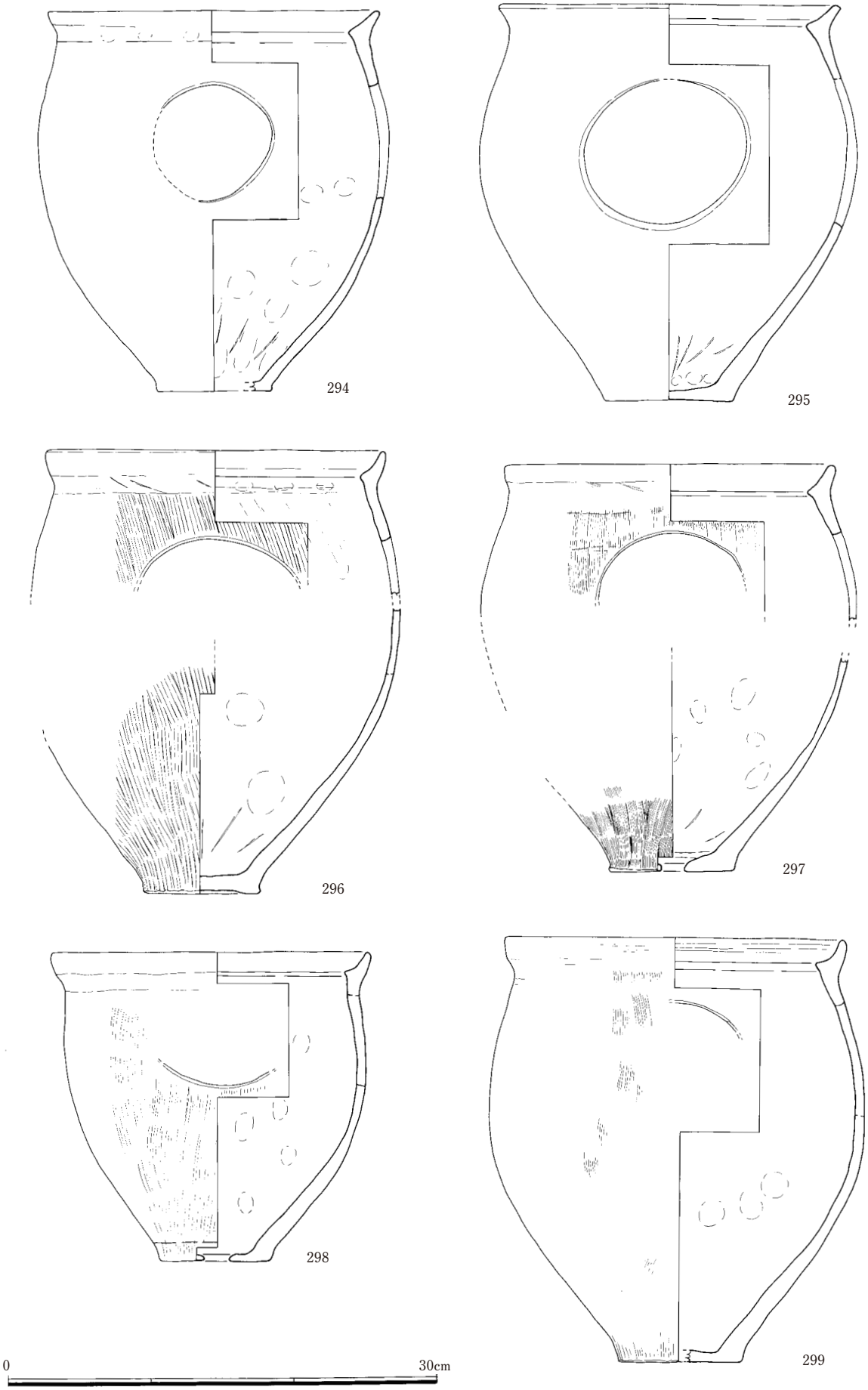

**第 37 図**　土器群 106 出土土器実測図（3）[ 1/6]



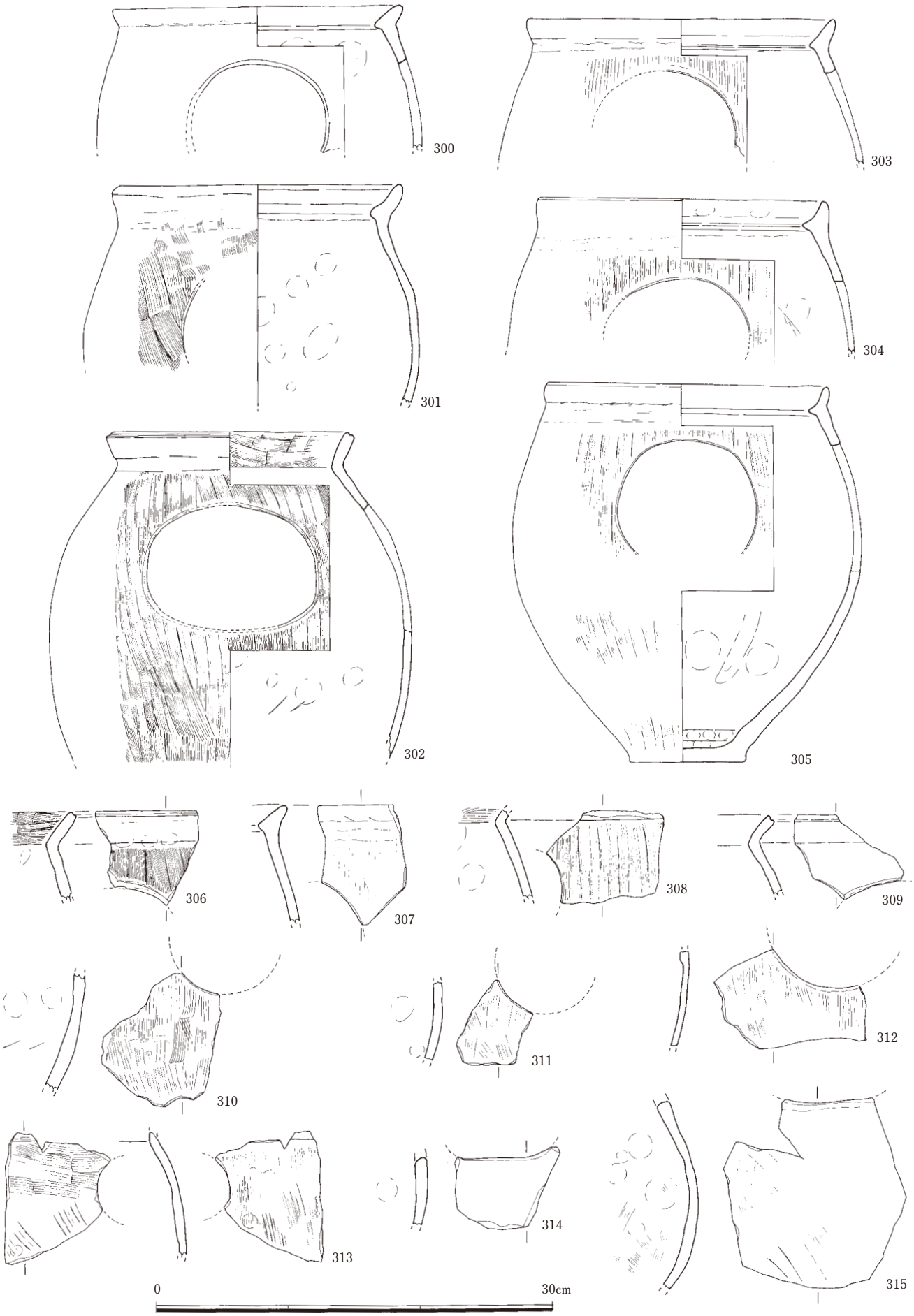

**第 38 図**　土器群 106 出土土器実測図（4）[ 1/ 4]



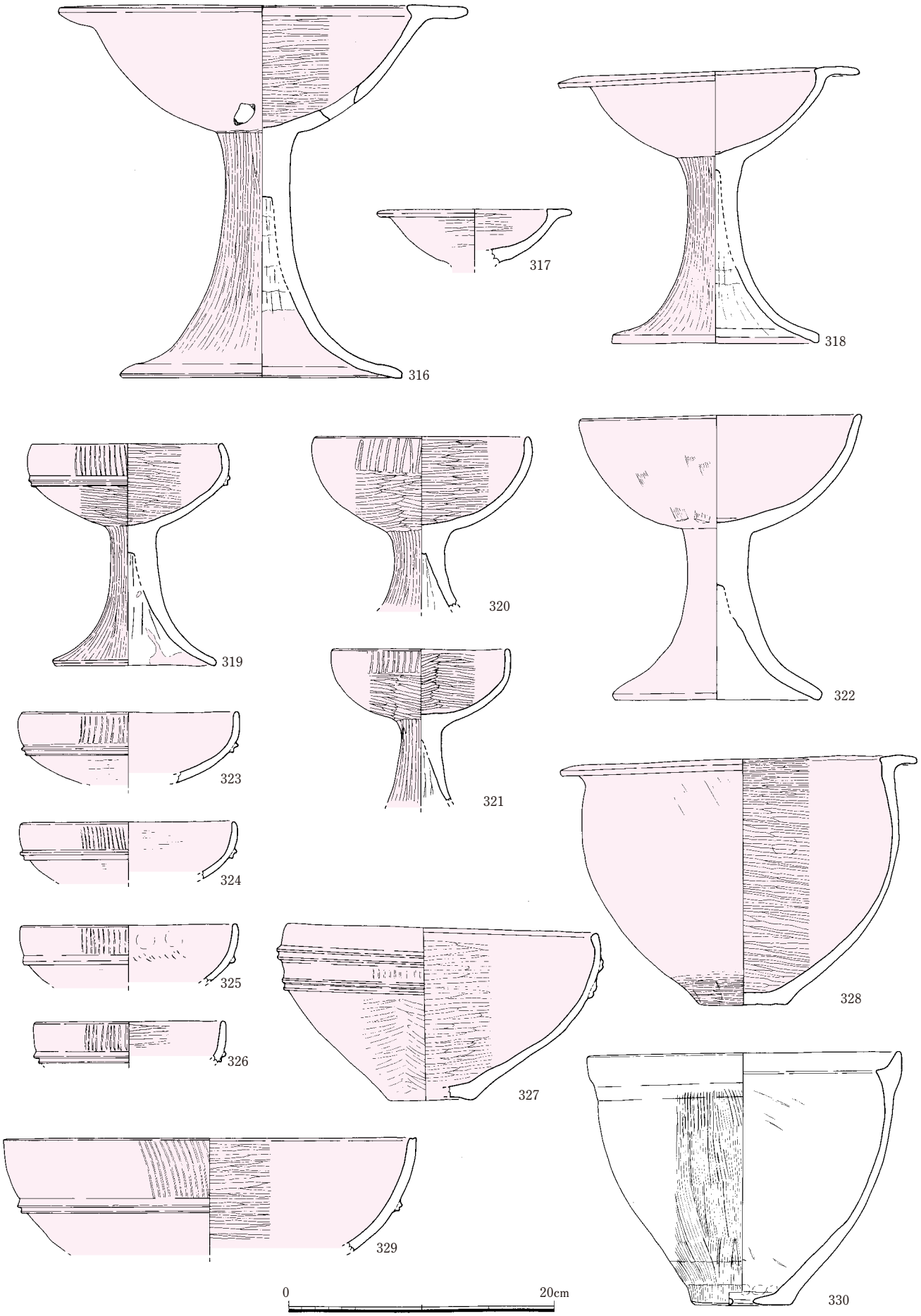

**第 39 図**　土器群 106 出土土器実測図（5）[ 1/ 4]



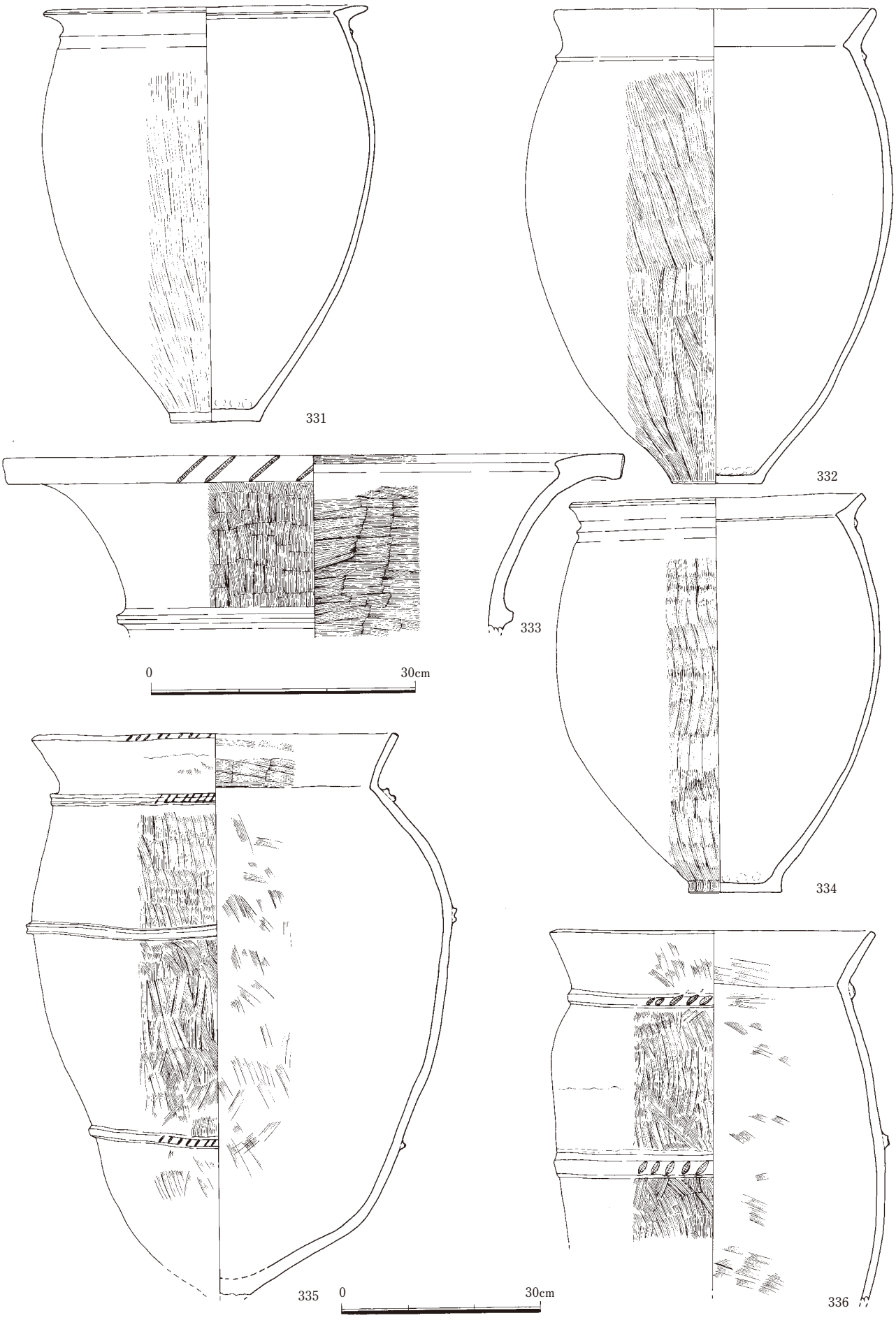

**第 40 図**　土器群 106 出土土器実測図（6）[ 1/ 4]



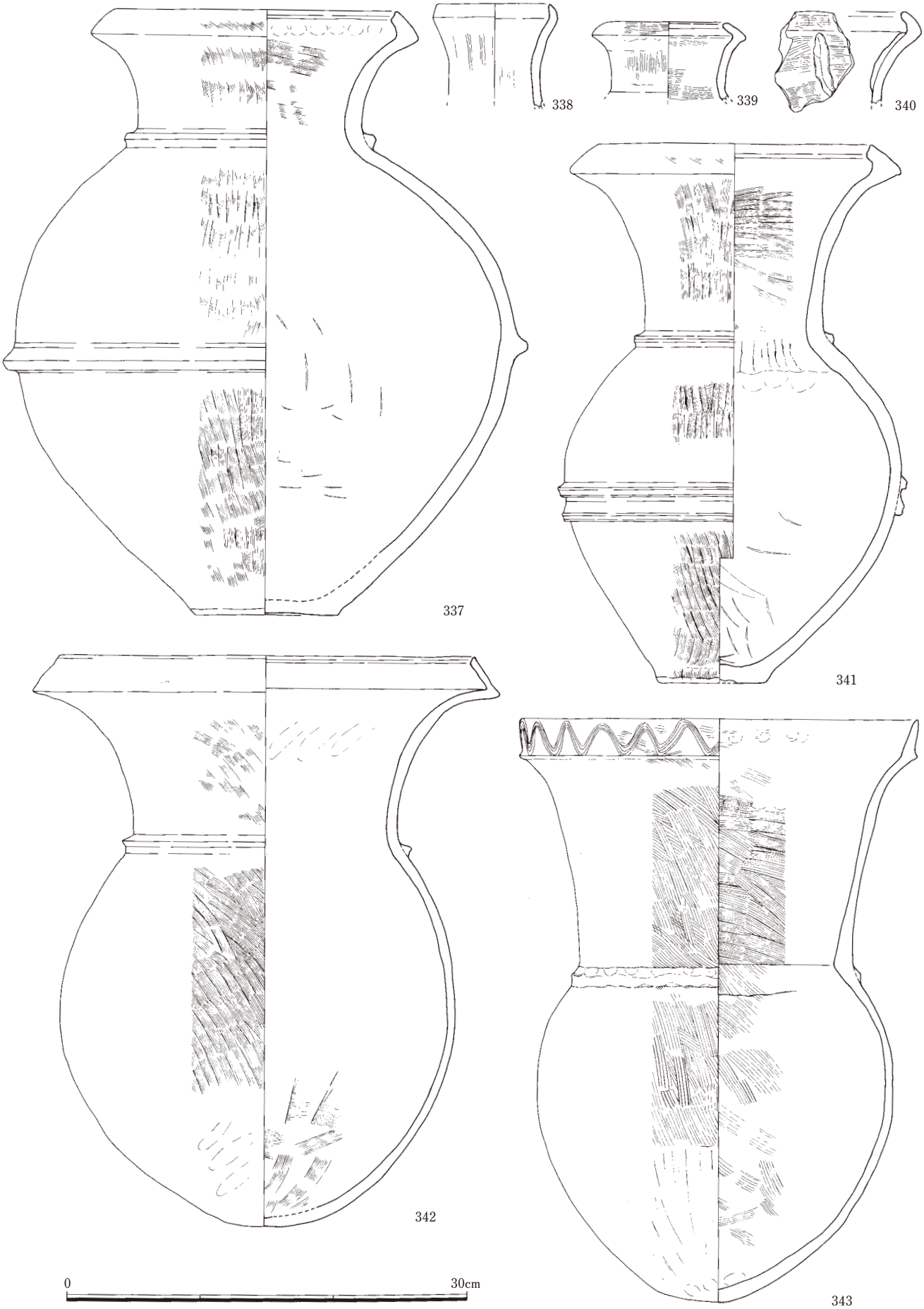

**第 41 図**　土器群 106 出土土器実測図（7）[ 1/ 4]



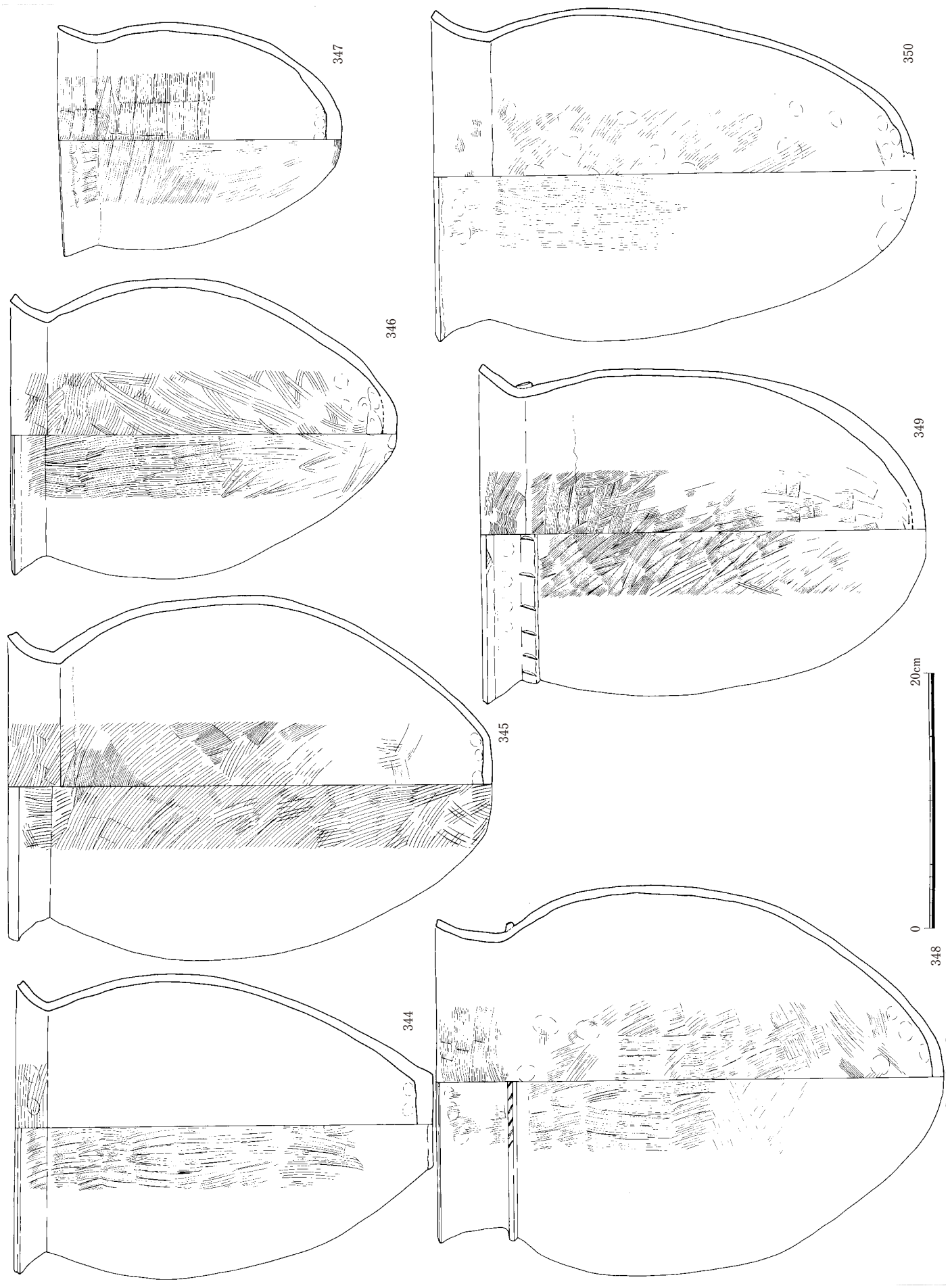

**第 42 図**　土器群 106 出土土器実測図（8）[ 1/ 4]



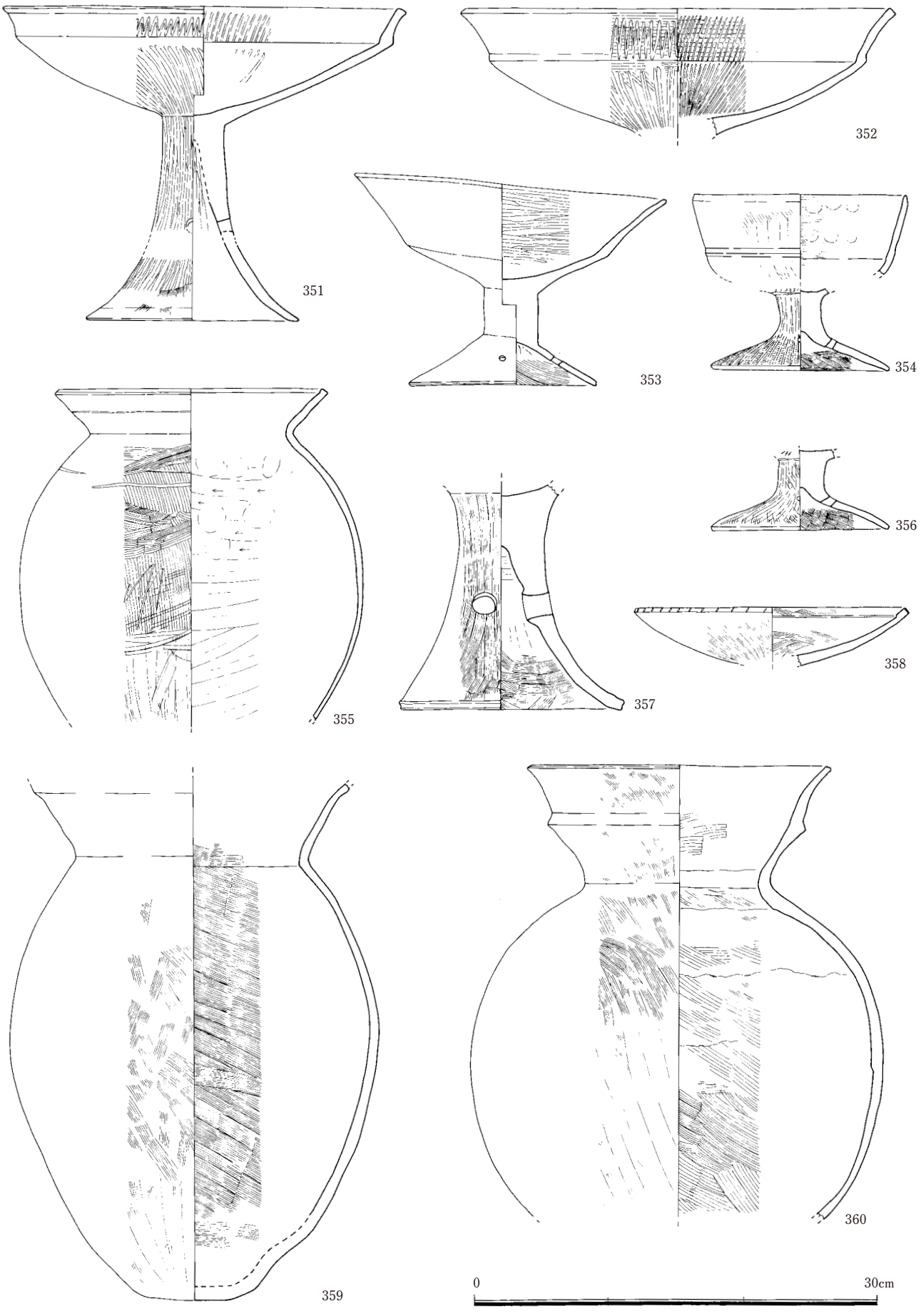

**第 43 図**　土器群 106 出土土器実測図（9）[ 1/ 6・1/ 8]



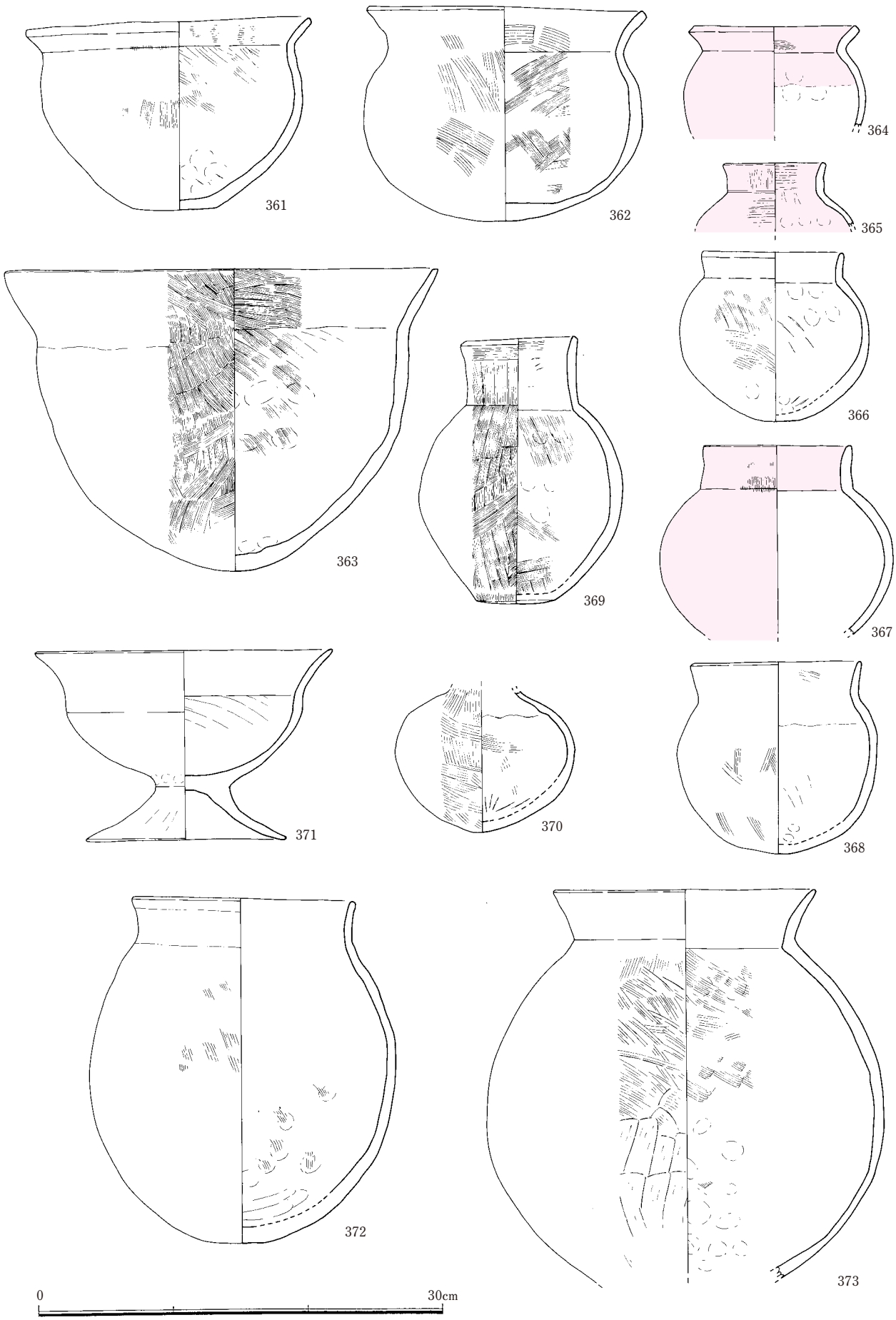

**第 44 図**　土器群 106 出土土器実測図（10）[ 1/ 4]



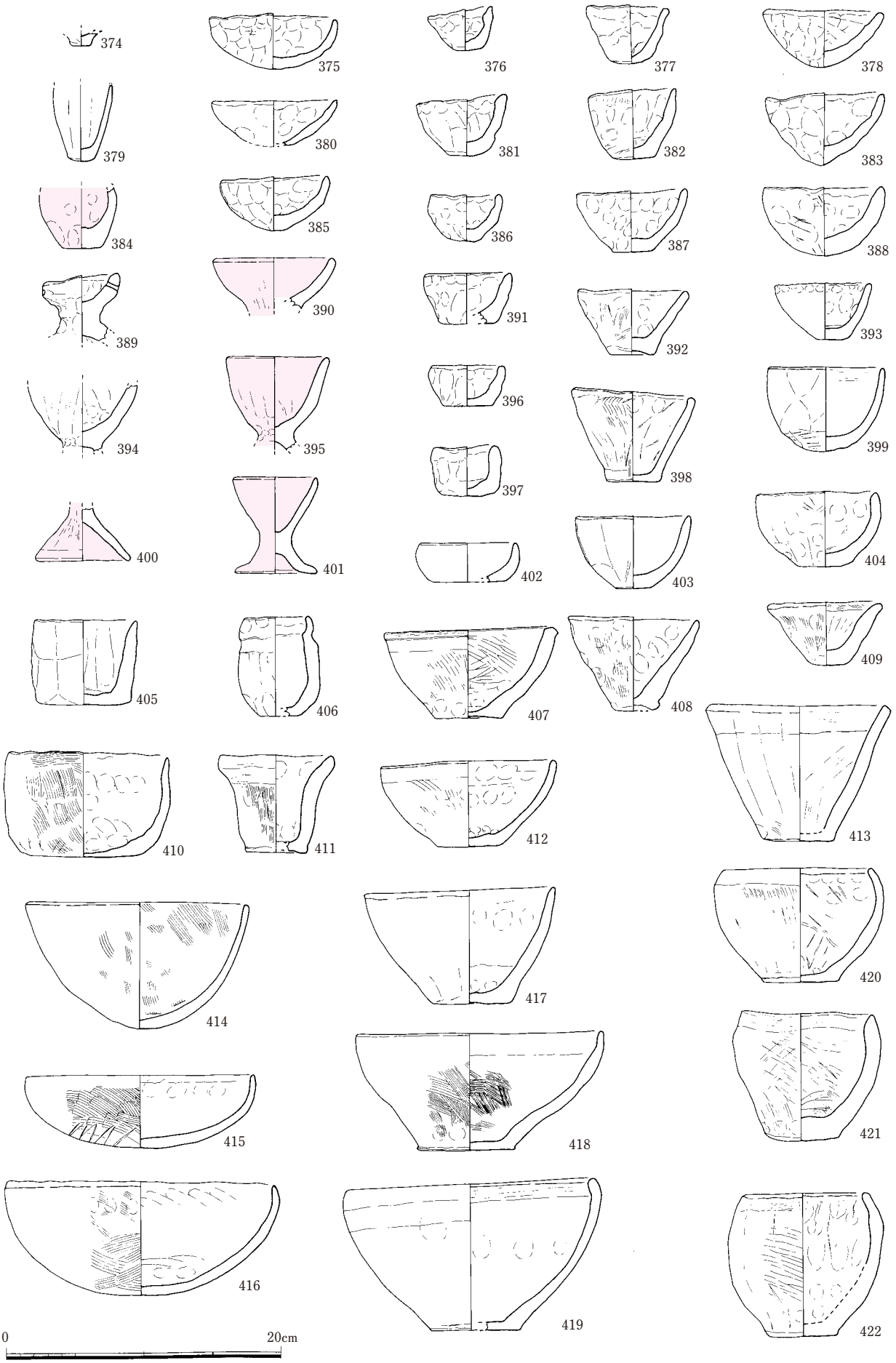

**第 45 図**　土器群 106 出土土器実測図（11）[ 1/ 4]



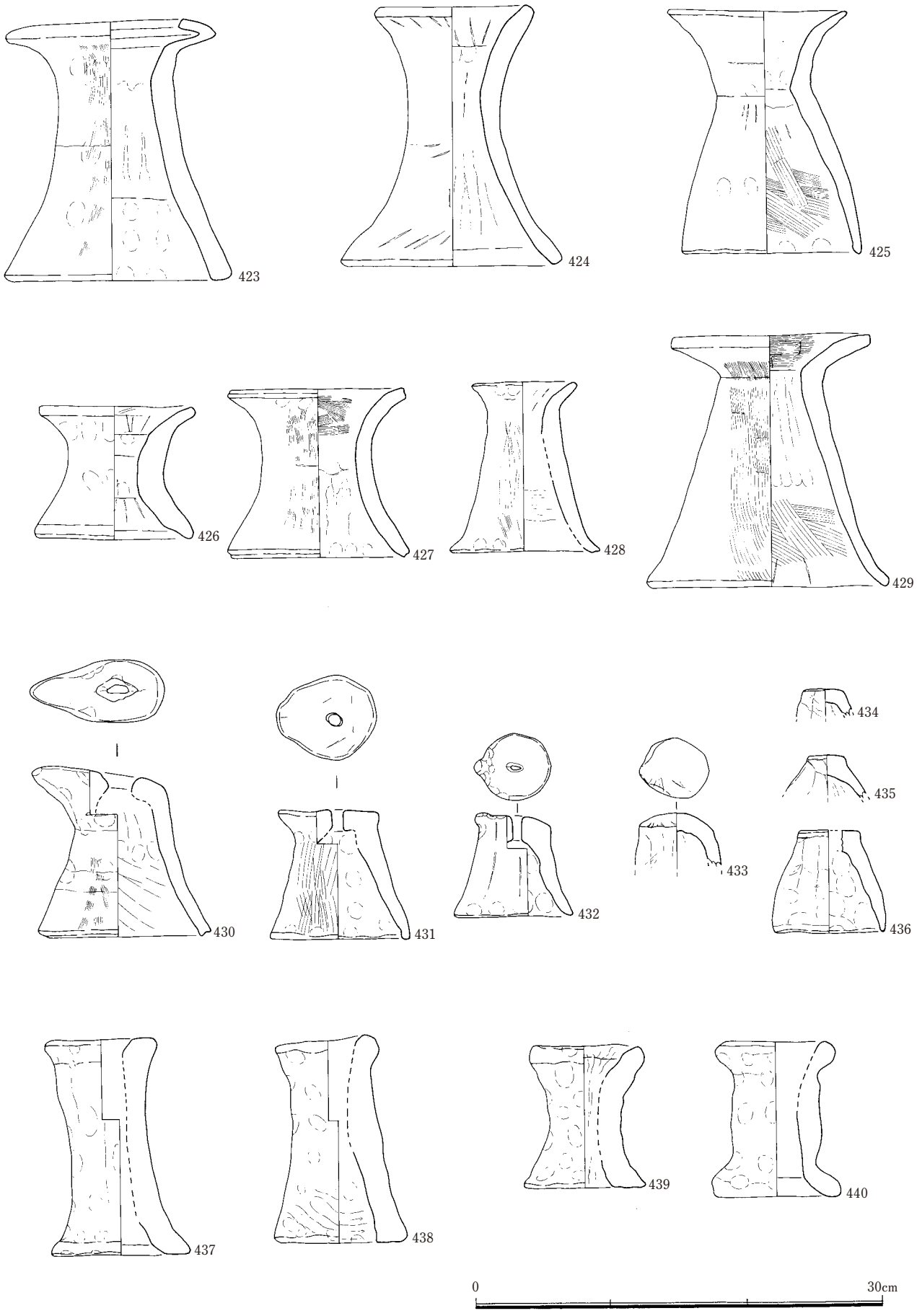

**第 46 図**　土器群 106 出土土器実測図（12）[ 1/ 4]



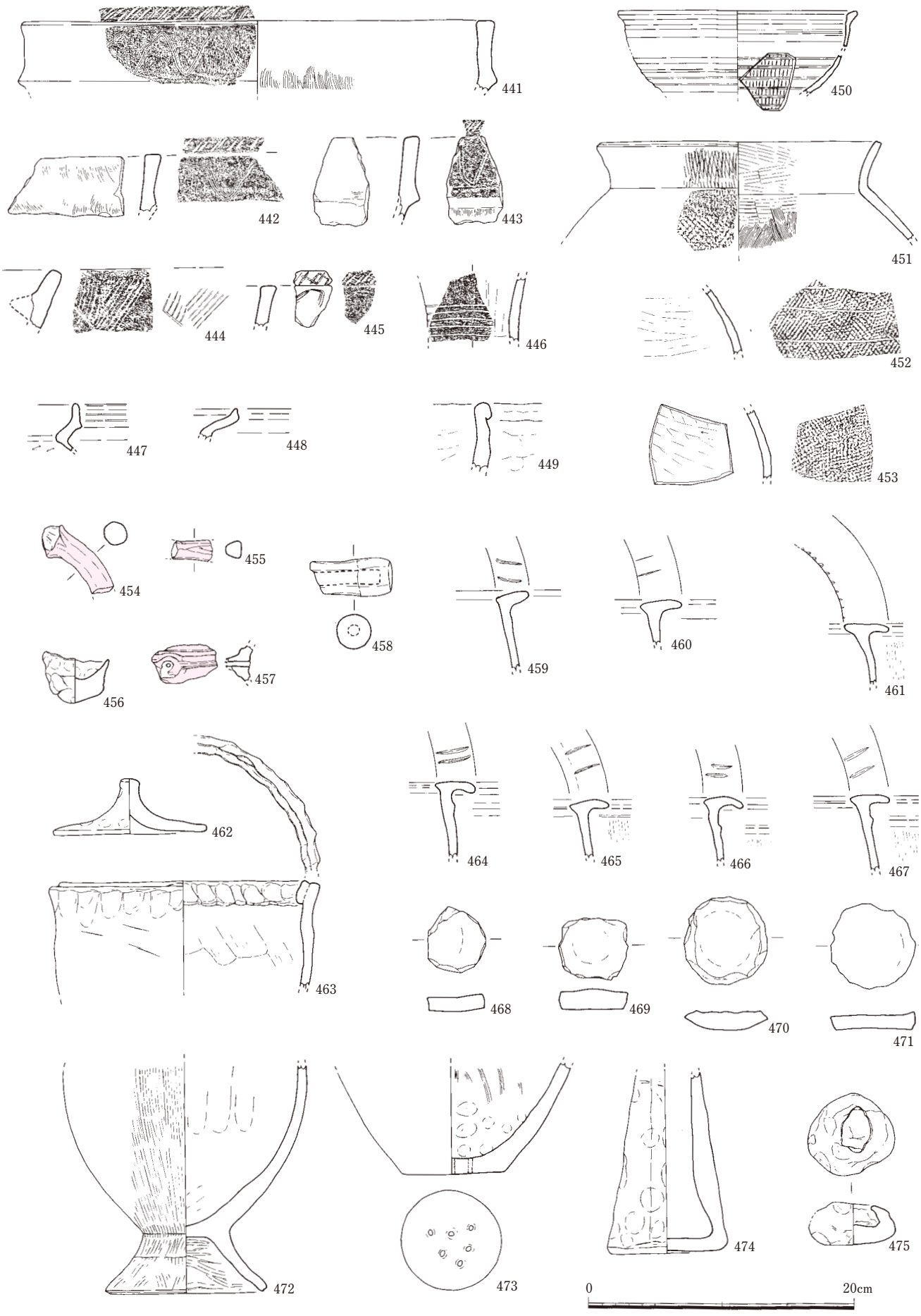

**第 47 図**　土器群 106 出土土器実測図（13）[ 1/ 4]




**第 48 図**　土器群 106 出土土器実測図（14）[ 1/ 4]




**第 49 図**　土器群 106 出土土器実測図（15）[ 1/ 4]




**第 50 図**　土器群 106 出土土器実測図（16）[ 1/ 4]

## 表 14　土器群 106 出土土器観察表（2）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 37 | 265 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 55.6 | 34 | 11.0 | 口縁部上面は研磨、頸部は暗文（間隔をあけ 6～7 本ずつ、縦研磨～暗文）、肩部は研磨、胴部下位はナデ | 口縁部上面は横・斜めの研磨、口縁部はナデ、頸部はケズリ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 口縁端部は刻み目あり、上半部は丹塗り、下半部は不明瞭 |
| 37 | 266 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 約 35 | 10.0 | 口縁端部は刻み目あり、頸部はナデ、突帯部は全て横ナデ、他はナデ | 口縁部上面は横ナデ、他はナデ、底部は指押さえ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒と 5㎜以下の赤色粒 | 良好 | 口縁部上端から外側胴部下位にかけて丹塗りの痕跡、全体的に黒っぽく汚れか黒色顔料か |
| 37 | 267 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 45.3 | 23.6 | 9.6 | 口縁部はナデ、突帯部は全て横ナデ、他はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 橙色～淡橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒 | 良好 | 残存：5/6 |
| 38 | 268 | Ⅱ | 106 | — | 壺 | — | — | — | 肩部はヘラ描き羽状・浮文（径 7㎜）、胴部中位は細かいヘラ状工具で連続の刻み目、横ヘラナデ、胴部下位は細かい縦ヘラ磨き | 頸部には沈線が入りる、肩部は指押さえ・細かい横ヘラ磨き、胴部中位はナデ、下位は調整工具で平滑にする、弾力性の枝による縦ナデ | 外：褐灰色（黒斑あり）<br>内：灰白～にぶい黄橙色 | 細かい微粒の灰白色・黒色・雲母 | 良好 | 塩町式土器、胴部 1/2 残存、円形浮文（径 0.7）、ヘラ描き羽状文、刻み目、凹線文あり、直口台付壺の可能性もある |
| 38 | 269 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小鉢 | 8.4 | 7.2 | 3.7 | 口縁部は横ナデ、他は横方向のヘラ研磨 | 口縁部は横ナデ、他は指押さえ | 浅黄色 | 精緻 | 良好 | 残存：3/4、外側丹塗り |
| 38 | 270 | Ⅱ | 106 | X-3 | 脚台付鉢 | — | — | 12.0 | 坏部は粗い縦刷毛・磨滅、脚部上位は粗い縦刷毛、裾部は縦刷毛後ナデ消し、裾端部に沈線が入る | 口縁部は強い指ナデ、中位はナデ、底部付近は横ナデ、脚部付根はヘラ状工具で横方向に平滑に整える。裾部は粗い刷毛ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/3（ワイン形土器） |
| 38 | 271 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 8.6 | — | 3.7 | ナデ、全体に指圧痕がみられる | ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、白色粒 | 良好 | 口縁部のみ全周欠損、器壁は厚く、重い、内部は橙色（丹塗り、あるいは丹を保存していたか） |
| 38 | 272 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 10 | 12.5 | 5.0 | 肩部は細かい刷毛目、胴部中位～磨滅 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：1/5、外側は丹塗り |
| 38 | 273 | Ⅱ | 106 | X-4 | ミニチュア無頸壺 | — | 8.2 | — | 磨滅 | 口縁部は磨滅、他はナデ・磨滅 | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/4、口縁部上端に焼成前の穿孔、縁端に痕跡あり |
| 38 | 274 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小壺 | — | 9.2 | — | ナデ・磨滅・磨きか | 磨滅 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/6、丹塗りだったと思われる |
| 38 | 275 | Ⅱ | 106 | X-4 | ミニチュア無頸壺 | — | 7 | — | 横ヘラ磨き | 口縁部付近は横ヘラ磨き、他は指押さえ | 橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 内外とも丹塗り、口縁部上面に穿孔あり |
| 38 | 276 | Ⅱ | 106 | X-4 | 蓋 | 2.7 | 15.3 | 1.5 | 縦の研磨 | ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 普通 | ほぼ完形 |
| 38 | 277 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小壺 | — | 8.8 | — | 口縁部は横ナデ、肩部は磨滅、胴部中位から細かい刷毛 | 口縁部は刷毛、頸部～胴部中位は磨滅、下位は刷毛 | にぶい黄橙色 | 精緻 | 良好 | |
| 38 | 278 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小壺 | — | 8.8 | — | 口縁部は横ナデか、他はナデ・磨滅・研磨？ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：1/7 |
| 38 | 279 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 11.1 | 12.2 | 5.7 | 横方向の磨き | 口縁部は横ナデ、肩部はナデ、底部にかけ横方向の磨き | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 普通 | 残存：5/6（無頸壺）、口縁部に穿孔あり、外底まで丹塗りかは不明 |
| 38 | 280 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 14.3 | 16.2 | 5.0 | 剥離し不明、底部付近は横ヘラ磨き | 口縁部は横ナデ、肩部はナデ、胴部は指ナデ・指押さえ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | やや軟 | 3/5 残存（無頸壺）、口縁部に右 2 箇所ずつ焼成前の穿孔、焼成後も孔を広げたか、磨滅・剥離が著しい |
| 38 | 281 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 18.8 | 18.2 | 7.8 | 横方向の磨き | 口縁部上面は横方向のミガキ、口縁部は工具痕あり、他はナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：口縁部は少し、体部は半分以上欠け、底部から胴部下位に黒斑あり、底部はやや平坦 |
| 38 | 282 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | 14 | 15.3 | 6.2 | 横方向の研磨、胴部中位～磨滅著しい | 口縁部は磨滅、肩部はナデ、胴部は指押さえ、底部はナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 9/10 残存（無頸壺）、口縁部上面に焼成前の穿孔あり、磨滅が著しい |
| 38 | 283 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 14.8 | — | 部分的に磨きの痕跡あり、磨滅している | 口縁部上面は横ナデ・横方向の研磨、他はナデ | 灰黄色 | 精緻、微粒の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/5、口縁部内側と外側は丹塗り |
| 38 | 284 | Ⅱ | 106 | X-4 | 脚台付壺 | 24.9 | 16.5 | 14.8 | 磨滅・剥離 | 磨滅・剥離 | にぶい黄橙色～浅黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | やや軟？ | 残存：7/8、全体に器表が磨滅・剥離、口縁端部にやや丹が見られる。丹塗りと思われるが範囲不明<br>胴部に突帯 3 条めぐる。M 字型突帯か？不明瞭 |
| 39 | 285 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 28.1 | 32.6 | 7.0 | 胴部は縦ヘラが等間隔で全周めぐる、胴部中位は細かい縦ヘラ・横ナデ、下位は横ヘラ磨きのち縦ヘラ磨き | 口縁部上面はヘラ磨き、他はナデ・磨滅 | 橙色（内底は黒色） | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母、2㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：5/6、口縁端部に刻み目、M 字突帯、外底部以外丹塗り |
| 39 | 286 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 16.9 | 20 | — | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 灰白色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：口縁部 1/2、体部 1/5、外側丹塗り |
| 39 | 287 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 32 | 28.4 | 8.0 | 口縁部は横刷毛、突帯部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部上面は横ナデ、他はナデ | にぶい黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：7/8、軟質気味の突帯、内側の丹塗り範囲不明瞭、外側は丹の痕跡、突帯部に黒色顔料かススが付着？ |
| 39 | 288 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 32.6 | 30.5 | 8.8 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛（中位は磨滅著しい） | 口縁部上面は横ナデ、他はナデ | 外：㊤にぶい黄橙色㊦一部明赤褐色<br>内：橙色 | | 良好 | 残存：5/6、口縁部から丹塗りは胴部のどの範囲まで丹塗りかは不明、ススが外側に付着 |
| 39 | 289 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 13.6 | 10.5 | 6.4 | 口縁部はナデ他は縦刷毛目・磨滅、黒斑あり、底部に指圧痕あり | 口縁部上面はナデ・不整形、口縁部～は横刷毛・磨滅、胴部中位は横・斜刷毛、下位は縦・斜刷毛 | にぶい黄橙色 | 石英・長石粒，3㎜以下の黒色粒・赤色粒 | 良好 | 残存：底部中央部と口縁部欠損、表・裏に丹塗りの痕跡、剥離が見られる |
| 39 | 290 | Ⅱ | 106 | X-3 | 蓋 | — | 8 | — | 頸部は指押さえ、肩部は磨滅、裾部に向かい細かい刷毛目 | 裾部は細かい横刷毛 | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 残存：つまみ部分のみ全周有り、内側に 8 × 2cm程の粘土紐（断面三角）が貼りついている |
| 39 | 291 | Ⅱ | 106 | X-4 | 蓋 | 9 | 6.5 | 27.5 | 頂部は調整工具痕か、頂端部はナデ、頸部は指押さえ・刷毛目、裾部は工具痕・ナデ消し、裾端部はナデ・横ナデ | 頂部付近は調整工具痕、他はナデ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | わずかに欠損、つまみ上部に調整工具痕？、黒斑あり、蓋裏側に墨痕？ |
| 39 | 292 | Ⅱ | 106 | X-4 | 蓋 | 9.6 | 7 | 25.5 | 頂部はナデ・調整工具痕か、頸部は指圧痕・刷毛目、裾部は乱雑に刷毛目、裾端部は横ナデ | 粗い刷毛 | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石・橙色粒 | 良好 | ほぼ完形、丹塗り痕あり、裾部内側は若干黒色を呈する |
| 39 | 293 | Ⅱ | 106 | X-4 | 蓋 | 12.5 | 39.8 | 9.0 | つまみ上面はナデ、他は粗い刷毛目・磨滅 | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒，5㎜大の赤色粒 | 良好 | 蓋（大）弥生<br>全体に外側は丹塗りだったのだろう |
| 40 | 294 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 26.6 | 23.1 | 8.0 | 口縁部はナデ、頸部は横ナデ、胴部はナデ・磨滅 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ・磨滅、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：2/3（窓付き甕）、胴部に焼成前に工具で削った円形の窓（8.1 × 8.0）、全体的に磨滅 |
| 40 | 295 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 27.7 | 23.8 | 9.0 | 磨滅 | 口縁部は指押さえ・磨滅、底部付近はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：4/5（窓付き甕）、胴部に焼成前に工具で削った楕円の窓（11.4 × 10.0cm）、窓部分は工具で削った後ナデ、窓付近は橙色で窓真下は黒斑あり、磨滅が著しい |
| 40 | 296 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 23.8 | 8.0 | 口縁部は横ナデ・ナデ、他は幅広の縦刷毛・ナデ消しか | 口縁部・頸部は横ナデ、他はナデ、胴部下位に指押さえ | 灰白色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/2 弱（窓付き甕上半部）、2/3 弱（下半部）、上下の土器は接点はないが同一個体と思われる |
| 40 | 297 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | 23.2 | 8.8 | 口縁部は横ナデ、肩部は縦刷毛・横ナデ、胴部下位は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他はナデ、胴部下位に指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 2/3 残存、上半部は全周有り、底部に焼成後の穿孔（1.7 × 1.3）、斑状の黒斑あり、窓は削った後丁寧にナデ |

## 表 15　土器群 106 出土土器観察表（3）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 40 | 298 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 21.7 | 22.5 | 7.6 | 口縁部は横ナデ・磨滅、他は縦刷毛・磨滅 | 口縁部・頸部は横ナデ、他はナデ・磨滅 | 橙色<br>斑文あり | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 普通 | 残存：3/4（窓付き甕）、底部に焼成前？の穿孔(2.1 × 1.8)あり、磨滅している、窓のようだが疑問が残る |
| 40 | 299 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 29.7 | 24 | 8.5 | 口縁部はナデ、頸部は横ナデ、他は縦刷毛・磨滅 | 口縁部は横刷毛・横ナデ、頸部は横ナデ、他はナデ | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒と 5㎜以下の赤色粒・雲母 | 良好 | 残存：1/2 弱、残存部分は多いが窓部分は少し残る、胴部に楕円の黒斑あり |
| 41 | 300 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 22 | — | 口縁部は横ナデ、他はナデ・磨滅 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：2/3（窓付き甕上半部）<br>胴部に焼成前に工具で削った円形の窓（径 10 ～ 11）<br>窓付近は斑状の黒斑がみられる<br>窓部は削った後ナデ |
| 41 | 301 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | 22 | — | 口縁部は横ナデ・短い縦刷毛、他は刷毛目 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | 残存：2/3（窓付き甕上半部）<br>窓（ケズリ）のある土器片が少ないので楕円形か円形か不明<br>斑文あり |
| 41 | 302 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 18.8 | — | 口縁部はナデ・磨滅、他は細かい縦刷毛 | 口縁端部に凹線の一条の溝、口縁部は横刷毛、他はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：1/3（窓付き甕）<br>胴部に焼成前に工具で削った楕円形の窓（12.8 × 9.5）<br>窓付近は橙色で周りに黒斑がみられる |
| 41 | 303 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 23 | — | 口縁部はナデ、頸部は横ナデ肩部は粗い縦刷毛 | 口縁部は横ナデ | にぶい黄橙色～灰黄褐色 | 2㎜以下の石英･長石粒･褐色粒･金雲母 | 良好 | 残存：1/6（窓付き甕の上半部）、胴部上位に焼成前に工具で削った楕円の窓（横幅 11.0cm程度）<br>窓部分は工具で削っているが丁寧にナデている |
| 41 | 304 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | 22 | — | 口縁部はナデ、頸部は横ナデ肩部は細かい縦刷毛 | 口縁部は横ナデ･指押さえ、頸部は横ナデで粘土のつなぎ目あり、他はナデ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：1/2（窓付き甕の上半部）、胴部上位に焼成前に工具で削った楕円の窓（横幅 11.0cm程度）<br>丹塗りかそう見えるだけか不明 |
| 41 | 305 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 28.8 | 21.3 | 8.7 | 口縁部はナデ、頸部は横ナデ、胴部は縦刷毛・ナデ消し | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部は指押さえ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 残存：7/8（窓付き甕）<br>胴部に焼成前に工具で削った窓（10.6 × 10.0）<br>窓部分は工具で削った後ナデている |
| 41 | 306 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | — | — | 口縁部は横ナデ・ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横刷毛、他はナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 窓つき土器片<br>窓は少し楕円か |
| 41 | 307 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | — | — | 口縁部はナデ・磨滅、他は粗い縦刷毛・磨滅 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 窓つき土器片<br>窓の直径は 11.0 くらいか<br>粗い縦刷毛のようだが磨滅 |
| 41 | 308 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | 縦刷毛 | 口縁部は横・斜の刷毛、他はナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 窓つき土器片<br>窓の直径は 7.4cmくらいか |
| 41 | 309 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | ナデ・磨滅 | 口縁端部は横ナデ、他はナデ | 外：橙色（黒斑あり）<br>内：にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 窓つき土器片<br>窓は削ってあり楕円のようだ |
| 41 | 310 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | 縦刷毛・磨滅・ナデけし | ナデ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 窓つき土器片<br>窓の直径は 9.0cmくらい<br>窓は削って丁寧にナデ |
| 41 | 311 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | 縦刷毛 | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 窓つき土器片<br>窓の直径は 8.0cmくらい<br>窓は丁寧にナデ |
| 41 | 312 | Ⅱ | 106 | X-3・4 | 甕 | — | — | — | 縦刷毛・磨滅 | ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 窓つき土器片<br>緑片が朱い。全体に丹塗りだったか？直下に黒斑あり<br>窓の径は 10.6 ～ 11.0 くらい |
| 41 | 313 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | 縦刷毛・磨滅 | 横刷毛のち縦刷毛 | にぶい赤褐色 | 4㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 窓つき土器片<br>窓の直径は 5.4cmくらい |
| 41 | 314 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | 磨滅 | ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 窓つき土器片、窓は楕円と思われる<br>丁寧に削りナデている |
| 41 | 315 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕か鉢 | — | — | — | 板ナデ・アレ | ナデ・指押さえのち刷毛 | 外：にぶい橙色～明赤褐色<br>内：にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 普通 | 鉢の口縁端部？楕円の窓？斑状の黒斑あり |
| 42 | 316 | Ⅱ | 106 | X-4 | 高坏 | 27.9 | 30.7 | 21.0 | 口縁部は横ナデ、体部他は剥離が著しくち調整不明、脚部は縦ヘラ磨き、裾部は磨滅 | 口縁部上面は横ナデ、他は横ヘラ磨き、脚部下位はナデ裾部は横ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の白色粒・雲母 | 良好 | 残存：4/5、外側から焼成後の穿孔（1.3 × 2.0cm）あり、丹塗り（脚部内側一部にも） |
| 42 | 317 | Ⅱ | 106 | X-4 | 高坏 | — | 14.6 | — | 研磨・磨滅 | 口縁部上面は横ナデ、他は研磨・磨滅 | 淡橙色 | 精緻、微粒の白色粒・褐色粒・雲母 | 良好 | 残存：1/3（高坏小） |
| 42 | 318 | Ⅱ | 106 | X-4 | 高坏 | 20.7 | 22.6 | 15.5 | 坏部はナデか、脚部は縦方向のヘラ磨き、裾端部は横ナデ | 口縁部上面は横ナデ、坏部はナデ・磨滅、脚部上位はしぼり裾部は指ナデから横ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 口縁部わずかに欠損､丹塗り（脚部内側一部も） |
| 42 | 319 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | 16.6 | 14.2 | 12.2 | 口縁部は暗文風縦方向の研磨、坏部下位は横研磨、脚部は縦方向の研磨 | 坏部は横方向の研磨、脚部はナデ、裾部は横ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻 | 普通 | 残存：2/3<br>脚部内側に丹が部分的にぬってあり飛沫もある。 |
| 42 | 320 | Ⅱ | 106 | W-3・4<br>ベルト下 | 高坏 | — | 16 | — | 口縁部は縦研磨が等間隔で全周めぐる、坏部下位は横研磨、脚部は縦研磨 | 坏部は横研磨 | にぶい黄橙色 | 精緻 | 普通 | 残存：高坏の坏部（全周有り）<br>丹塗り |
| 42 | 321 | Ⅱ | 106 | X-4 | 高坏 | — | 13.3 | — | 口縁部は縦方向の等間隔の研磨、坏部下位は横研磨、脚部は縦研磨 | 坏部は横研磨 | にぶい黄橙色 | 精緻 | 普通 | 残存：ほとんどある（高坏上半部）<br>脚部内側に丹の飛沫あり |
| 42 | 322 | Ⅱ | 106 | X-4 | 高坏 | 21.4 | 21 | 15.8 | 坏部は縦刷毛様だが磨滅、脚部は剥離が著しく器表がアレ、裾部はナデ | 坏部はナデ・磨滅、脚部はアレ、裾部は横ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存:坏部は 1/2､磨滅が著しく､器面が薄く剥がれている |
| 42 | 323 | Ⅱ | 106 | X-4 | 高坏 | — | 16.2 | — | 口縁部は縦の研磨、坏部下位は横研磨か | 磨滅 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：1/4（高坏の坏部） |
| 42 | 324 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | — | 16.2 | — | 口縁部は縦の研磨、他は磨滅 | 横研磨か、磨滅している | にぶい黄橙色 | 微粒の白色粒と赤色粒 | 普通 | 残存：1/8（高坏の坏部） |
| 42 | 325 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | — | 16.3 | — | 口縁部は縦の研磨、他は研磨か | 磨滅・アレ<br>工具痕か爪痕あり | にぶい黄橙色 | 微粒の石英・長石粒・赤色粒 | 普通 | 残存：1/7（高坏の坏部） |
| 42 | 326 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | — | 14.1 | — | 口縁部は縦方向の研磨 | 横研磨か磨滅 | にぶい黄橙色 | 微粒の白色粒・黒色粒 | 普通 | 残存：1/8（高坏の坏部） |
| 42 | 327 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 13.4 | 23.2 | 6.0 | 口縁部は横ナデ、突帯部下に暗文・横ナデ、胴部下位は横・斜の研磨、底部はケズリ | 横研磨 | 橙色 | 精緻 | 普通 | 残存：5/6 |
| 42 | 328 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 18.7 | 26.7 | 7.6 | 口縁部は横ナデ、胴部は磨滅、胴部下位は細かい横ヘラ磨き、底部はケズリ | 全体に横ヘラ磨き | にぶい黄橙色<br>(内側は丹塗りで橙色) | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：ほぼ完形（口縁部一部欠損）<br>外底以外は丹塗りか |
| 42 | 329 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | — | 31 | — | 口縁部は縦方向の研磨・暗文 | 口縁端部は若干凹む、他は横方向の研磨 | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒を多く含む | 良好 | 残存：2/3（口縁部） |
| 42 | 330 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 19.1 | 23.5 | 7.6 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部は指押さえ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒を多く、雲母を少量含む | 良好 | 残存：5/6<br>底部に焼成前の穿孔（径 1.5cm）あり |
| 43 | 331 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 47.1 | 36.8 | 10.2 | 口縁部は横ナデ、他は粗い縦刷毛・ナデ消し | 口縁部は横ナデ他はナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・褐色粒を含む | 良好 | 残存：2/3<br>大きな甕だが外側に丹塗りがあったようだ |

## 表 16　土器群 106 出土土器観察表（4）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 43 | 332 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 53.8 | 35.5 | 10.2 | 口縁部から肩部は横ナデ、胴部は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部は指押さえ | 橙色～褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子を含む | 良好 | 残存：5/6<br>口縁部～胴部下位まで煤付着 |
| 43 | 333 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 70.5 | — | 口縁部は刻み目があり頸部は縦刷毛、突帯部は横ナデ | 口縁部上面は横刷毛、口縁部は横ナデ、頸部は横刷毛 | 灰黄色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・褐色粒を含む | 良好 | 残存：全周有り（壺棺口縁部） |
| 43 | 334 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | 45.2 | 33.2 | 10.3 | 口縁部・突帯部は横ナデ、胴部は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 残存:5/6,底部付近が橙色（丹塗り）剥離した部分も多いが黒い |
| 43 | 335 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 85+ α | 55.6 | — | 口縁部は縦刷毛・磨滅、粘土のよりも見られる。突帯部はいずれもぶよぶよし刻み目あり、胴部は細かい縦刷毛、底部は器表が削れている | 口縁端部は刻み目あり、口縁部は細かい刷毛・ナデ、他は細かい刷毛目・ナデけし | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 残存：4/5、3段目の突帯部から下は強く膨らみ急に底部に向けすぼまる<br>底部外側欠損、平底か<br>黒斑あり |
| 43 | 336 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 49.3 | — | 口縁部は細かい刷毛目、肩部～胴部上位は細かい刷毛目、胴部下位も細かい刷毛目 | 細かい刷毛目・ナデけし・ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3（甕棺、突帯部は刻み目あり、下半部欠損 |
| 44 | 337 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 45.3 | 21 | 10.3 | 口縁部は斜めの細かい刷毛・ナデけし頸部は細かい刷毛、突帯部は横ナデ、他は細かい縦刷毛 | 口縁部は指押さえ頸部は横刷毛、他はナデ、工具痕あり | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3<br>やや上げ底 |
| 44 | 338 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 14.8 | — | 縦方向に研磨、磨滅が著しい | 口縁部は横ナデか横方向の研磨、他は磨滅 | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：1/5（壺の口縁部） |
| 44 | 339 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | 11.5 | — | 口縁端部は横ナデ、頸部は縦刷毛 | 口縁部は刷毛・ナデ、頸部は横刷毛 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：全周有り（壺の口縁部） |
| 44 | 340 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | — | — | 口縁端部はナデ・刷毛目、頸部は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、頸部は横刷毛 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 壺の口縁部（破片）、複合口縁の内側に粘土が貼りつけられている |
| 44 | 341 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 40.3 | 25 | 約 8.2 | 口縁部は横ナデ、頸部は細かい刷毛・横ナデ、突帯部付近は横ナデ、肩部は縦刷毛、胴部中位は横ナデ、胴部下位からは細かい刷毛 | 口縁部は横ナデ、頸部は横刷毛、他はナデ、胴部下位から底部は工具痕あり | にぶい黄橙色（口縁部外端は一部橙色） | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3（弥生の壺） |
| 44 | 342 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 42.8 | 35 | 3.0 | 口縁部は横ナデ・横刷毛、頸部は横ナデのち斜の細かい刷毛、突帯部は横ナデ、胴部は斜めの細かい刷毛、底部付近はナデ・ナデすり | 口縁部は横ナデ、頸部はナデのち磨滅、胴部はナデ、底部付近は刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：5/6 |
| 44 | 343 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 43.7 | 30 | 3.0 ～ 4.0 | 口縁部は横刷毛・波状文、頸部は刷毛・ナデ消しのち縦・斜の刷毛、突帯部は横ナデ、胴部は縦刷毛、底部付近はナデ・ナデすり | 口縁部は横刷毛・ナデけし、頸部は横刷毛、胴部は斜刷毛・ナデ、底部は指押さえ | 外：にぶい黄橙色<br>内：にぶい黄橙色～褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒，3㎜以下の橙色粒 | 良好 | 残存：口縁部は 1/4、胴部は大体ある、弥生終～古墳初、口縁部の内外上方に丹の痕跡あり |
| 45 | 344 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 32.9 | 23 | 7.3 | 全体に縦刷毛、幅広の粗い刷毛目を何度か重ねているようだ<br>底部付近はナデ・磨滅 | 口縁部は粗い横刷毛、他はナデ、底部は指押さえ | 外：㊤浅黄色㊦橙色<br>内：㊤にぶい橙色㊦褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：7/8（弥生の甕）<br>上半部にスス付着 |
| 45 | 345 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 37.8 | 24.4 | 7.0 | 口縁端部は横ナデ、口縁部は横刷毛・横ナデのち縦刷毛、胴部は斜の刷毛で底部付近は刷毛・ナデけし | 刷毛目、胴部下位はナデけし、底部は指押さえ | 外：灰黄色<br>内：にぶい黄橙色，底部付近は黒灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒，2㎜以下の赤色粒を少量含む | 良好 | 残存：5/6（弥生の甕） |
| 45 | 346 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 30.1 | 22 | 2.0 | 口縁部上位は横ナデ・刷毛目、口縁部から縦刷毛、胴部中位から板ナデ・ナデ | 口縁端部は沈線が巡り、口縁部は横ナデのち横刷毛、頸部は指押さえ・刷毛、他は刷毛で胴部下位は刷毛・ナデ消し、底部は棒状工具で押し | 外：浅黄色<br>内：灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | 残存：7/8（土師器）<br>外側全体にスス付着 |
| 45 | 347 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 22.15 | 18 | — | 口縁部は縦刷毛目・指圧痕、胴部は細かい刷毛目、胴部中位から粗い刷毛目 | 口縁端部はナデ、他は横刷毛、胴部下位は剥離のため不明、底部は指圧痕 | 褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英，4㎜以下の長石粒） | 良好 | 残存：胴部 10％弱欠損、全体に器表が磨滅、内面胴部下位の部分的に炭化物の付着、スス付着（外側の口縁部～胴部下位） |
| 45 | 348 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 39.7 | 25.4 | 丸底 | 口縁端部に沈線あり、口縁部上位は横ナデのち指押さえ・縦刷毛・ナデ消し、突帯部上下に横ナデ、突帯部は斜めの刻み、胴部上位は縦刷毛、中位から板ナデ・ヘラナデのち磨滅 | 口縁部は横刷毛、肩部は指押さえ、胴部は縦の刷毛、胴部下位は斜の刷毛、底部は指押さえ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/2 縦半分、土師器、胴部下位の器表は調整工具は不明だが平滑 |
| 45 | 349 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 34.8 | 26.6 | 約 4.0 | 口縁部は横ナデ、突帯部は粘土帯のようで鋭い刻み目あり、胴部は細かい刷毛目と粗い刷毛目（少）、底部付近は刷毛・ナデ消し | 口縁部は細かい横刷毛、胴部は細かい刷毛目、底部付近は刷毛・ナデ消し | 外：にぶい橙色<br>内：橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒，2㎜以下の褐色粒、0.9㎜の白色粒 | 普通 | 残存：7/8（弥生後～古墳初の甕）、底部付近に濃い黒斑、粘土帯のような突帯、胴部下位は異様に分厚い<br>底部はかろうじて自立（やや平ら），かなり剥離 |
| 45 | 350 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 37.5 | 25.8 | — | 口縁部は刷毛目・磨滅、他は縦刷毛、底部付近は磨滅 | 口縁部は横刷毛・磨滅、他は斜の刷毛・指押さえ、底部はナデ・磨滅 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒く、微粒の褐色粒 | 良好 | 残存：縦に 1/5 |
| 46 | 351 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | 約 23.2 | 30.0 | 16.4 | 口縁部は暗文風の縦ミガキ、坏部上位は横ナデ、中位から脚部は縦ヘラ磨き、脚部下位は磨滅・細かい刷毛ナデ | 口縁部は縦にヘラ磨きがあるらしい、中位からミガキがあるようだが磨滅が著しい、脚部はしぼり、脚部裾部はナデ・磨滅 | 外：黒<br>内：灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：坏部 2/3、裾部 1/3、外側は黒色顔料を塗っているのか、脚部に焼成前の穿孔が 3 つ（いずれも半欠） |
| 46 | 352 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | — | 32.2 | — | 口縁端部は横ナデ、口縁部は横刷毛・縦のヘラ磨き（暗文風）、坏部中位は横・斜の刷毛、下位は縦方向のヘラ磨き | 口縁端部は横ナデ、口縁部は横ヘラ・縦ヘラ磨き、坏部中位～ヘラ磨き | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 良好 | 残存：5/6 |
| 46 | 353 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | 15.8 | 23.2 | 13.8 | 全体に磨滅、頸部は磨滅著しい | 坏部は横ヘラ磨き、坏部底部は磨滅、裾部は刷毛目 | 橙色～にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の橙色粒 | 普通 | 残存：2/3、坏部は非常に歪みが大きい、脚部に焼成前の穿孔（径 0.5cm）が 3 箇所、丹塗？ |
| 46 | 354 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | — | 15.7 | 13.3 | 坏部は磨滅、脚部上位は縦ヘラ研磨、下位にかけ横刷毛・ヘラ研磨 | 坏部は指押さえ・細かい横刷毛、脚部上位はナデ、下位は斜・横交互の細かい刷毛目 | 灰黄褐色 | 精緻、2㎜以下の黒色粒 | 普通 | 残存：1/7<br>脚部に焼成前の穿孔（径 0.3 ～ 0.4 cm）ある |
| 46 | 355 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 20.2 | — | 口縁端部に沈線あり、口縁部は横ナデ、肩部は横刷毛で沈線が一周巡る、胴部上位は横刷毛、中位は縦刷毛、下位は所々横刷毛、底部付近は細かい縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他はケズリ、肩部付近は指ナデ・指押さえあり | 灰黄色～浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒<br>頸部に 1.4 × 0.4 の大きなピンク粒子 | 良好<br>堅い | 残存：上半部 2/3<br>スス付着か |
| 46 | 356 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | — | — | 13.2 | 裾部上面はヘラ研磨、他は縦ヘラ研磨・細かい刷毛目 | 細かい刷毛目 | 灰黄褐色 | 精緻、1㎜以下の長石粒 | 普通 | 残存：4/5（高坏の裾部）、焼成前の穿孔（径 0.5cm）が 3 箇所 |
| 46 | 357 | Ⅱ | 106 | X-3 | 高坏 | 16.7 | — | 16.2 | 縦刷毛目、裾端部は横ナデ | 脚部上位はナデ、裾部は横刷毛、裾端部は横刷毛・ナデけし | 灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 良好 | 残存：1/4（高坏の脚部のみ）、焼成前にほぼ正円（径 1.6）の孔が外から内へ等間隔に 4 つ開けられている（同一工具） |
| 46 | 358 | Ⅱ | 106 | X-3，Y-3 | 高坏 | — | 20.4 | — | 口縁端部は刻み目あり、坏部上位は刷毛目・ナデ消し、下位は細かい刷毛 | 口縁部は細かい刷毛目、坏部上位はナデ消し、下位は細かい刷毛目 | 橙色 | 精緻、微粒の雲母・赤色粒 | 良好 | 残存：7/8（高坏の坏部）、弥生後～古墳初、外来系？ |

## 表 17　土器群 106 出土土器観察表（5）

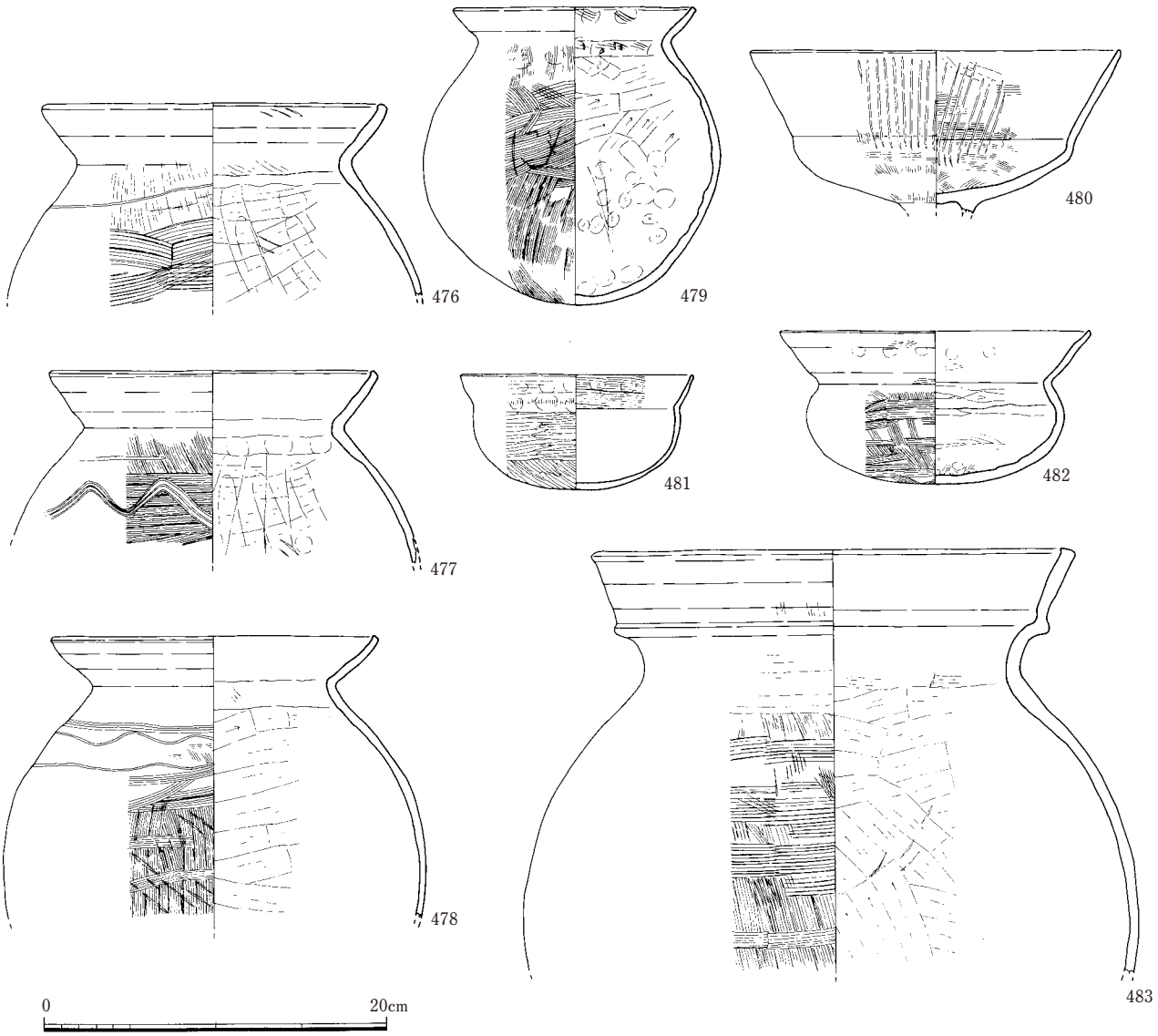
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 46 | 359 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 38.5 | — | 7.0 | 口縁部は磨滅、胴部は縦・斜の刷毛、底部付近は刷毛目・指ナデ（ナデ後工具で器表を調整か） | 口縁部は磨滅、他は横刷毛 | 浅黄色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の褐色粒 | 普通 | 残存：5/6（弥生後～古墳初）口頸部の磨滅が著しい |
| 46 | 360 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | 22.4 | — | 口縁部は横ナデのち斜刷毛・ナデ消し、突帯部は横ナデ、頸部は刷毛目、肩部は斜刷毛のち細かい斜刷毛、胴部中位から刷毛・ナデ | 口縁部上位は磨滅、下位は横刷毛、他は斜の刷毛 | 橙色～淡橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母く、1㎜以下の褐色粒 | 良好 | 山陰系の壺 |
| 47 | 361 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 14.1 | 20.9 | 0.5 | 頸部は工具痕あり、胴部上位は縦刷毛・磨滅、他は磨滅が著しい | 口縁端部は横ナデ、口縁部は横刷毛・磨滅、胴部は斜刷毛・磨滅、底部はナデ・工具痕あり | 橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 普通 | 残存：口縁部は半分強，体部は1/3欠け。底部はほぼ残存<br>胴部上位に黒斑あり<br>底部はやや平坦 |
| 47 | 362 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 15.8 | 20 | 丸底 | 口縁部は横ナデ、頸部は縦刷毛・ナデ消し、胴部上位は縦刷毛、下位は斜刷毛・ナデ消し、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は横に刷毛目・ナデ消し、胴部は横・斜刷毛目、底部は刷毛目・ナデけし | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 普通 | 残存：口縁 1/2、体部ほぼ完形、底部 4/5 |
| 47 | 363 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 約 29.0 | 22.3 | 1.0 | 刷毛、底部は刷毛・ナデけし | 口縁部は細かい横刷毛、胴部中位から指押さえ | 外：灰黄褐色<br>内：にぶい黄橙色，底部付近は褐～黒色 | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母，褐色粒 | 普通 | 残存：1/3 弱（弥生後～古墳初の鉢）、外側全体にスス付着、口径は大きく歪んでいる |
| 47 | 364 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | — | 12.6 | — | 磨滅が著しい | 口縁部は横刷毛、他は磨滅 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/3 |
| 47 | 365 | Ⅱ | 106 | X-4 | 壺 | — | 7.6 | — | 口縁部は縦の細かい研磨、肩部は横の細かい研磨 | 口縁部は横の研磨、他はナデ | 灰黄褐色 | 白色微粒子と雲母 | 普通 | 残存：1/3（壺の口縁部）<br>丹は橙色ではなく明赤色・赤褐色 |
| 47 | 366 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 12.5 | 10.5 | 丸底 | 口縁部は横ナデ、肩部は縦・斜刷毛～ナデ消し胴部中位は粗い斜の刷毛・ナデ消しで底部は指圧痕・ナデ | 口縁部はナデ・磨滅、肩部～は指圧痕・工具痕・磨滅、底部は指圧痕・工具痕 | にぶい黄橙色 | 細かい粘土・石英・長石粒、3㎜以下の褐色粒 | 良好 | 残存：口縁が少々欠損 |
| 47 | 367 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | 11 | — | 全体に刷毛目・磨滅、口縁部上位は磨滅、下位は細かい縦刷毛・工具痕 | ナデ・磨滅 | 黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の赤色粒・黒色粒 | 普通 | 残存：1/4、口縁部内側から外側全体に丹塗り、口縁部から肩部に黒斑あり、磨滅著しい |
| 47 | 368 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 14.3 | 12.2 | 丸底 | 口縁部は横ナデ、他は斜刷毛目・磨滅、底部はナデ | 口縁部は横刷毛・ナデけし、他はナデ・磨滅、底部は指おさえ | 外：にぶい黄橙色～橙色、内：橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：口縁部が半分欠け、胴部に黒斑あり |
| 47 | 369 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 19.6 | 8 | — | 口縁部は縦方向に細かい刷毛目，肩部から底部はは縦・斜に細かい刷毛目、胴部中位には指圧痕もあり | 口縁部は横ナデ、頸部は工具痕、肩部は指圧痕と刷毛目、胴部中位に指圧痕、胴部下位から底部は所々刷毛目 | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒を含む、微粒の赤色粒 | 良好 | 残存：口縁部は半分，胴部下位はやや欠け，底部はやや丸底（完存） |
| 47 | 370 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | 10.5 | — | 丸底 | 口縁部から肩部は斜めに刷毛、胴部は縦に刷毛、下位は横・斜に刷毛で底部にかけ刷毛目・ナデ消し | 口縁部に粘土の継ぎ目あり。口縁部から胴部は横刷毛・ナデ消し、胴部中位から工具痕あり | 外：灰白色<br>内：黒色 | 3㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：口縁部なし，体部は少し欠け，底部は完存、肩部付近に黒斑あり |
| 47 | 371 | Ⅱ | 106 | X-3 | 脚台付鉢 | 15 | 22 | 14.8 | 磨滅 | 全体に磨滅、胴部中位は指ナデ？ | にぶい黄橙色 | 精緻、3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：3/5 |
| 47 | 372 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | 25.7～25.3 | 16.4 | 丸底 | 口縁部は横ナデ、他は全体的に剥げているが所々刷毛目 | 磨滅が著しい、胴部下位は刷毛・指押さえ、底部は指ナデ | 橙色 | 5㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | やや軟 | 残存：5/6、黒斑あり |
| 47 | 373 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | 19.4 | — | 口縁部は横ナデ・磨滅、肩部から斜刷毛・磨滅、胴部中位はケズリ、下位はケズリ・磨滅か | 口縁部は横ナデ・磨滅、胴部は刷毛目、胴部下位は指押さえ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | |
| 48 | 374 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア | — | — | 1.7 | ナデ | | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒 | 良好 | 丹塗りかも |
| 48 | 375 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小鉢 | 4 | 9.3 | — | 指押さえ、底部は磨滅 | 指押さえ | 褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：7/8 |
| 48 | 376 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア | 3.2 | 4.8 | 2.0 | 指押さえ | 指押さえ | 灰黄褐色 | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形 |
| 48 | 377 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア小鉢 | 4.3 | 約 6.0 | 約 2.7 | 指ナデ | 指ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の赤色粒 | 良好 | 残存：7/8、底部は平ら |
| 48 | 378 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア土器 | 4.2 | 8.8 | 尖っている | 指押さえ | 指押さえ・工具痕 | 橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形 |
| 48 | 379 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア甕 | 約 5.5 | 4.4 | 約 1.5 | 磨滅 | 磨滅 | にぶい黄橙色～にぶい黄褐色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒、微粒の褐色粒 | 良好 | 残存：口縁部少し欠ける<br>ミニチュア甕か支脚か |
| 48 | 380 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア土器 | — | 9.1 | — | 磨滅 | 指押さえ | 橙色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | やや軟 | 残存：1/2 強 |
| 48 | 381 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア小鉢 | 4.5 | 6.6 | 3.0 | 指押さえ | 指押さえ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形 |
| 48 | 382 | Ⅱ | 106 | X-4 | ミニチュア小鉢 | 5.1 | 6.5 | 3.3 | 刷毛・指押さえ | 指ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：口縁部が少々欠け |
| 48 | 383 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア土器 | 5.2 | 8.6 | — | 指押さえ | 指押さえ | にぶい黄橙色～褐灰色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：3/4、手捏ね |
| 48 | 384 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア土器 | — | — | 3.0 | 指押さえ | 指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：下半部のみ |
| 48 | 385 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア土器 | 4 | 7.9 | 1.0 | 指押さえ | 指ナデ | 灰黄褐色～橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒子 | 良好 | 口縁部少々欠損、手捏ね、部分的に斑に黒い（汚れ？黒色顔料？スス？） |
| 48 | 386 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア | 3.4 | 5.1 | — | 指押さえ | 指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒・雲母 | 良好 | 完形 |
| 48 | 387 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア土器 | 4.6 | 8.1 | 3.0 | 指押さえ・横ナデ | 指押さえ・横ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形 |
| 48 | 388 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小鉢 | 5 | 8.6 | 1.0 | アレ・磨滅，胴部に工具痕，底部はケズリ | ナデ | にぶい橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：1/2 |
| 48 | 389 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア高坏 | — | 5.6 | — | 手捏ね | 手捏ね | 黄褐色～黄灰色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 左右対称の位置に径 2㎜の焼成前の穿孔あり、非常に粗い造りの高坏だが 2 箇所に穿孔し吊り下げたか |
| 48 | 390 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア小鉢 | — | 9 | — | 口縁部は磨滅、他は縦ヘラか | 磨滅 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/4、丹塗り |
| 48 | 391 | Ⅱ | 106 | X-4 | ミニチュア小鉢 | 3.7 | 約 6.4 | 約 4.0 | 指押さえ | 指押さえ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/2 弱 |
| 48 | 392 | Ⅱ | 106 | W-3・4ベルト下 | ミニチュア土器 | 4.7 | 8 | 3.2 | ナデ、いろいろな工具で器壁を調整 | ナデ | 灰オリーブ色 | 微粒の白色粒 | 良好 | 残存：口縁部が 2/3 欠け |
| 48 | 393 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア小鉢 | 4.1 | 約 7.0 | 2.5 | 口縁部付近は指押さえ、他はナデ | 指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | 良好 | 残存：2/3 |
| 48 | 394 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア高坏 | — | | — | 指ナデ | 指ナデ | 浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：坏部 2/3 |
| 48 | 395 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア高坏 | — | 7.2 | — | 口縁部は磨滅、他は指ナデ | 磨滅 | にぶい黄橙色 | 5㎜大の白色粒 | 良好 | 残存：坏部全周有り |
| 48 | 396 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア | 3 | 5 | 3.5 | 指ナデ | 指ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 完形、底部は平たい |
| 48 | 397 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア土器 | 3.7 | 4.5 | 4.0 | 指押さえ | ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完形品 |
| 48 | 398 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢か支脚 | 6.9 | 9 | 4.0 | 口縁部付近は刷毛、他はケズリ | 口縁部は指押さえ、胴部は横方向に板ナデ、底部はナデ | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：口縁部を少々欠く |

## 表 18　土器群 106 出土土器観察表（6）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 48 | 399 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小鉢 | 6.2 | 8.9 | 1.0 | ナデ、底部はケズリ | 横ナデ・ナデ、底部はナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | ほとんど完形 |
| 48 | 400 | Ⅱ | 106 | X-3 | 脚台 | — | — | 7.0 | 磨滅・縦ヘラ研磨 | ナデ・磨滅 | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の白色粒・赤色粒子 | 良好 | 残存：1/3 |
| 48 | 401 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア高坏 | 7 | 6.3 | 6.0 | 磨滅 | 磨滅 | 黄灰色～灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 不良 | 口縁部少々欠損、磨滅が著しく調整不明、丹塗り |
| 48 | 402 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア | 2.8 | 6.9 | 5.0 | 磨滅 | 横ナデ・磨滅 | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母 | 良好 | 残存：1/6 |
| 48 | 403 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小鉢 | 5.3 | 8.3 | 3.5 | 磨滅 | ナデ・磨滅 | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | やや軟 | 残存：1/3 |
| 48 | 404 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小鉢 | 5.5 | 8.8 | 4.0 | 指押さえ、底部はケズリ | ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3 |
| 48 | 405 | Ⅱ | 106 | X-3 | コップ形土器か支脚 | 6.1 | 約 7.4 | 6.5 | 面がある | 指ナデ、底部は指おさえ | 褐灰色～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：口縁端部はほとんど欠けている、底部は平たい |
| 48 | 406 | Ⅱ | 106 | W-3・4 ベルト下 X-4 | 手捏ね土器 | 7.2 | 4.6 | 3.0 | 口縁部は指様なもので横ナデ、他はケズリ・ナデ | ナデ | 灰黄色～黒褐色（内側は黒い） | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6、たる型 |
| 48 | 407 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 6.6 | 12.6 | 4.8 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛・ナデけし、底部付近は指押さえ | ヘラ研磨、底部は指押さえ | 外：にぶい黄橙色 内：丹塗り、鮮やかな赤 | 3㎜以下の石英・長石粒く、微粒の雲母 | 普通 | 残存：5/6（口縁部打ち欠き）、内（赤い）外（まだら）ともに丹塗り、底部は上げ底 |
| 48 | 408 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢か支脚 | — | 9.6 | — | 指押さえ・縦刷毛・ナデ消し | 指押さえ・板ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/2 強、底部内側が橙色味を帯びる。丹塗り？ |
| 48 | 409 | Ⅱ | 106 | X-3 | 支脚 | 4.5 | 2.6 | 8.6 | 受部上面はナデ、他は縦刷毛目 | 横板ナデ、裾部は刷毛 | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：3/4 |
| 48 | 410 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 7.8 | 11.5 | 9.0 | 口縁部は横刷毛、他は縦・斜の刷毛 | 磨滅 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：7/8、底部は平ら |
| 48 | 411 | Ⅱ | 106 | X-4 | 小鉢 | 7.1 | 8.2 | 4.4 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、胴部は磨滅、底部は指押さえ | 灰黄褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/4 |
| 48 | 412 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 6.3 | 12.8 | 4.8 | 刷毛目・ナデ消し | 口縁部・底部は指押さえ、他はのち横ナデ | 灰白色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：9/10、外側は丹塗り |
| 48 | 413 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 10.5 | 5.2 | 13.5 | 面がある・ナデ | 裾部は横ナデ、他はナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：完形<br>丹塗り |
| 48 | 414 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 9.4 | 16.2 | 丸底 | 刷毛目・磨滅、下位は磨滅が著しい | 口縁端部はナデ、上位は斜刷毛、中位から刷毛目・磨滅・工具痕あり | にぶい黄橙色 | 石英・長石粒，3㎜以下の褐色粒 | 良好 | 残存：3/5 |
| 48 | 415 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 5.3 | 16.5 | 1.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は斜の刷毛、底部付近はナデ・工具痕 | 口縁部は指圧痕あり、他はナデ | 明黄褐色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：ほぼ完形（口縁部が少々欠ける） |
| 48 | 416 | Ⅱ | 106 | X-3 | 鉢 | 8.0～8.5 | 18.5～19.2 | 丸底 | 口縁部は指押さえ・細かい刷毛、他は横・斜に細かい刷毛 | 口縁端部は手捏ね、口縁部は指押さえ、他はナデ | 浅黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒子・橙色粒・黒色粒子 | 良好 | 残存：口縁部わずかに欠損、胴部半分強欠け、底部は全周有り |
| 48 | 417 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 8.7 | 14 | 5.8 | ナデ | 口縁部は横ナデ、胴部中位からナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：ほぼ完形 |
| 48 | 418 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 8.5 | 17.6 | 6.7～7.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は斜・縦の刷毛、底部付近は指押さえ・ナデ | 口縁部は横ナデ、他は斜に刷毛目（灰色ぬった痕跡あり） | 灰白色 | 3㎜以下の石英・長石粒・橙色粒・雲母 | 良好 | 残存：口縁部 1/2，胴部 1/2，底部（平底）全周有り、内側は灰色に塗った痕跡あり、外側は丹塗り |
| 48 | 419 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 11 | 18 | 6.5 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁端部に薄く凹線入る。口縁部は横ナデ、他はナデ | 灰白色 | 1㎜以下の白色粒 | 良好 | 残存：2/3<br>外側は底部まで丹塗り |
| 48 | 420 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 8.3 | 10.5 | 5.6 | 口縁部は横ナデ、他は粗い刷毛目？ | 口縁部は指押さえ、他は板状工具圧痕あり | 橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒 | 普通 | 残存：3/4、底部まで丹塗り |
| 48 | 421 | Ⅱ | 106 | — | 壺 | 9.6 | 9.4 | 5.4 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 横ナデ、底部は細かい幅で横・斜のナデ | 橙色～浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 残存:7/8、内側が部分的に橙色、全体丹塗りだった可能性あり |
| 49 | 422 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | 10.5 | 9 | 5.0 | 口縁部は横ナデ、他は研磨 | 上方を何カ所もしぼり指押さえし口すぼみにしている。胴部中位は指押さえ下位はナデ | 灰白色 | 2㎜以下の白色粒・赤色粒 | 良好 | 残存：口縁部少々欠損 |
| 49 | 423 | Ⅱ | 106 | X-3 | 器台 | 19.1～20.0 | 10.8 | 14.0 | 受部は横ナデ、他は縦刷毛目で指圧痕あり | 受端部は横ナデ、頸部は工具痕のち横ナデ、胴部はしぼり、裾部は指圧痕、底端部は横ナデ | にぶい橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒・雲母 | 良好 | 残存：口径 1/3、体部全周、底径 1/2 |
| 49 | 424 | Ⅱ | 106 | X-4 | 器台 | 19.0～19.2 | 11.6 | 16.2 | 受部・裾部は横ナデ、他は？ | 受部は調整工具痕・ナデ消し、胴部はナデ、裾部はしぼり、裾端部は横刷毛か細かいナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の黒色粒・橙色粒 | 良好 | 完存 |
| 49 | 425 | Ⅱ | 106 | X-3 | 器台 | 17.6 | 13 | 13.0 | 受部はナデ、頸部は指圧痕、受部と肩部に調整工具痕があり、胴部はナデ，指押さえ、裾部はナデ | 受部はナデ、頸部は指圧痕・粘土の継ぎ目あり。肩部に調整具痕、胴部は斜刷毛目、裾部は指圧痕、裾端部はナデ | 橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の黒色粒・橙色粒 | 良好 | 残存：受部は 1/2、裾部 2/3 |
| 49 | 426 | Ⅱ | 106 | X-4 | 器台 | 9.7 | 10.7～11.0 | 11.7 | 受部は横ナデ、頸部は指圧痕、胴部はナデ・指圧痕、裾部はナデ | 受部は指圧痕・工具痕、中位はナデ・指圧痕、裾部は工具痕、裾端部はナデ | にぶい黄橙色～にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の雲母 | 良好 | 残存：ほぼ完形（口縁部わずかに欠損） |
| 49 | 427 | Ⅱ | 106 | X-3 | 器台 | 12.4 | 12.3～12.5 | 12.5 | 受部は横ナデ、受部下は指圧痕、他は細かい刷毛目・剥離、中央に工具痕、裾端部は横ナデ | 受部は横ナデ、頸部にかけ横・斜に刷毛、胴部はナデのちしぼり・指圧痕、裾部は指圧痕 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 良好 | 残存：ほぼ完形（口縁部わずかに欠損）、黒斑あり、剥離部分も多い |
| 49 | 428 | Ⅱ | 106 | X-3 | 器台 | 12.4 | 7.0～7.5 | 11.0 | 受部は指圧痕、他は調整工具で縦に平らに、裾端部は指圧痕 | 受端部はナデ、頸部は工具痕・ナデ消しああ、胴部はナデ、胴部下位は指圧痕・何かで削った痕、裾端部は凸凹 | 赤橙色～赤色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：口縁部わずかに欠損、体部は部分的に剥げ、底部 1/6 |
| 49 | 429 | Ⅱ | 106 | X-3 | 器台 | 18.4 | 14.6 | 17.7 | 受端部は横ナデ、頸部はナデのち細かい刷毛目胴部から裾部は縦刷毛目（中位ほどで調整工具が異なるか） | 受部は横刷毛目、頸部はしぼり、胴部は上から下に指押さえか、裾部は粗い斜刷毛、裾端部は横ナデ | 灰黄色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3mm以下の橙色粒・雲母 | 普通 | 残存：受部は 1/2、裾部 3/5 |
| 49 | 430 | Ⅱ | 106 | X-3 | 支脚 | 11.2～12.5 | 9.9 | 12.7 | 受部はナデ・指圧痕、裾部に縦刷毛・ナデ消し・磨滅、中位に指圧痕 | 受部はしぼり、胴部は指圧痕、裾部にかけケズリ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完形、頂部に焼成前の穿孔（径 1.8）が外から内へ開いている |
| 49 | 431 | Ⅱ | 106 | X-3 | 支脚 | 9.5 | 7.3 | 10.2 | 受部はナデ、頸部・裾部は指圧痕、胴部は縦刷毛 | 受部内側は工具痕か他は指圧痕 | にぶい黄色～褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒，3㎜以下の雲母 | 良好 | 完形、頂部に焼成前の穿孔（径 0.8cm）が外から内へ開いている、煤付着 |
| 49 | 432 | Ⅱ | 106 | X-3 | 支脚 | 7.6 | 5.6 | 8.6 | 磨滅・面がある | 磨滅・指押さえ | 橙色～灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 裾部がやや欠損、受部に焼成前の穿孔あり |
| 49 | 433 | Ⅱ | 106 | X-3 | 支脚 | — | 5 | — | 受部上面はナデ、他は磨滅面がある | ナデ | 黒褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：裾部全周欠く |
| 49 | 434 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア支脚か | — | 2.4 | — | 面がある | | 橙色<br>上面は黒い | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒 | 良好 | 上から見ると円ではなく五角形上下逆か |
| 49 | 435 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア支脚 | — | 2.6 | — | 調整工具不明 | ケズリ | 黒色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | |
| 49 | 436 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュア支脚か鉢 | 7.5 | 4.5 | 9.0 | 面があるようだ | 指押さえ | 外：橙色<br>内：黒色 | 精緻、3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存:1/7、支脚か鉢？、丹塗り？ |
| 49 | 437 | Ⅱ | 106 | X-4 | 器台 | 15.5～16.0 | 8.2 | 10.2 | 手捏ね成形・指押さえ | 受部・裾部の端部は横ナデ、裾部はナデ・指押さえ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・橙色粒・雲母 | 普通 | ほぼ完形、多量に雲母を含んでいる内側の器面は全部剥離 |
| 49 | 438 | Ⅱ | 106 | X-4 | 支脚 | 14.6～15.2 | 7.3 | 9.8 | 手捏ね成形・指圧痕、裾部はねじれ | 受端部はナデ、胴部上位は剥離、裾部は指圧痕・ケズリ、底部は凸凹 | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | ほぼ完形、裾部は何かで成形したようだ |
| 49 | 439 | Ⅱ | 106 | X-3 | 支脚 | 10.3～10.6 | 7.0～7.5 | 9.0 | 手捏ね成形，ぶてぶてしている | 全体にしぼり、裾部は横ナデ | にぶい黄橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母、8㎜以下の小石 | 良好 | 残存：口縁部は全周あり、体部の上下端やや欠け，底部は 3/5 |
| 49 | 440 | Ⅱ | 106 | X-3 | 支脚 | 10.4 | 7 | 8.8 | 手捏ね成形，ぶてぶてしている | 上位は剥離，下位はしぼり | にぶい黄橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の雲母 | 普通 | 残存：口径 1/5、体部 1/2、底径 1/2 |

## 表 19　土器群 106 出土土器観察表（7）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 50 | 441 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | — | — | 口縁端部は木口で刻み、口縁部は縦刷毛・山型の線刻（沈線）文様あり | 口縁上部はナデ・ナデ消し、口縁下部は縦刷毛 | 浅黄色～灰色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/9（壺の口頸部）、線刻あり |
| 50 | 442 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | — | — | 口縁端部は木口で刻み、口縁部は縦刷毛・山型か波型の線刻（沈線）文様あり | 口縁上部は縦刷毛・ナデ消し、口縁下部は縦刷毛 | 浅黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒 | 良好 | 壺の口頸部、線刻あり |
| 50 | 443 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | — | — | 口縁端部は木口で刻み、口縁部は線刻、頸部にかけ横ナデ・縦刷毛 | 口縁上部はナデ・磨滅、口縁下部は横刷毛 | 浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒 | 良好 | 壺の口頸部、線刻あり |
| 50 | 444 | Ⅱ | 106 | X-3 | | — | — | — | 粗い刷毛か<br>刷毛目の線刻 | | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒・雲母 | 良好 | はねあげ口縁（小片） |
| 50 | 445 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | — | — | 口縁端部は木口で刻み、口縁部は線刻（形状不明） | ナデ | 浅黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒 | 良好 | 壺の口頸部（小片）、線刻あり（山型かは不明）、口縁端部の刻み目は // でなく××か |
| 50 | 446 | Ⅱ | 106 | X-3 | 壺 | — | — | — | ナデ | しぼり・横ナデ | にぶい黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子・雲母 | 良好 | 壺の口頸部、線刻あり |
| 50 | 447 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | ナデ？ | ナデ・アレ | 灰白色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 粘土紐土器の口縁（小片）、白っぽくぶよぶよしている |
| 50 | 448 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | 横ナデ | 縦ナデ | 浅黄色<br>外側は灰褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 山陰系？土器の口縁 |
| 50 | 449 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | 横ナデ | 口縁部上端は横ナデ、頸部にかけナデ・ケズリ | 灰白色<br>外側は二次焼成のためか黒褐色 | 細かく粉っぽい、3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 山陰系土器の口縁、口縁部上端に凹線あり |
| 50 | 450 | Ⅱ | 106 | — | 鉢 | — | — | — | 回転ナデ | 回転ナデ、回転ナデによる条痕は沈線と言ってよいほど深く刻まれている。ヘラ等で調整か | にぶい黄橙色～灰黄色、表面は内外ともに黒い | 精緻 | 軟質 | 楽浪系土器、弥生後～古墳初、内側にヘラ状工具先端で縦方向に文様を描く、内側に放射状沈線が施されたといわれる土器の一部か<br>Ⅰ区の楽浪系土器 627 と接点はないが類似しているため参考実測 |
| 50 | 451 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 21.4 | — | 平行叩き、下にかすかに縦方向の細かい刷毛目か | あて具痕 | 青みを帯びた灰色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 堅緻 | 須恵器の甕の破片か<br>平行叩き？ |
| 50 | 452 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | — | 格子目叩き、凹線あり | あて具痕・幅のあるものでナデ消し | 青みを帯びた灰色 | 1㎜以下の白色粒、1㎜以下の黒色粒 | 精緻<br>堅緻 | 格子目叩き |
| 50 | 453 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | — | — | 格子目叩き | ナデ | 外：青みを帯びた灰色<br>内：やや明るい灰色（赤色顔料が近くにあったか） | 2㎜以下の石英・長石粒，1㎜以下の黒色粒 | 堅緻<br>堅い | 格子目叩き、体部内側はやや明るい灰色だが赤色顔料がちかくにあったのか，赤みを帯びている |
| 50 | 454 | Ⅱ | 106 | X-3 | 把手 | 6.7 | 2.5 | 1.7 | | | 芯は黒い<br>外側は丹塗り | 精緻 | 良好 | |
| 50 | 455 | Ⅱ | 106 | X-3 | 把手 | 3 | 1.5 | 1.4 | ヘラ磨き | | 灰黄色 | 精緻 | 普通 | 丹塗り |
| 50 | 456 | Ⅱ | 106 | X-3 | 不明土器 | 3.8 | 4.8 | 約 3.0 | 指押さえ | 指押さえ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒・雲母 | 良好 | 一応完形、口縁部は歪み、底部は凸凹 |
| 50 | 457 | Ⅱ | 106 | X-3 | 注ぎ口 | — | — | — | 焼成前のナデ | | 外：丹塗り<br>内：灰白色 | 精緻 | 普通 | |
| 50 | 458 | Ⅱ | 106 | X-3 | 把手 | — | — | — | ナデ | しぼり | にぶい黄橙色 | 精緻、白色微粒子と金雲母 | 良好 | 完形、何かの把手（中は中空） |
| 50 | 459 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | 24 | — | 口縁部上面にヘラ状工具で２本の線を刻み横ナデ、他はナデ | 横ナデ・ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：全周有り（甕の口縁部）、２本線入り（全周有るが１箇所のみ）、外側に煤付着 |
| 50 | 460 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | 30.6 | — | 口縁部上面に先端の鋭い工具で２本の浅い線を刻み横ナデ、口縁下はナデ | 横ナデ・ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒 | 良好 | 甕の口縁部、２本線入り、外側に煤付着 |
| 50 | 461 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | 22 | — | 口縁部上面は磨滅、口縁部は縦刷毛 | 口縁部上面内側に刻み目、他はナデ | 外：灰黄褐色<br>内：黒色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 甕の口縁部、内側に刻み目（１０箇所）あり。それ以上あったかは不明<br>スス付着 |
| 50 | 462 | Ⅱ | 106 | — | 蓋 | 4.3 | 1.5 | 11.5 | 頂部はナデ・裾部は指押さえ<br>全体的に磨滅 | ナデ・磨滅 | にぶい橙色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完形 |
| 50 | 463 | Ⅱ | 106 | X-4 | 鉢 | — | 20.4 | — | 口縁部は指押さえ、他は板ナデ | 口縁部の粘土帯は指押さえ（指紋痕あり）、他は板ナデ | にぶい褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 内側は黒い部分が多い（汚れか煤か）、内側に粘土帯を貼りつけている（粘土の間に粘土塊が入り込んでいる） |
| 50 | 464 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | 29 | — | 口縁部上面に若干湾曲した２本の線を刻み横ナデ、他も横ナデ | 横ナデ・ナデ | 灰黄色～暗褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 甕の口縁部、２本線入り、外側に煤付着 |
| 50 | 465 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | 22 | — | 口縁部上面にヘラで２本の浅い線を刻む、直下に溝ができ、縦刷毛目 | 横ナデ・ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒子 | 良好 | 残存：1/6（甕の口縁部）、２本線入り、外側に煤付着 |
| 50 | 466 | Ⅱ | 106 | 南東 | 甕 | 35.1 | 27 | 7.5 | 口縁部上面にヘラ状工具で２本の線を刻み横ナデ、他は縦刷毛 | 横ナデ・ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：全周有り（甕の口縁部）、この甕は口縁から底部までであり底部には焼成後の穿孔あり、２本線入り（全周有るが１カ所のみ） |
| 50 | 467 | Ⅱ | 106 | X-4 | 甕 | — | 25.2 | — | 口縁部上面に木口で２本の線を刻み横ナデ、口縁下は縦刷毛 | 横ナデ・ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/2（甕の口縁部）<br>２本線入り、外側に煤付着 |
| 50 | 468 | Ⅱ | 106 | X-3 | 瓦玉？ | 5 | 4.3 | 1.1 | | | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 胴部を打ち欠いたのでは？ |
| 50 | 469 | Ⅱ | 106 | X-3 | 瓦玉？ | 4.6 | 5.3 | 1.6 | | | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 甕か鉢の底部を打ち欠いたのでは？ |
| 50 | 470 | Ⅱ | 106 | X-3 | 瓦玉？ | 6.6 | 6.2 | 1.4 | ナデ | | 外：にぶい黄橙色<br>内：浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒 | 良好 | |
| 50 | 471 | Ⅱ | 106 | X-3 | 瓦玉 | 6.4 | 6.4 | 1.4 | ナデ | | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 内側は煤多量に付着、炭化物？ |
| 50 | 472 | Ⅱ | 106 | X-3 | ミニチュアかパーツ | — | — | 2.4 | ナデ | ナデ | 浅黄色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒、微粒の黒色粒・赤色粒・雲母 | 良好 | ミニチュアか何かのパーツか |
| 50 | 473 | Ⅱ | 106 | X-3 | 甕 | — | — | 7.5 | 磨滅 | 胴部下位は細かい刷毛、底部は指圧痕 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 残存：底部全周有り（多孔の甕の底部）底部に焼成前の穿孔が６箇所 |
| 50 | 474 | Ⅱ | 106 | V-3 | 壺？ | 13.5 | — | 8.8 | 上部は横にナデ、全体的に面があり指押さえが顕著、底部は横ナデ | 器表が剥離 | 橙色～にぶい黄橙色～暗褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒・金雲母と 2㎜以下の黒色雲母？、1㎜以下の黒色粒 | 普通 | 残存：口縁部上端と底部の一部を欠く、雲母を多く含んだ壺？、少し軸がずれ器表に面がある、底部に孔らしきものがあるが意図的かは不明 |
| 50 | 475 | Ⅱ | 106 | X-4 | ミニチュア小壺 | 3.2 | 3.5 × 2.2 | 約 4.0 | 手捏ね | 手捏ね | 黒色 | 2㎜以下の石英・長石粒・金雲母 | 良好 | 完形、わざと燻して黒色にしたか |




**第 51 図**　土器群 107 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]

**表 20**　土器群 107 出土土器観察表

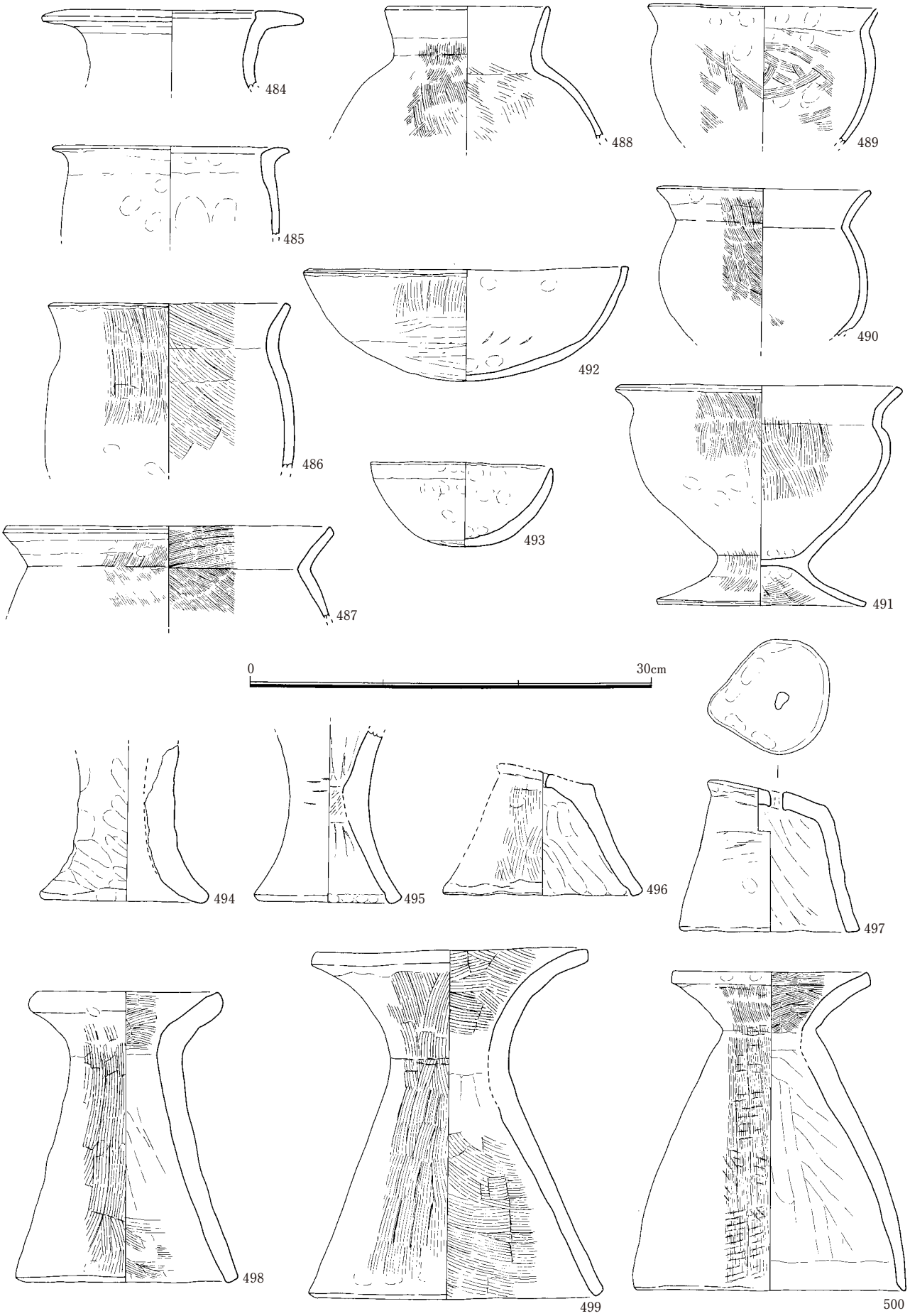
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 51 | 476 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 甕 | — | 20 | — | 口縁部は横ナデ、頭部は縦刷毛・ナデ消し、凹線がめぐり縦刷毛、胴部は横・斜刷毛 | 口縁部は刷毛目・横ナデ・ナデ消し、他はケズリ・指ナデ | 橙色 | 微粒の石英・長石粒・雲母・赤色粒 | 良好 | 残存：2/3（上半部）、スス付着<br>肩部付近に凹線あり |
| 51 | 477 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 甕 | — | 19 | — | 口縁部は磨滅、頭部は縦刷毛・沈線めぐる、肩部は横刷毛で波線あり | 口縁部は横ナデ、他はケズリ・指ナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母・橙色粒 | 普通 | 残存：1/5（上半部）、磨滅著しい<br>沈線・波線あり |
| 51 | 478 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 甕 | — | 19 | — | 口縁部は横ナデ頭部は横刷毛、肩部に２本の波線、胴部は縦・横刷毛・タタキ、胴部下位はタタキ・刷毛目 | 口縁部はナデ、他はケズリ | 外：灰白色<br>内：浅黄色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒 | 良好 | 残存：1/5（上半部）、外側全体にスス付着、肩部に２本の波線 |
| 51 | 479 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 甕 | 17.25 | 14.1 | — | 口縁部は横ナデ、肩部は縦刷毛・横ナデ・ナデ消し、胴部は粗い横刷毛・細かい横刷毛、胴部下位は縦刷毛、底部は刷毛・ナデ消し | 口縁端部に薄い沈線、口縁部は横ナデ・斜刷毛、頭部は斜刷毛・刺突文のような工具痕、胴部はケズリ、下位から底部にかけ棒状のもので つついたような痕（指ではない） | 浅黄色 | 1㎜以下の石英・長石粒と赤色粒 | 良好 | 残存：8/9、外側全体にスス付着、頭部の刺突文は中を調整する際に工具が当たったか |
| 51 | 480 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 高坏 | — | 21.6 | — | 坏部上位は横ナデ・縦暗文が全周めぐる、中位から順に縦刷毛･横刷毛（ナデ消し）・縦刷毛・ナデ・縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、横刷毛･縦の暗文、下位は横刷毛 | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/2 弱（高坏坏部）、外側丹塗り |
| 51 | 481 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 鉢 | 6.7 | 13.6 | 3.0 | 口縁部は指押さえ･縦刷毛･横ナデ・横刷毛、胴部は細かい横ヘラ磨き、底部は定方向の細かいヘラ磨き | 口縁部は横刷毛・指押さえ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の白色粒、0.4cmの白色粒 | 良好 | 残存：7/8 |
| 51 | 482 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 鉢 | 8.9 | 18 | 3.0 | 口縁部は横ナデ・横刷毛、他は細かい横・縦の刷毛 | 口縁部は横ナデ・刷毛、胴部はヘラナデ底部付近は刷毛・棒状工具痕 | 外：にぶい黄橙色<br>内：黄灰色 | 5㎜以下の石英・長石粒・雲母、3㎜以下の赤色粒 | 普通 | 残存：2/3、丹塗り、底部内側は棒状工具の先端でつついたよう（凸凹している部分あり） |
| 51 | 483 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 壺 | — | 14 | — | 口縁部は横ナデ・縦刷毛、頭部は横ナデ・ナデ消し、胴部は横・縦刷毛 | 口縁端部は少し凹む、口縁部は横ナデ、頭部は刷毛・ナデ、胴部はケズリ | 外：にぶい橙色<br>内：浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：7/8（上半部）、大破片が２つあるが片方は丹が塗ってあるか |
| 52 | 484 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 壺 | — | 19.8 | — | 磨滅 | 口縁部上面は横ナデ、他は磨滅 | 灰黄色 | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 残存：1/3（口頸部） |
| 52 | 485 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 甕 | — | 17.6 | — | 口縁部は横ナデ、他はナデ・指押さえ | ナデ | 灰黄色 | 4㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/4（上半部）、スス付着 |

## 表 21　土器群 107 出土土器観察表（2）

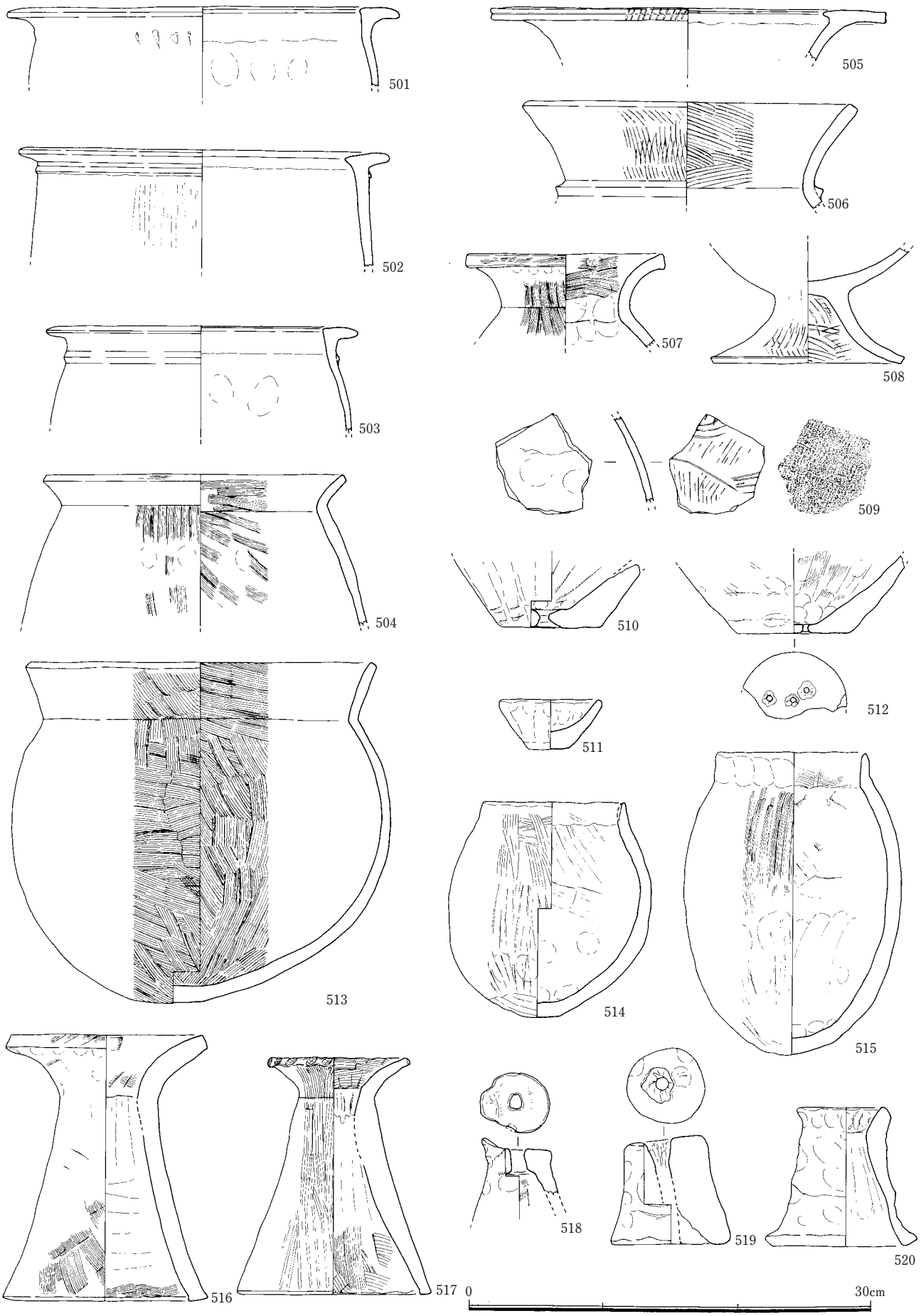
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 52 | 486 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 鉢 | 12.5 | 18 | | 口縁端部は横ナデ、他は縦刷毛・指圧痕、胴部中位はナデ | 口縁部は横・斜刷毛，胴部は斜刷毛（所々磨滅） | にぶい黄褐色～にぶい褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 普通 | 残存:2/5（口縁部）、スス付着、内側肩部付近に粘土がよっている個所あり |
| 52 | 487 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 甕 | — | 24.8 | — | 口縁端部は沈線がめぐる、口縁部は縦刷毛・横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横刷毛、他は斜刷毛 | 外：灰黄褐色<br>内：にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/4（口縁部） |
| 52 | 488 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 壺 | — | 12.4 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛・ナデ | 口縁部はナデ、他は刷毛・ナデ消し | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：1/4（上半部） |
| 52 | 489 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 鉢 | 10.3 | 17 | | 口縁部は指圧痕・横ナデ、他は斜刷毛・指圧痕（所々剥離） | 口縁端部は横ナデ、口縁部は指圧痕・ナデ消し、肩部は指圧痕・斜刷毛、胴部は縦・横・斜刷毛、指圧痕 | にぶい黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母、3㎜以下の橙色粒 | 良好 | 残存：2/5（口縁部）、スス付着か |
| 52 | 490 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 鉢 | — | 16 | — | 細かい刷毛、底部付近はナデ・ナデすり | ナデ・磨滅、底部付近に少々刷毛目 | にぶい褐色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：2/3、外側全体にスス付着 |
| 52 | 491 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 台付鉢 | 17 | 21.4 | 15.5 | 口縁端部は横ナデ、口縁から胴部中位は縦刷毛・横ナデ、中位から下位はナデ・指圧痕、脚部は刷毛目、裾端部は横ナデ | 口縁部は横ナデ・磨滅、胴部は縦刷毛・磨滅、下位は刷毛・ナデ、底部は調整工具痕、脚部は刷毛・調整工具痕 | 外：橙色<br>内：にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 普通 | 残存：口縁部 4/5，台部 3/5、黒くなっている部分がある、汚れか黒色顔料かススか |
| 52 | 492 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 鉢 | 8.2～8.6 | 24.2 | 丸底 | 口縁部は縦刷毛、胴部からナデ・ナデすり | 口縁端部は横ナデ、他はナデ、底部に指圧痕 | 外：灰黄褐色<br>内：橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 良好 | 残存：7/8、内側は丹塗り？ |
| 52 | 493 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 鉢 | 6.3 | 13.5 | 丸底 | 口縁部は横ナデ・指圧痕、胴部は指圧痕・ナデ、底部はケズリ | 口縁部は横ナデ・指圧痕・細かい刷毛、他はナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母・橙色粒、微粒の雲母 | 普通 | 残存：ほぼ完形、外側口縁部付近に黒斑あり |
| 52 | 494 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 支脚 | — | — | 12.6 | 指ナデ・指押さえ | — | 外：橙色～黒，黒褐色<br>内：浅黄色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：1/2 弱（下半部） |
| 52 | 495 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 器台 | — | — | 11.0 | ナデ・磨滅か、胴部中位に工具痕 | 工具痕あり、裾部下位は指押さえ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒を含む | 良好 | 残存：2/3（裾部） |
| 52 | 496 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 支脚 | 約 9.7 | 7 | 14.8 | 縦刷毛 | 指ナデ | 外：にぶい橙色<br>内：黄灰色 | 5㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 良好 | 残存：1/3、受部上面に径 0.6 ㎝の穿孔 |
| 52 | 497 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 支脚 | 9.4～11.3 | 9 | 13.4 | 受部上面は指圧痕・ナデ、他はナデ | 指ナデ、裾端部は指圧痕 | 暗褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の雲母 | 良好 | 残存：裾部 1/3、受部上面に焼成前の孔（0.6 × 1.2）を外から内へ穿つ |
| 52 | 498 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 器台 | 21.8 | 14.4 | 16.0～16.5 | 受部は横ナデ・指圧痕、頭部は斜刷毛，胴部は指圧痕・縦刷毛、裾部は横・縦刷毛・指圧痕、裾端部はナデ | 受部は指圧痕、頭部に刷毛目、肩部はナデ、胴部はしぼり、裾部は横刷毛・指圧痕 | 灰黄色～灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 良好 | 残存：受部 3/4，裾部 6/7 |
| 52 | 499 | Ⅱ | 107 | Y-3 | 器台 | 26.2 | 20.6 | 21.8 | 縦刷毛 | 受部は刷毛目、頭部はナデ・指ナデ、裾部は横刷毛 | にぶい黄橙色～灰黄褐色 | 5㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 良好 | 残存：2/3 |
| 52 | 500 | Ⅱ | 107 | Y-2 | 器台 | 23.7 | 14.8 | 23.7 | 受端部は指押さえ、他は縦刷毛・タタキ、裾部下位はタタキ | 受部は横・斜刷毛、頭部はナデ、他は指ナデ | 外：にぶい黄橙色～にぶい黄褐色、<br>内：橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：3/4 |

## 表 22　土器群 108 出土土器観察表

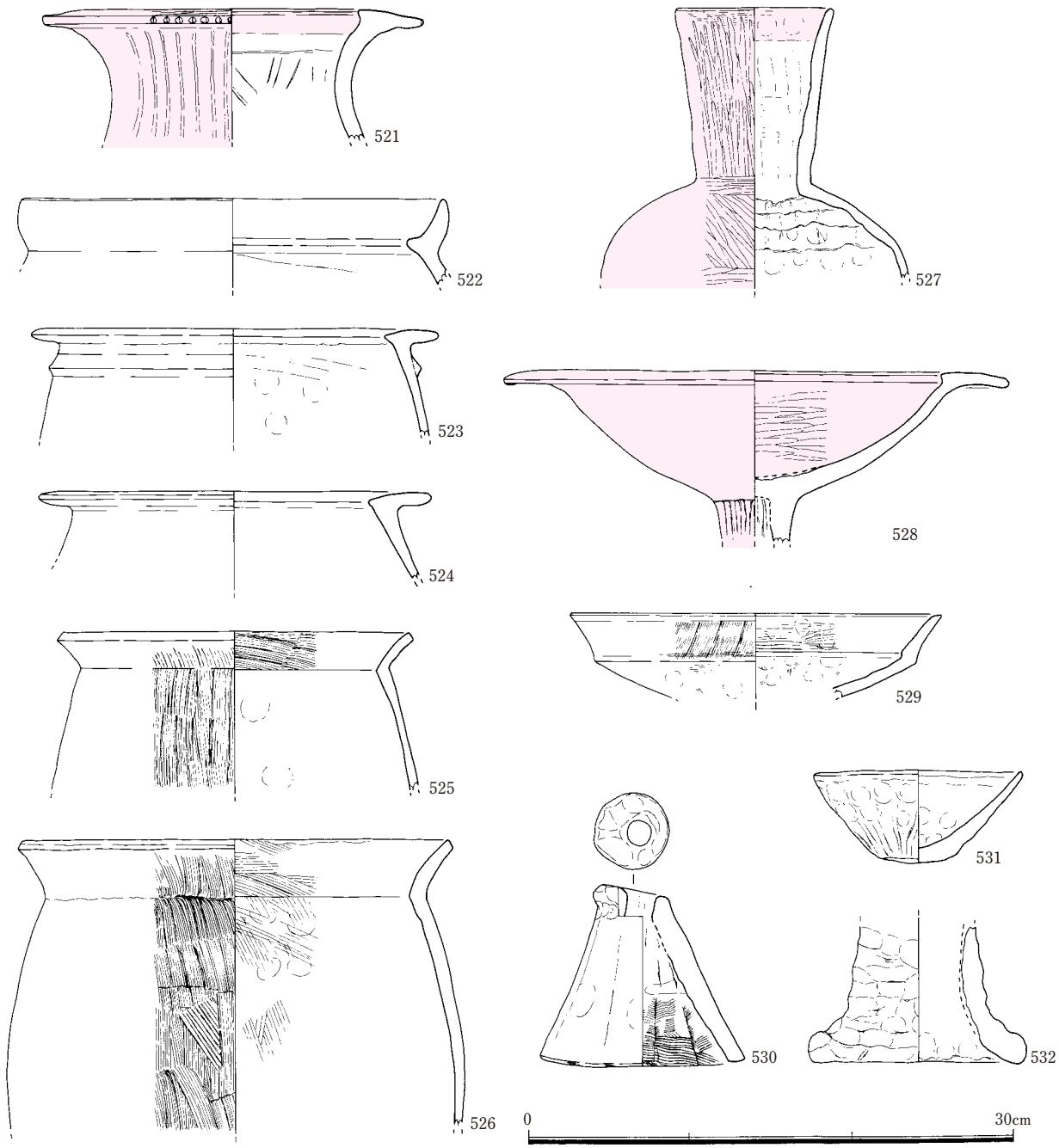
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 53 | 501 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 甕 | — | 29 | — | 口縁部は横ナデ、他はナデ、頸部付近に何かの工具痕 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 外：灰黄褐色<br>内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・褐色粒 | 良好 | 残存：1/4（甕の口縁部） |
| 53 | 502 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 甕 | — | 27.4 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部上面は横ナデ、他はナデ | にぶい橙色<br>口縁部上面は橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/4（甕の口縁部）、外側丹塗りかも |
| 53 | 503 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 甕 | — | 23.2 | — | ナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 明黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/6（甕の口縁部）、ススが付着し調整痕が見えない |
| 53 | 504 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 甕 | — | 22.4 | — | 口縁端部は横刷毛、口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 細かい刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、少量の雲母 | 良好 | 残存：1/10（甕の口縁部） |
| 53 | 505 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 壺 | — | 29.4 | — | 口縁端部に刻み目あり、他はナデ | 磨滅 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/6（壺の口縁部）、丹塗り |
| 53 | 506 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 壺 | — | 24.8 | — | 口縁部上位は斜刷毛・横ナデ、中位からは縦刷毛、突帯部は横ナデ | 口縁部は斜の粗い刷毛、頸部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/8（壺の口縁部） |
| 53 | 507 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 壺 | — | 14.6 | — | 口縁端部は横刷毛、口縁部は横ナデ・指押さえ、頸部は縦刷毛 | 口縁部は横刷毛、頸部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 7㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/4（壺の口縁部） |
| 53 | 508 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 高坏？ | — | — | 14.4 | 坏部は磨滅、頸部は横ナデ、脚部は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 坏部はナデ、脚部は粗い刷毛 | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、赤色粒 | 良好 | 残存：脚台部は全周あり |
| 53 | 509 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 土器片 | — | — | — | 刷毛目 | | にぶい黄褐色～黒褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 線刻の土器片（甕の破片か） |
| 53 | 510 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 単孔の底部 | — | — | 約 7.6 | 胴部下位は指ナデ・指押さえ、底部付近は横ナデ、底部はケズリ | 胴部下位は刷毛目か、底部は指押さえ | 外：灰黄褐色<br>内：褐灰色 | 4㎜以下の石英・長石粒・黒色粒を含む | 良好 | 残存：底部全周あり<br>底部に焼成前の穿孔（0.7㎝）あり |
| 53 | 511 | Ⅱ | 108 | Y-2 | ミニチュア土器 | 3.7 | 7.6 | 3.0 | 指押さえ・ナデ | 指押さえ・ナデ | 外：にぶい黄橙色<br>内：にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：3/4 強 |
| 53 | 512 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 多孔底部片 | — | — | 8.4 | 刷毛・ナデ | 刷毛目、底部は強い指押さえ | 外：にぶい黄橙色<br>内：橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/2（多孔底部片）<br>残存部分に 3 カ所焼成前の穿孔あり |
| 53 | 513 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 鉢 | 25.5 | 26 | — | 口縁部は斜刷毛、肩部は縦刷毛、他は斜・横刷毛 | 口縁部は横刷毛、他は斜刷毛 | 外：にぶい黄橙色<br>内：褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3、若干底部があるか |
| 53 | 514 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 壺 | 約 16.0 | 約 10.5 | 2.0 | 口縁部は粗い横・縦刷毛、胴部は板状工具で器表を平滑に | 口縁部は剥離、胴部は粗くナデ | 灰白色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3（手捏ねの壺） |
| 53 | 515 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 甕 | 22.5 | 11.3 | — | 口縁部は指押さえ、胴部は細かい刷毛目、下位～底部はナデすり（板状工具で器表を平滑に） | 口縁端部はケズリ、他は刷毛、下位から底部は指ナデ | 外：黄灰色～黒色（火を受けたか）<br>内：灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：2/3（手捏ねの甕） |
| 53 | 516 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 器台 | 19.8 | 15 | 15.2 | 受端部は刷毛目、頸部は指押さえ、胴部は刷毛目・ナデ消し、裾部は刷毛目 | 受部は刷毛目・ナデ消し、胴部は縦ナデ、裾部は横ナデ、裾端部は細かい横刷毛 | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | 残存：2/3 受部，他は全周あり |
| 53 | 517 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 器台 | 17.6 | 10.6 | 14.4 | 受端部に刻み目あり、胴部は縦刷毛、裾部は並行タタキ | 受部は横刷毛、胴部はナデ、裾部は縦・横・斜刷毛、裾端部に圧痕あり | 上半部：明褐灰色<br>下半部：橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/2 強受部，他は全周あり |
| 53 | 518 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 支脚 | — | 5.1 | — | 指押さえ | 細かい刷毛目 | 灰黄褐色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：上半部のみ全周あり、受部に 1.1 × 1.0 の焼成前の穿孔 |
| 53 | 519 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 支脚 | 8.0 | 5.8 | 8.7 | 指押さえ・ナデ | | 橙色～灰黄褐色 | 微粒の石英・長石粒 | 良好 | 残存：裾部中央がかけ |
| 53 | 520 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 支脚 | 10.3 | 6.8 | 11.3 | 指押さえ | 指押さえ・ナデ | 橙色～にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 受部上面はたいら |




**第 52 図**　土器群 107 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]



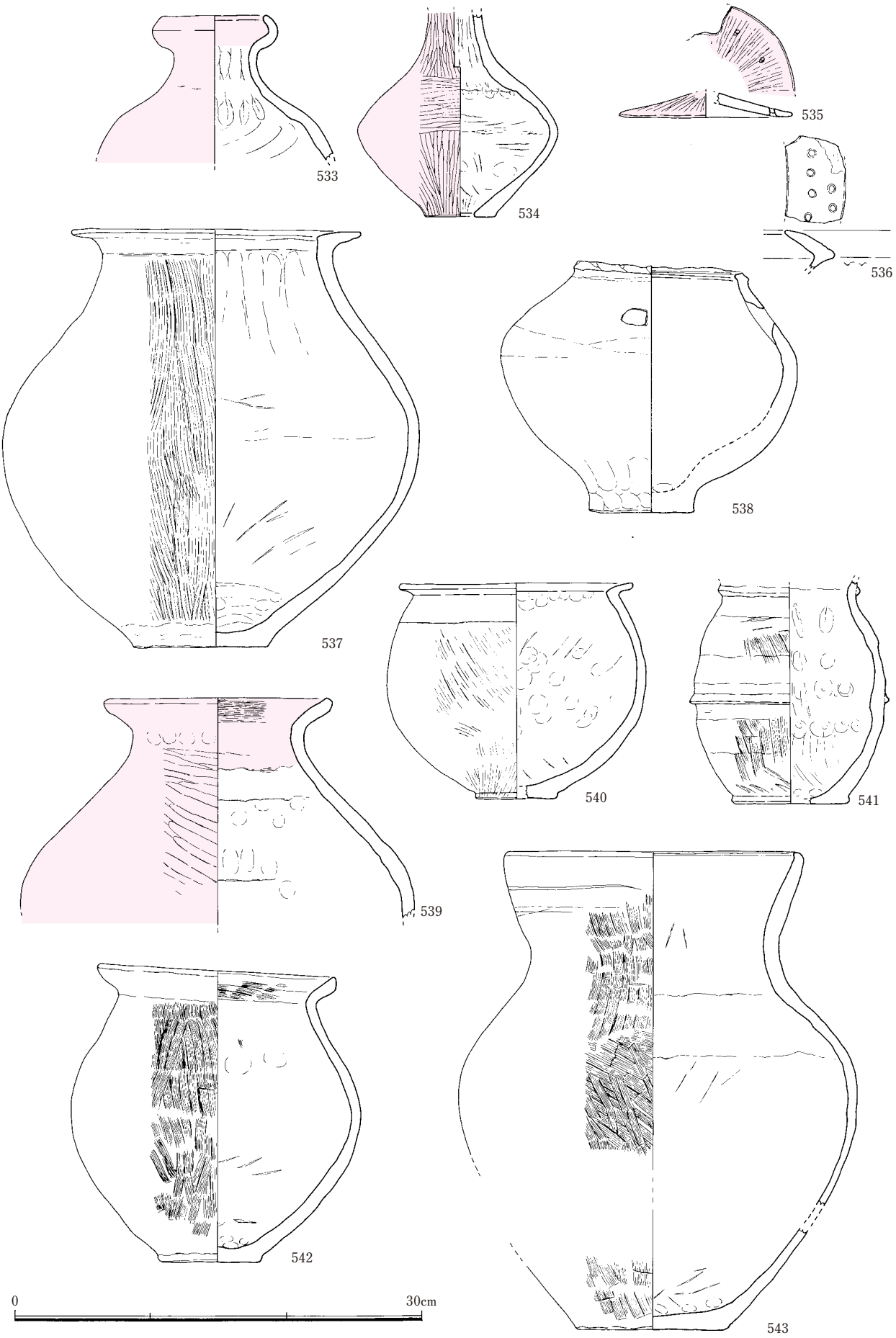

**第 53 図**　土器群 108 出土土器実測図 [ 1/ 4]



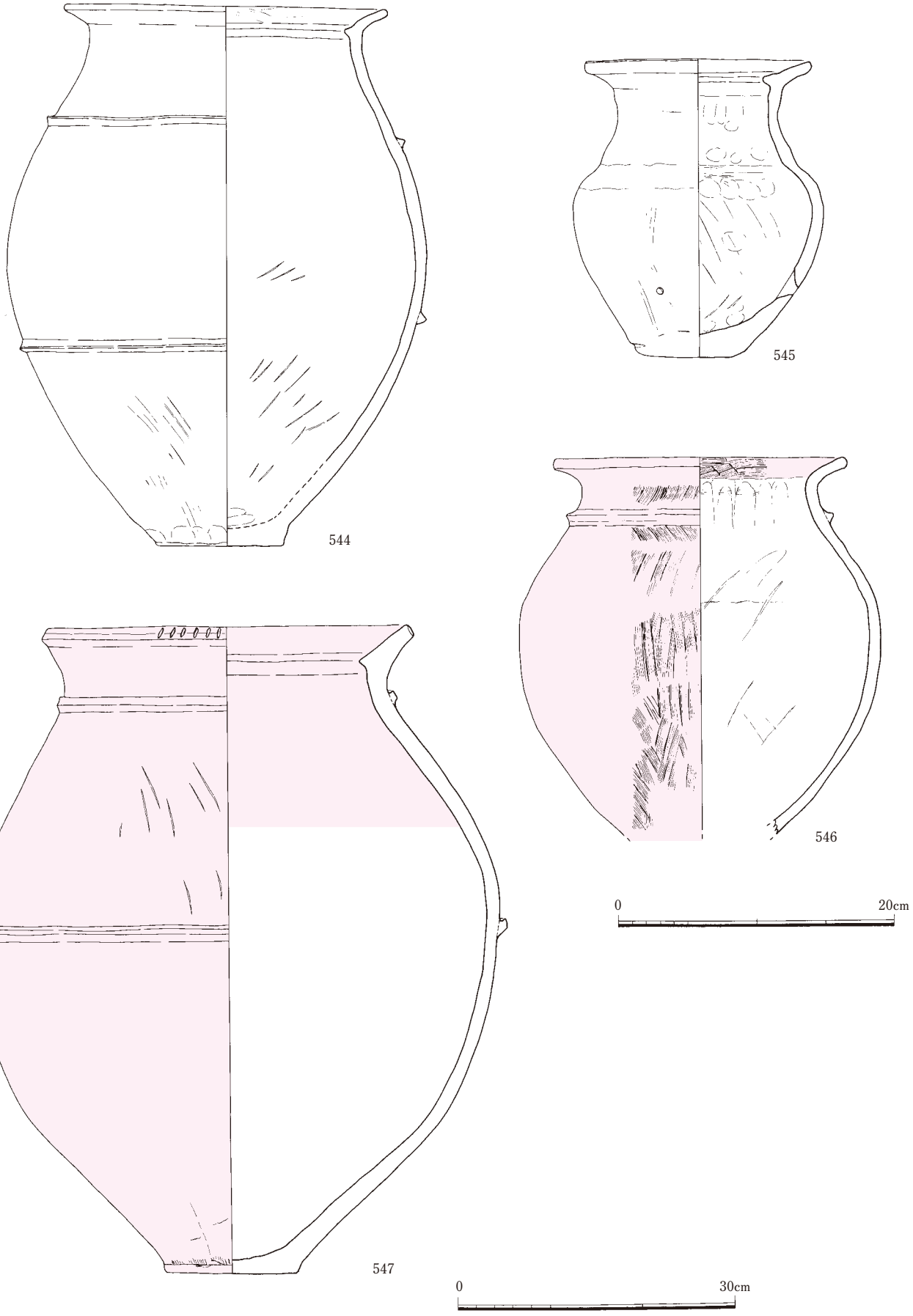

**第 54 図**　土器群 109 出土土器実測図 [ 1/ 4]

**表 23**　土器群 109 出土土器観察表

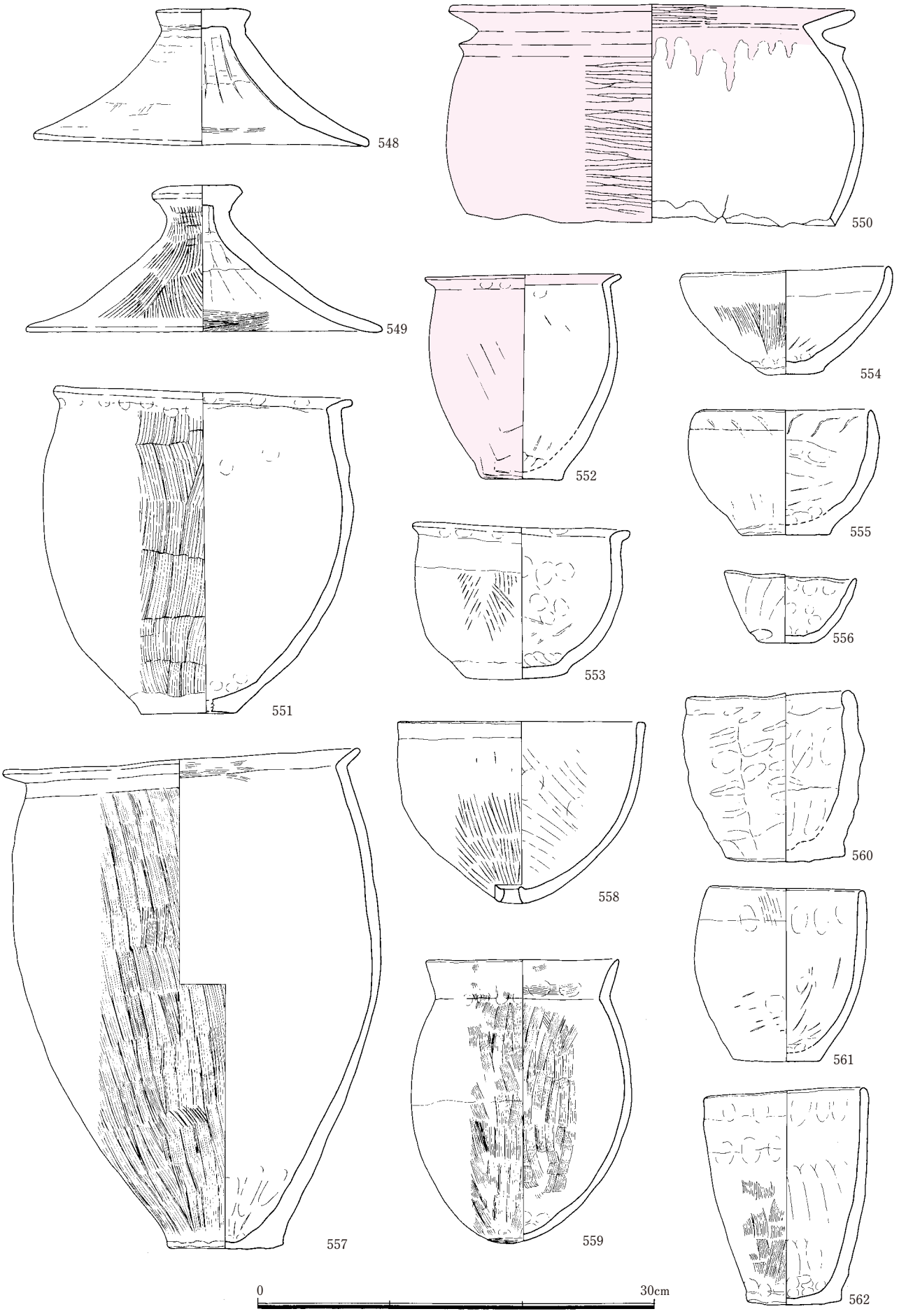
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 54 | 521 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 壺 | — | 23.4 | — | 口縁部上面は横ヘラ磨き、口縁端部は刻み目あり、頸部は縦ヘラ暗文風が全周めぐる | 口縁部上面は横ヘラ磨き、口縁部は横ナデ、頸部は板状工具痕 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：7/8（壺の口縁部）、丹塗り |
| 54 | 522 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 甕 | — | 約 26.0 | — | | 磨滅 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | やや軟 | 残存：1/7（甕の口縁部）、口縁部は歪んでいる |
| 54 | 523 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 甕 | — | 25.2 | — | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は横ナデ、他は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母 | 良好 | 残存：1/5（甕の口縁部） |
| 54 | 524 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 甕 | — | 24.2 | — | 磨滅 | 磨滅 | 浅黄色 | 精緻、微粒の石英・長石粒・雲母 | やや軟 | 残存：1/5（甕か鉢の口縁部）、磨滅が著しい |
| 54 | 525 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 甕 | — | 22 | — | 口縁端部は横ナデ、口縁部は縦刷毛・横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横刷毛、他はナデ | 外：黒褐色（スス付着）<br>内：灰黄褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/6（甕の口縁部） |
| 54 | 526 | Ⅱ | 109 | R20 | 甕 | — | 26.8 | — | 口縁端部は横刷毛、口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は粗い刷毛・ナデ消し、頸部は粗い刷毛、他はナデ消し | 灰黄褐色 | 4㎜以下の石英・長石粒、少量の雲母 | 良好 | 残存：1/3（甕の上半部）、スス付着 |
| 54 | 527 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 壺 | — | 9.8 | — | 口縁部は横刷毛、頸部は縦ヘラ磨き、肩部から横ヘラ磨き・斜ヘラ磨き・横ヘラ磨き | 口縁部は指押さえ・横ナデ、頸部は縦ナデ、胴部は粘土帯を重ねている | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存:全周あり（長頸壺の残存:上半部）、外側は丹塗り |
| 54 | 528 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 高坏 | — | 30.6 | — | 坏部は磨滅、脚部は縦ヘラ磨き | 口縁部上面は横ナデ、他は横ヘラ磨き、脚部はしぼり | 外：にぶい黄橙色<br>内：にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 残存：1/4 弱（高坏の坏部） |
| 54 | 529 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 高坏 | — | 22.8 | — | 口縁端部は横刷毛・横ナデ、口縁部は細かい縦刷毛・ナデ消し、坏部下位は横刷毛・刷毛 | 口縁部は粗い横刷毛、他は横ナデ・ナデ | 明黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母、3㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：1/5（高坏の坏部） |
| 54 | 530 | Ⅱ | 109 | R15 | 支脚 | 11.2 | 4.5 | 12.6 | 受部上位は強い指押さえ、他はナデ、裾端部は斜刷毛 | 受部は指ナデ、裾部は横刷毛 | にぶい黄橙色～橙色～暗褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形、スス付着 |
| 54 | 531 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 鉢 | 5.7 | 13 | 4.5 | 口縁部は横ナデ、他は指押さえ・粗い刷毛（粗い工具で器表を調整）、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：口縁部少々欠損、手捏ね土器 |
| 54 | 532 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 支脚 | — | — | 約 13.4 | 指ナデ・指押さえ | 剥離 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 普通 | 残存：1/2 弱（支脚の下半部） |



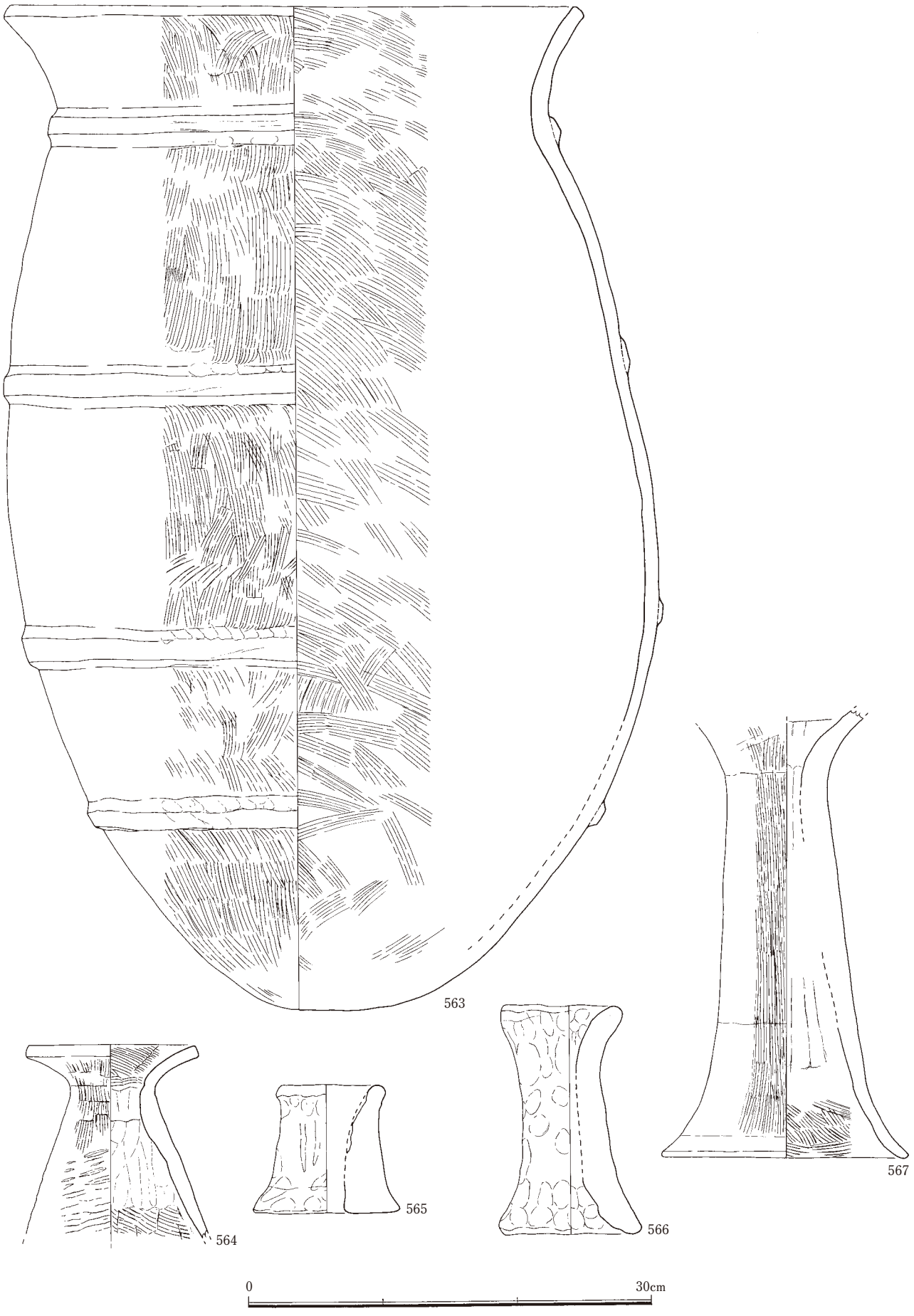

**第 55 図**　土器群 110 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 56 図**　土器群 110 出土土器実測図（2）[ 1/ 4・1/ 6]



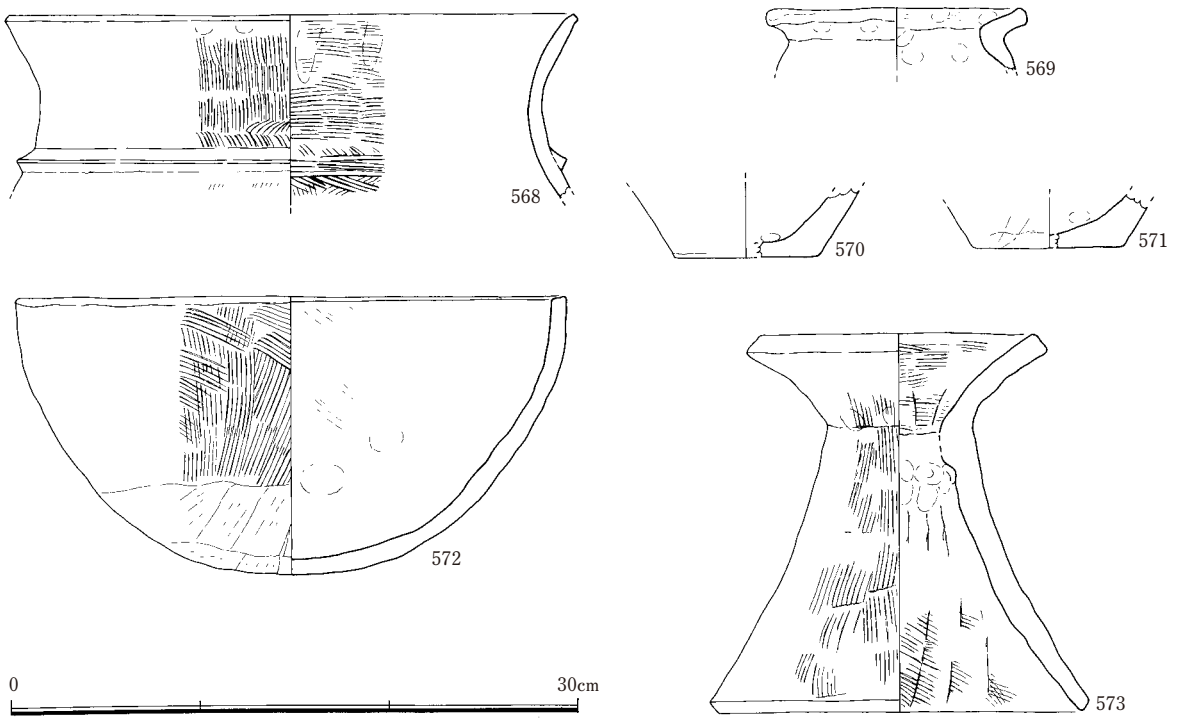

**第 57 図**　土器群 110 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]




**第 58 図**　土器群 110 出土土器実測図（4）[ 1/ 4]

# 表 24　土器群 110 出土土器観察表

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 55 | 533 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | — | 7.4 | — | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は絞り、肩部は指ナデ | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/3（壺の上半部）、外側の口縁部・肩部辺りが黒いが、口縁部内側から外側にかけうすく丹の痕あり |
| 55 | 534 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | — | — | 10.2 | 頸部は縦ヘラ磨き、胴部は横ヘラ磨き、胴部下位から縦ヘラ磨き | 頸部は縦ヘラ磨き、胴部は工具痕 | 外：灰黄褐色<br>内：褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3（壺の下半部）、丹塗り |
| 55 | 535 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 蓋 | — | — | 12.8 | ヘラ研磨 | ナデ | 外：中心近く丹塗り、縁部は灰褐色<br>内：にぶい黄橙色 | 白色粒子と雲母 | 良好 | 残存：1/3（弥生）、外側丹塗り |
| 55 | 536 | Ⅱ | 110 | W-5 | 壺 | — | — | — | 竹管文あり | 横ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 複合口縁の壺の破片、竹管文あり |
| 55 | 537 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | 30.6 | 21.2 | 9.8 | 口縁部横ナデ、他は粗い縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他は指ナデ、胴部中位はナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | 残存：縦 1/2 弱 |
| 55 | 538 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | 18.5 | — | 7.8 | 胴部上位は横ナデ、他はナデ、底部付近は指押さえ | 横ナデ、底部は指押さえ | 外：にぶい黄橙色<br>内：黒色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 外来系土器か？弥生？、残存：全周あり，口縁部は全て打ち欠き、焼成後の穿孔（1.2 × 1.8）が胴部上位にあり |
| 55 | 539 | Ⅱ | 110 | Z-2 | 壺 | — | 16.8 | — | 頸部に指押さえか、胴部は横ヘラ磨きか | 口縁部は粗い横刷毛、他は器表の剥離が著しい | 灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | やや軟 | 残存：1/3 弱（壺の上半部）、口縁部内側から外側は丹塗り |
| 55 | 540 | Ⅱ | 110 | Z-2 | 鉢 | 15.8 | 17.1 | 6.0 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ・斜・縦刷毛・ナデ消し、胴部下位は縦刷毛 | 口縁部上面は横ナデ、胴部中位に多くの指押さえ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒く、2㎜以下の褐色粒 | 良好 | 残存：1/3 |
| 55 | 541 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | — | — | 8.6 | 口縁部は横ナデ、胴部は突帯部（横ナデ）をはさみ縦刷毛、底部付近は工具で器表調整 | ナデ、底部付近は縦ナデ・不定方向の刷毛 | 外：黒褐色<br>内：灰褐色 | 4㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/3 |
| 55 | 542 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 鉢 | 22.0 | 17.2 | 7.4 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6 |
| 55 | 543 | Ⅱ | 110 | Z-3 | 甕 | — | 22 | 10.8 | 口縁部に沈線？が入り縦刷毛、胴部は斜刷毛、底部付近は縦刷毛 | 口縁端部にも沈線が入る、口縁部は横ナデ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6、口縁部に沈線か工具痕が入る |
| 56 | 544 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | 39.1 | 23.2 | 9.1 | 口縁部から同部下位まで横ナデ、胴部下位から粗い縦刷毛・ナデ消し | 口縁部上面は不定方向のナデ、頸部は横ナデ、他はナデ、底部は指ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：9/10 |
| 56 | 545 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | 21.4 | 16.4 | 7.7 | 刷毛・ナデ、底部は粗い刷毛で器表を平滑にしている | 口縁部上面はナデ　、口縁部は横ナデ、頸部は工具痕、肩部は指押さえ、胴部は指ナデ、底部は工具痕 | 外：灰黄褐色<br>内：灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：3/4、胴部下位に内側から焼成後の穿孔（ひび割れているため穴の径は不明） |
| 56 | 546 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | — | 21.2 | — | 口縁部から突帯部まで横ナデ（頸部は縦刷毛も）、他は細かい縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、頸部は横刷毛・指ナデ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：縦 1/2 弱、外側丹塗り、潤側は範囲不明 |
| 56 | 547 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 壺 | 46.6 | 26.8 | 9.6 | 口縁端部に刻み目あり、口縁部，突帯部は横ナデ，他はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：3/4、丹塗り（外側底部も塗っていたか） |
| 57 | 548 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 蓋 | 10.3 | 7.2 | 25.2 | 頂部はナデ・板ナデ・縦刷毛、裾部は刷毛、裾端部は横ナデ | 頂部は横ナデ、裾部は刷毛、裾端部はナデ | 外：浅黄色<br>内：灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：7/8（弥生）、内側が火を受けたように黒ずむ |
| 57 | 549 | Ⅱ | 110 | Z-3 | 蓋 | 11.1 | 6.8 | 27.0 | 頂部上面はナデ、他は縦刷毛 | 頂部はナデ、中位は工具痕、裾部は横刷毛 | 灰黄褐色 | 9㎜以下の石英・長石粒・黒色粒・橙色粒・雲母 | 良好 | 残存：7/8（弥生）、裾部は黒っぽい（使用したか） |
| 57 | 550 | Ⅱ | 110 | Z-3 | 甕 | — | 30.8 | — | 口縁端部に刻み目あり、口縁部は横ナデ、他は横ヘラ磨き | 口縁部上面は横ヘラ磨き、他はナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：全周あり（甕の上半部）、口縁部内側から外側は丹塗り，胴部中位は灰色、胴部の割れ目は打ち欠きか |
| 57 | 551 | Ⅱ | 110 | Z-3 | 甕 | 24.9 | 22.6 | 7.1 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部付近はナデ | 口縁部は指押さえ（ぶよぶよ）、他はナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：9/10（弥生の甕）、外側スス付着、全体的にぶよぶよしている、底部中心部は欠損 |
| 57 | 552 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 甕 | 15.7 | 14.8 | 6.2 | 口縁部は横ナデ、他は磨滅が著しい、底部付近に工具痕 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒<br>9 × 6㎜の大粒の橙色粒が内側に見られる | 良好 | 口縁部外側が少々欠損、丹塗りだったよう（内側は塗ってないよう） |
| 57 | 553 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 鉢 | 11.9 | 16.4 | 7.7 | 口縁部は横ナデ、他は粗い縦刷毛・ナデ消し、底部付近は横ナデ | 口縁部は横ナデ、他は板ナデ・ナデ、底部は指押さえ | 灰黄褐色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：9/10 |
| 57 | 554 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 鉢 | 8.2 | 15.6 | 4.8 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛、底部付近は横ナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部は指押さえ | 外：にぶい橙色<br>内：にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 残存：口縁部が少々欠け |
| 57 | 555 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 鉢 | 9.45 | 13.1 | 6.6 | 口縁部は横ナデ・不明工具痕、他はナデ、底部は色々な圧痕 | 口縁部は工具痕、胴部は横ナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色<br>一部表面橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：ほぼ完形品（口縁部外側やや欠け） |
| 57 | 556 | Ⅱ | 110 | Y-3 | ミニチュア土器 | 5.5 | 10.1 | 4.5 | ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 微粒の白色粒 | 良好 | 残存：3/4 |
| 57 | 557 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 甕 | 37.8 | 26.8 | 8.8 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部上面は粗い横刷毛、他はナデ | 下半部：橙色<br>その他：灰黄褐色 | 5㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6、スス付着 |
| 57 | 558 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 鉢 | 13.7 | 17.6 | — | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、胴部中位から粗い刷毛・ケズリのような粗い調整、底部に指押さえ | ナデ（何らかの工具で） | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、3㎜以下の橙色粒 | 良好 | 底部に焼成前の穿孔あり、外側胴部の刷毛は木口でなく別の樹木か |
| 57 | 559 | Ⅱ | 110 | W-5 | 甕 | 21.5 | 14.6 | 約 2.0 | 口縁部は縦刷毛・横ナデ・ナデ消し、胴部は縦刷毛、底部は定方向の刷毛 | 口縁部は横刷毛・ナデ消し、胴部は縦刷毛、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒と微粒の雲母 | 良好 | 残存：1/2 |
| 57 | 560 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 鉢 | 13.0 | 12 | 9.1 | 口縁部の一部横ナデ、他は磨滅して不明瞭（何かで叩いたか） | ナデ・指押さえ<br>口縁部付近と胴部中位に粘土のつなぎ目あり | 橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形、非常に重い |
| 57 | 561 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 鉢 | 13.3 | 11.6 | 6.5 | 口縁部は横ナデ・縦刷毛・ナデ消し、他はナデ | 口縁部は横ナデ、他は工具痕、底部に指押さえ | 外：にぶい黄橙色，灰褐色、内：にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：9/10（鉢か甕小） |
| 57 | 562 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 甕 | 16.5 | 12.2 | 7.2 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、胴部中え位から縦刷毛、底部付近は指押さえ | 口縁部は横ナデ、胴部は指ナデ、底部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：3/4、小さな甕だが上半部にスス付着 |
| 58 | 563 | Ⅱ | 110 | Y・Z-3 | 棺 | 約 74 | 43 | — | 口縁部は縦刷毛、突帯部は横ナデ、胴部は縦刷毛、突帯部 3 本は工具での圧痕、胴部下位は縦・斜の刷毛、底部う金は縦刷毛 | 口縁部は刷毛目・ナデ消し、他は刷毛目 | 橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1 ㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：5/6（土器棺）、黒斑が対称にある、4 本の突帯、底部欠損 |
| 58 | 564 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 器台 | — | 12.4 | — | 受端部横ナデ、頸部は縦刷毛、裾部は並行タタキ | 受部は斜の刷毛、頸部は指押さえ、裾部は指ナデ、裾端部は斜の刷毛 | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の橙色粒と微粒の雲母 | 良好 | 残存：1/4 |
| 58 | 565 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 支脚 | 9.5 | 8.1 | 10.8 | 受部は指押さえ、他は指ナデ | 削れている | 橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒と微粒の雲母 | 良好 | 残存：受部の内側が欠ける |
| 58 | 566 | Ⅱ | 110 | Z-2 | 支脚 | 17.1 | 9.2 | 10.6 | 指押さえ | 指押さえ | 橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形、非常に重い |
| 58 | 567 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 脚台部 | — | — | 18.4 | 縦刷毛、裾端部は横ナデ | 指押さえ、裾部下位は粗い刷毛 | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の黒色粒 | 良好 | 残存：1/2（裾部）、外側丹塗りか、特殊器台か高坏か |



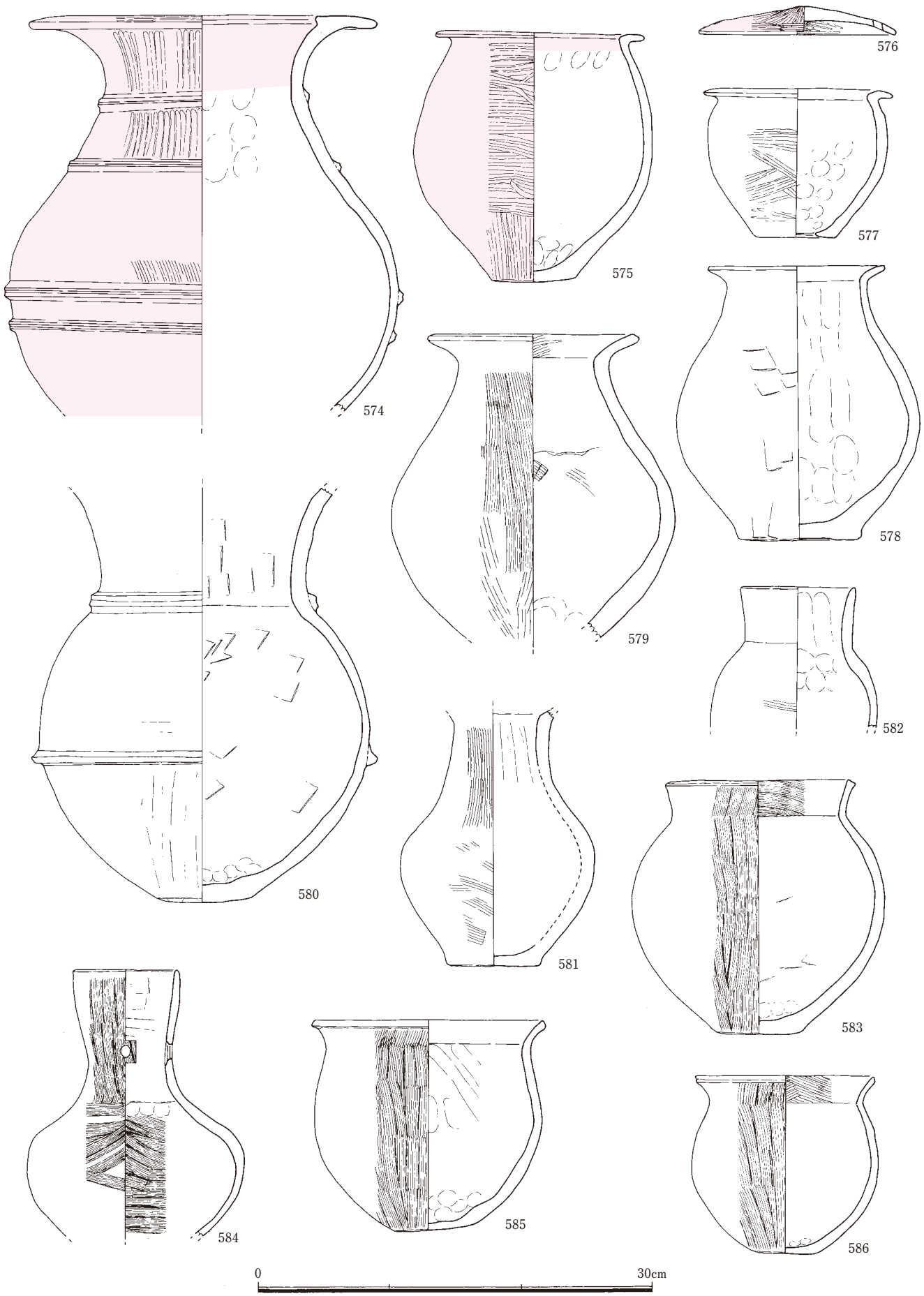

**第 59 図**　土器群 111 出土土器実測図 [ 1/ 4]

**表 25**　土器群 111 出土土器観察表

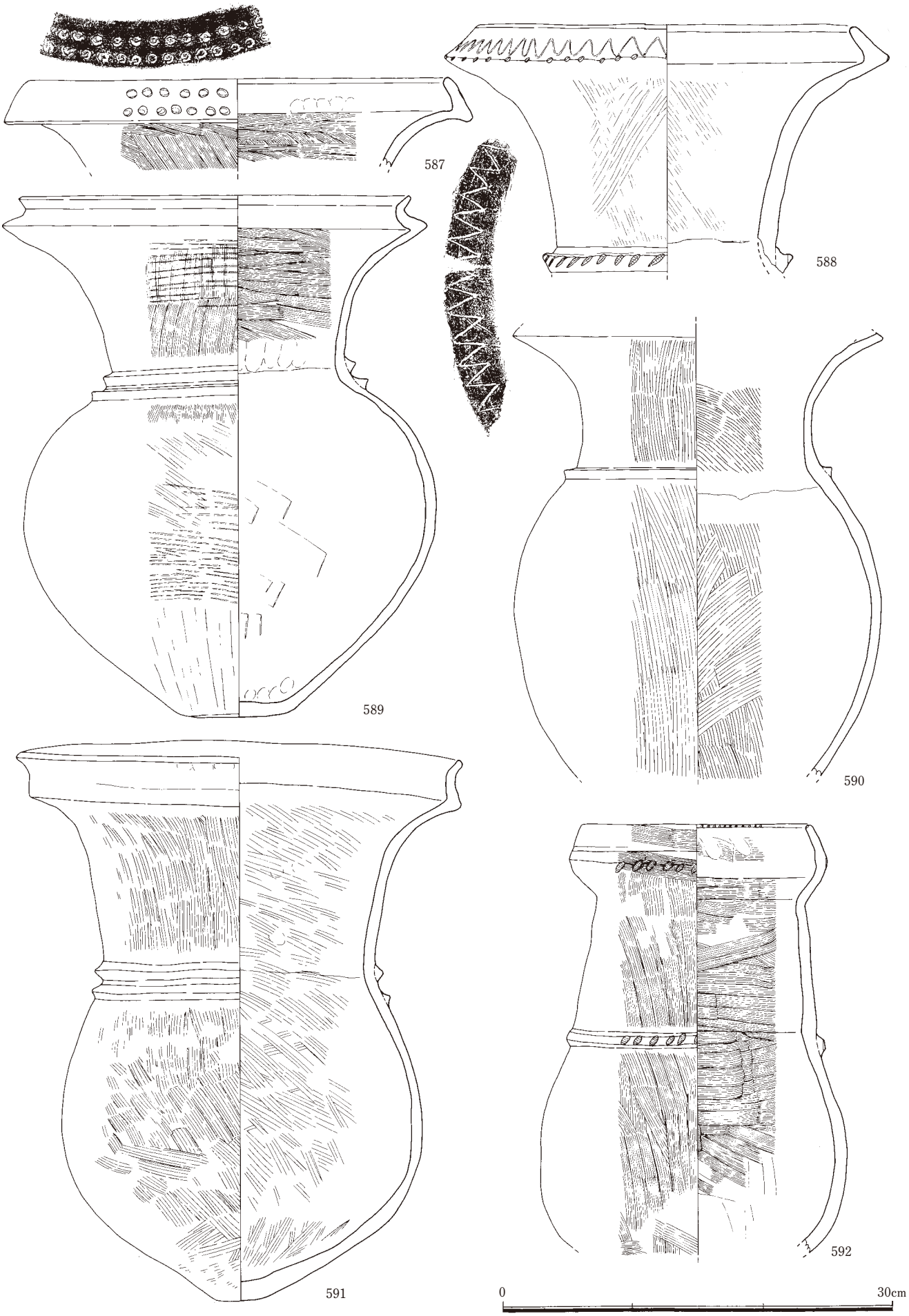
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 59 | 568 | Ⅱ | 111 | Z-3 | 甕 | — | 30.4 | — | 口縁部は上から横ナデ・縦刷毛（途中若干ナデ消し）、突帯部は横ナデ、肩部は縦刷毛 | 口縁部は粗い横刷毛・ナデ消し、頸部は縦刷毛・横ナデ | にぶい黄橙色 | 微粒の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/5（甕の口縁部） |
| 59 | 569 | Ⅱ | 111 | Z-3 | 甕 | — | 13.8 | — | 横ナデ・磨滅 | 口縁部は不定方向のナデ、頸部は指押さえ・横ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 甕の口縁部、ぶよぶよしている |
| 59 | 570 | Ⅱ | 111 | Z-3 | 底部 | — | — | 7.4 | ナデ・磨滅 | アレ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母と 2㎜以下の橙色粒 | 普通 | 残存：1/2（底部）、底部丹塗り |
| 59 | 571 | Ⅱ | 111 | Z-3 | 底部 | — | — | 8.0 | 磨滅 | 磨滅 | 外：橙色<br>内：灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 残存：1/3（底部） |
| 59 | 572 | Ⅱ | 111 | Z-3 | 鉢 | 14.7 | 29.2 | 3.0 | 斜・縦の刷毛、底部付近はケズリ | 口縁端部は横ナデ、他は刷毛目・ナデ消し | 橙色～褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒、微粒の雲母、１㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存:2/3、外側は煮炊きに使ったか、火を受けたよう（２次調整あり） |
| 59 | 573 | Ⅱ | 111 | Z-3 | 器台 | 20.0 | 15.8 | 20.0 | 受部は磨滅・アレ、他は縦刷毛・磨滅 | 受部は横刷毛、頸部はナデ・指押さえ、裾部は横刷毛・磨滅 | 橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒く、赤色粒 | 普通 | 残存：2/3 |

**表 26**　土器群 112 出土土器観察表（1）

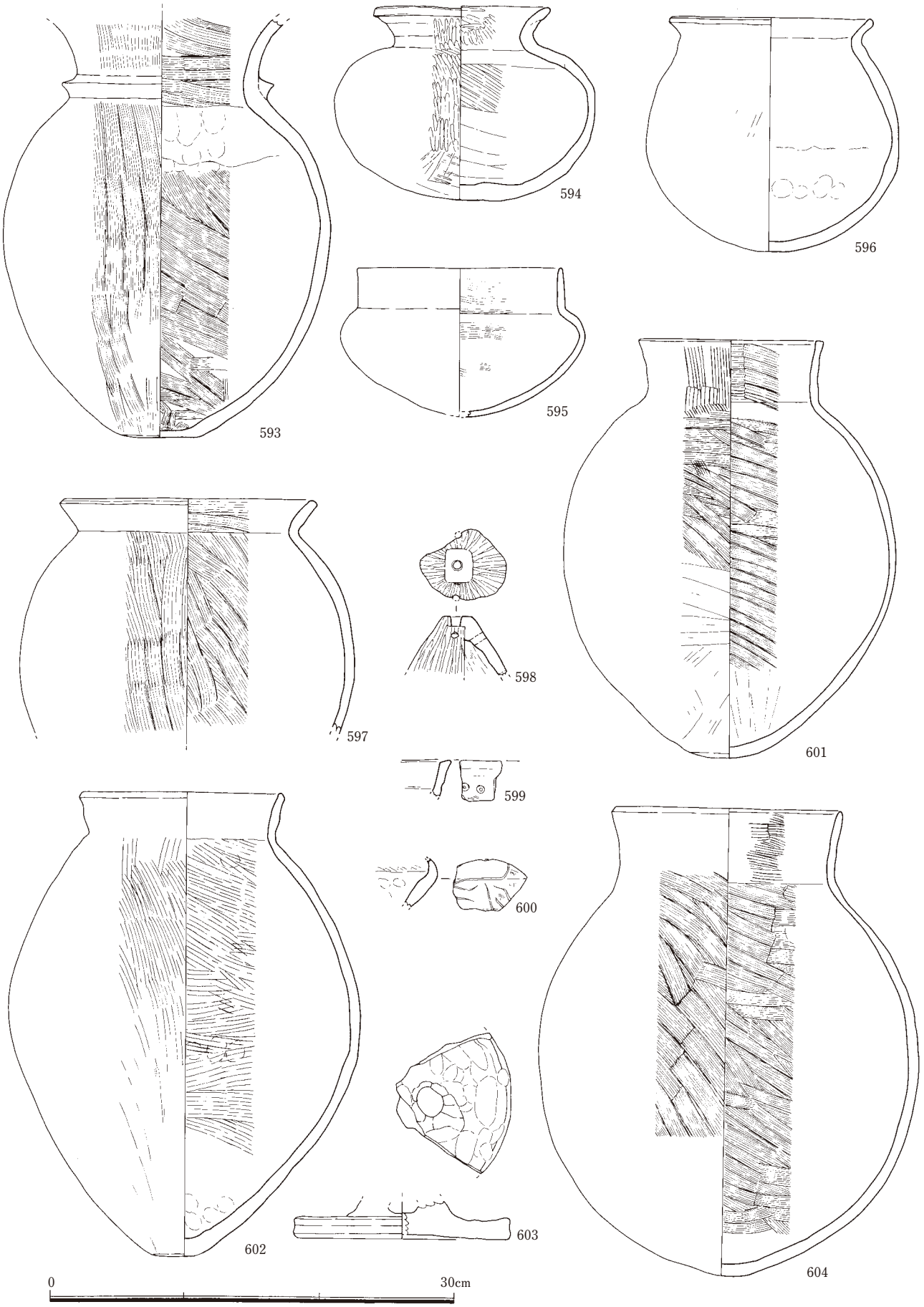
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 60 | 574 | Ⅱ | 112 | | 壺 | 30.0 | 26.4 | — | 口縁端部は横ナデ、裏側は板状工具木口の横ナデ、頸部は暗文、突帯部は横ナデ、肩部は縦ヘラ磨き、胴部は縦刷毛目のち木口による横ナデ消し、胴部下位は横ナデ | 口縁部上面はヘラ磨き、口縁部は横ナデ、頸部は縦ナデ・指圧痕、他はナデ | 淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、胴部下位～底部<br>赤色顔料が外面と内面頸部まで |
| 60 | 575 | Ⅱ | 112 | W-5 | 壺 | 18.8 | 15.8 | 6.2 | 口縁部はナデ、他は横ヘラ磨き、胴部下位は縦ヘラ磨き | 口縁部上面はヘラ磨き、口縁部は横ナデ・指圧痕、他はナデ | 淡灰褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部中位 10%<br>外面は底部を除き赤色顔料、内面は口縁下まで（一部飛沫あり） |
| 60 | 576 | Ⅱ | 112 | | 蓋 | 2.2 | — | 15.0 | 縦ヘラ磨き | 縦ヘラ磨き | 淡褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～天井部 2/3<br>外側全体に赤色顔料（内側もそう思われるが磨滅のため不明瞭）<br>中央付近に径 8㎜のくぼみ<br>裾部に穿孔（焼成前）あり |
| 60 | 577 | Ⅱ | 112 | | 壺 | 11.25 | 14.4 | 6.0 | ヘラ磨き | 口縁部はヘラ磨き、他はナデ・指圧痕 | 暗褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、2㎜以下の長石）、金雲母（1㎜以下） | 良好 | 底部に穿孔（焼成後）あり<br>外面口縁～胴部全体に赤色顔料が施されているか |
| 60 | 578 | Ⅱ | 112 | — | 壺 | 20.75 | 13.4 | 9.2 | 口縁部は横ナデ、胴部は板状工具木口によるナデ、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ・指圧痕 | 外：淡褐色<br>内：淡褐色～明褐色 | 3㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 欠損：口縁部～胴部は 1/2 弱 |
| 60 | 579 | Ⅱ | 112 | W-5 | 壺 | 23.0 | 16 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は刷毛目、他はナデ（一部に刷毛目痕）、底部は指圧痕 | 淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 4/5、底部肩部下に接合痕 |
| 60 | 580 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 31.45 | | 7.0 | 頸部は板状工具木口による縦ナデ、突帯部は横ナデ、胴部は板状工具木口による縦ナデ、胴部下位はヘラ削り | 頸部は板状工具木口による横ナデ（木口痕あり）、肩部はナデ、他は板状工具木口によるナデ（木口痕明瞭）、底部は指圧痕 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、6㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部，胴部 30％弱<br>外底はやや丸みをもつ（胴部との境は認められる） |
| 60 | 581 | Ⅱ | 112 | | 壺 | 19.35 | — | 7.0 | 口縁部は横ナデ、頸部は縦刷毛・磨滅、胴部から斜刷毛・磨滅、底部はナデ | 頸部はヘラ状工具による横方向のナデ、他はナデ | 淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部<br>器表は剥離が著しい |
| 60 | 582 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 10.65 | 8.8 | | 口縁部は横ナデ（磨滅）、胴部は刷毛目・磨滅 | 口縁部～胴部中位はナデ（指圧痕）、他はナデ | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/3、胴部中位～底部<br>器面は磨滅し調整痕は不明瞭 |



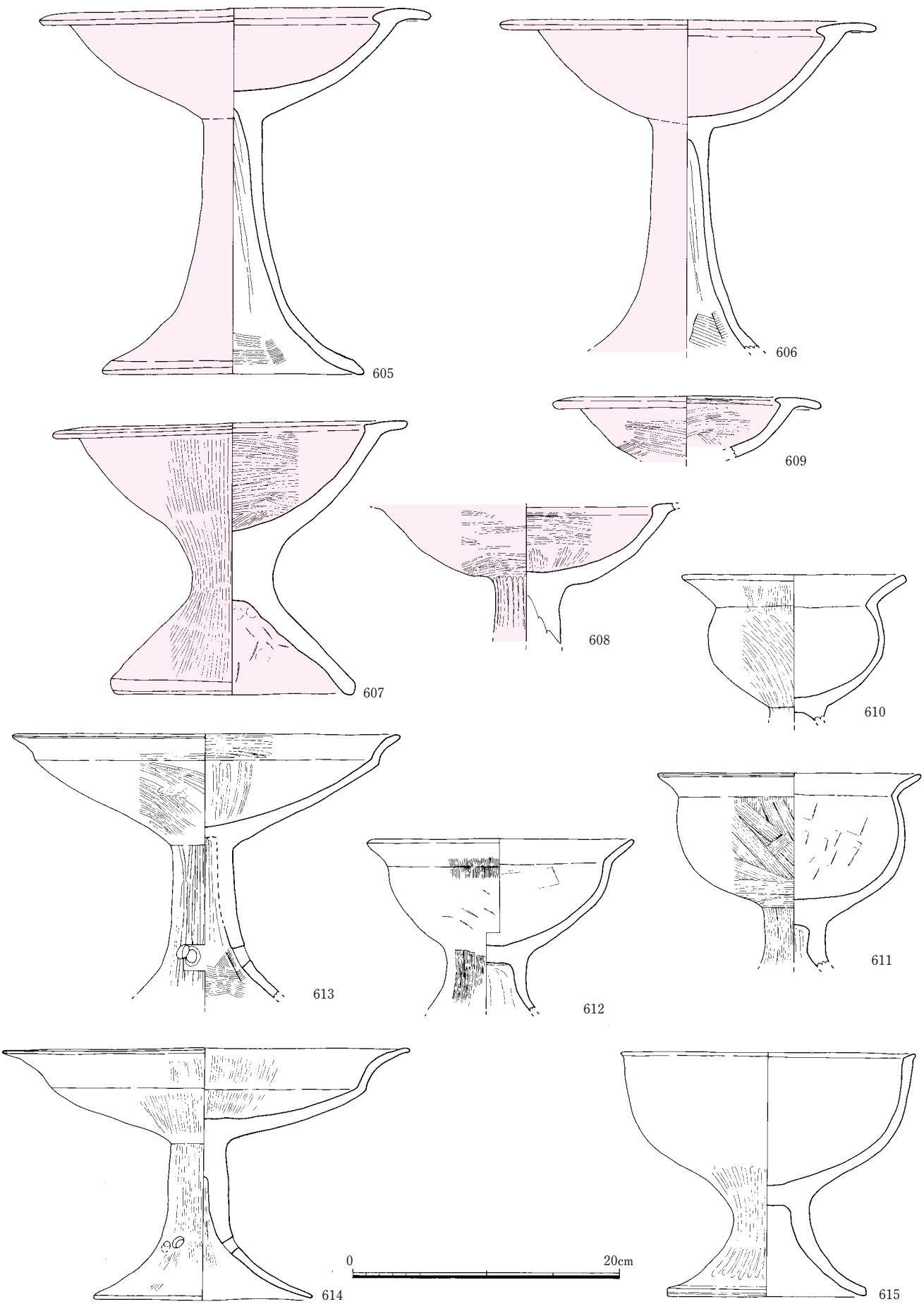

**第 60 図**　土器群 112 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]



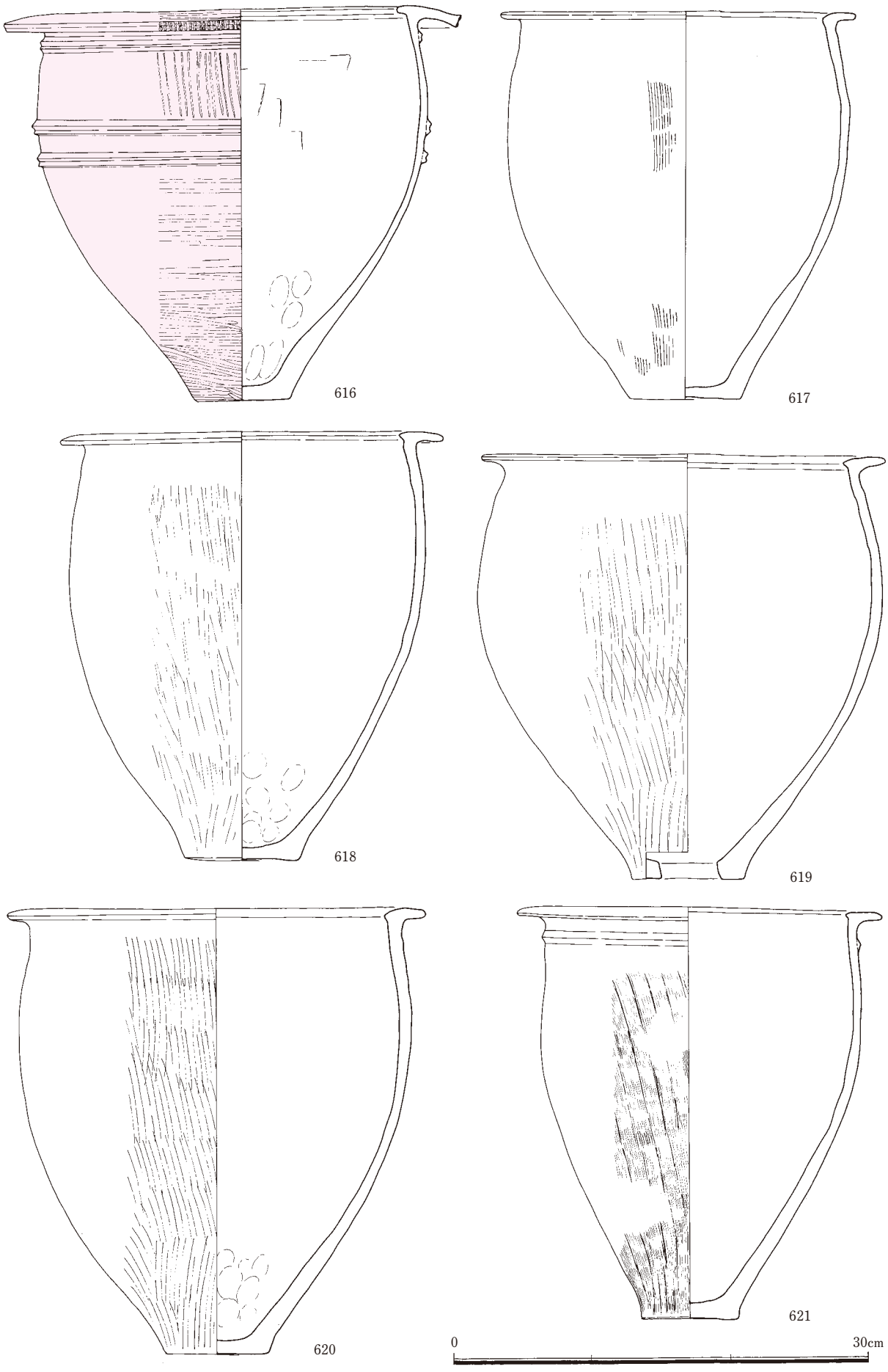

**第 61 図**　土器群 112 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]



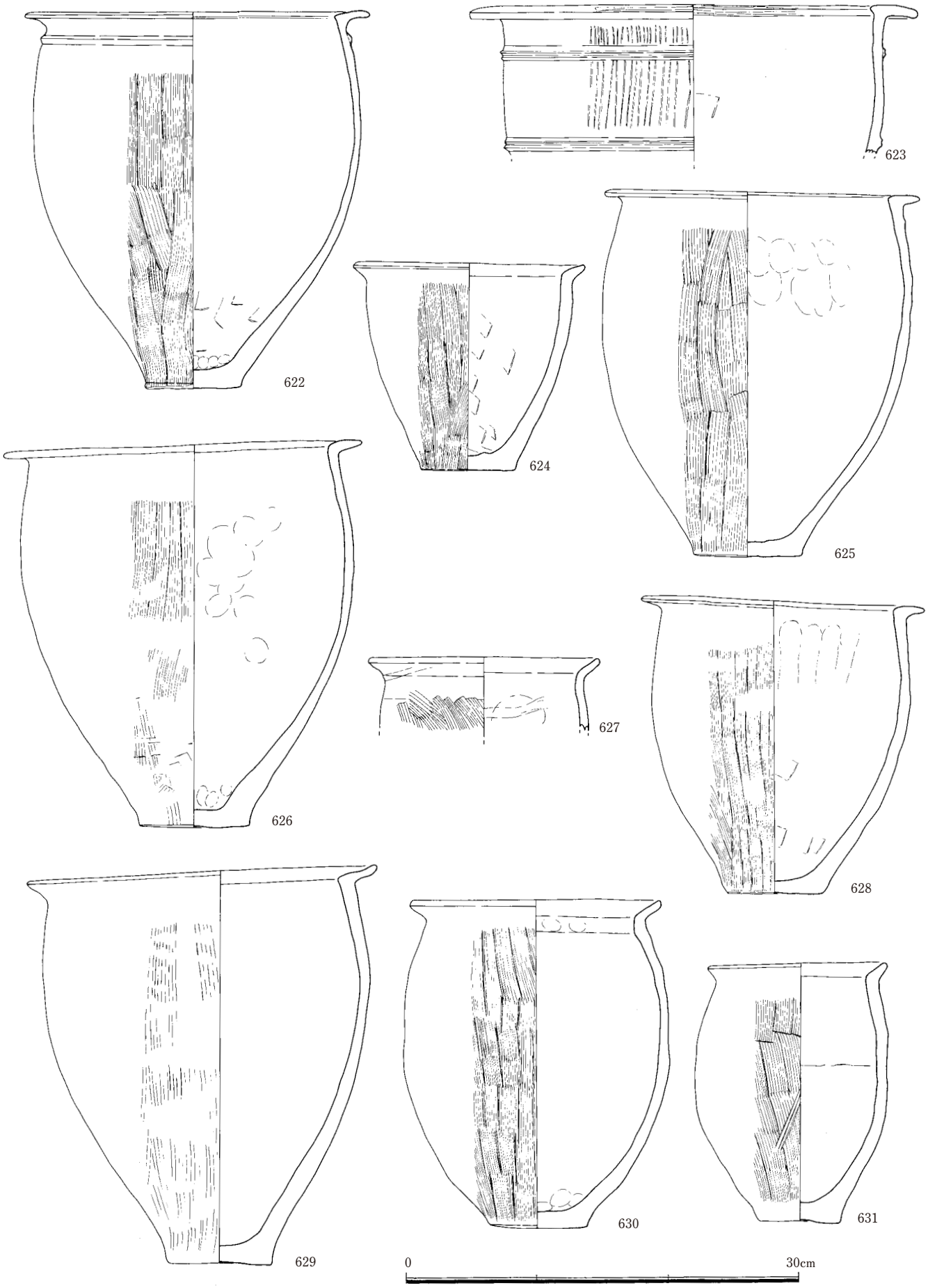

**第 62 図**　土器群 112 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]



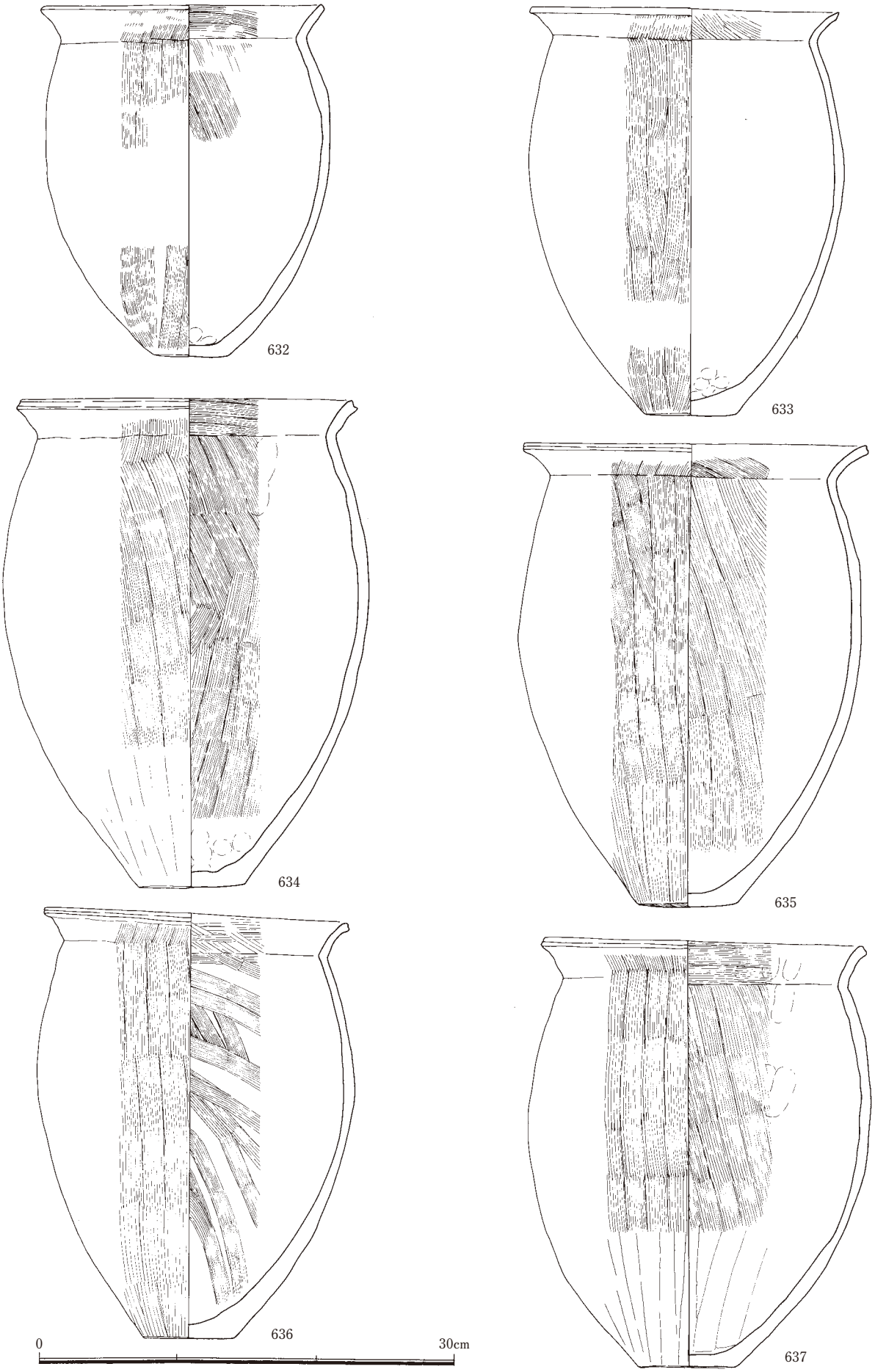

**第 63 図**　土器群 112 出土土器実測図（4）[ 1/ 4]



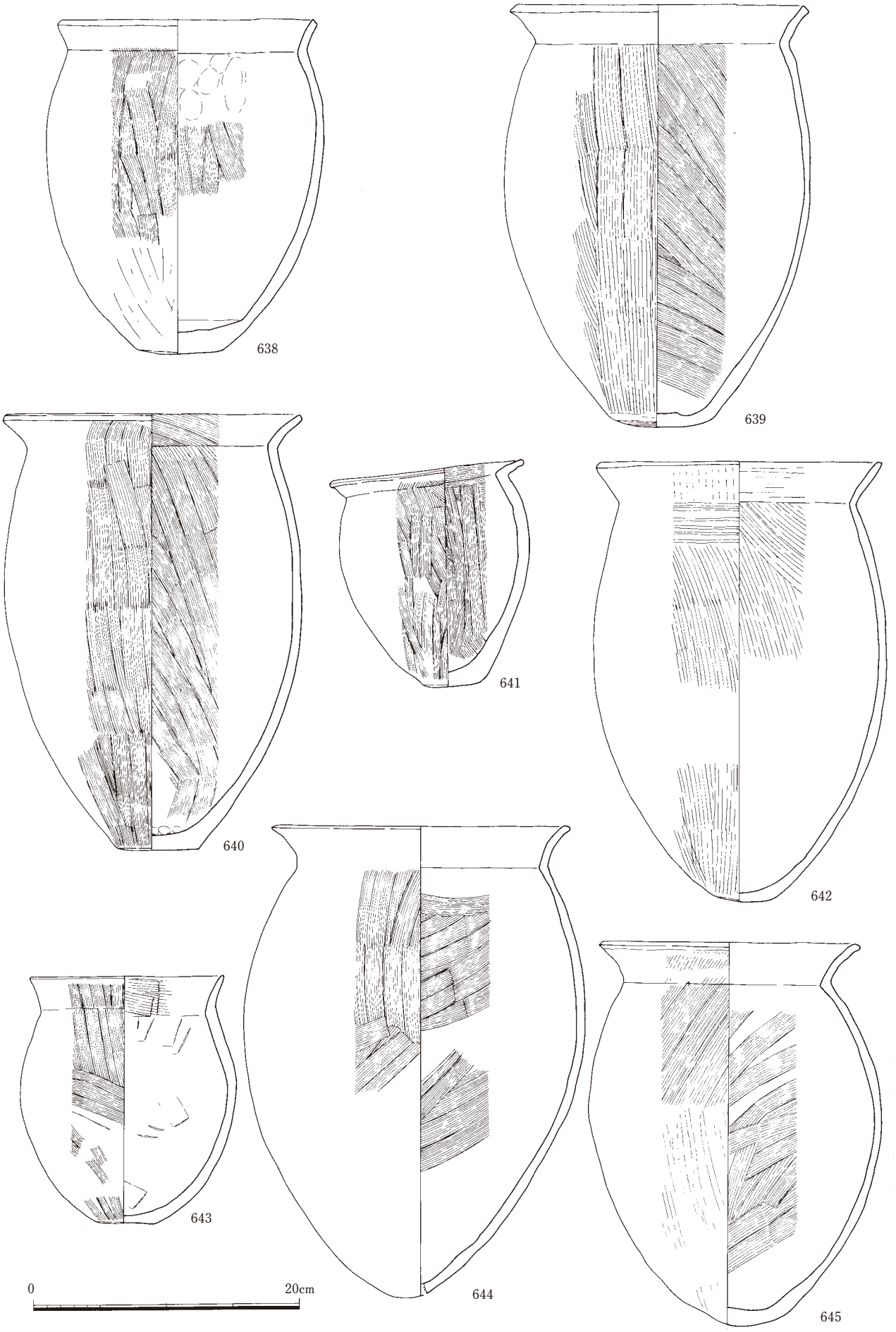

**第 64 図**　土器群 112 出土土器実測図（5）[ 1/ 4]



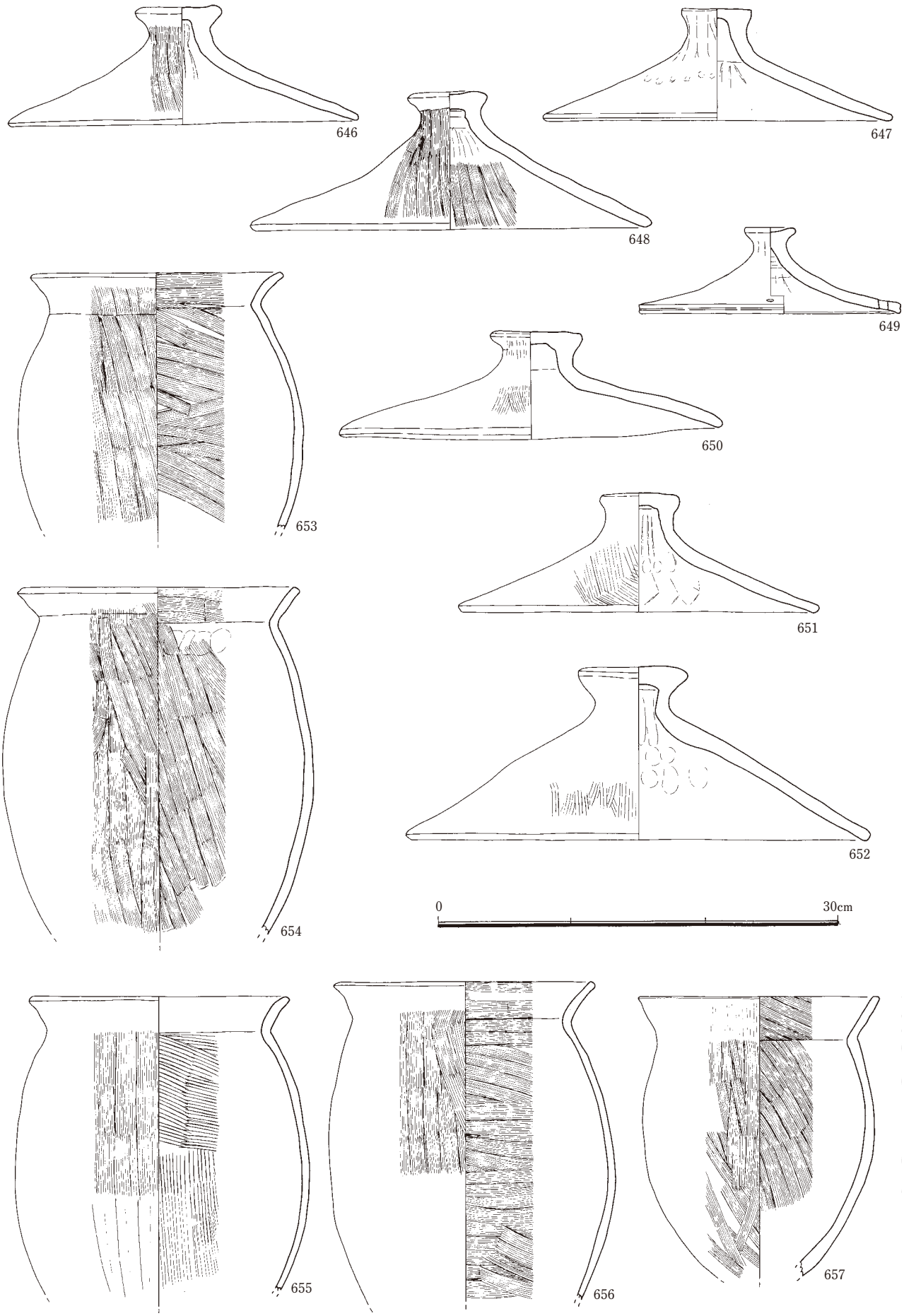

**第 65 図**　土器群 112 出土土器実測図（6）[ 1/ 4]



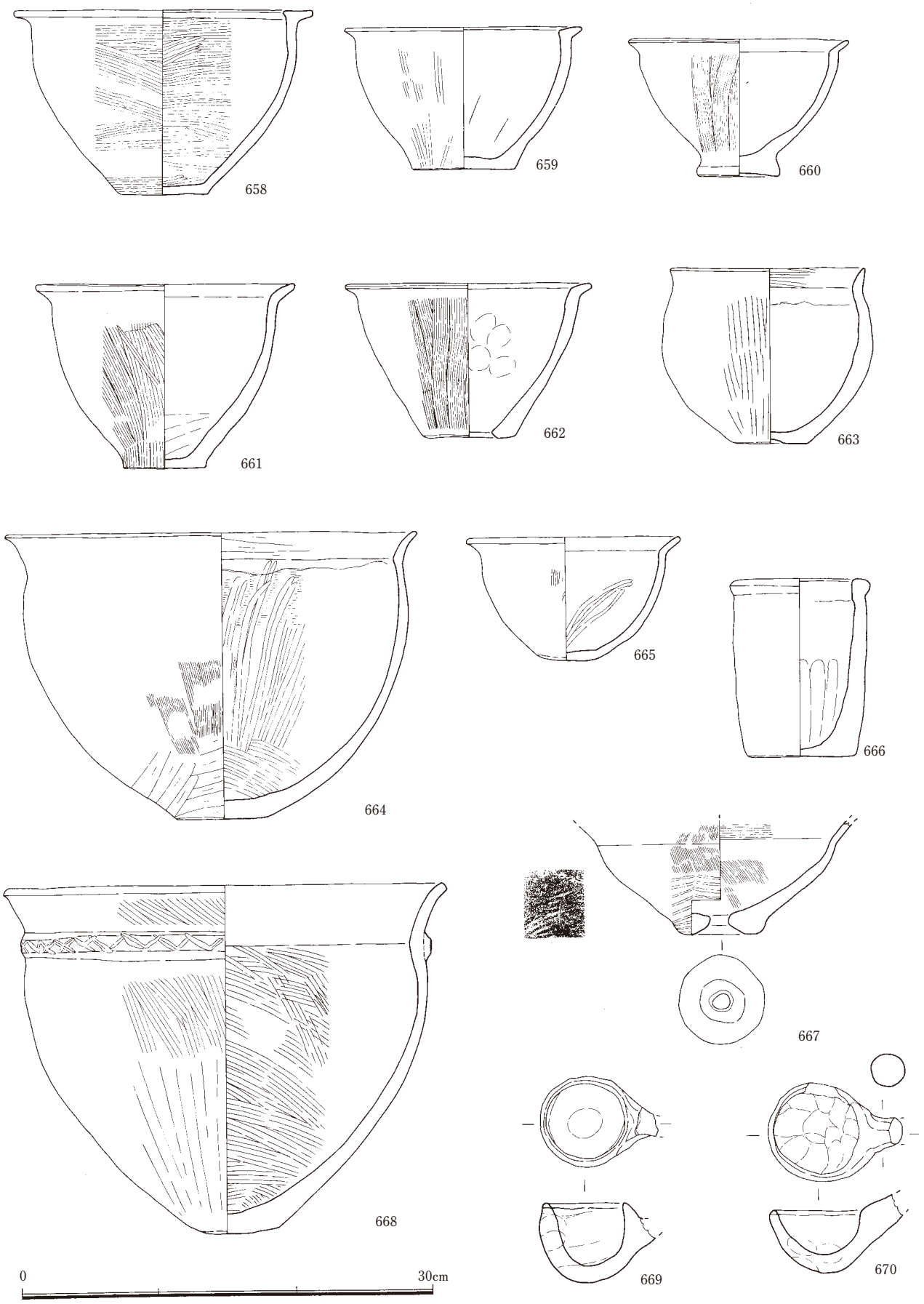

**第 66 図**　土器群 112 出土土器実測図（7）[ 1/ 4]



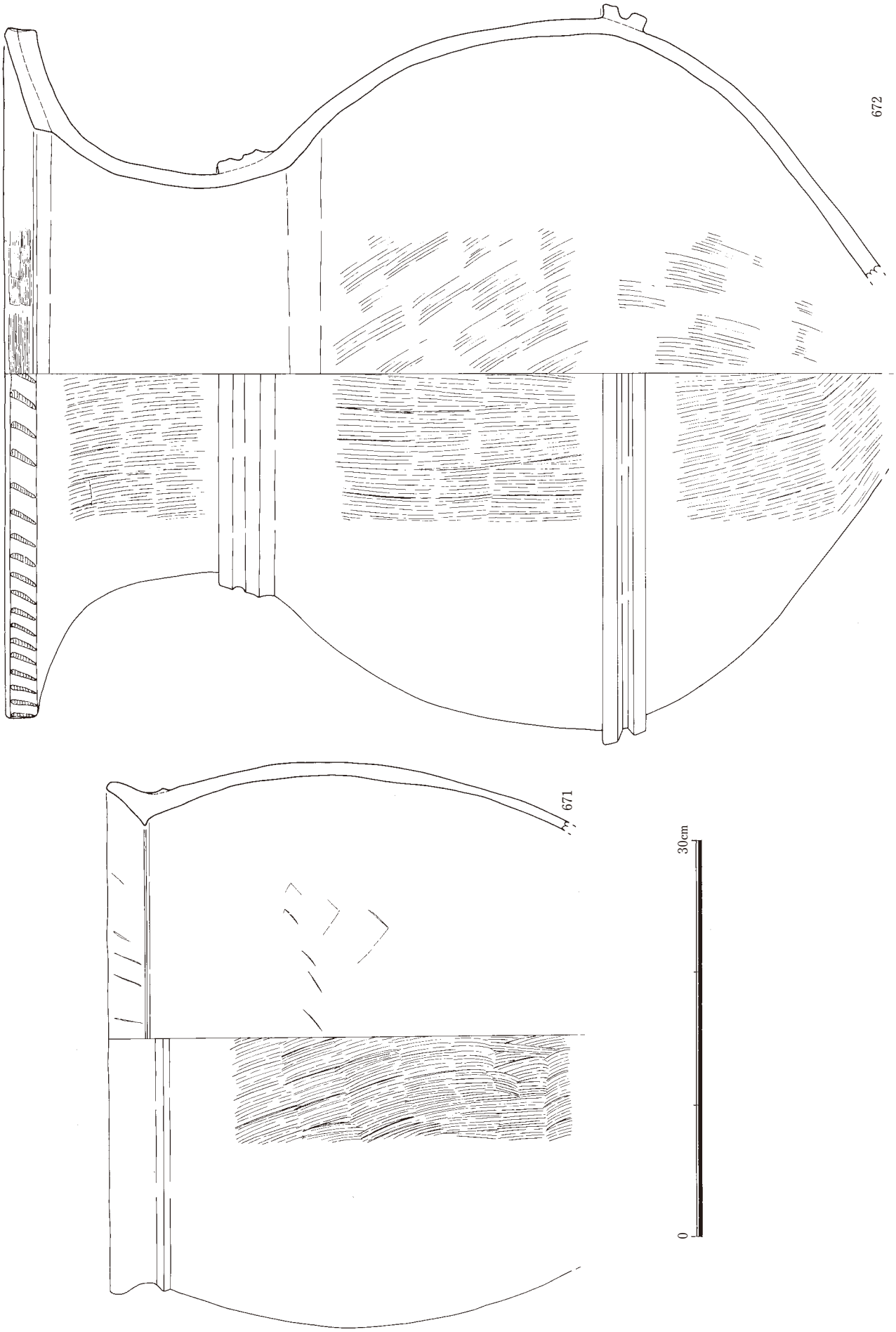

**第 67 図**　土器群 112 出土土器実測図（8）[ 1/ 4]



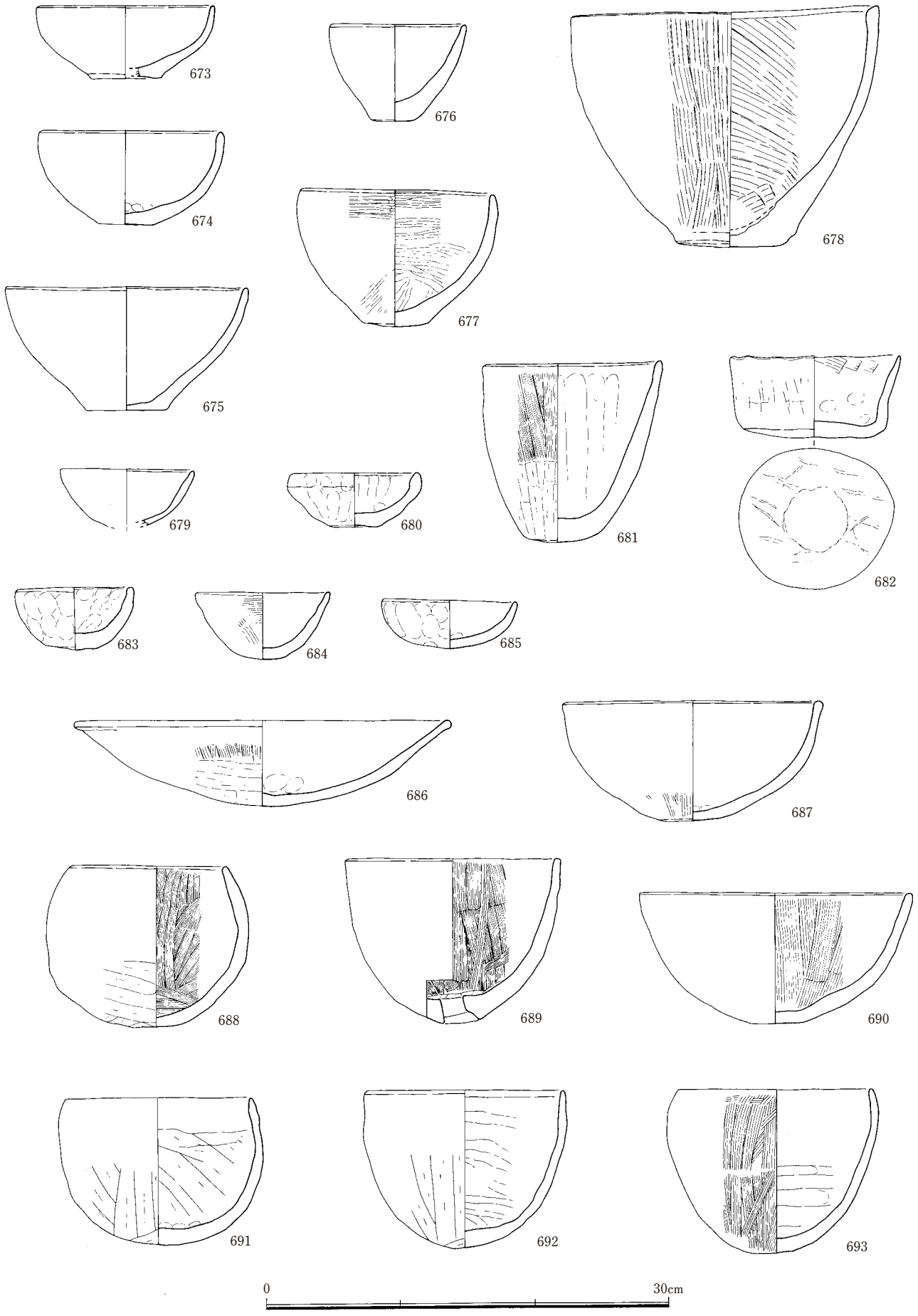

**第 68 図**　土器群 112 出土土器実測図（9）[ 1/ 4]



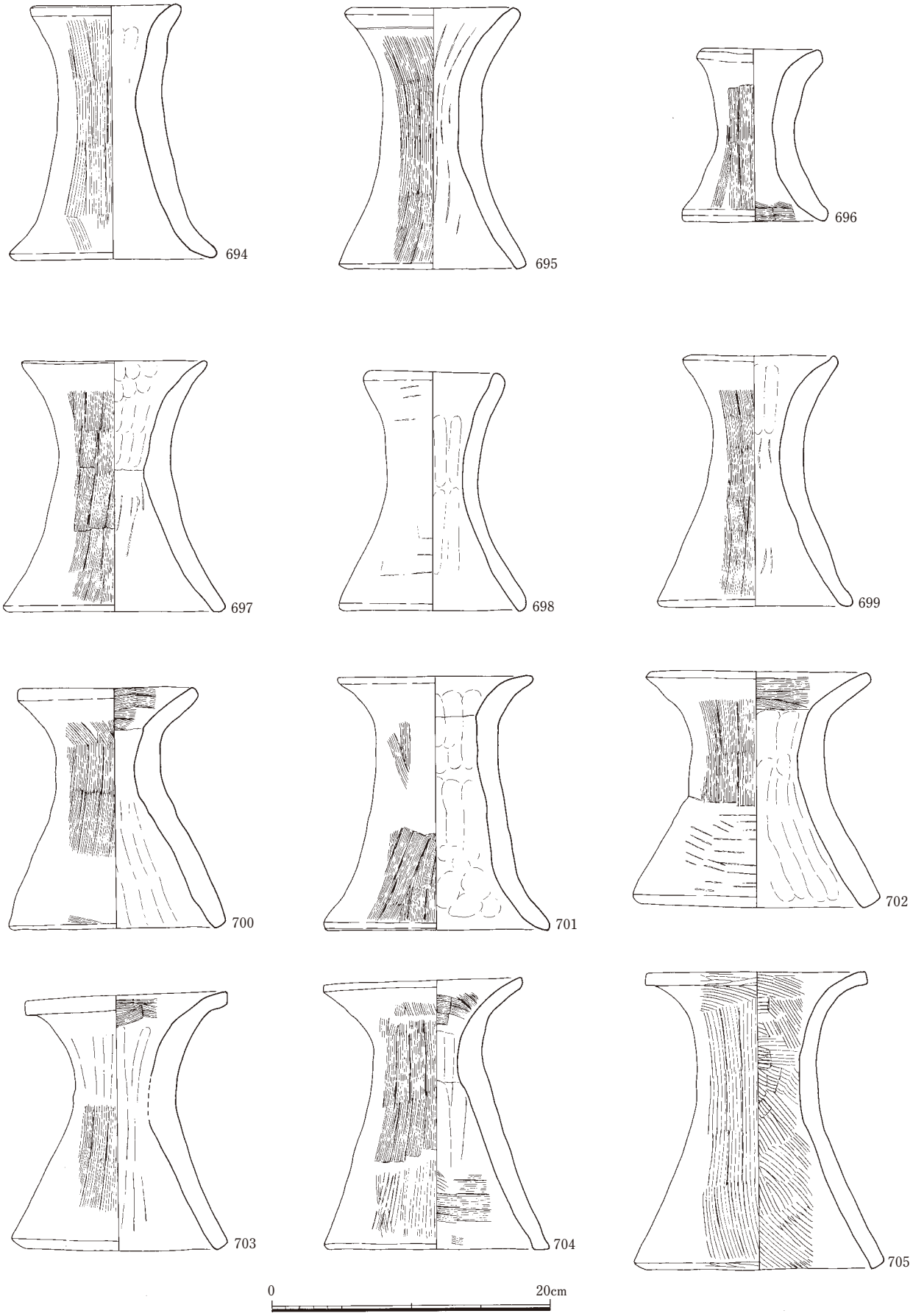

**第 69 図**　土器群 112 出土土器実測図（10）[ 1/ 4]



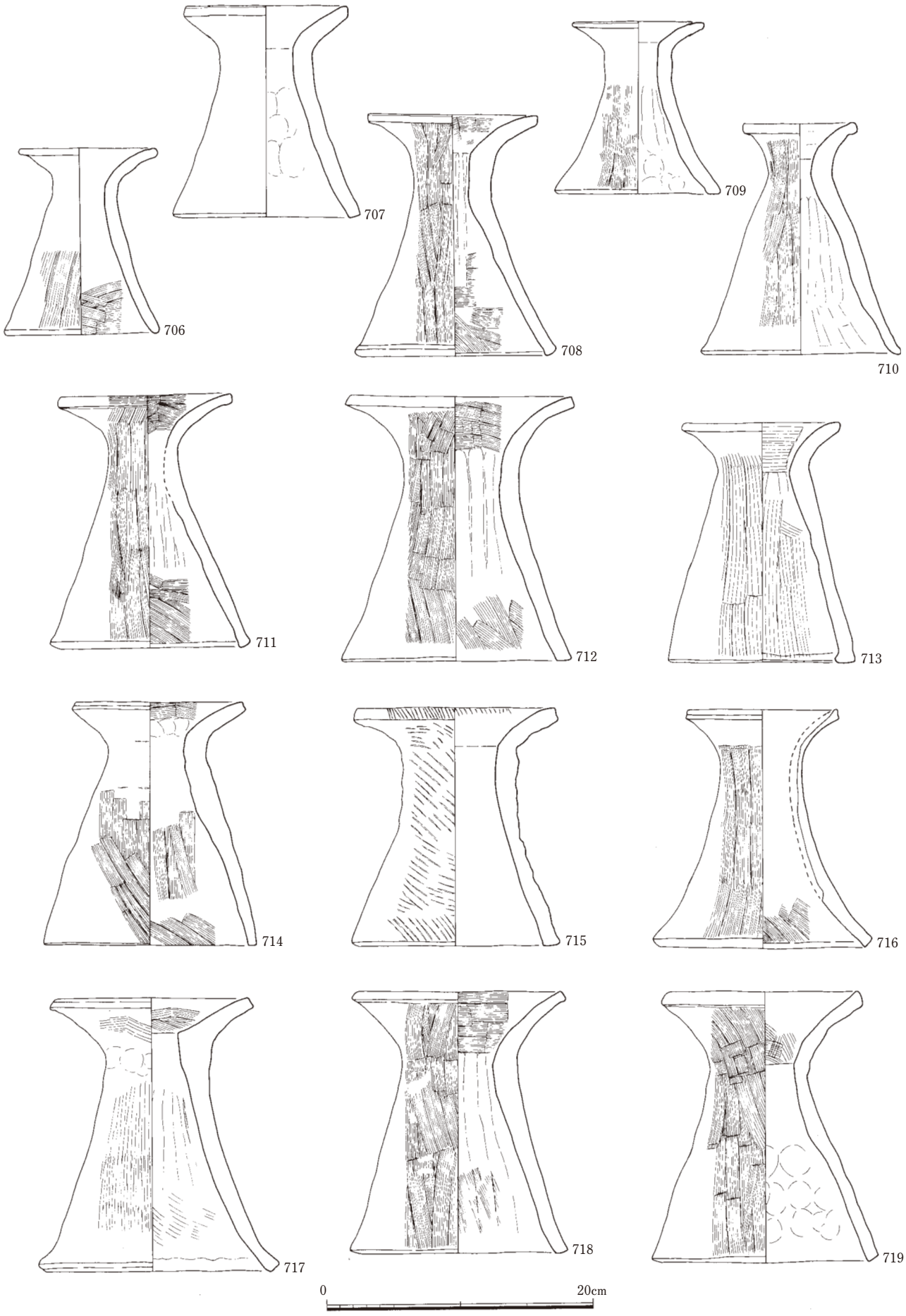

**第 70 図**　土器群 112 出土土器実測図（11）[ 1/ 4]



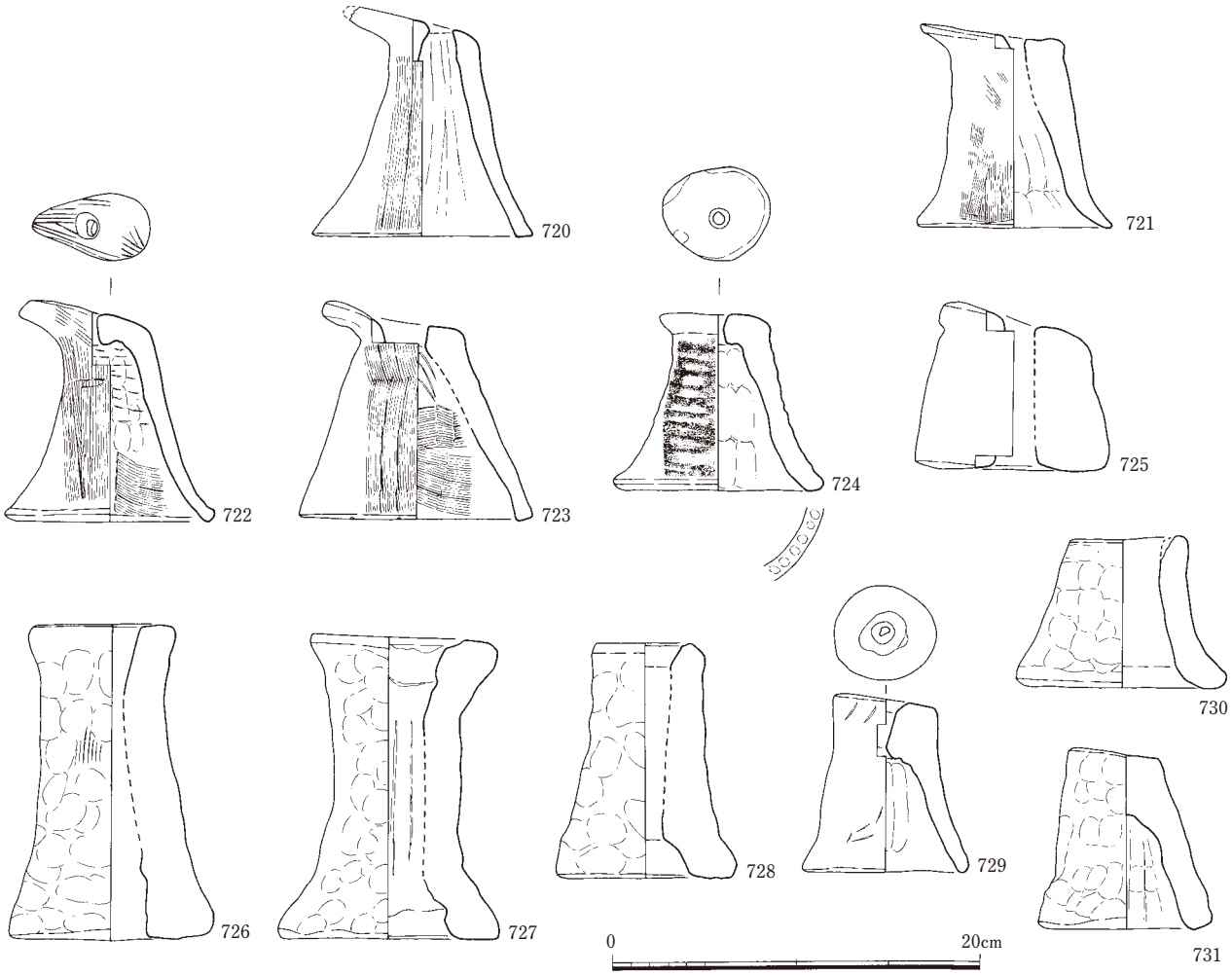

**第 71 図**　土器群 112 出土土器実測図（12）[ 1/ 4]




**第 72 図**　土器群 112 出土土器実測図（13）[ 1/ 4]




**第 73 図**　土器群 112 出土土器実測図（14）[ 1/ 4]




**第 74 図**　土器群 112 出土土器実測図（15）[ 1/ 4]

**表 27**　土器群 112 出土土器観察表（2）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 60 | 583 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 19.2 | 14.4 | 6.3 | 口縁端部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横刷毛、他は板状工具によるナデ（木口の圧痕）、底部は指圧痕 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2 弱<br>胴部中位に 2 カ所の黒斑 |
| 60 | 584 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 20.2 | 8.2 | | 口縁端部は横ナデ、他は刷毛目、胴部下位は刷毛目のちナデ消し | 頸部はヘラ状工具による横ナデ、肩部に指圧痕、他は刷毛目 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 直口壺<br>欠損：胴部中位～底部<br>頸部に 1 ヶ所穿孔<br>外側胴部中位付近に 5 × 7㎝の黒斑<br>内頸部付近に接合痕 |
| 60 | 585 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 15.9 | 17.6 | 5.6 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデの圧痕・厚皹 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：明褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/3、胴部 10%弱<br>口縁端部付近に接合痕あり<br>外底は胴部との境が丸みを帯びる。安定して立つ |
| 60 | 586 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 13.4 | 13.6 | 4.4 | 口縁は横ナデ、他は縦刷毛（器面はやや磨滅） | ナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色～明褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/3、胴部 1/4<br>口縁端部に接合痕あり<br>外底は胴部との境目は明瞭さを欠くが認められる |
| 61 | 587 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 32.0 | 6.8 | | 口縁上部は横ナデで竹管文あり、頸部は刷毛目のち横ナデ消し、頸部下位は斜刷毛 | 口縁部は指圧痕、頸部は横・斜刷毛 | 淡原色～淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、6㎜以下の長石） | 良好 | 二重口縁<br>残存：口縁部～頸部 1/6<br>口縁部外面に竹管文が上下二列に施されている<br>外側はスス付着 |
| 61 | 588 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 18.9 | 28.3 | | 口縁部は横ナデ、口縁部上面に山型の連続刻文様、口縁部角に刻み目、頸部は刷毛目のちヘラ磨きが部分的に施される、突帯部は刻み目 | 口縁部は横ナデ、頸部は粗い刷毛目（磨滅あり） | 淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～頸部 1/2 弱<br>頸部の接合痕から剥離 |
| 61 | 589 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 39.9 | 29.6 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、頸部は平行タタキのち刷毛目、突帯部は横ナデ、肩部は縦刷毛、胴部上位は斜刷毛、胴部中位は平行タタキのち斜刷毛、胴部下位は平行タタキ、底部付近は下から上へケズリ、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は刷毛目・指圧痕、胴部は板状工具木口によるナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部 1/8 弱<br>欠損：胴部 5%弱<br>楕円状（18 × 10㎝）と方形状（9.5 × 7.5㎝）の黒斑あり<br>底部と胴部の境は明瞭ではないが見とめられる |
| 61 | 590 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 34.5 | | | 口縁部は刷毛目、突帯部は横ナデ、胴部は縦刷毛 | 口縁部はナデ、頸部は刷毛目、胴部は縦刷毛・横刷毛 | 淡褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 欠損：底部、口縁部<br>口縁部と頸部に接合痕あり |
| 61 | 591 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 42.9 | 34 | 4.0 ～ 5.0 | 口縁部は横ナデ、頸部は縦刷毛、突帯部は横ナデ、肩部から縦刷毛、斜・縦刷毛、底部は刷毛のちナデ | 口縁部は横ナデ、他は斜刷毛、底部は縦刷毛 | 赤肌色 | 2 ～ 3㎜の石英を含む砂土 | 良好 | 二重口縁壺<br>口縁部に若干の黒変化<br>胴部に黒斑 2 ヵ所 |

## 表 28　土器群 112 出土土器観察表（3）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 61 | 592 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺形土器 | 32.9 | 17.4 | | 口縁端部はヘラ状工具による刻み目、全体に刷毛目が施され、袋状口縁部は浅い沈線が凹状に巡り、頸部・肩部に刻み目。胴部下位はヘラ状工具による刷毛目のナデ消しが全体の 1/2 程度ある | 口縁部は刷毛目・指圧痕、頸部は横ナデ、他は刷毛目、底部付近はヘラ状工具によるナデ | 外：淡褐色<br>内：灰黒色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 壺形土器<br>欠損：胴部下位～底部<br>浅い凹状沈線は部分的に 2 条の凹が 1 条の凹となり巡る |
| 62 | 593 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 31.0 | | 6.0 | 口縁部は縦刷毛、突帯部は横ナデ、他は縦刷毛（胴部下位は磨滅あり）、底部はナデ | 口縁部は刷毛目、肩部は指圧痕、他は刷毛目 | 淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部、胴部 1/2<br>外面胴部中位付近に径 15cm程度の黒斑<br>外面胴部下位～底部にかけ磨滅<br>外底と胴部の境は認められる |
| 62 | 594 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 14.3 | 12.6 | | 口縁部は横ナデ、胴部はミガキ、胴部下位はタタキ目のナデ（弱い削り状） | 口縁部は横ナデ・ミガキ、胴部は一次成形の刷毛（ナデ状）、胴部下位～平滑なナデ | 淡橙褐色～赤褐色 | 石英・長石粒・雲母 | 良好 | 瓦質短頸壺模倣土器 |
| 62 | 595 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 11.0 | — | | 口縁～肩部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は刷毛目のち横ナデ消し、胴部は板状工具木口によるナデ | 淡褐色～暗褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石 | 良好 | |
| 62 | 596 | Ⅱ | 112 | — | 壺 | 17.2 | 15 | | 口縁部は横ナデ、他は不明瞭（わずかに刷毛目痕） | 口縁部は横ナデ、他は板状工具木口によるナデ、胴部下位に指圧痕 | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/3<br>胴部中位に接合痕<br>底部は丸底 |
| 62 | 597 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 17.3 | 19.0 | | 口縁部は斜刷毛のち横ナデ消し、他は刷毛目（器面に磨滅） | 刷毛目 | 明褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部 3/4、胴部 1/4<br>器面表面に磨滅<br>外胴部中位に灰黒色の黒斑（径 5cm） |
| 62 | 598 | Ⅱ | 112 | W-4 | 不明土器 | 2.5 × 2 方形 | | | 縦ヘラ研磨 | 指押さえ、指ナデ | 橙色 | 精緻、白色微粒子と 2㎜以下の橙色粒子 | 良好 | 頂部に径 7㎜位の焼成前の孔、両側に径 5㎜位の孔（2つ） |
| 62 | 599 | Ⅱ | 112 | W-4 | 口縁部片 | | | | 横ナデ<br>竹管文風文様あり | ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 口縁部片<br>竹管文風文様あり |
| 62 | 600 | Ⅱ | 112 | W-4 | 胴部片 | | | | アレ・縦刷毛 | | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 胴部片<br>刻み文様あり、先端の鋭い工具で何かの文様を描いている |
| 62 | 601 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 30.8 | 13.6 | | 口縁端部は横ナデ、口縁部は～胴部中位は刷毛目、胴部中位～底部付近は板状工具によるナデ、底部はナデ | 口縁部～胴部下位はナデ、底部付近～はヘラ状工具によるナデ | 明褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石）多く混じる | 良好 | 欠損：胴部 5%弱<br>外面肩部～胴部上位にかけ黒斑（8 × 11cm）<br>外面胴部には数ヶ所器面が剥離している<br>外底は丸みをもち胴部との境は不明瞭 |
| 62 | 602 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 34.3 | 14.6 | | 口縁部は横ナデ、肩部～胴部中位は粗い刷毛目、胴部中位～板状工具木口によるナデ（磨滅） | 口縁部は横ナデ、頸部～胴部下位は刷毛目（肩部と胴部中位に指圧痕も）、底部付近～指圧痕 | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、胴部 10%<br>外底と胴部の境は不明瞭。僅かに平らな面を残す |
| 62 | 603 | Ⅱ | 112 | W-4 | 蓋 | 2.8 | 16.0 | — | 頂部はヘラ削り、体部はナデ、裾端部は横ナデ | 刷毛目のちナデ消し | 明褐色～淡褐色 | 3.0㎜以下の石英粒、4.0㎜以下の長石粒 | 良好 | 残存：全体の 1 / 4 、把手の一部<br>口縁端部～内側全体にスス付着<br>把手の形状は不明 |
| 62 | 604 | Ⅱ | 112 | W-4 | 壺 | 34.15 | 16.6 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目、胴部下位～底部はナデ | 口縁部は横刷毛、他は刷毛目（肩部に指圧痕も）、底部付近はナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、6.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部 1/10<br>欠損：胴部 20%弱<br>外面胴部上位～中位に径 15cm、底部付近に径 15cmの黒斑<br>外面胴部は磨滅あり<br>内面の一部に刷毛目のち指圧痕<br>丸底、胴部との境なし |
| 63 | 605 | Ⅱ | 112 | W-5 | 高坏 | 27.5 | 29.3 | 19.7 | 口縁部上面はヘラ磨き、口縁端部は横ナデ、他はヘラ磨き、裾端部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、坏部はヘラ磨き、脚部上位はシボリ、裾部は横刷毛、裾端部は横ナデ | 内外ともに赤色顔料<br>坏台内側は不明 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | |
| 63 | 606 | Ⅱ | 112 | | 高坏 | 24.6 | 28.1 | | 口縁部上面はヘラ磨き、口縁端部は横ナデ、坏部は磨滅、脚部はヘラ磨き | 坏部はヘラ磨き、脚部はシボリ、裾部は刷毛目 | 内外ともに赤色顔料 | 4㎜以下の石英・3㎜以下の長石粒・雲母 | 良好 | 欠損：裾部、口縁部 1/4 |
| 63 | 607 | Ⅱ | 112 | 下層 | 高坏 | 20.3 | 26.5 | 18.3 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛目、裾端部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、坏部は横ヘラ磨き、裾部はナデ・板状工具ナデ、裾端部は横ナデ | 淡赤褐色～淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、6.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/4、裾部 1/2<br>赤色顔料が施されている |
| 63 | 608 | Ⅱ | 112 | | 高坏 | 10.6 | 23.7 | — | ヘラ磨き | ヘラ磨き | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：坏部 1/4 弱<br>赤色顔料が内外ともに施される |
| 63 | 609 | Ⅱ | 112 | | 高坏 | — | 20 | — | 口縁部は横ナデ、他はヘラ磨き | ヘラ磨き | 淡褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：坏部 1/4<br>赤色顔料が内外ともに施される |
| 63 | 610 | Ⅱ | 112 | W-4 | 高坏 | 11.0 | 16.8 | | 口縁部は縦刷毛、坏部は刷毛目のちヘラ磨き | 口縁部～坏部中位は横ナデ、他はナデ | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 高坏（坏部）<br>欠損：口縁部 1/3 弱<br>外面に 1 ヶ所黒斑<br>器面全体やや磨滅 |
| 63 | 611 | Ⅱ | 112 | W-4 | 高坏 | 14.6 | 19.15 | — | 口縁部は横ナデ、他は刷毛、脚部は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、坏部は板状工具木口によるナデ（木口圧痕）、底部はナデ、脚部は指しぼり | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部 1/12（坏部）<br>内外ともに器面の磨滅 |
| 63 | 612 | Ⅱ | 112 | W-4 | 高坏 | 12.9 | 20 | | 口縁部は横ナデ、頸部は細かい縦刷毛、坏部は板状工具によるナデ痕が一部あり、脚部は刷毛目 | 口縁部は横ナデ、坏部は板状工具によるナデ、脚部はナデ（強い圧痕あり） | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡褐色～明褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、筒部中位<br>内面には赤色顔料の飛沫が見られる<br>外側に径 8cm程の黒斑あり |
| 63 | 613 | Ⅱ | 112 | W-4 | 高坏 | 19.8 | 29.0 | | 口縁部は横ナデ、頸部はヘラ磨き、他は刷毛目 | 坏部はヘラ磨き、裾部はヘラ状工具によるナデ、裾部下位は刷毛目 | 坏部：褐色<br>裾部：淡褐色 | 砂粒（5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）。2㎜以下の金雲母 | 良好 | 欠損：口縁部 1/8、裾端部<br>裾部の内面を除いて赤色顔料が施された痕跡<br>裾部に 3 カ所穿孔 |
| 63 | 614 | Ⅱ | 112 | W-4 | 高坏 | 18.8 | 30.4 | 16.4 | 坏端部は横ナデ、坏部は刷毛目のち横ナデ消し、他は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 坏部は刷毛目、裾部は刷毛目、裾部下位はヘラ状工具によるナデ | 淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：坏部 1/2、裾部 2/3<br>裾部に 3 カ所穿孔あり<br>器面は全体に磨滅 |
| 63 | 615 | Ⅱ | 112 | W-5 | 高坏 | 18.3 | 22 | 14.8 | 口縁部は横ナデ、坏部は不明、坏部下位はヘラ磨き、脚部は刷毛目、裾部はヘラ磨き、裾端部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、坏部は板状工具によるナデ、脚部はナデ（強い圧痕あり）ナデ、脚部はナデ、裾部は不明 | 淡褐色～淡灰褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/2、裾部 1/2<br>内外面ともに器面に磨滅 |
| 64 | 616 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 28.3 | 33.0 | 6.8 | 口縁部上面はヘラ磨き、口縁部は横ナデ、頸部は暗文、突帯部は横ナデ、胴部はヘラ磨き底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部上位は板状工具木口による横方向のナデ、他はナデ、底部付近に指圧痕 | 淡褐色（底部付近は灰黒色） | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/6、胴部 1/5 弱<br>内外面全体に赤色顔料が施される（除：外底） |
| 64 | 617 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 28.0 | 25.5 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目のちナデ消し（わずかに刷毛目痕）、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/4<br>外面口縁端部～胴部中位にスス付着<br>内面胴部中位～胴部下位に炭化物付着<br>外底は僅かに上げ底 |
| 64 | 618 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 30.0 | 27.5 | 8.3 | 口縁部は横ナデ、他は粗い縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部は指圧痕も見られる | 外：淡灰褐色～明褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/12、胴部 50%<br>口縁部上面は二次焼成を受け表面が赤褐色を帯び脆くなった箇所あり<br>スス付着 |

# 表 29　土器群 112 出土土器観察表（4）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 64 | 619 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 30.8 | 29.1 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、他は粗い縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部上面は剥離・磨滅、口縁部は横ナデ、他はナデ・磨滅 | 外：淡灰褐色～明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：1/2 弱（甕・甑）<br>底部に穿孔（焼成前）と思われるものあり<br>スス付着 |
| 64 | 620 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 32.45 | 30.1 | 7.4 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横刷毛ナデ、他はナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 2/3<br>外面口縁部中位～胴部下位スス付着<br>内面胴部下位～底部全体に炭化物付着 |
| 64 | 621 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 29.85 | 27.2 | 7.0 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛目・磨滅、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部は炭化物の付着が濃い | 褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/8、胴部～底部 1/2 弱<br>外側胴部は磨滅が著しい、特に口縁部～胴部中位はススの付着著しい |
| 65 | 622 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 28.6 | 26.2 | 7.2 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、他はナデ、胴部下位からヘラ状工具によるナデ、底部は指圧痕 | 外：暗褐色，口縁部上面に赤褐色を帯びる個所が 1/2 程度<br>内：褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部 15%<br>外側全体に器表は磨滅<br>外側全体にスス付着 |
| 65 | 623 | Ⅱ | 112 | W-5 | 甕 | 11.4 | 34 | | 口縁部はヘラ磨きで暗文（2 カ所）が巡る | 口縁部上面はヘラ磨き、他は板状工具木口によるナデ（木口の圧痕あり） | 淡褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～胴部 1/4<br>口縁端部は僅かに欠損<br>赤色顔料が外面全体と内側の口縁部下まで施される |
| 65 | 624 | Ⅱ | 112 | W-5 | 鉢 | 15.8 | 17.6 | 14.0 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部はナデ | ヘラ状工具木口によるナデ、底部は強い指によるナデ | 外：淡褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/3<br>ススの付着が口縁端部～胴部下位まで |
| 65 | 625 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 27.75 | 23.9 | 8.2 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、肩部は指圧痕、他はナデ | 暗褐色～灰褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、7㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：3/10<br>外面は口縁部～胴部下位スス付着<br>内面は胴部中位～底部炭化物付着 |
| 65 | 626 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 29.2 | 27.1 | 8.4 | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目のち板状工具木口によるナデ消し、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は指圧痕、胴部下位はナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部 30%<br>外側口縁～胴部下位スス付着<br>内面わずかに黒灰色を呈する箇所あり（底部と胴部中位） |
| 65 | 627 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | | 17.6 | | 横ナデ・刷毛目 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 甕口縁部<br>残存：1/5 |
| 65 | 628 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 22.3 | 31.5 | 7.2 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛目・磨滅、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部上位は指圧痕、他は板状工具木口によるナデ、底部はナデ | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部 50%弱<br>木口の痕跡と調整方向は明瞭 |
| 65 | 629 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 29.9 | 26.6 | 7.8 | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目のち板状工具によるナデ消し、底部は横ナデ・ナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部に炭化物付着 | 外：淡灰色<br>内：淡灰色～明灰褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、5.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、胴部 30%<br>内外面ともに磨滅<br>口縁部～胴部中位スス付着 |
| 65 | 630 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 25.0 | 19.1 | 7.4 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、頭部付近に指圧痕、胴部はナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英，7㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部下位 1/2 弱<br>外底と胴部の境は丸みをもつが明瞭。比較的安定し自立する |
| 65 | 631 | Ⅱ | 112 | | 甕 | 19.7 | 13.7 | 6.2 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部は横ナデ・ナデ | 口縁部は横ナデ、他は縦方向のナデ、底部はナデ | 外側胴部下位～底部は淡褐色，それ以外は黒灰色～淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～底部 1/4<br>ススは胴部下位と底部を除き外側全体に付着<br>内側前面に炭化物 |
| 66 | 632 | Ⅱ | 112 | W-5 | 甕 | 25.25 | 20.5 | 5.5 | 口縁端部は横ナデ、他は縦刷毛（器面の磨滅著しい）、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、肩部は斜刷毛、胴部は磨滅著しく不明、底部は指圧痕 | 暗褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、胴部 40%<br>二次焼成のため全体に磨滅著しい<br>スス付着（口縁部内面～外底部の境）<br>内底部付近に炭化物付着 |
| 66 | 633 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 29.2 | 22.3 | 6.6 | 口縁端部は横ナデ、口縁部は刷毛目のち横ナデ消し（痕跡不明瞭）、他は刷毛目（磨滅） | 口縁端部は横ナデ、口縁部は刷毛目のち横ナデ消し（痕跡不明瞭）と刷毛目、他は板状工具菊池によるナデ、底部は指圧痕 | 外：暗褐色～淡赤褐色<br>内：淡褐色～暗褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部は 1/2、胴部 10%，底部 1/3<br>外底～口縁端部まで全体的にスス付着<br>内底部には炭化物付着 |
| 66 | 634 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 35.2 | 24.4 | 7.6 | 口縁部は横ナデ、他は斜・縦刷毛、胴部は板状工具による粗いナデ、底部はナデ | 口縁部は横ナデ・横刷毛、他は刷毛目、肩部・底部に指圧痕 | 外：淡褐色～褐色<br>内：茶褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部 5%弱<br>二次焼成を受けている<br>外面胴部は二次焼成のため磨滅が著しい<br>外底は胴部との境が明瞭<br>わずかに丸みをもち、安定感はある |
| 66 | 635 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 33.3 | 24.75 | 7.0 | 口縁端部は横ナデ、口縁部は刷毛目、他は細かい縦刷毛、胴部下位は粗い刷毛目（磨滅著しい）、底部は刷毛目 | 刷毛目、底部はナデ | 褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4、胴部 1/10 弱<br>二次焼成（外面口縁端部～胴部中位にスス付着）<br>外胴部上位～中位は器面の剥離・磨滅著しい<br>内面胴部は 2 カ所帯状に炭化物付着 |
| 66 | 636 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 30.55 | 21.8 | 6.4 | 口縁端部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は刷毛目、他は細かい刷毛目、底部はナデ | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4、胴部 10%程度<br>内外面に煤・炭化物の付着<br>外底部に刷毛目 |
| 66 | 637 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 21.4 | 30.75 | 7.0 | 口縁端部は横ナデ、他は刷毛目、胴部下位はヘラ状工具によるナデ、底部はナデ | 刷毛目、胴部下位～底部は板状工具木口によるナデ | 褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/12、胴部 1/10<br>外側胴部は二次焼成のため器面は磨滅・ススの付着がみられる<br>外底部中央付近がわずかに窪む<br>外底と胴部の境は明瞭 |
| 67 | 638 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 25.0 | 19.4 | 6.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は刷毛目、胴部下位～板状工具木口による下から上へナデ、底部はナデか | 口縁部は横ナデ、唐部は指圧痕、胴部は刷毛目、胴部中位～底部はナデ | 外：淡褐色～暗褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、胴部 10%弱<br>外面胴部の調整痕は不明瞭<br>全体的に磨滅<br>口縁内部～外面底部上までスス付着（外面肩部～胴部中位は特に）<br>内面胴部上位より下は炭化物付着 |
| 67 | 639 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 31.7 | 22.4 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛、胴部中位～ヘラ状工具による縦方向のナデ、底部は刷毛目 | 口縁部は横刷毛のち横ナデ消し、胴部は斜刷毛、底部はナデ | 淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部 15%<br>底部を除き外面全体にスス付着（口縁部内側も）<br>内面胴部～底部全体に炭化物付着<br>外面は二次焼成のため剥離・磨滅著しい<br>外底は丸みをもち不安定（境は明瞭でないが認められる） |
| 67 | 640 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 32.7 | 22.4 | 6.0 | 口縁端部は横ナデ、他は縦刷毛、胴部下位は板状工具による縦方向のナデ、底部はナデ | 刷毛目、底部は指圧痕 | 明褐色～褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、5.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4，胴部 1/5<br>胴部は二次焼成を受け器面に磨滅<br>外側口縁部～底部付近までスス付着（胴部中位に集中）、外底部一部にも見られる |
| 67 | 641 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 16.4 | 14.6 | 4.0 | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目、底部はナデ | 刷毛目、底部はナデ | 外：明褐色～淡褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2<br>底部と胴部の境は認められ、傾くが自立 |
| 67 | 642 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 32.9 | 21.4 | 4.1 | 口縁部は刷毛目のち横ナデ消し、肩部は平行タタキ、胴部は粗い刷毛目、底部はナデ | 口縁部は刷毛目のち横ナデ消し他は粗い刷毛目、胴部下位～底部はナデ | 外：淡褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石）、1.5㎜以下の金雲母 | 良好 | 欠損：胴部中位～下位 1/2<br>二次焼成のため外側はもろく、磨滅も<br>内側口縁部～外側全体にスス付着<br>外底は丸みがあり、胴部との境はわずかに認められる。 |
| 67 | 643 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 18.5 | 14.5 | 4.3 | 刷毛目、底部はナデ（胴部下位～は器面の磨滅で調整痕不明瞭） | 口縁部は横刷毛、他は板状工具によるナデ（木口の圧痕） | 外：淡赤褐色～暗褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 2/3、胴部 1/4<br>内側胴部中位～底部に炭化物付着<br>外側は口縁部～胴部下位スス付着<br>底部は僅かに丸み（安定して立つ） |

## 表 30　土器群 112 出土土器観察表（5）

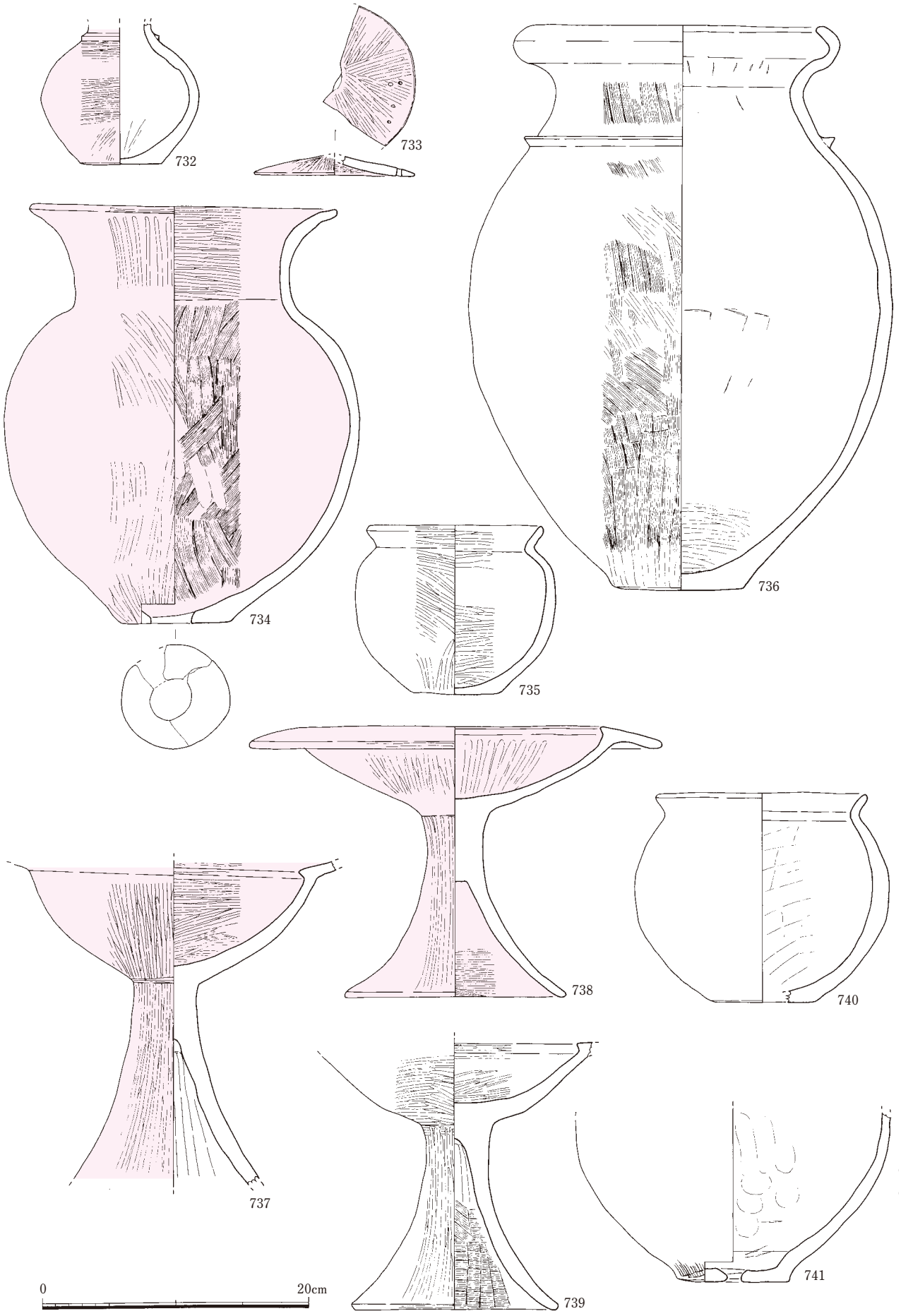
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 67 | 644 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 35.1 | 22.4 | | 肩部～胴部中位は刷毛目、胴部中位～ナデ | 口縁部は横刷毛のち横ナデ消し、胴部は刷毛目、胴部下位からナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4、胴部 1/5<br>外面口縁端部～底部まで煤の付着（磨滅著しい）<br>内面も口縁部の一部を除き全体に炭化物付着 |
| 67 | 645 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 28.55 | 19.5 | | 口縁端部は横ナデ、口縁部は刷毛目のちナデ消し、胴部は斜刷毛、胴部中位～底部付近はヘラ磨き、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は刷毛目、底部はナデ | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2 弱、胴部 1/10 弱<br>内面胴部下位付近の 1/2 程度炭化物付着 |
| 68 | 646 | Ⅱ | 112 | | 蓋 | 8.8 | — | 16.2 | 頂部上面はヘラ状工具によるナデ、他は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 頂部は指しぼり、裾部はナデ・横ナデ | 淡灰褐色～淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英，3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部～裾部 1/8 |
| 68 | 647 | Ⅱ | 112 | | 蓋 | 8.3 | | 26.0 | 頂部上面はナデ、頂部角は横ナデ、頸部はヘラ状工具による縦方向のナデ、裾部はナデ（ヘラ状工具先端部の圧痕も）、裾端部はナデ | 頸部は横ナデ、裾部はヘラ状工具による縦方向のナデ（ナデの圧痕も）、裾端部は横ナデ | 外：淡赤褐色<br>内：褐色 | 炭化物が内面，外側（裾端部に著しく）に付着" | 良好 | 欠損：口縁部 2/3<br>裾部内側は帯状に炭化物付着 |
| 68 | 648 | Ⅱ | 112 | | 蓋 | 10.3 | — | 30.0 | 頂部上面はナデ、他は縦刷毛目、裾端部は横ナデ | 頂部はナデ、中位は指しぼり、裾部は刷毛目・磨滅、裾端部は横ナデ | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：つまみは完形、裾部～天井 2/3<br>内面全体・外側裾部付近に炭化物付着<br>器面全体に磨滅 |
| 68 | 649 | Ⅱ | 112 | W-4 | 蓋 | 6.5 | 3.8 | 19.5 | ナデ | ナデかアレ | 橙色～にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒・褐色粒 | 良好 | 残存：1/3<br>裾部に径 5㎜位の焼成前の穿孔（欠けているため 2 孔 1 対か不明） |
| 68 | 650 | Ⅱ | 112 | | 蓋 | 8.0 | | 28.7 | 頂部上面はナデ、頂部角は横ナデ、頸部は縦刷毛、肩部は横ナデ、裾部は刷毛目、裾端部は横ナデ | 頂部は横ナデ、裾部はナデ、裾端部は横ナデ | 褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2<br>口縁部内外に炭化物付着<br>内外器面磨滅あり |
| 68 | 651 | Ⅱ | 112 | | 蓋 | 8.9 | — | 27.0 | 頂部上面はナデ、頸部は横ナデ、他は刷毛目、裾端部は横ナデ | 頂部は板状工具によるしぼり、中位は指圧痕、裾部は板状工具木口によるナデ（木口痕）、裾端部は横ナデ | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英，2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：つまみは完形，裾部～天井 1/4 内面裾部付近に帯上に炭化物付着 |
| 68 | 652 | Ⅱ | 112 | | 蓋 | 12.9 | — | 34.8 | 頂部上面はナデ、頸部は横ナデ、他はナデ、裾部は縦刷毛目、裾端部は横ナデ | 頂部はナデ、他はナデ・指圧痕、裾端部は横ナデ | 褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 1/5<br>外面の 1/2 に赤色顔料が付着、つまみの端部にわずかに赤色がある |
| 68 | 653 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 19.15 | 19.0 | | 縦刷毛 | 刷毛目 | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、5.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4、胴部中位～底部<br>外口縁端部～胴部全体にスス付着 |
| 68 | 654 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 26.0 | 21.2 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、他は斜刷毛、頸部に指圧痕 | 外：暗褐色～茶褐色<br>内：茶褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/3、胴部下位～底部<br>外側口縁部～胴部にスス付着<br>内側口縁部は灰黒色を帯びる（ススか）内側胴部中位以下に炭化物の痕跡 |
| 68 | 655 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 22.2 | 19.4 | | 口縁部は横ナデ、胴部中位まで縦刷毛、胴部下位～ケズリ | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目 | 外：暗褐色<br>内：褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4、胴部中位～底部<br>ススが外側全体に付着<br>内側胴部下位にわずかに炭化物付着 |
| 68 | 656 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 23.8 | 19.6 | | 口縁部は横ナデ、胴部は刷毛目、胴部下位～磨滅が著しい（刷毛目痕跡がかすかに） | 横刷毛目 | 褐色～暗褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2 弱<br>胴部上位～中位 40％<br>2 次焼成を受けているため内外とも剥離・磨滅著しい（特に外面胴部は刷毛目痕も不明瞭）<br>内側頸部以下に炭化物付着 |
| 68 | 657 | Ⅱ | 112 | W-4 | 甕 | 21.0 | 16.0 | | 口縁端部は横ナデ、口縁部は刷毛目のち横ナデ消し、他は刷毛目 | 刷毛目、底部付近はナデ | 淡褐色（わずかに灰色気味） | 砂粒（1㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：底部、頸部わずかに<br>全体的にスス付着<br>胴部中位以下に炭化物付着 |
| 69 | 658 | Ⅱ | 112 | W-5 下層 | 鉢 | 13.4 | 21.8 | 6.4 | 口縁部は横ナデ、他は横ヘラ削り・磨滅、底部はナデ | 口縁部上面はヘラ磨き、他は横ヘラ磨き、底部はナデ | 外：淡褐色<br>内：褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～胴部 1/2<br>外側は磨滅著しい（赤色顔料が剥離し、わずかに存在が見られる） |
| 69 | 659 | Ⅱ | 112 | 下層 | 鉢 | 10.35 | 16.25 | 7.4 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、他はヘラ状工具木口によるナデ（木口圧痕）、底部はナデ | 外：淡褐色色<br>内：暗褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：1/2 弱口縁部～底部<br>外側口縁部下に黒斑あり |
| 69 | 660 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 9.9 | 16.0 | 6.2 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部上は横ナデ、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 外：暗褐色<br>内：灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/2、底端部は剥離著しい<br>外側は底部を除き全体にスス付着。内側は口縁部～底部に炭化物付着 |
| 69 | 661 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 13.4 | 18.8 | 6.0 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、他は斜ナデ、胴部下位は板状工具木口によるナデ、底部はナデ | 外：灰褐色～灰黒色<br>内：灰褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～底部 1/2 弱 |
| 69 | 662 | Ⅱ | 112 | | 甑 | 21.25 | 18 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他は指圧痕 | 外：淡褐色<br>内：明褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～胴部 1/2<br>底部に穿孔（焼成前）<br>内面に赤色顔料 |
| 69 | 663 | Ⅱ | 112 | W-5 | 壺 | 7.7 | 14.3 | 5.4 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部はナデ | 口縁部は横刷毛、他はナデ（口縁下に接合痕あり） | 淡褐色～褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 3/4、胴部中位 1/8<br>底部はわずかに丸み、安定感あり |
| 69 | 664 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 20.8 | 29.9 | 6.8 | 口縁部は横ナデ、胴部は刷毛目のちナデ消し（細かい刷毛目痕）、底部付近はケズリ | 口縁部はケズリ、他はヘラ磨き（一部に刷毛目痕）、底部はケズリも | 淡灰褐色 | 砂粒（5㎜以下の石英、7㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～底部<br>口縁部下に接合痕<br>外面胴部中位に黒斑<br>外底にはケズリ |
| 69 | 665 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 9.0 | 15.55 | | 口縁部は横ナデ、他はナデ（胴部上位に刷毛目痕あり） | 口縁部は横ナデ、他はヘラ磨き | 外：淡褐色～明褐色<br>内：明褐色～茶褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/2<br>外側胴部中位～下位に径 5㎝の黒斑<br>磨滅著しい<br>外底は丸みをもつ。胴部との境は明瞭でないが認められる。 |
| 69 | 666 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 12.9 | 10.2 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、他は板状工具によるナデ・剥離、底部はナデ | 口縁部から胴部中位はナデか、他は指押さえ | 淡灰褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/2 弱 |
| 69 | 667 | Ⅱ | 112 | — | 鉢・甑 | 8.25 | 6 | — | 口縁部から胴部中位は刷毛目、他はタタキ、底部はナデ | 口縁部は横刷毛、他は斜刷毛 | 外：淡褐色～赤みがかった褐色<br>内：明褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：胴部の一部、底部<br>底部に焼成前の穿孔あり |
| 69 | 668 | Ⅱ | | W-4 | 鉢 | 25.4 | 32.2 | — | 口縁部は横ナデと刷毛目、突帯は刻み目と横ナデを施す、胴部上位は刷毛目、中位～下位は木口による擦痕がみられる | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目 | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、胴部僅かに欠損 |
| 69 | 669 | Ⅱ | 112 | 下層 | 杓子 | 5.75 | 5.8 | — | ナデ | 横ナデ・ナデ | 外：暗灰色～灰黒色<br>内：暗灰色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 杓子状土器<br>把手欠損 |

## 表 31　土器群 112 出土土器観察表（6）

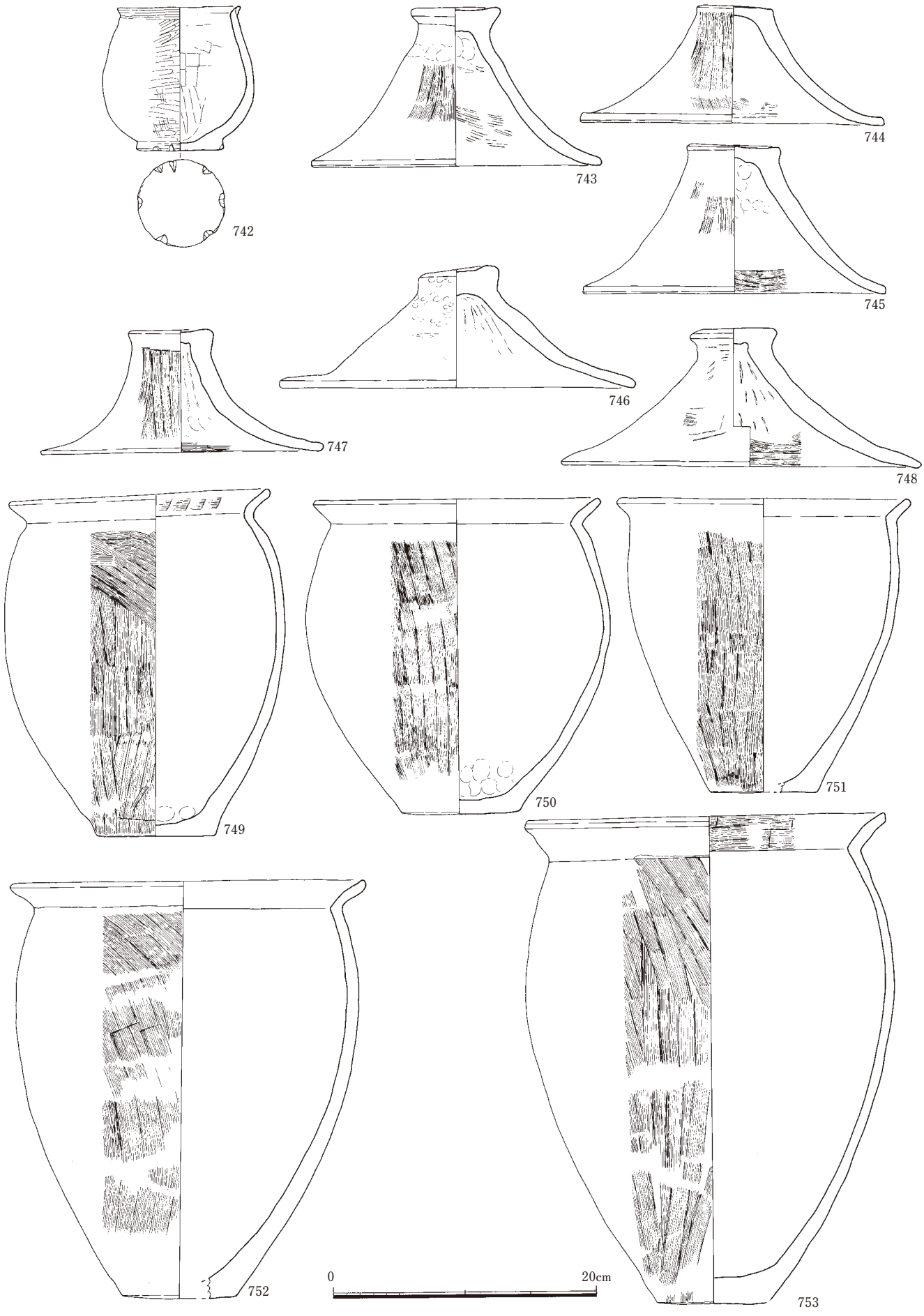
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 69 | 670 | Ⅱ | 112 | | 杓 | 7.0 | 9.75 | 6.4 | ナデ・指圧痕 | ナデ・指圧痕 | 淡褐色～淡灰黒色 | 砂粒（1㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 把手付杓 |
| 70 | 671 | Ⅱ | 112 | | 甕 | — | 38.6 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦方向の刷毛目 | 口縁部は横ナデ、板状工具木口による圧痕、胴部は板状工具木口によるナデ | 外：淡灰褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 外面全体に煤の付着がみられる |
| 70 | 672 | Ⅱ | 112 | W-5 | 壺 | – | 52.0 | – | 口縁部上面は刷毛目・粘土付加、口縁端部はナデ・刻目、頸部は刷毛目、突帯部は横ナデ、他は刷毛目 | 口縁部～頸部は磨滅、他は刷毛目のちナデ・磨滅 | | 黒色粒子 | 良好 | 全周の 3/4 を残す |
| 71 | 673 | Ⅱ | 112 | 下層 | 鉢 | 5.4 | 13.2 | 7.2 | 口縁部は横ナデ、他は底部までヘラ状工具によるナデ | 口縁部は横ナデ、他は底部までヘラ状工具によるナデ | 淡褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石）、金雲母（0.5㎜以下） | 良好 | 残存：1/4 口縁部～底部 |
| 71 | 674 | Ⅱ | 112 | | 鉢 | 6.9 | 13.8 | 4.2 | 板状工具木口による横ナデ、底部はナデ | 口縁端部は横ナデ、他は板状工具木口による横ナデ、底部は指圧痕 | 灰色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部から胴部 2/3 |
| 71 | 675 | Ⅱ | 112 | | 鉢 | 9.1 | 18.1 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 淡灰褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英､2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部 1/8、底部 1/4 |
| 71 | 676 | Ⅱ | 112 | W-5 | 鉢 | 7.2 | 9.9 | 5.4 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 淡灰褐色～褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英､3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4 |
| 71 | 677 | Ⅱ | 112 | | 鉢 | 10.1 | 14.55 | 4.8 | 口縁部は横ヘラ磨き、他は斜のヘラ磨きか、底部はヘラ削り | 横ヘラ磨き | 外：淡褐色～淡灰褐色<br>内：褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石）、金雲母（1㎜以下） | 良好 | 完形<br>口縁部外側～内面全体に赤色顔料<br>外面は磨滅が見られる |
| 71 | 678 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 17.4 | 22.8 | 8.0 | 口縁端部は横ナデ、他は縦刷毛、底部はナデ | 刷毛目、底部は剥離 | 外：淡褐色～淡灰褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～底部 1/2 弱 |
| 71 | 679 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 4.2 | 4.2 | 9.9 | 横ナデ、底部付近はナデ | 横ナデ | 外：淡褐色<br>内：褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～底部 2/3 欠損 |
| 71 | 680 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 4.0 | 4.0 | 9.0 | 指圧痕、底部はナデ | 指圧痕 | 灰褐色（外底は灰黒色を帯びている箇所あり） | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～底部 3/4 欠損 |
| 71 | 681 | Ⅱ | 112 | — | 鉢 | 13.2 | 13.2 | 13.3 | 口縁部は横ナデ、胴部上位は縦刷毛、胴部下位から底部はケズリ | 口縁部は横ナデ、肩部は指圧痕、他はナデ(圧痕あり) | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部下位 1/2 弱<br>底部は丸みをもつ |
| 71 | 682 | Ⅱ | 112 | W-4 | 手捏ね土器 | 6.1 | 6.1 | 13.4 | 縦刷毛か | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部は指ナデ・ナデ | 外：橙色～にぶい黄橙色<br>内：にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英･長石粒･黒色粒･雲母 | 良好 | 完形品（歪んでいる）<br>底部外側に線状の痕跡<br>外側はスス付着<br>甕でもない器高の低い底部の平らな土器だが火にかけたようだ。 |
| 71 | 683 | Ⅱ | 112 | W-5 | 鉢 | 4.6 | 4.6 | 8.6 | 口縁部は指圧痕、他はナデ | 口縁暗部は横ナデ、他はナデ（指圧痕） | 褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 完形<br>底部は安定感あり |
| 71 | 684 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 4.95 | 4.95 | 9.9 | 刷毛目、底部はナデ | 刷毛目、底部はナデ | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 3/4 |
| 71 | 685 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 3.6 | 3.6 | 10.0 | 指圧痕 | 口縁部～胴部は横ナデ、底部は指圧痕 | 淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/8 |
| 71 | 686 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 6.35 | 6.35 | 28.0 | 口縁部は横ナデ、胴部上位は縦刷毛、他はヘラ削り | 口縁部～胴部中位はナデ、底部付近は指圧痕 | 褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 2/3<br>内外面ともに磨滅<br>外面は赤色顔料の痕跡部分あり<br>外側口縁部～胴部中位にスス付着 |
| 71 | 687 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 8.9 | 8.9 | 19.35 | 口縁部は横ナデ、胴部上位は不明、胴部下位は縦刷毛、底部はナデか | 不明、底部は指圧痕 | 褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、6.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1／ 2 弱<br>底はやや丸みをもつ |
| 71 | 688 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 12.0 | 12.0 | 11.5 | 口縁部～胴部中位はナデ、胴部下位～ヘラ削り | 刷毛目 | 淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 7/8，胴部上位～中位 2/3<br>底部に穿孔あり（径 5㎜の筒状の道具を使用）<br>外表面は磨滅著しい |
| 71 | 689 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 12.2 | 12.2 | 16 | 口縁部は横ナデ、他は調整痕不明（砂粒が多量に器表面に露出） | 縦刷毛目、底部はケズリ | 外：淡褐色～明褐色<br>内：褐色 | 砂粒（5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 7/8，胴部上位～中位 2/3 |
| 71 | 690 | Ⅱ | 112 | W-5 | 鉢 | 9.65 | 9.65 | 24 | 口縁部は横ナデ、他は不明（磨滅著しい） | 刷毛目（磨滅ある） | 淡褐色～明褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2 弱<br>全体にわたり砂粒が露出して器面の磨滅が著しい<br>外底と胴部の境は僅かに丸みをもつ |
| 71 | 691 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 10.9 | 10.9 | 13.7 | 口縁部～胴部中位はナデ・指圧痕、胴部中位～ヘラ削り | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、底部は指圧痕 | 外：淡灰褐色～淡褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部中位 1/2 弱<br>口縁下部に接合痕<br>外面胴部に径 8 ㎝の黒斑<br>外面底部付近に剥離 |
| 71 | 692 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 11.7 | 11.7 | 14.6 | 口縁部は横ナデ、他はヘラ削り | 口縁端部は横ナデ、他は強いナデ（指圧痕あり） | 淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英，3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/12 |
| 71 | 693 | Ⅱ | 112 | W-4 | 鉢 | 12.2 | 12.2 | 14.3 | 刷毛目 | 横ナデ（指ナデの圧痕）、底部はナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：やや暗い褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英，3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2 弱 |
| 72 | 694 | Ⅱ | 112 | W-5 | 器台 | 18.35 | 18.35 | 10.8 | 受端部・裾端部は横ナデ、他は縦刷毛目 | 受端部・裾端部は横ナデ、他は指おさえ、裾部は刷毛目か | 外：淡褐色～褐色<br>内：褐色～淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：裾部 1/12 |
| 72 | 695 | Ⅱ | 112 | — | 器台 | 18.7 | 12.6 | 13.5 | 受部は横ナデ(沈線か)、他は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 受部・裾部は横ナデ、他は指しぼり | 明褐色～淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）が比較的多く混じる | 良好 | 残存：裾部 1/12 |
| 72 | 696 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 12.4 | 12.4 | 9 | 受端部と裾端部は横ナデ（ともに接合痕）、受部上位はヘラ状工具による横ナデ、他は縦刷毛 | 受部は横ナデ、他はナデ、裾部は横刷毛 | 淡褐色～明褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、金雲母（1㎜以下） | 良好 | 裾部付近外面に剥離 (4 × 3㎝) |
| 72 | 697 | Ⅱ | 112 | | 器台 | 18.0 | 18.0 | 13.3 | 縦刷毛目、裾部は横ナデ | 受部は指圧痕、胴部はヘラ状工具にナデ、裾部は横ナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡灰褐色～褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 残存：1/3 口縁～裾部 |
| 72 | 698 | Ⅱ | 112 | W-5 下層 | 器台 | 17.1 | 17.1 | 9.3 | 受部は横ナデ、他は板状工具木口によるナデ（木口圧痕）、裾端部は横ナデ | 受部は横ナデ、他は指押さえ、裾端部は横ナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/6，胴部 2/3，裾部 1/5 |
| 72 | 699 | Ⅱ | 112 | | 器台 | 18.0 | 18.0 | 11.25 | 受部は横ナデ、他は縦刷毛目 | 受部は横ナデ・指押さえ、頸部はヘラ状工具による縦しぼり、裾部はヘラ状工具による横ナデ | 外：明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 完形<br>外側器面には磨滅がみられる |
| 72 | 700 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 12.3 | 12.3 | 13.05 | 受部は横ナデ、他は斜・縦刷毛、裾部は刷毛目のちナデ消し（一部に刷毛目痕）、裾端部は横ナデ | 受部は横刷毛、頸部は縦ナデ、他は指しぼり | 淡灰褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部端部がわずかに |
| 72 | 701 | Ⅱ | 112 | W-5 | 器台 | 18.25 | 18.25 | 14 | 刷毛目 | 指圧痕 | 淡褐色～明褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、8.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2，胴部 1/2 弱<br>内外面の磨滅著しい |
| 72 | 702 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 16.9 | 16.9 | 16.2 | 受部は横ナデ、他は縦刷毛、裾部はタタキ、裾端部は横ナデ | 受部上位は横刷毛、他はナデ（圧痕明瞭） | 外：淡褐色<br>内：淡褐色～淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2 弱 |

## 表 32　土器群 112 出土土器観察表（7）

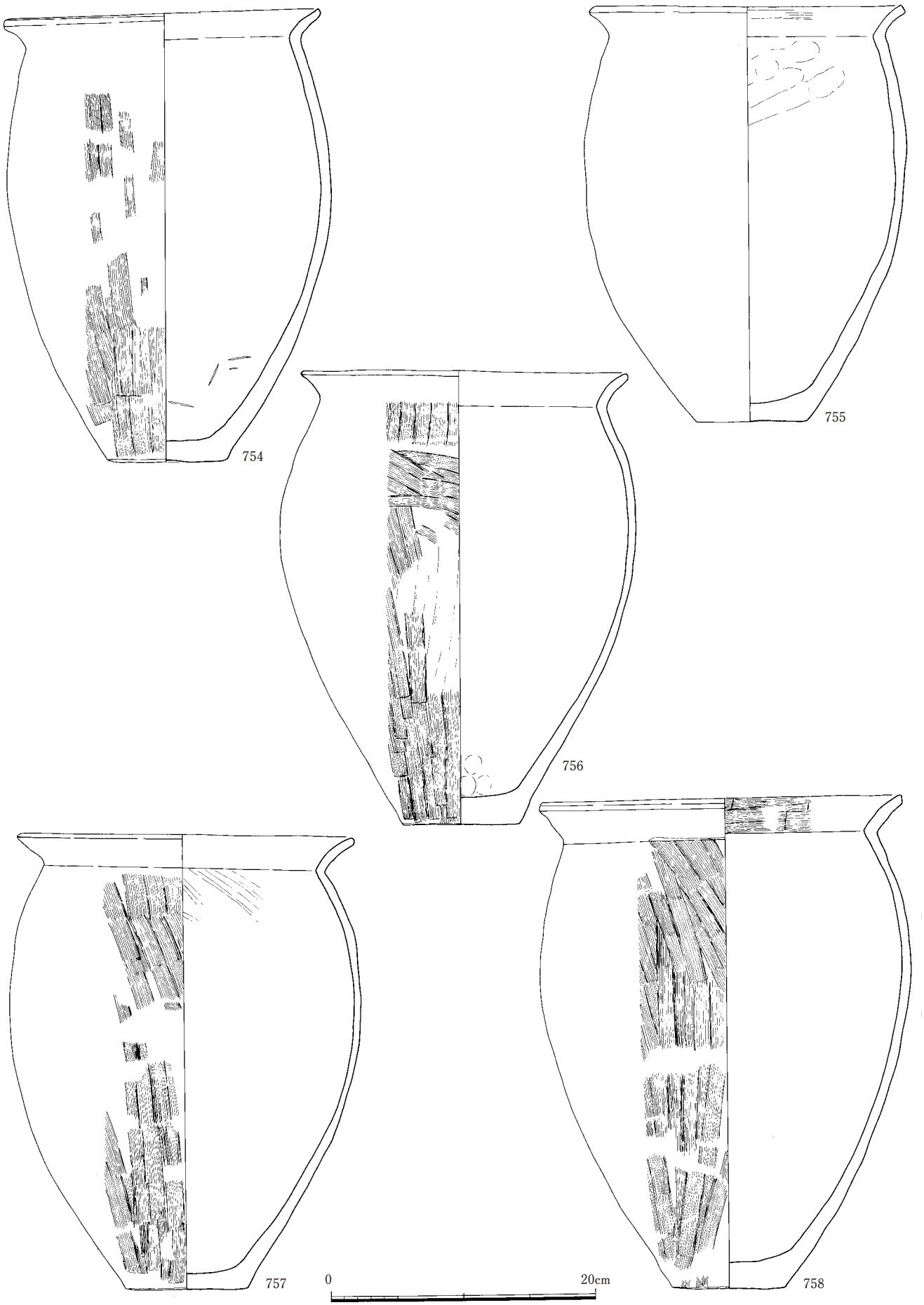
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 72 | 703 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 18.3 | 14.6 | 15.5 | 受部は横ナデ、頸部は縦方向のナデ（ナデ痕）、裾部は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 受部は横刷毛、他は縦方向のナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：褐色～暗褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 1/10<br>筒部内側に炭化物付着箇所あり |
| 72 | 704 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 19.3 | 13.4 | 16.2 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、受部は横・斜縦刷毛、胴部は指押さえ、裾端部は横刷毛 | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部がやや<br>外面はスス付着<br>裾部内側に接合痕 |
| 72 | 705 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 21.3 | 16 | 18.0 | 受端部・裾端部はヘラ状工具によるナデ、他は横・縦刷毛目 | 斜・横刷毛目 | 明褐色～褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～裾部 |
| 73 | 706 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 13.9 | 10.5 | — | 受部は横ナデ、胴部はナデ、裾部は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 受部は横ナデ、胴部はナデ、裾部は横刷毛、裾端部は横ナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、裾部 1/2 弱 |
| 73 | 707 | Ⅱ | 112 | W-5 | 器台 | 15.8 | 12.3 | 14.0 | 受端部・裾端部は横ナデ、他は不明 | 受端部・裾端部は横ナデ、受部は不明、胴部は指圧痕、裾部は不明 | 淡褐色～明褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～裾部 1/4<br>全体に器面の表面は磨滅<br>調整痕不明、砂粒露出 |
| 73 | 708 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 18.1 | 12.7 | 15.0 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛目、裾部は横ナデ、裾端部にヘラによる刻み目 | 受部は横刷毛、頸部は指しぼり、注部は刷毛目 | 明褐色～褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 筒部の下位 1/4 が剥離 |
| 73 | 709 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 12.85 | 9.8 | 12.4 | 受部は横ナデ、他は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 受部は板状工具木口による強い横ナデ、他はナデ、裾部付近に指圧痕 | 外：淡褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：受部～裾部 1/3 |
| 73 | 710 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 17.25 | 8.6 | 15.0 | 受端部は横ナデ、他は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 受端部は横ナデ、頸部は板状工具木口によるナデ、裾部は指押さえ、裾端部は横ナデ | 灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～裾部 |
| 73 | 711 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 18.9 | 13.05 | 15.0 | 受端部はヘラ磨き、他は縦刷毛、裾部は横ナデ | 受部は刷毛目、頸部はナデ、裾部上位は指しぼり、裾部下位は刷毛目 | 外：淡褐色～褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英，4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 1/2<br>外面口縁部に赤色顔料が部分的にのこる<br>筒部の外側にスス付着か |
| 73 | 712 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 19.8 | 17.2 | 17.2 | 口縁部と裾部は横ナデ、他は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、受部は刷毛目、胴部は指しぼり、裾部は斜刷毛目で裾端部は横ナデ | 明褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英，3㎜以下の長石） | | |
| 73 | 713 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 18.0 | 11.9 | 14.0 | 受部は横ナデ、他は刷毛目、裾端部は原状工具によるナデ消し | 受部は横刷毛目、裾部は縦刷毛目 | 淡灰褐色 | 筒部の外側にスス付着か” | 良好 | 欠損：口縁部 1/8 |
| 73 | 714 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 18.2 | 13 | 16.0 | 受端部は横ナデ、受部上位はヘラ状工具によるナデか、他は縦・斜刷毛、裾端部はヘラ状工具によるナデ | 受部は横刷毛、頸部からナデ、裾部は縦刷毛・斜刷毛 | 淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 3/4，胴部 1/4 剥離 |
| 73 | 715 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 17.8 | 14.7 | 15.6 | タタキ、裾端部はタタキのナデ消し | ナデ | 淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：1/2<br>裾部 1/5 程度剥離 |
| 73 | 716 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 17.9 | 11.3 | 16.5 | 口縁部は横ナデ、頸部は刷毛目のち横ナデ消し、他は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 剥離のため不明、裾部は刷毛目 | 外：淡褐色～淡灰褐色<br>内：淡褐色～淡灰褐色 | 砂粒（6㎜以下の石英，4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 3/4 弱 |
| 73 | 717 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 20.5 | 15.2 | 19.1 | 受部は横ナデ、他は刷毛目（頸部は指圧痕も）、裾部は横ナデ | 受端部は横ナデ、受部は刷毛目、頸部は横ナデ、裾部上位はヘラシボリ、裾部下位は刷毛目、裾端部は横ナデ | 外：淡褐色～淡灰褐色<br>内：淡褐色～淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2，裾部 2/3<br>外面 2/3 程に黒斑<br>裾部下位に接合痕 |
| 73 | 718 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 19.6 | 16.1 | 16.4 | 受端部・裾端部は横ナデ、他は縦刷毛 | 受部は横刷毛、頸部～指しぼり、裾部下位は刷毛目のち指しぼり | 明褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 1/4 |
| 73 | 719 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 20.3 | 15.1 | 17.0 | 受端部は横ナデ、他は刷毛目、裾端部は横ナデ | 受部は横ナデ、頸部は刷毛目、裾部はナデ・指圧痕、裾端部は横ナデ | 淡褐色～明褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 1/2 弱<br>内面裾部付近に指圧痕 |
| 74 | 720 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 11.7 | | 12.0 | 受部上面はナデ、他は縦刷毛、裾端部は横ナデ | 弱い指しぼり | 褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 2/3 弱<br>外面に部分的にスス付着<br>外面は磨滅 |
| 74 | 721 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 10.4 | | 10.5 | 受部上面はナデ・細かい刷毛目痕、他は細かい刷毛目、裾端部は横ナデ | 指しぼり、裾部は板状工具によるナデ（木口の圧痕） | 淡灰褐色～淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | ほぼ完形（頸部と裾部にわずかに欠損）<br>受部上面にスス付着 |
| 74 | 722 | Ⅱ | 112 | W-4 | 支脚 | 11.3 | — | 11.4 | 斜・縦刷毛目、裾端部は横ナデ | 受部は板状工具木口による圧痕、裾部は横刷毛目 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：明褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 完形 |
| 74 | 723 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 10.85 | | 12.7 | 受部上面はナデ、他は縦刷毛、裾端部はヘラ状工具によるナデ（工具の圧痕あり） | 刷毛目 | 淡褐色 | 砂粒（6㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 完形<br>外面は全体的に赤色顔料の痕跡，内側は部分的に痕跡（意識的かは不明） |
| 74 | 724 | Ⅱ | 112 | W-4 | 支脚 | 9.55 | — | 11.4 | 受部上面はヘラ状工具によるナデ、他はタタキ、裾端部はヘラ状工具による圧痕 | 指押さえ | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 完形 |
| 74 | 725 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 8.65 | 7.85 | 10.5 | ナデ | 縦方向のナデ | 淡灰褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | ほぼ完形<br>器面に砂粒が露出し脆い |
| 74 | 726 | Ⅱ | 112 | | 器台 | 17.1 | 8 | 10.1 | 指圧痕（一部に刷毛目） | 受部・裾部はナデ、頸部は指押さえ、胴部は指ナデ | 褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 完形 |
| 74 | 727 | Ⅱ | 112 | W-5 下層 | 器台 | 16.4 | 11 | 12.0 | 受部は横ナデ、他は指圧痕、裾端部は横ナデ | 受部は横ナデ、他は指しぼり、裾端部は横ナデ | 褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石）、金雲母（3㎜以下） | 良好 | 欠損：口縁部 1/5、裾部 1/2 弱<br>受部と裾部の内側に接合痕あり |
| 74 | 728 | Ⅱ | 112 | W-5 | 器台 | 12.7 | 5.1 | 9.8 | 口縁部はナデ、他は指圧痕、裾部はナデ | 口縁部・裾部はナデ、他は剥離不明（裾部に指しぼりあり） | 茶褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石）、2㎜以下の金雲母 | 良好 | 欠損：口縁端部がわずかに<br>胴部内面全体に剥離<br>外面胴部全体に指の圧痕 |
| 74 | 729 | Ⅱ | 112 | W-4 | 支脚 | 9.35 | — | 9.0 | 板状工具木口による横ナデ、裾端部は横ナデ | 受部はナデ、裾部は指押さえ、裾端部は横ナデ | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 1/4 |
| 74 | 730 | Ⅱ | 112 | | 器台 | 8.0 | 6.3 | — | 指圧痕、受端部，裾端部は横ナデ | ナデ・磨滅、受端部，裾端部は横ナデ | 淡赤褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石）、金雲母（2㎜以下） | 良好 | 口縁端部がわすかに欠損 |
| 74 | 731 | Ⅱ | 112 | W-4 | 器台 | 9.45 | | 9.6 | 受部上面はナデ、他は指圧痕 | ナデ（指圧痕） | 外：淡灰褐色～灰褐色<br>内：淡灰色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 先端部わずかに欠損 |



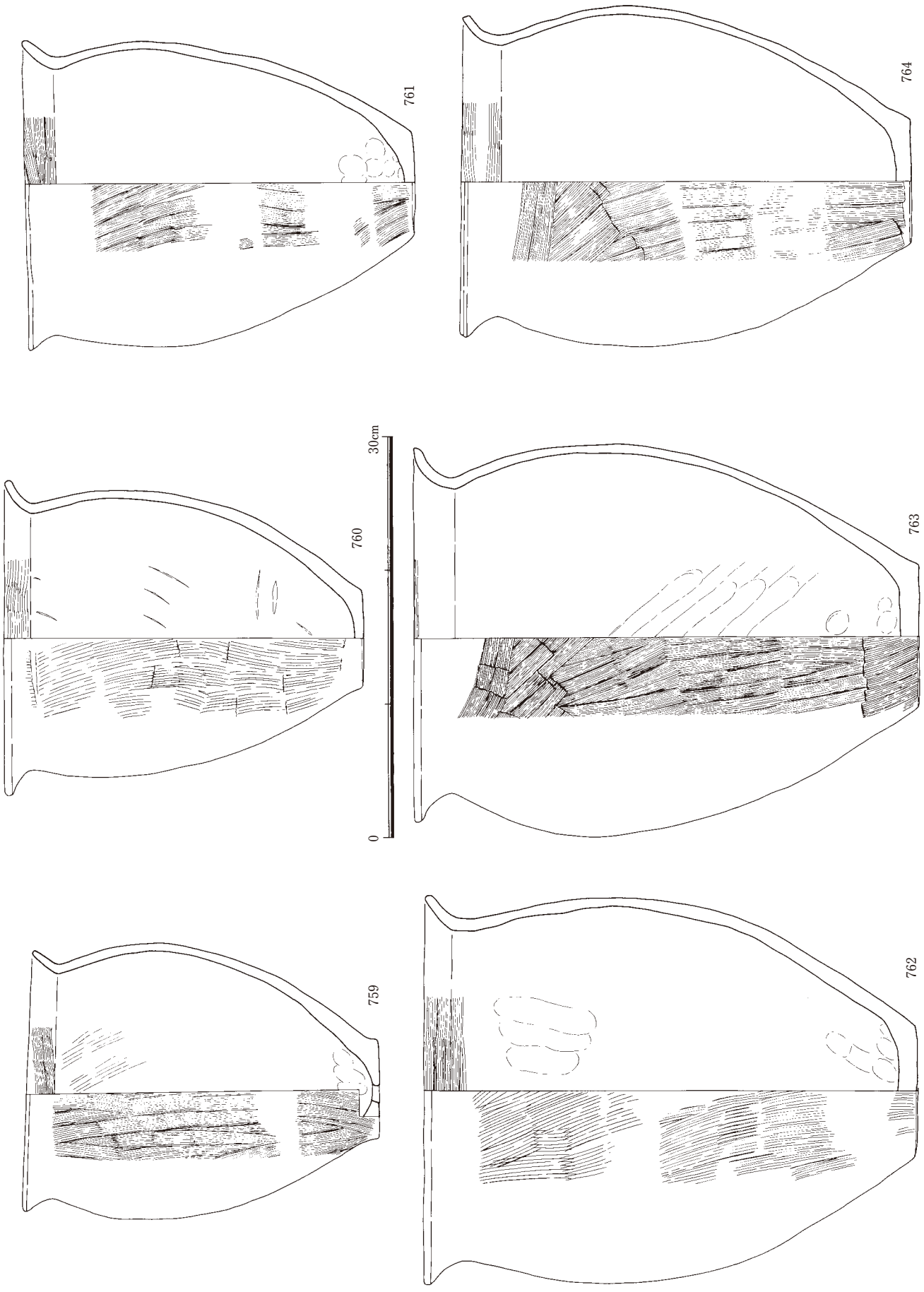

**第 75 図**　土器群 113 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]



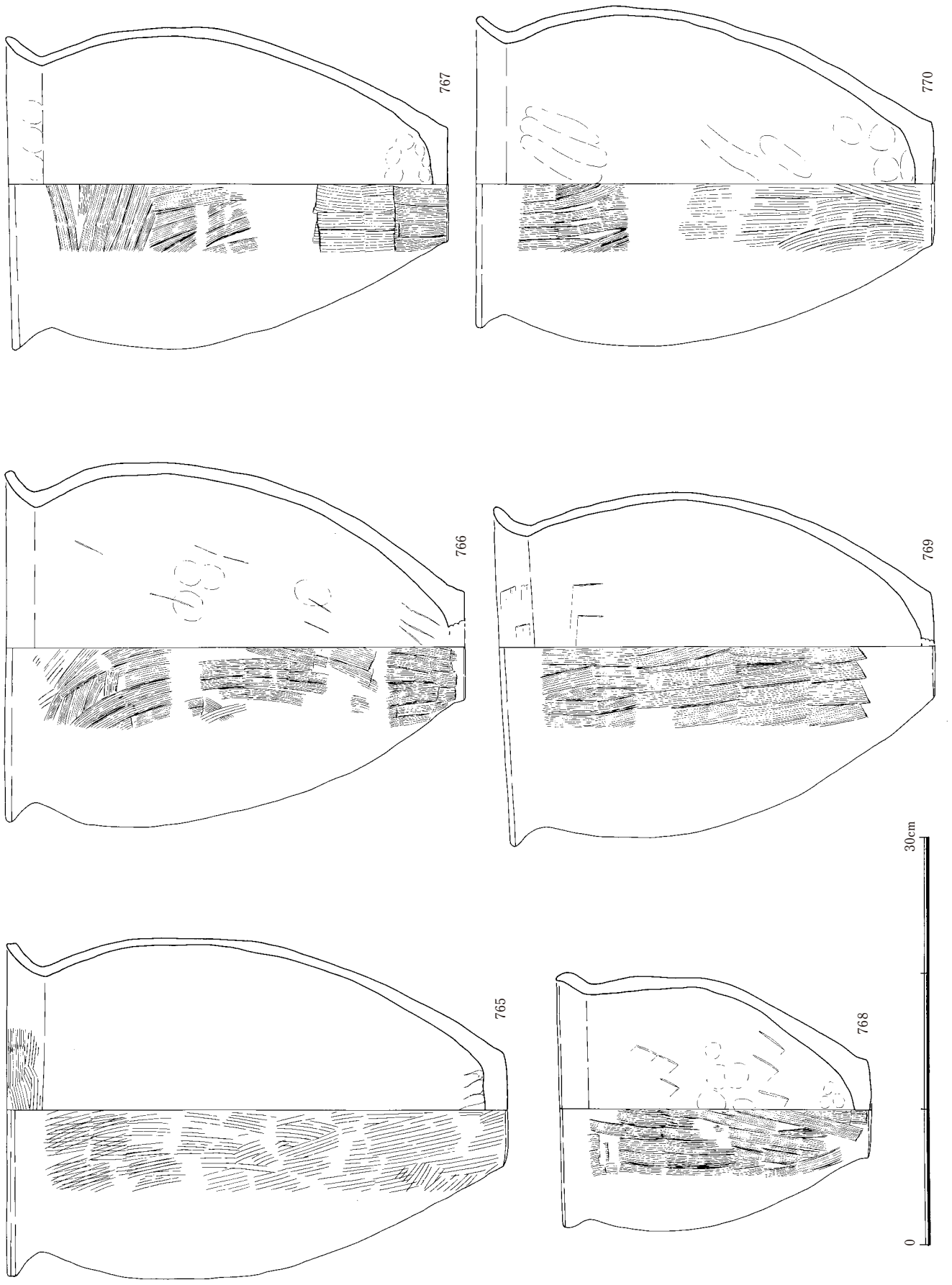

**第 76 図**　土器群 113 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]



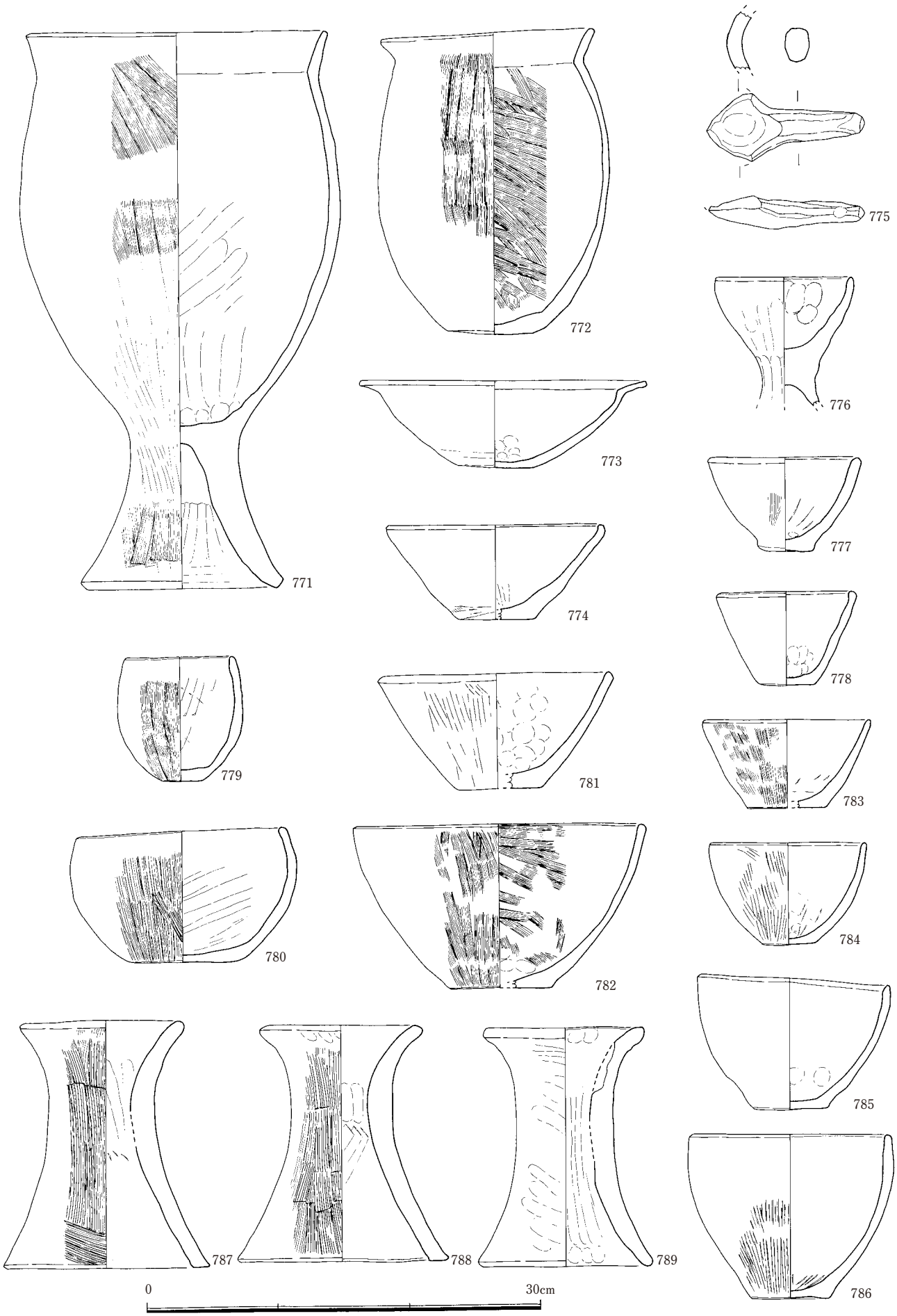

**第 77 図**　土器群 113 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]



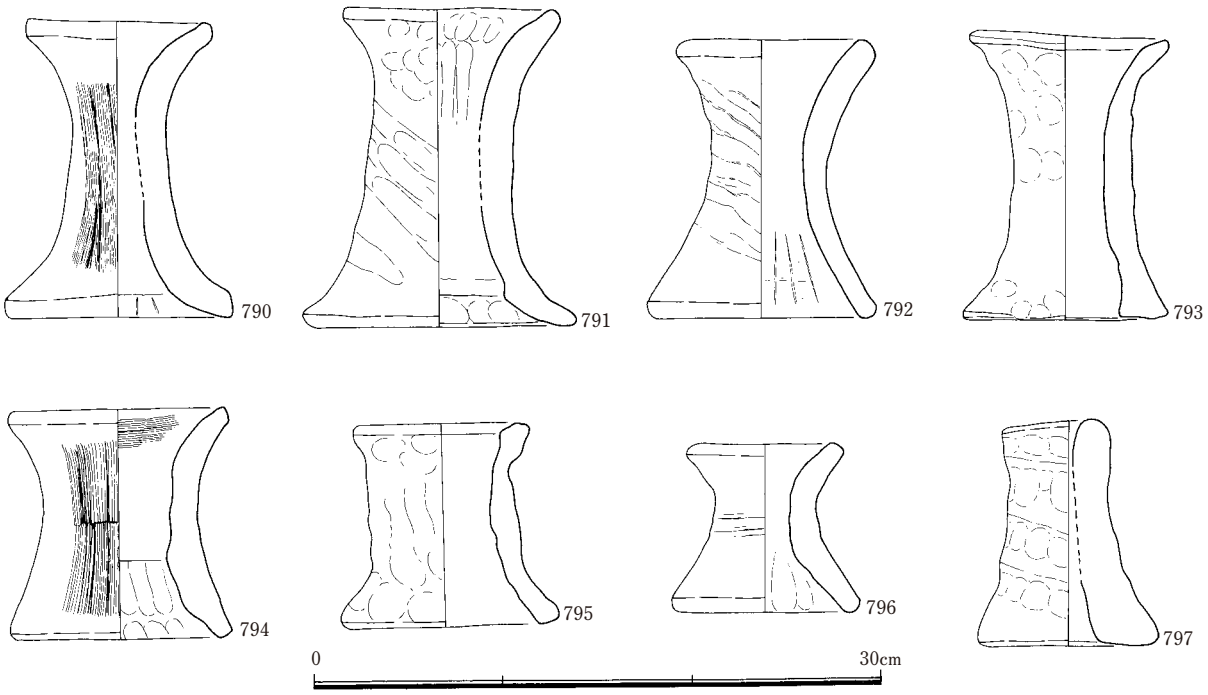

**第 78 図**　土器群 113 出土土器実測図（4）[ 1/ 4]




**第 79 図**　土器群 113 出土土器実測図（5）[ 1/ 4]




**第 80 図**　土器群 113 出土土器実測図（6）[ 1/ 4]




**第 81 図**　土器群 113 出土土器実測図（7）[ 1/ 4]

**表 33**　土器群 113 出土土器観察表（1）

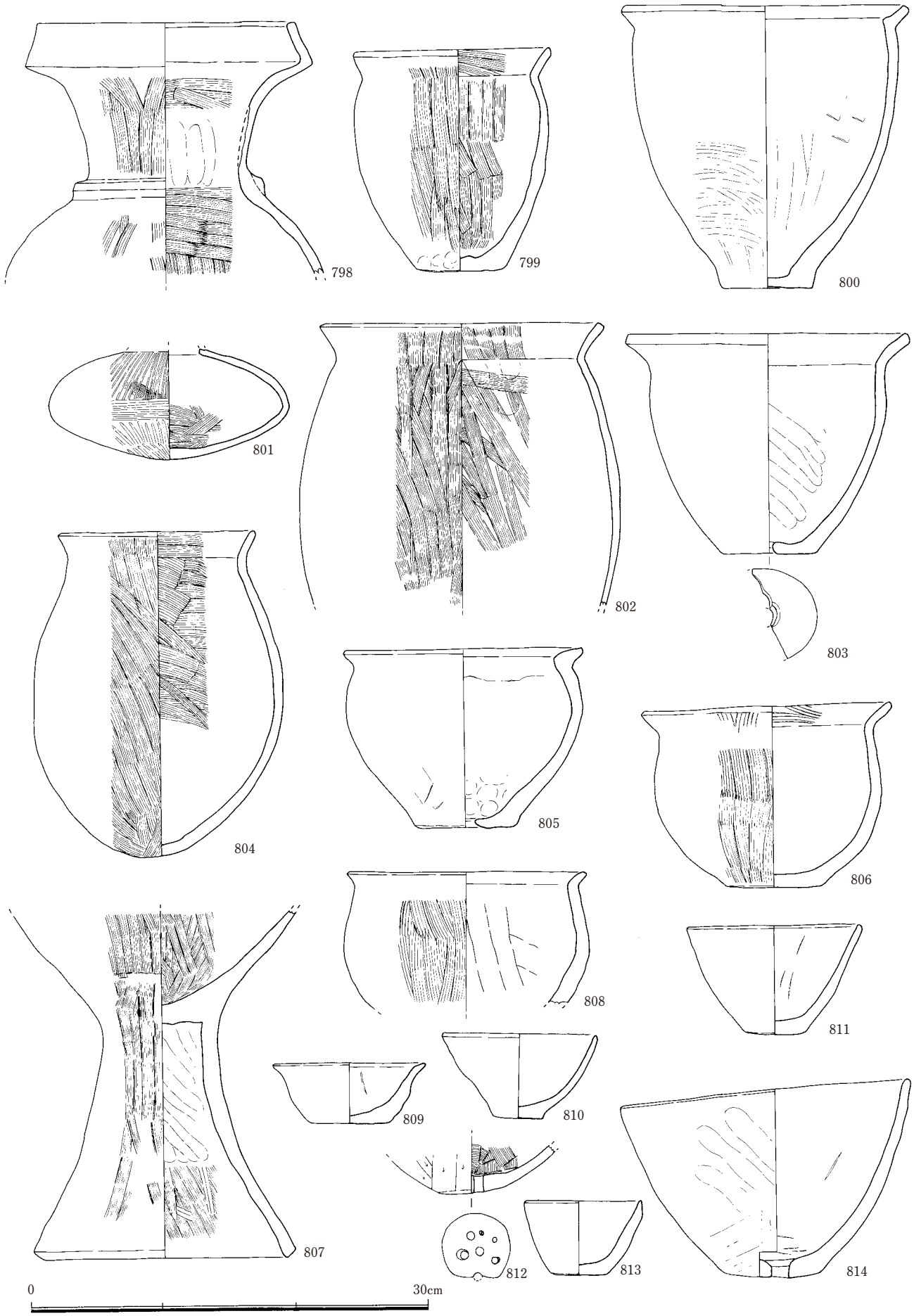
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 75 | 732 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 壺 | 10.55 | 8.0 | | 胴部は横の方向のヘラ磨き（磨滅あり）、底部付近は縦方向のヘラ磨き（磨滅）、底面はナデ | 頸部～肩部は縦ナデ、胴部中位は横ナデ、胴部下位～底部はヘラ状工具による横方向のナデ | 外：明褐色<br>内：明褐色～淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～頸部<br>外底には V 字の黒斑<br>外面には赤色顔料（磨滅著しく顔料の痕跡は僅か） |
| 75 | 733 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 蓋 | 1.5 | | 12.0 | ヘラ磨き | ヘラ磨き | 外：赤色顔料<br>内：赤色顔料 | 砂粒（1㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 残存：天井部～口縁部 1/3 弱<br>小さな焼成前の穿孔が 2 カ所近くに施される |
| 75 | 734 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 壺 | 31.15 | 22.95 | | ヘラ磨き（磨滅あり）、底面はナデ | 口縁部はヘラ磨き、胴部は刷毛目（一部に強いナデ痕） | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/6 弱、胴部周囲～下位 1/2 弱<br>内面口縁部～外面全体の器面に刷毛目を調整した後赤色顔料を施し、のちにヘラ磨き<br>底部に焼成後の穿孔あり<br>外面胴部中位に黒斑 |
| 75 | 735 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 壺 | 12.7 | 13.3 | | ヘラ磨き（胴部下位は縦方向のヘラ磨き）、底面はナデ | ヘラ磨き | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3㎜以下の長石）、雲母 1㎜以下 | 良好 | 残存：口縁部 1/3、胴部 1/3、底部 1/2<br>内外器面に磨滅が若干みられる |
| 75 | 736 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 壺 | 42.3 | 24.5 | | 口縁部は横ナデ、頸部は縦刷毛、突帯部は横ナデ、胴部は粗・細の刷毛目（一部ヘラ磨き）、底部付近はヘラ磨き、底面はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は横刷毛のち横ナデ消し（木口痕跡あり）、胴部は板状工具木口によるナデ（木口痕跡あり）、底部付近はヘラ状工具によるナデ | 外：淡褐色<br>内：淡褐色～灰黒色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/6<br>内面胴部下位～底部にヘラ状工具のナデ痕 |
| 75 | 737 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 高坏 | 24.4 | | | 坏部上面はヘラ磨き、坏部は縦・斜ヘラ磨き、坏部と脚部の接続部は横方向のヘラ磨き、脚部は縦ヘラ磨き・磨滅 | 坏部はヘラ磨き、脚部は指押さえ（ナデ） | 外：淡灰褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：坏端部、裾部<br>外側全体と坏部内部に赤色顔料（裾部内側にはない）<br>磨滅著し |
| 75 | 738 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 高坏 | 20.25 | 20.9 | | 口縁端部は横方向のヘラ磨き、頸部・坏部下位は不明、坏部・脚部はヘラ磨き、脚端部は横ナデ | 坏部はヘラ磨き、脚部上位は不明、脚部下位は横刷毛 | 淡灰褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英，4.5㎜以下の長石）、赤褐色胎土径 10 × 5㎜が 1 カ所 | 良好 | 残存：坏部 1/4、脚部 1/2<br>外面、脚部内側に丹塗り<br>器面の磨滅著しく丹残りが悪い |
| 75 | 739 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 高坏 | 20.0 | | 15.4 | 坏部はヘラ磨き、杯部下位は剥離、裾部は刷毛目のちヘラ磨き、裾端部はヘラ磨き | 坏部はヘラ磨き、裾部上位は指シボリ、裾部中位～刷毛目 | 灰色～灰黒色 | 砂粒（1.2㎜以下の石英，3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：坏部 3/4 |
| 75 | 740 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 壺 | 15.6 | 15.9 | | 口縁部は横ナデ、他は板状工具によるナデ | 口縁部は横ナデ、他はヘラ削り | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/4<br>胴部下位～底部全体に黒斑（内外面とも） |
| 75 | 741 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甑 | 12.8 | 8.4 | | 胴部はナデ、底部付近は刷毛目、底面はナデ | 全体に板状工具木口によるナデ（木口痕）、胴部下位まで指圧痕、底部はナデもあり | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3㎜以下の長石）、金雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 残存：胴部 1/3<br>外面胴部に黒斑<br>底面には焼成前の穿孔 |
| 76 | 742 | Ⅱ | 113 | | 粘土帯土器 | 10.8 | 9.1 | 6.5 | ミガキ（頸部付近で横ナデ、胴部下位で縦刷毛の痕跡）、底面は弱いナデ（ケズリ） | 口縁部～胴部上位は横ナデ主体、胴部下位～縦ナデ主体 | | 石英・長石粒・砂粒を含むが緻密。精製に近い | | 欠損：口縁部 1/2（略完形品）<br>外上部は加熱赤変、鉢部下位は所々スス酸化、内面頸部以下は黒変（焦げ状の炭化物が薄く残る）<br>口縁部の歪みは小さい（概ね軸は同じ） |
| 76 | 743 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 蓋 | 12.0 | | 22.0 | 頂部はナデ、頸部は指圧痕、裾部中位は縦刷毛、裾部下位は板状工具木口による横方向のナデ、裾端部はナデ | 頂部はヘラ状工具による横方向のナデ（圧痕も）、裾部は刷毛目、裾部下位は板状工具木口による横方向のナデ | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 3/4<br>頂部内面にヘラ状工具先端部を強く押さえた圧痕 |
| 76 | 744 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 蓋 | 8.9 | | 23.0 | 頂部はナデ、他は刷毛目、裾端部は横刷毛 | ナデ、裾部下位は刷毛目 | 外：淡褐色～暗褐色<br>内：淡灰褐色～暗褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石）、金雲母 1㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部 1/2<br>外面に黒斑が 2 カ所、頭部上面にも 1 カ所あり<br>刷毛目痕は細かい<br>内面裾端部は帯状に暗褐色（ススか） |
| 76 | 745 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 蓋 | 11.3 | | 23.0 | 頂部はナデ、他は刷毛目のちナデ消し（わずかに刷毛目痕）、裾端部は横ナデ | 頂部付近は指圧痕・ナデ、他はナデ、裾部は横刷毛 | 外：淡赤褐色～暗褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、金雲母・白雲母 0.3㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部 2/3 弱<br>内面裾端部付近にスス付着 |

## 表 34　土器群 113 出土土器観察表（2）

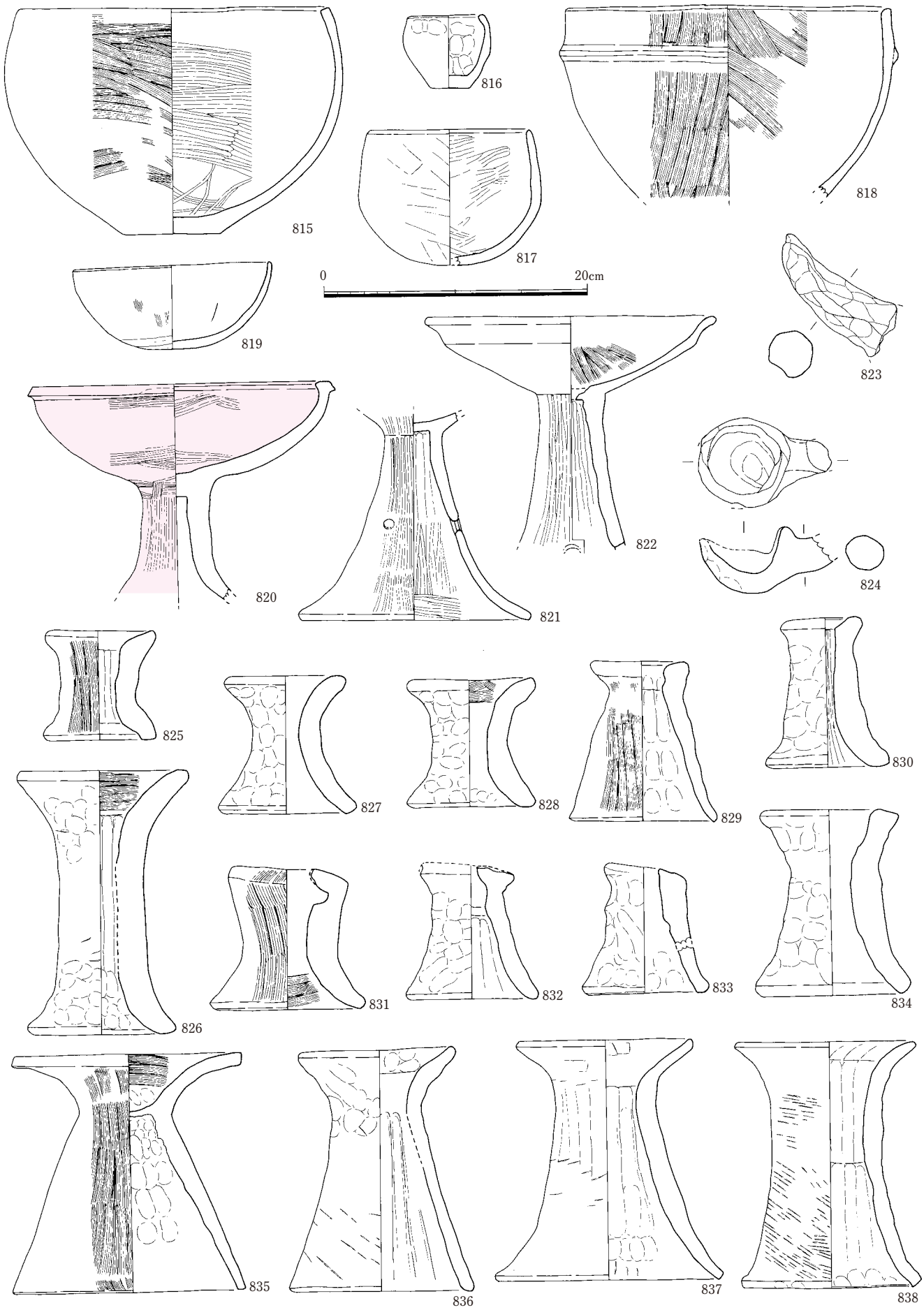
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 76 | 746 | Ⅱ | 113 | — | 蓋 | 9.0 | | 27.0 | 頂部はナデ、頂部横は横ナデ、胴部上位は環状の圧痕（タタキ痕）、中位～ヘラ磨き、裾部は横ナデ | 頂部付近～ヘラ指シボリ、裾部は横ナデ | 外：淡灰褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英，2㎜以下の長石），雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 残存：口縁部 1/8 弱<br>外面は磨滅 |
| 76 | 747 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 蓋 | 9.3 | | 21.4 | 頂部はナデ、他は刷毛目、裾端部は横ナデ | ヘラ状工具による縦方向の押さえ、裾部はヘラ状工具による横方向のナデ、裾部下位は刷毛目（調整は粗い） | 外：淡褐色<br>内：褐色（一部に黒斑） | 砂粒（3.5㎜以下の石英、6.5㎜以下の長石）、金雲母 1㎜以下 | 良好 | 欠損：裾部 2/3<br>内面の一部に黒斑 |
| 76 | 748 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 蓋 | 10.4 | 27.45 | — | 頂部はナデ体部上位はヘラ状工具による横・斜のナデ、体部下位は板状工具木口による縦方向のナデ、裾部は横ナデ | 頂部はナデ、体部はヘラ状工具によるナデ（一部刷毛目）、裾部は刷毛目 | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 残存：天井部～裾部 1/4<br>頂部は完形<br>中心より裾部径に歪み |
| 76 | 749 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 甕 | 25.95 | 19.85 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目、底面はナデ | 口縁部は横刷毛、頸部は横ナデ、他はナデ、底部はナデ・指圧痕 | 淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石）、雲母 0.3㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部 1/3、胴部 1/4<br>外面口縁部～胴部下位にスス付着<br>外表面は磨滅が見られない<br>内面に板状工具木口によるナデ痕がわずかにある |
| 76 | 750 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 23.9 | 21.8 | | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛、胴部下位は刷毛目痕がわずかに見られ、底部付近はナデか、底面は刷毛目痕のちナデ消し | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部は指圧痕 | 外：淡灰褐色～淡赤褐色<br>内：淡褐色～淡灰褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石）と雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/4<br>外面は口縁部～胴部中位までスス付着、胴部中位～底部まで淡赤褐色を帯びる<br>外面同部中位以下に磨滅 |
| 76 | 751 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 甕 | 22.3 | 22.2 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底面はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部は剥離 | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石）、雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/3、底部 3/4<br>外面口縁部～胴部下位にスス付着 |
| 76 | 752 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 甕 | 31.7 | 27.0 | | 口縁部は横ナデ、他は細かい刷毛目、底部付近はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 外：淡灰褐色～淡褐色<br>内：淡灰褐色～淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、金雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部 1/6、胴部 1/3<br>外面胴部にスス付着 |
| 76 | 753 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 34.65 | 26.7 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛（磨滅著しい）、底面はナデ | 口縁部は横ナデ、他は板状工具木口による横・斜方向のナデ（一部に木口痕）、底部は指押さえ | 外：淡灰褐色～明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石）、雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部 1/12、胴部中位付近 1/4 弱<br>内面胴部下位に炭化物付着<br>外面胴部上位に帯状にスス付着<br>外底の中央は円形状にわずかに窪み粗い器面が見られる |
| 77 | 754 | Ⅱ | 113 | Z-4 | 甕 | 33.8 | 23.9 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛（器面は磨滅）、底面はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は板状工具木口による横方向のナデ、他は板状工具木口による斜方向のナデ（木口の圧痕あり） | 外：褐色～赤褐色<br>内：褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/6、胴部中位付近 1/4 弱<br>外面にスス付着と二次焼成痕（赤褐色）が見られる<br>外底面は中央がわずかに凹む |
| 77 | 755 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 甕 | 31.25 | 23.8 | | 口縁部は横ナデ、他は板状工具木口による横・縦方向のナデ、底面はナデ | 口縁部は刷毛目（刷毛目工具木口が磨滅）、胴部上位は強い斜方向のナデ（指圧痕明瞭）、他はナデ | 外：淡褐色～淡赤褐色<br>内：淡褐色～灰褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/3<br>外面口縁部～胴部中位付近にスス付着<br>外面胴部中位以下に磨滅 |
| 77 | 756 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 34.2 | 24.7 | | 口縁部は横ナデ、頸部は細かい縦刷毛目、肩部は刷毛目、胴部はヘラ削り（ケズリ調整後刷毛目の箇所もあり）底面はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ、底部に指圧痕 | 外：淡灰褐色～褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/8、胴部 1/3<br>外面口縁部～胴部中位までスス付着 |
| 77 | 757 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 34.3 | 25.4 | | 口縁部は横ナデ、他は細かい刷毛目・磨滅、底面は刷毛目 | 口縁部は横ナデ、肩部はヘラ状工具による斜方向の強いナデ痕、他はナデ | 外：淡灰褐色～明褐色<br>内：淡褐色～灰褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 外面口縁部～胴部中位付近にスス付着<br>外面口縁部以外は刷毛目が施されているが磨滅し不明瞭。また工具木口による刷毛目施文は木口の磨滅のためか刷毛目になっていない |
| 77 | 758 | Ⅱ | 113 | — | 甕 | 36.9 | 27.4 | | 口縁部は横ナデ、頸部はヘラ状工具によるナデ、胴部は刷毛目、底面はナデ | 口縁部は刷毛目、肩部上位は横ナデ、他はナデ | 外：淡灰褐色～淡明褐色<br>内：淡褐色～淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、6㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部 1/5<br>外面口縁部～胴部中位にスス付着<br>内面胴部～底部に炭化物付着 |
| 78 | 759 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 甑 | 26.35 | 19.45 | | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛、底面はナデ | 口縁部は細かい横刷毛、胴部上位は粗い刷毛目、胴部中位～下位はナデ、底部は指圧痕 | 外：淡褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、8㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部中位付近 1/3、口縁部 1/6<br>外面口縁部～胴部下位付近まで全体にスス付着<br>内面口縁部一部，胴部中位～下位付近は灰黒色<br>底部には焼成後の穿孔あり |
| 78 | 760 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 26.9 | 23.6 | | 口縁部は横ナデ、胴部は刷毛目、底部付近はヘラ状工具によるナデ、底面はナデ | 口縁部は横刷毛、他はナデ（板状工具木口によるナデ痕） | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部中位 1/2 弱<br>外面胴部下位にスス付着 |
| 78 | 761 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 29.15 | 23.1 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目（器面の隔離・磨滅著しい）、底面はナデ | 口縁部は横刷毛、他はナデ（底部付近は指圧痕も） | 外：淡灰褐色～淡褐色<br>内：淡灰褐色～灰黒色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、1.0㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部 1/4、胴部中位付近 1/4 弱<br>外面胴部上位～中位付近スス付着<br>内面胴部～底部にかけ全体の 1/2 程度炭化物付着<br>外底は安定感に欠ける（わずかに丸み） |
| 78 | 762 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 甕 | 36.95 | 29.2 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目（胴部中位は磨滅し刷毛目痕不明瞭）、底面はナデ | 口縁部は刷毛目、他はナデ（胴部上位と底部付近は指圧痕も） | 外：灰褐色～淡赤褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、7㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/2<br>内面胴部周囲付近に炭化物付着<br>外面口縁部～胴部上位付近はスス付着<br>底面はごくわずかに丸み |
| 78 | 763 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 37.85 | 27.95 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目、底面はナデ底面はヘラ状工具によるナデ（木口痕あり） | 口縁端部は横刷毛、口縁部は横ナデ、他はナデ（胴部中位に強い指ナデの圧痕、底部付近に指圧痕も） | 外：淡褐色～褐色，一部赤褐色<br>内：褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部中位付近 1/2<br>外面胴部中位付近に二次焼成痕の赤褐色とススに付着あり |
| 78 | 764 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 33.7 | 23.9 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目、底面は板状工具によるナデ | 口縁部は横刷毛、他は板状工具によるナデ | 外：淡灰褐色～淡明褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/4<br>外面口縁部～肩部にスス付着、胴部付近は磨滅 |
| 79 | 765 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 36.8 | 24.5 | | 口縁部は横ナデ、他は粗い刷毛目、底面はナデ・磨滅 | 口縁部は横刷毛、他はナデ、底部には強い指ナデ痕 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 4/5<br>外面胴部は全体にスス付着 |
| 79 | 766 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 33.65 | 23.9 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目、底面はナデ | 口縁部は横ナデ、他は板状工具木口によるナデ（指圧痕もあり）、胴部下位には指ナデ痕も | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石）、金雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部 1/10、胴部 1/5<br>外面口縁部～胴部全体にスス付着<br>黒斑は胴部に 2 カ所 |
| 79 | 767 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 32.3 | 22.95 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目（胴部中位は刷毛目のちナデ消し）、底面はナデ | 口縁部は横刷毛のち横ナデ消し、胴部はナデ、底部は指圧痕 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：明褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部 1/2 弱<br>外面胴部中位～下位にかけてスス付着（胴部全体の 1/3 程度）<br>外底は平らで中央部は僅かに窪む |
| 79 | 768 | Ⅱ | 113 | — | 甕 | 22.9 | 18.7 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底面はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ（胴部上位と下位は板状工具木口によるナデ痕、中位は指圧痕・ナデ、底部は指圧痕もあり） | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英，3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部中位 1/2 弱 |

## 表 35　土器群 113 出土土器観察表（3）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 79 | 769 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 32.0 | 25.0 | | 口縁部は横ナデ（一部に充て方向の刷毛）、胴部は刷毛目・磨滅、底部付近はヘラ状工具による横・斜のナデ、底面はナデ | 口縁部は横刷毛、他は板状工具木口によるナデ | 外：淡灰褐色～淡褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/3、底部 1/4<br>外面口縁部～胴部全体にスス付着<br>外底はやや丸く安定感に欠ける |
| 79 | 770 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 33.7 | 22.9 | | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目（肩部付近は細かく、胴部中下位～やや粗い、胴部中位はは不明瞭）、底面は粗いナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ（指圧痕あり） | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英，3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部中位 1/3<br>外面同部中位付近にスス付着 |
| 80 | 771 | Ⅱ | 113 | Z-2 | （脚台付）甕 | 42.25 | 22.9 | | 口縁部は横ナデ、屑部上位は刷毛目（磨滅あり）、胴部中下位はヘラ削り、胴部下位～脚部はヘラ磨き、脚部下位は刷毛目、脚端部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ（胴部中位～底部は指圧痕も）、脚部上位と下位はヘラ状工具による横ナデ、脚部中位はヘラシボリ | 外：淡褐色<br>内：淡褐色～褐色 | 砂粒（8㎜以下の石英、7㎜以下の長石）、雲母 | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/2<br>外面胴部は磨滅<br>内外面に赤色顔料（良好ではない）<br>内脚部下位のヘラ状工具による横ナデはケズリのように砂粒を時計回り・逆時計回りに動く |
| 80 | 772 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 甕 | 22.8 | 16.25 | | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛、胴部下位は粗いナデ（刷毛目痕が部分的にある）、底部は板状工具によるナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は刷毛目、他は比較的粗い刷毛目 | 外：淡褐色～淡赤褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/5、胴部 1/6<br>外側は磨滅、2 次焼成痕が見られる |
| 80 | 773 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 6.65 | 21.8 | | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、胴部下位は横方向のヘラ削り、底面はナデか | 口縁部は横ナデ、他はナデ（胴部下位～底部は指圧痕も） | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石）、雲母 0.3㎜以下 | 良好 | 残存：口縁部 1/8<br>欠損：胴部上位 1/2 弱<br>外面は磨滅<br>外面胴部～底部に黒斑 |
| 80 | 774 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 7.2 | 16.5 | | 口縁端部は横ナデ、胴部上位は板状工具による横ナデ、胴部下位は板状工具木口によるナデ・指ナデ、底面はナデ | 口縁端部は横ナデ、他は板状工具による横ナデ、底部はヘラ状工具による縦ナデ | 淡褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、2㎜以下の長石）、金雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/4 |
| 80 | 775 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 杓子 | 12.0 | | | 杓部分はナデ、柄部分はヘラ状工具によるナデ | 杓部分はナデ、柄部分はヘラ状工具によるナデ | 淡褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、金雲母 0.3㎜以下 | 良好 | 欠損：杓部分 1/2 |
| 80 | 776 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 高坏 | 9.8 | 10.55 | | 口縁部は横ナデ、他は縦・横ナデ（中位～指圧痕も） | 口縁部～坏部上位は横ナデ､坏部中位～はナデ（坏部中位まで指圧痕も）、脚部はナデ | 褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石）、金雲母 1㎜以下 | 良好 | 欠損：坏部 1/2 弱、裾部<br>外面に黒斑あり |
| 80 | 777 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 7.15 | 11.6 | | 口縁端部は横ナデ、他は板状工具木口によるナデ（刷毛目痕もあり）、底面はナデ | 口縁端部は横ナデ、他は板状工具木口によるナデ（木口痕あり）、底部は指圧痕 | 外：淡灰褐色（外底面 1/2 は灰黒色）<br>内：淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 3/4 |
| 80 | 778 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 7.05 | 10.55 | | 口縁端部は横ナデ、他はナデ | 口縁端部は横ナデ、他はナデ、底部は指圧痕 | 外：淡褐色～淡灰褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 完形品（口縁部ごくわずかに欠損）<br>外面口縁部～底部にかけて黒斑（全体の 1/4 程度） |
| 80 | 779 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 9.45 | 8.4 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ状工具によるナデ、底部はナデ | 外：淡灰褐色～褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、3.5㎜以下の赤褐色粒 | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 2/3 |
| 80 | 780 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 鉢 | 9.9 | 15.9 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底面はヘラ状工具によるナデ | 口縁部は横ナデ、他はヘラ状工具木口によるナデ | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4 |
| 80 | 781 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 鉢 | 8.8 | 17.8 | | 口縁端部は横ナデ、他は縦・斜刷毛（胴部下位は器面磨滅）、底面はナデか | 口縁端部は横ナデ、他はナデ（指圧痕あり） | 淡灰褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3㎜以下の長石）、雲母 0.2㎜以下 | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/2 弱<br>外面は磨滅（胴部下位はわずかに刷毛目痕） |
| 80 | 782 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 12.4 | 22.2 | | 口縁端部は横ナデ、他は刷毛目 | 刷毛目のちナデ消し、底部付近は指圧痕 | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～底部 2/3<br>外面は口縁部～胴部下位にスス付着（全体の 1/2 程度）<br>外面は刷毛目を施すが磨滅 |
| 80 | 783 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 6.7 | 12.8 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛のちナデ消し、底面はナデ | 口縁部は横ナデ、他はヘラ状工具木口によるナデ | 外：褐色～明褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/2 弱<br>外面胴部下位～底部にかけて黒斑 |
| 80 | 784 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 7.75 | 11.9 | | 口縁端部は横ナデ、他は刷毛目、底部は刷毛目のちナデ消し | 口縁端部は横ナデ、他は板状工具木口によるナデ（木口痕あり）、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/3 内底部に指圧痕 |
| 80 | 785 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 坏 | 10.0 | 13.6 | | 口縁部は横ナデ、他はナデ | ナデ（胴部下位には指圧痕） | 淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部中位 1/3<br>器面に磨滅あり |
| 80 | 786 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 鉢 | 12.45 | 15.4 | | 胴部中位～縦刷毛、底面はナデ | 胴部はナデ、底部付近はヘラ状工具によるナデも | 外：淡灰褐色～淡赤褐色（口縁部付近）<br>内：淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 1/2<br>外面胴部～底部は磨滅 |
| 80 | 787 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 器台 | 18.8 | 12.5 | 15.6 | 両端部は横ナデ、他は刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部は指シボリ、胴部下位はヘラ状工具によるナデ | 淡褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石）、金雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 欠損：裾部 1/2 弱 |
| 80 | 788 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 器台 | 17.9 | 12.4 | 16.0 | 両端部は横ナデ、頸部はヘラ状工具木口による圧痕、他は縦刷毛目 | 受部は横ナデ、胴部は指圧痕、胴部中位からヘラ状工具による斜ナデ、裾部はナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、金雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 残存：口縁部～裾部 1/3 弱 |
| 80 | 789 | Ⅱ | 113 | — | 器台 | 18.1 | 12.2 | 13.2 | 両端部は横ナデ、頸部はヘラ状工具によるナデ、胴部はナデ・指圧痕（斜方向） | 受部は横ナデ・指圧痕、頸部は剥離、他は指押さえ、裾部は指圧痕 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（6.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/7<br>器面全体に磨滅 |
| 81 | 790 | Ⅱ | 113 | Y-3 | 器台 | 15.6 | 9.9 | 12.0 | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ、裾部は横ナデ（裾部に木口による圧痕） | 淡褐色～褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 完形<br>外面一部に暗赤褐色を帯びる箇所あり（赤色顔料か？） |
| 81 | 791 | Ⅱ | 113 | — | 器台 | 16.75 | 11.5 | 14.4 | 両端部は横ナデ、頸部は指圧痕、胴部は斜方向の指しぼり痕 | 受部は指圧痕、頸部は指ナデ、胴部は剥離、裾部は指圧痕 | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡褐色～淡灰褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/6、筒部中位 1/6 |
| 81 | 792 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 器台 | 14.65 | 10.45 | 12.0 | 胴部は指しぼり、他は横ナデ | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、裾部はヘラによる横方向のナデ | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、0.3㎜以下の雲母 | 良好 | 完形 |
| 81 | 793 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 器台 | 15.0 | 10.5 | 10.8 | 両端部は横ナデ、他は指圧痕 | 両端部は横ナデ、他はナデか（器面は風化し磨滅） | 外：明褐色<br>内：淡灰色～淡灰褐色（一部褐色を帯びる） | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好（やや軟） | 欠損：口縁部 1/4、裾部 1/3 |
| 81 | 794 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 器台 | 12.1 | 11.6 | 11.6 | 両端部は横ナデ、胴部は縦刷毛 | 受部は指圧痕、頸部は指ナデ（指圧痕）、胴部は剥離、裾部は横刷毛目 | 淡褐色～褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：裾部 1/4<br>器面には磨滅あり |
| 81 | 795 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 器台 | 10.7 | 11.5 | 9.2 | 両端部は横ナデ、他は指圧痕 | 剥離・不明 | 外：淡褐色<br>内：淡灰色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、6㎜以下の長石） | 良好 | 内面は全体に表面が剥離 |
| 81 | 796 | Ⅱ | 113 | — | 器台 | 8.85 | 8.2 | | ナデ（板状工具木口による縦方向のナデ、木口痕あり）、全体に磨滅 | 胴部はナデか、裾部は指圧痕 | 外：淡褐色～明褐色<br>内：淡灰褐色～淡赤褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2㎜以下の長石）、赤褐色粒 2㎜以下・金雲母 1㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部～裾部 1/2<br>外面胴部中位付近に 2 次焼成痕と赤褐色のスス付着 |
| 81 | 797 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 器台 | 11.9 | 4.6 | | 両端部はナデ、他はナデ・指圧痕 | 両端部はナデ、胴部は工具？によるナデか | 外：淡褐色<br>内：明褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：胴部中位 1/4 弱 |




**第 82 図**　土器群 115 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 83 図**　土器群 115 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]

## 表 36　土器群 115 出土土器観察表（1）

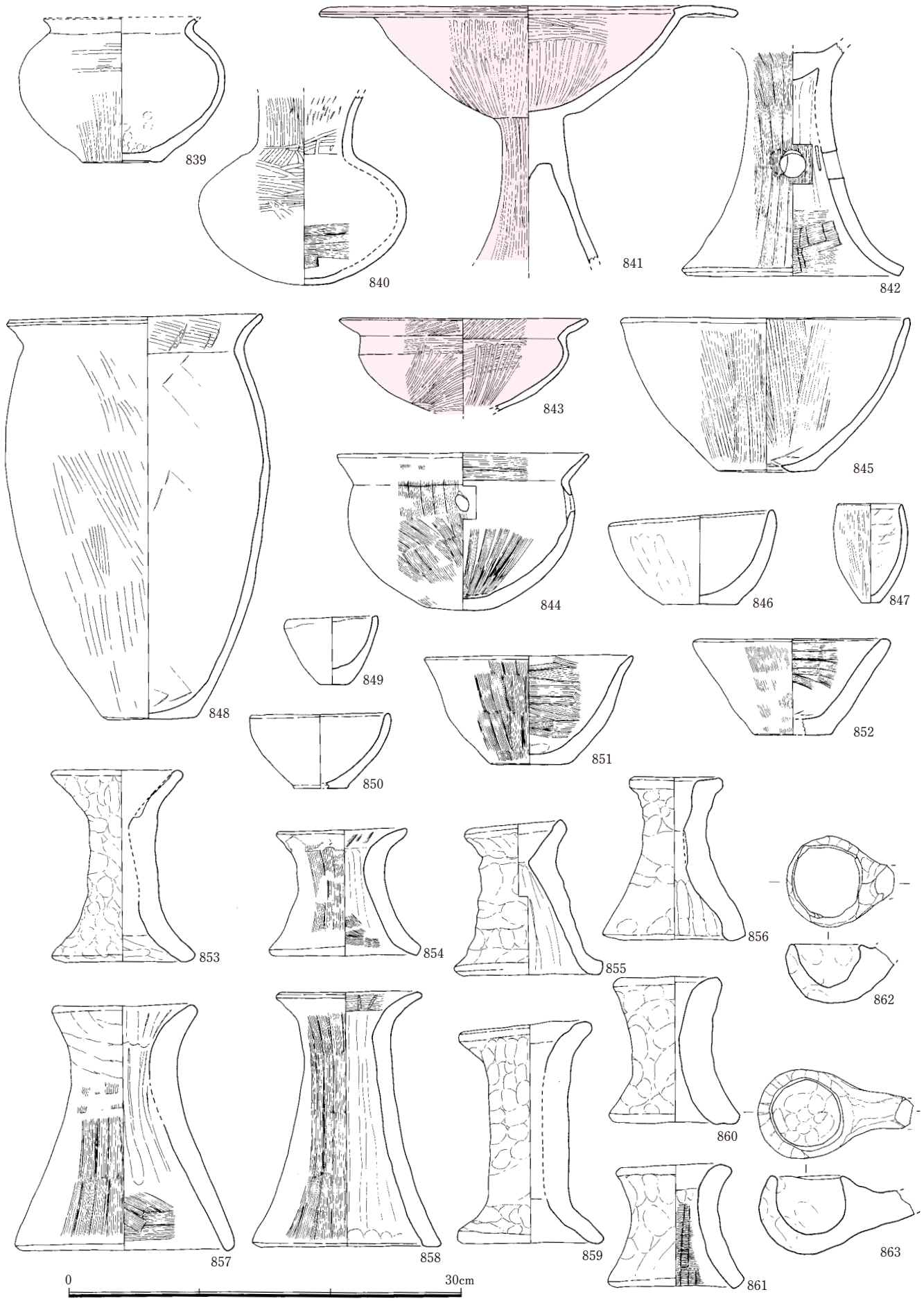
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 82 | 798 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 壺 | 19.0 | 19.2 | | 口縁部は横ナデ、頸部は斜・縦の刷毛、突堤部は横ナデ、肩部は斜・縦の刷毛目 | 口縁部は横ナデ、頸部上位は斜・横の刷毛、頸部中位は指圧痕、肩部は横刷毛、胴部は縦刷毛 | 淡赤褐色 | 砂粒（石英，長石）、1.5㎜以下の赤褐色粒 | 良好 | 弥生壺：口縁部～肩部（口縁部 1/3 残存）<br>器面は砂粒が露出し磨滅<br>調整痕も不明瞭 |
| 82 | 799 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 壺 | 16.6 | 14.8 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛、底部は横ナデ・指圧痕、底面はナデ | 口縁部は横刷毛、胴部は縦刷毛、底部は指圧痕 | 灰色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石）、0.3㎜以下の金雲母 | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、胴部上位～中位 1/4 弱<br>外面口縁部～胴部にかけてスス付着 |
| 82 | 800 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 甕 | 21.25 | 20.9 | | 口縁部は横ナデ、胴部は板状工具木口による縦ナデ、胴部下位～縦方向のヘラ削りと横方向のヘラ磨きが混在、底部は横ナデ、底面はヘラ削り（砂粒の動きあり） | 口縁部は横ナデ、他は板状工具による縦ナデ（一部にヘラ削り）、底部はナデ | 外：赤褐色～暗褐色<br>内：淡褐色～暗褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2㎜以下の長石）、丹塗りの土器細片 8㎜以下 | 良好 | 残存：口縁部～胴部 1/3<br>外面口縁端部～胴部中位にスス付着<br>胴部は二次焼成のため脆い |
| 82 | 801 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 壺 | 8.35 | 18.0 | | 肩部～胴部は刷毛目のち縦方向のヘラ磨き（一部に刷毛目痕）、胴部中位は横方向のヘラ磨き、胴部下位～底部は縦方向のヘラ磨き | 肩部～胴部中位はナデ、胴部中位～底部は刷毛目 | 外：淡褐色～褐色<br>内：淡褐色～灰黒色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 長頸壺<br>欠損：胴部 5％弱<br>外面には赤色顔料 |
| 82 | 802 | Ⅱ | 115 | — | 甕 | 21.15 | 21.4 | | 口縁端部は横ナデ、他は刷毛目 | 口縁部～胴部下位まで刷毛目（肩部には指圧痕も）、胴部下位からナデ | 外：明褐色～淡褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～胴部 2/3<br>欠損：底部<br>外面口縁部～胴部の一部は赤褐色に<br>内外面ともに器面は磨滅<br>外面口縁部～胴部に縦に帯状の黒斑（2 ～ 3cm幅） |
| 82 | 803 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 甑 | 16.5 | 20.9 | | 口縁部は横ナデ、他は板状工具による下から上方向にナデ（砂粒の動き認められる）、底面はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ（指圧痕あり） | 外：灰褐色<br>内：淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～胴部 1/3 弱、底部 1/2 弱<br>外底に 1.5cmの穿孔 |
| 82 | 804 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 甕 | 24.4 | 14.8 | | 口縁端部は横ナデ、他は刷毛目 | 口縁部～胴部中位は刷毛目、胴部中位～底部はナデ | 褐色～明褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 外面底部付近に 8 × 7cmの黒斑 |
| 82 | 805 | Ⅱ | 115 | Z-3 | 鉢 | 13.4 | 18.0 | 7.7 | 口縁部は横ナデ、胴部は板状工具木口によるナデ（木口の圧痕あり）、底部は横ナデ、底面は板状工具木口によるナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ（底部付近は指圧痕も） | 外：淡褐色<br>内：褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/4<br>底部には穿孔 |
| 82 | 806 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 鉢 | 13.7 | 18.8 | 7.2 | 口縁端部は横ナデ、口縁部～頸部は刷毛目のち横ナデ（刷毛目痕）、他は縦刷毛、底面はナデ | 口縁部は粗い刷毛、他はナデ | 外：淡褐色<br>内：明褐色（口縁部）～黒褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4<br>外面全体に磨滅，調整痕は不明瞭 |
| 82 | 807 | Ⅱ | 115 | — | 器台 | 26.05 | | 19.6 | 刷毛目、裾端部は横ナデ | 受部は刷毛目、裾部上位はナデ・指圧痕、裾部下位は刷毛目、裾端部は横ナデ | 外：淡褐色<br>内：灰褐色～淡黄褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石）、0.3㎜以下の金雲母 | 良好 | 欠損：口縁部<br>残存：裾部 1/4<br>外面は剥離かなり多い<br>磨滅はわずかに |
| 82 | 808 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 鉢 | 10.35 | 18.0 | | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部はナデ、他は板状工具木口によるナデ（強いナデ痕） | 外：灰褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石）、0.5㎜以下の金雲母 | 良好 | 残存：口縁部～胴部 1/4 |
| 82 | 809 | Ⅱ | 115 | X-4 | 鉢 | 4.55 | 11.5 | | 板状工具木口によるナデ、底面はナデ | 板状工具木口によるナデ、底部はナデ | 淡赤褐色～褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/3<br>口縁部内外面に一部スス付着 |
| 82 | 810 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 鉢 | 6.4 | 11.6 | 3.6 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部は横ナデ、底面はナデ | ナデ | 淡褐色 | 砂粒（1㎜以下の石英、1㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 3/4<br>外面胴部～底部には黒斑 |
| 82 | 811 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 鉢 | 8.2 | 13.05 | | 口縁端部は横ナデ、他はナデ | 板状工具によるナデ | 明褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/4 |
| 82 | 812 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 甑 | 3.7 | 5.0 | | ヘラ削り | 刷毛目 | 暗褐色 | 20㎜以下の石英、3.0㎜以下の長石粒、 1 ㎜以下の金雲母・白雲母 | 良好 | 甑（底部片）<br>穿孔は焼成前に内側から外側へ穿つ。 |
| 82 | 813 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 鉢 | 5.6 | 8.8 | | 口縁部は横ナデ、他はナデか | 横ナデ、底部は指圧痕 | 褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2<br>外面全体に少し磨滅 |
| 82 | 814 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 甑 | 14.1 | 21.75 | | 口縁端部はヘラ削り、胴部は斜方向のナデ（胴部中位には指圧痕も）、胴部下位～底部はヘラ削り | 板状工具木口によるナデ（木口の痕跡） | 淡灰褐色～淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英・長石）、雲母 1㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部 1/2 弱<br>底部に径 1.4cmの穿孔あり内面は酸化鉄付着<br>外側器面は二次焼成の痕 |
| 83 | 815 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 鉢 | 17.05 | 23.4 | | 口縁端部は横ナデ、胴部は刷毛目、胴部下位～底部はナデ | 口縁端部は横ナデ、他は板状工具木口による縦ナデ（胴部上位～木口による縦ナデのちヘラ磨き） | 淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英・長石）、雲母 1.5㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部～胴部上位 1/4<br>内面は酸化鉄付着<br>外面胴部に 2 カ所黒斑<br>器面は磨滅 |
| 83 | 816 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 坏 | 5.45 | 5.55 | | 口縁端部は横ナデ、他はナデ（指圧痕もあり）、底面はナデ | ナデ（指圧痕もあり） | 淡灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、0.2㎜以下雲母 | 良好 | 欠損：口縁部 1/8 |
| 83 | 817 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 鉢 | 10.2 | 12.0 | | 口縁端部は横ナデ、他は板状工具木口によるナデ | ヘラ磨き | 明褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、4㎜以下の長石）、赤色粒及び雲母 | 良好 | 残存：口縁部～底部 1/2 弱 |
| 83 | 818 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 壺 | 14.65 | 24.6 | | 口縁端部は打ち欠き、口縁部は刷毛目、突帯部は横ナデ、他は刷毛目 | 刷毛目（胴部下位は刷毛目痕少ない） | 淡褐色～淡灰褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石）、赤褐色粒 3.5㎜以下 | 良好 | 壺の胴部付近で打ち欠きを行っている<br>外面胴付近は 2 箇所にスス布帛器面全体に磨滅 |
| 83 | 819 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 鉢 | 6.3 | 15.0 | | 口縁部は横ナデ、胴部は刷毛目のちナデ消し（刷毛目痕あり）、胴部下位～底部はヘラ削り | 口縁部は横ナデ、他は板状工具木口によるナデ | 淡褐色～褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/3<br>外面口縁部直下及び胴部に赤色顔料を施した痕跡あり |
| 83 | 820 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 高坏 | 16.45 | 23.3 | | 口縁端部は打ち欠き、坏部はヘラ磨き、脚部は刷毛目（部分的にヘラ磨き痕）、脚部下位はナデかヘラ磨きか | 坏部はヘラ磨き、脚部はナデ | 淡灰褐色～淡褐色 | 砂粒（4.5㎜以下の石英・長石），雲母 0.5㎜以下 | 良好 | 欠損：杯部 1/2 弱、裾部<br>口縁端部は意識的に打ち欠き<br>丹塗は全面（脚部内側を除き）に施されているが磨滅著しく範囲は不明瞭 |
| 83 | 821 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 高坏 | 15.65 | | 17.6 | ヘラ磨き | 坏部下位はヘラ磨き、脚部上位は指シボリ（指圧痕）、中位～ヘラ磨き、裾部は横方向のヘラ磨き（刷毛目痕も） | 淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石）、3㎜以下の赤褐色粒 | 良好 | 欠損：坏部（わずかに除いて）、筒部中位 1/2<br>穿孔が 3 カ所（残存状態悪い）<br>内外器面ともに磨滅 |
| 83 | 822 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 高坏 | 17.4 | 22.0 | | 口縁部は横ナデ、坏部はナデ、脚部はヘラ磨き | 口縁部は横ナデ、坏部は刷毛目、脚部は指シボリ | 淡褐色～明褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 残存：坏部 1/2 弱、筒部 1/4 弱<br>脚部に 1 カ所穿孔<br>筒部外面にスス付着か |
| 83 | 823 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 支脚形土器 | 9.9 | 3.3 | | 指圧痕 | — | 淡灰褐色～褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、2㎜以下の長石） | 良好 | ススの付着が一部に見られる<br>外面調整は指圧痕 |
| 83 | 824 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 杓子 | 10.0 | 6.5 | | ナデ（指圧痕もあり） | ナデ（指圧痕もあり） | 淡灰褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、把手 |
| 83 | 825 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 支脚 | 8.25 | 8.4 | | 縦刷毛目 | 両端部は横ナデ、他は縦方向のナデ | 褐色～淡赤褐色 | 砂粒（3.5㎜以下の石英、5㎜以下の長石）、雲母 0.3㎜以下 | 良好 | 完形<br>口縁部は一部にスス付着 |
| 83 | 826 | Ⅱ | 115 | Y-2,3 | 器台 | 20.0 | 12.5 | | 両端部は横ナデ、他は板状工具木口による縦方向のナデ（一部に木口痕と指圧痕） | 上位は横刷毛、中位は指シボリ、裾部は指圧痕 | 淡灰褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英、4㎜以下の長石）、雲母 1㎜以下 | 良好 | 欠損：口縁部 2/3、裾部 1/2 |
| 83 | 827 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 器台 | 10.4 | 10.55 | 9.1 | 両端部は横ナデ、他はナデ（指圧痕も） | ナデ | 外：褐色<br>内：淡灰褐色（一部褐色） | 砂粒（3㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 3/4、裾部 1/2 |
| 83 | 828 | Ⅱ | 115 | — | 器台 | 9.7 | 9.7 | 9.7 | 両端部は横ナデ、他は指圧痕 | 上位は刷毛目中位～はナデ、裾部は指圧痕も | 淡褐色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英，4.5㎜以下の長石） | 良好 | 完形 |
| 83 | 829 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 支脚 | 12.05 | 7.5 | | 両端部は横ナデ、他は強いナデ整形後縦刷毛調整 | ナデ・指圧痕 | 外：淡褐色～淡赤褐色<br>内：淡灰褐色 | 砂粒（3㎜以下の石英・長石） | 良好 | 欠損：裾部 1/2 弱<br>外面は磨滅あり |
| 83 | 830 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 支脚 | 11.3 | 6.2 | | 指圧痕 | 両端部はナデ、他はヘラシボリ | 褐色～淡赤褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石） | 良好 | 完形<br>紙面には磨滅が見られる |

## 表 37　土器群 115 出土土器観察表（2）

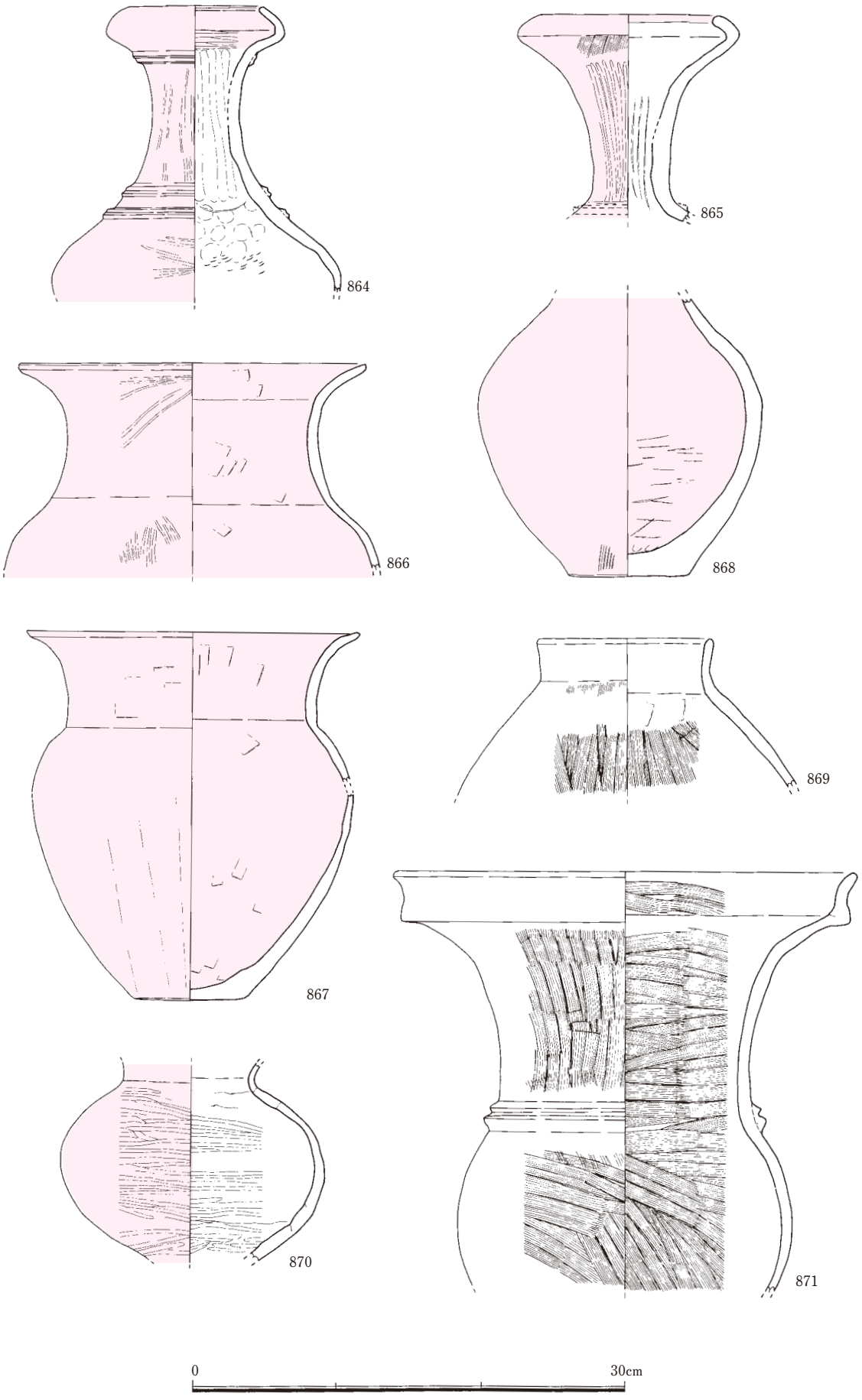
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 82 | 831 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 支脚 | 10.6 | 8.65 | | 刷毛目（やや磨滅）、裾端部は横ナデ | 上位は剥離（刷毛目痕あり）、中位はナデ、裾部は横刷毛 | 褐色～暗褐色 | 砂粒（6㎜以下の石英，2㎜以下の長石） | 良好 | 剥離：口縁部 1/8，裾部 1/3<br>外面 1/2 程度スス付着<br>内面口縁部付近に大きな窪み(全体の 1/4 程度) |
| 82 | 832 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 支脚 | 10.15 | 10.0 | | 受部上面は剥離、胴位上位はナデ、他は指圧痕、裾端部は横ナデ | 上位は指シボリ、下位は縦ナデ | 外：明褐色<br>内：淡褐色～暗褐色 | 砂粒（5㎜以下の石英・長石）比較的多く混じる、雲母 0.5㎜以下少量混じる | 良好 | 欠損：裾部 1/3、上面・裾部は剥離 |
| 82 | 833 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 支脚 | 9.6 | 6.25 | | 上位はナデ、下位は指圧痕、裾端部は横ナデ | 受部はナデ、上位はヘラ状工具木口によるナデ（縦方向のナデ・指圧痕）、下位は指圧痕、裾端部は横ナデ | 淡灰褐色～淡褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英）、暗赤褐色粒 1.5㎜以下 | 良好 | 欠損：裾部 1/3<br>外面はススや灰黒色を帯びる箇所あり |
| 82 | 834 | Ⅱ | 115 | Z-3 | 器台 | 14.0 | 11.7 | 10.5 | 受端部は横ナデ、他は指圧痕、裾端部はヘラ状工具によるナデ | 上位は剥離、他はナデ | 外：褐色<br>内：淡灰色 | 砂粒（1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部～胴部下位 1/2<br>残存：裾部 1/2 |
| 82 | 835 | Ⅱ | 115 | X-4 | 器台 | 18.0 | 16.95 | | 両端部は横ナデ、頸部にかけ刷毛目のちナデ消し、他は刷毛目 | 受部は横刷毛、受底部は横ナデ・指圧痕、他は指圧痕、裾部は不明（ナデか） | 外：明褐色<br>内：淡褐色～褐色 | 砂粒（2.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2 弱、裾部 1/2<br>内面は外面より磨滅 |
| 82 | 836 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 器台 | 18.2 | 11.9 | | 両端部はナデ、頸部にかけナデ（指圧痕あり）、胴部はヘラ状工具による斜方向のナデ | 口縁部～頸部はナデ（口縁部は指圧痕あり）、他は縦方向のナデ（指押さえの痕跡も） | 外：褐色～明褐色<br>内：淡灰褐色～明褐色 | 砂粒（4㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石）、2.5㎜以下の赤褐色粒，0.3㎜以下の雲母 | 良好 | 欠損：口縁部 1/3 弱<br>外面には若干の磨滅 |
| 82 | 837 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 器台 | 18.2 | 13.05 | | 口縁端部は横ナデ、頸部にかけヘラ状工具の横ナデ、他はヘラ状工具の縦ナデ | 口縁部はヘラ状工具の横ナデ、他は指圧痕（ナデ）、裾部はヘラ状工具の横ナデ | 灰褐色 | 砂粒（2㎜以下の石英、4㎜以下の長石）、0.2㎜以下の雲母 | 良好 | 残存：口縁部 2/3、裾部 1/12<br>外面口縁部付近に黒斑 |
| 82 | 838 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 器台 | 18.7 | 13.8 | | 両端部はナデ、頸部にかけヘラ状工具による横ナデ、他はタタキ | ナデ（指圧痕あり） | 淡褐色（一部茶褐色） | 砂粒（2㎜以下の石英、15.5㎜以下の長石） | 良好 | 欠損：口縁部 1/2、裾部 1/3 |

## 表 38　土器群 116 出土土器観察表

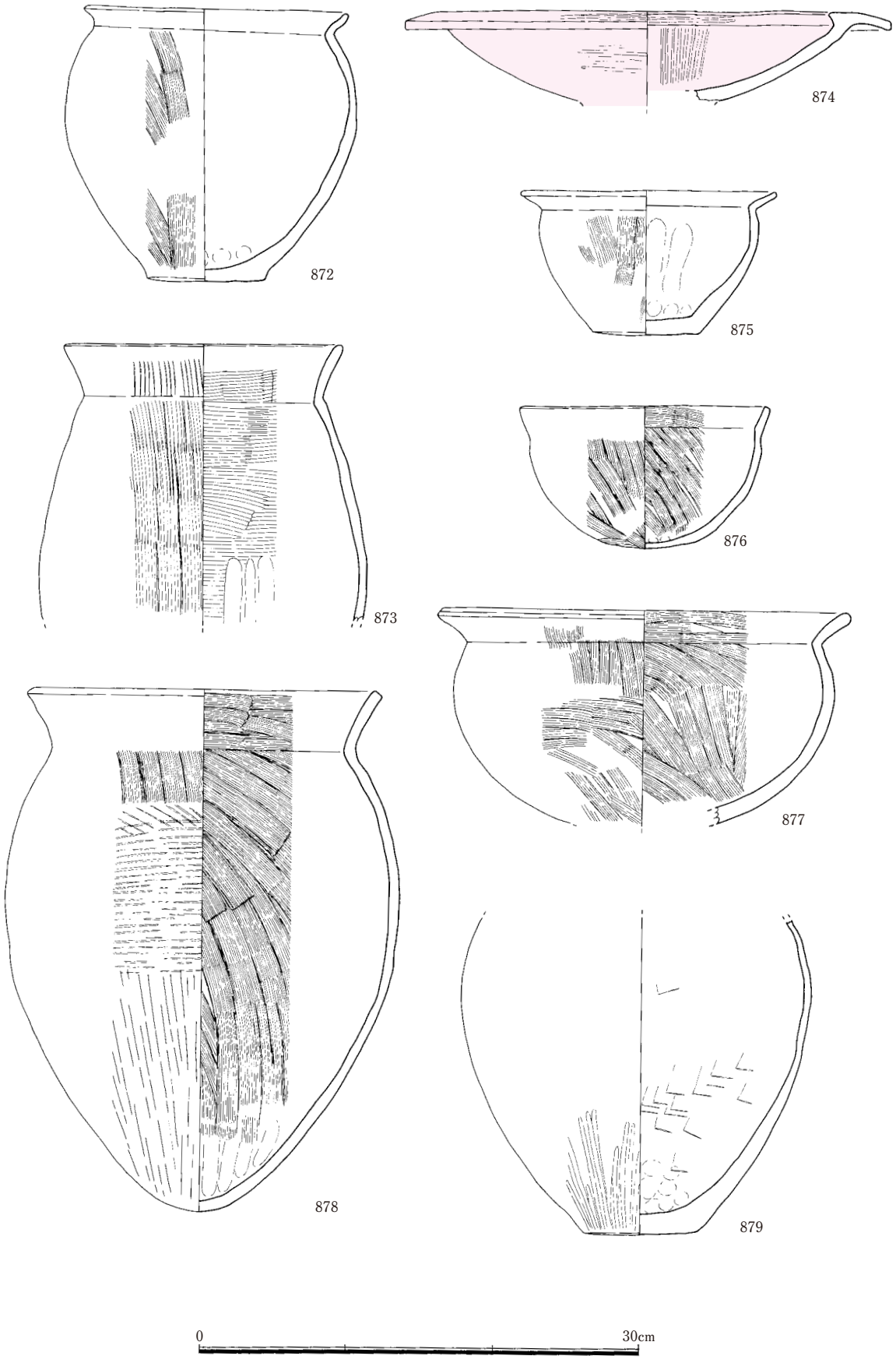
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 84 | 839 | Ⅱ | 116 | X-4 | 短頸壺 | 11 | 12 | 6.0 | 口縁部は横ナデ、胴部上位は横ヘラ磨き、胴部下位は縦ヘラ磨き、底部はヘラ磨き | 口縁部～肩部は横ナデ、胴部中位はナデ、胴部下位は板状工具木口によるナデ、胴部下位～底部は指圧痕 | 外：淡灰褐色<br>内：淡褐色 | 1㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁端部欠損、口縁～底部 1/2 残存、内外面全体に赤色顔料がのこる |
| 84 | 840 | Ⅱ | 116 | X-4 | 壺 | — | — | 4.0 | 頸部は縦ヘラ磨き、胴部中位では縦・斜ヘラ磨き | 頸部はヘラ磨き、胴部上位はナデ、下位は横刷毛目 | 淡褐色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部欠損、外面頸部～胴部中位まで赤色顔料がわずかにのこる |
| 84 | 841 | Ⅱ | 116 | X-4 | 高坏 | — | 32 | — | 口縁部上面は刷毛目、口縁部は横ナデ、胴部～筒部は縦ヘラ磨き | 胴部上位は横ヘラ磨き、胴部中位～底部は縦ヘラ磨き、筒部はナデ | 淡灰褐色 | 2.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石粒 | 良好 | 坏部口縁部 1/2 欠損、裾部欠損，坏部内外面及び筒部外面には赤色顔料がみられる |
| 84 | 842 | Ⅱ | 116 | X-4 | 高坏 | — | — | 17.0 | 胴部は縦刷毛目，裾部は横ナデ | 坏部の底部はナデ、胴部は指しぼり、胴部下位は横刷毛目、裾部は横ナデ | 外：赤褐色～褐色<br>内：褐色 | 2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒、金雲母 | 良好 | 丹塗りを坏の底部，外面胴部～内面裾部まで施す、胴部には円形の透かし（焼成前）が 2 箇所、長方形の透かし（焼成前）が 1 箇所ある |
| 84 | 843 | Ⅱ | 116 | X-4 | 高坏 | — | 19 | — | 口縁部は斜ヘラ磨き、肩部は横ヘラ磨き、胴部は斜ヘラ磨き | 口縁部は斜ヘラ磨き、胴部は横及び縦ヘラ磨き | 淡褐色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 坏部 1/2 弱残存、内外面に赤色顔料を施す |
| 84 | 844 | Ⅱ | 116 | X-4 | 鉢 | 12 | 19.2 | — | 口縁部は横ナデ、頸部は縦刷毛目のちナデ消し、胴部は縦・斜刷毛目、底部はナデ | 頸部は横刷毛目、胴部～底部は縦刷毛目 | 淡灰褐色～淡褐色 | 3㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 11/2 弱欠損、胴部上位に穿孔（焼成後）が一箇所ある、外面胴部に黒斑ある |
| 84 | 845 | Ⅱ | 116 | X-4 | 鉢 | 11.7 | 21.6 | 7.5 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部は板状木口の圧痕 | 淡灰褐色 | 2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁～底部 1/3 残存、底部の穿孔（焼成後）わずかに残存する |
| 84 | 846 | Ⅱ | 116 | X-4 | 鉢 | 6.8 | 12.65 | 5.8 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦ナデ、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はヘラ状工具によるナデ | 外：淡灰褐色<br>内：淡褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/4 欠損 |
| 84 | 847 | Ⅱ | 116 | X-4 | ミニチュア土器 | 7.5 | 5 | 1.5 | 口縁部～胴部は縦ミガキ | 口縁部～底部はナデ | 灰黄色 | 精緻、白色微粒子 | 良好 | 全体の 3/4 残存 |
| 84 | 848 | Ⅱ | 116 | X-4 | 甕 | 30.7 | 19.5 | 7.1 | 口縁部は横ナデ、胴部は粗い縦・斜め刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横刷毛目、胴部は板状工具によるナデ | 外：淡灰褐色～褐色<br>内：淡褐色 | 2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/8 欠損、胴部 1/5 欠損、外面口縁端部～胴部中位まで煤付着、内面胴部中位に炭化物の付着が幅 10㎝程度で帯状に巡る |
| 84 | 849 | Ⅱ | 116 | X-4 | 小鉢 | 5.05 | 6.9 | 2.2 | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ状工具による縦方向のナデ、底部もヘラ状工具によるナデ | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ状工具によるナデのち指ナデ | 淡褐色、外底は灰黒色を帯びる | 2.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/4 欠損 |
| 84 | 850 | Ⅱ | 116 | X-4 | 小鉢 | 5.6 | 10.8 | 4.0 | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ | 淡灰褐色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～底部 1/4 残存 |
| 84 | 851 | Ⅱ | 116 | X-4 | 鉢 | 8.25 | 16 | 6・0 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部はナデ、底部はナデ | 口縁部は横ナデ､胴部は横･斜刷毛目、底部はナデ | 外：淡灰褐色<br>内：淡褐色～淡灰黒色 | 1㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～底部 1/2 弱残存、胴部内側には指圧痕、底部内側には強い指ナデ痕がある |
| 84 | 852 | Ⅱ | 116 | X-4 | 鉢 | 7.3 | 15.2 | 4.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横ナデ，胴部は横刷毛目、胴部下位～底部は板状工具によるナデ（木口の圧痕） | 外：淡褐色～灰黒色<br>内：明褐色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～底部 1/4 残存 |
| 84 | 853 | Ⅱ | 116 | K-4 | 器台 | 14.7 | 10.1 | 11.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は指圧痕 | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ状工具による縦方向のナデ、袖部は横ナデ | 褐色 | 4㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石粒、金雲母 | 良好 | 口縁部 1/2 欠損 |
| 84 | 854 | Ⅱ | 116 | X-4 | 器台 | 9.6 | 10.05 | 11.6 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は板状工具木口による横ナデ、胴部は指押さえ、胴部下位は横刷毛目、裾部は横ナデ | 褐色 | 2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁端部 1/4 欠損 |
| 84 | 855 | Ⅱ | 116 | X-4 | 器台 | 11.5 | 7.8 | 11.4 | 口縁部は横ナデ、頸部はヘラ状工具によるナデ、胴部は指圧痕、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部はナデ、胴部は指押さえ | 外：淡灰褐色～褐色<br>内：淡灰色～淡灰黒色 | 1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部・裾部 1/8 欠損、頸部と胴部の境には接合線がある |
| 84 | 856 | Ⅱ | 116 | X-2 | 器台 | 12.35 | 7.2 | 11.0 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ・指圧痕、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は指押さえ、裾部は横ナデ | 外：淡灰褐色～褐色<br>内：淡褐色～淡灰褐色 | 2.5㎜以下の石英、6㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/4 欠損、寧面は剥離が著しい |
| 84 | 857 | Ⅱ | 116 | X-4 | 器台 | 18.7 | 11.1 | 16.8 | 口縁部は横ナデ・斜方向の強いナデ、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は縦方向のヘラナデ、胴部は強い指ナデ、胴部下位は斜・横刷毛目、裾部は横ナデ | 褐色～淡褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 裾部 1/3 欠損、口縁部の内側には赤褐色が帯状に 1/2 巡る |
| 84 | 858 | Ⅱ | 116 | X-4 | 器台 | 19.4 | 10.7 | 10.4 | 口縁部は横ナデ、頸部～胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横刷毛目、胴部は指押さえ、裾部は指圧痕 | 外：淡灰褐色～淡褐色、<br>内：淡褐色 | 2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/2 欠損 |
| 84 | 859 | Ⅱ | 116 | X-4 | 器台 | 16.65 | 10.2 | 11.2 | 口縁部は横ナデ、胴部は指圧痕、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部はナデ、胴部はヘラ状工具木口によるナデ、胴部下位はナデ | 外：褐色～淡赤褐色<br>内：淡灰褐色～暗褐色 | 3㎜以下の石英、8㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁端部・裾部 1/2 欠損 |
| 84 | 860 | Ⅱ | 116 | X-4 | 器台 | 11.1 | 8.35 | 10.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は指押さえ、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ，胴部はヘラ状工具による縦ナデ | 淡灰褐色 | 1.5㎜以下の石英、1㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/4、裾部 1/2 欠損 |
| 84 | 861 | Ⅱ | 116 | X-4 | 器台 | 9.25 | 8.9 | 10.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は指押さえ、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は横刷毛目、裾部は横ナデ | 淡灰褐色～淡褐色 | 2㎜以下の石英、4㎜以下の長石粒 | 良好 | 完形 |
| 84 | 862 | Ⅱ | 116 | X-4 | 把手付き杓 | 4.5 | 5.2 | — | ナデ | ナデ | 外：淡褐色～淡灰黒色、内：明褐色 | 2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 把手欠損 |
| 84 | 863 | Ⅱ | 116 | X-4 | 把手付き杓 | 6 | 5.5 | — | 口縁部は横ナデ、他は指ナデ・ヘラナデ | 指ナデ | 淡灰褐色 | 1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 把手 1/2 欠損 |



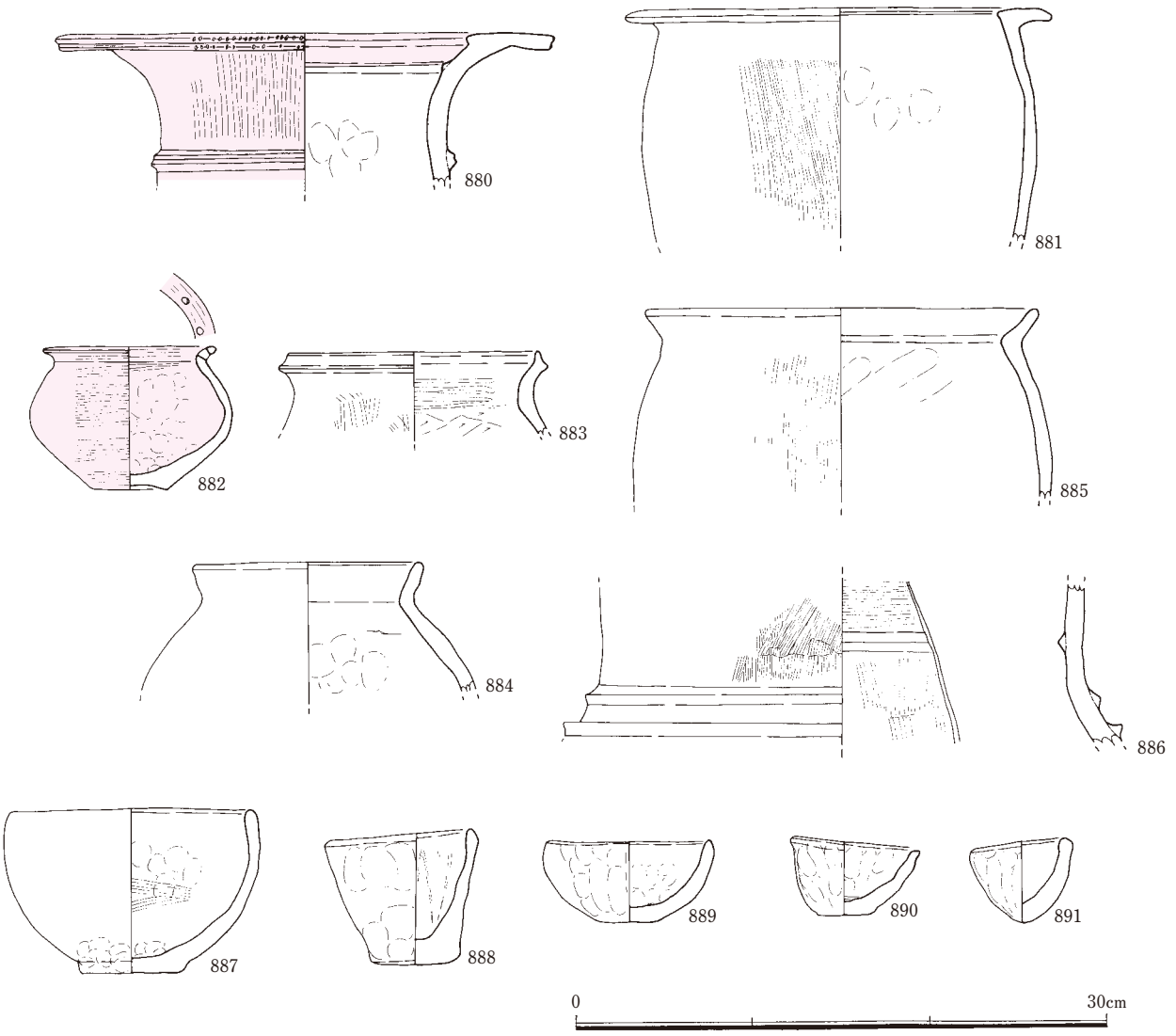

**第 84 図**　土器群 116 出土土器実測図 [ 1/ 4]




**第 85 図**　土器群 117 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 86 図**　土器群 117 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]




**第 87 図**　土器群 117 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]

**表 39**　土器群 117 出土土器観察表（1）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 85 | 864 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | — | 9.2 | — | 口縁部及び肩部は横ヘラ磨き、頸部は縦ヘラ磨き、 | 口縁部上位は横ナデ、下位は横ヘラ磨き、頸部は指しほ、肩部は指圧痕・指爪先の圧痕 | 淡褐色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 頸部～底部欠損、外面全体及び内面口縁部は赤色顔料を施す |
| 85 | 865 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | — | 12.3 | — | 口縁部はヘラ磨き、頸部上位は斜刷毛目、頸部中位は縦ヘラ磨き、 | 口縁部は横ナデ、頸部上位はヘラ状工具による横ナデ、頸部上位～中位までは横ナデのちヘラ状工具による縦ナデ、頸部中位～下位はヘラシボリ | 灰褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～頸部残存、赤色顔料を外面全体及び内面口縁端部まで施す、内面には赤色顔料の飛沫がみられる |
| 85 | 866 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | — | 24 | — | 口縁部～頸部は横・斜ヘラ磨き、肩部は縦・斜ヘラ磨き | 口縁部は板状工具木口による横ナデ、頸部～肩部は同様に斜ナデ | 淡褐色 | 2㎜以下の石英、4㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～底部 1/2 欠損 |
| 85 | 867 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | 25.5 | 23 | 7.6 | 口縁部はヘラ状工具による横ナデ、頸部は板状工具木口による縦ナデ、肩部は板状工具による横ナデ、胴部は板状工具木口による縦ナデ | 口縁部は板状工具木口による横ナデ、肩部は板状工具木口による斜ナデ、胴部～底部はヘラ状工具斜ナデ | 褐色 | 2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/2 欠損、胴部上位 1/2 欠損，外面口縁部～底部まで赤色顔料を施す、内面の顔料は胴部下位から底部にかけて風化や磨滅のため明瞭さに欠ける |
| 85 | 868 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | — | — | 8.4 | 胴部下位にわずかに刷毛目痕がある、底部はナデ、その他は不明 | 胴部上位はナデ、下位は板状工具木口によるナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 4.5㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部欠損、外面全体にわたって器面の磨滅が著しい |
| 85 | 869 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | — | 11.7 | — | 口縁部は横ナデ、胴部は縦・斜刷毛目 | 口縁部は横ナデ、肩部は板状工具木口による横ナデ、胴部は縦・斜刷毛目 | 褐色 | 2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 3/4 欠損、胴部中位～底部欠損 |
| 85 | 870 | Ⅱ | 117 | X-5 | 脚付壺 | — | — | — | 頸部は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き | 頸部は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き | 淡灰褐色 | 3㎜以下の石英、4㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部及び脚部欠損、内面胴部には接合痕がある |
| 85 | 871 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | — | 32 | — | 口縁部は横ナデ、頸部は縦刷毛目、突帯は横ナデ、胴部は斜刷毛目 | 口縁部下位は横ナデ、頸部は横刷毛目、胴部横・斜刷毛目 | 明褐色 | 4.5㎜以下の石英、5.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/2 弱残存、胴部 1/2 欠損 |
| 86 | 872 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | 18.5 | 17.9 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦・斜刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ，底部には指圧痕ある | 淡灰褐色 | 2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/4 欠損、胴部 1/10 欠損 |
| 86 | 873 | Ⅱ | 117 | X-5 | 甕 | — | 19 | — | 口縁部は横ナデ、口縁部中位～胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、口縁部中位～胴部は横刷毛目、一部に指圧痕 | 褐色 | 1㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/4 残存、外面胴部には二次焼成痕がみられる、また煤の付着もある |
| 86 | 874 | Ⅱ | 117 | X-5 | 高坏 | — | 33 | — | 口縁部は横ヘラ磨き、胴部は磨滅が著しいがヘラ磨き | 口縁部は横ヘラ磨き、胴部は縦ヘラ磨き | 淡褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 坏部 1/2 弱残存 |

## 表 40　土器群 117 出土土器観察表（2）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 86 | 875 | Ⅱ | 117 | X-5 | 鉢 | 9.8 | 17.4 | 7.4 | 口縁部は横ナデ、胴部中位まで斜刷毛目、下位は刷毛目のちナデ消し、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ・指圧痕 | 淡褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～肩部 3/4 欠損 |
| 86 | 876 | Ⅱ | 117 | X-5 | 鉢 | 9.65 | 17 | | 口縁部は横ナデ、胴部～底部は斜刷毛目 | 口縁部は横刷毛目、胴部は斜刷毛目、底部はナデ・指圧痕 | 灰褐色 | 1㎜以下の石英、4㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～底部 1/2 欠損 |
| 86 | 877 | Ⅱ | 117 | X-5 | 鉢 | — | 28 | — | 口縁部は刷毛目のち横ナデ消し、胴部上位は縦刷毛目、中位～下位は粗い横・斜刷毛目 | 口縁部は横・斜刷毛目、胴部は斜刷毛目、 | 暗褐色 | 2㎜以下の石英、7㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/3 残存 |
| 86 | 878 | Ⅱ | 117 | X-5 | 甕 | 35.5 | 24 | — | 口縁部は横ナデ、肩部は縦刷毛目、胴部上位平行タタキ、胴部下位はヘラ状工具による強い縦ナデ | 口縁部は横刷毛目、胴部は斜・縦刷毛目、底部は指圧痕 | 外：灰褐色<br>内：暗褐色 | 5㎜以下の石英、105㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部下位 1/2 欠損、外面口縁部～胴部中位までには煤の付着が認められる、内面胴部下位～底部にかけて炭化物の付着がある |
| 86 | 879 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | — | — | 7.7 | 胴部上位～中央にかけて板状工具木口による縦ナデ、胴部下位は縦ヘラ磨き、底部は板状区具によるナデ | 胴部は板状工具木口による縦ナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 2㎜以下の石英、4㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部欠損、胴部は 1/2 欠損 |
| 87 | 880 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | 8.5 | 28.0 | — | 口縁部は横ナデか、口縁端部に刻み目、頸部は縦ヘラ磨き、突帯部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、他は不明（頸部付近は指圧痕あり） | 淡褐色 | 1.5㎜以下の石英く、3.0㎜以下の長石粒 | 良好 | 残存：口縁部～頸部 1/5<br>赤色顔料が外側全面、内側口縁部と一部に飛沫痕（器面は磨滅し不明瞭）<br>口縁端部の刻み目は磨滅著しく欠損箇所多し |
| 87 | 881 | Ⅱ | 117 | X-5 | 甕 | 13.0 | 24.0 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、肩部は指圧痕、胴部はナデ | — | 1.0㎜以下の石英・1.5㎜以下の長石粒 | — | 残存：口縁部～胴部 1/6<br>外側口縁部～胴部にスス付着 |
| 87 | 882 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | 8.0 | 9.8 | 4.0 | 横方向のヘラ磨き（磨滅あり）、底面はヘラ状工具によるナデか | 口縁部は横方向のヘラ磨き、他は指圧痕 | 淡褐色 | 3.0㎜以下の石英・2.0㎜以下の長石粒 | 良好 | 丹塗り無頸壺<br>欠損：口縁部～胴部 1/2<br>赤色顔料が外側口縁部～底部、内側口縁部下まで施されている。<br>穿孔が口縁部に 2ヵ所<br>外底は上底 |
| 87 | 883 | Ⅱ | 117 | X-5 | 壺 | 4.7 | 14.0 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、頸部はヘラ磨き、肩部はヘラ削り | 褐色 | 1.0㎜以下の石英が少なく、2.0㎜以下の長石粒・1㎜以下の雲母 | 良好 | 残存：口縁部～頸部 1/8 |
| 87 | 884 | Ⅱ | 117 | X-5 | 甕 | 7.3 | 12.5 | — | 口縁部は横ナデ、肩部はナデ・磨滅 | 口縁部は横ナデ、頸部はナデ、肩部は指圧痕（肩部付近に接合痕） | 淡褐色 | 1.5㎜以下の石英・3.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 残存：口縁部～胴部 1/3<br>外面は磨滅<br>内面肩部に接合痕 |
| 87 | 885 | Ⅱ | 117 | X-5 | 甕 | 10.7 | 22.0 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦方向の刷毛目・磨滅 | 口縁部は横ナデ、肩部は斜方向の強いナデ痕、胴部はナデ | 褐色 | 2.5㎜以下の石英・2.0㎜以下の長石粒、1.0㎜以下の白雲母 | 良好 | 残存：口縁部～胴部 1/4<br>器面全体に磨滅 |
| 87 | 886 | Ⅱ | 117 | X-5 | 高坏 | 8.75 | — | — | 刷毛目、突帯部は横ナデ | 刷毛目、突帯部は横ナデ | 暗褐色 | 1.0㎜以下の石英・長石粒、0.3㎜以下の雲母 | 良好 | 残存：裾部 1 / 8 弱 |
| 87 | 887 | Ⅱ | 117 | X-5 | 鉢 | 9.25 | 13.5 | 5.5 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ・磨滅、底部付近は指圧痕、底面はヘラ削り | 口縁部は横ナデ、胴部は指圧痕（中位は刷毛目も）、胴部下位はナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 1.5㎜以下の石英・4.0㎜以下の長石粒 | 良好 | 欠損：口縁部～胴部 3/4<br>残存：底部 |
| 87 | 888 | Ⅱ | 117 | X-5 | 小鉢 | 7.4 | 8.0 | 5.0 | 口縁部は横ナデ、他は指圧痕、底面はナデか | 口縁部は横ナデ、他はヘラ状工具による縦ナデ | 淡褐色 | 2.0㎜以下の石英・1.0㎜以下の長石粒 | 良好 | 手捏ね土器の小鉢<br>完形品<br>やや表面に磨滅あり |
| 87 | 889 | Ⅱ | 117 | X-5 | 小鉢 | 4.6 | 9.1 | 3.0 | 指圧痕、底部付近はナデ | 口縁部は横ナデ、他は指圧痕 | 淡褐色 | 4.5㎜以下の石英・1.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 手捏ね土器の小鉢<br>欠損：口縁部～底部 1/2 弱<br>外面胴部～底部にかけて黒斑<br>外底は小さく平底で安定 |
| 87 | 890 | Ⅱ | 117 | X-5 | 小鉢 | 4.2 | 7.1 | 3.0 | 指圧痕、底部付近はナデ | 口縁部は横ナデ、他は指圧痕 | 淡褐色 | 2.0㎜以下の石英・2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 手捏ね土器の小鉢<br>欠損：口縁部 1/3<br>外底は小さく平底で安定 |
| 87 | 891 | Ⅱ | 117 | X-5 | 小鉢 | 4.5 | 5.2 | — | 指圧痕 | 横ナデ、底部は指圧痕 | 淡褐色 | 1.0㎜以下の石英・1.0㎜以下の長石粒・1.0㎜以下の白雲母 | 良好 | 手捏ね土器の小鉢<br>欠損：口縁部～胴部 1/4<br>外底は尖頭状で黒斑あり |

## 表 41　土器群 118 出土土器観察表（1）

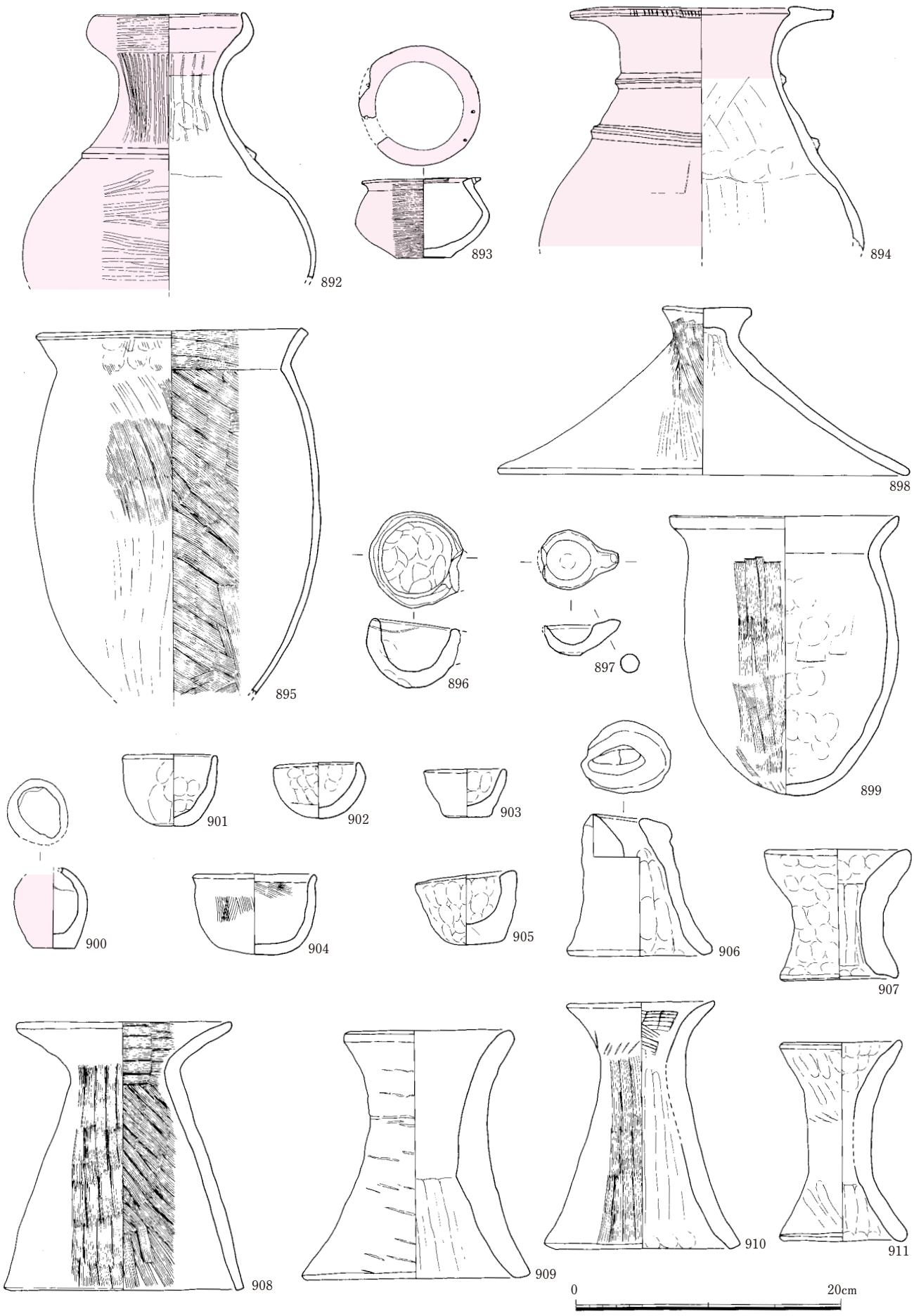
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 88 | 892 | Ⅱ | 118 | X-6 | 壺 | — | 11 | — | 口縁端部は横ナデ、口縁部は横へまミガキ、頸部は縦方向の暗文、肩部は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き | 口縁部は横ナデ、頸部はヘラ状工具による縦方向のナデ・指圧痕、肩部～胴部は横ナデ | 淡褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 胴部中位～底部欠損、外面全体及び内面頸部上位まで赤色顔料を施す、外面口縁部 1/5、胴部付近 1/8 弱に黒斑ある |
| 88 | 893 | Ⅱ | 118 | X-6 | 壺 | 5.9 | 8.8 | 4.0 | 口縁部～胴部までヘラ磨き、底部はナデ | 口縁部はヘラ磨き、胴部上位は横ナデ、胴部中位～底部はナデ | 茶褐色 | 1㎜以下の石英や長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/8 欠損、内外面全体に赤色顔料を施す、外底部には顔料が斑状につく、口縁部上面には 3 箇所に穿孔がのこる |
| 88 | 894 | Ⅱ | 118 | X-6 | 壺 | — | 19.8 | — | 口縁部～頸部突帯下は横ナデ、肩部は板状工具木口による横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部はヘラ削り、肩部は指圧痕・ナデ、一部はヘラ削りを施す | 淡褐色 | 2㎜以下の石英、3.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/8 欠損、胴部中位～底部欠損、口縁端部には二重刻み目が巡る、内面の赤色顔料は頸部付近まで施す |
| 88 | 895 | Ⅱ | 118 | X-6 | 甕 | — | 20.6 | — | 口縁部は刷毛目のち横ナデ・指圧痕、胴部中位までは粗い斜刷毛目・細い斜刷毛目、胴部下位は板状工具による縦ナデ | 口縁部～胴部は斜刷毛目 | 外：淡褐色<br>～明褐色<br>内：明褐色 | 1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/4 欠損、胴部 1/4 弱欠損、底部欠損、外面口縁部～胴部全体に煤付着 |
| 88 | 896 | Ⅱ | 118 | X-6 | 手づくね土器（匙） | 4.9 | 6.4 | — | 口縁端部は横ナデ、胴部～底部はナデ・指圧痕 | 口縁部～底部までナデ・指圧痕 | 褐色 | 2㎜以下の石英や長石粒 | 良好 | 把手は欠損、外面口縁部下に沈線が全体の 5/6 程度巡る |
| 88 | 897 | Ⅱ | 118 | X-6 | 手づくね土器（匙） | 2.3 | 4 | — | 口縁部～底部までナデ | 口縁部～底部までナデ | 淡褐色～淡灰褐色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒、1㎜以下の金雲母 | 良好 | 把手は短く作り出されている |
| 88 | 898 | Ⅱ | 118 | — | 蓋 | 12.6 | 6.9 | 31.0 | 天井部はナデ、頸部～胴部中位までは斜・縦刷毛目、胴部下位は縦ヘラ磨き、裾部は横ナデ | 天井部は指しほり、胴部はナデ、裾部は横ナデ | 明褐色 | 2.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 裾部 1/4 欠損 |
| 88 | 899 | Ⅱ | 118 | X-6 | 甕 | 21 | 17.2 | — | 口縁部は横ナデ、胴部～底部は縦刷毛目、 | 口縁部は横ナデ、胴部～底部まで指押さえのち板状工具木口による上方向のナデ | 淡灰褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/2 弱欠損、胴部 1/3 欠損、外面口縁端部～底部に煤付着、外面頸部～胴部下位には 1/6 の黒斑、外面胴部下位～底部は刷毛目が粗く一部にはヘラ削りのように砂粒の動きが見られる |
| 88 | 900 | Ⅱ | 118 | X-6 | 小鉢 or 壺 | 6.1 | 2 | 3.0 | 口縁端部は横ナデ、口縁部～胴部は板状工具木口によるナデ、底部はナデ | 口縁部～底部までナデ | 淡褐色 | 1.5㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/5 残存、外面には赤色顔料を施した痕跡ある |
| 88 | 901 | Ⅱ | 118 | X-6 | 小鉢 | 5.4 | 6.9 | 2.5 | 口縁端部は横ナデ、口縁部～胴部は指圧痕、底部はヘラナデ | 胴部上位はナデ、胴部中位～底部は指圧痕 | 褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒少なく含む、3.5㎜の赤色顔料が混じる | 良好 | 口縁部 1/2 弱欠損、外面口縁部～胴部にかけて赤色顔料が施されている痕跡あり、内面にも同様に見られる、外面胴部～底部にかけて黒斑が見られる |

## 表 42　土器群 118 出土土器観察表（2）

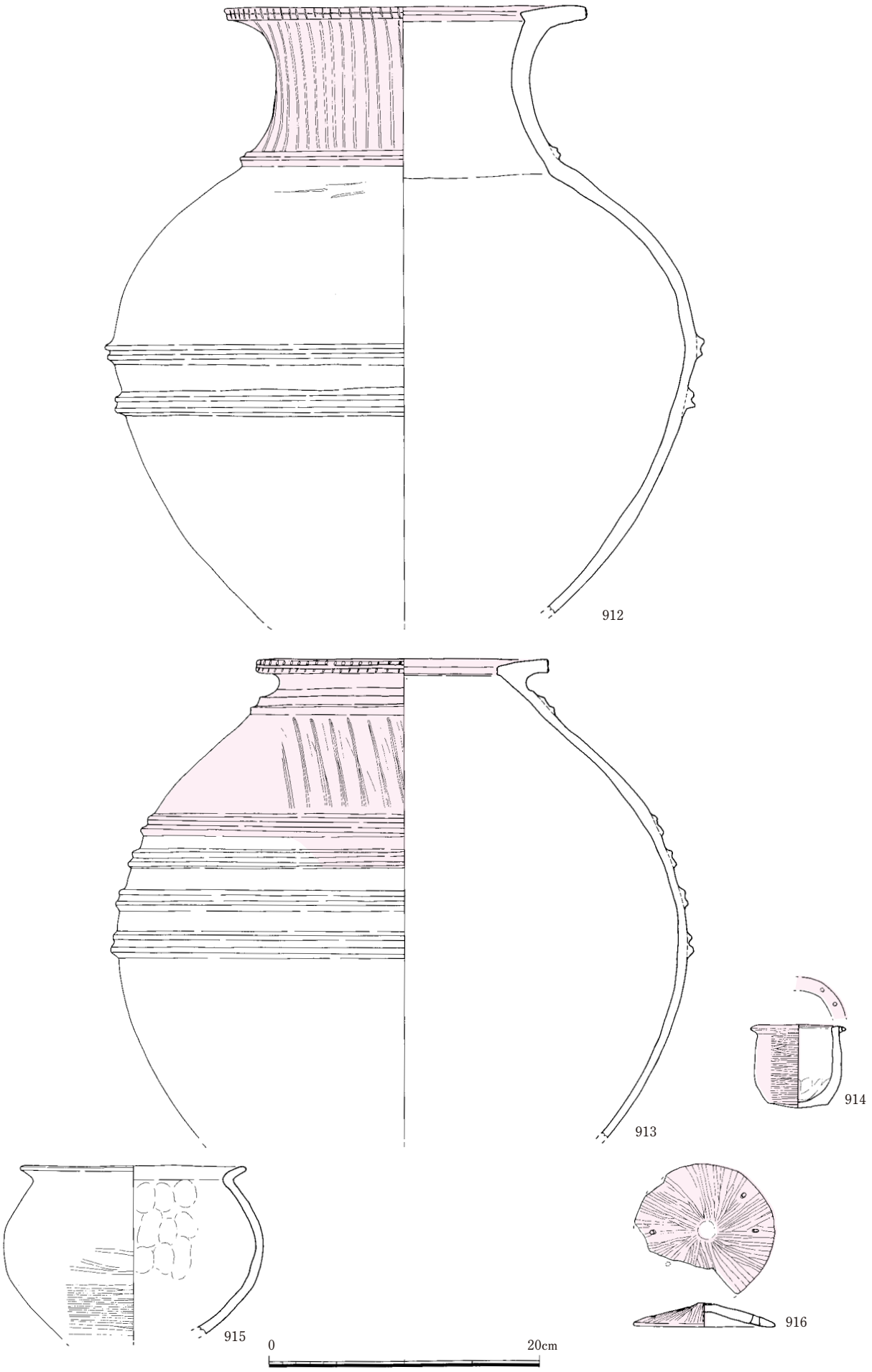
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 88 | 902 | Ⅱ | 118 | X-6 | 小鉢 | 4.1 | 6.6 | — | 口縁端部は横ナデ、口縁部～底部は指圧痕・ナデ | 口縁部～胴部中位は指圧痕・ナデ、胴部下位～底部はナデ | 暗褐色 | 2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 完形、外面胴部下位付近に接合痕あり |
| 88 | 903 | Ⅱ | 118 | X-6 | 小鉢 | 3.6 | 6.1 | 3.6 | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ | 胴部は指圧痕、底部はナデ | 褐色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/4 欠損 |
| 88 | 904 | Ⅱ | 118 | X-6 | 小鉢 | 6.1 | 9.3 | 5.8 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦・斜刷毛目、胴部下位は刷毛目のちナデ消し、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部上位は斜刷毛目、胴部下位は横ナデ、底部はナデ | 暗黄褐色 | 2.5㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/3 残存、底部 2/3 残存，外面胴部～底部にかけて黒斑あり |
| 88 | 905 | Ⅱ | 118 | X-6 | 小鉢 | 5.3 | 7.3 | 3.7 | 口縁部は横ナデ、胴部は指圧痕、底部はナデ | 口縁端部は横ナデ、口縁部～底部まで指圧痕 | 暗褐色～暗黄褐色 | 1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/4 欠損 |
| 88 | 906 | Ⅱ | 118 | X-6 | 支脚 | 10.65 | — | 11.0 | 口縁部はナデか、胴部はナデ、裾部は横ナデ | 口縁部はナデか、胴部は指押さえ | 褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 裾部 3/4 欠損、全体にわたって器面に磨滅あり |
| 88 | 907 | Ⅱ | 118 | X-6 | 器台 | 9.9 | 11.1 | 9.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は指圧痕、裾部は横ナデ | 口縁部は指圧痕、胴部はナデ、裾部は指圧痕 | 褐色～暗褐色 | 2㎜以下の石英、5㎜以下の長石粒 | 良苦 | 口縁部 1/4 欠損 |
| 88 | 908 | Ⅱ | 118 | X-6 | 器台 | 20.2 | 16.2 | 18.0 | 口縁端部は横ナデ、頸部は刷毛目のち横ナデ消し、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横刷毛目、頸部はナデ、胴部は斜刷毛目、裾部は横ナデ消し（縦刷毛目痕） | 褐色 | 2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 裾部 1/2 欠損、外面胴部に煤付着 |
| 88 | 909 | Ⅱ | 118 | X-6 | 器台 | 18.75 | 12.8 | 17.1 | 口縁部は横ナデ、胴部は板状工具木口による（幅 1.5㎝）による斜方向の短いナデ、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、胴部中位までナデ、胴部下位はヘラ状工具によるケズリ | 褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 3/4 弱欠損、裾部 1/2 欠損 |
| 88 | 910 | Ⅱ | 118 | X-6 | 器台 | 18.6 | 11 | 14.7 | 口縁部は横ナデ、口縁部下は板状工具木口による横ナデ、頸部はヘラ状工具による当て、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は横・斜刷毛目、鋼はナデ・指圧痕 | 淡褐色 | 2㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石粒、1㎜以下の金雲母 | 良好 | 口縁部 1/2 欠損 |
| 88 | 911 | Ⅱ | 118 | X-6 | 器台 | 15 | 9.2 | 9.6 | 口縁部は横ナデ、胴部は斜方向のナデ（指押さえ痕）、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ・指圧痕、胴部は横方向のヘラナデ、胴部下位は指押さ | 明褐色 | 2㎜以下の石英、5.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口仮縁部 2/3 弱欠損 |

## 表 43　土器群 120 出土土器観察表（1）

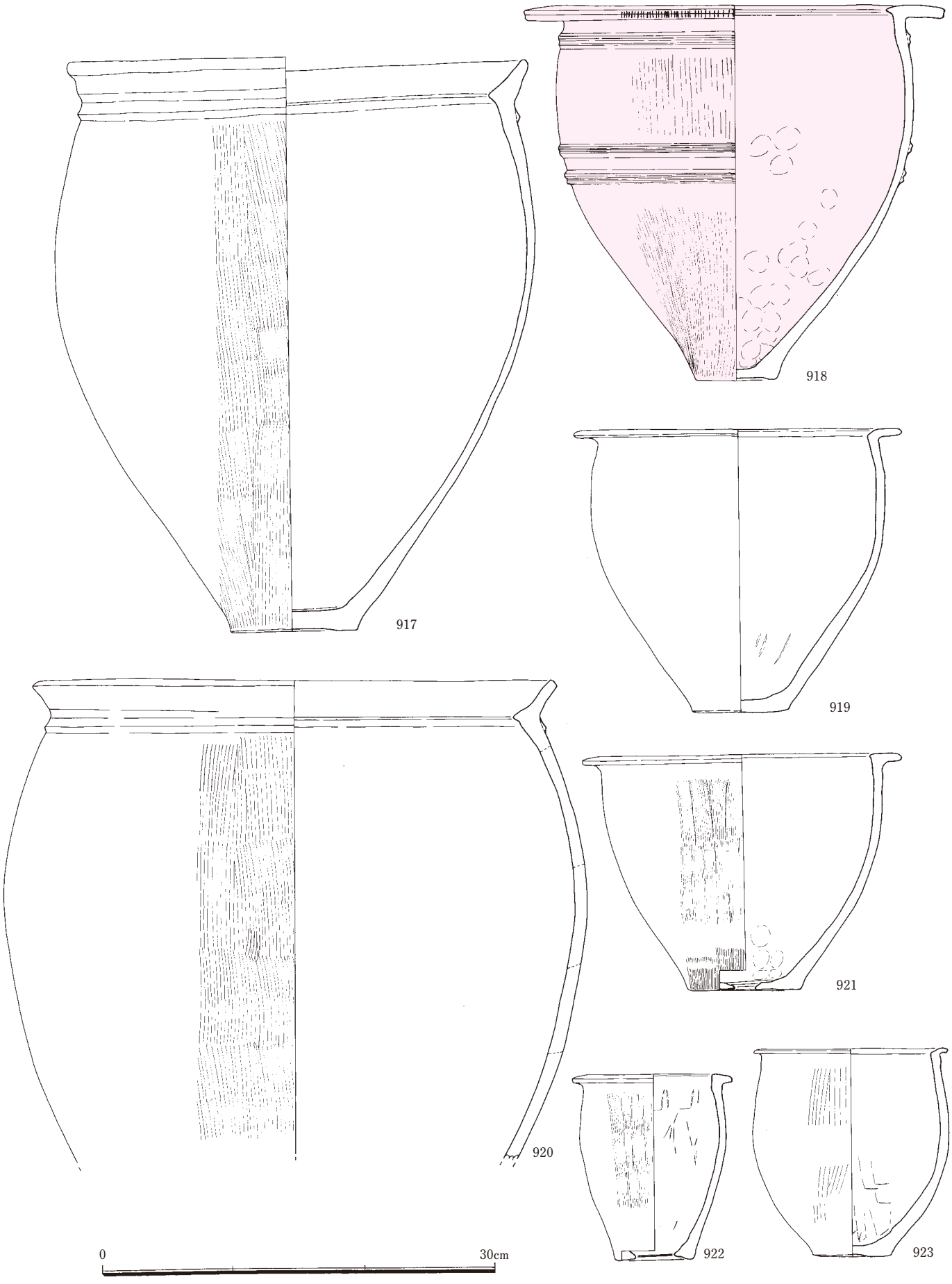
| 図 | No. | Ⅱ出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 89 | 912 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 壺 | — | 14.3 | — | 口縁部上面はナデ、頸部は暗文、肩部～突帯直上まで刷毛目後ナデ、突帯～胴部下位まで横ナデ | 口縁部～胴部までナデ？（剥落が著しい） | 暗黄灰色 | 長石粒、雲母、赤色顔料 | 良好 | 胴部下位から底部欠損、口縁端部は刻目が巡る |
| 89 | 913 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 壺 | — | 21.4 | — | 口縁端部～口縁部直下の突帯下までは横ナデ、肩部は暗文、胴部突帯は横ナデ、胴部中位～下位は横ナデのち黒塗りの研磨を施す | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | 灰褐色 | 石英や長石粒 | 良好 | 全体の 1/5 程残存、口縁端部の上下二重に施された刻目が巡る、口縁部上面～胴部突帯の二重目までに丹塗を施す |
| 89 | 914 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 小壺 | 6.1 | 9.0 | 4.5 | 口縁部は横ナデ、他は横方向のヘラ磨き、底面はヘラ削り | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ状工具ナデ、底部付近は指圧痕 | 茶褐色 | 1.5㎜以下の石英、1.0㎜以下の長石粒 | 良好 | 丹塗りの小壺<br>欠損：口縁部～胴部下位 1/2<br>前面に赤色顔料<br>口縁部上面に穿孔が 2 カ所（対称位置に施しているようだ） |
| 89 | 915 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 壺 | — | 18.6 | — | 口縁部は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ・指圧痕 | 褐色 | 1㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/3 欠損、底部欠損 |
| 89 | 916 | Ⅱ | 120 | W-6 | 蓋 | 1.7 | 10.4 | — | 口縁部～天井部はヘラ磨き、 | 口縁部～天井部ナデ・指圧痕（天井部のみ） | 褐色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/3 欠損,穿孔（焼成前）が 3 箇所に残存、天井部外面の顔料は剥ぎ取る |
| 90 | 917 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 甕 | 43.7 | 34.6 | 9.5 | 口縁部は横ナデ，突帯～胴部は刷毛目、底部はナデ | 口縁部～胴部上位まで横ナデ、他はナデ | 灰褐色～赤褐色 | 石英、長石の粒子 | 良好 | 胴部下方の一部を欠くがほぼ完形 |
| 90 | 918 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 甕 | 29.5 | 32 | 6.6 | 口縁部は横ナデ、胴部上位は縦刷毛目、突帯は横ナデ胴部下位は縦ヘラ磨き、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はなで・指圧痕 | 褐色 | 1㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/4 欠損、外底部以外は全面赤色顔料を施す、口縁端部には上下二重に刻み目が巡る |
| 90 | 919 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 甕 | 21.5 | 24.9 | 7.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は不明、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は～底部はナデだが胴部下位に板状工具によるナデ（木口の圧痕） | 外：赤褐色～褐色<br>内：暗褐色 | 3.5㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 2/3 欠損、外面胴部には二次焼成痕がある |
| 90 | 920 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 甕 | — | 39.5 | — | 口縁部～突帯直下までは横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部上位～中位は縦刷毛目 | 灰褐色 | 石英、長石粒、赤褐色粒子 | 良好 | 全体の 3/4 程残存 |
| 90 | 921 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 甑 | 17.9 | 24.3 | 8.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部中位まではナデ、胴部下位～底部はナデ・指圧痕 | 褐色 | 1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/2 弱欠損、底部に穿孔（焼成後）あり、外面の一部には煤の付着がみられる |
| 90 | 922 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 甑 | 14.1 | 12.1 | 6.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は中位まで縦刷毛目、胴部下位～底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ状工具によるナデ | 外：淡赤褐色～暗褐色<br>内：暗褐色 | 1㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/2 弱欠損、底部に穿孔（焼成後）あり、外面の一部には煤の付着がみられる |
| 90 | 923 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 壺 | 20.0 | 15.0 | 6.0 | 口縁部は横ナデ、他は刷毛目（磨滅）、底部付近は横ナデ、底面はナデ | 板状工具木口によるナデ | 外：淡赤褐色～淡褐色<br>内：淡褐色 | 2.0㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/4<br>外面胴部中位～底面にスス付着 |
| 91 | 924 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 高坏 | — | 28.4 | — | 口縁部～胴部までは横ヘラ磨き、底部付近では斜・横ヘラ磨き | 口縁部～胴部は横ヘラ磨き、底部は縦ヘラ磨き | 淡褐色 | 1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁端部 1/2 欠損、胴部 1/2 弱欠損 |
| 91 | 925 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 蓋 | 9.8 | — | 28.0 | 天井部上面はナデ、天井部側面は横ナデ、胴部は縦・斜刷毛目、口縁部は横ナデ | 天井部は指押さえ、胴部～口縁部は横ナデ | 褐色 | 2㎜以下の石英、6㎜以下の長石粒 | 良好 | 天井部～口縁部 3/4 欠損、内面及び外面口縁部に炭化物の付着あり |
| 91 | 926 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 高坏 | — | 29.2 | — | 口縁部～底部まで横ヘラ磨き | 口縁部～底部まで横ヘラ磨き | 外：淡灰褐色<br>内：淡褐色 | 2㎜以下の石英や長石粒 | 良好 | 坏部 3/4 弱残存、器面全体に磨滅が著しいため赤色顔料も分的にか認められない |
| 91 | 927 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 高坏 | — | 23.7 | — | 口縁部上面は横ナデ、胴部は磨滅のため不明、胴部下位は横ヘラ磨き、筒部は縦ヘラ磨き | 口縁部は横ナデ、胴部～底部は横ヘラ磨き | 外：淡褐色～淡灰褐色<br>内：淡赤褐色～淡褐色 | 2.5㎜以下の石英、4㎜以下の長石粒、0.3㎜以下の金雲母、白雲母 | 良好 | 口縁端部欠損、筒部欠損 |
| 91 | 928 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 片口の鉢 | — | 14.2 | — | 口縁部～胴部下位は斜・縦刷毛目、胴部中位～下位にかけてはナデ | 口縁部～胴部中位までは斜・横刷毛目、胴部中位～下位にかけてはナデ | 淡褐色 | 2㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/8 残存、胴部 1/3 残存 |
| 91 | 929 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 壺 | 15.9 | 9.9 | — | 口縁部は横ナデ、頸部中位は縦刷毛目、頸部下位は横ナデ、肩部～胴部中位は縦・斜刷毛目、胴部中位～底部はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は斜刷毛目、肩部はナデ，胴部上位縦刷毛目、胴部中位～底部はナデ | 外：明褐色～淡褐色<br>内：淡褐色 | 1.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁端部 1/6 欠損、胴部 1/20 弱欠損 |
| 91 | 930 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 鉢 | 9.95 | 14 | 6.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ状工具によるナデ、底部はナデ | 淡灰褐色 | 4㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/2 欠損、外面胴部に黒斑がある |



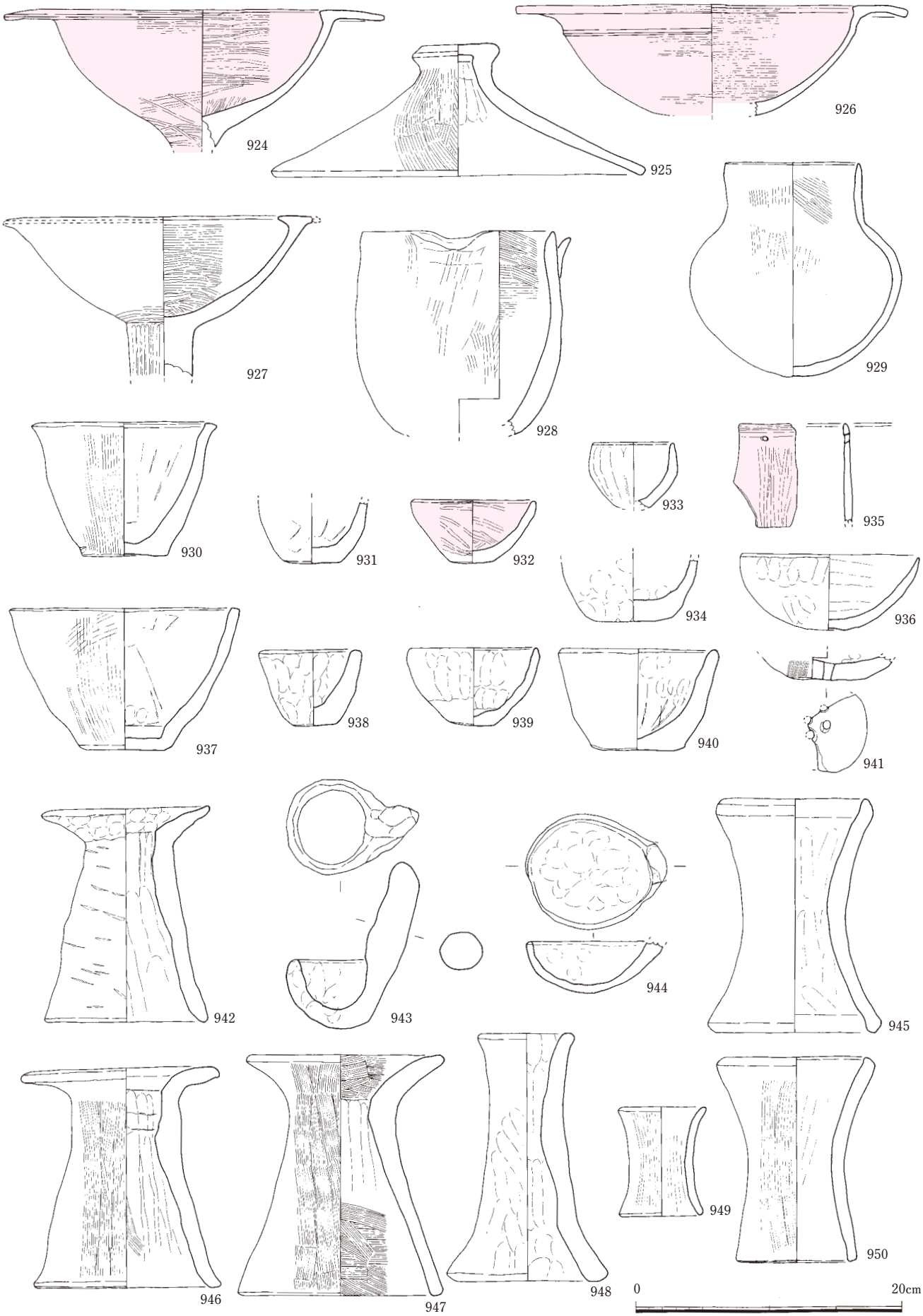

**第 88 図**　土器群 118 出土土器実測図 [ 1/ 4]




**第 89 図**　土器群 120 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 90 図**　土器群 120 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]



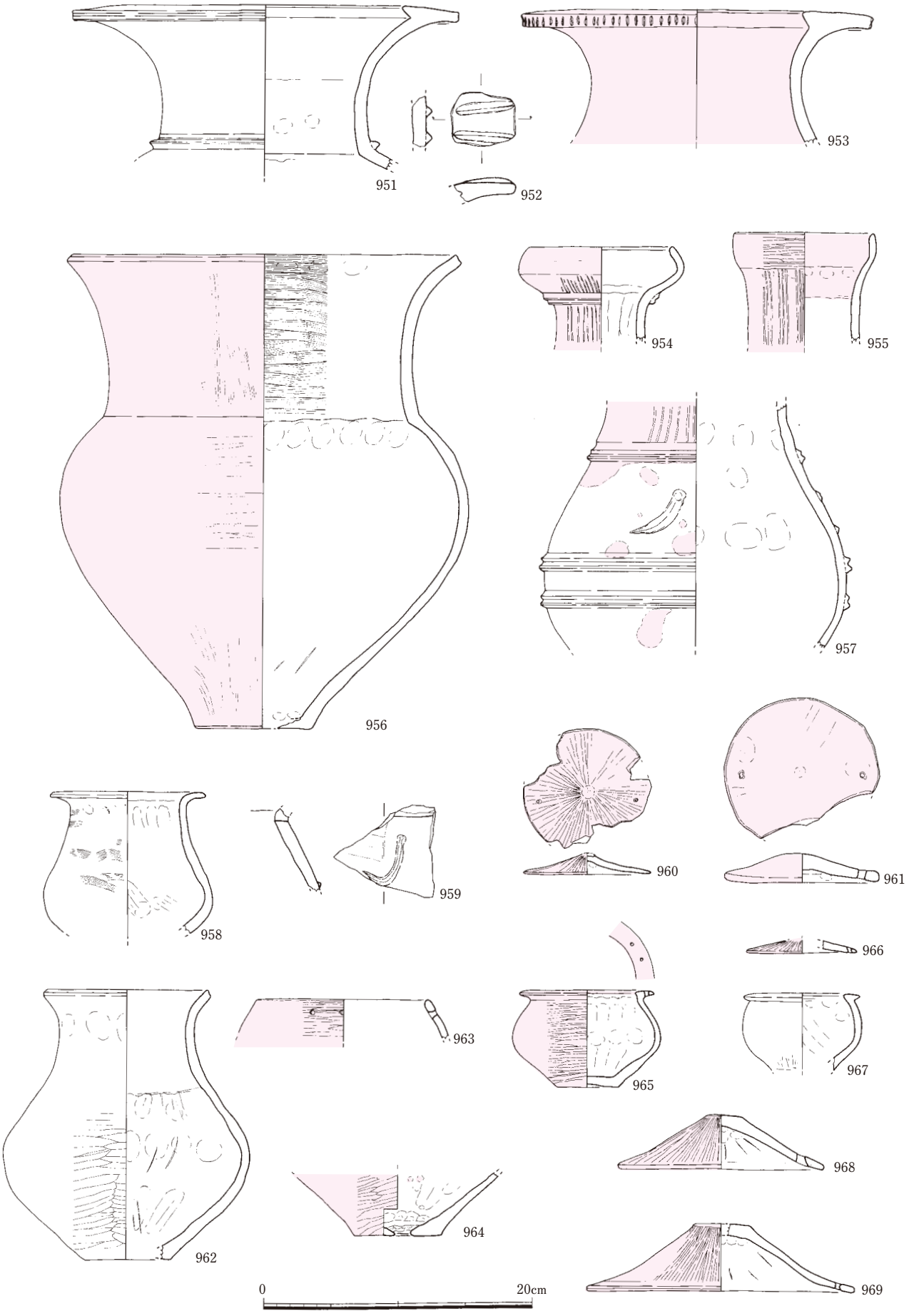

**第 91 図**　土器群 120 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]

## 表 44　土器群 120 出土土器観察表（2）

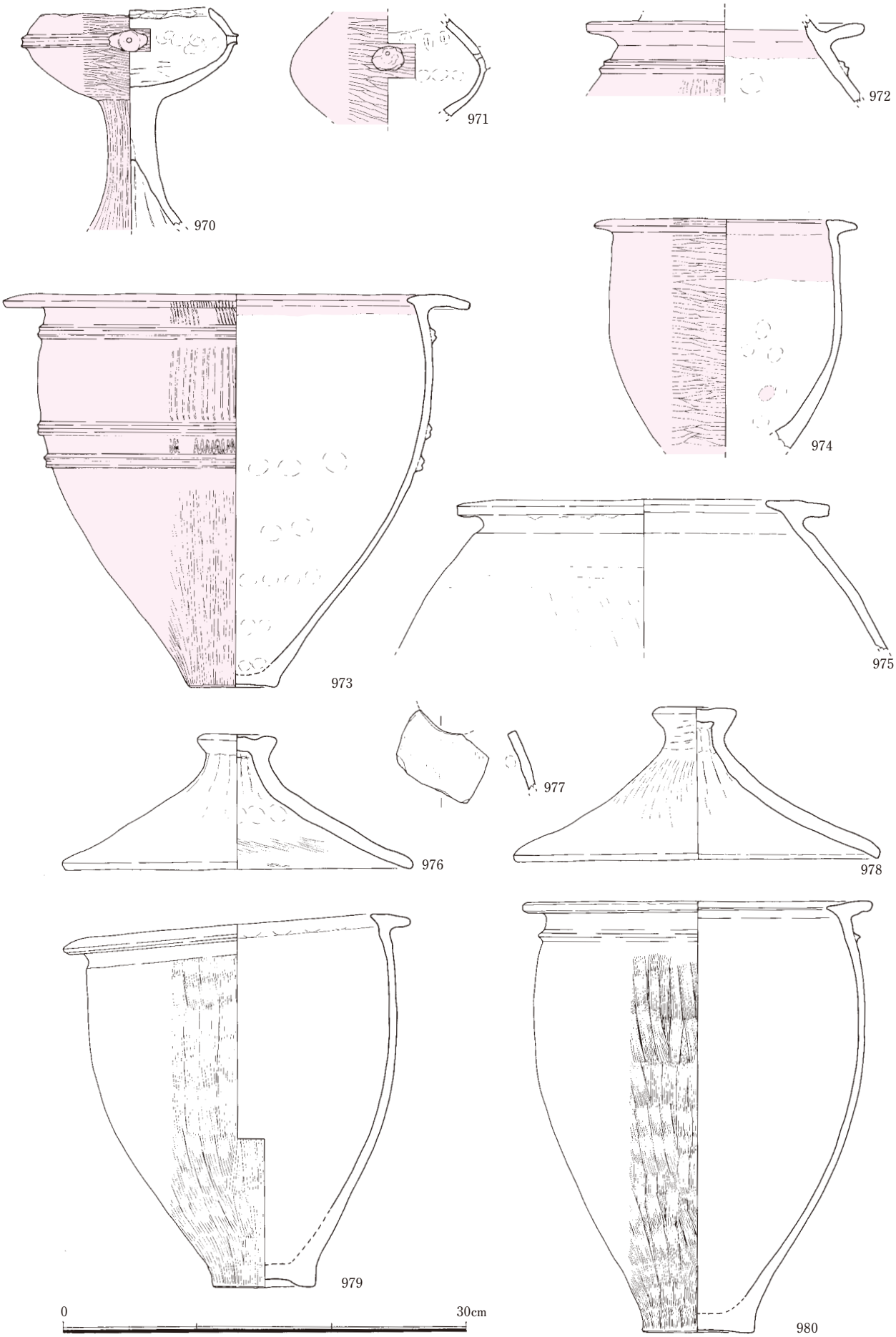
| 図 | No. | Ⅱ出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 91 | 931 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 小鉢 | — | 7.7 | 4.4 | 胴部上位～底部まで板状工具木口によるナデ | 胴部上位～底部まで板状工具木口によるナデ | 淡灰褐色 | 1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部欠損、胴部 1/2 欠損、内外面ともに工具の圧痕がある、外面胴部～底部にかけて一部黒斑がある |
| 91 | 932 | Ⅱ | 120 | W-6 | 小鉢 | 4.75 | 9.9 | 3.3 | 横・斜粗いヘラ磨き | 横・斜粗いヘラ磨き | 褐色 | 2㎜以下の石英や長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/4 残存 |
| 91 | 933 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 小鉢 | 6.2 | — | — | 口縁端部ｂ横ナデ、胴部は指圧痕 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | 褐色 | 2.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒、0.5㎜以下の金雲母 | 良好 | 口縁部～底部 1/3 残存 |
| 91 | 934 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 鉢 | — | — | 6.0 | 胴部上位～底部までナデ・指圧痕 | 胴部上位～底部までナデ・指圧痕 | 外：淡赤褐色～灰褐色<br>内：暗褐色 | 3㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒比較的多く含む | 良好 | 口縁部欠損、胴部 1/2 欠損 |
| 91 | 935 | Ⅱ | 120 | W-6 | 鉢 | — | — | — | 口縁部は横ヘラ磨き、胴部は縦ヘラ磨き | 口縁部～胴部上位は横ヘラ磨き、胴部中位から下はヘラ磨き | 褐色 | 1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部片、1/8 弱残存、外面全体及び内面口縁部には赤色顔料を施す、口縁直下には穿孔が（焼成前）外側から穿たれる |
| 91 | 936 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 鉢 | 5.5 | 14.35 | — | 口縁端部～底部までナデ・指圧痕 | 口縁端部～底部まで横ナデ | 褐色 | 1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部 1/4 欠損 |
| 91 | 937 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 鉢 | 10.65 | 17.6 | 6.0 | 口縁端部ナデ、胴部は横・斜刷毛目、底部はナデ | 胴部は板状工具によるナデ、胴部下位は指圧痕、底部はナデ | 褐色 | 3㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～底部 1/2 弱欠損 |
| 91 | 938 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 手づくね土器 | 5.65 | 7.7 | 3.2 | 口縁端部は横ナデ、胴部は指圧痕、底部はナデ | 胴部～底部は指圧痕 | 淡灰褐色 | 1.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部中位 1/3 欠損 |
| 91 | 939 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 鉢 | 5.8 | 9.4 | 3.5 | 口縁部～底部までナデ、胴部には指圧痕 | 口縁部～底部までナデ、胴部には指圧痕 | 外：褐色～灰褐色<br>内：暗褐色 | 1.5㎜以下の石英、2.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/2 欠損 |
| 91 | 940 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 鉢 | 7.5 | 12 | 7.1 | 口縁部～底部までナデ | 口縁部～胴部中位は指押さえ、胴部下位～底部はヘラ状工具によるナデ | 淡灰褐色 | 2.5㎜以下の石英や長石粒、0.3㎜以下の金雲母、白雲 | 良好 | 口縁部～底部 1/3 残存、内面にヘラ状工具による強い縦方向のナデを施す |
| 91 | 941 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 甕 | 1.85 | 6.0 | — | 細かい刷毛目痕、底面はナデ | 指圧痕 | 外：淡赤褐色<br>内：褐色 | 1.5㎜以下の石英、3.0㎜以下の長石粒 | 良好 | 残存：底部 1/4<br>底部には 4 ヶ所穿孔（内側から外側へ） |
| 91 | 942 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 器台 | 15.9 | 12.6 | 11.8 | 口縁端部は横ナデ、頸部は指圧圧痕、胴部はヘラ状工具によるナデ（強い圧痕がみられる）、裾部は横ナデ | 頸部は指圧圧痕、胴部は指押さえ、裾部は横ナデ | 灰褐色～淡褐色 | 2.5㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒、0.5㎜以下の金雲母 | 良好 | 口縁部 1/2 欠損、裾部 1/6 残存 |
| 91 | 943 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 柄杓形土製品 | 長さ 12.5 | 5.9 | — | ナデ・指押さえ | ナデ・指押さえ | 淡灰褐色 | 2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | ほぼ完形 |
| 91 | 944 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 柄杓形土製品 | — | 8.4 | — | 全面ナデ | 全面にナデ及び胴部中位～底部にかけて指圧痕 | 外：褐色<br>内：褐色～灰黒色 | 2㎜以下の石英、4.5㎜以下の長石粒 | 良好 | 把手欠損 |
| 91 | 945 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 器台 | 17.4 | 11.8 | 13.0 | 口縁端部～裾端部までヘラ磨き？ | 口縁端部はナデ、胴部は指押さえ、裾部はナデ | 赤褐色 | 1㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～底部 1/2 弱欠損 |
| 91 | 946 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 器台 | 16.5 | 14.8 | 14.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は板状工具による横ナデ、胴部上位～下位まで指押さえ、胴部下位には刷毛目痕がある、裾部は横ナデ | 暗褐色 | 2㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁端部 1/3 欠損、外胴部下位～裾部 2/3 欠損 |
| 91 | 947 | Ⅱ | 120 | W-6 | 器台 | 18 | 14.9 | 15.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横刷毛目ナデ、胴部中位はナデ、胴部下位は横・斜刷毛目 | 外：褐色～淡褐色<br>内：褐色 | 2.5㎜以下の石英、3㎜以下の長石粒 | 良好 | 完形 |
| 91 | 948 | Ⅱ | 120 | | 器台 | 18.5 | 7.2 | 12.0 | 口縁端部は横ナデ、胴部は指押さえ、底部は横ナデ、 | 胴部はナデ | 外：褐色<br>内：明褐色 | 3㎜以下の石英、2㎜以下の長石粒 | 良好 | 口縁部～底部 1/2 欠損 |
| 91 | 949 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 器台 | 8.2 | 6.6 | 6.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦ヘラ磨き、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は縦ヘラ磨き、裾部は横ナデ | 外：灰褐色<br>内：灰黒色 | 2㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒、雲母 | 良好 | 口縁部 1/10 及び裾部 1/2 欠損、外面全体に赤色顔料を施す |
| 91 | 950 | Ⅱ | 120 | X-6- N | 器台 | 15.3 | 11.9 | 9.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、胴部はヘラ状工具による斜・縦方向のナデ、裾部は横ナデ | 褐色 | 1.5㎜以下の石英や長石粒 | 良好 | 口縁部～裾部 1/2 欠損 |

## 表 45　土器群 123 出土土器観察表（1）

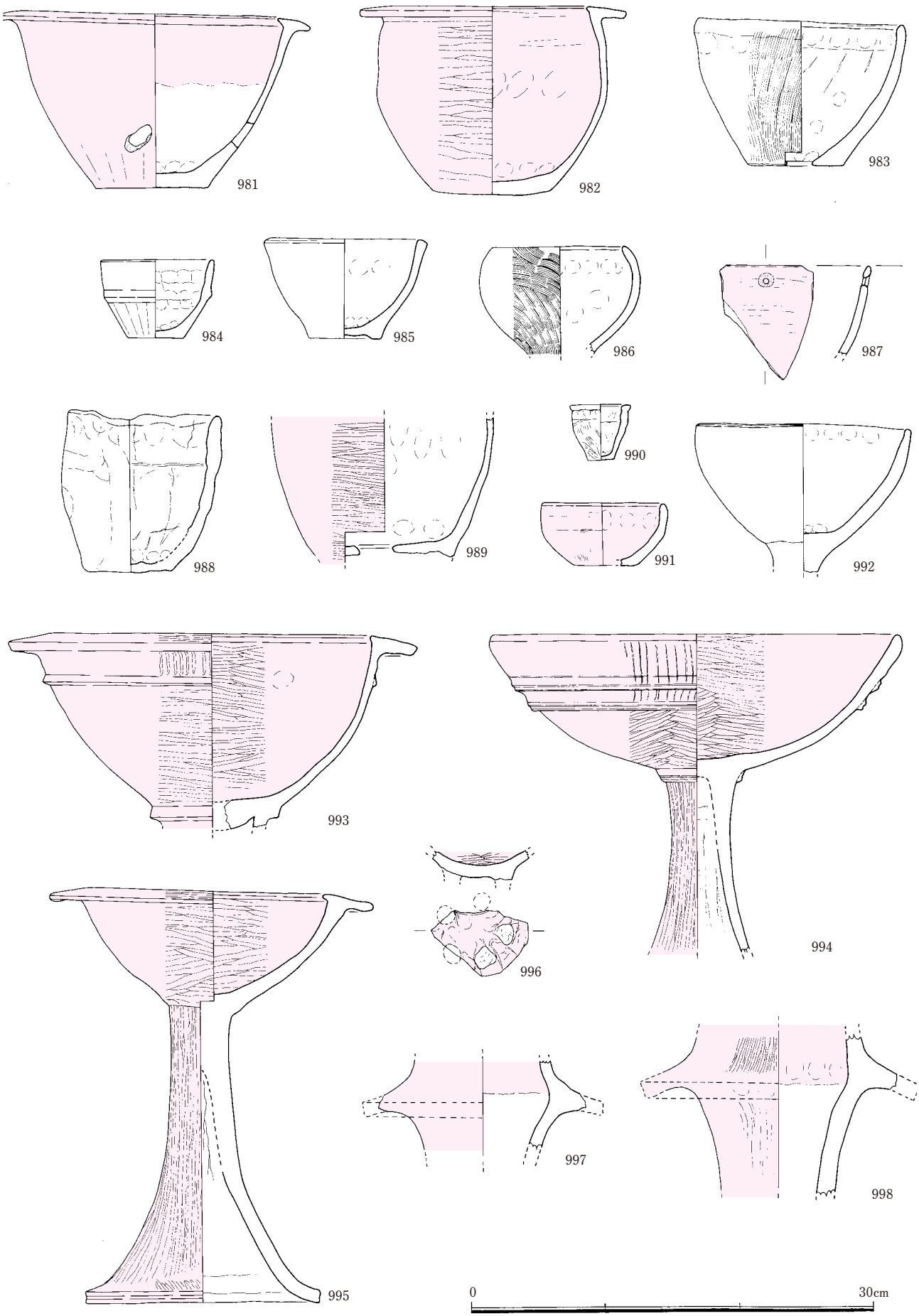
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 92 | 951 | Ⅱ | 123 | W-6- S | 壺 | — | 28.6 | — | 口縁部上面～頸部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部～肩部はナデ | 橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、2㎜以下の赤色粒子 | 良好 | 口縁部～肩部 1/2 残存 |
| 92 | 952 | Ⅱ | 123 | W-6 | 土器片 | — | — | — | 口縁端部には沈線、その他は磨滅のため不明 | 磨滅のため不明 | 橙色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 外面に紐状の粘土を縦方向に張り付、表側に丹塗？下には小さな抉りがある |
| 92 | 953 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 壺 | — | 26.0 | — | 口縁部上面は横ナデ、口縁端部は刻み目が巡る、頸部は横ナデ | 口縁部は磨滅が著しいため不明 | にぶい黄橙色～にぶい橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒 | 不良 | 口縁部～頸部 2/3 残存 |
| 92 | 954 | Ⅱ | 123 | W-6- S | 壺 | — | 10.6 | — | 口縁部上位は横ナデ、下位は暗文、突帯は横ナデ、頸部は暗文 | 口縁部は横ナデ、頸部は縦方向指押さえ | 外：褐色<br>内：灰黄褐色 | 1㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部から頸部 5/6 残存、外面全体に丹塗を施す |
| 92 | 955 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 長頸壺 | — | 8.2 | — | 口縁部は横ヘラ磨き、頸部は縦ヘラ磨き | 口縁部は横ヘラ磨き、頸部はナデ・指圧痕 | にぶい黄橙色 | 精緻、1㎜以下の石英、長石粒及び橙色粒子 | 良好 | 口縁部～頸部 1/3 弱残存、全面に丹塗を施す |
| 92 | 956 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 壺 | 35.2 | 29 | 8.7 | 口縁部～頸部は縦方向の暗文？（磨滅が著しい）、肩部は横ヘラ磨き、胴部中位～下位は縦ヘラ磨き、底部はケズリ | 口縁部～頸部は横刷毛目、胴部～底部はナデ、頸部と肩部の境と底部は指押さえ | 橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒を含む | 普通 | 全体の 2/3 残存、丹塗を底部を除く全外面と内面口縁部下まで施す |
| 92 | 957 | Ⅱ | 123 | W-5 | 壺 | — | — | — | 頸部は縦ヘラ磨き（暗文風）、胴部は横ナデ | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 精緻、白色微粒子 | 良好 | 胴部上位に鉤形の隆起線文を施す、頸部には丹塗、胴部には赤色顔料の飛沫あり |
| 92 | 958 | Ⅱ | 123 | W-5 | 壺 | — | 11.5 | — | 口縁部横ナデ、肩部～胴部は横刷毛目（磨滅あり） | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/5 残存、口縁部は歪む |
| 92 | 959 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 土器片 | — | — | — | 板状工具による横ナデ・ナデ | 横ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒、赤色粒 | 良好 | 長さ 3.5㎝程の細い粘土紐で鉤を外面に張り付ける |
| 92 | 960 | Ⅱ | 123 | W-5 | 蓋 | 1.5 | 9.4 | — | 天井部を除きヘラ磨き | ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の白色粒、雲母 | 良好 | 全体の 7/8 残存　穿孔（焼成前）が 2 箇所にある |



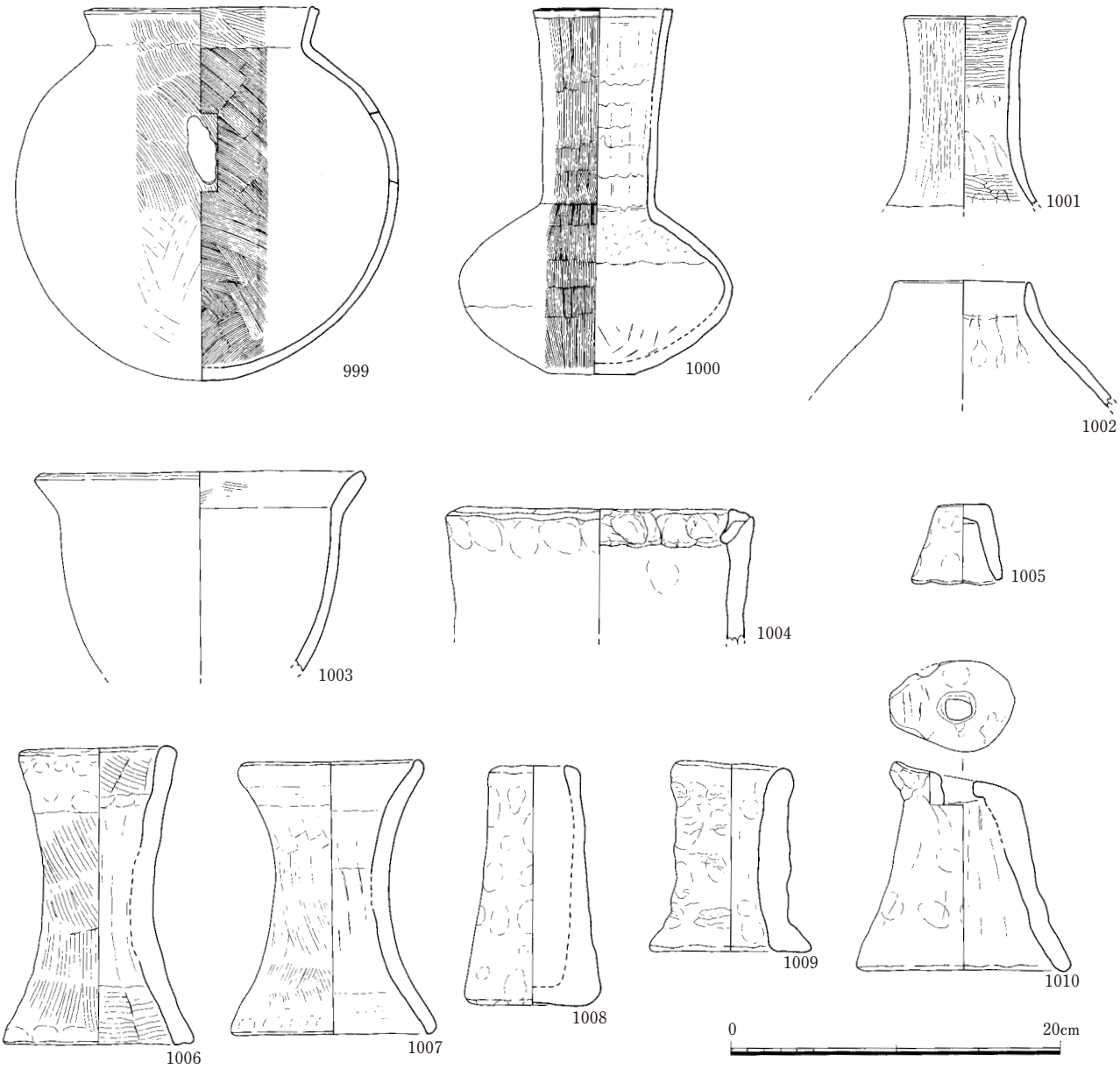

**第 92 図**　土器群 123 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 93 図**　土器群 123 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]




**第 94 図**　土器群 123 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]



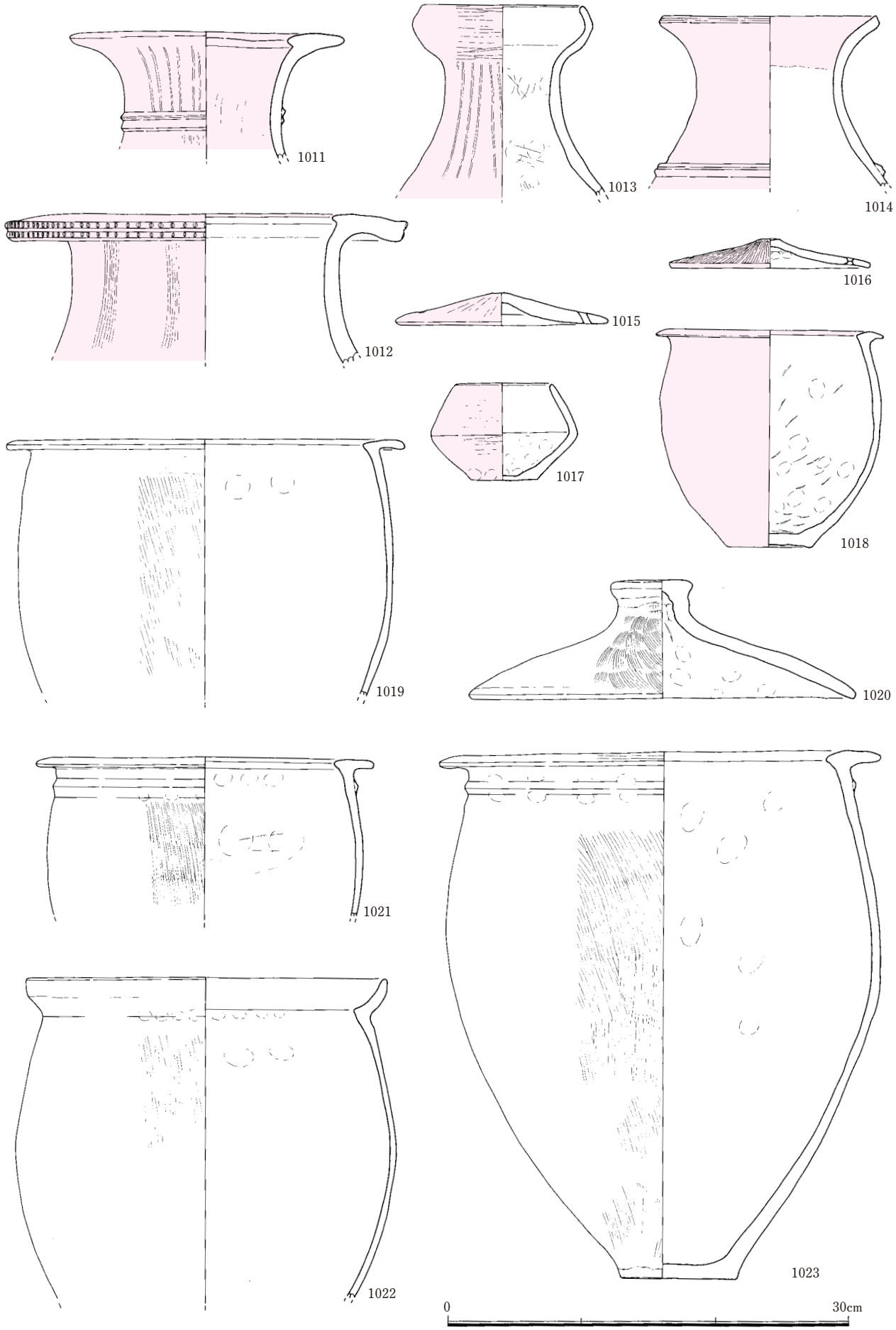

**第 95 図**　土器群 123 出土土器実測図（4）[ 1/ 4]

**表 46**　土器群 123 出土土器観察表（2）

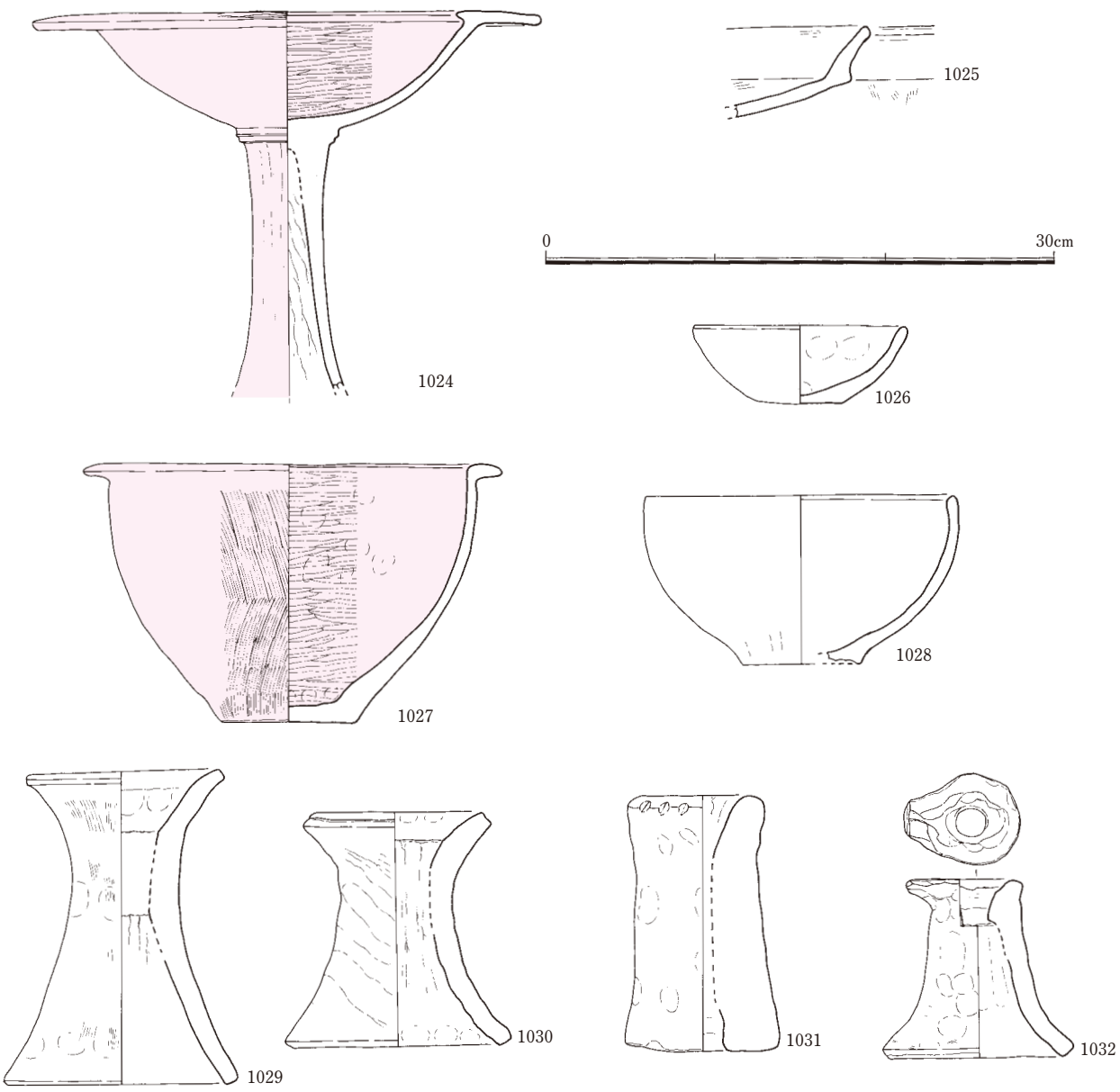
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 92 | 961 | Ⅱ | 123 | W-6 | 蓋 | 2.2 | 11.4 | — | ナデ・指押さえ | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 粗い、2㎜以下の石英及び長石粒、雲母 | 良好 | 全体の 5/6 残存　穿孔（焼成前）が 2 箇所にある |
| 92 | 962 | Ⅱ | 123 | W-5 | 壺 | 20.0 | 12.2 | 6.6 | 口縁端部には沈線、頸部～肩部は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き | 口縁部～肩部までナデ、胴部中位は指押さえ、下位はナデ | 外面の一部はにぶい黄橙色、その他は内外とも黒色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 普通 | 口縁部～底部 1/3 残存 |
| 92 | 963 | Ⅱ | 123 | W-5 | 鉢？ | — | 12.6 | — | 全面横ヘラ磨き？ | 口縁部は横ナデ、口縁部下はナデ | 外：丹塗？<br>内：にぶい黄橙色 | 精緻、白色微粒子 | 良好 | 口縁部に穿孔（焼成前）2 箇所あり、外面は丹塗？ |
| 92 | 964 | Ⅱ | 123 | W-6 | 壺 | — | — | 6.4 | 胴部は斜ヘラ磨き、底部は器面が剥離のため不明 | 胴部はナデ、底部は指押さえ | 灰黄褐色 | 精緻、白色微粒子 | 普通 | 底部に穿孔（焼成後）あり、内部には丹塗の飛沫が数ヶ所にある |
| 92 | 965 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 無形壺 | 7.2 | 10.0 | 4.0 | 口縁部上面は不明、口縁部～胴部は横ヘラ磨き、底部はナデ | 口縁部～底部まで指押さえ | にぶい赤褐色 | 精緻、微粒の白色粒 | 普通 | 全体の 5/6 残存、口縁部には穿孔（焼成後）が 2 箇所ある、口縁部上面～外面胴部に丹塗を施す、外底や内側は不明 |
| 92 | 966 | Ⅱ | 123 | W-5 | 蓋 | — | 8.2 | — | 縦ヘラ磨き | ナデ | 橙色 | 精緻、1㎜以下の白色粒 | 良好 | 口縁部～胴部 1/4 弱残存、天井部欠損、口縁部には穿孔（焼成前）、全面に丹塗 |
| 92 | 967 | Ⅱ | 123 | W-5 | 無頸部 | — | 8.6 | — | 口縁部上面は横ナデ、口縁部下は横ナデ、胴部はナデ | 胴部はナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒及び雲母、橙色粒子 | 普通 | 口縁部～胴部 1/4 弱残存、底部欠損 |
| 92 | 968 | Ⅱ | 123 | W-5 | 蓋 | 4.1 | 15.2 | 2.6 | 天井部はナデ、胴部は縦方向のヘラ磨き | 天井部～胴部はナデ・指押さえ、口縁部は横ナデ | 橙色 | 精緻、微粒の白色粒、雲母 | 良好 | 全体の 1/4 残存　穿孔（焼成前）が 2 箇所にある |
| 92 | 969 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 蓋 | 5.9 | 19.6 | 4.0 | 天井部はナデ、胴部は縦ヘラ磨き、口縁部は横ナデ | 天井部は指押さえ、胴部はナデ、口縁部は横ナデ | 外：丹塗、<br>内：にぶい褐色 | 精緻、2㎜以下の微粒の白色粒 | 良好 | 全体の 1/4 残存　穿孔（焼成前）が 2 箇所にある、 天井部から口縁部先端まで丹塗を施す |

## 表 47　土器群 123 出土土器観察表（3）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 93 | 970 | Ⅱ | 123 | W-6- S | 注口土器 | — | — | — | 坏部は横ヘラ磨き、脚部は縦ヘラ磨き | 坏部は指押さえ・ヘラ状工具の圧痕、脚部はナデ | 橙色 | 精緻 | 良好 | 口縁部は打ち欠き、胴部突帯には穿孔（焼成前）があり注口を貼り付ける、外面全体と内面口縁部は丹塗、坏部内面には丹塗の飛沫、脚部内面は丹塗の痕跡 |
| 93 | 971 | Ⅱ | 123 | W-6 | 壺 | — | — | — | 胴部全面は横ヘラ磨き | 指押さえ・ナデ | 外：朱色<br>内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 胴部中位よりやや上方向に穿孔（焼成前）、注ぎ口の痕跡あり、外面に丹塗 |
| 93 | 972 | Ⅱ | 123 | W-6 | 壺 | — | — | — | 口縁部は横ナデ、突帯下は縦ヘラ磨き | 横ナデ・指圧痕 | にぶい黄橙色 | 精緻、白色微粒子及び雲母を含む | 普通 | 口縁端部欠損、口縁部～肩部の小片、内面肩部以外は丹塗 |
| 93 | 973 | Ⅱ | 123 | W-6- S | 甕 | 29 | 34.6 | 6.4 | 口縁部上面は横ナデ、口縁端部は刻み目が巡る、口縁部下から胴部突帯まで縦の暗文、胴部中位突帯下横ナデ、胴部下位は縦ヘラ磨き、底部はケズリ | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ・指押さえ | 橙色 | 精緻、3㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 7/8 残存、丹塗りは外底部以外の全面に施す |
| 93 | 974 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 鉢 | — | 19.4 | — | 口縁部上面～胴部は横ヘラ磨き | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | 外：橙色<br>内：浅い橙色 | 1㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 全体の 1/5 弱残存、丹塗りを外面全体と内面口縁部下まで施す |
| 93 | 975 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 壺 | — | 27.7 | — | 口縁部上面は横ナデ、口縁部は横ナデ、肩部は縦ナデ | 口縁部は横ナデ、それ以外はナデ | 灰褐色 | 7㎜以下の石英、長石粒を含む | 良好 | 口縁部～肩部 9/10 残存 |
| 93 | 976 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 蓋 | 10 | 26 | 6.0 | 天井部ｈはナデ、胴部は横ナデ、口縁部は | 天井部は指子しぼり、胴部は斜刷毛目・指圧痕、口縁部は横ナデ | 外：橙色<br>内：橙色＋黒褐色 | 2㎜以下の石英及び長石粒、赤色粒 | 良好 | 全体の 8/9 残存、内面には煤の付着がみられる |
| 93 | 977 | Ⅱ | 123 | W-5 | 窓付土器片 | — | — | — | 細かい縦刷毛目 | ナデ・指押さえ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒及び微粒の雲母 | 良好 | 窓の縁は丁寧に削る |
| 93 | 978 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 蓋 | 11.3 | 27.2 | 6.3 | 天井部は磨滅のため不明、胴部は縦刷毛目・ナデ消し、口縁部は横ナデ | 天井部～口縁部までナデ | 橙色～黒褐色 | 3㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存、口縁部内外面には煤の付着がみられる |
| 93 | 979 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 甕 | 27.6 | 25.7 | 7.4 | 口縁部上面は横ナデ、口縁部は横ナデ、胴部は粗い縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | 明黄褐色～にぶい黄橙色～灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒を含む | 良好 | 全体の 7/8 残存、丹塗りは外底部以外の全面に施す、外面口縁部～胴部中位まで煤付着 |
| 93 | 980 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 甕 | 32 | 26 | 8.2 | 口縁部上面は横ナデ、口縁部～突帯下まで横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部～胴部下位までナデ | 外：明褐色～にぶい黄褐色・黒色<br>内：にぶい黄褐色 | 3㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体に 7/8 残存、外面全体に煤付着、内面胴部中位～下位にかけては炭化物の付着、口縁部上面と外面胴部下位に丹塗の痕跡 |
| 94 | 981 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 鉢 | 13.3 | 23.2 | 8.3 | 口縁部上面～口縁部下までは横ナデ、その他は磨滅のため不明 | 口縁部～底部までナデ、その他底部に指押さえがある | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 口縁部は少し欠く以外ほぼ完形、胴部下位には穿孔（焼成後）、外面底部を除き丹塗を内面胴部まで施す |
| 94 | 982 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 鉢 | 14 | 19.8 | 8.8 | 口縁部上面は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き、底部はナデ | 口縁下は横ナデ、胴部はナデ・指圧痕、底部はナデ・指圧痕 | 外：にぶい黄橙色<br>内：橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、赤色粒 | 良好 | 全体の 1/3 弱残存、丹塗りを全面に施す |
| 94 | 983 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 鉢 | 11 | 15.2 | 7.2 | 口縁部～胴部まで縦刷毛目、底部はナデ | 口縁部は指押さえ胴部はナデ、底部は指押さえ | 明赤褐色 | 2㎜以下の石英及び長石粒、雲母 | 良好 | 全体に 7/8 残存、底部には穿孔（焼成後） |
| 94 | 984 | Ⅱ | 123 | W-6- S | 小鉢 | 5.8 | 8.4 | 4.0 | 口縁部はナデ（磨滅）、胴部は縦の強いナデ、底部はナデ | 口縁部はナデ、その他は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 普通 | 口縁部若干欠損 |
| 94 | 985 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 小鉢 | 7.4 | 12.2 | 5.4 | 口縁部～胴部中位まで磨滅のため不明、胴部下位はナデ | 口縁部～底部指圧痕ある（磨滅著しい） | にぶい赤褐色～褐灰色 | 3㎜以下の石英及び長石粒 | 普通 | 全体の 1/2 弱残存、外面口縁部～底部や内面も丹塗の可能性ある |
| 94 | 986 | Ⅱ | 123 | W-5 | 小鉢 | — | 20.0 | — | 口縁部～胴部まで細かい斜刷毛目 | 口縁部～胴部までナデ・指押さえ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒及び橙色粒子 | 普通 | 口縁部～胴部 1/2 弱残存、底部欠損 |
| 94 | 987 | Ⅱ | 123 | W-5 | 鉢 | — | — | — | 横ヘラ磨き | 横ヘラ磨き | 橙色 | 1㎜以下の石英、長石粒及び黒色微粒子と微粒の雲母 | 良好 | 口縁部に穿孔（焼成後）あり、全面に丹塗を施す |
| 94 | 988 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 鉢 | 12.1 | 11.5 | 6.4 | 口縁部はナデ、胴部は指押さえ、胴部下位～底部は剥離のため不明 | 口縁部～底部までナデ・指押押さえ | 橙色～にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英、長石粒、2㎜以下の褐色粒 | 普通 | 手づくねの土器、全体の 7/8 残存 |
| 94 | 989 | Ⅱ | 123 | W-5 | 鉢？ | — | — | — | 胴部は横ヘラ磨き、 | 胴部～底部はナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 胴部～底部 2/3 程残存．底部に穿孔（焼成後）あり |
| 94 | 990 | Ⅱ | 123 | W-5 | ミニチュア土器 | 4.1 | 4.5 | 2.0 | 口縁部はヘラナデ、胴部は刷毛目 | 口縁部～底部までヘラナデ | 灰黄褐色 | 精緻．大粒の赤色、褐色粒 | 良好 | 完形、甕を模して作っている |
| 94 | 991 | Ⅱ | 123 | W-5 | 小鉢 | 4.6 | 9.2 | 4.6 | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ | 口縁部から底部指押さえ | 橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒及び橙色粒子 | 良好 | 口縁部～底部 3/4 弱残存、底部中央部は欠損、外底部以外は全面丹塗 |
| 94 | 992 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 脚付鉢 | — | 16.2 | — | ナデだが磨滅あり | ナデと指圧痕（口縁部と底部付近） | 橙色 | 1㎜以下の石英、1.5㎜以下の長石粒、赤色粒、雲母 | 普通 | 鉢部の 8/9 残存 |
| 94 | 993 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 高坏 | — | 30.5 | — | 口縁部上面はヘラ磨き、口縁部は縦方向の暗文、胴部は横ヘラ磨き | 口縁から底部まで横ヘラ磨き | にぶい褐色～にぶい橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、雲母、2㎜以下の赤色粒 | 普通 | 坏部 3/4 残存、丹塗り前面に施す |
| 94 | 994 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 高坏 | — | 30.8 | — | 口縁部～胴部中位は縦暗文、胴部下位は横ヘラ磨き、脚部は縦ヘラ磨き | 口縁部～底部は横ヘラ磨き、脚部はナデ | 橙色 | 精緻、微粒の白色粒、雲母 | 良好 | 坏部 3/4 残存、裾部は欠損．外面は全体を丹塗、内面は坏部のみ |
| 94 | 995 | Ⅱ | 123 | W-5- S | 高坏 | 31 | 24.3 | 17.6 | 坏の口縁部は横ヘラ磨き、脚部は縦ヘラ磨き、裾部はやや斜ヘラ磨き | 坏の口縁部は横ヘラ磨き、脚部はナデ、裾部は横ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 坏部口縁 1/3 欠損、脚部内面以外は丹塗 |
| 94 | 996 | Ⅱ | 123 | W-5 | 脚付鉢？ | — | — | — | ヘラ磨き | 坏部の横ヘラ磨き以外はヘラ磨き | 橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒及び橙色粒子 | 良好 | 脚部には 4 ～ 5 箇所に脚の痕跡 |
| 94 | 997 | Ⅱ | 123 | W-6 | 筒形器台 | — | — | — | 磨滅のため不明 | ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 不良 | 外面には剥離、磨滅がある |
| 94 | 998 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 筒形器台 | — | — | — | ヘラ磨き | 横ナデ（一部に指圧痕） | 橙色 | 1㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 内外面に丹塗 |
| 95 | 999 | Ⅱ | 123 | W-6 | 壺 | 22.4 | 14.2 | 1.0 | 口縁部～胴部中位は斜刷毛目、胴部中位は板状工具によるナデ、底部はナデ | 口縁部は横・斜刷毛目、胴部～底部は細かい斜刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒を含む、2㎜以下の赤色粒子 | 良好 | 殆ど完形である、胴部中位には 4.5 × 1.5㎝程の意識的な穿孔（焼成後）がある |
| 95 | 1000 | Ⅱ | 123 | W-5 | 長頸壺 | 22 | 8.4 | 5.0 | 口縁部は横ナデ、頸部は細かい縦刷毛目、胴部は細かい縦刷毛目、底部は不明 | 口縁部は横ナデ、頸部～調部まで縦指ナデ、胴部中位～底部はナデ、胴部下位～底部は板状工具によるナデ | 淡橙色～橙色～にぶい橙色と斑色である | 4㎜以下の石英及び長石粒、2㎜以下の黒色粒、褐色粒、金雲母を含む | 良好 | 完形、外底は平底だが真っ直ぐな強い平底ではない、外面胴部中位～下位にかけて 7 × 9㎝の黒斑がある |
| 95 | 1001 | Ⅱ | 123 | W-5 | 壺 | — | 7.4 | — | 口縁部～頸部は縦ヘラ磨き | 口縁部～頸部上位は横ヘラ磨き、頸部中位は指押さえ、頸部下位は横ヘラ磨き | 外：黒色<br>内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 口縁部～頸部 3/4 残存、外面口縁端部～頸部中位まで丹塗を施す |
| 95 | 1002 | Ⅱ | 123 | W-5 | 壺 | — | 8.4 | — | 口縁部～肩部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、肩部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英及び長石粒 | 良好 | 口縁部～肩部 2/3 残存 |
| 95 | 1003 | Ⅱ | 123 | W-5 | 鉢 | — | 20.0 | — | 磨滅著しいため不明 | 口縁部は横刷毛目（磨滅あり）、胴部はナデ | 橙色 | 4㎜以下の石英及び長石粒、1㎜以下の橙色粒 | 普通 | 口縁部～胴部 1/2 残存 |
| 95 | 1004 | Ⅱ | 123 | W-5 | 鉢？ | — | 18.6 | — | 口縁部は強い指押さえ、胴部はナデ | 口縁部は強い指押さえ、胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英及び長石粒、微粒の黒色粒 | 良好 | 口縁部内側に厚い粘土帯を二重に張り付ける |
| 95 | 1005 | Ⅱ | 123 | W-5 | ミニアチュアの支脚 | 4.9 | 受部 3.1 | 5.4 | 全面指押さえ | 全面横ナデ・ナデ | 灰黄色～黒色 | 精緻、白色微粒子を若干含む | 良好 | 完形 |
| 95 | 1006 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 器台 | 17.8 | 9.5 | 11.4 | 口縁部は指押さえ、胴部は粗い斜・縦刷毛目、裾部は指押さえ | 口縁部は粗い斜刷毛目、胴部はナデ、裾部は粗い横刷毛目 | 橙色～灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒と大量の雲母 | 普通 | 完形 |
| 95 | 1007 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 器台 | 16.5 | 11.4 | 12.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は斜刷毛目のちナデ消し、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、胴部は指しぼり、裾部は横ナデ | 淡橙色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、1㎜以下の赤色粒 | 良好 | 完形 |
| 95 | 1008 | Ⅱ | 123 | W-5 | 筒形土器 | 14.4 | 5.5 | 8.3 | 指押さえ、裾部に強い指押さえによる窪みがある | 器面が剥離のため不明 | 橙色～にぶい褐色 | 非常に多くの雲母を含む、その他 2㎜以下の石英、長石粒 | 普通 | 内壁が剥離 |
| 95 | 1009 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 支脚 | 11.5 | 7.5 | 9.8 | 指押さえ | ナデ | 外：にぶい橙色<br>内：灰褐色 | 5㎜以下の石英、長石粒 | 普通 | 口縁部と裾部が若干欠損する |
| 95 | 1010 | Ⅱ | 123 | W-5 | 支脚 | 12.6 | 7.6 | 13.0 | ナデ | ナデ | 橙色～灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒と雲母 | 良好 | 裾部が若干欠損する |




**第 96 図**　土器群 133 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 97 図**　土器群 133 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]

**表 48**　土器群 133 出土土器観察表（1）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 96 | 1011 | Ⅱ | 133 | — | 壺 | — | 20.4 | — | 口縁部横ナデ、頸部は暗文、突帯は横ナデ、突帯下は縦ヘラ磨き | 横ナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部 3/4 残存 |
| 96 | 1012 | Ⅱ | 133 | — | 壺 | — | 30.0 | — | 口縁上面横ナデ、口縁端部二重の刻み目、頸部は暗文 | 横ナデ、ナデ | にぶい橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部 1/2 残存 |
| 96 | 1013 | Ⅱ | 133 | — | 壺 | — | 12.0 | — | 口縁部横ヘラ磨き、頸部は暗文風ヘラ磨き | 口縁部横ナデ、他は横ナデ・指圧痕 | 外側：にぶい橙色，内側：にぶい橙色～黒色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 上半部 1/2 残存 |
| 96 | 1014 | Ⅱ | 133 | — | 壺 | — | 16.4 | — | 磨滅のため不明 | 磨滅のため不明 | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | やや軟 | 口縁部 1/2 弱残存、口縁部内外に丹塗の痕跡 |
| 96 | 1015 | Ⅱ | 133 | — | 蓋 | 2.4 | 15.8 | 1.1 | 天井部と口縁端部を除きヘラ磨き | ナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、黒色粒、雲母 | 良好 | 口縁部～胴部 9/10 残存、口縁部には穿孔（焼成前）が 2 箇所ある、丹塗りは天井部を除き外面全体に施す |
| 96 | 1016 | Ⅱ | 133 | — | 蓋 | 2.5 | 15 | 1.4 | 天井部と口縁端部を除きヘラ磨き | 天井部は指押さえ、他はナデ | 外：丹塗<br>内：浅黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 口縁部～胴部 5/6 残存、口縁部には穿孔（焼成後）が 2 箇所ある、丹塗りは天井部を除き外面全体に施す |
| 96 | 1017 | Ⅱ | 133 | — | 鉢 | 7.2 | 7.2 | 4.9 | 口縁部は横ナデ、胴部は横ヘラ削り、底部ケズリ | 口縁部は横ナデ，胴部から底部は指圧痕 | 外側はにぶい灰黄、 内側は灰黄色 | 精緻、精緻の白色粒、雲母 | 普通 | 全体の 3/4 残存 |
| 96 | 1018 | Ⅱ | 133 | — | 鉢 | 17 | 16.1 | 6.3 | 口縁部は横ナデ、底部はケズリ、他は磨滅のため不明 | 口縁部はナデ，胴部は指圧痕・板状工具の圧痕 | にぶい橙色 | 精緻、2㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 普通 | 全体の 3/4 残存 |
| 96 | 1019 | Ⅱ | 133 | — | 甕 | — | 29.8 | — | 口縁部横ナデ、胴部縦刷毛目 | 口縁部直下付近に指圧痕、他はナデ | 外:灰褐色、内:橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部～胴部 3/43 残存、外面胴部全体に煤が付着 |

## 表 49　土器群 133 出土土器観察表（2）

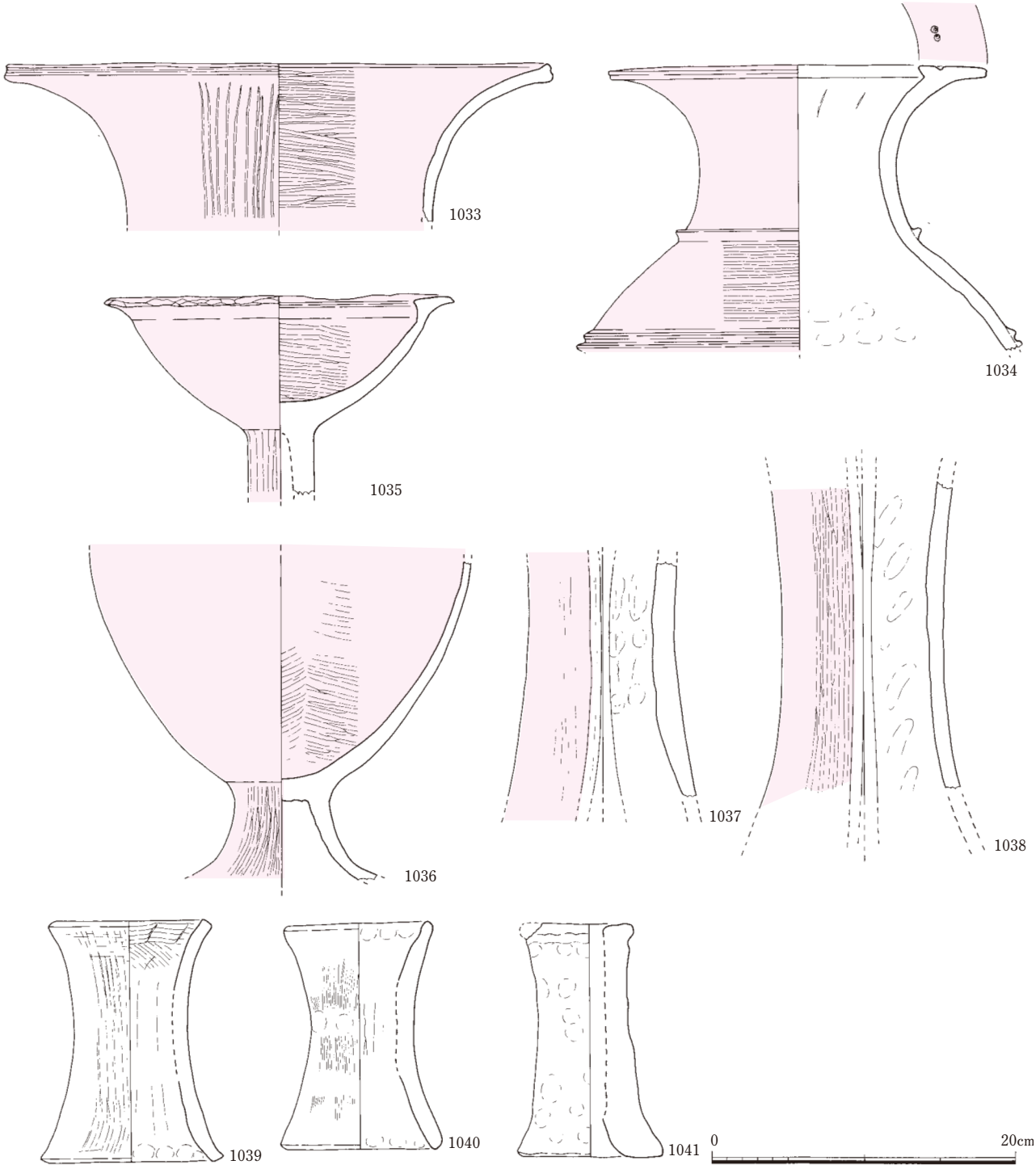
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 96 | 1020 | Ⅱ | 133 | — | 蓋 | 8.9 | 28.8 | 6.3 | 口縁部の横ナデ以外は刷毛目 | 口縁部の横なで以外はナデ | にぶい黄橙～灰黄褐色 | 2mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 1/3 残存、内外面に煮炊きに使用した黒～褐色の痕跡がある |
| 96 | 1021 | Ⅱ | 133 | — | 甕 | — | 23.0 | — | 口縁部は横ナデ、胴部は縦は刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ・指押さえ | 外側：灰黄褐色<br>内側：にぶい橙色 | 5mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部 1/4 残存 |
| 96 | 1022 | Ⅱ | 133 | — | 甕 | — | 27.0 | — | 口縁部横刷毛目，胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ・指圧痕 | 外：黒褐色～にぶい黄褐色、内：渇褐色～にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英、長石粒多く、橙色粒子 | 普通 | 口縁部～胴部 2/3 残存 |
| 96 | 1023 | Ⅱ | 133 | — | 甕 | 39.5 | 33.5 | 8.8 | 口縁部上面は横刷毛目、突帯は横ナデ・指圧痕、胴部は縦刷毛目 | 指圧痕 | 浅い黄橙色～灰黄褐色 | 2mm以下の石英、長石粒 | 普通 | 全体の 5/6 残存、外面胴部上位付近には煤が付着 |
| 97 | 1024 | Ⅱ | 133 | — | 高坏 | 29.8 | — | — | 磨滅（脚部は縦ヘラ磨きか） | 坏部は横ヘラ磨き、 | にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英・長石粒、微粒の黒色粒・赤色粒・雲母 | 普通 | 残存：1/3<br>ほとんど剥離しているが内側だけでなく外側も丹塗りだろう |
| 97 | 1025 | Ⅱ | 133 | — | 高坏 | — | — | — | 口縁部横ナデ、胴部縦刷毛目 | 口縁部には横刷毛目痕、他は磨滅 | にぶい黄橙色 | 3mm以下の石英、長石粒、微粒の雲母 | 普通 | 坏部の破片 |
| 97 | 1026 | Ⅱ | 133 | — | 鉢 | 4.6 | 12.6 | 5.0 | 口縁～底部までナデ | 口縁～底部までナデ | 橙色？ | 2mm以下の石英・長石粒、1mm以下の黒色粒、雲母 | 良好 | 全体の 1/2 残存 |
| 97 | 1027 | Ⅱ | 133 | — | 鉢 | 15.2 | 24.5 | 8.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦の粗い刷毛目 | 横ヘラ磨き、底部には指圧痕 | にぶい橙色 | 精緻、2mm以下の石英、長石粒 | 普通 | 3/4 残存、内側口縁部上端まで丹塗、外面は不明瞭 |
| 97 | 1028 | Ⅱ | 133 | — | 鉢 | 9.9 | 18 | 7.0 | 磨滅のため不明 | 底部付近はナデ | にぶい黄橙色 | 4mm以下の石英。長石粒、微粒の黒色粒、雲母 | 不良 | 全体の 1/4 残存、外面胴部下位には丹塗の痕跡ある |
| 97 | 1029 | Ⅱ | 133 | — | 器台 | 18.5 | 11.4 | 13.7 | 口縁及び裾部は横ナデ、他は縦刷毛目 | 口縁部にナデや指圧痕、裾部は横ナデ | 橙色 | 2mm以下の石英、長石粒や赤色粒 | 良好 | 裾部若干欠損 |
| 97 | 1030 | Ⅱ | 133 | — | 器台 | 13.8 | 10.5 | 13.2 | 口縁及び裾部は横ナデ、他は斜め方向のナデ | 口縁はナデ、指圧痕、胴部はケズリ | 橙～にぶい橙色 | 2mm以下の石英、長石粒、0.2 × 0.5cmの白色粒 | 良好 | 袖部 1/3 欠損 |
| 97 | 1031 | Ⅱ | 133 | — | 支脚 | 15 | 8.1 | 9.1 | 受部付近に刻み目、他は指押さえ | ナデ | 橙～にぶい褐色 | 2mm以下の石英、長石粒、金雲母 | 良好 | 受部が若干欠損 |
| 97 | 1032 | Ⅱ | 133 | — | 支脚 | 10.5 | 6.8 | 11.2 | 指圧痕 | 袖部は横ナデ、他はナデ | 橙色 | 3mm以下の石英、長石粒、1mm以下の橙色粒子 | 良好 | 完形 |

## 表 50　土器群 134 出土土器観察表

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 98 | 1033 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 壺 | — | 36.0 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦方向の暗門 | 横ヘラ削り | 橙色 | 精緻、1mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 1/2 残存 |
| 98 | 1034 | Ⅱ | 134 | Y-2-N | 壺 | — | 24.6 | — | 口縁部上面は横ナデ、頭部はナデ・横ナデ、突帯は横ナデ、肩部は横刷毛目 | 口縁部は横ナデ、頭部～肩部はナデ、肩部に指圧痕ある | 外：にぶい褐色<br>内：橙色～にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英、長石粒と 4mm以下の赤色粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存、口縁部上面には貫通しない孔（0.3X0.4cm）（焼成後？）が 2 個みられる |
| 98 | 1035 | Ⅱ | 134 | Y-2-N | 高坏 | — | 22.9 | — | 口縁部上面は横ナデ、胴部は磨滅のため不明、筒部は縦ヘラ磨き | 口縁部は横ナデ、他はヘラ磨き、筒部は不明 | 灰褐色 | 3mm以下の石英、長石粒 | 普通 | 坏部 1/2 残存、口縁端部は打ち欠き |
| 98 | 1036 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 台付き鉢 | — | — | — | 脚部は縦ヘラ磨き、他は磨滅のため不明 | 横ヘラ磨き・ナデ、脚部は磨滅のため不明 | 橙色 | 2mm以下の石英、長石粒、赤色粒 | 普通 | 全体の 2/3 残存、口縁部上面には貫通しない孔（0.3 × 0.4cm）が 2 個みられる |
| 98 | 1037 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 筒形器台 | — | — | — | 縦ヘラ磨き | ナデ・指圧痕 | にぶい黄橙色 | 3mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 破片、焼成前に切り取りをした透かし窓（焼成前）がある |
| 98 | 1038 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 筒形器台 | — | — | — | 縦ヘラ磨き | ナデ・指圧痕 | にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英、長石粒、赤色 | 良好 | 破片<br>透かし窓が開いている<br>丁寧に粘土を焼成前に切り取っている |
| 98 | 1039 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 器台 | 15.8 | 10.4 | 12.0 | 口縁部及び裾部はは横ナデ、他は粗い縦刷毛目 | 口縁部は横刷毛目、胴部はナデ、裾部は指圧痕 | 橙色 | 2mm以下の石英、長石粒 | 普通 | ほぼ完形 |
| 98 | 1040 | Ⅱ | 134 | Y-2-N | 器台 | 14.9 | 9.5 | 10.5 | 口縁～裾部まで刷毛目、胴部中位には指圧痕がみられる | 口縁部及び裾部は横ナデ、指圧痕もみられる、他はナデ、 | 橙色 | 2mm以下の石英、長石粒、1mm以下の黒色粒 | 良好 | 完形 |
| 98 | 1041 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 支脚 | 15.3 | — | 9.5 | 指圧痕 | ナデと思われる | にぶい褐色～明褐色 | 2mm以下の石英、長石粒、雲母 | 普通 | 受部の大部分が欠損する |
| 98 | 1042 | Ⅱ | 134 | Y-2-N | 甕 | — | 29.0 | — | 口縁部上面～突帯までは横ナデ、他は縦刷毛目 | 口縁部は指押さえ、他はナデ、全体に指圧痕ある | 外：暗褐色<br>内：にぶい黄橙色 | 3mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 1/3 残存、外面口縁部から下方にかけて煤が付着 |
| 99 | 1043 | Ⅱ | 134 | Y-2-N | 蓋 | 8.7 | 13.6 | 6.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は横刷毛目 | 口縁部は横刷毛目、胴部～天井部は指圧痕 | 外：にぶい褐色<br>内：灰黄褐色 | 2mm以下の石英、長石粒、赤色粒 | 良好 | 全体の 1/3 残存 |
| 99 | 1044 | Ⅱ | 134 | Y-2-N | 甕 | 40.3 | 29.5 | 8.8 | 口縁部～突帯下まで横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、胴部下位には指圧痕 | にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 5/6 残存、胴部下位に焼成後に施した穿孔（焼成後）ある、外面口縁部から胴部下位まで煤付着（黒色顔料？） |
| 99 | 1045 | Ⅱ | 134 | Y-2-N | 甕 | 28.5 | 31.5 | 8.1 | 口縁部外面は横刷毛目、口縁端部～突帯下まで横ナデ、胴部は縦刷毛目 | ナデ、胴部中位付近に指圧痕 | 浅い黄橙色～にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 7/8 残存、黒っぽい汚れか，黒色顔料か煤付着 |
| 99 | 1046 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 鉢 | 15.5 | 16 | 10.2 | 口縁部～胴部は横ヘラ磨き、底部はケズリ | ナデ、胴部中位に指圧痕 | 外：にぶい褐色～褐灰色<br>内：灰褐色 | 1mm以下の石英、長石粒 | やや軟 | 全体の 3/4 残存、内面の丹塗は口縁部までを施す |
| 99 | 1047 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 鉢 | 12.4 | 21.5 | 7.8 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部は剥離のため不明 | 口縁部～底部はナデ、胴部下位～底部に指圧痕ある | 橙色 | 2mm以下の石英、長石粒、1mm以下の赤色粒 | 普通 | 全体の 9/10 残存、剥離が著しい、全体に丹塗が施されていた可能性ある |
| 99 | 1048 | Ⅱ | 134 | X-2-N | 壺 | — | 22.8 | — | 口縁上面は横ナデ、口縁部はナデ | 口縁部～胴部にかけてナデ、指圧痕もある | にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部と胴部片は同一個体，ともに打ち欠きを施す、胴部片には穿孔（焼成後）がある |

## 表 51　土器群 135 出土土器観察表（1）

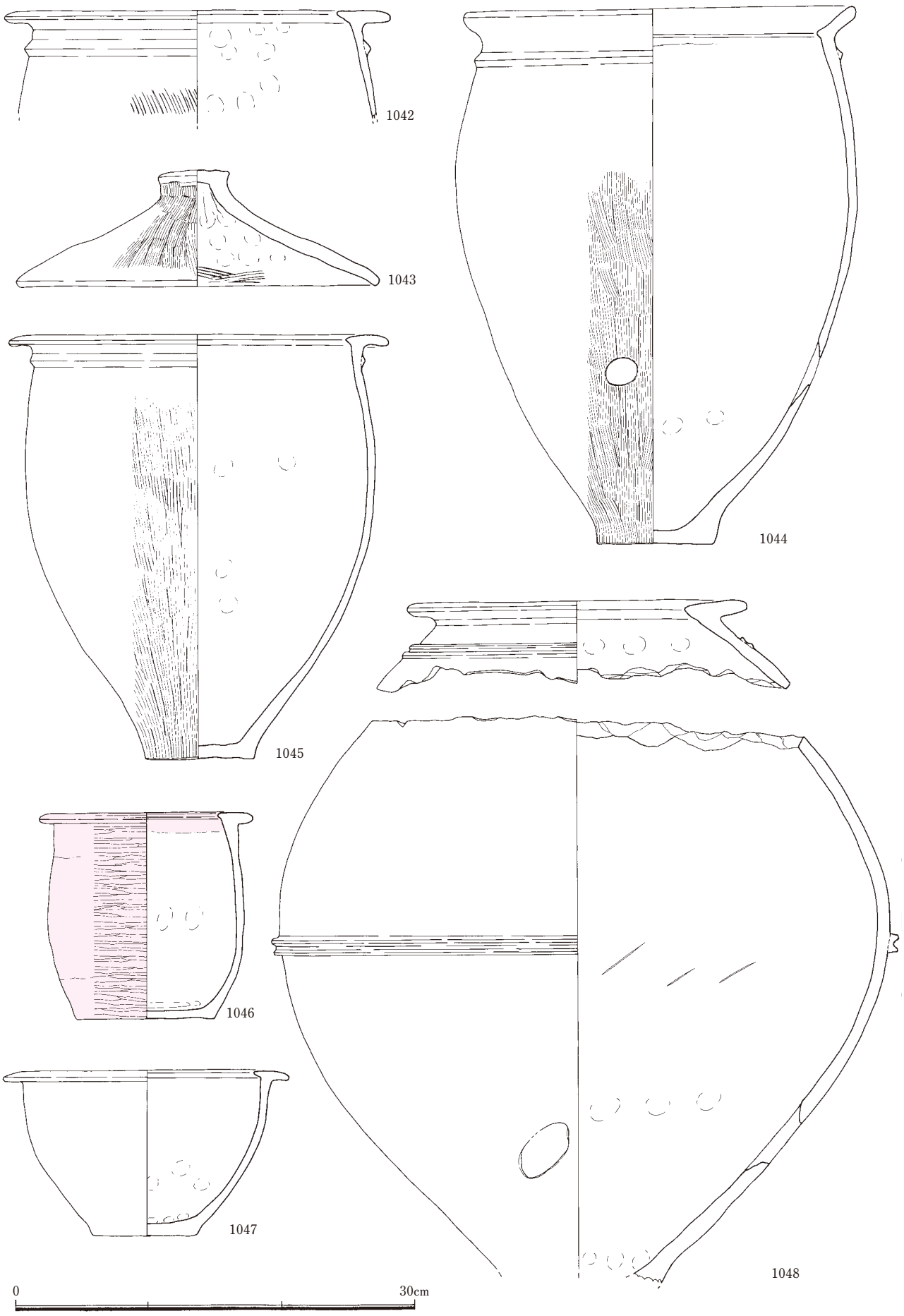
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 100 | 1049 | Ⅱ | 135 | — | 壺 | — | 38.4 | — | 口縁部上面は横ナデ、他はナデ | ナデ、頭部～肩部は指ナデ | にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英、長石粒、1mm以下の赤色粒 | 良好 | 全体の 4/5 残存、丹塗が施されているが、器面の磨滅が著しく、不明瞭 |
| 100 | 1050 | Ⅱ | 135 | X-2-N | 壺 | — | 28.0 | — | 口縁上面は横ナデ、頸部は縦ナデ、突帯上下付近は横ナデ | 口縁部は横ナデ、頭部はナデ、指圧痕ある | 外：灰黄色<br>内：にぶい黄橙色 | 2mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存、外面に黒色顔料を施している？ |
| 100 | 1051 | Ⅱ | 135 | — | 壺破片 | — | — | — | 横ヘラ磨き | 横ナデ，指圧痕 | にぶい黄褐色 | 3mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 肩部には鉤形隆起線文の粘土帯の貼り付が行われる |
| 100 | 1052 | Ⅱ | 135 | — | 壺 | — | 20.0 | — | 口縁部上面は横ヘラ磨き、あるいは横ナデ、他は横ヘラ磨き | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、1mm以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存、口縁部上面に穿孔が 2 箇所にある　これらは焼成前に施す |
| 100 | 1053 | Ⅱ | 135 | — | 壺 | 17.3 | 18 | 7.6 | 口縁部～胴部は横ヘラ磨き、底部はケズリ | ナデ、胴部中位付近から底部に指圧痕 | 橙色～にぶい黄橙色 | 精緻、2mm以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 丹塗りの鉢<br>全体の 1/2 残存 |
| 100 | 1054 | Ⅱ | 135 | — | ミニチュア土器 | 4.3 | 5.8 | 2.8 | ナデ | 胴部には指圧痕、底部は爪と指の圧痕 | にぶい黄橙色 | 精緻、1mm以下の石英、長石粒、雲母 | 普通 | 口縁部の小さな欠損以外にほぼ完形、口縁部には焼成前に施した 2 組の穿孔を 4 箇所配置する |



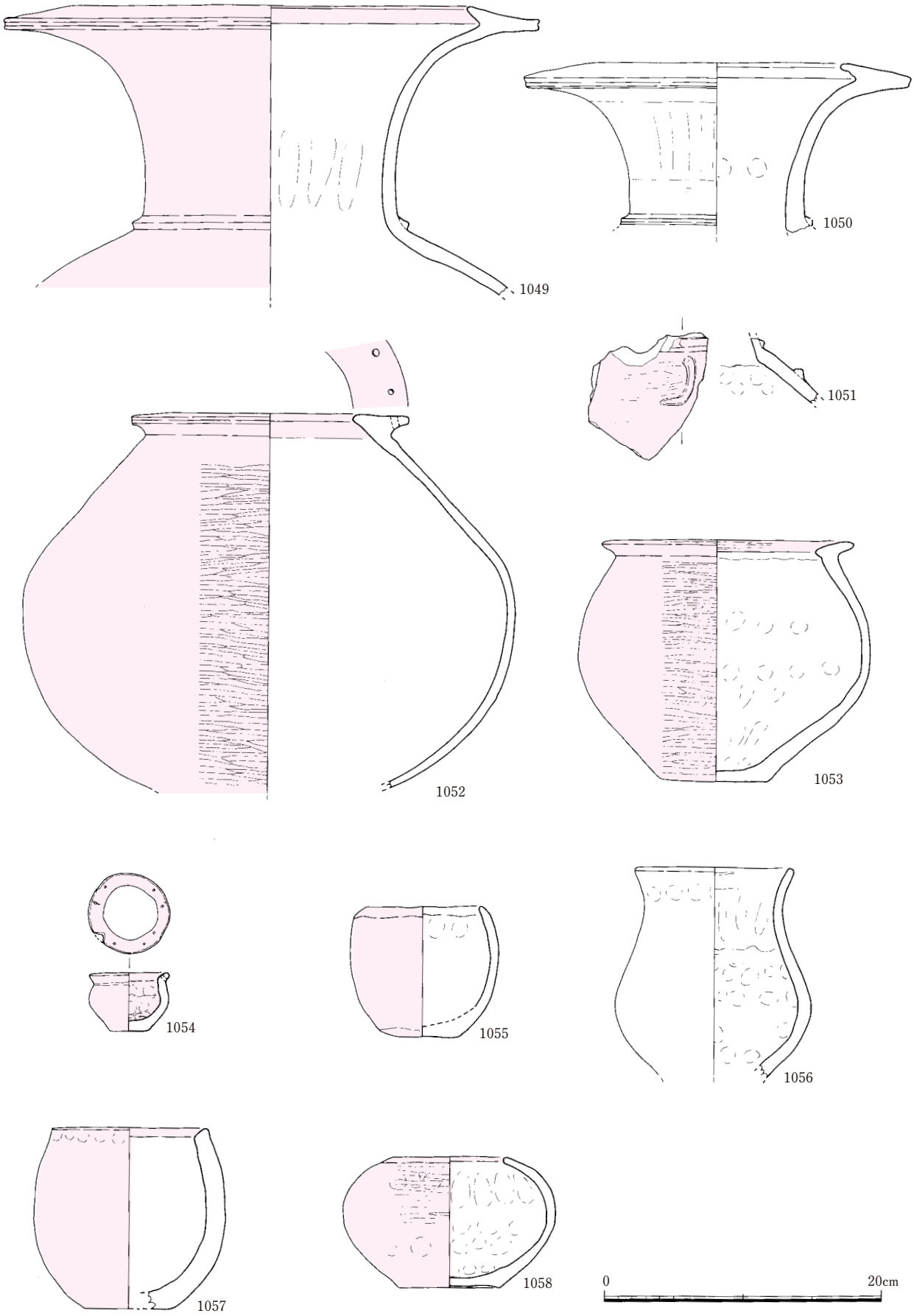

**第 98 図**　土器群 134 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]

**表 52**　土器群 135 出土土器観察表（2）

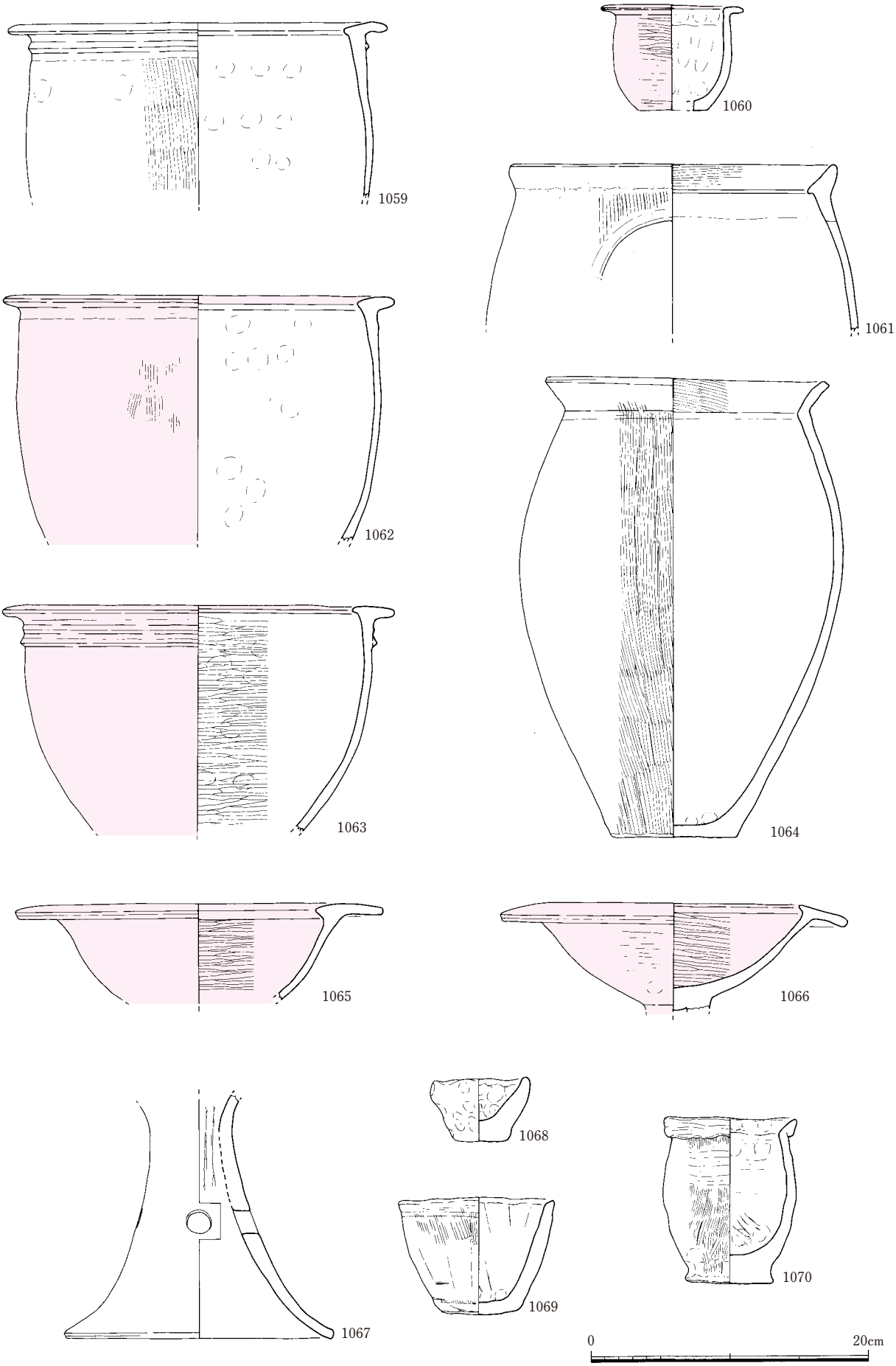
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 100 | 1055 | Ⅱ | 135 | — | 鉢 | 9.4 | 8.4 | 5.0 | ナデ | 磨滅著しいが口縁部付近に指圧痕見られる | 灰黄色 | 3㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 普通 | ほぼ完形 |
| 100 | 1056 | Ⅱ | 135 | — | 壺 | — | 11.4 | — | 口縁部～胴部はナデ、口縁部下に指圧痕 | ナデ・指押さえ、胴部中位以下は指圧痕 | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、2㎜以下の赤色粒 | 良好 | 全体の 1/3 弱残存 |
| 100 | 1057 | Ⅱ | 135 | — | 鉢 | 13 | 10.8 | 6.0 | ナデ、口縁部に指圧痕、底部はケズリ | ナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、2㎜以下の赤色粒及び黒色粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存 |
| 100 | 1058 | Ⅱ | 135 | — | 鉢 | 9.4 | 8.0 | 7.2 | 口縁部～胴部中位は横ヘラ磨き、他は磨滅のため不明 | 指押さえ | にぶい黄橙色～にぶい黄褐色 | 精緻 | 普通 | 全体の 1/2 残存 |
| 101 | 1059 | Ⅱ | 135 | — | 甕 | — | 28.2 | — | 口縁部～突帯は横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部～胴部はナデ・指圧痕 | にぶい黄橙色～灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 1/5 残存 |
| 101 | 1060 | Ⅱ | 135 | — | 鉢 | 7.5 | 10.2 | 5.0 | 口縁部は横ナデ、胴部は横ヘラ磨き | 指ナデ、口縁部下には指圧痕ある | 橙色 | 精緻、2㎜以下の石英、長石粒、雲母を少量含む | 良好 | 全体の 1/6 残存 |
| 101 | 1061 | Ⅱ | 135 | — | 甕 | — | 22.6 | — | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は粗い横刷毛目、胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 窓付の甕<br>胴部に窓の一部が残存する、焼成前に施す |
| 101 | 1062 | Ⅱ | 135 | — | 甕 | — | 28.2 | — | 口縁部上面は横ナデ、胴部上位は縦刷毛目、下位は磨滅 | ナデ、指圧痕 | 橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、赤色粒 | 普通 | 上半部残存、外面口縁部付近に丹塗の痕跡 |




**第 99 図**　土器群 134 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]




**第 100 図**　土器群 135 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 101 図**　土器群 135 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]

## 表 53　土器群 135 出土土器観察表（3）

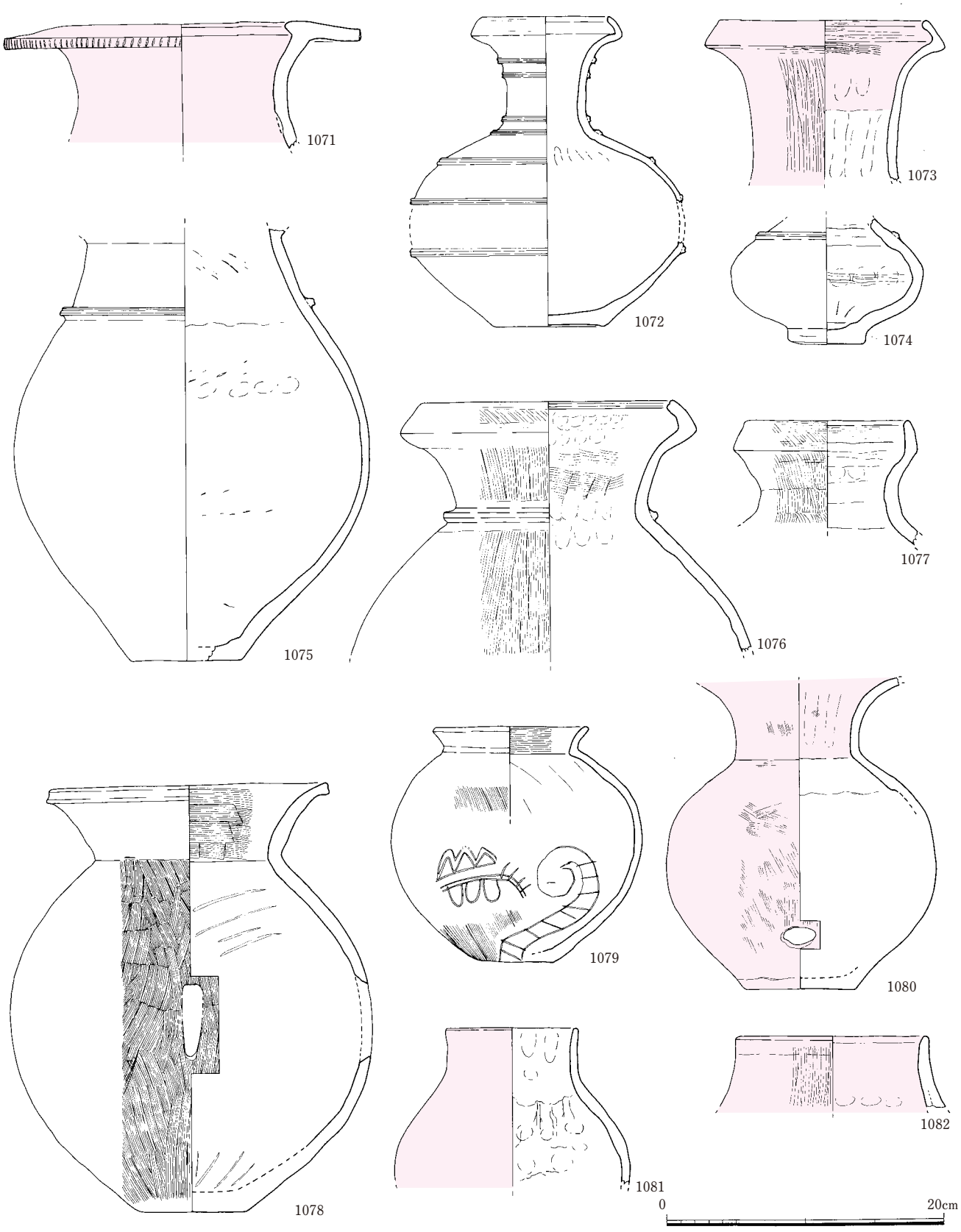
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 101 | 1063 | Ⅱ | 135 | — | 鉢 | — | 28.2 | — | 口縁部～突帯付近まで横ナデ、他はナデ | 横ヘラ磨き | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 全体の 3/4 残存、外面の丹塗が胴部下位まで施されるか不明 |
| 101 | 1064 | Ⅱ | 135 | — | 甕 | 33 | 20.3 | 8.9 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は斜め方向の粗い刷毛目、胴部はナデ、底部に指圧痕 | 外：橙色～灰褐色、内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 7/8 残存、外面口縁部～胴部下位近くまで煤が付着 |
| 101 | 1065 | Ⅱ | 135 | — | 高坏 | — | 26.4 | — | 口縁部上面は横ナデ、他は磨滅のため不明 | 横ヘラ削り | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒白色粒、雲母 | 普通 | 坏部の 3/4 残存、外面は二次焼成を受けたか器面が黒い |
| 101 | 1066 | Ⅱ | 135 | — | 高坏 | — | 24.8 | — | 口縁部は横ナデ、他は横ヘラ磨きか、指圧痕もわずかに見られる | 横ヘラ磨き | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 普通 | 坏部 8/9 残存 |
| 101 | 1067 | Ⅱ | 135 | — | 高坏 - 脚 | — | — | 19.4 | 麻熱著しい、調整痕不明 | 篦状工具でナデ、下位は磨滅著しい | にぶい黄橙色～橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、黒色粒 | 普通 | 全体の 3/4 残存、穿孔（1.8 × 1.9cm）が 3 箇所にあり焼成前に施す |
| 101 | 1068 | Ⅱ | 135 | — | ミニチュア土器 | 7.2 | 7.2 | 3.2 | 全体に指押さの痕跡がみられる | 全体に指押さの痕跡がみられる | 橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 完形 |
| 101 | 1069 | Ⅱ | 135 | — | 鉢 | 8.2 | 11.2 | 5.5 | 横ナデ、縦刷毛目、縦刷毛目のちナデ消し | 指ナデ、底部には指圧痕 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、赤色粒 | 普通 | ほぼ完形 |
| 101 | 1070 | Ⅱ | 135 | — | 鉢 | 11.9 | 9.6 | 6.2 | 口縁部は胴部下位へと向かって横ナデ、縦刷毛目、横ナデ、縦刷毛目となり、底部近くで指圧痕となる | 口縁部～胴部中位まで横ナデ・指圧痕、下位には工具や指の圧痕がある | 黒褐色～褐灰色 | 精緻、粉っぽい 3㎜以下の石英、長石粒や黒色粒 | やや軟 | この鉢は無文土器いわゆる外来系土器である |

## 表 54　土器群 136 出土土器観察表（1）

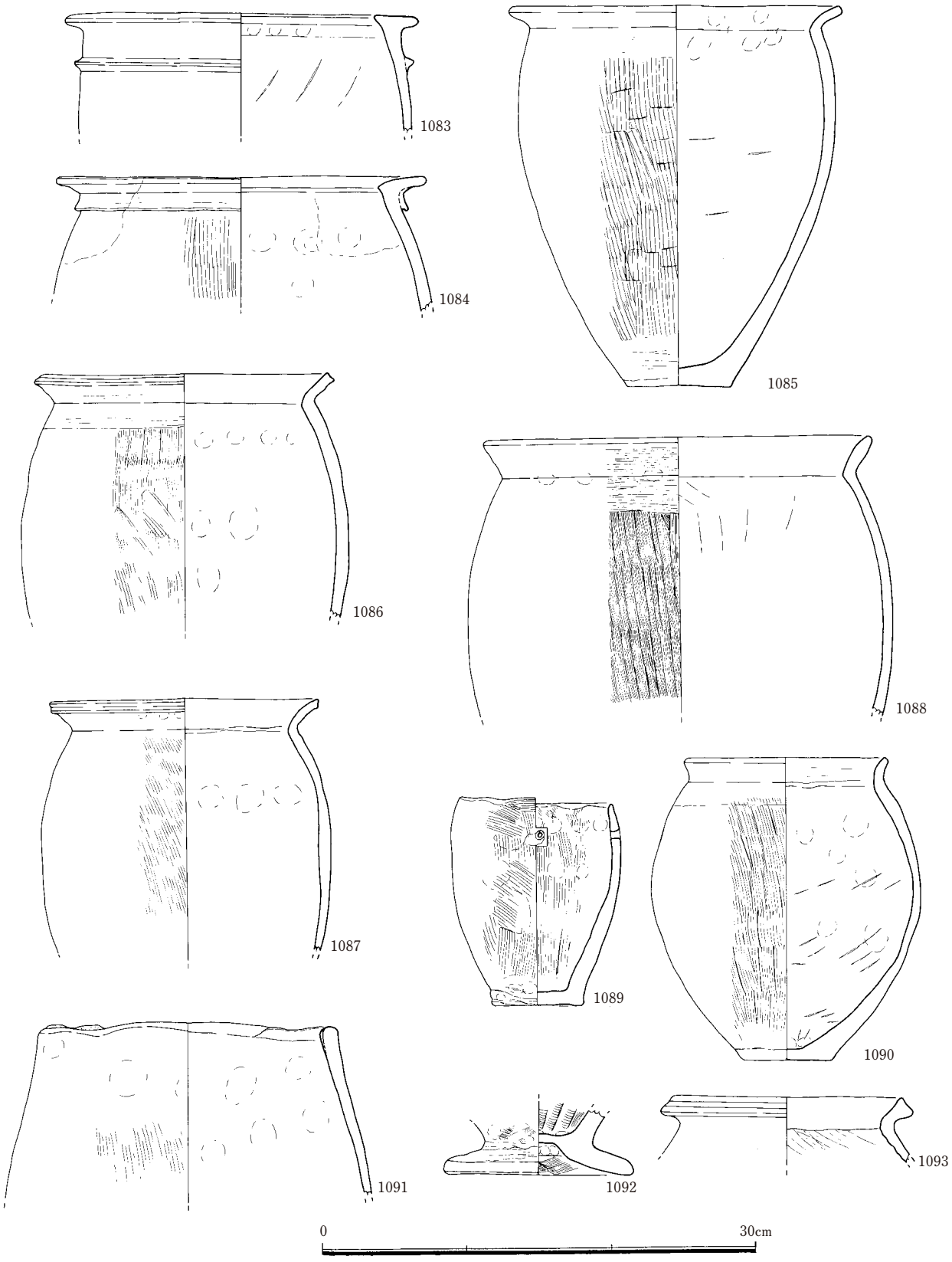
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 102 | 1071 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 壺 | — | — | — | 横ナデ | 横ナデ | にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部 3/4 残存、口縁部端に刻み目を施す |
| 102 | 1072 | Ⅱ | 136 | — | 壺 | — | 9.3 | 7.8 | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁部から胴部上位まで横ナデ | 浅い黄橙色 | 精緻、2㎜以下の石英、長石粒、雲母 | やや軟 | 全体の 2/3 残存、 |
| 102 | 1073 | Ⅱ | 136 | — | 壺 | — | 14.8 | — | 口縁部は磨滅、頸部縦方向のヘラ磨き | 口縁部は横刷毛目、頸部はナデ・指押さえ | 橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 口縁部 1/3 残存、丹塗りを外面全体と内面頸部 |
| 102 | 1074 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 壺 | — | — | 5.4 | 全体に磨滅が著しいため不明 | 胴部中位で指圧痕がみられる、下位はナデ | 黄灰色～灰黄色 | 3㎜以下の石英、長石粒 | 不良 | 全体の 2/3 残存、器面の剥離が著しい |
| 102 | 1075 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 壺 | — | — | 8.0 | 頸部は横ナデ、胴部上位は横ナデ、下位はナデ | 頸部には板状工具によるナデの圧痕、胴部はナデ・板状工具の圧痕・指圧痕がある | にぶい黄橙色 | 微粒の石英、長石粒 | 良好 | 胴部の 5/6 残存 |
| 102 | 1076 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 壺 | — | 18.0 | — | 口縁部は斜刷毛目、頸部は縦刷毛目、突帯は横刷毛目、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は指押さえ、頸部は横刷毛目、他は剥離が著しい | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒 | 普通 | 上半部の 4/5 残存 |
| 102 | 1077 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 壺 | — | 11.8 | — | 口縁部は斜刷毛目のち横ナデ、頸部は縦刷毛目 | 口縁部から頸部は横ナデ、肩部はケズリ | にぶい黄橙色～明黄褐色 | 3㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 口縁部は残存 |
| 102 | 1078 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 壺 | 30.8 | 20.1 | 8.0 | 口縁部はナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横刷毛目、胴部は板状工具木口によるナデ痕 | 口縁部は橙色、他はにぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 口縁部の 1/3 欠損<br>胴部中位に 1.8 × 5.2cmの焼成後の穿孔あり |
| 102 | 1079 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 壺 | 16.8 | 11.1 | 5.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦へけ目のち横ナデ、胴部下位～底部は刷毛目 | 口縁部は横刷毛目、胴部は刷毛目のちナデ、 | | | 良好 | 外面胴部中位～下位に線刻文様あり、内底部に焦げが付着、外底部には煤が付着 |
| 102 | 1080 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 壺 | | | 8.0 | 頸部はナデ・縦刷毛目、胴部上位は横刷毛目、下位は縦刷毛目 | 頸部は指押さえ痕、他は不明 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部 2/3 欠損<br>下位に 1.6 × 2.4cmの焼成後の穿孔あり |
| 102 | 1081 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 壺 | | 9.6 | | 口縁部は横ナデ、胴部はナデか | 横ナデ、胴部は強い指圧痕 | 灰黄褐色 | 5㎜以下の石英、長石粒 | 普通 | 丹塗りの壺<br>全体の 1/3 残存 |
| 102 | 1082 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 壺 | — | (14.0) | | 縦ヘラ磨き | 横ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、1㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部の 1/4 残存 |
| 103 | 1083 | Ⅱ | 136 | — | 甕 | — | 24.4 | | 横ナデ | 口縁部直下は横ナデ、胴部は板状工具によるナデ痕 | 外：灰黄褐色<br>内：灰黄褐色～黒褐色 | 砂粒 | 良好 | 口縁部 5/6 残存、外面口縁端部～胴部に煤付着 |
| 103 | 1084 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 甕 | — | 25.6 | — | 口縁部は横ナデ・胴部は縦刷毛目のちナデ消し | 口縁部は横ナデ胴部はナデ・指圧痕 | 浅い黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、1㎜以下の橙色粒 | 良好 | 全体の 1/5 残存、丹塗が口縁上面と内外の胴部の一部に施されている |
| 103 | 1085 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 甕 | 26.3 | — | 7.3 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部付近ではナデ | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、口縁部直下では指圧痕、胴部中位では板状工具木口によるナデ痕がみられる | にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英、長石粒、5㎜大の橙色粒子や微粒の雲母 | 良好 | 口縁部 1/7 残存、外面口縁端部～胴部の底部との境まで煤付着 |
| 103 | 1086 | Ⅱ | 136 | — | 甕 | — | — | — | 口縁部は横ナデ、胴部上位は縦刷毛目、中位斜刷毛目、下位は縦刷毛目 | 口縁部は横刷毛目、胴部はナデ・指圧痕がみられる | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 胴上半部 1/2 残存、外面口縁端部～胴部にかけて煤付着 |
| 103 | 1087 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 甕 | — | — | — | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、指圧痕もみられる | 外：褐灰色～灰黄褐色<br>内：にぶい黄褐色～暗褐色 | 1㎜以下の石英、長石粒 | 普通 | 上半部の 1/2 残存 |
| 103 | 1088 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 甕 | — | — | — | 口縁部は横ナデ、胴部は細かい縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、微粒の黒色粒 | 良好 | 全体の 1/4 残存、外側口縁部～胴部にかけて煤付着 |
| 103 | 1089 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 甕 | 14.4 | — | 6.4 | 横・斜方向の粗い刷毛目、指圧痕もみられる | 粗い縦方向の刷毛目、口縁部～胴部上位には指圧痕がみられる | にぶい黄橙色～灰黄褐色 | 1㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 全体の 4/5 残存、口縁部下に穿孔が 1 箇所ある、焼成後に穿つ |
| 103 | 1090 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 壺 | 20.9 | — | 6.2 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目、底部近くではナデ消し | 板状工具木口によるナデ痕、指圧痕 | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存 |
| 103 | 1091 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 鉢 | — | — | — | 口縁部は指押さえ、胴部は縦刷毛目のちナデ消し | ナデ・指圧痕 | 灰黄色～にぶい黄色 | 2㎜以下の石英、長石粒、微粒雲母、3㎜大の赤色粒 | 良好 | 全体の 1/3 残存、口縁部内側に粘土を貼り付け、ナデ調整を行っている |

## 表 55　土器群 136 出土土器観察表（2）

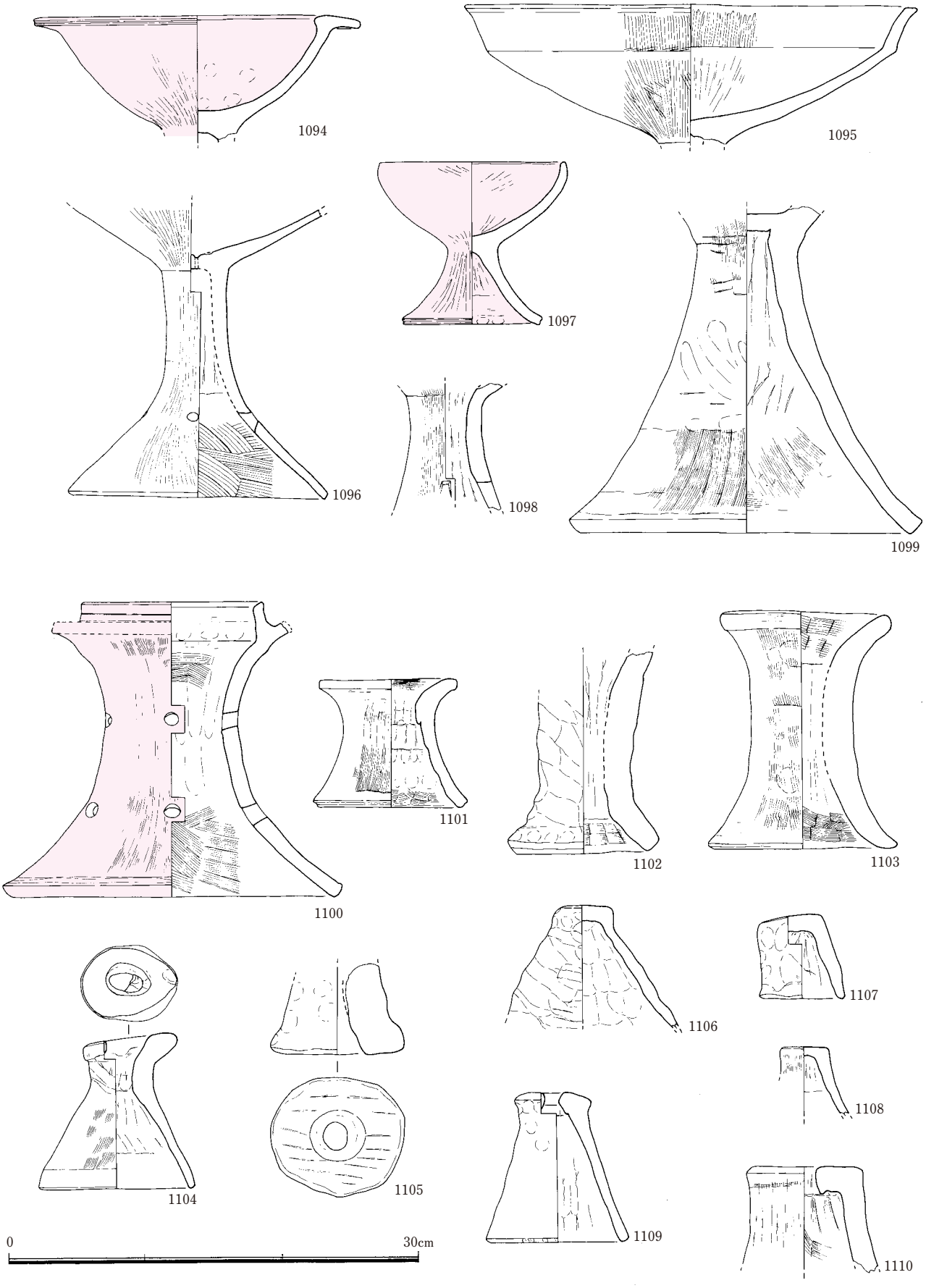
| 図 | No. | Ⅱ出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 103 | 1092 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 脚 | — | — | 13.2 | ナデと刷毛目 | 刷毛目と指圧痕 | 灰白色 | 5㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 全体の 1/6 欠損 |
| 103 | 1093 | Ⅱ | 136 | — | 外来系土器 | — | — | — | 口縁部から肩部は横ナデ | 口縁部は横刷毛目、肩部はヘラ削り | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英、長石粒、雲母、褐色粒 | 良好 | 全体の 1/5 残存 |
| 104 | 1094 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 高坏 | — | 23.8 | | 口縁部上面は剥離が著しい、他は縦ヘラ磨き | 全体に磨滅がみられ、下位方向には指圧痕がある | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 坏 4/5 残存、外面口縁部～胴部にかけて煤付着 |
| 104 | 1095 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 高坏 | — | 33.0 | — | 口縁部から胴部全体縦ヘラ磨き、斜方向の痕らしきものある | 板状工具によるナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒む、1㎜以下の黒色粒や雲母 | 良好 | 坏部 5/6 残存、丹塗が外面と内面口縁部と胴部の一部に施す |
| 104 | 1096 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 高坏 | — | — | 19.0 | 坏部は縦ヘラ磨き？筒部は縦ヘラ磨き、刷毛目 | 坏部はナデ、篦状工具によるナデ？裾部は刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、黒色粒、微粒の雲母 | 良好 | 全体の 1/3 残存、穿孔を焼成後に 3 箇所に施す、坏部の底には細い穿孔（焼成後）がある |
| 104 | 1097 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 高坏 | 11.8 | — | 10.2 | ヘラ磨き、裾部は縦ヘラ磨き | 坏部は縦ヘラ磨き、裾部は横ヘラ磨き | 橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 坏部は 1/3 残存 |
| 104 | 1098 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 器台 | — | — | — | 縦刷毛目 | 口縁部は縦方向のナデ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 胴部のみ残存、2 箇所に方形の透かし（焼成前）がある、全体では 4 箇所と思われる |
| 104 | 1099 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 脚部 | — | — | 12.8 | 縦刷毛目、指ナデ、縦刷毛目 | 指押さえ、板状工具によるナデの圧痕、刷毛目、裾部は横ナデ | 灰黄褐色 | 7㎜以下の石英、長石粒、1㎜以下の黒色粒、雲母 | 良好 | 全体の 1/3 欠損、外面には丹塗が施されている |
| 104 | 1100 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 多孔特殊器台 | 21.5 | 13.4 | — | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目のちナデ消し、裾部は横ナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は指圧痕、胴部上位は粗い横刷毛目・指ナデ、中位はナデ、下位は横刷毛目、裾部は横ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、褐色粒、雲母 | 良好 | 全体の 3/4 残存、穿孔（焼成前）が胴部中位と下位にそれぞれ 5 箇所と 4 箇所あり |
| 104 | 1101 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 器台 | 9.3 | 9.8 | 11.2 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横刷毛目、胴部は指押さえ、裾部は横刷毛目・横ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒む、精緻な金雲母 | 良好 | 完形 |
| 104 | 1102 | Ⅱ | 136 | — | 支脚 | — | — | 11.2 | 指押さえ | 指押さえ、裾部は横刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 5/6 残存 |
| 104 | 1103 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 器台 | 17.3 | 12.6 | 13.8 | 口縁部は横刷毛目、胴部は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横刷毛目、胴部はナデ、裾部は横刷毛目 | 外：にぶい橙色<br>内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母、1㎜以下の赤色粒 | 良好 | 裾部 1/7 欠損 |
| 104 | 1104 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 支脚 | 11.3 | 6.9 | 11.4 | 口縁部はナデ、胴部は刷毛目のちナデ消し、裾部は横ナデ | 口縁部から胴部中位までナデ、胴部下位は横ナデ | 灰黄色～黄灰色 | 2㎜以下の石英、長石粒を含む | 良好 | 裾部が 2/3 欠損 |
| 104 | 1105 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 支脚 | | | 9.8 | 指押さえ | ナデ | 明赤褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒と大量の雲母 | 普通 | 下半部のみ残存 |
| 104 | 1106 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 支脚 | — | 4 | — | 天井部はナデ、胴部は指ナデ | ナデ・指押さえ | 灰黄褐色～黒色 | 2㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 裾部が欠損 |
| 104 | 1107 | Ⅱ | 136 | — | 支脚 | 6.1 | 4.5 | 6.3 | 指押さえ・ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 裾部が 1/2 欠損 |
| 104 | 1108 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 支脚 | — | 3.6 | — | 縦刷毛目のちナデ消し | ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 裾部欠損 |
| 104 | 1109 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 支脚 | — | 5.6 | — | ナデ・指圧痕 | 指しぼり・ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 裾部は 1/8 が残存 |
| 104 | 1110 | Ⅱ | 136 | — | 支脚 | | 8.5 | — | 口縁部上面はナデ、胴部は板状工具によるナデ | 口縁部はナデ、胴部は板状工具によるナデの圧痕 | にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 上部のみ残存<br>頂部に径 2.2㎝の焼成前の穿孔あり |
| 105 | 1111 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 鉢 | 11.2 | 23.1 | 6.7 | ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 全体 4/5 残存、外側底部の一部に丹塗あり |
| 105 | 1112 | Ⅱ | 136 | — | 鉢 | — | — | 4.3 | 有軸羽状文 | ナデ・調整工具の圧痕 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、精緻な雲母 | 良好 | 底部は欠損なし、胴部全体に有軸羽状文を施す、底部近くに黒斑ある |
| 105 | 1113 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 鉢 | — | (21.8) | 6.0 | 口縁部は指押さえ後横ナデ、胴部は細かい縦刷毛目、胴部下位～底部はケズリ | 口縁部は指押さえ後横刷毛目、胴部は細かい刷毛目、底部はケズリ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 全体の 5/6 残存<br>底部に 1.4 × 1.5 の焼成後の穿孔あり |
| 105 | 1114 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 鉢 | 8.3 | 16.2 | 4.0 | 口縁部～胴部上位までは縦・斜刷毛目、胴部中位～下位は刷毛目のちナデ消し | 口縁部は横ナデ、他はナデ、口縁部と胴部中位～底部にかけて指圧痕 | 浅黄橙色 | 1㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 完形 |
| 105 | 1115 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 把手付き土器 | — | — | 5.8 | ナデ、口縁部には指圧痕 | ナデ、口縁部および底部には指圧痕、胴部中位には板状工具木口によるナデ痕 | にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 底部は残存、他は小片 |
| 105 | 1116 | Ⅱ | 136 | — | ミニチュア土器 | 6.0 | 4.0 | 4.0 | 口縁部から底部までナデ | ナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母を含む | 普通 | 完形、口縁部内側に粘土帯を貼りつける |
| 105 | 1117 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 鉢 | 6.9 | 11.9 | 5.0 | 口縁部には指圧痕、他はナデ | 口縁部と胴部下位には指圧痕、他はナデ | 橙色～にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 普通 | 口縁部 1/2 弱欠損 |
| 105 | 1118 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 鉢 | 12.3 | 16.4 | 5.5 | 口縁部は横刷毛目、胴部上位は斜刷毛目、下位はヘラ削り | 口縁部には指圧痕や板状工具木口による横・縦方向のナデ痕、胴部中位にも工具痕 | 灰黄褐色 | 4㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 底部 1/3 欠損、外面口縁部～胴部と内面胴部には煤が付着 |
| 105 | 1119 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 鉢 | 4.7 | 8.0 | 2.5 | 指ナデ | 指ナデ | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 普通 | 口縁部わずかに欠損 |
| 105 | 1120 | Ⅱ | 136 | — | ミニチュア土器 | 3.0 | 7.2 | 1.5 | 指ナデ | 指ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母を含む | 普通 | 完形、丹塗りの可能性あり |
| 105 | 1121 | Ⅱ | 136 | Y-3 | ミニチュア土器 | 5.1 | 5.4 | 2.5 | 口縁部は縦刷毛目、他はナデ | 口縁部はナデ、胴部～底部は指圧痕 | 橙色 | 3㎜以下の石英、長石粒 | 普通 | 完形 |
| 105 | 1122 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 鉢 | 5.9 | 9.7 | 4.3 | 口縁部は横ナデ、胴部は斜刷毛目、底部はナデ | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ・指圧痕 | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英、長石粒、赤色粒 | 良好 | 口縁部わずかに欠損、丹塗りの可能性あり |
| 105 | 1123 | Ⅱ | 136 | Y-2 | ミニチュア土器 | 2.6 | 4.4 | 3.0 | タタキ | ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 完形 |
| 105 | 1124 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 鉢 | 7.7 | 10.3 | 3.6 | 口縁部は横刷毛目、胴部は指押さえ・縦刷毛目、裾部は横ナデ | 口縁部は横刷毛目、胴部はナデ、裾部は横刷毛目 | 灰黄褐色 | 1㎜以下の白色粒と雲母 | 良好 | 完形 |
| 105 | 1125 | Ⅱ | 136 | Y-3 | 甕 | 8.9 | 8.4 | 3.8 | 口縁部は指押さえ、胴部は粗い縦刷毛目、底部はナデ | ナデ | 橙色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存 |
| 105 | 1126 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 支脚 | — | 4.5 | — | 口縁部は指圧痕、胴部は縦刷毛目 | 縦方向のナデ | にぶい黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 裾部欠損 |
| 105 | 1127 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 鉢？ | 6.9 | (7.4) | 1.0 | ナデ・指圧痕 | ナデ・指圧痕 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 全体の 1/2 強残存 |
| 105 | 1128 | Ⅱ | 136 | Y-3 | ミニチュア土器 | 3.5 | 5.6 | — | 指押さえ | ナデ | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母 | 普通 | 口縁部わずかに欠損 |
| 105 | 1129 | Ⅱ | 136 | Y-2 | ミニチュア土器 | 4.3 | 6.4 | 2.5 | ナデ・指押さえ | ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母、2㎜大の赤色粒 | 普通 | 口縁部わずかに欠損 |
| 105 | 1130 | Ⅱ | 136 | — | 鉢 | 6.9 | 7.4 | 1.0 | ナデ | ナデ | 灰黄褐色 | 4㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母を | 良好 | 口縁部 1/4 欠損 |



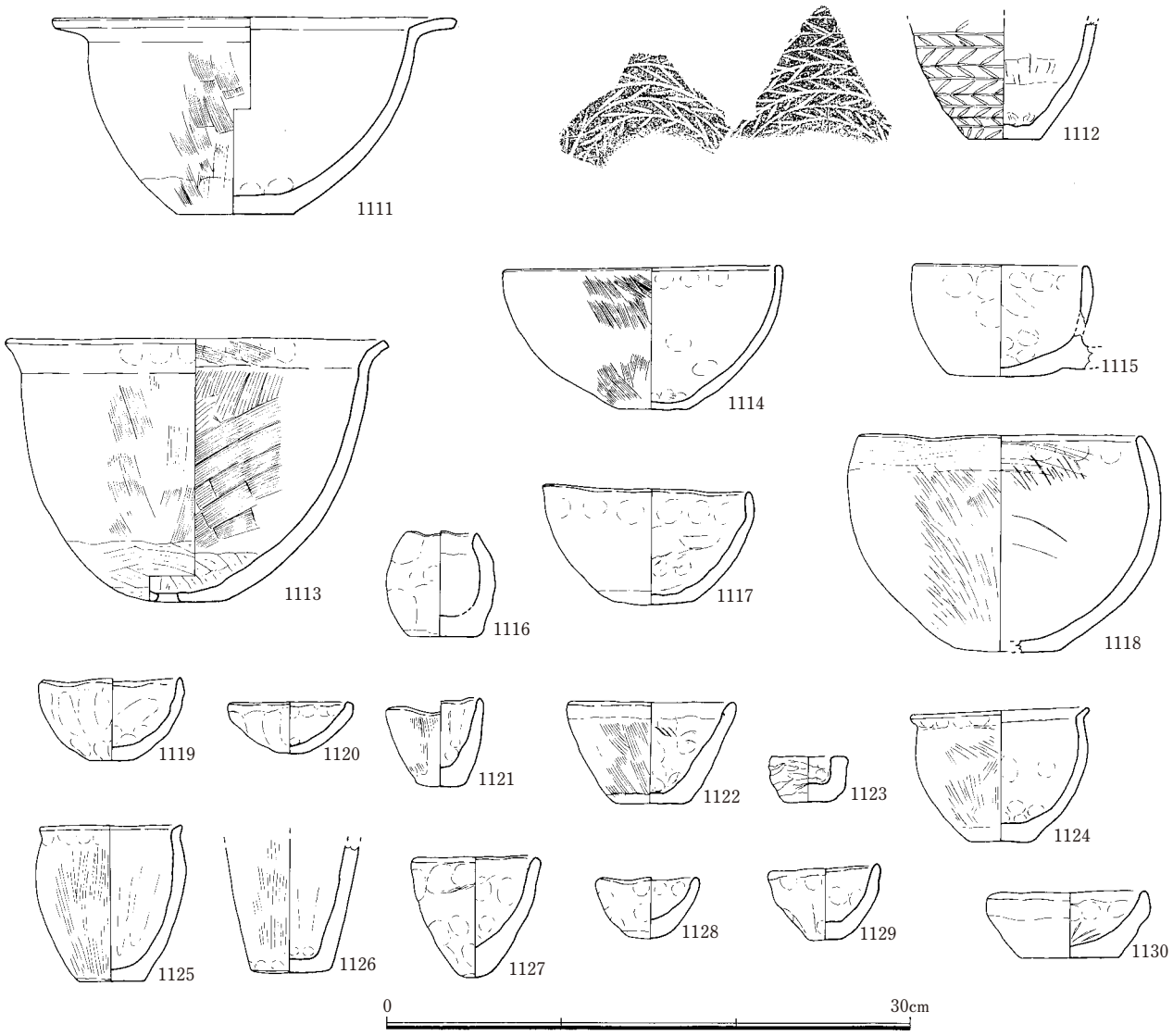

**第 102 図**　土器群 136 出土土器実測図（1）[ 1/ 4]




**第 103 図**　土器群 136 出土土器実測図（2）[ 1/ 4]



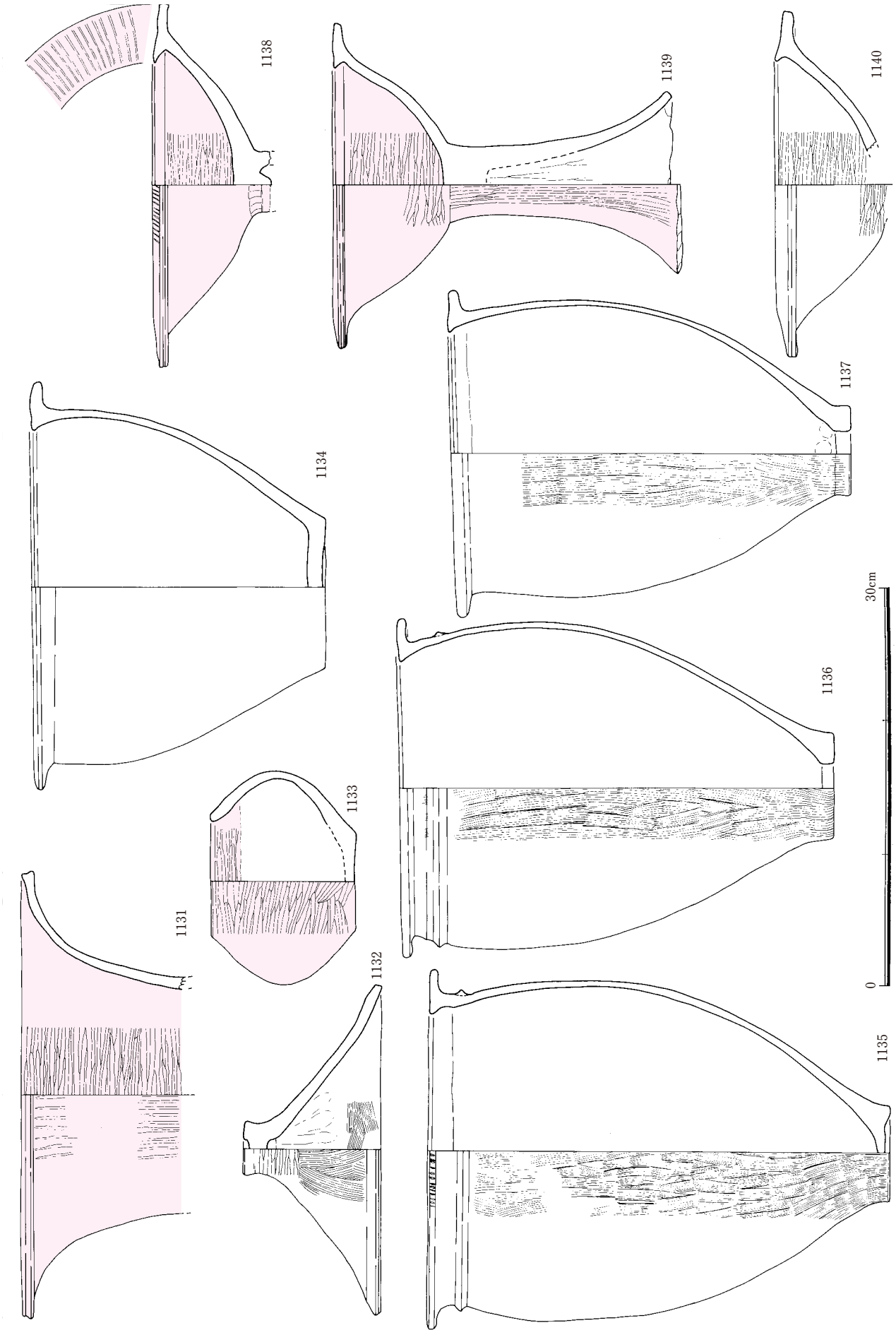

**第 104 図**　土器群 136 出土土器実測図（3）[ 1/ 4]




**第 105 図**　土器群 136 出土土器実測図（4）[ 1/ 4]

**表 56**　土器群 164 出土土器観察表

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 106 | 1131 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 壺 | — | (23.0) | — | 口縁端部～頸部は暗文風の縦ヘラ磨き | 口縁部～頸部は横ヘラ磨き | 橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 口縁部～頸部 3/4 残存 |
| 106 | 1132 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 蓋 | 10.3 | 3.9 | 24.8 | 胴部上位は横ヘラ磨き、胴部中位は縦刷毛目、裾部は横ナデ | 天井部～胴部中位まで湯部押さえ、胴部下位は横刷毛目、裾部は横ナデ | 外：橙色～灰黄褐色<br>内：黒褐色 | 1㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 完形、内面全体に煤付着 |
| 106 | 1133 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 鉢 | 10.9 | 9.3 | 7.4 | 口縁部～胴部は横ヘラ磨き、底部はケズリ | 口縁部は横ヘラ磨き、胴部はナデ | 灰褐色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母、褐色粒 | 良好 | ほぼ完形、顔料は内面口縁部と外面口縁部～胴部全体に施す |
| 106 | 1134 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 鉢 | 22.2 | 30.5 | 11.0 | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ | ナデ | 橙色 | 4㎜以下の石英、長石粒、3㎜以下の橙色粒、微粒の雲母 | 良好 | 全体の 8/9 残存 |
| 106 | 1135 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 甕 | 34.6 | 27.0 | 7.2 | 口縁部～突帯下までは横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ | 橙色～褐灰色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 2/3 残存、口縁端部には刻み目を施す、外面口縁端部～底部まで煤付着 |
| 106 | 1136 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 甕 | 32.8 | 25.4 | (7.7) | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部は横ナデ、胴部～底部はナデ | 浅い黄橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 7/8 残存、底部に焼成後の穿孔あり、外面口縁端部から胴部全体に煤付着 |
| 106 | 1137 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 甕 | 30.3 | 24.4 | 6.7 | 口縁部は横ナデ、胴部は縦刷毛目 | 口縁部～底部までナデ、底部に指圧痕 | 口縁部上面～内面は橙色、その他は黒褐色～暗褐色 | 4㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 全体の 5/6 残存、底部に焼成後の穿孔あり、外面口縁端部から胴部全体に煤付着 |
| 106 | 1138 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 高坏 | — | 27.2 | — | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ？、口縁部上面には暗文風ヘラ磨き | 横ヘラ磨き | 橙色～明赤褐色 | 2㎜以下の石英、長石粒 | 良好 | 坏部 55/6 残存 |
| 106 | 1139 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 高坏 | 26.0 | 25.4 | 13.6 | 口縁部は横ナデ、坏部は横ヘラ磨き、筒部縦ヘラ磨き | 坏部は横ヘラ磨き、筒部はナデ | 灰色～にぶい褐色か橙色 | 2㎜以下の石英、長石粒、雲母 | 良好 | 袖部は打ち欠きを施す |
| 106 | 1140 | Ⅱ | 164 | Z-2 | 高坏 | — | 25.8 | — | 口縁部は横ナデ、胴部下位は横ヘラ磨き | 胴部は横ヘラ磨き | 橙色～にぶい黄橙色か褐色 | 1㎜以下の石英、長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 脚部は欠損、丹塗りを施したか不明瞭 |




**第 106 図**　土器群 164 出土土器実測図 [ 1/ 4]

## ９包含層出土の土器について（第 107 ～ 115 図）

42 次調査では建物や動物の線刻画のある琴板やトリ形木製品など絵画や立体物がまとまって出土した。流路から出土した土器のなかには絵画や特殊な文様をもつ資料が含まれていたのでまとめて紹介する。

107-1141 はシカの線刻画のある支脚である。シカを側面からみた頸から胴部をＬ字型で表現している。前後の脚を各２本線で描くのは弥生絵画の約束事であり、前方あるいは斜め方向から見た脚を側面画に組み入れた多視点画といわれる表現法である。Ｖ字であらわされた頭部にも正面観と側面観が融合している。シカの左手には胴部から尾にかけての表現があることからシカは連続して描かれていたようである。

107-1142 は高床建物の線刻画のある支脚である。横長の長方形の区画は屋根部、下に派生する複数の条線は建物の柱を表したもので、高床の建物を棟木にそった方向から描いたものである。切り妻構造の屋根部に空間を持つ建物で、長方形の屋根部は鋸歯状の線でうめられている。妻側からのびる線刻は別の角度から見た柱を表したものであろう。

107-1079 は弥生後期の短頸壷で、鋸歯状の線に挟まれた曲線と、底部から派生して先端がとぐろを巻く渦状の線刻がある。渦状の線刻を淵に潜む竜、伏竜と考えると、鋸歯状の線に挟まれた曲線は、少し頼りないが天に昇る竜に見立てることができる。伏竜と昇竜の描き分けは､原の辻遺跡（壱岐市）で出土した壷にもみられる（宮崎 2005)。本例は平底であることから後期前半の高三潴式に比定される。伏竜と昇竜を表現した土器では古段階に位置づけられる。

107-1143 は全面に線刻のある土器である。鉢形土器とすると口縁にそって弧文を回らし、以下を鰭ともとれる線刻や曲線、×などの図像で填めている。口縁部の平坦面にそって斜め格子や刻線を加えている。本例は天地を逆にすると長野小西田遺跡（北九州市）のような鐸形土製品を彷彿とさせる（佐藤 2001)。

108-1144 は器種不明で凹線の間を不整形な曲線で埋めている。1145 は凹線文がめぐる。108-1146・108-1147・108-1148 は有軸羽状文のある容器で算盤玉形の胴部をもつ壷形土器の破片と推定される。108-1149 は弧帯文を表現した壷の肩部の破片である。108-1150 は沈線と鋸歯文のある土器片である。

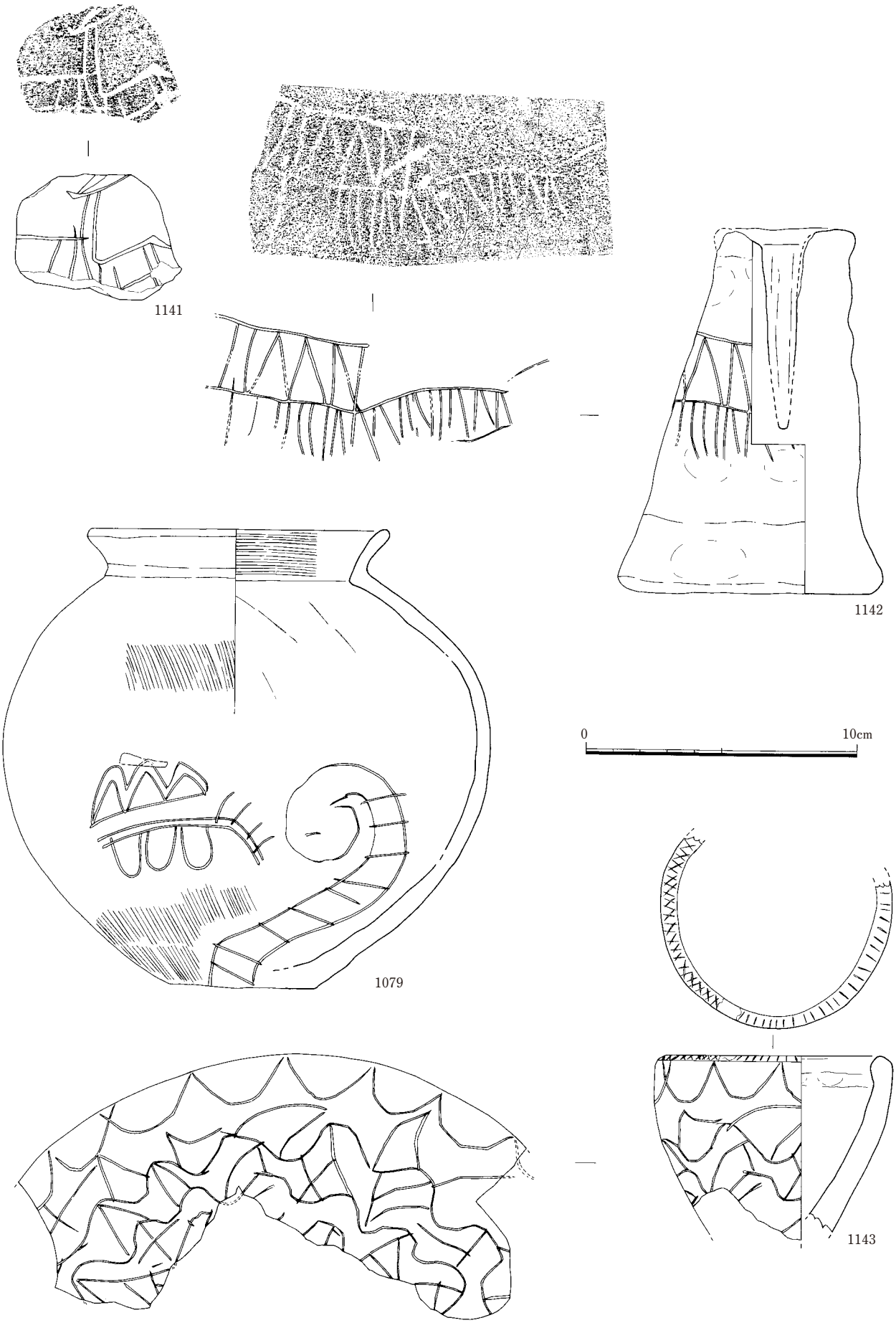
【註】

宮崎貴夫 2005「龍と鯨を描いた線刻土器」『原の辻遺跡　総集編Ⅰ』『原の辻遺跡調査事務所　調査報告書』第 30 集，長崎県教育委員会

佐藤浩司 2001「長野小西田遺跡２」『北九州市埋蔵文化財調査報告書』第 262 集 （財）北九州市　教育文化事業団

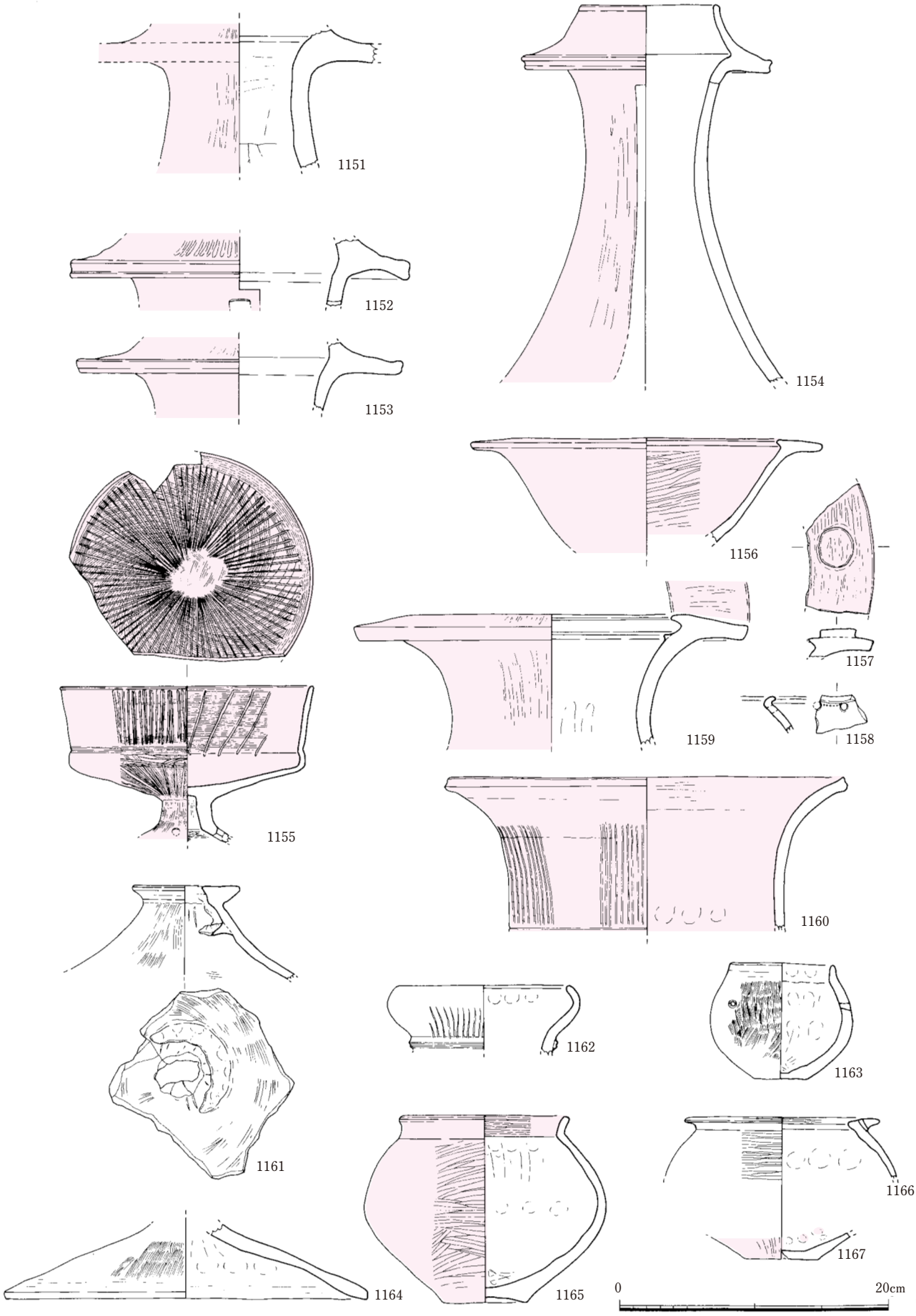
**表 57**　包含層出土土器観察表（1）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 107 | 1141 | Ⅱ | 109 | Z-1 | 支脚 | — | — | — | 指押さえ・ナデ | 剥離 | 外：にぶい橙色<br>内：灰色～黒色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母、1㎜以下の赤色粒 | 良好<br>堅い | 支脚（シカ線刻）破片<br>弥生時代<br>シカの首の基部あたりは直径 6.0cmくらい<br>焼きは堅く鋭い線で強く刻む |
| 107 | 1142 | Ⅱ | 124 | W-7 | 支脚 | 13.4 | 約 5.0 | 約 9.7 | 指押さえ・ナデ | 指押さえ・ナデ | 外：橙色<br>内：灰白色 | 2㎜以下の石英･長石粒･金雲母、1㎜以下の黒色粒、微粒の赤色粒子 | 普通 | 線刻支脚<br>残存：縦 1/2<br>頂部上面に四角の孔が焼成前にあけられている |
| 107 | 1143 | Ⅱ | | Y-2,Y-3 | 鉢 | — | 8.7 | — | 口縁端部に刻み目（// 途中から××）、他はナデ | ナデ | 灰黄褐色 | 5㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の黒色粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：2/3、底部欠損<br>線刻竜の鉢、弥生土器<br>細くて堅い施文具で竜の胴体から線刻し上方に鰭や銅の中身を描く平底か |
| 108 | 1144 | Ⅱ | | X-5 | 鐸形土製品 | 4.6 | 3.4 | — | 縦方向の細かい刷毛目（4～5 本の凹線と線刻） | 横方向のケズリ・ナデ | 外：にぶい橙色<br>内：黒色 | 7㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 弥生時代、弥生土器<br>鐸形土製品 |
| 108 | 1145 | Ⅱ | | X-4 | 鐸形土製品？ | — | — | — | 縦方向の細かい刷毛目（凹線あり） | ナデ | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 弥生時代、弥生土器<br>鐸形土製品？支脚？<br>①と似ているが径は大きい。支脚か？ |

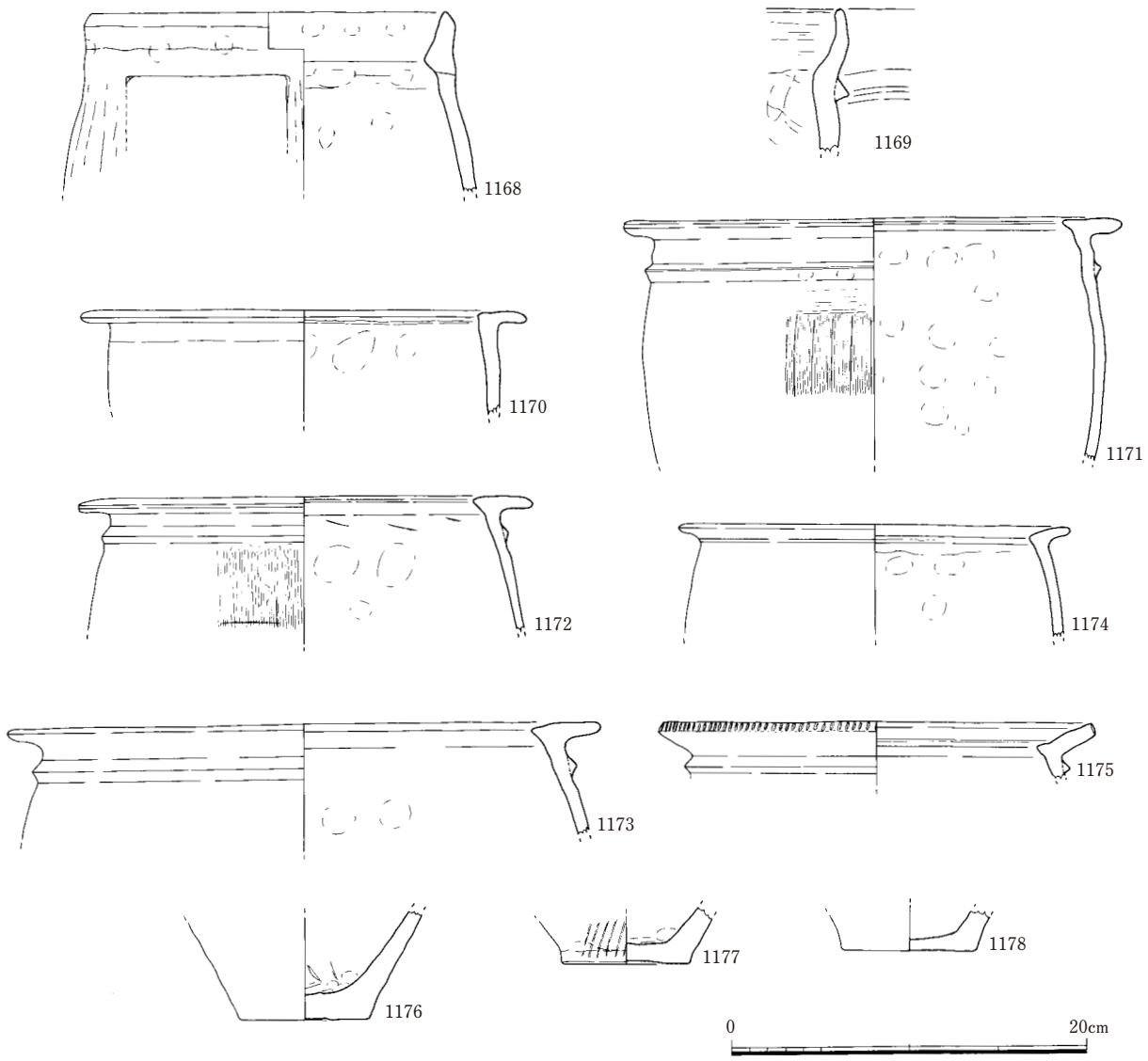



**第 107 図**　包含層出土土器実測図（1）[ 1/ 2]

**第 108 図**　包含層出土土器実測図（2）[ 1/ 2]




**第 109 図**　包含層出土土器実測図（3）[ 1/ 4]



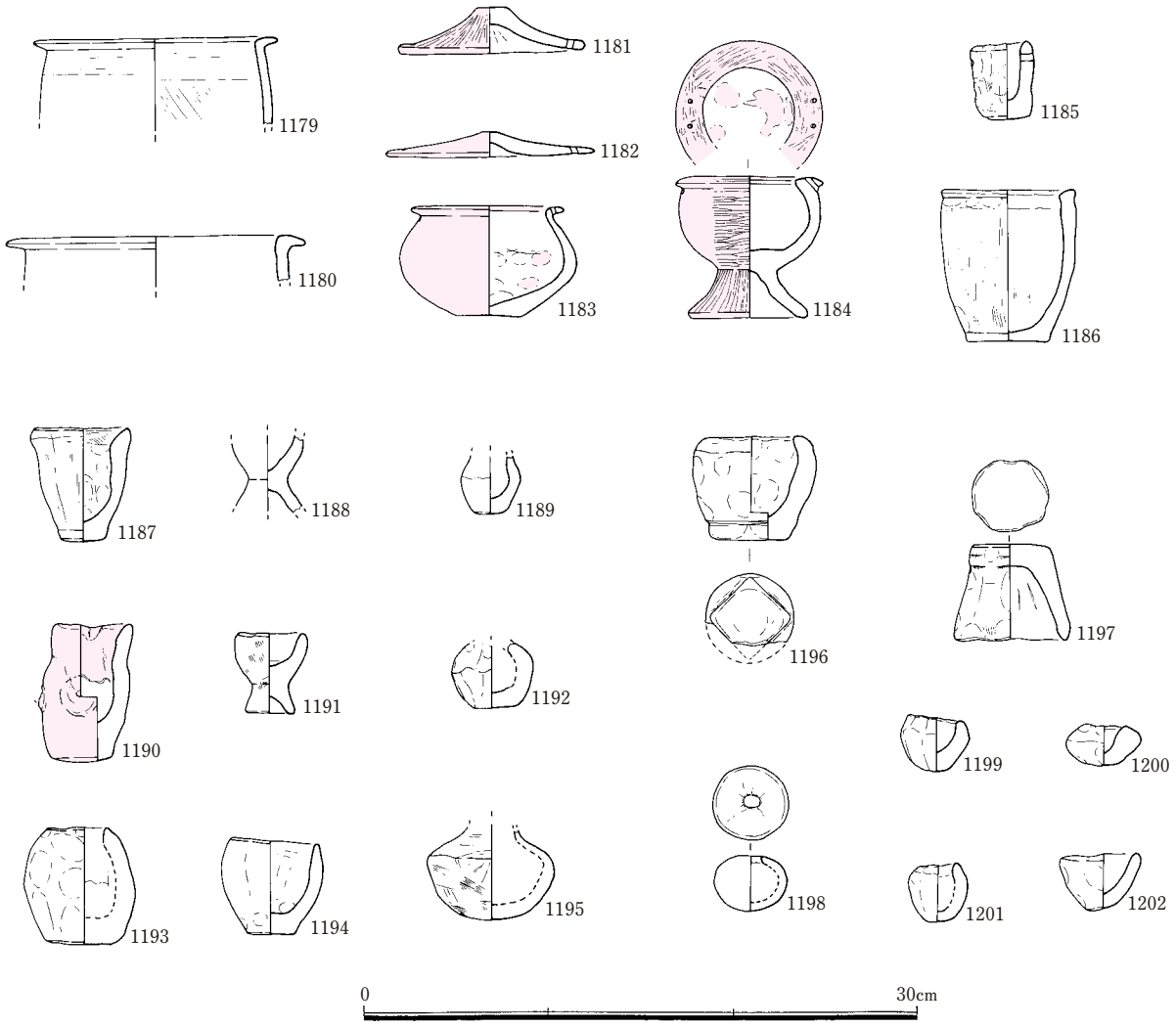

**第 110 図**　包含層出土土器実測図（4）[ 1/ 4]

**表 58**　包含層出土土器観察表（2）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 108 | 1146 | Ⅱ | | Z-1 | 壺の上半部 | — | — | — | 有軸羽状文 | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の橙色粒・雲母 | 良好 | 弥生土器<br>算盤玉型壺の上半部か（有軸羽状文の破片）<br>1147 と同一個体か |
| 108 | 1147 | Ⅱ | | Z-2 | 破片 | — | — | — | 有軸羽状文 | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の黒色粒、微粒の雲母 | 良好 | 弥生土器<br>（有軸羽状文の破片）<br>1146 と同一個体か |
| 108 | 1148 | Ⅱ | | Y-2 | 破片 | — | — | — | 有軸羽状文 | ナデ・爪痕か | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒を多量、微粒のの黒色粒・雲母を少量含む | 良好 | 弥生土器<br>（有軸羽状文の破片） |
| 108 | 1149 | Ⅱ | | X-3 | 破片 | — | — | — | 刷毛目・磨滅（中央部の磨滅著しい） | 指押さえ（器壁が厚い箇所、薄い箇所あり。剥離か） | 外：にぶい黄橙色<br>内：にぶい橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の黒色粒・雲母 | 良好 | 弥生時代、弥生土器線刻龍か<br>1150 と同一個体か？ |
| 108 | 1150 | Ⅱ | | X-4 | 破片 | — | — | — | 刷毛目 | ナデ・指押さえ・磨滅 | 外：にぶい黄橙色<br>内：にぶい橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の黒色粒・雲母 | 良好 | 弥生時代、弥生土器<br>線刻龍か<br>1149 と同一個体か？ |
| 109 | 1151 | Ⅱ | | Y-4 | 器台 | — | — | — | 受部上面はヘラ磨きか、他は横ナデ・ヘラ磨き | 横ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | 良好 | 筒形器台（丹塗り）、弥生中期 |
| 109 | 1152 | Ⅱ | | X-4 | 器台 | — | 25.2 | — | 受部上面はヘラ磨き・暗文風、他は横ナデ | 横ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 筒形器台（丹塗り）、弥生中期<br>残存：受部 1/3<br>筒部に足の透かし痕跡 |
| 109 | 1153 | Ⅱ | | X-5 | 器台 | — | 24.2 | — | 受部上面はヘラ磨きか磨滅、他は横ナデ・磨滅 | ナデ・磨滅 | 明黄褐色～にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | 普通 | 筒形器台（丹塗り）、弥生中期<br>残存：受部 1/4 |
| 109 | 1154 | Ⅱ | | Z-3 | 器台 | — | 10.0 | 18.5 | 受部は磨滅、他は縦ヘラ磨き | 受部は磨滅、他はナデ | 淡黄橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子 | やや軟 | 筒形器台（丹塗り）<br>脚は 3 本残っている（裾部なし）<br>筒部はヘラ状工具で切り取り部分あり |
| 109 | 1155 | Ⅱ | | Z-2 | 高坏 | — | 18.8 | — | 口縁部は横ナデ・縦の暗文、凹線が巡り、坏部下位は縦刷毛・横ヘラ、脚柱部にかけ縦刷毛・暗文風の縦ヘラ、脚柱部下位は縦刷毛・ナデ | 坏部は横刷毛・縦ヘラで暗文風、坏部下位は渦巻き状の刷毛・放射状のヘラ（暗文風）、裾部は刷毛 | 灰黄褐色 | 精緻、微粒の白色粒・雲母、3㎜大の赤色粒が 1 つ見られる | 普通 | 外来系土器、古墳時代<br>残存：3/4（裾部欠損）<br>内外ともに丹塗りの痕跡少々あり<br>裾部に焼成後の穿孔 3 個あり |
| 109 | 1156 | Ⅱ | | W-5 | 高坏 | — | 26.0 | — | 口縁部上面は横ナデ、他は磨滅 | 横ヘラ磨き | 橙色～にぶい黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒子 | 普通 | 残存：3/4（坏部） |

## 表 59　包含層出土土器観察表（3）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 109 | 1157 | Ⅱ | | Y-2 | 口縁部 | — | — | — | 口縁端部は刻み目あり、他はヘラ磨き・横ナデ | 横ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、白色微粒子・雲母 | 普通 | 外来系土器<br>弥生時代<br>円形浮文<br>高坏か壺の口縁 |
| 109 | 1158 | Ⅱ | | Y-2 | 口縁部小片 | — | — | — | ナデ・磨滅 | ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の白色粒（4㎜大の白色粒も１個見られる） | 良好 | 0.5 × 0.6cmの焼成前の穿孔あり。孔の間に６個の未貫通の小孔あり |
| 109 | 1159 | Ⅱ | | X-5 | 壺 | — | 29.2 | — | 口縁部上面はヘラ磨き、頸部は縦ヘラ磨きか・磨滅 | ナデ・磨滅<br>内側に突帯が巡る | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器（山陰系）<br>弥生時代<br>残存：口縁部 1/3<br>かすかだが口縁部～頸部に丹塗り痕<br>内側に突帯が巡る |
| 109 | 1160 | Ⅱ | | W-5 | 壺 | — | 29.8 | — | 口縁部は横ナデ、頸部は部分的に暗文あり | 口縁部は横ヘラ磨きかナデ、頸部はナデ・磨滅 | 橙色～にぶい橙色 | 精緻、1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/10（口縁部） |
| 109 | 1161 | Ⅱ | | Y-3 | 蓋？ | — | — | 7.9 | 頂部上面はナデ、他は縦刷毛 | 指押さえ・横刷毛（調整工具不明のヘラ状の痕跡あり） | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 外来系土器（山陰系）<br>弥生時代<br>内側部分的に三日月状の粘土帯が貼り付け |
| 109 | 1162 | Ⅱ | | | 壺 | — | 12.8 | — | 口縁部上はナデ、口縁部中位から下位は暗文風が全周めぐる | ナデ | 灰褐色～にぶい褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/5（弥生壺口縁部）<br>口縁部に暗文風が全周めぐる |
| 109 | 1163 | Ⅱ | | Z-2 | 壺 | 8.5 | 7.8 | 4.2 | 口縁部は横ナデ、胴部は細かい縦刷毛、底部付近はナデ・ナデ消し | 口縁部は横ナデ、総武はナデ、底部は指押さえ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 外来系土器<br>弥生時代<br>残存：1/2<br>胴部上位に１箇所穿孔（焼成後か）あり　２個１対か？ |
| 109 | 1164 | Ⅱ | | W-5<br>SD02 | 蓋 | — | 27.0 | — | 頂部付近はナデ、胴部は縦刷毛、裾部は横ナデ | ナデ、裾部は横ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒を含む | 良好 | 残存：1/4 弱 |
| 109 | 1165 | Ⅱ | | X-2 | 壺 | 13.9 | 12.7 | 6.3 | 口縁部は横ナデ、胴部は横・斜ヘラ研磨、底面はナデ | 口縁部は横ヘラ磨き、他は指ナデ・ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・赤色粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：口縁部少々<br>内側口縁部～外側底部まで丹塗り（底面除く） |
| 109 | 1166 | Ⅱ | | W-5 | 壺 | 14.4 | — | — | 横ヘラ磨き | ナデ | 灰黄褐色～黒褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | 残存：1/4（無頸壺の口縁部<br>口縁部上面に焼成前の穿孔あり（2つあるかもだが欠けて不明） |
| 109 | 1167 | Ⅱ | | X-2<br>北トレンチ | 底部 | — | — | 5.4 | 縦ヘラ磨きか | | にぶい黄橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 残存：1/2（弥生底部）<br>内面底部は丹が上から滴り落ちたか |
| 110 | 1168 | Ⅱ | | Z-2 | 甕 | — | 20.0 | — | 口縁部は横ナデ・ナデ、他はケズリ | 口縁部はナデ・指押さえ、頸部は横ナデ、胴部はナデ・指押さえ | 外：灰黄褐色<br>内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 甕（方形の窓付）弥生土器<br>外側口縁上方に丹の痕跡あり |
| 110 | 1169 | Ⅱ | | X-2<br>北トレンチ | 口縁部 | — | — | — | 横ナデ・ナデ | 口縁部は横ナデ、他はアレ | 灰黄褐色 | 5㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母を含む | 良好 | 弥生口縁部小片 |
| 110 | 1170 | Ⅱ | | X-2・3 | 甕 | — | 25.0 | — | 口縁部は横ナデ、他は磨滅・ナデ | 横ナデ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/7（口縁部） |
| 110 | 1171 | Ⅱ | | W-5 | 甕 | — | 28.0 | — | 口縁部は横ナデ、胴部上位は細かい縦刷毛、胴部中位は磨滅著しい | 口縁部は横ナデ、他は指押さえ | 口縁部上面：橙色<br>外・内：にぶい黄橙色～褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の赤色粒 | 良好 | 残存：1/3（甕の上半部） |
| 110 | 1172 | Ⅱ | | X-2・3 | 甕 | — | 25.4 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛のち横刷毛 | 指押さえ・ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・橙色粒子を含む | 良好 | 残存：1/9（甕の口縁部） |
| 110 | 1173 | Ⅱ | | | 甕 | — | 33.4 | — | 口縁部・突帯部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は横ナデ、他はナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/5（弥生甕口縁部） |
| 110 | 1174 | Ⅱ | | | 甕 | — | 22.0 | — | 口縁部は横ナデ、他は磨滅 | 口縁部は横ナデ、肩部は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：1/5（弥生甕口縁部） |
| 110 | 1175 | Ⅱ | | X-2<br>北トレンチ | 甕 | — | 24.0 | — | 口縁部は横ナデ、口縁部上端に刻みが巡る | 横ナデ・ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | 残存：1/10（弥生甕口縁部） |
| 110 | 1176 | Ⅱ | | | 甕 | | | 7.3 | 磨滅 | ナデ | 灰黄褐色 | 4㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の橙色粒 | 普通 | 残存：6/7（弥生底部） |
| 110 | 1177 | Ⅱ | | X-2・3 | 甕 | — | — | 7.2 | 縦の大きな刷毛目 | ナデ・指ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：2/3（底部） |
| 110 | 1178 | Ⅱ | | V-5 | 甕 | — | — | 7.6 | 磨滅 | 磨滅 | 外：橙色<br>内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・橙色粒子 | やや軟 | 残存：1/2（弥生底部） |
| 111 | 1179 | Ⅱ | | X-2<br>北トレンチ | 甕 | — | 13.2 | — | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は横ナデ、他は斜刷毛 | にぶい黄橙色 | 微粒の石英・長石粒・雲母 | 良好 | |
| 111 | 1180 | Ⅱ | | V-5 | 甕 | — | 16.2 | — | ナデ | ナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母・黒色粒・赤色粒 | 普通 | 弥生口縁部小片 |
| 111 | 1181 | Ⅱ | | X-5 | 蓋 | 2.5 | 10.0 | 1.8 | 頂部は磨滅、他は縦ヘラ磨き | ナデ | にぶい黄橙色・丹塗り | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 弥生土器､蓋（丹塗り）完形品、裾部に焼成前の穿孔が２つずつ対称の位置にある |
| 111 | 1182 | Ⅱ | | X-2<br>北トレンチ | 蓋 | 1.0 | 1.4 | 11.2 | ナデ | ナデ | | 精緻、1㎜以下の白色粒・雲母・橙色粒子 | 良好 | 丹塗り、穿孔あり |
| 111 | 1183 | Ⅱ | | X-6 | 壺 | 5.9 | 8.3 | 3.6 | 剥離 | 指押さえ | 灰黄褐色 | 精緻、白色微粒子 | 軟 | 弥生土器、無頸壺（丹塗り）完形品<br>頸部に焼成前の穿孔が２つずつ対称の位置にある |
| 111 | 1184 | Ⅱ | | X-2 | ミニチュア土器 | 7.5 | 8.0 | 6.4 | 細かい横ヘラ磨き | ナデ、台部は横ナデ | 灰黄褐色 | 精緻 | 良好 | 弥生土器、ミニチュア土器（口縁部やや欠け）、口縁部上面に焼成間の穿孔２つずつ対称の位置にある、内側は丹が落ちたか |
| 111 | 1185 | Ⅱ | | X-5 | ミニチュア土器 | 4.2 | 3.2 | 2.6 | 刷毛目・ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 微粒の石英・長石粒・雲母を若干含む | 良好 | ミニチュア土器（つるべ形土器）、完形品、胴部上位に焼成前の穿孔（0.3cm）が対称位置にあり |
| 111 | 1186 | Ⅱ | | X-5 | 支脚 | 8.3 | 4.6 | 7.3 | 受部上面はナデ、筒部は刷毛目・ナデ、裾端部は横ナデ | ナデ、裾端部は横ナデ | 外：黒褐色<br>内：黒褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母を若干含む | 良好 | 支脚（完形品）<br>弥生時代、弥生土器 |
| 111 | 1187 | Ⅱ | | Y-4 | ミニチュア土器 | 約 6.2 | 約 4.8 | 2.6 | 口縁部は横ナデ、他は板ナデ | 口縁部は横・斜刷毛、他は指押さえ | にぶい黄橙色～橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒を多く、微粒の雲母・赤色粒を少量含む | 良好 | ミニチュア土器（甕）<br>残存：3/4 |
| 111 | 1188 | Ⅱ | | Y・Z-2 | ミニチュア土器 | — | — | — | ナデ・磨滅 | ナデ・磨滅 | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒を多く、1㎜以下の橙色粒子を若干含む | 普通 | ミニチュア土器<br>頸径：2.05cm |
| 111 | 1189 | Ⅱ | | X-5 | ミニチュア土器 | — | — | 1.6 | ナデ | ナデ | 灰白色～灰黄色 | 微粒の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | ミニチュア土器、残存:口縁部、内外ともに少々橙色（丹か） |
| 111 | 1190 | Ⅱ | | Y-3 | ミニチュア土器 | 約 7.5 | 約 4.3 | 3.4 | 磨滅 | ナデ | 灰黄褐色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 普通 | ミニチュア土器（注口？壺）<br>胴部中位に焼成前の穿孔があったようだ |
| 111 | 1191 | Ⅱ | | Y・Z-2 | ミニチュア土器 | 4.3 | 3.6 | 2.7 | 刷毛目・ナデ | ナデ・磨滅 | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 普通 | ミニチュア土器、欠損：下半部 2/3、頸径：2.0cm |



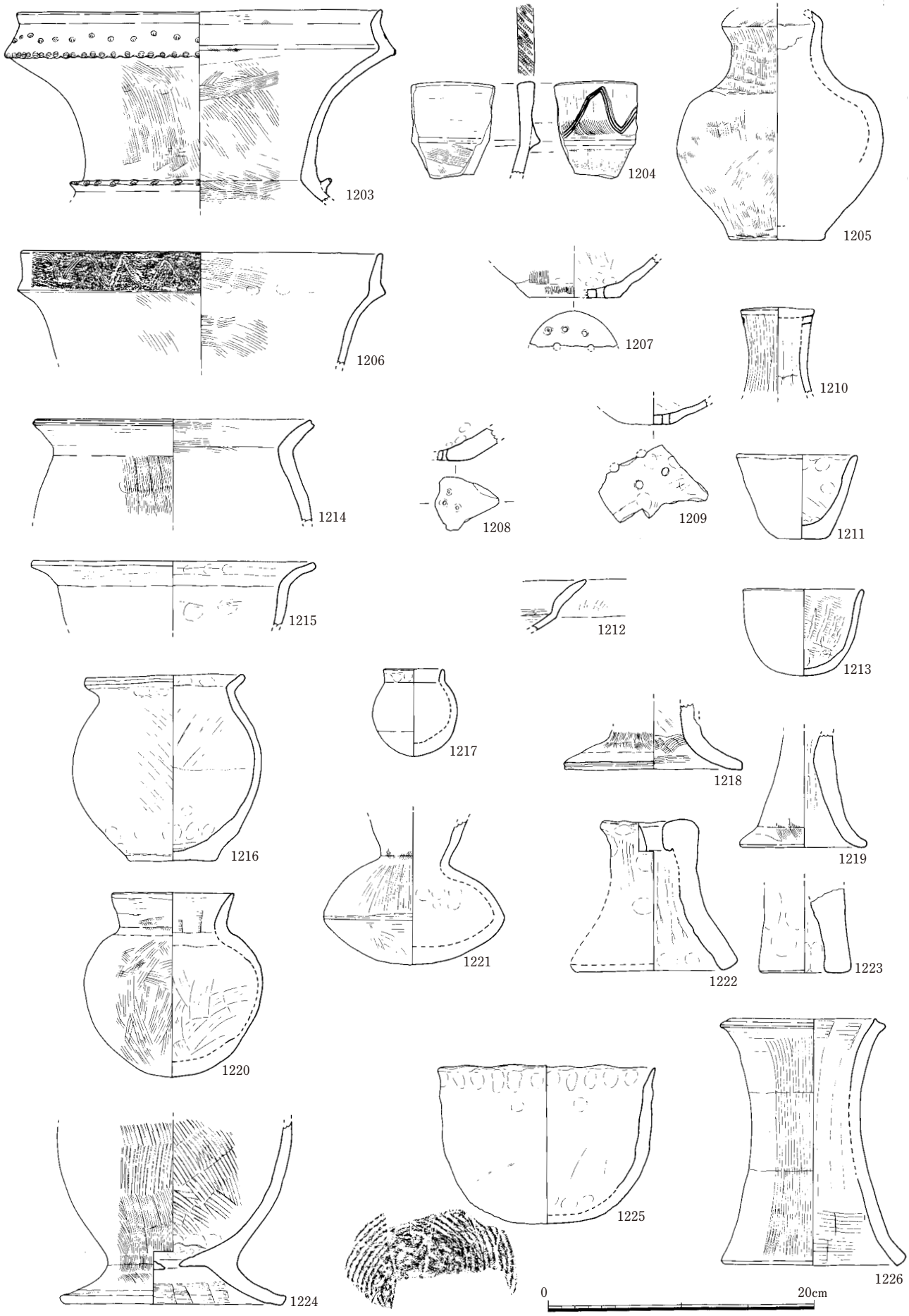

**第 111 図**　包含層出土土器実測図（5）[ 1/ 4]

**表 60**　包含層出土土器観察表（4）

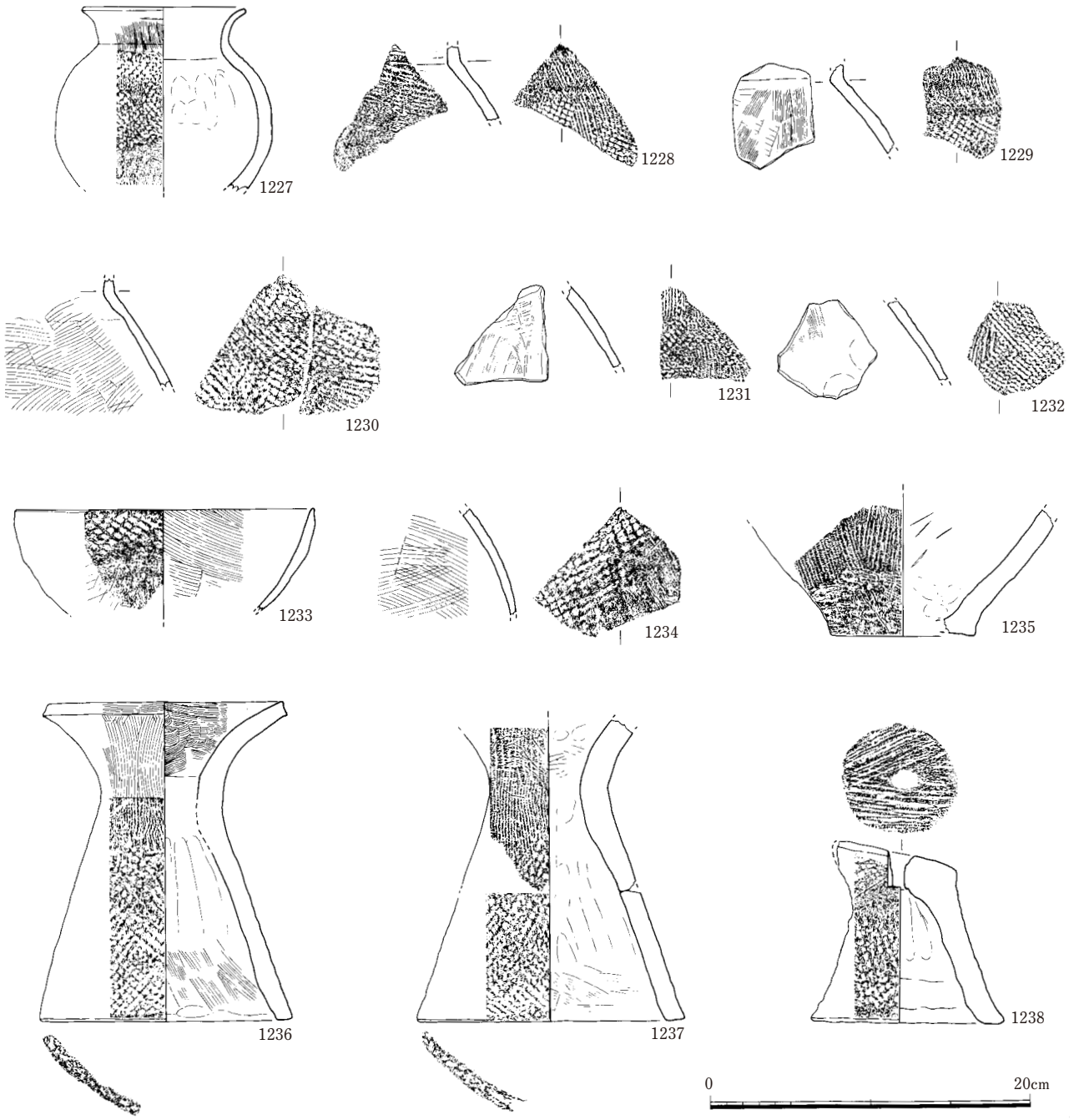
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 111 | 1192 | Ⅱ | | X-4 | ミニチュア土器 | — | — | 4.5 | 指押さえ・ナデ | ナデ | 褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母を多く含む | 良好 | ミニチュア土器、欠損：口縁部 |
| 111 | 1193 | Ⅱ | | X-5 | 小壺 | 6.3 | 3.0 | 4.2 | 磨滅 | ナデ | 橙色 | 5㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 良好 | 弥生土器、ミニチュア土器、完形品 |
| 111 | 1194 | Ⅱ | | Z-2 | ミニチュア土器 | 5.3 | 4.8 | 2.6 | ナデ | 横ナデ | 灰白色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | ミニチュア土器、完形品 |
| 111 | 1195 | Ⅱ | | X-6 | 壺 | — | — | 丸底 | ナデ・刷毛 | ナデ・刷毛 | 灰黄褐色 | 精緻<br>大粒の白色粒や 1㎜以下の褐色粒も若干見られる | 良好 | ミニチュア土器（丹塗り）、残存：胴部は完形（口縁部は全周なし）<br>口縁部は意図的に欠いたのかは不明 |
| 111 | 1196 | Ⅱ | | W・X-3・4 | ミニチュア土器 | 5.2 | 約 5.0 | 3.2 | 指押さえ、底部は固い調整工具で四角い高台を造りだす | ナデ | 灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母を含む | 良好 | 弥生土器、ミニチュア土器、残存：3/4 |
| 111 | 1197 | Ⅱ | | X-5 | ミニチュア土器 | 4.2 | 4.3 | 6.1 | 受部上面はナデ、上位に工具痕、他はナデ、裾部は刷毛目 | ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母含む | 良好 | ミニチュア土器（支脚）<br>完形品 |
| 111 | 1198 | Ⅱ | | Y-3 | ミニチュア土器 | 3.05 | 0.7 × 0.9 口径（穴） | 丸底 | ナデ | — | 上半部：黒色（黒斑？）<br>下半部：にぶい黄橙色 | 微粒の石英・長石粒・雲母を若干含む | 良好 | ミニチュア土器<br>完形品 |
| 111 | 1199 | Ⅱ | | Y-3 | ミニチュア土器 | 3.05 | 2.6 | 1.0 | ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の白色粒・雲母を含む | 良好 | ミニチュア土器<br>完形品 |
| 111 | 1200 | Ⅱ | | X-4 | ミニチュア土器 | 2.3 | 2.0 | 約 1.2 | ナデ | ナデ | 縦半分：にぶい黄橙色<br>残半分：黒色（黒斑？） | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | ミニチュア土器<br>完形品（少々欠ける） |
| 111 | 1201 | Ⅱ | | Y-3 | ミニチュア土器 | 3.2 | 2.0 | 1.0 | ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | ミニチュア土器<br>口縁部上端が少し欠けているか不明 |
| 111 | 1202 | Ⅱ | | Y・Z-2 | ミニチュア土器 | 3.1 | 4.2 | 尖り底 | ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | ミニチュア土器<br>欠損：口縁部 1/4 |
| 112 | 1203 | Ⅱ | | Y-2,Y・Z-2 | 壺 | — | 27.4 | — | 口縁部は横刷毛でスタンプ印と刻み目あり、頸部は縦刷毛、突帯部上は横ナデ、突帯部にも刻み目 | 口縁部は横ナデ・横刷毛、頸部は横・縦刷毛、肩部は横刷毛 | 外：淡橙色～にぶい黄橙色<br>内：にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初、残存：上半部 3/5、竹管ではないスタンプ印 |
| 112 | 1204 | Ⅱ | | X-4 | 破片 | — | — | — | 口縁端部に刻み目、口縁部は縦刷毛 | 横ナデ・刷毛 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母を含む | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初、山型の線刻文様（調整工具は不明） |

# 表 61　包含層出土土器観察表（5）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 112 | 1205 | Ⅱ | | Y-3 | 壺 | 約 17.2 | — | 6.8 | 頸部は細かい縦刷毛・ナデ、胴部は縦・斜刷毛とナデ消し、底面は工具痕あり | — | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 欠損：口縁部 2/3<br>底部のみ黒い |
| 112 | 1206 | Ⅱ | | X-3 | 壺 | — | 27.2 | — | 口縁部は横刷毛（山型の文様）、頸部は横ナデ・斜刷毛（磨滅著しい） | 口縁部は横刷毛（磨滅著しい）、頸部は横・斜刷毛 | 外：にぶい黄橙色～丹<br>内：にぶい黄橙色～黒色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初、残存：1/2 弱 |
| 112 | 1207 | Ⅱ | | Z-2 | 甕 | — | — | — | 刷毛目 | 板ナデ・ナデ | 外：にぶい黄褐色<br>内：明黄褐色 | 5㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初、底部（多孔）、焼成前の穿孔（4㎜前後）が 5 個あり |
| 112 | 1208 | Ⅱ | | Z-2 | 甕 | — | — | — | 磨滅 | 指押さえ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初、底部（多孔） |
| 112 | 1209 | Ⅱ | | W-5 | 甕 | — | — | — | ナデ | 強い指ナデ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒・橙色粒子・雲母、1㎜以下の赤色粒 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初、底部（多孔）、焼成前の穿孔が 4 個あり |
| 112 | 1210 | Ⅱ | | X-4 | 不明？ | — | 5.6 | — | 縦ヘラ磨き | ナデ（頸部に粘土のつなぎ目あり） | 褐灰色 | 精緻、1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 残存：全周有り、口縁部付近に 2 カ所焼成前の穿孔あり |
| 112 | 1211 | Ⅱ | | | ミニチュア土器 | 6.5 | 9.2 | 4.0 | 磨滅 | 指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 残存：2/3 |
| 112 | 1212 | Ⅱ | | | 高坏 | — | — | — | ナデ | ナデ・ヘラ磨き | 橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 普通 | 弥生高杯小片 |
| 112 | 1213 | Ⅱ | | | 鉢 | 6.5 | 9.1 | 1.0 | 磨滅 | 横刷毛のちヘラ様工具でナデアゲ | にぶい黄橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の褐色粒 | やや軟 | ほとんど完形品<br>弥生 |
| 112 | 1214 | Ⅱ | | | 甕 | — | 21.0 | — | 口縁部は横ナデ、他は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ・横刷毛、他はナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/5（弥生甕口縁部） |
| 112 | 1215 | Ⅱ | | | 鉢 | — | 17.4 | — | 口縁部は横ナデ、他はナデ | 口縁部は指押さえ、他はナデ・刷毛少々 | 外：黒褐色<br>内：灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：1/5（口縁部）<br>外面スス付着 |
| 112 | 1216 | Ⅱ | | Z-1 | 壺 | 14.0 | 12.2 | 6.7 | 口縁部は横ナデ、胴部は斜のヘラ磨きか、底部付近は磨滅 | 口縁部はナデ、胴部は板ナデ、胴部中位からナデ・指押さえ | 灰黄色 | 5㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母 | 普通 | 丹塗りの壺（ほぼ完形品）、弥生土器、下半部も丹塗りだったかもしれないが磨滅で不明 |
| 112 | 1217 | Ⅱ | | Y-2 | ミニチュア土器 | 6.5 | 4.5 | 丸底 | 口縁部は横ナデ、胴部はナデ、底部付近はナデすり・ケズリ | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | ミニチュア土器（壺）<br>完形品 |
| 112 | 1218 | Ⅱ | | | 脚台部 | — | — | 13.4 | 裾部は横ナデ、他は刷毛目 | 横刷毛、裾部は横ナデ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒を含む | 良好 | 残存：6/5（弥生脚台部） |
| 112 | 1219 | Ⅱ | | X-2<br>北トレンチ | 脚台部 | — | — | 9.7 | 磨滅、裾部は刷毛目 | 磨滅 | にぶい黄橙色～橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒子 | やや軟 | ほとんど全周有り |
| 112 | 1220 | Ⅱ | | W-4 | 壺 | 13.8 | 9.2 | 丸底 | 口縁部は横ナデ・縦刷毛、頸部は縦刷毛、胴部は縦・斜刷毛 | 口縁部は横刷毛・ナデ、肩部はナデ、胴部はケズリ、底部付近は強くヘラ状工具で削っている | 灰褐色～にぶい褐色（外側は底部～肩部付近まで黒い） | 白色微粒子・雲母 | 良好<br>硬 | 土師器、古墳時代、完形品 |
| 112 | 1221 | Ⅱ | | Y・Z-2 | 壺 | — | — | 2.0 | 頸部はナデ、肩部から縦刷毛目・ナデ消し、胴部中位から横刷毛目・ナデ消し | 頸部はナデ、胴部上位は指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 弥生～古墳、弥生か土師器、欠損：口縁部 5/6 |
| 112 | 1222 | Ⅱ | | | 支脚 | 11.3 | 7.0 | 12.6 | 頂部はナデ、他は指押さえ | 裾部は指押さえ | 灰黄褐色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：3/5 |
| 112 | 1223 | Ⅱ | | X-2・3 | 器台 | | | 6.8 | ナデ | ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 残存：下半部 1/2 弱 |
| 112 | 1224 | Ⅱ | | Y-1 | 鉢 | — | — | 17.0 | 胴部上位は縦刷毛、台部にかけ細かい縦刷毛、台部は刷毛目・ナデ | 胴部は粗い刷毛、底部は削ってあり、台部は横刷毛 | にぶい黄橙色～灰黄褐色～明黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 台付鉢（弥生）、外底に焼成後の方形の穿孔あり、残存：1/2 弱 |
| 112 | 1225 | Ⅱ | | X-2 | 甕 | 約 12.0 | 約 16.4 | 約 8.0 | 口縁部は指押さえ、他はナデ、底部付近は縄目？あり、底面はナデか（ぶよぶよしている） | 口縁部は指押さえ、他はナデ | にぶい橙色 | 精緻、微粒の白色粒・赤色粒 | 良好 | 土師器、古墳時代、残存：1/3、内面がやや未い。丹か、底部付近に縄目？あり。編んだ縄状の円形台に土器を載せ成形か |
| 112 | 1226 | Ⅱ | | W-5 | 器台 | 18.5 | 12.4 | 14.0 | 受部は横ナデ、他は粗い縦刷毛 | 両端部付近は横刷毛のち横ナデ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完形品に近い |
| 113 | 1227 | Ⅱ | | X-5<br>X-6・土器群 120 | 壺 | — | — | — | 頸部は縦刷毛、胴部は格子タタキ（ところどころ縦刷毛も）、底部付近はナデ・ナデすり | ナデ | 外：にぶい黄橙色～明黄褐色<br>内：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、2㎜以下の黒色粒・雲母 | 堅緻 | 外来系土器<br>弥生後～古墳初<br>8 × 9㎝の黒斑あり |
| 113 | 1228 | Ⅱ | | W-3 | 頸部 | — | — | — | 横ナデ、粗い縦刷毛、格子タタキのち粗い縦刷毛 | 平行あて具痕のち細かい刷毛 | 外：黄灰色～黒褐色<br>内：灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒を多量、微粒の雲母を極小含む | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 113 | 1229 | Ⅱ | | — | 頸部 | — | — | — | 縦刷毛・横ナデ、格子タタキ | 細かい刷毛目 | 外：黄灰色～黒褐色<br>内：灰黄色 | 4㎜以下の石英・長、微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 113 | 1230 | Ⅱ | | Z-1 | 頸部 | — | — | — | 格子タタキ、ところどころに刷毛目あり | あて具痕消しのち粗い刷毛 | 外：灰黄色～黄灰色～黒褐色<br>内：灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母・黒色粒 | 普通 | 外来系土器<br>弥生後～古墳初 |
| 113 | 1231 | Ⅱ | | W・X-3・4 | 胴部 | — | — | — | 縦刷毛、格子タタキ、格子タタキのち縦刷毛 | 平行あて具痕のち細かい刷毛 | 外：黄灰色～黒褐色<br>内：灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 113 | 1232 | Ⅱ | | X-3 | 胴部 | — | — | — | 格子タタキ・刷毛目 | 刷毛目 | 外：黒色<br>内：灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 113 | 1233 | Ⅱ | | Z-2 | 鉢 | — | 18.8 | — | 口縁部は格子タタキ、他はケズリか | 粗い斜の刷毛（あて具痕を消している） | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 普通 | 外来系土器<br>弥生後～古墳初 |
| 113 | 1234 | Ⅱ | | Z-1 | 胴部 | — | — | — | 格子タタキ、板状工具でケズリまたはナデ・ナデすり | あて具痕消しのち粗い刷毛 | 外：黄灰色～黒褐色<br>内：灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母・黒色粒 | 普通 | 外来系土器<br>弥生後～古墳初 |
| 113 | 1235 | Ⅱ | | X-3 | 底部 | — | — | 9.0 | 縦刷毛、底部付近は調整痕不明（円形・環形の工具で横ナデか）、底面はケズリ | ナデ | 外：橙色<br>内：灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母雲母 | 良好 | 弥生土器底部<br>残存：1/4 |
| 113 | 1236 | Ⅱ | | Z-2 | 器台 | 19.0 | 14.5 | 15.8 | 受端部は横刷毛、筒部上位は縦刷毛、他は格子タタキ | 受部は横・斜刷毛、頸部は横ナデ、筒部は指ナデ・指押さえ、裾部は斜刷毛、裾端部は格子タタキ | 灰黄色，ところどころ褐灰色（外側のみ） | 4㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 外来系土器<br>弥生後～古墳初 |
| 113 | 1237 | Ⅱ | | Z-2 | 器台 | — | — | 16.8 | 筒部上位は縦刷毛、中位～格子タタキ | 受部は横刷毛・ナデ消し、頸部はナデ、筒部は指ナデ、裾部は横刷毛・ナデ消し、裾部下位はナデ、裾端部は格子タタキ | 灰黄褐色（一部外側は黒色） | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 普通 | 外来系土器、弥生後～古墳初、2 片に分かれている、裾部は小片 |
| 113 | 1238 | Ⅱ | | Y・Z-2 | 支脚 | 11.3 | 約 8㎝ | 12.0 | 受部は平行タタキ、他は格子タタキ | ナデ | 灰黄褐色、部分的に暗褐色 | 4㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 114 | 1239 | Ⅱ | | Y-3 | 壺 | 21.0 | 14.0 | 6.6 | 口縁部は横ナデ、他は細かい縦ヘラ、胴部上位に 9.3㎝の長さで刻み痕、その直下は横方向のヘラ磨き、底面はナデ | 口縁部は横ナデ・ナデ、肩部は指ナデ・横ナデ、胴部上位は横方向のケズリ、胴部中位は板ナデ、下位～ナデ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 残存：5/6、肩部に部分的に刻み目（同じ調整工具で連続して文様を付けたようだ） |
| 114 | 1240 | Ⅱ | | W-6,W-7 | 甕 | — | 18.6 | — | 口縁部は凹線が 3 本巡り、頸部は横ナデ、肩部は刷毛目 | 口縁部は横ナデ、他は磨滅（ケズリだろう） | 外：黄灰色～黒褐色<br>内：灰黄色～にぶい黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 外来系土器（山陰系）、弥生後～終末、残存：口縁部 2/3、ススか（黒い） |




**第 112 図**　包含層出土土器実測図（6）[ 1/ 4]



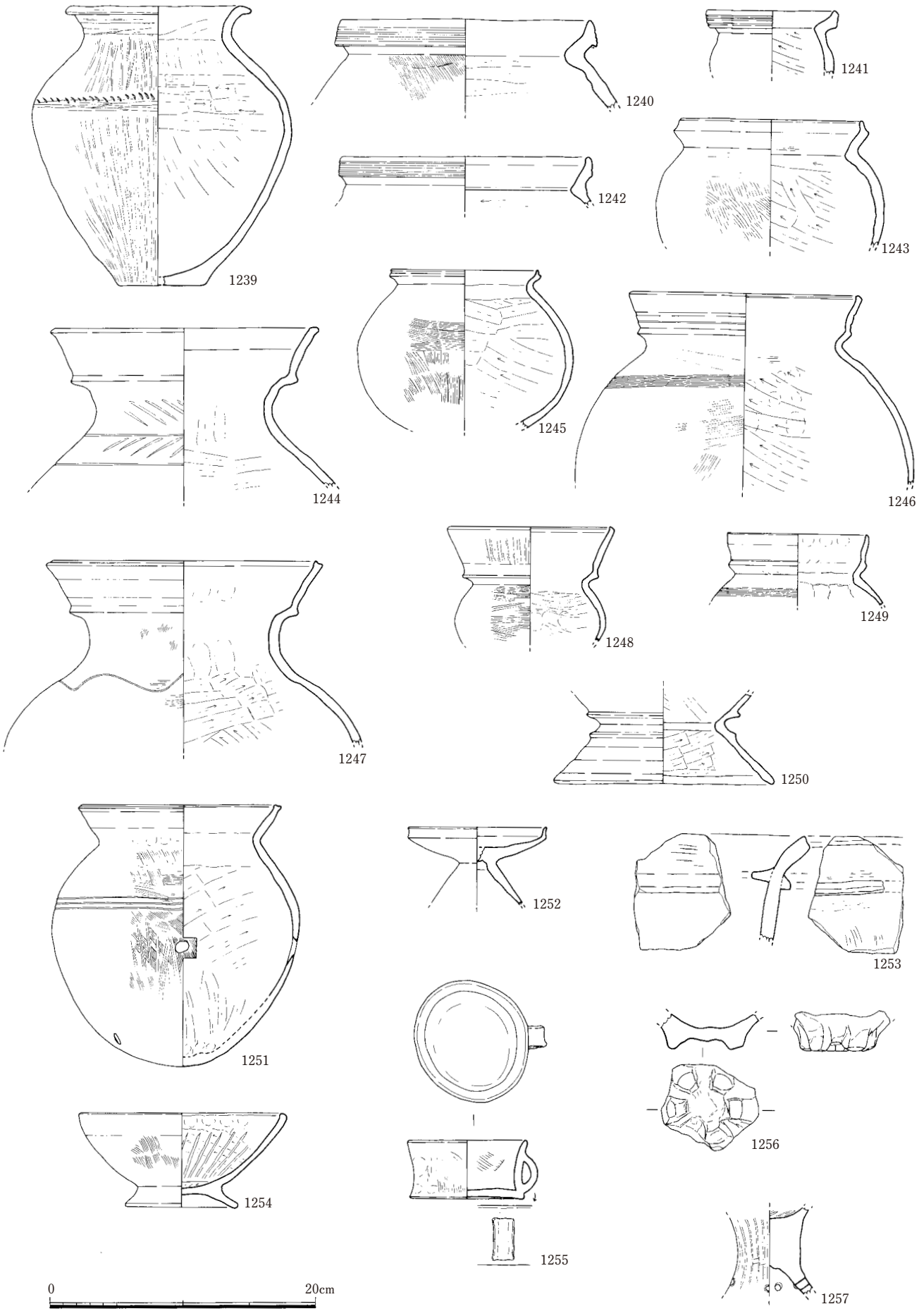

**第 113 図**　包含層出土土器実測図（7）[ 1/ 4]

**表 62**　包含層出土土器観察表（6）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 114 | 1241 | Ⅱ | | Z-2 | 壺 | — | 9.6 | — | 口縁部は凹線が 3 本巡り、他はナデか磨滅 | 口縁部は横ナデ、他はケズリ | 外：灰黄褐色<br>内：にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初、残存：上半部 1/5 |
| 114 | 1242 | Ⅱ | | Z-1、Z-2 | 甕 | — | 18.4 | — | 口縁部は凹線が 2 本巡り、頸部は横ナデ、他はナデ | ケズリ | 外：黒色（ススか）<br>内：にぶい橙色 | 精緻、微粒の白色粒・褐色粒 | 良好 | 外来系土器、弥生後～終末、残存：口縁部 1/5 |
| 114 | 1243 | Ⅱ | | Y-1,Y-2,<br>Z-1 | 壺 | — | 13.6 | — | 口縁部は横ナデ、縦・斜刷毛・磨滅 | 口縁部は横刷毛、頸部は横刷毛・ナデ、胴部はケズリ | 外：橙色<br>内：にぶい橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 外来系土器、弥生後～古墳初、残存：上半部 1/2 |
| 114 | 1244 | Ⅱ | | Y-2,Z-1 | 壺 | — | 20.2 | — | 口縁部は横ナデ、頸部・肩部は刻み目、胴部はナデ | 口縁部は横ナデ、頸部は磨滅・ナデ、肩部はケズリ | 外：にぶい黄橙色<br>内：にぶい黄橙色～にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒を、微粒の雲母 | 良好 | 外来系土器、古墳時代、残存：1/10（底部なし） |
| 114 | 1245 | Ⅱ | | Y-2 | 甕 | — | 11.0 | — | 口縁部は横ナデ、肩部は磨滅、胴部上位は横刷毛、胴部下位は縦刷毛 | 口縁部は横ナデ、他はケズリ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・赤色粒 | 良好 | 外来系土器、古墳時代、残存：2/3 |

# 表 63　包含層出土土器観察表（7）

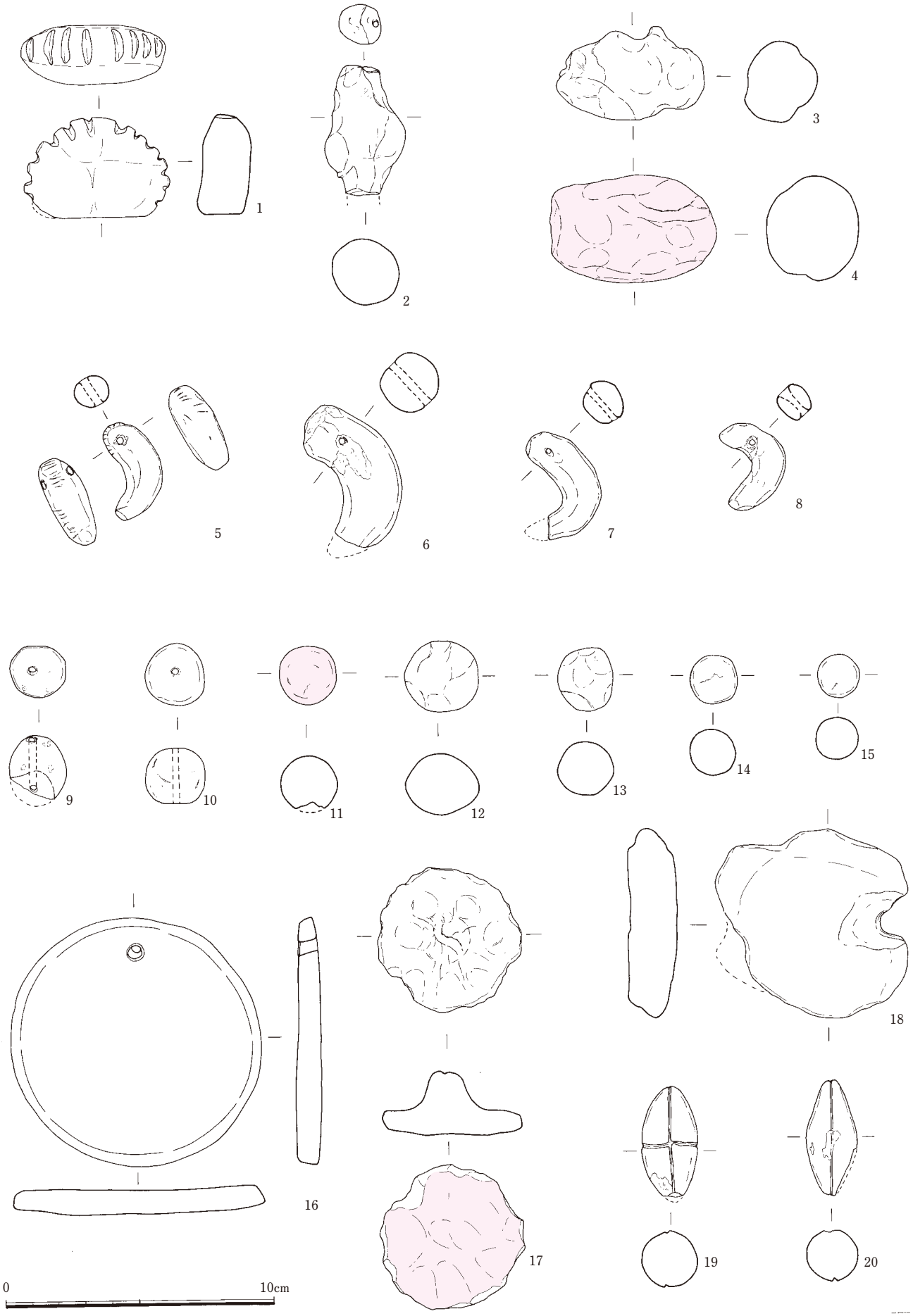
| 図 | No. | 出土地点 | | | 器形 | 法量（cm） | | | 調整 | | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 器高 | 口径 | 底径 | 外面 | 内面 | | | | |
| 114 | 1246 | Ⅱ | | Y-2 | 壺 | — | 17.4 | — | 口縁部は凹線が２条巡る、頸部は横斜刷毛、肩部は４～５本凹線が一周巡り、胴部は横刷毛・斜刷毛 | 口縁部は横ナデ、肩部はナデ、他はケズリ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の黒色粒・赤色粒・雲母 | 良好 | 外来系土器、古墳時代、残存：上半部はほとんどあり、下半部はなし |
| 114 | 1247 | Ⅱ | | Y-2 | 壺 | — | 20.8 | — | 口縁端部は凹む、口縁部は横ナデ、頸部は横刷毛・横ナデ、肩部は横刷毛・磨滅（肩部には波線が入る） | 口縁部は横ナデ、頸部はナデ、肩部はケズリ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の黒色粒・雲母 | 良好 | 外来系土器（山陰系？）、古墳時代、残存：5/6（底部なし）、外側に丹塗り痕 |
| 114 | 1248 | Ⅱ | | Y-2 | 壺 | — | 12.6 | — | 口縁部は縦刷毛が一周巡る、突帯部はナデ、肩部は横ナデ、他は横刷毛 | 口縁部は横ナデ、頸部はナデ、胴部はケズリ | にぶい赤褐色～にぶい橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の橙色粒・雲母 | 堅緻 | 外来系土器、古墳時代、残存：上半部 2/3 |
| 114 | 1249 | Ⅱ | | W-3 | 壺 | — | 10.4 | — | 磨滅著しい（肩部に凹線巡る） | 口縁部は横ナデ、肩部はケズリ | 橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子 | やや軟 | 外来系土器、古墳時代、壺の小片 |
| 114 | 1250 | Ⅱ | | Y-2 | 鼓状器台 | — | — | 16.6 | ナデ | 板ナデ・ケズリ | 灰黄褐色<br>下半部内側のみ黒色 | 精緻、3㎜以下の石英・長石粒 | 堅緻 | 外来系土器、古墳時代、残存：下半部全周有り |
| 114 | 1251 | Ⅱ | | X-3 | 甕 | 19.7 | 14.7 | 丸底 | 口縁端部は二条の凹線巡る、頸部は横ナデ、肩部は細かい縦刷毛・横刷毛・横ナデ・ナデ、胴部は凹線が３本巡り、胴部中位から斜刷毛・細かい縦刷毛、底部付近は磨滅 | 口縁部は横ナデ、他はケズリ、底部付近は工具痕（棒状のものでつついたか） | にぶい黄橙色～灰黄色 | 精緻、1㎜以下の白色粒・赤色粒 | 良好 | 土師器，古墳時代、欠損：口縁部 1/2 弱、胴部中位に 0.9 × 1.0 ㎝の調整後の穿孔が２つあり |
| 114 | 1252 | Ⅱ | | Y-2 | 器台 | — | 10.4 | — | 磨滅 | 磨滅・ナデ | 浅黄橙色 | 精緻、白色・橙色微粒子 | 軟 | 外来系土器、古墳時代、小型精製器台、残存：1/2 |
| 114 | 1253 | Ⅱ | | Z-1 | 鉢？ | — | — | — | ナデ・横ナデ・縦刷毛 | 横刷毛・磨滅 | 外：にぶい黄橙色<br>内：橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒を多く含む | 普通 | 外来系土器、弥生時代、内外に突帯（大きな鉢？） |
| 114 | 1254 | Ⅱ | | W-2 | 台付鉢 | 7.1 | 15.5 | 8.4 | 口縁部は横ナデ、胴部は刷毛目、胴部下位と台部は横ナデ | 口縁部は横ナデ・指押さえ、胴部はケズリ・縦ヘラ（暗文風）、底部はケズリ・一定方向のヘラ、台部はナデ | 橙色～淡橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・角閃石・赤色粒・雲母 | 堅緻 | 外来系土器、古墳時代、欠損：台部 1/2 |
| 114 | 1255 | Ⅱ | | Y-4 | 把手付土器 | 4.4 | 9.3<br>（9.0～9.3） | 9.3<br>（8.5～9.3） | 縦刷毛・ナデ消し | 上位はナデ、中位～ナデ消し、底部はナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の白色粒・黒色粒・雲母 | 良好 | 弥生式土器、把手付土器（完形品）、幅 1.5㎝程の把手が器の中心からややずれた位置に（指は入らず引っかけてつるすためか） |
| 114 | 1256 | Ⅱ | | X-3 | 高坏 | 約 6.0 | — | — | ナデ・ケズリ | 指押さえ | 外：灰黄褐色<br>内：にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | 高坏の脚部、弥生土器、外来系？ |
| 114 | 1257 | Ⅱ | | Y-3 | 脚部 | — | — | — | 縦ヘラ・磨滅 | ヘラ磨き・ナデ | 橙色 | 3㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 弥生土器、残存：脚のみ、0.5 ㎝の焼成前の穿孔が７個あり |
| 115 | 1258 | Ⅱ | | W・<br>X-3・4 | 口縁部 | — | — | — | 斜の刷毛 | 横ナデ・剥離 | 黒色 | 精緻、微粒の白色粒と非常に細かい雲母 | 普通 | 外来形土器？口縁部小片 |
| 115 | 1259 | Ⅱ | | W-6 | 口縁部 | — | — | — | ナデ | 横ヘラ磨き | 黒色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 外来形土器、弥生時代、口縁部小片、鉢か、焼成前の切れ目あり |
| 115 | 1260 | Ⅱ | | X-4 | 口縁部 | — | — | — | ナデ（指圧痕も） | ヘラ磨き・刷毛 | 黒色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 外来形土器、弥生時代、口縁部小片、鉢か、全体的にぶよぶよしている |
| 115 | 1261 | Ⅱ | | X-3 | 底部 | — | — | 9.0 | 底部立上りに凹線、底面外側はヘラ削り痕、中央は糸切り痕 | 底面にらせん状の凸凹 | 灰色 | 泥質 | 軟 | 外来系土器（楽浪系）弥生後～古墳初、残存：1/2（底部）、軟質で磨滅著しく底部のヘラ削りは不明瞭 |
| 115 | 1262 | Ⅱ | | X-3 | 把手 | — | — | — | ケズリ | ナデ | 灰色 | 2㎜以下の白色粒・黒色粒，橙色粒子 | 硬 | 半島系土器、弥生後～古墳初、上端が欠けているかも（よくわからない） |
| 115 | 1263 | Ⅱ | | W-4 | 頸部 | — | — | — | 横ナデ、格子タタキのち沈線 | ナデ・横ナデ | 灰色 | 4㎜以下の白色粒 | 硬 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 115 | 1264 | Ⅱ | | W-4 | 頸部 | — | — | — | ナデ、格子タタキのち沈線 | ナデ（あて具の痕跡なし、ナデ消して凹む） | 灰色 | 3㎜以下の白色粒 | 硬 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 115 | 1265 | Ⅱ | | Y-3 | 胴部 | — | — | — | 格子タタキ | ナデ（あて具の痕跡なし、ナデ消し） | 黒色 | 精緻、微粒の黒色粒 | 硬 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 115 | 1266 | Ⅱ | | Y-2 | 胴部 | — | — | — | 格子タタキのち沈線 | あて具の痕跡はナデ消し | 灰色 | 3㎜以下の白色粒、褐色粒 | 硬 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 115 | 1267 | Ⅱ | | X-3,Y-3 | 頸部 | — | — | — | 格子タタキのち沈線 | ナデ（あて具の痕跡なし、ナデ消して凹む） | 灰色 | 3㎜以下の白色粒 | 硬 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 115 | 1268 | Ⅱ | | Z-2 | 胴部 | — | — | — | 格子タタキ | 不定方向のナデ（あて具の痕跡なし、少し凹む） | 外：黒色<br>内：灰色～黒色 | 精緻、微粒の黒色粒 | 硬<br>堅緻 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 115 | 1269 | Ⅱ | | Y-2 | 胴部 | — | — | — | 縄蓆文 | ナデ（あて具の痕跡なし、ナデ消し） | 外：灰色<br>内：黒灰色 | 精緻 | 硬 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 115 | 1270 | Ⅱ | | X-4 | 胴部 | — | — | — | 格子タタキのち沈線、格子タタキ | ナデ（あて具の痕跡なし、ナデ消して凹む） | 灰色 | 2㎜以下の白色粒 | 硬 | 外来系土器、弥生後～古墳初 |
| 115 | 1271 | Ⅱ | | Y-4,Z-3 | 甕 | — | 19.2 | 10㎝前後 | 口縁部は回転ナデ、肩部はナデ、他は細かな格子タタキ | 口縁部は回転ナデ、頸部はナデ、他はあて具をナデ消し | 暗緑色<br>胎土は暗赤褐色 | 3㎜以下の白色粒子 | 堅緻 | 外来系土器、弥生～古墳、口縁部と底部に接点なし（図上復元） |



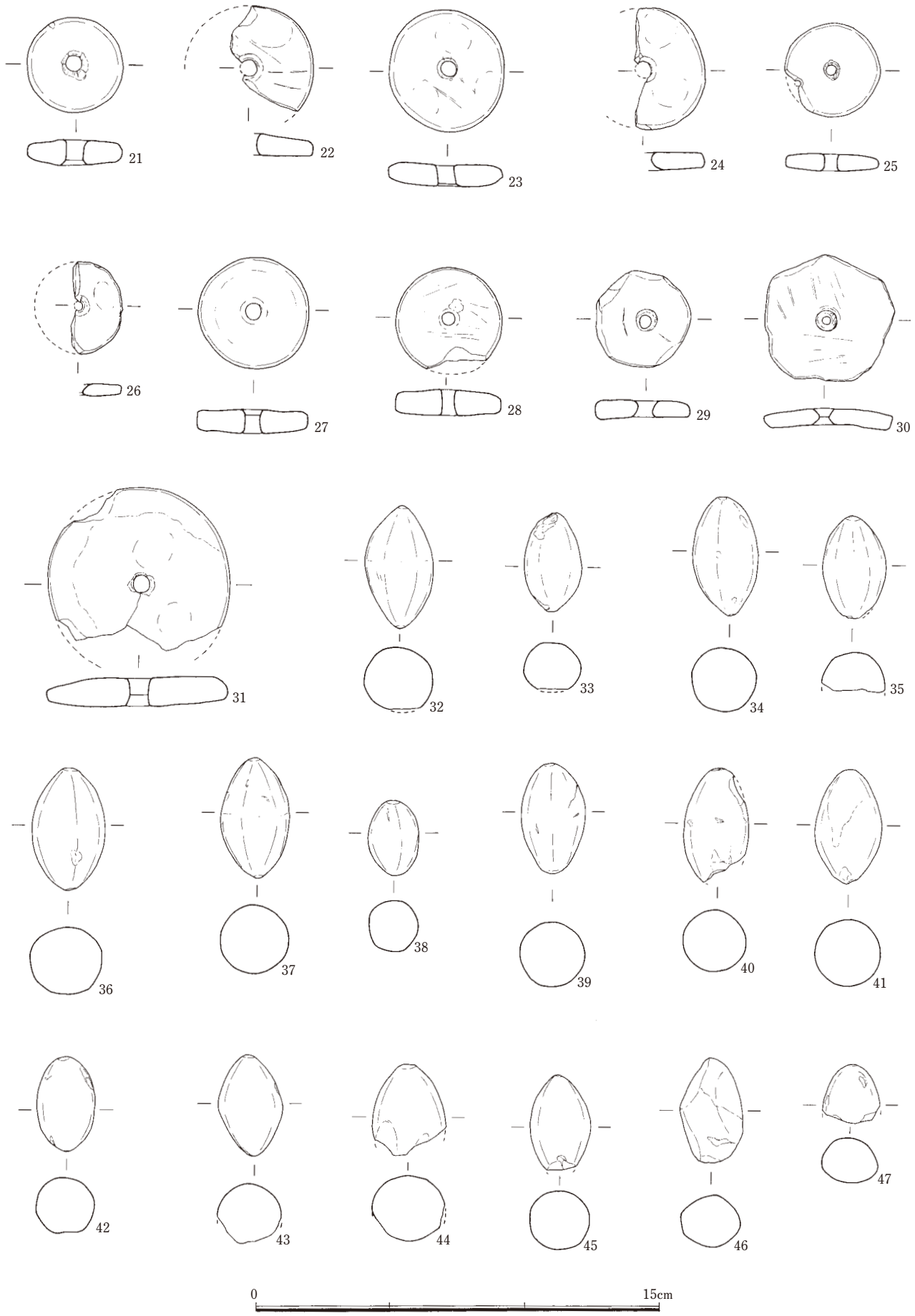

**第 114 図**　包含層出土土器実測図（8）[ 1/ 4]

**第 115 図**　包含層出土土器実測図（9）[ 1/ 4]

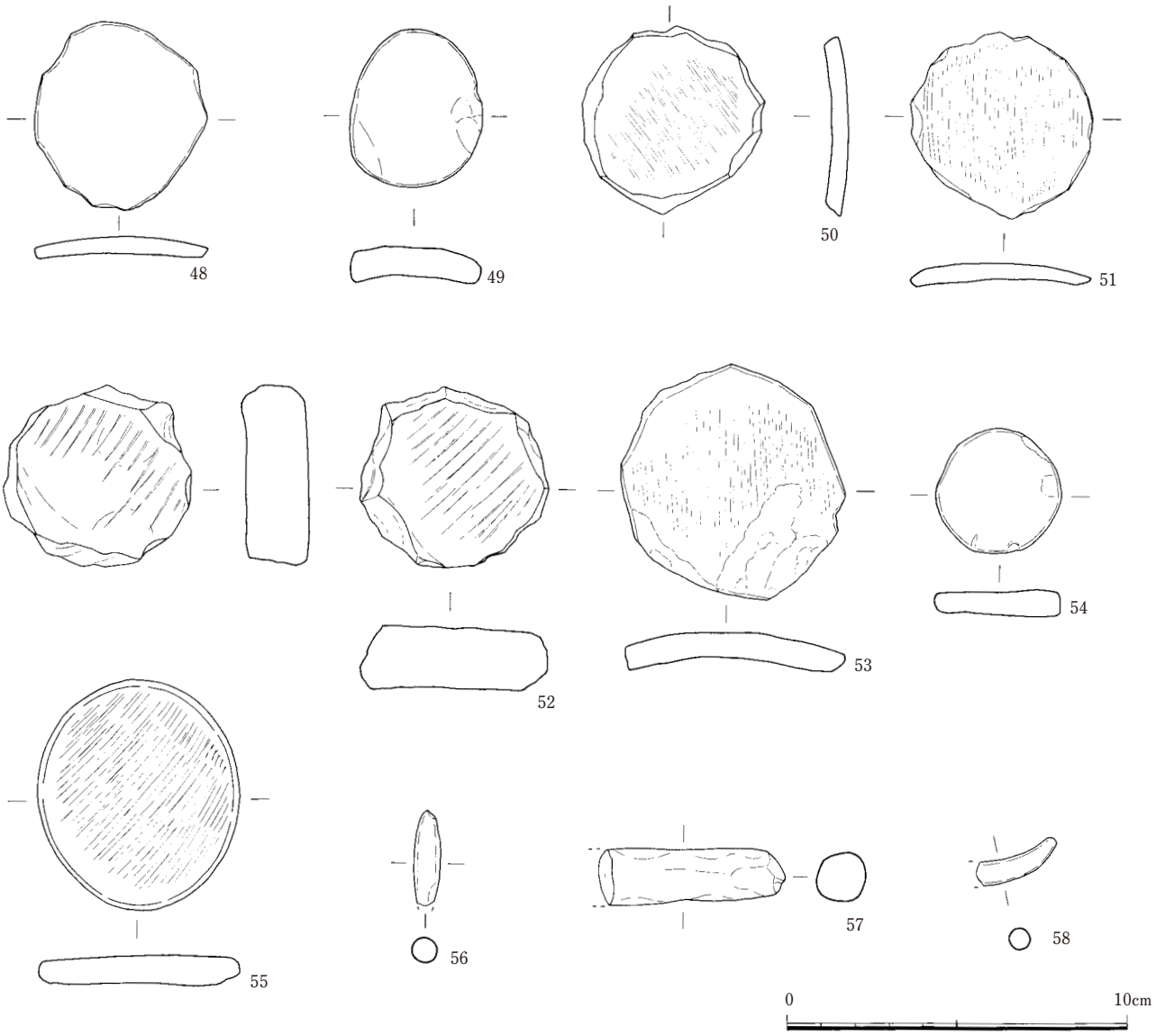
## 10　遺構出土の土製品




**第 116 図**　遺構出土土製品実測図（1）[ 1/ 2]



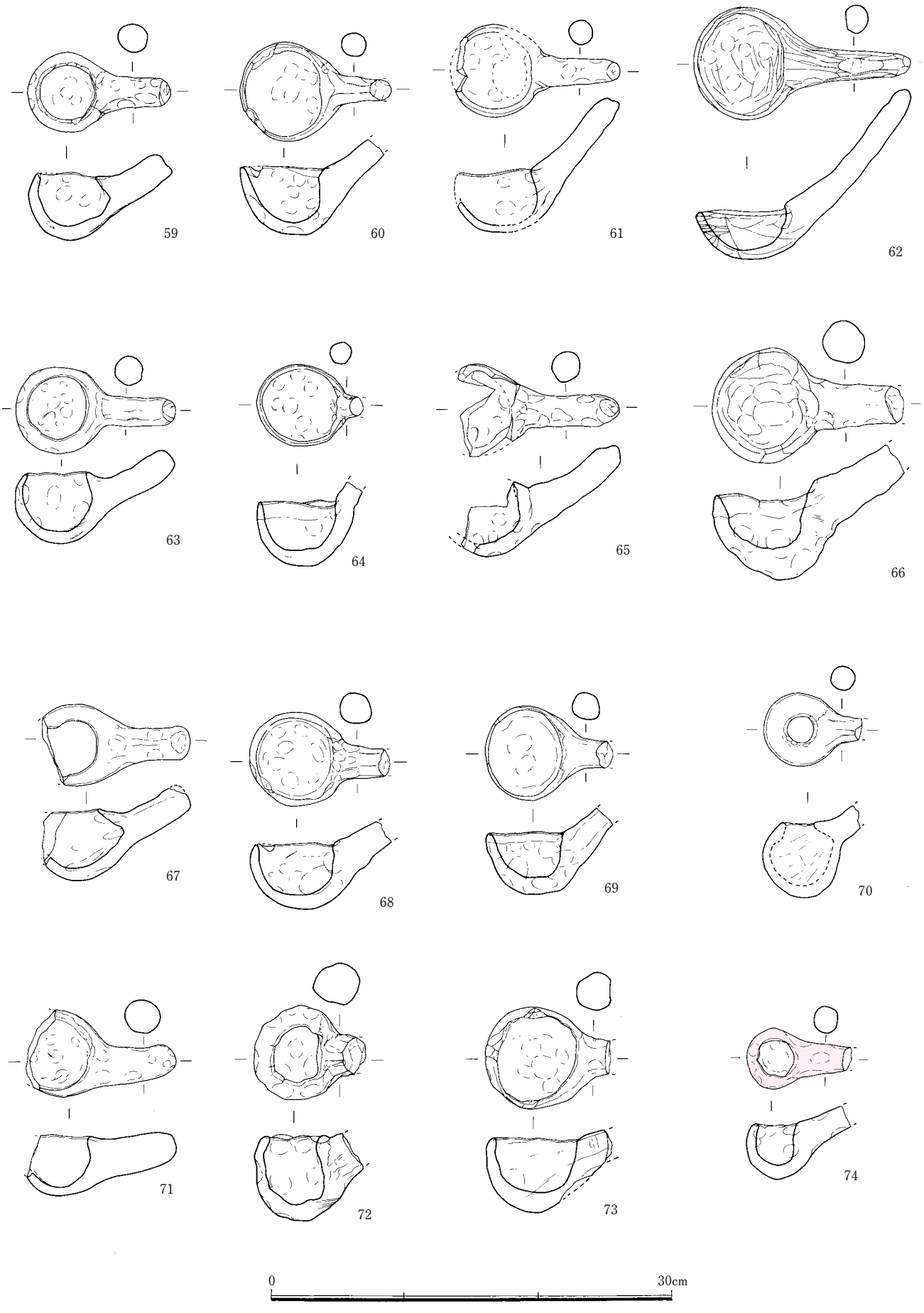

**第 117 図**　遺構出土土製品実測図（2）[ 1/ 2]



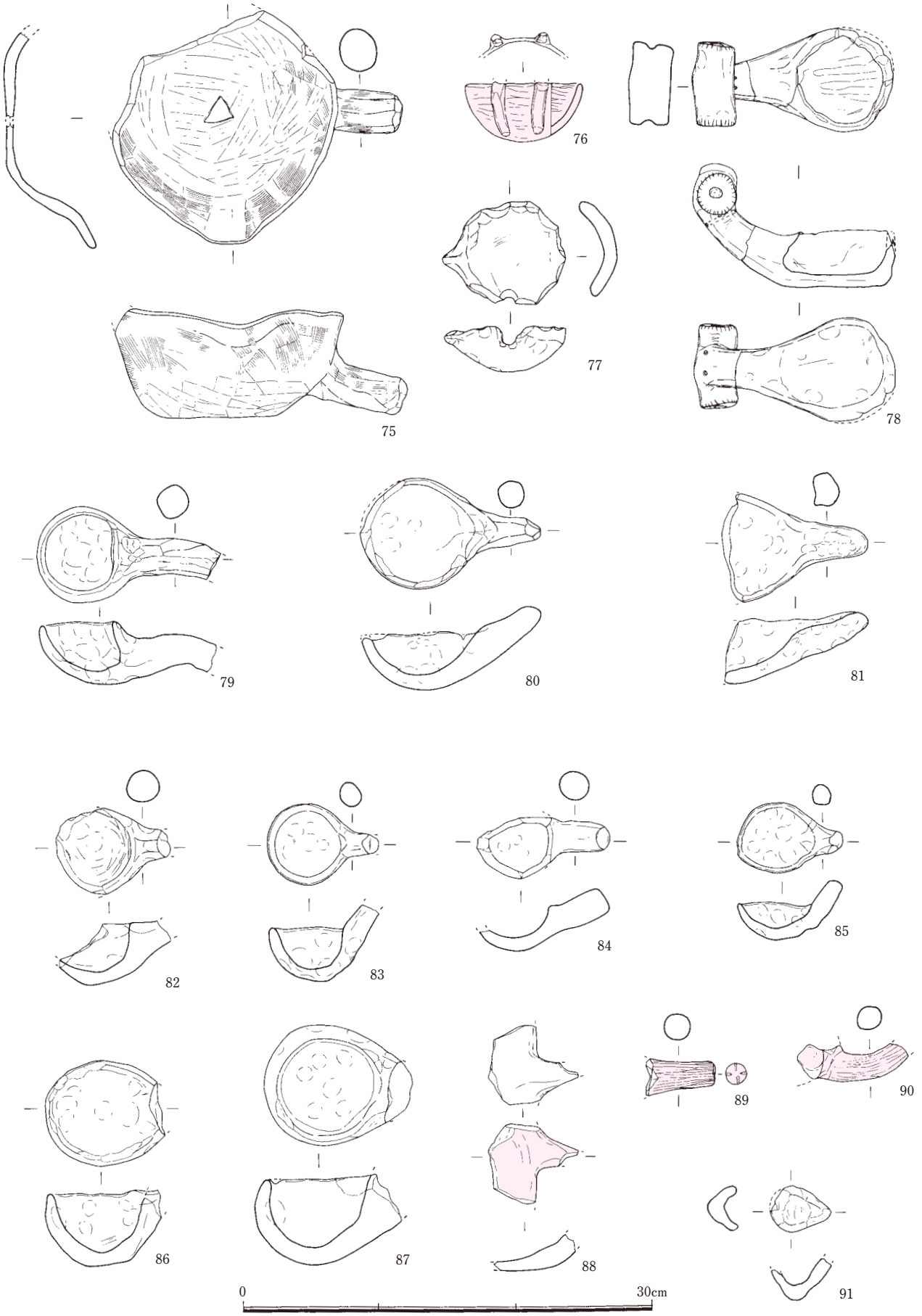

**第 118 図**　遺構出土土製品実測図（3）[ 1/ 2]

**表 64**　遺構出土土製品観察表（1）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器種 | 法量 (cm, g) | | | | 調整 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 重量 | | | | | |
| 116 | 1 | Ⅱ | 106 | X-4 | 用途不明土製品 | 3.8 | 5.4 | 2.8 | 39.0 | ナデ | 表：橙色～黒色<br>裏：にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英粒・長石粒・金雲母、黒色微粒子 | 良好 | 欠損部分を含め周縁に 13 カ所の刻み目があり |
| 116 | 2 | Ⅱ | 106 | X-4 | 用途不明土製品 | 4.8 | 3.0 | 2.4 | 28.3 | | 浅黄色 | 2㎜以下の石英粒・長石粒、微粒の赤色粒・雲母 | 良好 | |
| 116 | 3 | Ⅱ | 106 | X-3 | 用途不明土製品 | 3.5 | 5.6 | 2.7 | 36.6 | | にぶい黄橙色～明黄褐色 | 3㎜以下の石英粒・長石粒・黒色粒・雲母 | 良好 | |
| 116 | 4 | Ⅱ | 112 | W-5 | 用途不明土製品 | 6.2 | 4.0 | 3.4 | 81.3 | | にぶい黄橙色～明黄褐色 | 2㎜以下の石英粒・長石粒 | 普通 | 全面に丹塗りらしきものを施す |
| 116 | 5 | Ⅱ | | X-3 | 土製勾玉 | 3.6 | 1.3 | 1.45 | 9.7 | | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の砂粒 | 良好 | 完形品、孔の両側には紐ずれの使用痕がある、頭部には数本の沈線あり |
| 116 | 6 | Ⅱ | | X-3 | 土製勾玉 | 5.4 | 2.2 | 1.9 | 31.9 | | 褐灰～灰黄褐色 | 4㎜以下の石英粒・長石粒 | 普通 | 孔の両側に紐ずれの痕跡あり |
| 116 | 7 | Ⅱ | | X-5 | 土製勾玉 | 3.8 | 1.5 | 1.9 | 15.4 | | 褐灰色～黒褐色 | 精緻、白色微粒子 | 良好 | |
| 116 | 8 | Ⅱ | | Y-2 | 土製勾玉 | 2.9 | 1.2 | 1.3 | 6.8 | | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英粒・長石粒・褐色粒 | 良好 | 完形品 |
| 116 | 9 | Ⅱ | | X-5 | 土製の玉 | 2.3 | 2.1 | 1.9 | 8 | | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英粒・長石粒・雲母 | 良好 | 2/3 残存、径 0.25cm の穿孔あり |
| 116 | 10 | Ⅱ | 106 | X-3 | 土製の玉 | 2.1 | 2.2 | 2.3 | 10.4 | | にぶい黄橙色、一部黒褐色（黒斑？） | 精緻、微粒の白色粒・雲母 | 良好 | 完形品（丸玉）、中央に径 0.25cm の焼成前の穿孔あり（使用痕？） |
| 116 | 11 | Ⅱ | 112 | W-5 | 土弾 | 2.2 | 2.15 | 2 | 8.7 | | 褐灰色 | 2㎜以下の石英粒・長石粒・雲母 | 良好 | 下方が欠損、全体に丹塗り |
| 116 | 12 | Ⅱ | | X-2 | 土弾 | 2.6 | 2.8 | 2.3 | 16.1 | | にぶい黄橙色～灰黄色 | 1㎜以下の石英粒・長石粒・雲母 | 普通 | 完形品 |
| 116 | 13 | Ⅱ | | Y-2 | 土弾 | 2.3 | 2.1 | 2 | 8.4 | | にぶい黄橙色 | 精緻、石英粒・長石粒・雲母の微粒子 | 良好 | 完形品 |
| 116 | 14 | Ⅱ | | Z-2 | 土弾 | 1.8 | 1.7 | 1.8 | 5.4 | | 褐灰色 | 精緻、微粒の白色粒・黒色粒 | 良好 | 完形品 |




**第 119 図**　遺構出土土製品実測図（4）[ 1/ 4]



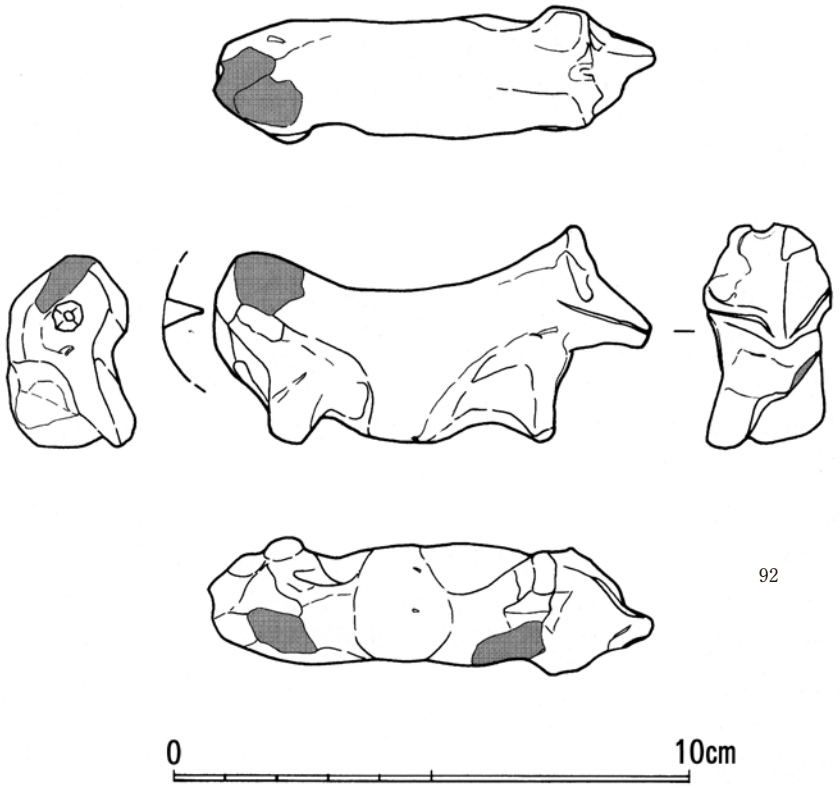

**第 120 図**　遺構出土土製品実測図（5）[ 1/ 4]

# 表 65　遺構出土土製品観察表（2）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器種 | 法量 (cm, g) | | | | 調整 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 重量 | | | | | |
| 116 | 15 | Ⅱ | | X-5 | 土弾 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 3.6 | | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の白色粒・黒色粒・雲母 | 良好 | 完形品 |
| 116 | 16 | Ⅱ | | C・D-3・4 周辺 | 有孔土製円盤 | — | 9.4 | 1.0 | 103.4 | 表はナデと指圧痕，裏は刷毛目のちナデ消し、指圧痕 | 淡褐色 | 2㎜以下の石英粒・1㎜以下の長石粒 | 良好 | 孔は表から裏へ穿つ、穿孔の径 4.5㎜ |
| 116 | 17 | Ⅱ | | Y-4 | 土製当て具？ | — | 5.4 | 2.4 | 36.0 | 指圧痕 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英粒・長石粒・雲母 | 良好 | 周りを打ち欠き、粘土をつまみ出す、裏面には丹塗りの痕跡？ |
| 116 | 18 | Ⅱ | 109 | R22 周辺 | 土錘？ | 7.2 | 7.1 | 1.8 | 85.9 | — | 表：灰黄褐色<br>裏：暗褐色 | 2㎜以下の石英粒・長石粒 | 普通 | 大きな土器の胴部を打欠いて作成 |
| 116 | 19 | Ⅱ | | Z-3 | 有溝土錘 | 4.1 | 2.1 | 2.1 | 14.6 | — | にぶい黄橙色 | 微粒の白色粒・黒色粒・雲母 | 良好 | 片側に僅かに欠損が見られ、部分的に丹塗りの痕跡？ |
| 116 | 20 | Ⅱ | | W-5 | 有溝土錘 | 4.3 | 1.9 | 1.9 | 12.8 | — | にぶい褐色～にぶい橙色 | 1㎜以下の石英粒・長石粒・赤色粒・雲母 | 普通 | 僅かに欠損、全体に丹塗りの痕跡？ |
| 117 | 21 | Ⅱ | 110 | W-5 | 紡錘車 | 3.5 | 3.5 | 0.9 | 11.6 | ナデ | にぶい褐色 | 2㎜以下の石英粒・長石粒 | 良好 | 孔径：0.65cm、形は完形だが裏はかなり欠けている、裏側は孔の両端欠け（使用痕？）、裏側は橙色味が強い、丹塗り？ |
| 117 | 22 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 紡錘車 | 3.8 | 3.0 | 0.75 | 7.6 | ナデ・指押さえ | 灰黄褐色 | 精緻、白色微粒子・雲母 | 良好 | 2/3 残存、孔径：0.7cm |
| 117 | 23 | Ⅱ | 123 | W-6 | 紡錘車 | 4.5 | 4.2 | 0.75 | 18.4 | ナデ・磨滅 | 橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母・褐色粒子・橙色粒子 | 普通 | 完形品（丹塗り）、孔径 0.6cm |
| 117 | 24 | Ⅱ | | W・X-6・7 | 紡錘車 | 4.5 | 2.0 | 0.65 | 9.0 | ナデ | 褐灰色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の橙色粒子 | 普通 | 1/2 残存、孔径：0.6cm |
| 117 | 25 | Ⅱ | | W-3 | 紡錘車 | 3.4 | 3.5 | 0.6 | 9.2 | 磨滅 | 灰白色～にぶい黄橙色 | 3㎜以下の白色粒・黒色粒 | 普通 | 若干欠損、全面に丹塗り、孔径 0.5cm、孔に使用痕らしきものある、端には小さな孔の痕跡 |
| 117 | 26 | Ⅱ | | Y-2 | 紡錘車 | 3.4 | 1.9 | 0.45 | 3.5 | — | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の赤色粒 | 普通 | 1/2 残存、孔径：0. 4 cm、孔は片方から穿つ、土器の転用 |
| 117 | 27 | Ⅱ | | Y-2 | 紡錘車 | 4.1 | 4.1 | 0.85 | 16.0 | ナデ | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の石英・長石粒 | 良好 | 完形品、孔径 0.6cm |
| 117 | 28 | Ⅱ | | Y-3 | 紡錘車 | 3.9 | 3.9 | 0.9 | 14.4 | ナデ・磨滅 | 灰黄褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒・褐色粒 | 普通 | 若干欠損 |
| 117 | 29 | Ⅱ | | X-5 | 紡錘車 | 3.5 | 3.5 | 0.65 | 10.0 | ナデ・磨滅 | 赤褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒・黒色粒・赤色粒 | 普通 | 完形品、孔径 0.5cm、周りを打ち欠く、土器の転用 |
| 117 | 30 | Ⅱ | | Y-3 | 紡錘車 | 4.6 | 4.8 | 0.6 | 17.4 | ナデ | にぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒・橙色粒子、1㎜以下の黒色粒 | 良好 | 完形に近い、孔径 0.3cm、周りを欠く、土器の胴部を転用 |
| 117 | 31 | Ⅱ | | X-3 | 紡錘車 | 6.0 | 6.2 | 1.1 | 45.0 | ナデ | にぶい橙色 | 1㎜以下の白色粒・黒色粒・雲母 | 良好 | 5/6 残存、孔径 0.65cm、肩側は黒斑？中心の孔は焼成前に施す |
| 117 | 32 | Ⅱ | 104 | X-2 | 土弾 | 4.5 | 2.5 | 2.3 | 23.2 | — | 灰黄褐色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒、黒色粒、雲母 | 良好 | 片側が少し欠ける |
| 117 | 33 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 土弾 | 3.7 | 2.1 | 1.7 | 11.6 | — | にぶい黄橙色～灰黄褐色 | 精緻、4㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 片側が少し欠ける、部分的に丹塗り？ |
| 117 | 34 | Ⅱ | 106 | | 土弾 | 4.4 | 2.4 | 2.3 | 22.9 | — | にぶい黄橙色 | 精緻、微粒の雲母多い、微粒の黒色粒・白色粒少ない | 良好 | 完形品 |
| 117 | 35 | Ⅱ | 106 | X-3 | 土弾 | 3.8 | 2.3 | 1.5 | 11.0 | — | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 1/2 残存 |
| 117 | 36 | Ⅱ | 136 | | 土弾 | 4.5 | 2.7 | 2.4 | 26.2 | — | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・赤色粒・雲母 | 良好 | 完形品、丹塗りらしい痕跡？ |
| 117 | 37 | Ⅱ | 112 | W-4 | 土弾 | 4.4 | 2.5 | 2.6 | 22.8 | — | 橙色～にぶい褐色 | 微粒の金雲母、2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子 | 良好 | 完形（表面がうっすらと削れている） |
| 117 | 38 | Ⅱ | 123 | W-5 | 土弾 | 2.7 | 1.8 | 1.9 | 7.8 | — | 橙色～褐色 | 精緻、微粒の白色粒・雲母 | 良好 | 完形品 |
| 117 | 39 | Ⅱ | 123 | W-5 | 土弾 | 4.1 | 2.3 | 2.4 | 18.1 | — | 灰褐色～黒色 | 精緻、微粒の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形品、表面に焼成時のひびがみられる |
| 117 | 40 | Ⅱ | | X-2 | 土弾 | 4.1 | 2.3 | 2.3 | 16.1 | — | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母、黒色粒・赤色粒、金雲母 | 普通 | 上下を少し欠損（使用の痕跡？） |
| 117 | 41 | Ⅱ | | X-6 | 土弾 | 4.2 | 2.4 | 2.5 | 20.6 | — | にぶい黄橙色～灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 完形品、丹塗りの痕跡？ |
| 117 | 42 | Ⅱ | | W-3 | 土弾 | 3.5 | 2.2 | 2.0 | 14.8 | — | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母・赤色粒 | 普通 | 完形品、丹塗りの痕跡？（赤色粒若干見られる） |
| 117 | 43 | Ⅱ | | Y-2 | 土弾 | 3.7 | 2.4 | 2.2 | 16.2 | — | 橙色 | 精緻、1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 反対側がかなり欠ける（二次焼成が原因？） |
| 117 | 44 | Ⅱ | | Z-3 | 土弾 | 3.4 | 2.7 | 2.4 | 16.2 | — | にぶい黄橙色か橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 下半部欠損、丹塗り？ |
| 117 | 45 | Ⅱ | | Y-2 | 土弾 | 3.6 | 2.2 | 2.2 | 14.0 | — | 暗灰黄～灰黄色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 下方が少し欠ける、部分的に丹塗り？ |
| 117 | 46 | Ⅱ | | Z-3 | 土弾 | 3.4 | 2.2 | 2.0 | 14.5 | — | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良 | 完形品、橙色の部分あり（丹塗り？） |
| 117 | 47 | Ⅱ | | Z-2 | 土弾 | 2.2 | 1.6 | 2.1 | 7.1 | — | にぶい褐色 | 2㎜以下の白色粒 | 良 | 下半部欠損 |
| 118 | 48 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 土製円盤 | 5.5 | 5.1 | 0.45 | 15.6 | 磨滅 | 表は橙色、裏は灰褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・橙色粒子 | やや軟 | 土器の胴部を利用 |
| 118 | 49 | Ⅱ | 106 | X-3 | 土製円盤 | 4.6 | 3.9 | 0.65 | 20.7 | 表は磨滅、裏はナデ | 表はにぶい黄橙色、裏は褐灰色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 土器の胴部を利用 |
| 118 | 50 | Ⅱ | 111 | W-4 | 土製円盤 | 5.5 | 5.3 | 0.55 | 19.1 | 表裏とも刷毛目 | 表は橙色、裏は黒色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 甕の胴部を利用 |
| 118 | 51 | Ⅱ | 117 | X-5 | 土製円盤？ | 5.3 | 5.5 | 1.85 | 60.1 | 表裏とも刷毛目 | 表はにぶい黄褐色、裏は灰黄色 | 3㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良 | 厚さと縁の打ち欠きが雑なため土製円盤あるいは土器片か判断が難しい |
| 118 | 52 | Ⅱ | 117 | X-5 | 土製円盤 | 6.9 | 6.6 | 0.75 | 40.7 | 表は縦刷毛目、裏はナデ | 表裏ともにぶい橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 甕の胴部を利用 |
| 118 | 53 | Ⅱ | 123 | W-6 | 土製円盤 | 3.7 | 3.7 | 0.75 | 12.7 | 表はナデ、裏は不明 | 表は黒褐色、裏は灰褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 土器の底部を利用？ |
| 118 | 54 | Ⅱ | 136 | | 土製円盤 | 6.8 | 5.9 | 0.85 | 39.5 | 表は刷毛目、裏はナデ | 表は灰黄色、裏は灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良 | 土器を再利用し、丁寧に造っている |
| 118 | 55 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 用途不明土製品 | 2.8 | 0.8 | 0.7 | 1.8 | — | 褐色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良 | 下部がわずかに欠損 |
| 118 | 56 | Ⅱ | 112 | W-5 | 把手 | 5.5 | 1.7 | 1.5 | — | — | 黒色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | |
| 118 | 57 | Ⅱ | 112 | W-5 | 用途不明土製品 | 2.5 | 0.7 | 0.6 | — | — | にぶい橙色～黒色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | |
| 118 | 58 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 柄杓 | 10.6 | 6.0（壺部） | 1.1（壺部） | — | ナデ | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | つぼ部上端と口縁部を欠く、柄の長さ 4.8cm |
| 119 | 59 | Ⅱ | 106 | W-3.4 | 柄杓 | 10.7 | 7.3（壺部） | 1.1（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | つぼ部 2 カ所欠損、柄は欠損 |
| 119 | 60 | Ⅱ | 106 | X-3 | 柄杓 | 12.2 | 6.8（壺部） | 0.6（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、微粒の雲母 | 良好 | つぼ部の先端、底部欠損、柄の長さ 8.0cm |
| 119 | 61 | Ⅱ | 106 | X-4 | 柄杓 | 16.2 | 8.3（壺部） | 1.3（壺部） | — | ナデ・ヘラミガキ・指圧痕・削り | にぶい黄橙色 | 微粒の白色粒・雲母 | 良好 | 完形品、柄の長さ 12.8cm |
| 119 | 62 | Ⅱ | | Y-2 | 柄杓 | 11.9 | 6.5（壺部） | 1.1（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 完形品、柄の長さ 12.8cm、部分的に丹塗がのこる |
| 119 | 63 | Ⅱ | 123 | W-5 | 柄杓 | 7.9 | 6.0（壺部） | 1.3（壺部） | — | ナデ・指押さえ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 柄欠損 |
| 119 | 64 | Ⅱ | 106 | X-3 | 柄杓 | 12.0 | 2.0（壺部） | 1.1（壺部） | — | ナデ | 灰黄色～にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | つぼ部欠損、柄の長さ 7.3cm |
| 119 | 65 | Ⅱ | 117 | X-5 | 柄杓 | 14.3 | 8.6（壺部） | 2.5（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 5㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 柄欠損 |
| 119 | 66 | Ⅱ | | | 柄杓 | 11.0 | 6.0（壺部） | 1.0（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 壺部 1/4 欠損 |
| 119 | 67 | Ⅱ | | Z-1 | 柄杓 | 10.5 | 7.0（壺部） | 1.3（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 柄欠損 |
| 119 | 68 | Ⅱ | 104 | | 柄杓 | 9.5 | 6.9（壺部） | 1.4（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 柄欠損、つぼ部の先端外側に丹塗りの痕跡あり |
| 119 | 69 | Ⅱ | | Z-3 | 柄杓 | 7.3 | 5.4（壺部） | 0.8（壺部） | — | 調整工具によるナデ・ケズリ | にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 柄欠損 |

## 表 66　出土土製品観察表（3）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 器種 | 法量 (cm, g) | | | | 調整 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 重量 | | | | | |
| 119 | 70 | Ⅱ | | Z-3 | 柄杓 | 11.2 | 6.4（壺部） | 1.3（壺部） | — | ナデ | 橙色 | 4㎜以下の石英・長石粒、1㎜以下の橙色粒子・黒色粒 | 普通 | つぼ部 1/3 欠損，柄の長さ 5.1cm |
| 119 | 71 | Ⅱ | 104 | Y-2 | 柄杓 | 8.2 | 7.0（壺部） | 1.4（壺部） | — | 外側は刷毛目か強い削り、ナデ、内側は指押さえ | 浅黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母 | 良 | 柄欠損 |
| 119 | 72 | Ⅱ | 104 | X-2 | 柄杓 | 9.4 | 7.6（壺部） | 1.5（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母 | 良好 | 柄欠損、柄の側面角度はゆるやか |
| 119 | 73 | Ⅱ | 103 | お⑥4 | 柄杓 | 7.8 | 4.6（壺部） | 1.1（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい橙色～にぶい黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒，微粒の雲母 | 良好 | 柄欠損、柄の側面角度はゆるやか、つぼ部内側を除き全面に丹塗りを施す |
| 119 | 74 | Ⅱ | | Y-2 | 把手付き注口土器 | 8.0（器高） | 9.0（底径） | — | — | 刷毛目・ナデ、底部はケズリ | 灰黄褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 柄の長さ約 6cm、径 2.8 × 3.1cm |
| 120 | 75 | Ⅱ | | X-6 | 丹塗り鉢 | 8.6（器高） | 8.6（口径） | — | — | 横ヘラ磨き | 灰赤褐色 | 精緻、微粒な金雲母 | 良 | 1/2 残存、胴部に 2 本の粘土紐を縦に貼る、全面に丹塗り |
| 120 | 76 | Ⅱ | | Y-3 | つまみ付浅鉢 | 3.3（器高） | 8.8（口径） | 2.2（底径） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良 | 口縁端部の両端を丸く凹ませている、注口は摘み出す |
| 120 | 77 | Ⅱ | | Z-3 | 装飾付杓子 | 14.7 | 7.5 | 9.0（高さ） | — | 外側は指押さえ・ヘラナデ・刷毛目、内側はヘラナデ | 灰黄色～黒褐色～にぶい黄橙色 | 精緻、1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良 | 柄の先端は 6 × 3cmの筒形の装飾となる、装飾の両端には全周する刻み目、中心部には円形状の凹、2 個の小さな貫通した孔がある |
| 120 | 78 | Ⅱ | | Z-2 | 柄杓 | 13.0 | 7.1（壺部） | 1.4（壺部） | — | ナデ・指押さえ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 柄は途中で下方へ曲げ、先端部は欠損 |
| 120 | 79 | Ⅱ | 112 | W-4 | 柄杓 | 13.1 | 8.1（壺部） | 1.3（壺部） | — | ナデ | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・黒色粒・雲母 | 良好 | つぼ部の口縁部 1/2 が欠損、柄の長さ 4.2cm |
| 120 | 80 | Ⅱ | | W・X-3・4 | 柄杓 | 10.7 | 7.8（壺部） | 1.0（壺部） | — | ナデ・指押さえ | 橙色～にぶい赤褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒，1㎜以下の赤色粒 | やや軟 | つぼ部の先端欠損、柄の長さ 4.7cm |
| 120 | 81 | Ⅱ | 110 | W-5 | 柄杓 | 8.1 | 6.3（壺部） | 1.2（壺部） | — | 外側はナデ、内側はナデ・指押さえ・ヘラナデ | 灰黄褐色 | 3㎜以下の石英・長石粒、精緻な雲母、1㎜以下の褐色粒 | 良好 | つぼ部の先端と柄欠損 |
| 120 | 82 | Ⅱ | 106 | X-4 | 柄杓 | 8.1 | 5.9（壺部） | 1.1（壺部） | — | ナデ・指押さえ | 灰白色～浅黄橙色 | 1㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | 柄欠損 |
| 120 | 83 | Ⅱ | | Z-2 | 柄杓 | 9.6 | 4.5（壺部） | 1.0（壺部） | — | ナデ・刷毛目 | にぶい黄橙色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 良好 | つぼ部の両側欠損、柄の長さ 4.5cm |
| 120 | 84 | Ⅱ | | X-5 | 柄杓 | 7.7 | 5.1（壺部） | 1.1（壺部） | — | ナデ・指押さえ | 灰オリーブ色～灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒・雲母 | 普通 | 完形品、柄の長さ 2.7cm |
| 120 | 85 | Ⅱ | 104 | Y-2 | | 8.5 | 7.7（壺部） | 1.3（壺部） | — | ナデ・指押さえ、内側に板状工具のナデ痕？ | 灰黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 柄欠損、外側に黒斑あり |
| 120 | 86 | Ⅱ | | Y-3 | 柄杓 | 10.7 | 8.8（壺部） | 1.8（壺部） | — | ナデ・指押さえ | 灰黄色～にぶい黄色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 良好 | 柄欠損 |
| 120 | 87 | Ⅱ | | X-6 | 把手付き土器？ | 6.6 | 5.8 | 1.5 | — | ナデ？ | にぶい黄橙色 | 精緻、1㎜以下の石英・長石粒 | 良 | 内外面に丹塗りを施す |
| 120 | 88 | Ⅱ | | 表採 | 把手？ | 5.0 | 2.7 | — | — | 横ヘラ研磨、頂部に十字に刻み目 | 外側は橙色、内側は灰黄色 | 精緻 | 良好 | 内側は空洞、丹塗りを外面全体に施す |
| 120 | 89 | Ⅱ | | X-6 | 把手？ | 8.2 | 1.8 | 1.7 | — | 横ヘラ磨き | にぶい黄橙色 | 精緻、2㎜以下の石英・長石粒 | 良 | 全面に丹塗りを施す |
| 120 | 90 | Ⅱ | | X-5・6 | 匙形土製品 | 4.4 | 3.3（壺部） | 1.1（壺部） | — | ナデ | 褐灰色～黒色 | 白色微粒子・雲母 | 普通 | 柄欠損 |
| 120 | 91 | Ⅱ | | X-5・6 | 匙形土製品 | 4.3 | 3.3 | | — | — | — | 白色微粒子・雲母 | 普通 | |




**第 121 図**　動物形土製品実測図 [ 2/ 3]

**11 動物形土製品**　四足獣を象った土製品（図 121）

図 121 は、手捏ねによる四足獣で、全長は 8.52cm、頭部から前足までは 4.25cm をはかる。表面に成形時の爪の痕が所どころにみられる。土製品の色調は暗黄灰色で、胎土に石英、長石、雲母の粒子を含んでいる。弥生土器の質感と比べて違和感はない。挿図のアミをかけた一方の前足と後足、尾部を欠失するが、過度のローリングはうけていない。出土地点はＴ２の★マークの粗砂層中である。

四足獣の頭頂部はヘラ状工具で押さえられ耳は左右に分かれて正面、上向きに表されている。口先は尖り、噛み合わせは、左右ともに明瞭な線が刻まれている。肛門にあたる箇所は、棒状工具による円錐状の凹みとなっている。欠失する尾部は、上方に巻くように付されていたようである。背は弓なりのなだらかな曲線を描き、腹部の肉付きは豊かで、平面に置くと下端は地に接する。

本資料の特徴は、短足で、腹部の肉付きがとても豊かなことである。上方を向く耳、口先の尖った動物として候補となるのは、イノシシ、ブタ、イヌなどの四足獣である。弥生時代の動物形土製品は全国的にみても希である。北部九州では大夫坂池採集の動物形土製品（北九州市）がある。弧状に盛り上がる背中と短い四肢を手捏ねで表現していることからイノシシ形土製品とされている（佐藤 2007）。

古代中国においてブタは、多産であることから財産や子宝の象徴と考えられてきた。ブタを象った土製品としては、明器にある灰陶製の猪圏が知られている。灰陶のブタには、背が弧状に盛り上がるものと、肩から背がなだらかな線を描く２種がみられる（李 1986）。およそ戦国時代に出現したとされる猪圏は、厠や住居に隣接した豚舎で、人口が集中する地域にみられる（西谷 2009）。

元岡の四足獣は、豊満な肉付きの腹部に注目すると、ブタを象ったようにみえるが、古代中国の四足獣はブタに限られるわけではない。後漢代にはイヌを象った鎮墓俑やブタにかわって羊を配した緑釉羊圏などもつくられた。今後内外の資料との対比を行いながら造形の意味を明らかにしたい。

【参考文献】

李　箕康（編）1986「中国猪品種志」上海科学技術出版社出版 p.8-p.12

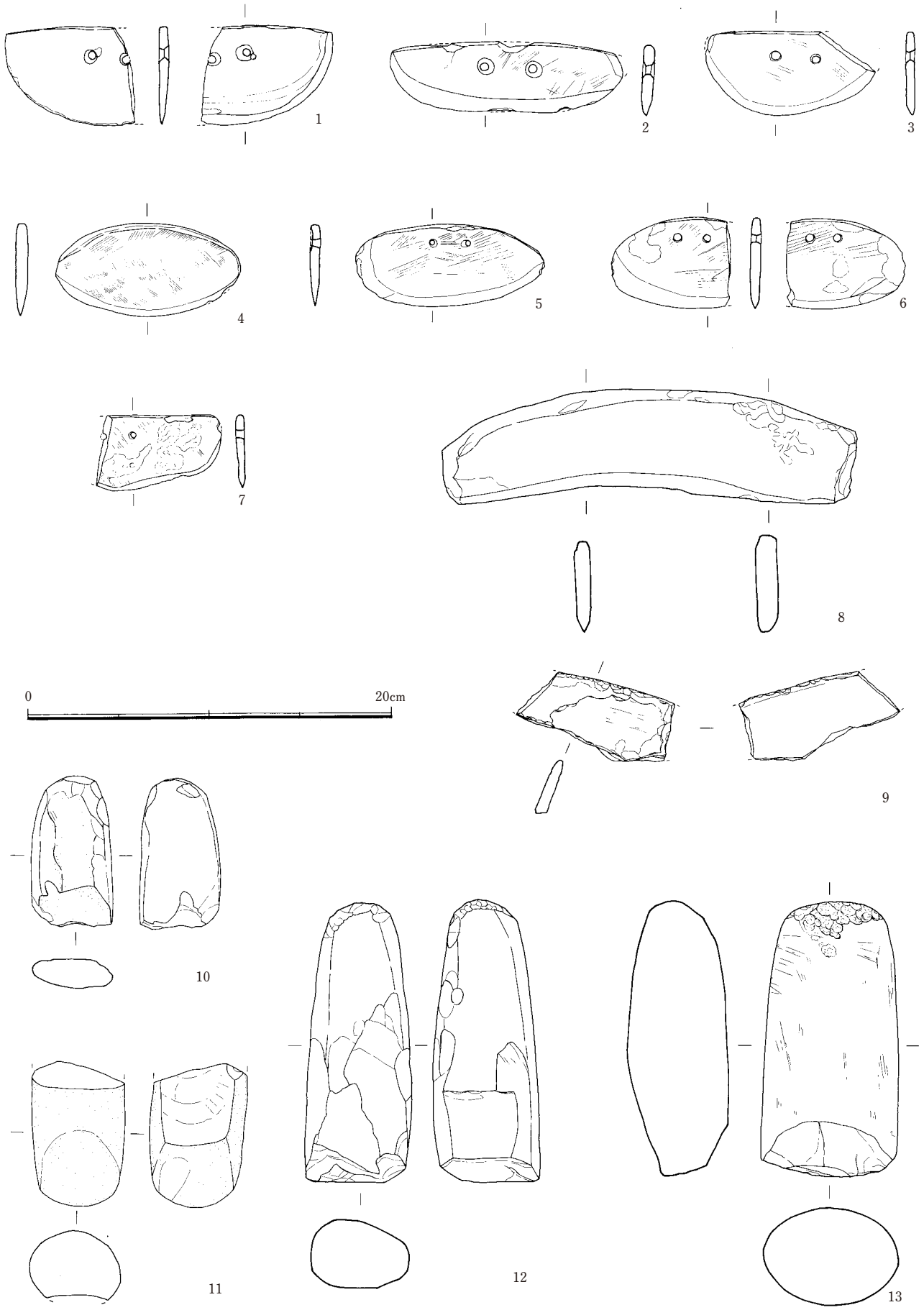
西谷　大 2009「中国ブタ便所からみた弥生文化の家畜飼育」『弥生時代の考古学』５、同成社 p.132-p.142

佐藤浩司 2007「北九州市小倉南区横代所在大夫坂池採集のイノシシ形土製品」『九州考古学』第 82 号、九州考古学会 p.101-p.109

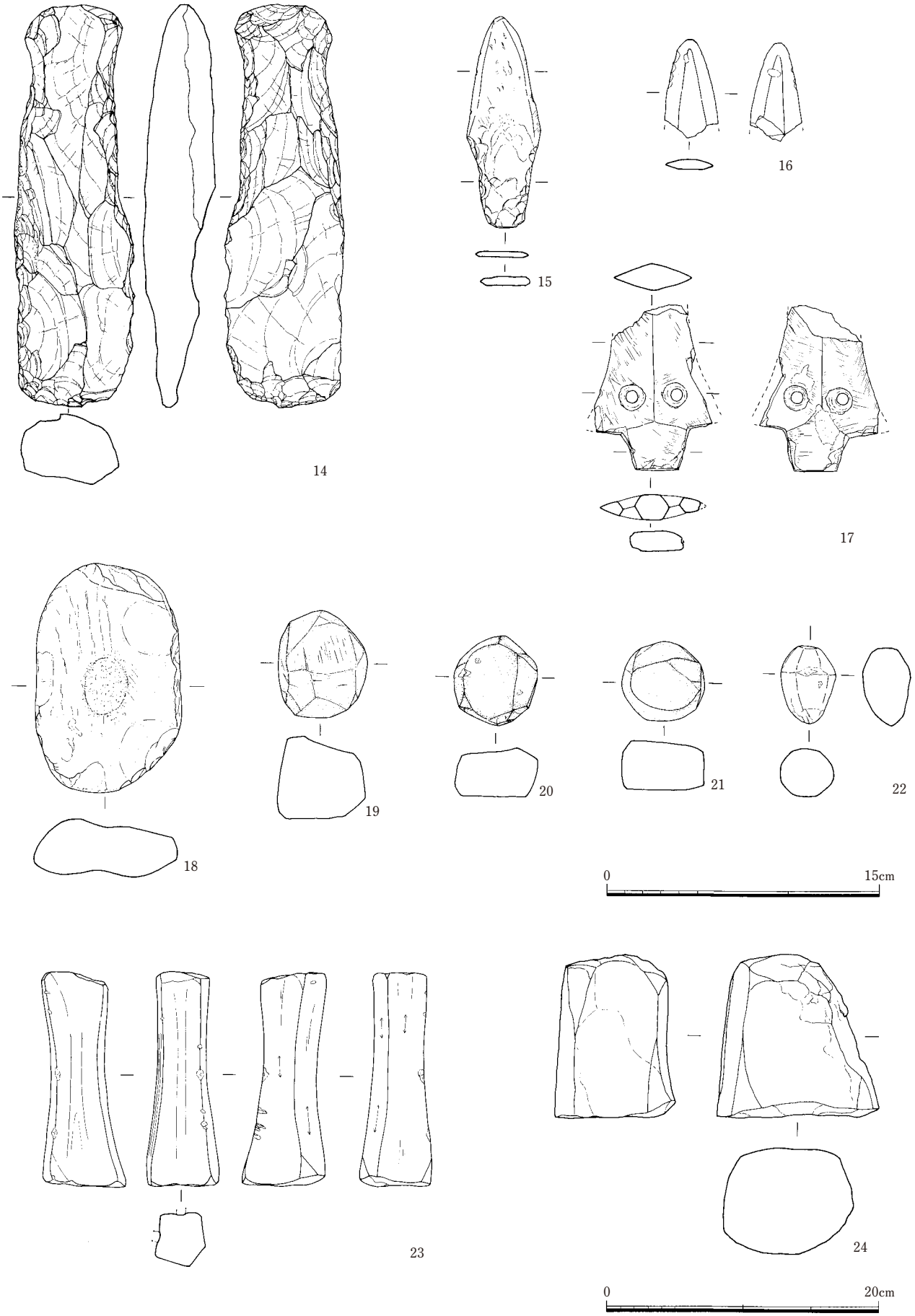
常松幹雄 2010「弥生時代の動物形土製品－福岡市元岡・桑原遺跡群出土資料－」『動物考古学』27 号動物考古学研究会 p.138-p.142

## 表 67　遺構出土石器観察表（1）

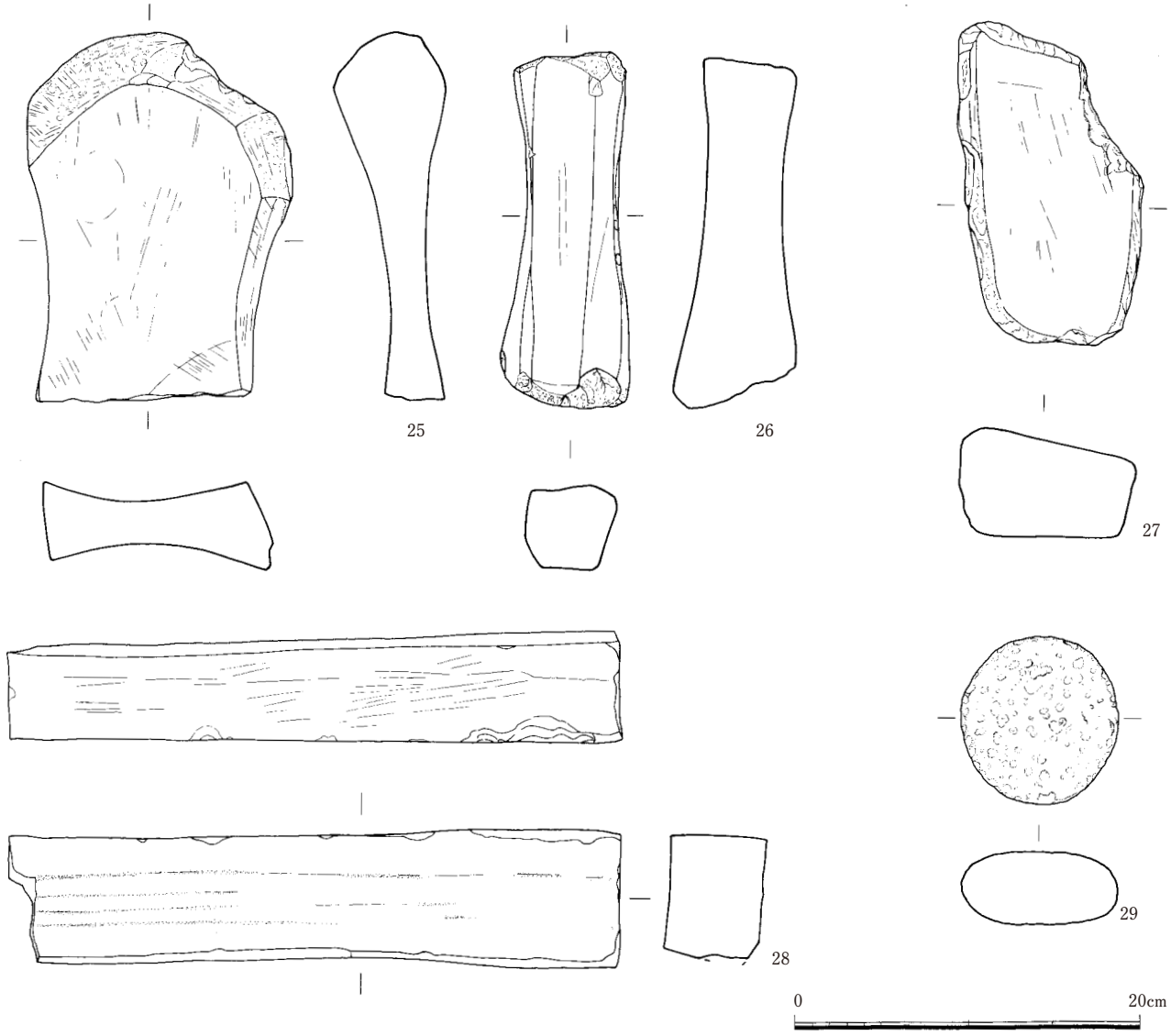
| 図 | No. | 出土地点 | | | 種類 | 法量 (cm, g) | | | | 石材 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 重量 | | | |
| 122 | 1 | Ⅱ | 133 | — | 石庖丁 | 7.0 | 5.4 | 0.4 | 28.2 | 砂岩 | 淡褐色 | 1/2 弱欠損、片刃の石庖丁、裏面は刃部をつくらず平坦に研磨、表は斜めに研ぎ刃部をつくる、刃に使用痕の凹凸が目立つ |
| 122 | 2 | Ⅱ | 119 | — | 石庖丁 | 12.8 | 3.8 | 0.6 | 48.3 | 粘板岩 | — | ほぼ完形品、両面にケズリ痕跡、穿孔は両方から、孔径 0.9cm |
| 122 | 3 | Ⅱ | 119 | W-6-S | 石庖丁 | 9.3 | 4.6 | 0.45 | 31.4 | 玄武岩 | — | 1/4 弱欠損、表面にはケズリ痕、刃は片面は丁寧に幅広く研ぐ、反対側は幅も狭く緩やかに研ぐ |
| 122 | 4 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石庖丁 | 10.1 | 5.1 | 0.8 | 53.9 | 輝緑凝灰岩 | 暗赤褐色 | 未製品、両面ともに研磨の細かい擦痕がある、刃部は両側から尖らせる |
| 122 | 5 | Ⅱ | 136 | — | 石庖丁 | 10.4 | 4.5 | 0.5 | 32.0 | 輝緑凝灰岩 | 暗赤褐色 | 完形品、表面には研磨痕、黒色を帯びるか所ある、炭化物の付着？あるいは二次焼成？　裏面には比較底大きな剥離がみられる |
| 122 | 6 | Ⅱ | 136 | — | 石庖丁 | 5.6 | 5.0 | 0.55 | 28.5 | 輝緑凝灰岩 | 暗赤褐色 | 1/2 弱欠損、表面には研磨の細かい擦痕、剥離痕もみられる、表面に黒色を帯びる ( 二次焼成を受ける ) か所あり |
| 122 | 7 | Ⅱ | 120 | X-6-N | 石包丁 | 9.0 | 4.1 | 0.41 | — | 粘板岩 | 灰色 | 半折、風化や剥離が著しい、2 カ所に穿孔、孔径 0.35 ～ 0.4cm |
| 122 | 8 | Ⅱ | 106 | X-4 | 石鎌 | 22.8 | 6.3 | 1.2 | 260.0 | 玄武岩 | — | 未製品、刃は片面のみ丁寧に加工、基部には刃は施されていない、表裏面には研磨痕 |
| 122 | 9 | Ⅱ | 106 | X-4 | 石鎌 | 8.5 | 4.0 | 0.7 | 38.9 | — | 青味を帯びた灰色 | 未製品？ |
| 122 | 10 | Ⅱ | 112 | W-4 | 磨製石斧 | 8.3 | 4.4 | 1.6 | 87.0 | 蛇紋岩 | — | 未製品、刃部の片面は研磨を施し成形する、反対側の面は未だ加工を施さず |
| 122 | 11 | Ⅱ | 106 | X-3 | 磨製石斧 | 7.9 | 5.0 | 3.5 | 218.0 | — | — | 基部欠損、刃部は丁寧な研磨、全体にわたり丁寧に研磨を施す |
| 122 | 12 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石斧 | 10.3 | 5.4 | 3.7 | 548.0 | 玄武岩 | — | 未製品、基部から中央付近まで敲打痕がみられる |
| 122 | 13 | Ⅱ | 120 | X-6-N | 石斧 | 15.1 | 7.4 | 5.4 | 1.1kg | 玄武岩 | 灰色 | 刃部は鋭さがなく、敲打痕がみられる、敲き石として使用？他は（上端面を除く）丁寧に研磨 |
| 123 | 14 | Ⅱ | 106 | | 石剣？ | 22.0 | 6.5 | 3.8 | 543.64 | — | — | 刃と柄の部位のつくりがみられる |
| 123 | 15 | Ⅱ | 134 | Y-2-N | 石剣 | 11.6 | 4.0 | 0.55 | 29.5 | — | 青灰色 | 二つに割れている、刃部を造りだして研磨、欠けた部分ある、身は平坦で鎬はない、茎には敲打痕がある |
| 123 | 16 | Ⅱ | 112 | W-4 | 石剣 | 5.3 | 2.5 | 0.5 | 9.5 | — | — | 剣先のみ残存、両側面に刃こぼれ、表面に磨滅あり |
| 123 | 17 | Ⅱ | | X-4 | 磨製石戈 | 9.0 | 6.4 | 1.5 | 84.5 | — | 左：褐灰色<br>右：黒色 | 上部欠損、断面は菱形、身の中央に鎬がある、擦痕が無数にある、孔は 2 カ所、径は 0.65cm |
| 123 | 18 | Ⅱ | 118 | X-6 | 敲石 | 8.0 | 12.5 | 3.2 | 0.6kg | — | 灰色 | 中央付近に敲打使用痕の凹、周辺にも敲打使用痕、一部に赤色顔料付着 |
| 123 | 19 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石製品 | 5.9 | 4.8 | 4.6 | 0.2kg | 花崗岩 | やや桃色がかった灰白色 | 砥石？表面を丁寧に研磨 |
| 123 | 20 | Ⅱ | 123 | W-5 | 石製品 | 4.9 | 4.6 | 2.6 | 0.1kg | 花崗岩質 | 淡黄色 | 用途不明、投弾？表面を丁寧に研磨 |
| 123 | 21 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 石製品 | 4.5 | 4.3 | 2.65 | 71.2 | 砂岩 | — | 用途不明、表面を研磨 |
| 123 | 22 | Ⅱ | 136 | | 石球？ | 4.25 | 3.0 | 2.65 | 42.0 | — | 灰白色～にぶい黄橙色 | 完形品、頭部に平らな面がある、用途不明 |
| 123 | 23 | Ⅱ | 112 | | 砥石 | 11.8 | 4.6 | 2.8 | 0.3kg | 粘板岩 | 灰色 | 上下両端面に敲打痕、他の面は全て砥石として使用、二面に溝あり |
| 123 | 24 | Ⅱ | 115 | X-4 | 石製支脚 | 12.0 | 12.0 | 9.0 | 2.1kg | — | 灰色 | 火を受けているため表面が剥離、赤色～黒灰色に変色 |
| 124 | 25 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 砥石 | 21.3 | 14.4 | 6.5 | 2.3kg | 粘板岩 | 青味がかった灰色 | 上端面には使用擦痕や敲打痕、下端面には敲打痕、他の四面は研磨の使用痕あり |
| 124 | 26 | Ⅱ | 120 | X-6-N | 砥石 | 20.6 | 7.4 | 7.1 | 1.3kg | 粘板岩 | 灰色 | 上下端面に敲打痕、他の面は全て砥石として使用 |
| 124 | 27 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 砥石 | 18.6 | 10.8 | 6.2 | 1.8kg | — | 灰白色 | 上端面を除き他は丁寧な研磨の使用痕あり |
| 124 | 28 | Ⅱ | 112 | W-4 | 砥石 | 35.4 | 5.45 | 7.2 | — | 粘板岩 | 灰色～灰黒色 | 表裏二面に使用した擦痕がある |
| 124 | 29 | Ⅱ | 115 | Y-4 | 敲石 | 9.7 | 9.1 | 4.2 | 0.6kg | — | 緑味をおびた黒色 | 風化のためか表面の剥離が著しい、敲打痕不明瞭 |
| 125 | 30 | Ⅱ | 106 | X-4 | 砥石？ | 33.95 | 24.55 | 15.6 | 26.2kg | 玄武岩 | — | 表面の線刻は研磨により生じたものと思われる、2 カ所に浅い窪みがある、磨石（台石）として使用？ |
| 125 | 31 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 敲石 | 17.7 | 11.6 | 7.4 | 2.4kg | 玄武岩 | 灰色 | 両端に敲打使用痕、他は研磨、使用擦痕や条痕あり |
| 125 | 32 | Ⅱ | 106 | X-4 | 敲石 | 20.95 | 21.75 | 5.8 | 4.0kg | — | — | 表面に帯状の浅い溝がある、使用敲打痕が表裏の中央部付近にみられる |
| 125 | 33 | Ⅱ | 118 | X-6 | 砥石 | 19.5 | 20 | 13.1 | 12.05kg | 玄武岩 | — | 全面に使用痕が認められる、風化、磨滅がある |
| 125 | 34 | Ⅱ | 134 | X-2 | 砥石 | 20.9 | 15.3 | 12.0 | 5.5kg | 玄武岩 | — | 二面のみ使用痕がある |
| 126 | 35 | Ⅱ | 103 | X-3 | 砥石？ | 36.4 | 17.1 | 9.1 | 6.2kg | 風化した玄武岩 | 灰色 | 片面のみ使用した痕跡、他はなし |
| 126 | 36 | Ⅱ | 108 | Y-2 | 砥石 | 44.0 | 12.3 | 12.5 | 13kg | 砂岩 | — | 二面に使用痕、ごく一部に研ぎに使用した痕跡、細かな刻目もみられる |
| 126 | 37 | Ⅱ | 130 | | 砥石 | 35.9 | 16.8 | 15.2 | 20.5kg | 玄武岩？ | — | 表と裏面のみ使用痕ある、裏面には中央付近に小さな凸があり研磨の使用痕も多くない |
| 127 | 38 | Ⅱ | 123 | W-6 | 石錘 | 5.0 | 4.4 | 1.4 | 56.1 | 片麻岩 | — | 完形品、両端を少し内側に加工する、表面は風化し加工痕不明（ケズリ？） |
| 127 | 39 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 石錘 | 8.2 | 8.45 | 2.05 | 158.0 | 砂岩 | — | 完形品、表面に僅かであるが擦痕がみられる |
| 127 | 40 | Ⅱ | 136 | | 石錘 | 7.0 | 5.4 | 1,75 | 96.4 | 滑石 | 灰白色 | |
| 127 | 41 | Ⅱ | 123 | W-5 | 石製投弾 | 5.2 | 2.2 | 2.3 | 38.2 | — | 灰色 | ほぼ完形 ( 極僅か上下端欠ける )、表面に細かい凹凸がある（使用痕？） |
| 127 | 42 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | 5.3 | 1.9 | 1.4 | 19.0 | 粘板岩 | — | 完形品、細かい削り痕が多く見られる |
| 127 | 43 | Ⅱ | 112 | W-4 | 石錘 | 5.4 | 3.6 | 2.1 | 46.0 | 滑石 | 灰色 | 完形品、全面に削り痕 |
| 127 | 44 | Ⅱ | 120 | X-6-N | 石錘 | 5.4 | 2.7 | 1.9 | 47.3 | 滑石 | — | 完形品 |
| 127 | 45 | Ⅱ | 133 | | 石錘 | 6.8 | 4.3 | 3.1 | 141.3 | — | 灰色～にぶい黄橙色 | 完形品 |
| 127 | 46 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 石錘 | 4.0 | 1.5 | 1.1 | 9.5 | 粘板岩 | — | 完形品 |
| 127 | 47 | Ⅱ | 123 | W-6 | 石錘 | 3.6 | 1.65 | 1.4 | 10.8 | 粘板岩 | — | 完形品、削り痕、横方向に二条の溝、うち一条は一周せず途中で僅かに切れる、もう一つは全周の 1/4 程度が切れる |
| 127 | 48 | Ⅱ | 123 | W-6 | 石錘 | 4.65 | 2.0 | 1.1 | 13.0 | 滑石 | 灰色 | 頭部僅かに欠損、裏面の縦溝に磨滅あり |
| 127 | 49 | Ⅱ | 123 | W-5 | 石錘 | 4.6 | 2.8 | 2.4 | | — | — | 縦溝は全周、横溝は削り加工が不十分 |
| 127 | 50 | Ⅱ | 106 | W-3・4 | 石錘 | 6.0 | 3.35 | 2.6 | 61.0 | 粘板岩 | — | 裏面は横溝が途中で断れる |
| 127 | 51 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | 5.6 | 1.7 | 1.3 | 15.2 | 滑石 | 灰色 | 基部先端部僅かに欠損、先端部近い横溝は一周せず |
| 127 | 52 | Ⅱ | 165 | Z-3 | 石錘 | 7.6 | 3.1 | 3.0 | 86.5 | 滑石 | 灰白色 | |
| 127 | 53 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | 13.55 | 5.25 | 2.9 | 289.0 | 滑石 | 灰色 | 裏面 1/2 弱剥離、きめの粗い滑石 |
| 128 | 54 | Ⅱ | 123 | W-6 | 石錘 | 3.35 | 3.1 | 2.0 | 28.2 | 長石？ | — | 完形？孔径 0.7 ～ 0.8cm |
| 128 | 55 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | 2.9 | 1.8 | 1.0 | 7.0 | 滑石 | 灰色 | 完形品、溝は全周する、孔径 0.3 ～ 0.4cm |
| 128 | 56 | Ⅱ | 123 | W-6 | 石錘 | 3.3 | 1.45 | 1.15 | 8.4 | — | 灰色 | 完形品、擦痕あり、孔径 0.25cm |
| 128 | 57 | Ⅱ | 103 | Z-1・2 | 石錘 | 4.2 | 0.8 | 0.85 | 7.7 | — | 黒色 | 完形品、丁寧な研磨、孔径 0.3cm |
| 128 | 58 | Ⅱ | 123 | W- 5 | 石錘 | 5.2 | 2.0 | 1.7 | 20.3 | 粘板岩 | 黒色 | 完形品、孔径 0.4cm |
| 128 | 59 | Ⅱ | 120 | X-6-N | 石錘 | 5.6 | 4.3 | 2.7 | 59.7 | 粘板岩 | — | 完形品、表裏面に細かい擦痕、穿孔付近に横方向に延びる短い沈線がみられる、横方向の溝を意識したもの？孔径 0.4 ～ 0.5cm |
| 128 | 60 | Ⅱ | 118 | X-6 | 石錘 | 4.95 | 2.55 | 1.9 | 26.0 | 粘板岩 | — | 頭部僅かに欠損、孔径 0.8cm |
| 128 | 61 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 石錘 | 6.0 | 4.4 | 3.3 | 124.1 | 滑石 | 灰色 | 完形品、削り痕や擦痕がある、孔径 0.75cm |
| 128 | 62 | Ⅱ | 106 | W-3・4 | 石錘 | 7.5 | 4.7 | 3.7 | 219.0 | — | 灰色 | 完形品、孔径 0.7cm |
| 128 | 63 | Ⅱ | 106 | W-3・4 | 石錘 | 7.5 | 4.75 | 3.7 | | — | — | 完形品、孔径 1.1cm |
| 128 | 64 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | 8.65 | 4.4 | 2.9 | 186.0 | 滑石 | 灰色 | 完形品、表面にケズリの痕跡、孔径 0.55 ～ 0.7cm |
| 128 | 65 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | 5.8 | 3.1 | 2.25 | 65.2 | 滑石 | 灰色 | 完形品、縦方向の溝は一周せず基部には施さない、全面削り成形、孔径（上）0.5cm、（下）0.5 ～ 0.7cm |
| 128 | 66 | Ⅱ | 113 | Z-3 | 石錘 | 8.7 | 2.45 | 2.2 | 92.6 | 滑石 | 灰色 | 完形品、縦方向の丁寧な削り、一部に横方向のケズリを加える、上下に 2 カ所穿孔、上の孔には縦溝を施す、<br>孔径（上）0.4 ～ 0.5cm、（下）0.6 ～ 0.7cm |
| 128 | 67 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | 10.7 | 4.6 | 4.1 | 261.0 | 滑石 | 灰色 | 完形品、丁寧な削り、上下 2 カ所に穿孔、上の孔は斜方向に貫通し縦溝がつく、孔径（上）0.6 ～ 0.8cm、（下）0.65cm |
| 129 | 68 | Ⅱ | 103 | Z-2 | 石錘 | — | 12.0<br>( 径 ) | 10.1 | 1.5kg | 滑石 | 灰白色 | 1/2 弱欠損、穿孔は中程でやや径が狭くなる、下の孔は縁には紐を掛けた痕跡がある |
| 129 | 69 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | — | 11.5<br>( 径 ) | 4.15 | 900.0 | 滑石 | 灰色 | 表面にはケズリの多くの線刻がみられる、裏面は丁寧な加工、<br>孔径 2.85 ～ 3.4cm |
| 129 | 70 | Ⅱ | 106 | X-3 | 石錘 | — | 13.9<br>( 径 ) | 6.6 | 804.0 | 滑石 | 灰色 | 2/3 欠損、表面に磨滅あり、孔はやや斜に穿つ |
| 129 | 71 | Ⅱ | 110 | Y-3 | 石錘 | 9.9 | 10.2 | 12 | 1.7kg | 滑石 | 灰色 | 大小の穿孔がある、大孔は縦方向に穿ち径は 2.9 ～ 3.5cm、小孔は側面から底部に L 字状に穿つ |




**第 122 図**　遺構出土石器実測図（1）[ 1/ 3]




**第 123 図**　遺構出土石器実測図（2）[ 1/ 3・1/ 4]

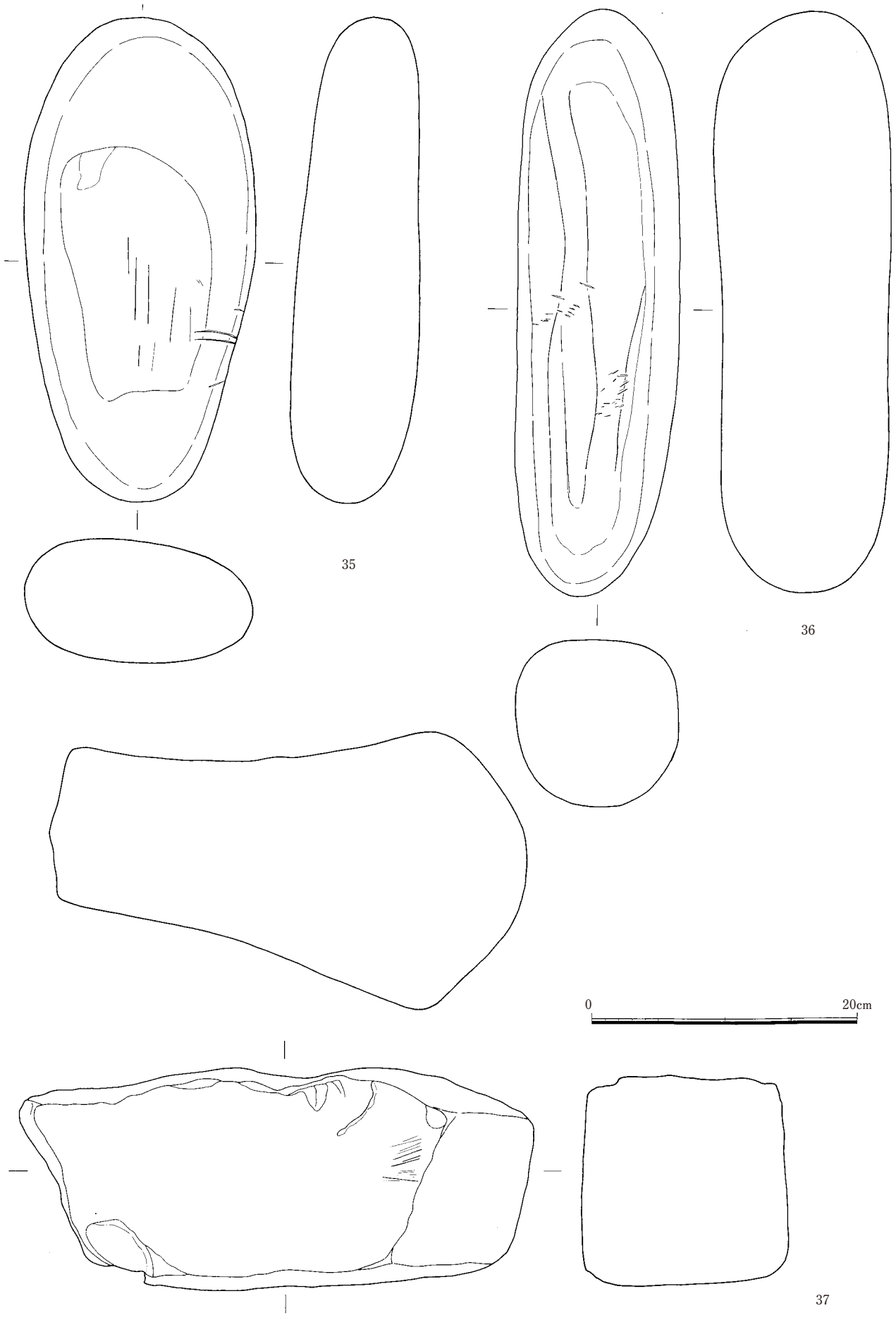



**第 124 図**　遺構出土石器実測図（3）[ 1/ 4]

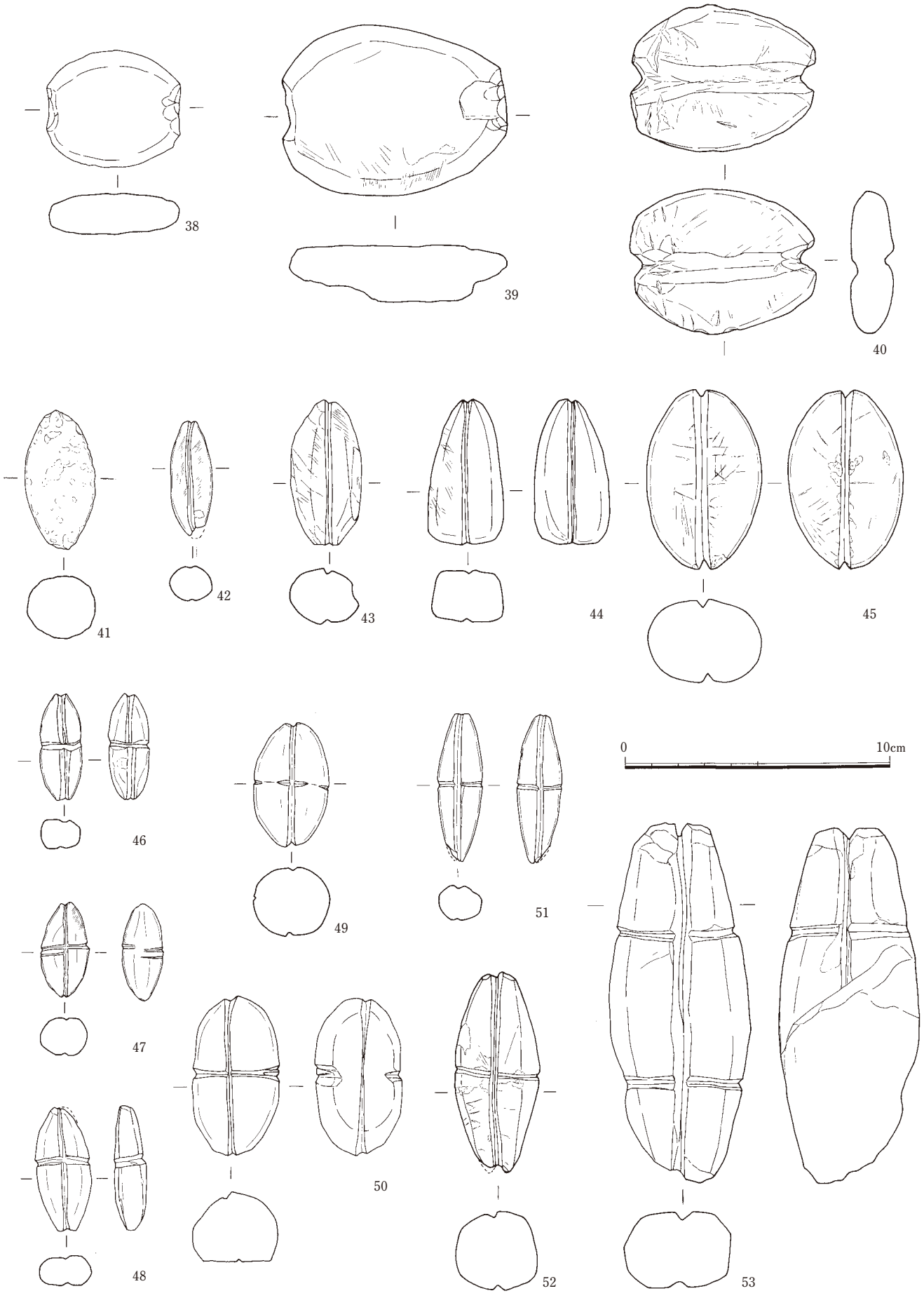
**表 68**　遺構出土石器観察表（2）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 種類 | 法量 (cm, g) | | | | 石材 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 重量 | | | |
| 130 | 72 | Ⅱ | 112 | W-5 | 石錘 | 21.6 | 20.9 | 9.5 | 7.3kg | 花崗岩 | — | 穿孔が 2 カ所にあり、一つは裏側に、もう一つは側面に繋がる、表面には成形時の削り加工がある |
| 130 | 73 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 石錘 | 48.0 | 31.6 | 10.8 | 31kg | 玄武岩 | — | 半円形状となる断面、短辺の中央付近に綱を掛ける加工痕あり、石碇 |
| 131 | 74 | Ⅱ | 106 | X-3 | 土製紡錘車 | — | 4.45<br>( 径) | 8.5 | 16.4 | — | 明褐色 | 完形、1㎜以下の石英・長石粒・金雲母含む、焼成は良好、穿孔は上面から下へ焼成前に施す、孔径 0.5 ～ 0.8cm |
| 131 | 75 | Ⅱ | 106 | X-3 | 紡錘車 | — | 4.1<br>( 径) | 6.0 | 21.5 | 滑石 | 灰色 | 完形品、両面ともに丁寧な研磨、孔径 0.5cm |
| 131 | 76 | Ⅱ | 106 | | 紡錘車 | — | 4.0<br>( 径) | 45 | 13.1 | 粘板岩 | — | 完形品、両面ともに丁寧な研磨、孔径 0.5cm |
| 131 | 77 | Ⅱ | 113 | Z-2 | 紡錘車 | — | 3.5<br>( 径) | 6.0 | 13.6 | 滑石 | 灰色 | 完形品、両面ともに研磨、側面はケズリ痕、孔径 0.55 ～ 0.6cm |
| 131 | 78 | Ⅱ | 120 | X-6-N | 紡錘車 | — | 4.5<br>( 径) | 5.0 | 19.4 | 滑石 | 灰色 | 1/10 弱欠損、両面おも研磨、孔径 0.6cm |
| 131 | 79 | Ⅱ | 136 | Z-2 | 紡錘車 | | 4.0<br>( 径) | 0.5 | 12.0 | 滑石 | 灰色 | 完形品、孔径 0.4cm、表裏面とも丁寧な研磨 |
| 131 | 80 | Ⅱ | 123 | W-5-N | 紡錘車 | 5.0 | 5.0 | 0.45 | 22.5 | — | にぶい黄褐色 | ほぼ完形、表面に使用痕、孔径 0.65cm |
| 131 | 81 | Ⅱ | 106 | X-3 | 紡錘車 | — | 4.65<br>( 径) | 9.5 | 35.8 | 滑石 | 灰色 | 未製品、上面には斜方向に亀裂あり、両面ともに研磨 |
| 131 | 82 | Ⅱ | 120 | W-6 | 紡錘車 | — | 7.3<br>( 径) | 1.25 | 122.4 | 砂岩 | — | 未製品、両面に削り痕 |
| 131 | 83 | Ⅱ | 106 | X-4 | 石製品 | 4.4 | 2.0 | 1.5 | 14.4 | — | 表：橙色～桃色<br>裏：黄緑色 | 用途不明、表面に彩色する |

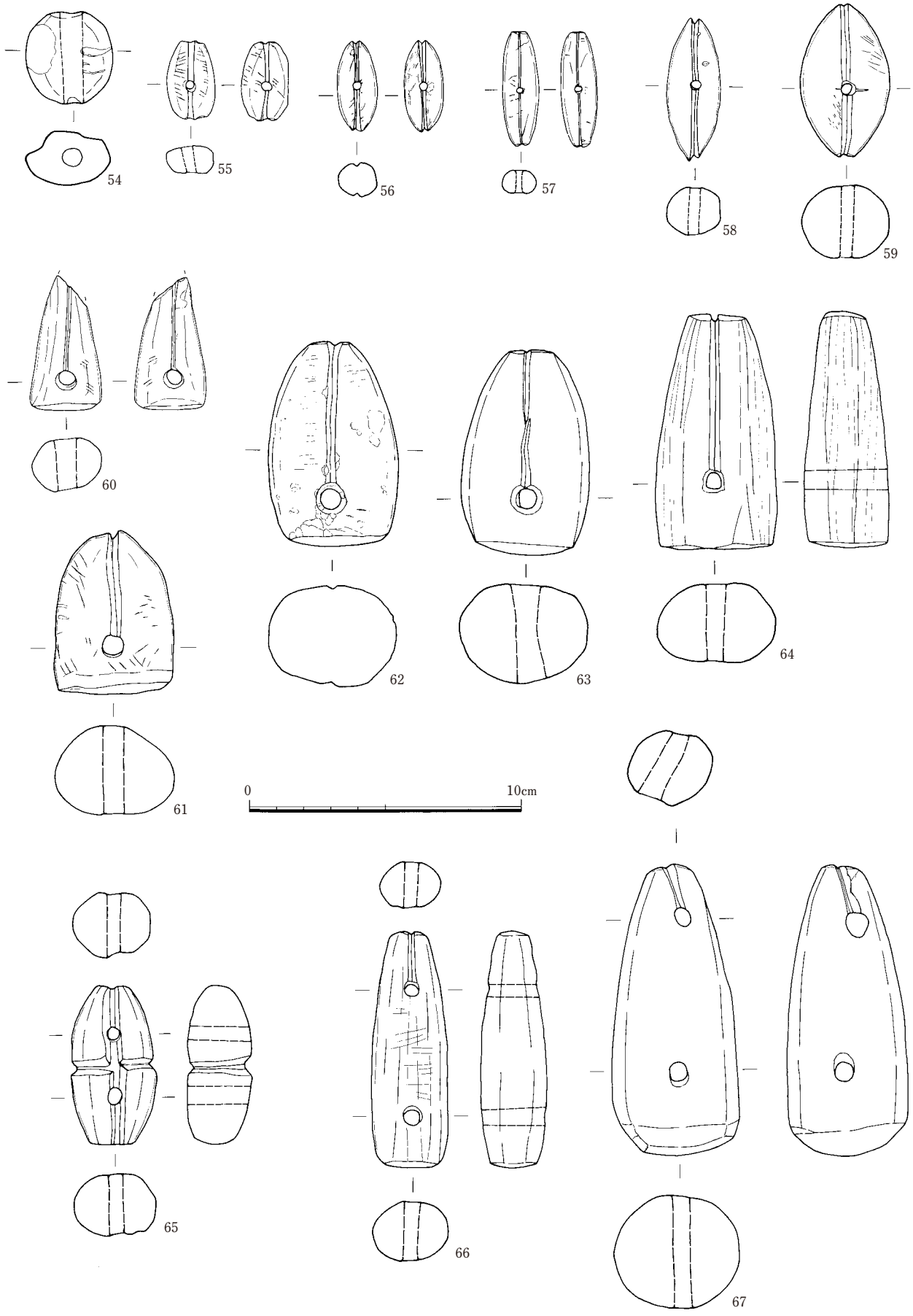
**第 125 図**　遺構出土石器実測図（4）[ 1/ 4]



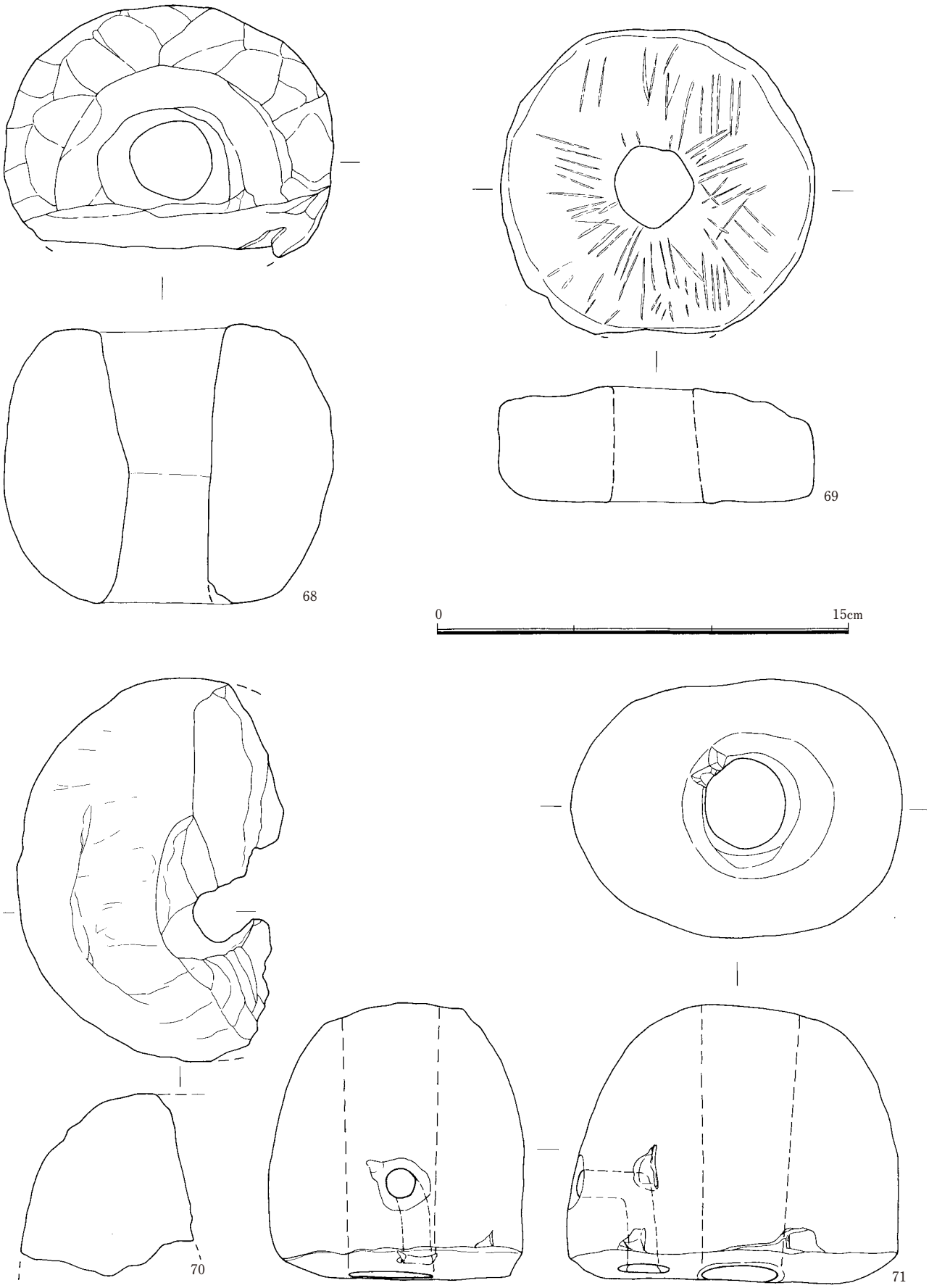

**第 126 図**　遺構出土石器実測図（5）[ 1/ 4]



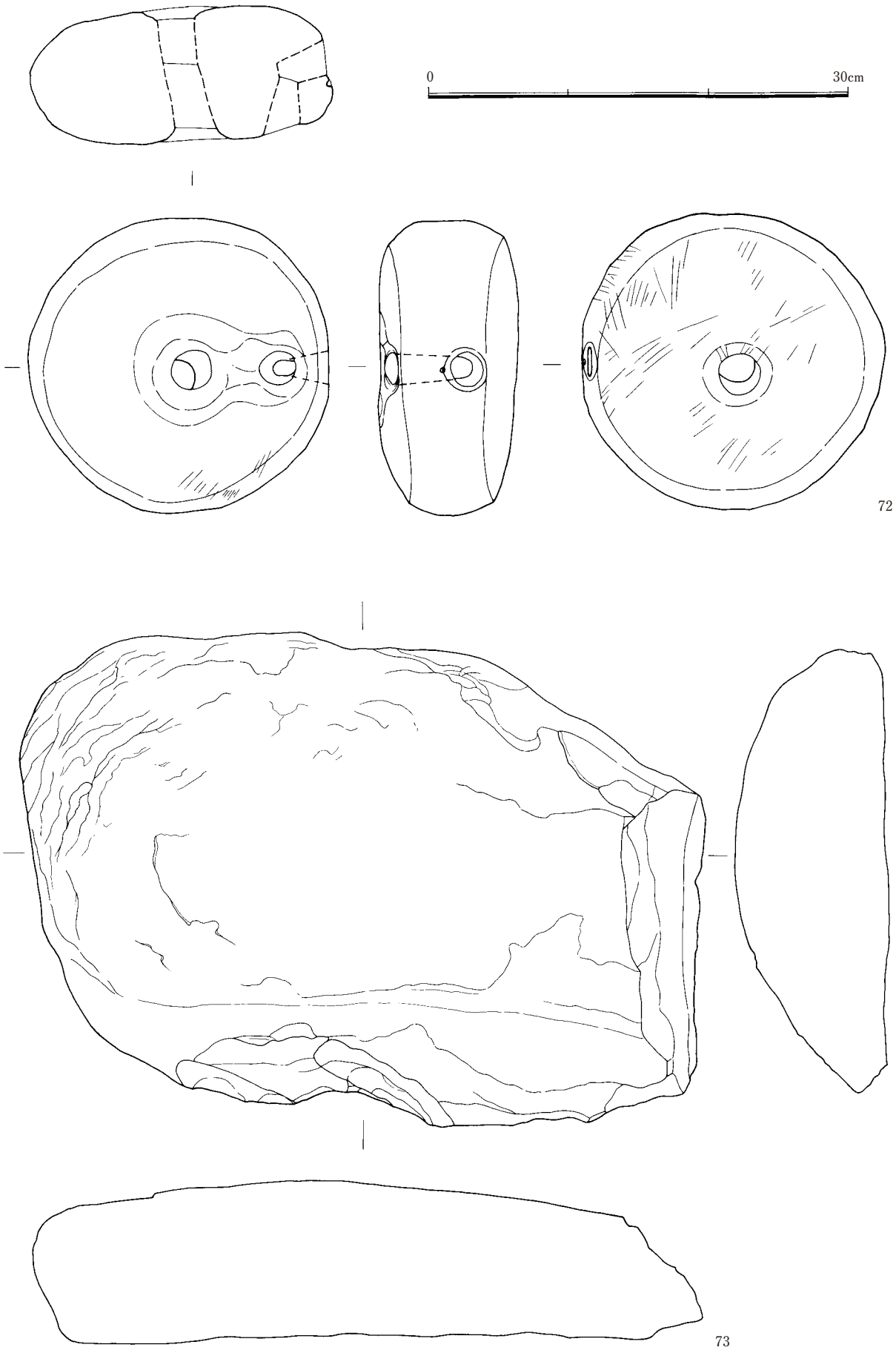

**第 127 図**　遺構出土石器実測図（6）[ 1/ 2]



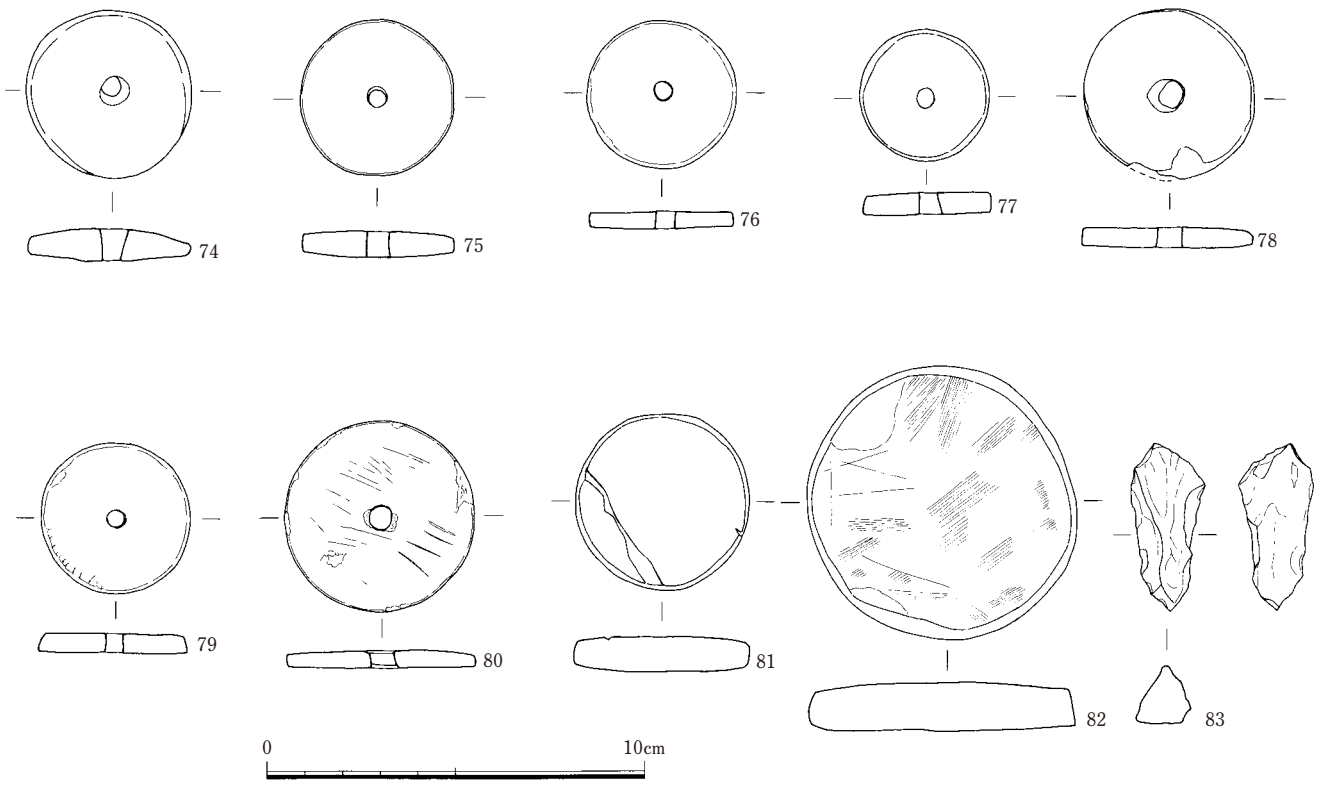

**第 128 図**　遺構出土石器実測図（7）[ 1/ 2]




**第 129 図**　遺構出土石器実測図（8）[ 1/ 2]




**第 130 図**　遺構出土石器実測図（9）[ 1/ 4]




**第 131 図**　遺構出土石器実測図（10）[ 1/ 2]

## 13　包含層出土の石器（第 132 ～ 140 図）

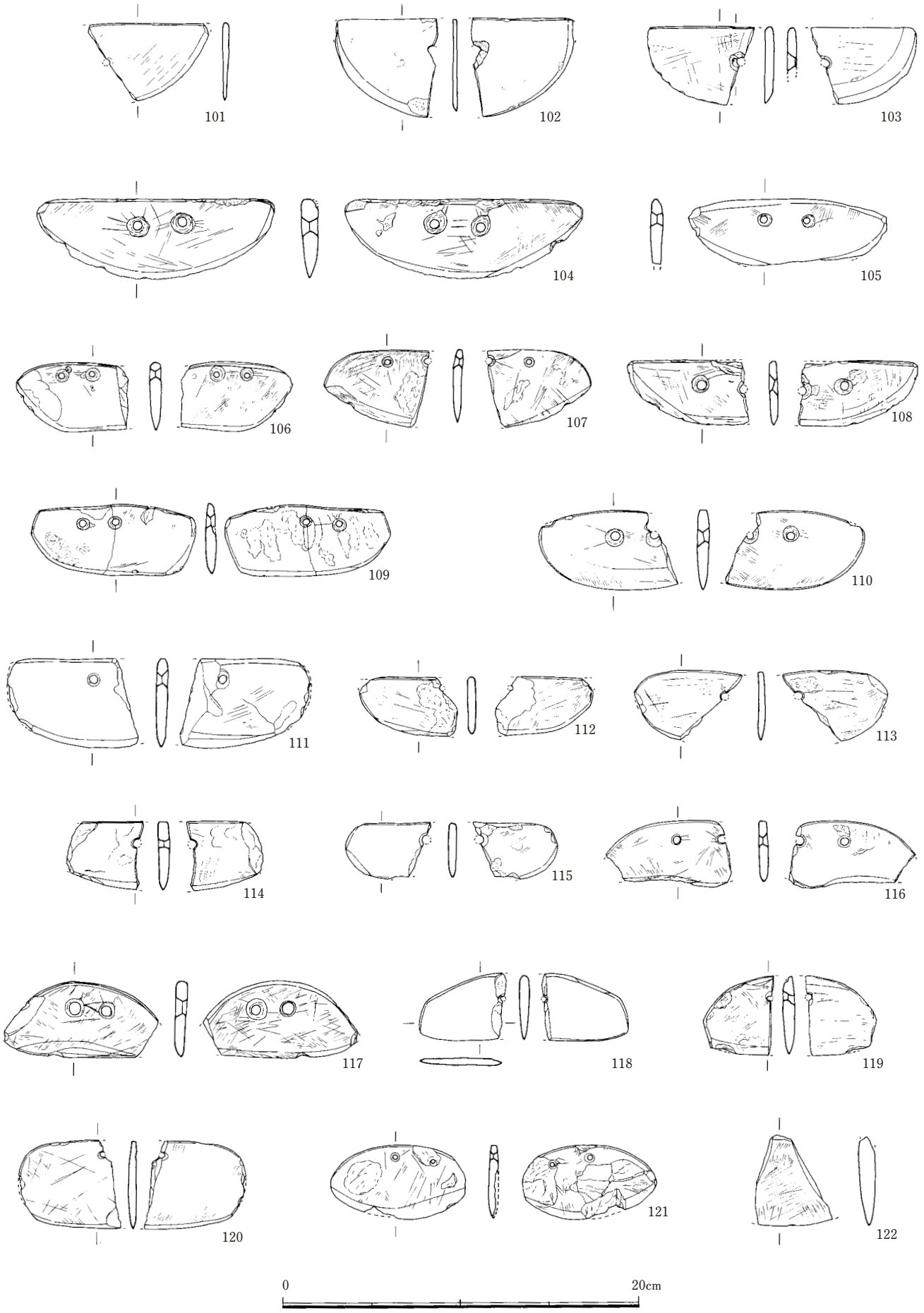
**表 69**　包含層出土石器観察表（1）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 種類 | 法量 (cm, g) | | | | 石材 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 重量 | | | |
| 132 | 84 | Ⅱ | | Y-5 | 石庖丁 | 6.7 | 10.3 | 1.75 | 136.4 | 輝緑凝灰岩 | 赤灰色 | 未製品、剥離、敲打面がそのまま残る、両面とも研磨なし |
| 132 | 85 | Ⅱ | | W-5 | 石庖丁 | 6.0 | 9.1 | 0.95 | 62.1 | 輝緑凝灰岩 | 灰褐色 | 未製品、刃部にあたる部分には磨きが施されている |
| 132 | 86 | Ⅱ | | Y-3 | 石庖丁 | 6.5 | 10.8 | 1.0 | 88.5 | 輝緑凝灰岩 | 赤灰色 | 未製品、刃部を造りだす途中、表は丁寧な研磨、裏は一部に研磨痕 |
| 132 | 87 | Ⅱ | | Y-3 | 石庖丁 | 9.2 | 5.4 | 1.2 | 65.8 | 輝緑凝灰岩 | 褐灰色～灰褐色 | 未製品、背部は造りだす途中、表は研磨痕あり、裏は一部に研磨痕 |
| 132 | 88 | Ⅱ | | X-3 | 石庖丁 | 6.8 | 6.6 | 1.2 | 62.5 | 輝緑凝灰岩 | 灰褐色 | 未製品、刃部を敲打して造りだす、表は研磨、裏は剥離面をのこす |
| 132 | 89 | Ⅱ | | Z-1 | 石鎌 | 8.4 | 63 | 0.4 | 37.8 | — | 黒灰色 | 先端部は欠損、刃部は両面に造りだす |
| 132 | 90 | Ⅱ | | Z-2 | 石鎌 | 8.9 | 5.6 | 0.9 | 76.6 | — | 灰黄色 | 先端は欠損、表面には擦痕（使用痕）あり、裏は剥離、風化している |
| 132 | 91 | Ⅱ | | Y-3 | 石剣 | 9.45 | 3.7 | 1.3 | 45.2 | 頁岩？ | — | 石製品を再利用した製品？基部に近い箇所に穿孔の一部が残存している、表面委細かい擦痕あり |
| 132 | 92 | Ⅱ | | W-3 | ミニチュアの石斧？ | 7.0 | 3.3 | 0.6 | 26.2 | — | 灰色 | 何かの転用品？先端に刃を造りだしている |
| 132 | 93 | Ⅱ | | Y-3 | 石庖丁 | 3.0 | 2.3 | 0.5 | 3.1 | — | 黒褐色～暗灰黄色 | 大部分が欠損 |
| 132 | 94 | Ⅱ | | Y-4 | 磨製石斧 | 9.6 | 6.0 | 2.6 | 0.2kg | 玄武岩 | 灰色 | 基部欠損、表裏面には研磨・擦痕あり、刃部は鋭く使用敲打痕あり |
| 132 | 95 | Ⅱ | | Z-2 | 磨製石斧 | 11.0 | 6.3 | 3.8 | 0.4kg | — | 暗緑灰色 | 基部欠損、全面に研磨、使用した痕跡の擦痕や敲打痕がみられる |
| 132 | 96 | Ⅱ | | Z-1 | 磨製石斧 | 9.75 | 3.25 | 6.15 | 318.0 | 玄武岩 | — | 未製品全面に研磨、風化・磨滅あり |
| 132 | 97 | Ⅱ | | X-4 | 石棒？ | 11.6 | 6.1 | 4.8 | 0.5kg | — | 灰色 | 頭部には敲打痕（使用）あり、全面に研磨を施す、一部に敲打痕あり、赤色顔料？一部に付着 |
| 132 | 98 | Ⅱ | | X-4 | 石斧 | 10.8 | 2.6 | 4.8 | 171.0 | 花崗岩 | — | 未製品、加工の途中欠損する |
| 132 | 99 | Ⅱ | | 表採 | 石斧 | 16.0 | 4.4 | 7.75 | 1.1kg | 玄武岩 | — | 未製品、表面には削り痕、全体に風化・磨滅あり |
| 132 | 100 | Ⅱ | | Z-2 | 磨製石斧 | 19.7 | 7.9 | 5.3 | 1.5kg | 玄武岩 | 灰色 | 刃部より基部がやや大きくなる大型の製品、基部欠損、表面は丁寧に研磨、敲打痕、使用擦痕もみられる |
| 133 | 101 | Ⅱ | | X-3 | 石包丁 | 6.2 | 4.3 | 0.35 | 16.5 | — | 灰色 | 1/2 欠損、孔が 1 つ残存、孔径約 0.3cm |
| 133 | 102 | Ⅱ | | Z-3 | 石包丁 | 5.7 | 5.5 | 0.3 | 11.6 | — | 灰色 | 1/2 欠損、背部に斜めの擦痕あり |
| 133 | 103 | Ⅱ | | Y-4 | 石包丁 | 5.9 | 4.3 | 0.55 | 22.4 | 安山岩？ | 灰白色 | 1/2 欠損、片刃は風化、孔径 0.4cm |
| 133 | 104 | Ⅱ | | Z-1・2 | 石包丁 | 4.5 | 13.3 | 0.95 | 77.5 | — | 灰色 | 完形品、2 つの孔の距離は 2.5cm、孔径約 0.95cm |
| 133 | 105 | Ⅱ | | Y-2 | 石包丁 | 11.0 | 3.6 | 0.55 | 36.4 | — | 頁岩？ | 刃部に欠損がみられる、表面に研磨、細かい擦痕あり、孔径 0.5cm |
| 133 | 106 | Ⅱ | | W-6 | 石包丁 | 3.9 | 0.3 | 0.65 | 24.5 | — | 灰色～にぶい黄橙色 | 2/3 残存、左側の孔に小さな凹あり、2 つの孔の距離は 1.7cm、孔径 0.35cm |
| 133 | 107 | Ⅱ | | X-3 | 石包丁 | 4.3 | 5.8 | 0.45 | 16.8 | 輝緑凝灰岩 | 暗赤褐色 | 1/2 残存、孔間の距離 2.5cm、孔径 0.3cm |
| 133 | 108 | Ⅱ | | Y-3 | 石包丁 | 3.6 | 6.8 | 0.45 | 20.1 | — | 灰色 | 2/3 残存、孔間の距離 2.4cm、孔径 0.5cm |
| 133 | 109 | Ⅱ | | W-6 | 石包丁 | 9.3 | 4.0 | 0.6 | 34.9 | 輝緑凝灰岩 | 灰褐色～にぶい褐色 | 完形、表面に細かい擦痕あり、裏面は多くは剥離、孔間の距離 1.9cm、孔径約 0.4cm |
| 133 | 110 | Ⅱ | | X-2 | 石包丁 | 4.4 | 7.8 | 0.65 | 35.5 | — | 灰白色～浅い黄色 | 1/2 残存、孔間の距離 2.2cm、孔径 0.5cm |
| 133 | 111 | Ⅱ | | Y・Z-2 | 石包丁 | 7.5 | 5.0 | 0.6 | 31.9 | 玄武岩 | — | 1/2 欠損、擦痕あり、孔径 0.4cm |
| 133 | 112 | Ⅱ | | Y-2 | 石包丁 | 5.0 | 3.3 | 0.5 | 13.3 | — | 灰色 | 1/2 欠損、使用の擦痕あり、孔径 0.3cm |
| 133 | 113 | Ⅱ | | Y-3 | 石包丁 | 6.0 | 3.9 | 0.45 | 12.2 | — | 灰色 | 1/2 欠損、刃部には細かく刃こぼれがみられる、表面には使用の擦痕が多し、孔径 0.4cm |
| 133 | 114 | Ⅱ | | Y-3 | 石包丁 | 4.3 | 3.8 | 0.65 | 14.6 | — | オリーブ黒～灰色 | 1/2 欠損、擦痕あり、孔径 0.5cm |
| 133 | 115 | Ⅱ | | X-5 | 石包丁 | 4.8 | 3.1 | 0.6 | 12.7 | 輝緑凝灰岩 | 灰褐色～にぶい褐色 | 1/2 欠損、両面に浅い擦痕、孔径 0.3cm |
| 133 | 116 | Ⅱ | | W-5 | 石包丁 | 3.7 | 7 | 0.55 | 25.9 | — | 灰色～にぶい黄橙色 | 2/3 残存、孔間の距離 2.5cm、孔径 0.5cm |

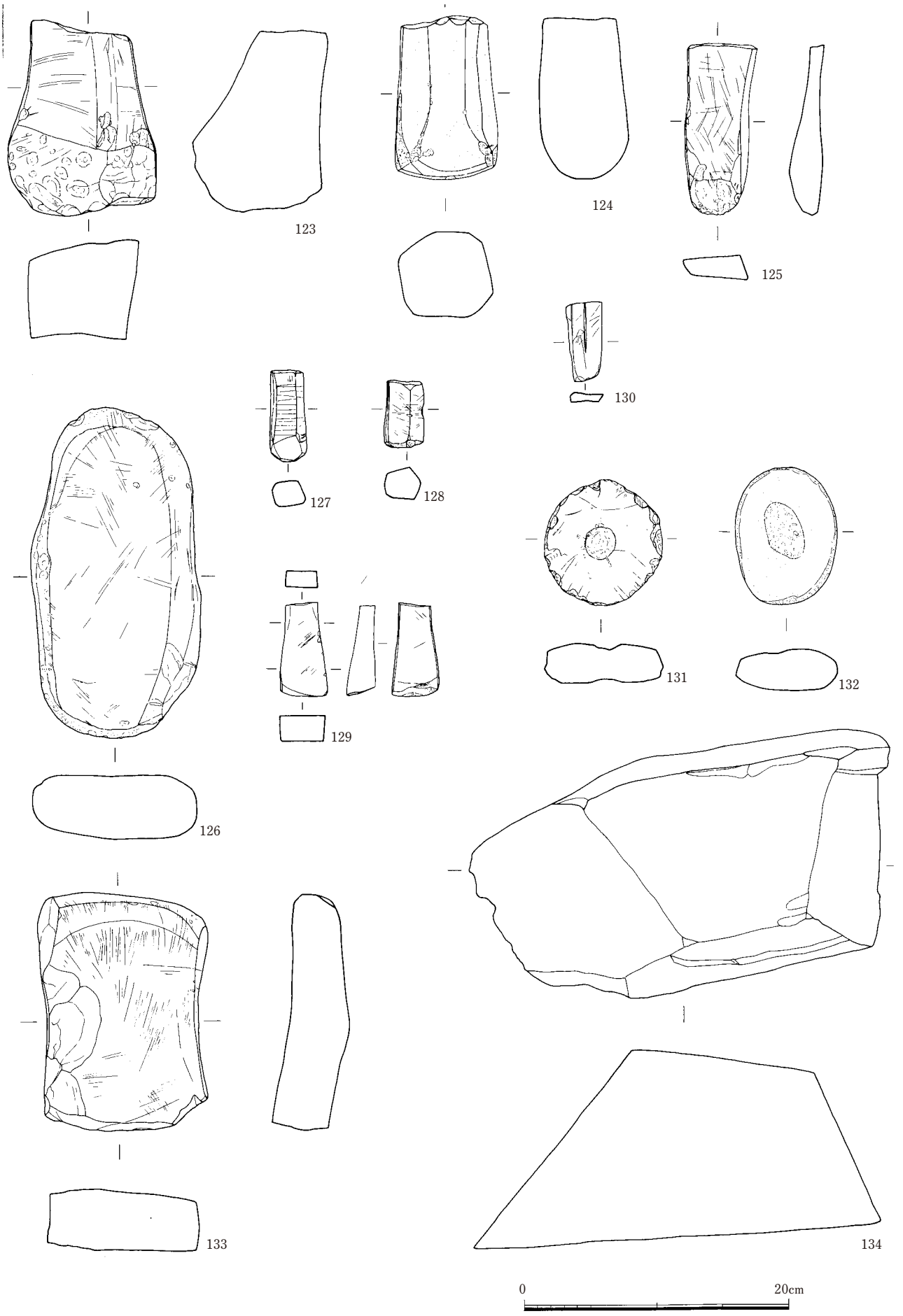
# 表 70　包含層遺構出土石器観察表（2）

| 図 | No. | 出土地点 | | | 種類 | 法量 (cm, g) | | | | 石材 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 重量 | | | |
| 133 | 117 | Ⅱ | | X-2 | 石包丁 | 4.2 | 8.6 | 0.65 | 32.0 | 輝緑凝灰岩 | 暗赤褐色 | 両端欠損、両面に擦痕、孔間の距離 1.8cm、孔径 0.7cm |
| 133 | 118 | Ⅱ | | Z-2 | 石包丁 | 4.9 | 3.8 | 0.6 | 15.2 | — | 青味がかった灰色 | 1/2 欠損、半分に折れた製品を再利用為加工？孔径 0.25cm |
| 133 | 119 | Ⅱ | | Y-3 | 石包丁 | 3.8 | 4.4 | 0.6 | 15.7 | 輝緑凝灰岩 | 灰色～にぶい黄橙色 | 1/2 欠損、両面に使用の擦痕ある、孔径 0.3cm |
| 133 | 120 | Ⅱ | | Y-6 | 石包丁 | 4.9 | 5.8 | 0.45 | 22.1 | — | 青味がかった灰白色 | 1/2 欠損、両面に使用の擦痕ある、孔径 0.3cm |
| 133 | 121 | Ⅱ | | X-2 | 石包丁 | 4.1 | 7.5 | 0.50 | 27.4 | — | 灰色 | 両端がやや欠ける、孔間の距離 2.3cm、孔径 0.7cm |
| 133 | 122 | Ⅱ | | Z-2 | 石包丁 | 5 | 4.4 | 0.9 | 26.0 | 輝緑凝灰岩 | 暗褐色 | 両面に擦痕あり、刃部は鋭い |
| 134 | 123 | Ⅱ | | X-5 | 砥石 | 14.8 | 11.3 | 9.6 | 2.0kg | 砂岩 | 灰色 | 頭部と基部面には敲打痕、他四面に使用研磨や擦痕あり |
| 134 | 124 | Ⅱ | | X-6 | 砥石？ | 12.2 | 7.7 | 6.6 | 1 .0kg | — | 灰色 | 上部は欠損、下部は研磨や若干の敲打痕ある、磨石あるいは敲き石として利用？ |
| 134 | 125 | Ⅱ | | Y － 2 | 砥石 | 12.8 | 4.8 | 2.4 | 0.2kg | 粘板岩 | オリーブ灰色 | 下部には敲打した使用痕あり、他の面には研磨、使用擦痕あり |
| 134 | 126 | Ⅱ | | X-4 | 砥石 | 25.0 | 12.9 | 4.8 | 2.3kg | — | 灰色 | 下部先端には敲打痕あり、表面中央部付近僅かに凹む、両側端に敲打痕、他は研磨痕 |
| 134 | 127 | Ⅱ | | X-4 | 砥石 | 6.9 | 2.8 | 2.0 | 0 .1kg | — | 暗灰色 | 下部には敲打痕、他の面は研磨を施す、ところどころ横方向の筋が入る（使用擦痕、条痕） |
| 134 | 128 | Ⅱ | | X-5 | 砥石 | 5.1 | 3.0 | 2.4 | — | — | 灰色 | 下部先端面には敲打痕、他の面は研磨を施す、斜めの擦痕あり |
| 134 | 129 | Ⅱ | | Z-3 | 砥石 | 7.0 | 3.6 | 2.1 | 75.7 | 砂岩 | 淡黄色 | 四面に使用痕あり、先端部も研磨に使用？ |
| 134 | 130 | Ⅱ | | Z-3 | 砥石 | 4.0 | 2.7 | 0.7 | 13.8 | — | 黒灰色 | 表裏面に使用の擦痕あり |
| 134 | 131 | Ⅱ | | X-4 | 磨石 | 9.4 | 8.9 | 3.0 | 0 .4kg | — | 灰白色 | 表裏面の中央部は敲打して凹む、両端は敲打痕、他は研磨を施す、敲き石？ |
| 134 | 132 | Ⅱ | | X-5 | 敲き石 | 10.4 | 7.6 | 3.0 | 0 .4kg | — | 灰色 | 中央部は細かい敲打して僅かに凹む、両側には敲打した使用痕ある |
| 134 | 133 | Ⅱ | | X-4 | 磨石 | 18.0 | 12.8 | 4.6 | 2.0kg | 粘板岩 | 灰色 | 表面には剥離がみられるが、他は研磨、下部先端面は敲打して研磨 |
| 134 | 134 | Ⅱ | | X-4 | 磨石 | 31.0 | 17.9 | 13.9 | 11.0kg | 玄武岩 | — | 三面を使用、その内に面は丁寧な研ぎを行っているため表面には凹凸もない、砥石として使用していない面は粗割の状態で加工せず |
| 135 | 135 | Ⅱ | | Z-1 | 石錘？ | 3.9 | 1.5 | 1.4 | 11.2 | 滑石 | 灰白色 | 周りに少し深めの沈線が数本入る |
| 135 | 136 | Ⅱ | | X-3 | 石錘 | 5.0 | 1.5 | 1.2 | 12.0 | — | 灰色 | 完形品、全体に使用痕あり |
| 135 | 137 | Ⅱ | | X-4 | 石錘 | 6.1 | 1.4 | 1.4 | 10.5 | 粘板岩 | — | 未製品？成形のための縦方向の削り痕は認められる |
| 135 | 138 | Ⅱ | | X-4 | 石錘 | 5.8 | 1.3 | 1.45 | 12.0 | 粘板岩 | — | 未製品？細かい縦方向の沈線が表裏面委に見られる |
| 135 | 139 | Ⅱ | | W-3 | 石錘 | 8.6 | 1.5 | 13 | 26.2 | — | 赤味を帯びた灰色 | 完形品、上下部に横方向の細かい溝は巡る、擦痕あり |
| 135 | 140 | Ⅱ | | X-5・6 | 石錘？ | 4.3 | 2.35 | 1.3 | 19.7 | 滑石？ | | 未製品？石弾？削り痕が側面にみられる |
| 135 | 141 | Ⅱ | | X-5 | 石錘 | 6.7 | 2.8 | 1.6 | 43.4 | 砂岩？ | 灰黒色 | 細かい削り痕がみられる |
| 135 | 142 | Ⅱ | | X-4 | 石錘 | 3.5 | 1.2 | 0.7 | 5.0 | — | 灰色～明オリーブ灰色 | 縦方向に細い溝が 2/3 周する |
| 135 | 143 | Ⅱ | | X-2 | 石錘 | 4.2 | 1.2 | 0.95 | 4.0 | 粘板岩 | — | 完形品、縦方向に一条の溝が全周する |
| 135 | 144 | Ⅱ | | Y-2 | 石錘 | 4.6 | 1.8 | 1.3 | 12.0 | 粘板岩 | — | 完形品、基部付近に剥離がみられる、縦方向に一条の溝が全周する |
| 135 | 145 | Ⅱ | | Z-2 | 石錘 | 4.3 | 1.6 | 1.3 | 11.6 | — | 黒色 | 完形品、縦方向に一条の溝が全周する |
| 135 | 146 | Ⅱ | | Y-3 | 石錘 | 4.6 | 1.5 | 1.4 | 12.8 | — | 灰色 | 完形品、縦方向に一条の溝が全周する、丁寧な磨きを施す |
| 135 | 147 | Ⅱ | | Z-3 | 石錘 | 3.0 | 2.7 | 2.0 | 19.5 | — | オリーブ灰色 | 1/2 欠損、石材がもろい、縦方向に溝 |
| 135 | 148 | Ⅱ | | Z-2 | 石錘 | 3.4 | 1.9 | 1.9 | 16.0 | — | 青味を帯びた灰色 | 僅かに欠ける、縦方向に溝全周する |
| 135 | 149 | Ⅱ | | X-5 | 石錘 | 3.1 | 2.1 | 1.55 | 12.3 | — | 褐色 | 裏側 1/4 欠損、縦方向に溝全周する |
| 135 | 150 | Ⅱ | | X-6 | 石錘 | 3.5 | 2.1 | 1.5 | 16.1 | — | 灰オリーブ色 | 完形品、縦方向の溝全周する |
| 135 | 151 | Ⅱ | | X-2 | 石錘 | 4.4 | 2.4 | 2.2 | 28.6 | 滑石 | 灰色～にぶい黄橙色 | 上部が若干欠ける、縦方向の溝全周する |
| 135 | 152 | Ⅱ | | W-6 | 石錘 | 5.2 | 2.3 | 2.0 | 42.3 | 滑石 | 青味を帯びた灰色 | 完形品、縦方向の溝全周する |
| 135 | 153 | Ⅱ | | Z-2 | 石錘 | 5.4 | 2.7 | 2.0 | 36.3 | 粘板岩？ | — | 縦方向に一条の溝が全周する |
| 135 | 154 | Ⅱ | | X-6 | 石錘 | 5.6 | 3.4 | 2.55 | 75.0 | 滑石 | — | 完形品、縦方向の一条の溝は全周する、表裏面には擦痕がある |
| 135 | 155 | Ⅱ | | Y-3 | 石錘 | 4.25 | 1.9 | 1.7 | 17.3 | 粘板岩？ | — | 横方向の溝の両端は合わない、一部に剥離がみれれる |
| 135 | 156 | Ⅱ | | X-3 | 石錘 | 5.3 | 1.0 | 1.15 | 13.3 | 粘板岩 | — | 先端部ごくわずか欠損、細かい削り痕多い、孔径 0.4cm |
| 135 | 157 | Ⅱ | | W-3 | 石錘 | 8.6 | 4.6 | 4.0 | 208.0 | — | 灰色 | 完形品、十文字に溝を施す |
| 135 | 158 | Ⅱ | | Y-3 | 石錘 | 9.9 | 4.9 | 3.2 | 246.0 | 花崗岩 | — | 先端部が極僅か欠損、側面には細かい擦痕、縦方向に一条の溝が全周する |
| 136 | 159 | Ⅱ | | Y-3 | 石錘 | 5.3 | 1.0 | 1.15 | 13.3 | 粘板岩 | | ほぼ完形、縦方向に一条の溝全周する |
| 136 | 160 | Ⅱ | | Y-2 | 石錘 | 3.1 | 2.1 | 1.55 | 12.3 | — | 褐色 | 裏側 1/4 欠損、縦方向に溝全周する |
| 136 | 161 | Ⅱ | | Z-2 | 石錘 | 6.3 | 1.4 | 1.4 | 19.0 | 粘板岩 | — | ほぼ完形、縦方向に一条の溝全周する |
| 136 | 162 | Ⅱ | | Y-3 | 石錘 | 4.95 | 2.0 | 1.5 | 17.7 | 滑石 | — | 1/2 弱欠損、縦方向に一条の溝全周する |
| 136 | 163 | Ⅱ | | Y-3 | 土錘 | 4.1 | 1.3 | 1.1 | 6.2 | 1mm以下の砂粒僅かに含む | 黒灰色 | 表面には剥離、磨き調整、穿孔 2 カ所 |
| 136 | 164 | Ⅱ | | X-4 | 石錘 | 6.4 | 3.6 | 1.85 | 64.2 | — | — | 表面には削り痕、穿孔は 1 箇所、溝は細い沈線が縦・横ともにみられるが部分的に残存 |
| 136 | 165 | Ⅱ | | X-4 | 石錘 | 5.8 | 4.4 | 4.0 | 174.0 | 玄武岩 | — | 完形品、全面丁寧な削りを施す |
| 136 | 166 | Ⅱ | | X-3 | 石錘 | 6.2 | 3.2 | 2.7 | 82.7 | 滑石 | 灰白色 | 僅かに欠損、全体に擦痕 ( 使用痕)、溝、穿孔なし |
| 136 | 167 | Ⅱ | | Y-2 | 石錘 | 9.0 | 3.4 | 2.1 | 120.1 | — | 緑味をおびた灰黒色 | 側面に研磨痕、基部端面には擦痕あり |
| 136 | 168 | Ⅱ | | X-2 | 石錘 | 7.3 | 3.2 | 1.6 | 59.7 | — | にぶい黄褐色 | 上部欠損、断面は菱形、身の中央に鏑がある、擦痕が無数にある、孔は 2 カ所、径は 0.65cm |
| 136 | 169 | Ⅱ | | Z-2 | 石錘 | 8.15 | 3.95 | 4.5 | 140.0 | — | — | ほぼ完形、縦方向に一条の溝を穿孔まで表裏で施す、全体に線条痕あり |
| 136 | 170 | Ⅱ | | X-5 | 石錘 | 10.8 | 4.3 | 4.2 | | 滑石 | 褐色～淡灰色 | 完形品、表面に削り痕、風化・磨滅あり |
| 136 | 171 | Ⅱ | | X-4 | 石錘 | 10.3 | 4.3 | 3.7 | 217.0 | 滑石 | 灰白色 | 先端は面がある、再利用？縦方向の一条の溝が穿孔まで表裏に施す |
| 136 | 172 | Ⅱ | | X-5 | 石錘 | 10.1 | 4.2 | 3.15 | 219.0 | 滑石 | — | 完形品、全体に削り痕、穿孔の横に深さ 0.5cm程の孔があり穿孔の横壁を貫通する |
| 137 | 173 | Ⅱ | | X-3 | 石錘 | 13.5 | 3.85 | 3.5 | 232.0 | — | 灰色 | 全体に丁寧に研磨、縦方向の溝上端面には施さず上部の穿孔まで表裏面のみ施す |
| 137 | 174 | Ⅱ | | Z-2 | 石錘 | 6.7 | 6.5 | 0.8 | 57.1 | — | 緑味をおびた灰色 | 周りを木「鉤状文Ａ類」に敲打して円形状に形造る、上部は抉れがあるが下部はごく小さな抉れがある |
| 137 | 175 | Ⅱ | | X-4 | 石錘 | 5.4 | 4.2 | 1.35 | 46.3 | — | 緑味をおびた灰色 | 石錘としているが用途不明石器である、貫通している孔とそうでないものがある |
| 137 | 176 | Ⅱ | | Y・Z-4 | 石錘 | 10.9 | 9.5 | 2.7 | 454.0 | 玄武岩 | — | 完形品、両端は打ち欠きを行い凹をつくり、表面委には細かな凹凸痕がみられる |
| 137 | 177 | Ⅱ | | | 石錘 | 8.75 | 5.25 | 4.45 | 296.0 | 滑石 | — | 1/2 欠損、孔を表面から側面に穿つ、以上の溝が巡る、中央に大きな穿孔が残存する、器面は削りのち研磨を施す |
| 137 | 178 | Ⅱ | | X-3 | 石錘 | 10.3 | 13.1 | 13.3 | 2.1kg | — | — | 完形品、全体を粗い削りで成形し底部は平らに削る、胴部下位には浅く削った溝条の帯が半周ほどする |
| 138 | 179 | Ⅱ | | Y-3 | 石錘 | 14.5 | 10.7 | 3.6 | 0.8kg | 蛇紋岩 | 緑味をおびた灰色 | 完形、周縁を剥離調整 |
| 138 | 180 | Ⅱ | | Y・Z-2 | 石錘 | 6.6 | 13.8 | 11.95 | 1.1kg | 花崗岩 | — | ほぼ完形、風化・磨滅が著しい |
| 138 | 181 | Ⅱ | | Y-2 | 石錘 | 14.8 | 13.8 | 10.2 | 2.3kg | 滑石 | 緑味をおびた灰色 | 1 /7 弱欠損、表面はきれいに研磨、穿孔の内側には工具痕があり、外側には紐ずれ痕？がある |
| 138 | 182 | Ⅱ | | Z-2 | 石錘 | 6.9 | 16.0 | 14.05 | 3.0kg | 滑石 | — | ほぼ完形、表面に削り痕 |

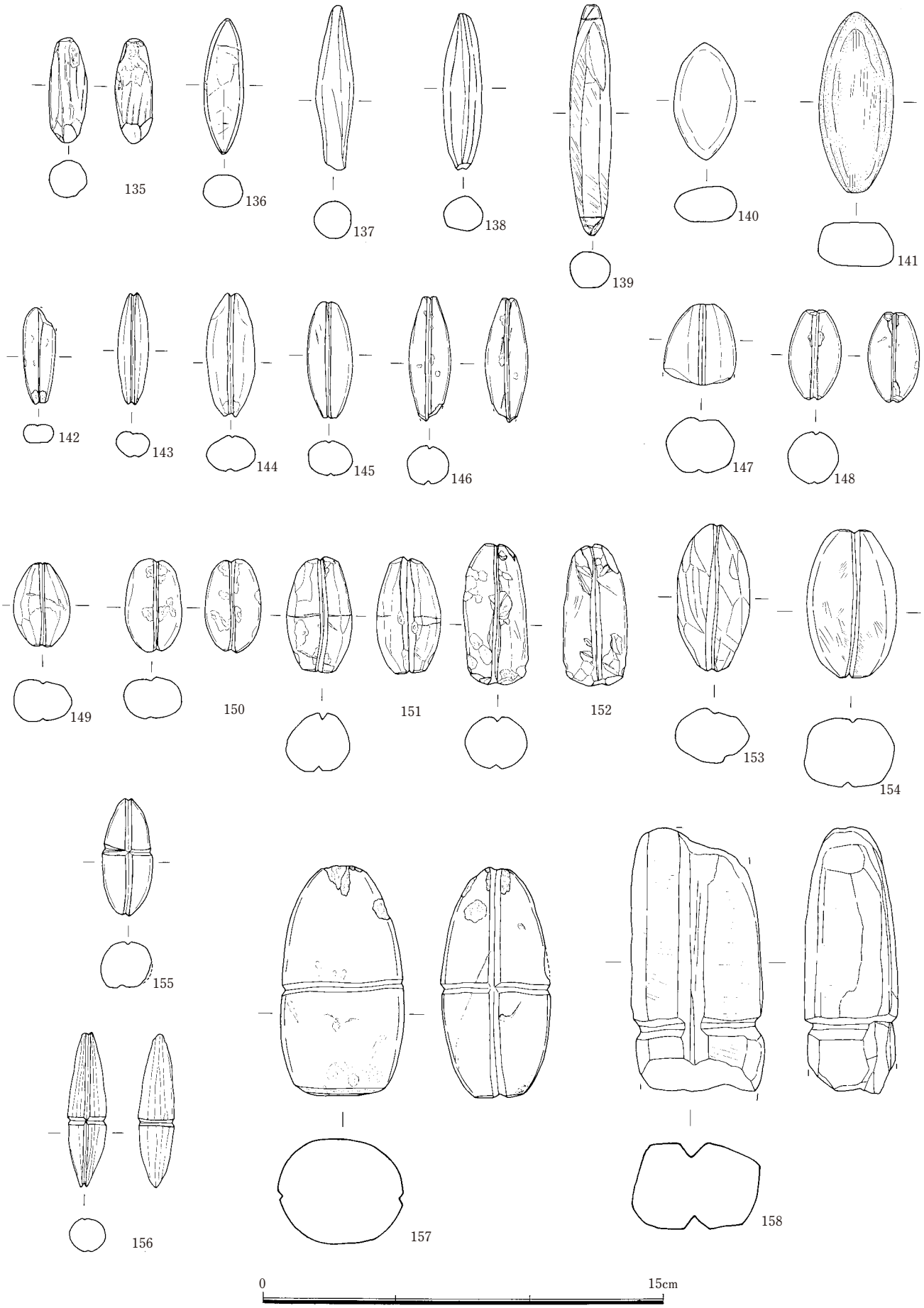
**第 132 図**　包含層出土石器実測図（1）[ 1/ 3]



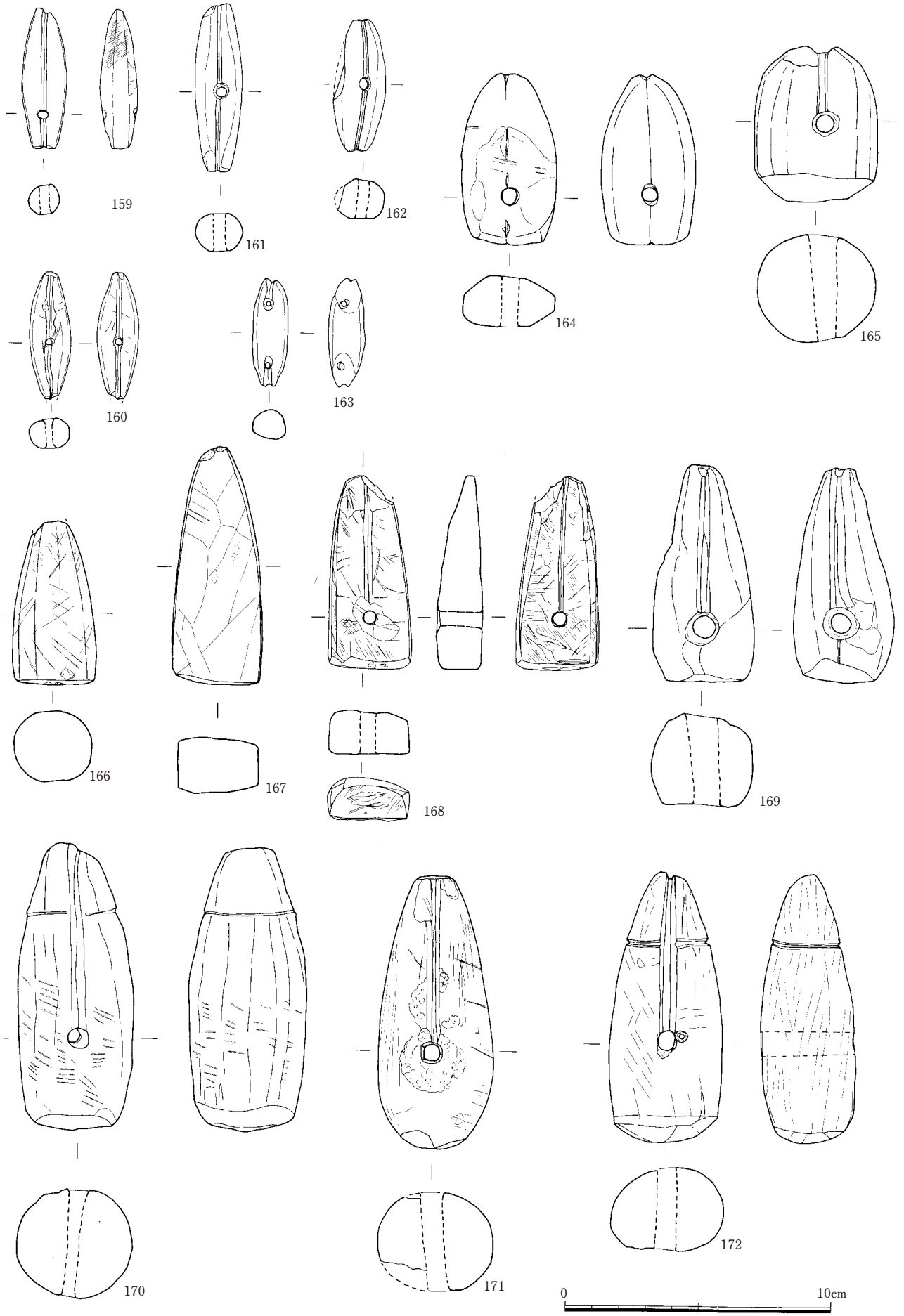

**第 133 図**　包含層出土石器実測図（2）[ 1/ 3]



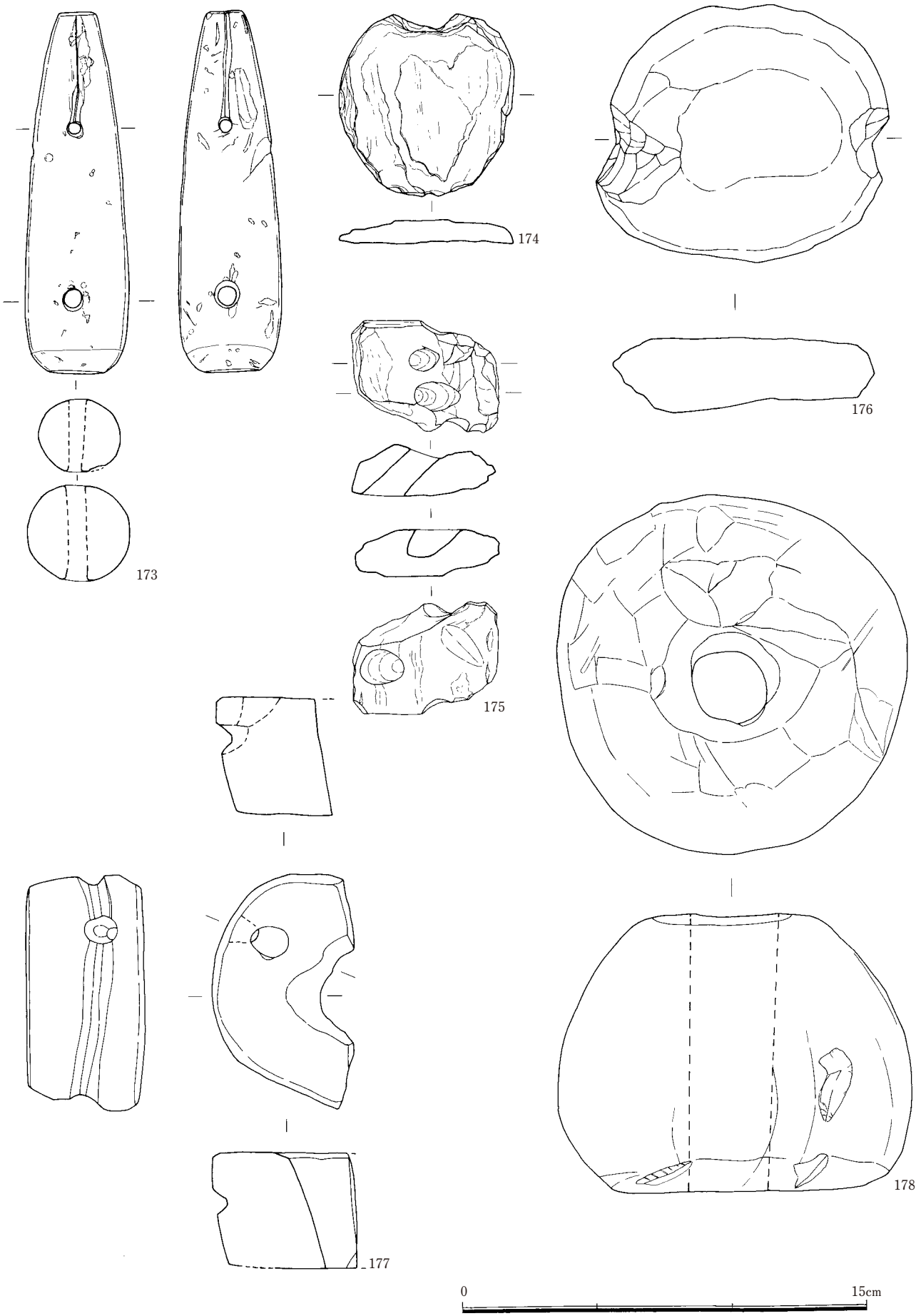

**第 134 図**　包含層出土石器実測図（3）[ 1/ 4]



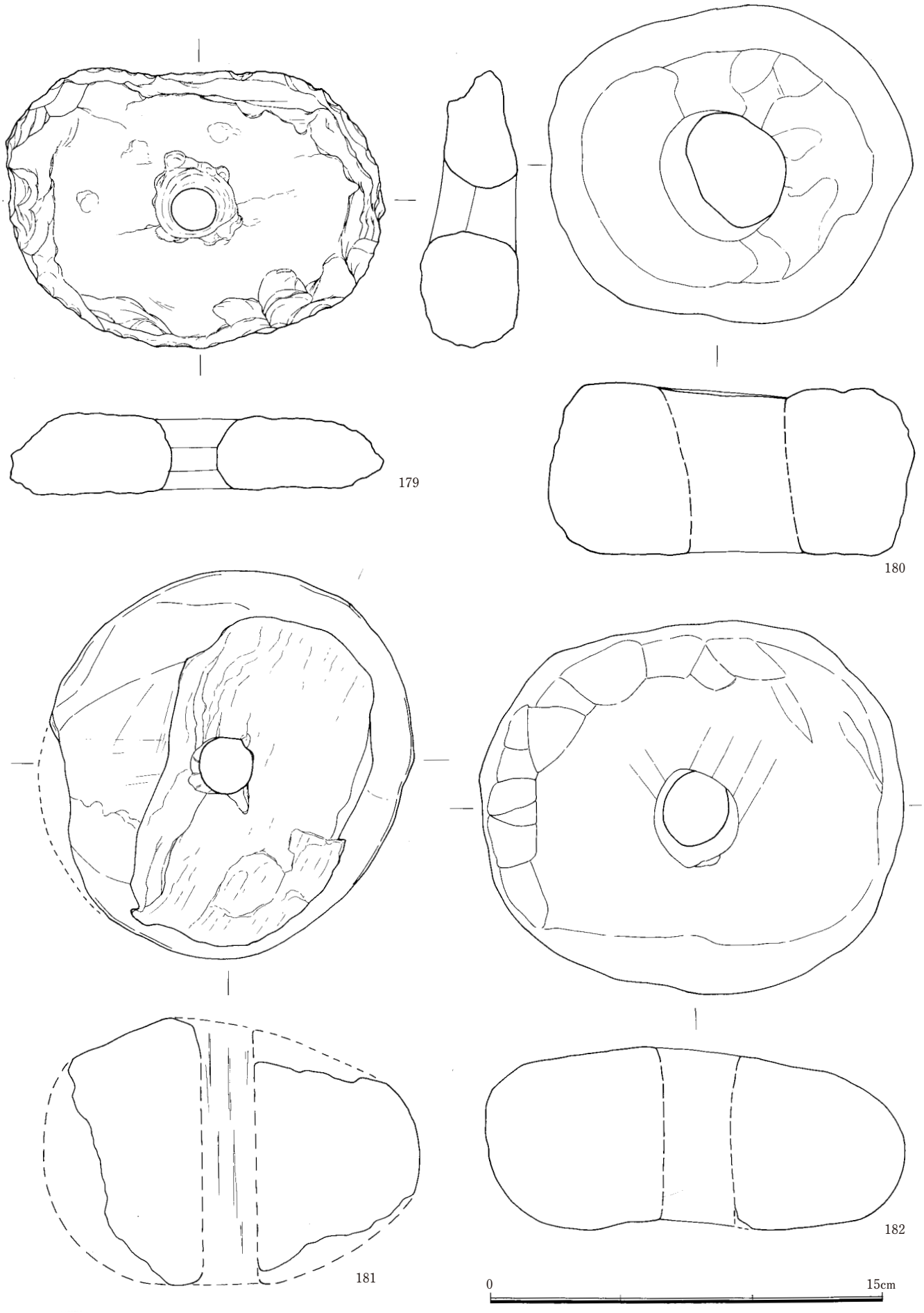

**第 135 図**　包含層出土石器実測図（4）[ 1/ 2]



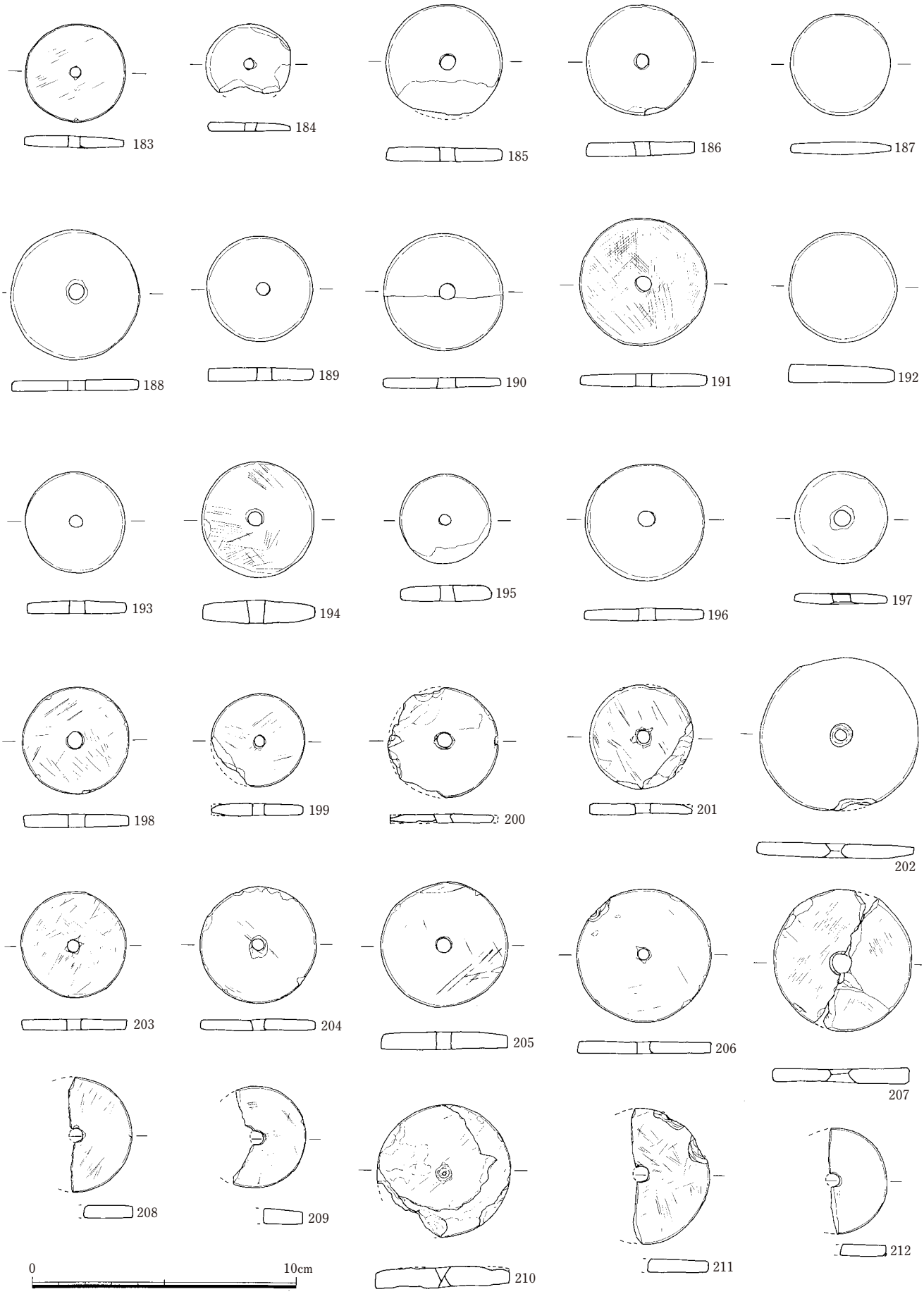

**第 136 図**　包含層出土石器実測図（5）[ 1/ 2]



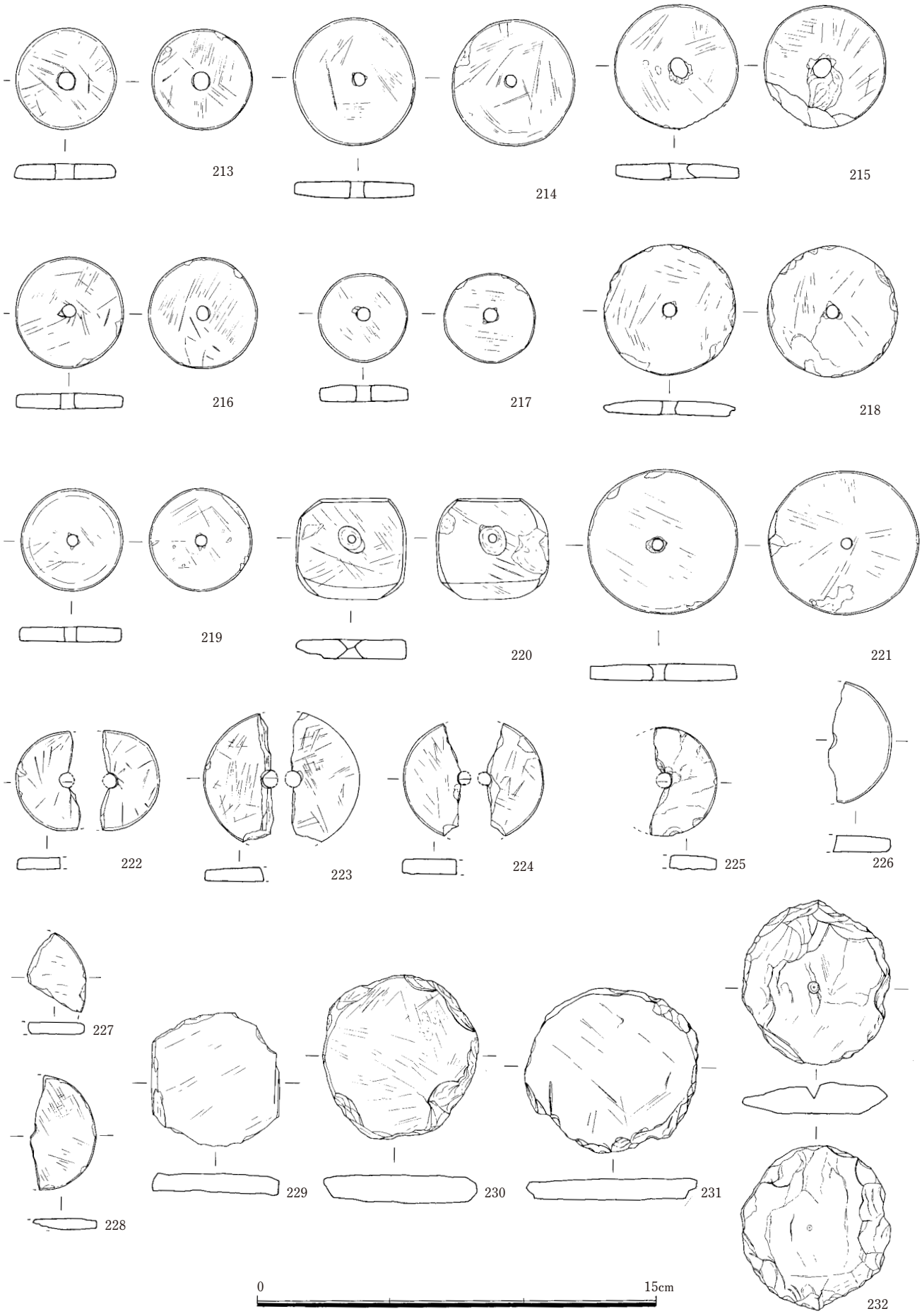

**第 137 図**　包含層出土石器実測図（6）[ 1/ 2]




**第 138 図**　包含層出土石器実測図（7）[ 1/ 2]




**第 139 図**　包含層出土石器実測図（8）[ 1/ 2]




**第 140 図**　包含層出土石器実測図（9）[ 1/ 2]

**表 71**　包含層出土石器観察表（3）

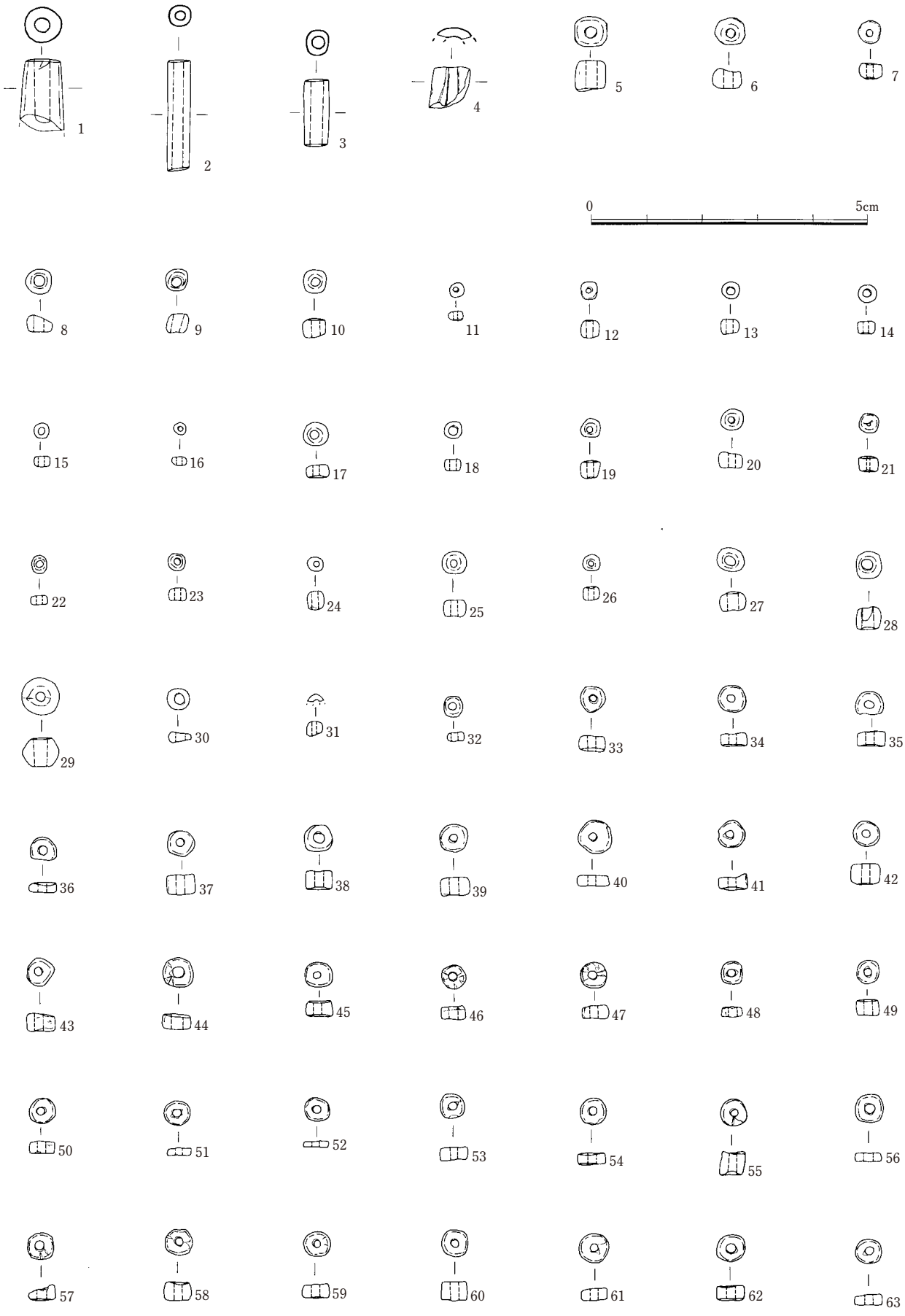
| 図 | No. | 出土地点 | | | 種類 | 法量 (cm, g) | | | | | 材質 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 孔径 | 重量 | | | |
| 139 | 183 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 3.8 | 3.2 | 0.45 | 0.45 | | 滑石 | 若干の緑味をおびた白色 | 完形、表面に擦痕あり |
| 139 | 184 | SD-2 | | X-4 | 紡錘車 | 3.15 | 2.4 | 0.35 | 0.4 | 5.1 | 片岩 | | 1/4 欠損、表面には削り痕 ( 細かい線刻)、裏面委には研磨 |
| 139 | 185 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 4.2 | 4.15 | 0.55 | 0.55 | 18.2 | 滑石 | | 表面の 1/3 が剥離 |
| 139 | 186 | SD-2 | | W-5 | 紡錘車 | 4.15 | 4.1 | 0.55 | 0.5 | 17.0 | 片岩？ | | 一部が剥離、全体に研磨が施されているが風化磨滅がみられる |
| 139 | 187 | SD-2 | | Y-3 | 紡錘車 | 3.8 | 3.8 | 0.5 | — | 11.8 | | | 未製品、穿孔なし、全体に研磨 |
| 139 | 188 | SD-2 | | Y-3 | 紡錘車 | 4.9 | 4.9 | o.4 | 0.65 | 18.7 | 滑石 | | ほぼ完形、全体に研磨を施す |
| 139 | 189 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 4.0 | 3.95 | 0.5 | 0.55 | 16.6 | 滑石 | | 完形品、両面ともに研磨を施す |
| 139 | 190 | SD-2 | | X-6 | 紡錘車 | 4.5 | 4.45 | 0.4 | 0.65 | 14.7 | 滑石 | | 完形品 |
| 139 | 191 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 4.8 | 4.8 | 0.5 | 0.6 | 23.2 | 片岩？ | | 完形品、両面ともに細かい削り痕がみられる |
| 139 | 192 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 4.05 | 4.1 | 0.7 | — | 23.0 | 片岩？ | | 未製品、穿孔なし、全体に研磨 |
| 139 | 193 | SD-2 | | Y-3 | 紡錘車 | 3.75 | 3.8 | 0.5 | 0.6 | 13.6 | 滑石 | | 完形品、磨滅は若干みられるものの丁寧に研磨を施す |
| 139 | 194 | SD-2 | | X-4 | 紡錘車 | 4.4 | 4.3 | 0.85 | 0.5 | 25.7 | 滑石 | | 完形品、両面ともに細かい削り痕 |
| 139 | 195 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 3.4 | 3.5 | 0.6 | 0.5 | 13.2 | 滑石 | | 1/6 表面が剥離、全体に研磨、側面は削り痕 |
| 139 | 196 | SD-2 | | Z-3 | 紡錘車 | 4.4 | 4.5 | 0.5 | 0.75 | 17.8 | 滑石？ | | 完形品、表面に風化磨滅がみられる |
| 139 | 197 | SD-2 | | X-6 | 紡錘車 | 3.4 | 3.5 | 0.4 | 0.55 | 8.5 | 滑石 | | 完形品、全体に磨滅 |
| 139 | 198 | SD-2 | | Z-3 | 紡錘車 | 4.0 | 4.0 | 0.5 | 0.6 | 16.9 | | 灰色～灰オリーブ色 | 完形品、表面に擦痕、条痕あり |
| 139 | 199 | SD-2 | | Y-3 | 紡錘車 | 3.5 | 3.5 | 0.45 | 0.45 | 10.4 | | 灰色～灰オリーブ色 | 1/4 欠損、わずかな擦痕、キズ多し |
| 139 | 200 | SD-2 | | Y-3 | 紡錘車 | 4.1 | 4.2 | 0.35 | 0.5 | 9.3 | | 灰色 | 1/2 程周縁が欠ける、側面若干の研磨 |
| 139 | 201 | SD-2 | | Y-2 | 紡錘車 | 3.9 | 3.9 | 0.4 | 0.55 | 12.7 | | 黄灰色 | 両面とも若干欠ける、擦痕あり |
| 139 | 202 | SD-2 | | W-3 | 紡錘車 | 3.8 | 4.0 | 0.55 | 0.4 | 36.8 | 砂岩 | | ほぼ完形、丁寧な研磨を施しているが磨滅もみられる |
| 139 | 203 | SD-2 | | X-3 | 紡錘車 | 4.0 | 4.0 | 0.45 | 0.5 | 14.9 | | 灰色～灰オリーブ色 | 完形品、両面に擦痕あり |
| 139 | 204 | SD-2 | | Y-4 | 紡錘車 | 4.4 | 4.4 | 0.4 | 0.4 | 14.6 | | にぶい黄橙色 | ほぼ完形品、若干縁辺が欠ける、両面に僅かに擦痕あり |
| 139 | 205 | SD-2 | | Z-2 | 紡錘車 | 4.7 | 4.8 | 0.7 | 0.55 | 25.2 | | 明オリーブ灰色 | 完形品、表面部分に擦痕あり |
| 139 | 206 | SD-2 | | Z-2 | 紡錘車 | 5.0 | 5.0 | 0.45 | 0.4 | 2.9 | | 緑灰色 | 完形品、表面に僅かに擦痕 |
| 139 | 207 | SD-2 | | W-5 | 紡錘車 | 5.3 | 5.2 | 0.65 | 0.65 | 23.7 | 粘板岩？ | にぶい黄橙色 | 擦痕、使用痕あり |
| 139 | 208 | SD-2 | | X-4 | 紡錘車 | 4.3 | 2.4 | 0.5 | 約 0.5 | 10.0 | | 灰色～灰黄色 | 1/2 欠損、若干の調整痕あり |
| 139 | 209 | SD-2 | | W-4 | 紡錘車 | 3.8 | 2.7 | 0.6 | 約 0.5 | 9.6 | | 灰色、裏は褐色 | 1/3 欠損、擦痕・条痕あり |
| 139 | 210 | SD-2 | | X-3 | 紡錘車 | 5.0 | 5.0 | 0.7 | 0.2 | 29.7 | | 明青色 | 剥離多い |
| 139 | 211 | SD-2 | | X-4 | 紡錘車 | 5.0 | 3.0 | 0.5 | 約 0.6 | 13.0 | | 暗青灰色 | 1/2 欠損、表面に条痕多い |
| 139 | 212 | SD-2 | | Y-3 | 紡錘車 | 4.0 | 2.1 | 0.4 | 約 0.5 | 7.5 | | オリーブ灰色 | 1/2 欠損、両面にわずかな擦痕あり |
| 140 | 213 | SD-2 | | Y-3 | 紡錘車 | 3.8 | 3.8 | 0.6 | 0.7 | 17.5 | | 黄灰色 | 完形品、両面に擦痕あり |
| 140 | 214 | SD-2 | | Y-2 | 紡錘車 | 4.7 | 4.5 | 0.6 | 0.5 | 25.6 | | 表：淡黄色<br>裏：灰色 | ほぼ完形、両面ともに使用の擦痕ある |
| 140 | 215 | SD-2 | | Y-1 | 紡錘車 | 4.6 | 4.6 | 0.6 | 0.6 | 20.0 | | オリーブ灰色 | 少し欠損、両面ともに使用の擦痕ある |
| 140 | 216 | SD-2 | | Z-2 | 紡錘車 | 4.1 | 4.0 | 0.55 | 0.5 | 19.1 | | 灰色 | 完形品、両面ともに使用の擦痕ある |
| 140 | 217 | SD-2 | | Y・Z-1 | 紡錘車 | 3.3 | 3.3 | 0.6 | 0.55 | 13.1 | | にぶい黄橙色 | 完形品、 |
| 140 | 218 | SD-2 | | Y-4 | 紡錘車 | 4.9 | 4.9 | 0.6 | 0.5 | 25.9 | | 灰白色～明緑灰色 | 完形品、両面ともに使用の擦痕ある |
| 140 | 219 | SD-2 | | Z-3 | 紡錘車 | 3.8 | 3.8 | 0.55 | 0.45 | 17.7 | | にぶい黄橙色 | 完形品、両面ともに使用の擦痕ある |
| 140 | 220 | SD-2 | | X-4 | 紡錘車 | 3.8 | 4.1 | 0.7 | 0.35 | 21.1 | | 黄灰色～灰色 | 完形品、転用品、石庖丁の背部と刃部がのこっている、両面ともに研磨、使用痕あり |
| 140 | 221 | SD-2 | | Z-3 | 紡錘車 | 5.4 | 5.5 | 0.65 | 0.4 | 38.7 | | 灰白色～褐色 | 完形品 |
| 140 | 222 | SD-2 | | Z-2 | 紡錘車 | 5.7 | 1.6 | 0.45 | 0.55 | 7.3 | | 灰白色 | 1/2 欠損、両面ともに研磨、使用痕あり |
| 140 | 223 | SD-2 | | X-6 | 紡錘車 | 4.8 | 2.2 | 0.55 | 0.65 | 10.1 | | 灰色 | 1/2 欠損、両面ともに研磨、使用痕あり |
| 140 | 224 | SD-2 | | Y・Z-2 | 紡錘車 | 4.1 | 2.1 | 0.55 | — | 10.0 | | 灰白色～浅黄橙色～灰色 | 1/2 欠損 |
| 140 | 225 | SD-2 | | X-4 | 紡錘車 | 4.0 | 2.5 | 0.5 | — | 9.6 | | 灰色、裏は褐色 | 1/2 欠損、両面ともに研磨、使用痕あり |
| 140 | 226 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 4.6 | 2.3 | 0.6 | — | 10.6 | | | 1/2 欠損、細かい削り痕ある |
| 140 | 227 | SD-2 | | W-4 | 紡錘車 | 3.0 | 2.2 | 0.5 | — | 5.1 | | 淡黄色 | 1/4 残存 |
| 140 | 228 | SD-2 | | W-3 | 紡錘車 | 4.3 | 2.5 | 0.4 | — | 6.5 | | 灰黄褐色 | 1/2 欠損、両面ともに擦痕あり |
| 140 | 229 | SD-2 | | Y-2 | 紡錘車 | 5.0 | 4.7 | 0.7 | — | 28.5 | | 灰色 | 紡錘車の未製品？側面は研磨、両面に剥離あり |
| 140 | 230 | SD-2 | | Y-3 | 紡錘車 | 6.2 | 5.8 | 1.0 | — | 60.7 | | 灰白色 | 紡錘車の未製品？ |
| 140 | 231 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 6.2 | 6.5 | 0.75 | — | 53.2 | 滑石 | 灰白色～にぶい黄橙色 | 紡錘車の未製品？ |
| 140 | 232 | SD-2 | | X-5 | 紡錘車 | 6.1 | 5.5 | 1.2 | — | 56.9 | | 灰白色 | 紡錘車の未製品？両面にそれぞれ径 0.4cm、径 0.2cm の孔があり貫通はしていない |

## 14 玉類（第 141・142 図、巻頭図版３）

Ⅱ区で検出された玉類は、管玉５点、ガラス小玉 27 点、水晶玉１点、臼玉 44 点の計 77 点にのぼる。管玉１・３・４は碧玉製と推定される。管玉２･77 は軟質の緑泥変岩を使用している。管玉 77 は、甕棺墓にともなうもので、土器群 103 の項目で説明した。

ガラス小玉は青紺色と淡青色の二種が多くを占め、ガラス小玉 30 の１点が表面の腐食により色調が定かでない。保存科学的な調査を行なっていないが市域の調査例によるとカリガラスとされるものが多い。これらは出土土器群および流路内の調査において目視で確認されたもので､排土の洗浄によって検出されたものはない。水晶玉 29 は、顕微鏡写真によると螺旋状の穿孔具の痕跡が明瞭である。

臼玉は流路の西側の平坦面で検出されたもので、多くはＵＶ－６区以北の地区に集中していた。ここではⅠ型式新段階の須恵器の分布が密であることから古墳時代の包含層に混入したものと考えられる。土砂をサンプリングし洗浄を行った結果、ＵＶ－７区以北では 200 点以上の臼玉が確認された。



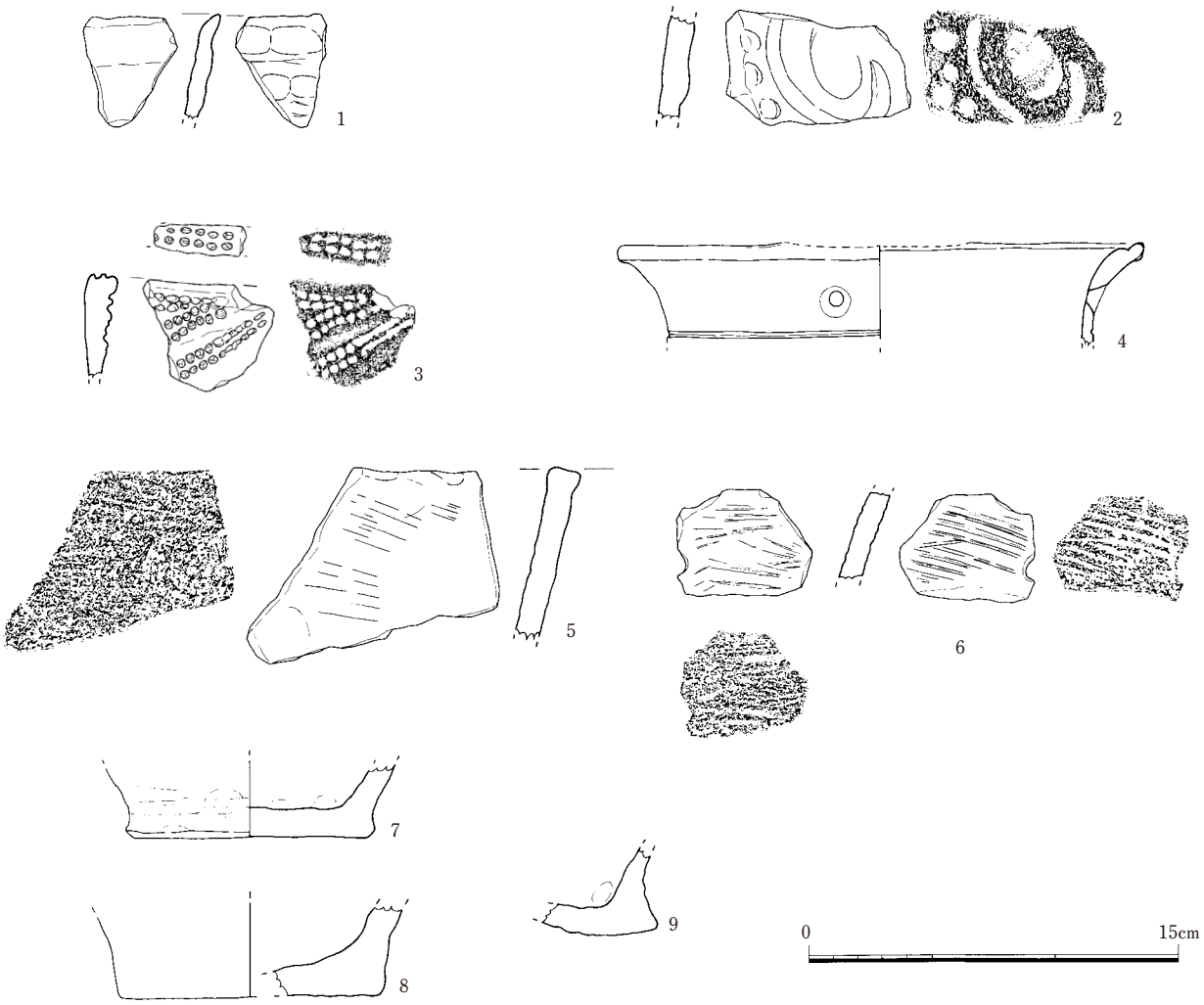

**第 141 図**　元岡･桑原遺跡群　第 42 次調査Ⅱ区出土玉類実測図（1）[ 実大 ]

**第 142 図**　元岡･桑原遺跡群　第 42 次調査Ⅱ区出土玉類実測図（2）[ 実大 ]

**表 72**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次調査Ⅱ区出土玉類観察表

| 図 | No. | 出土地点 | | | 種類 | 法量（cm, g） | | | | | 材質 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 区 | 土器群 | 位置 | | 全長 | 幅 | 厚み | 孔径 | 重量 | | | |
| 141 | 1 | Ⅱ | 106 | X-4 | 管玉 | 1.28 | — | 0.78 | 0.3 | 1.1 | 碧玉 | 青緑色 | 一部欠損 |
| 141 | 2 | Ⅱ | | Z-2 | 管玉 | 2.02 | 0.45 | 0.44 | 0.2 | 0.6 | 緑泥変岩 | 暗緑灰色 | 完形品 |
| 141 | 3 | Ⅱ | | X-5 | 管玉 | 1.22 | 0.43 | 0.46 | 0.2 | 0.4 | 碧玉 | 青緑色 | 完形品 |
| 141 | 4 | Ⅱ | | Y-4 | 管玉 | 0.71 | — | 0.65 | — | | 碧玉 | 青緑色 | 半欠 |
| 141 | 5 | Ⅱ | 112 | W-5 | 小玉 | 0.55 | 0.59 | 0.51 | 0.25 | | ガラス | 淡青色 | 透明感があまりない |
| 141 | 6 | Ⅱ | 136 | | 小玉 | 0.34 | 0.55 | 0.5 | 0.15 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 7 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小玉 | 0.27 | 0.41 | 0.4 | 0.1 | | ガラス | 淡青色 | 風化のため半ば白色・黒色を呈する |
| 141 | 8 | Ⅱ | 136 | | 小玉 | 0.3 | 0.48 | 0.48 | 0.2 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 9 | Ⅱ | 106 | X-3 | 小玉 | 0.34 | 0.39 | 0.4 | 0.2 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 10 | Ⅱ | 136 | | 小玉 | 0.34 | 0.42 | 0.42 | 0.15 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 11 | Ⅱ | 136 | Y-2 | 小玉 | 0.16 | 0.25 | 0.25 | 0.1 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 12 | Ⅱ | 136 | | 小玉 | 0.31 | 0.27 | 0.36 | 0.1 | | ガラス | 青紺色 | |
| 141 | 13 | Ⅱ | | X-4 | 小玉 | 0.25 | 0.31 | 0.31 | 0.15 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 14 | Ⅱ | | X-4 | 小玉 | 0.23 | 0.35 | 0.35 | 0.15 | | ガラス | 青紺色 | |
| 141 | 15 | Ⅱ | | X-5 | 小玉 | 0.2 | 0.28 | 0.3 | 0.1 | | ガラス | 淡青色 | 風化により白ぼくなっている |
| 141 | 16 | Ⅱ | | X-5 | 小玉 | 0.2 | 0.2 | 0.24 | 0.1 | | ガラス | 青紺色 | |
| 141 | 17 | Ⅱ | | X-6 | 小玉 | 0.25 | 0.45 | 0.44 | 0.15 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 18 | Ⅱ | | X-6 | 小玉 | 0.2 | 0.33 | 0.33 | 0.15 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 19 | Ⅱ | | X-6 | 小玉 | 0.31 | 0.37 | 0.35 | 0.1 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 20 | Ⅱ | | Y-3 | 小玉 | 0.28 | 0.42 | 0.41 | 0.1 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 21 | Ⅱ | | Y-3 | 小玉 | 0.24 | 0.38 | 0.38 | 0.5㎜ | | ガラス | 淡青色 | 非常に小さな孔径 |
| 141 | 22 | Ⅱ | | Y-3 | 小玉 | 0.14 | 0.28 | 0.32 | 0.1 | | ガラス | 青紺色 | |
| 141 | 23 | Ⅱ | | Y-3 | 小玉 | 0.23 | 0.3 | 0.31 | 0.1 | | ガラス | 青紺色 | |
| 141 | 24 | Ⅱ | | Y-4 | 小玉 | 0.34 | 0.3 | 0.3 | 0.1 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 25 | Ⅱ | | Z-1 | 小玉 | 0.43 | 0.41 | 0.3 | 0.1 | | ガラス | 青紺色 | 僅かに風化ぎみ |
| 141 | 26 | Ⅱ | | Z-1 | 小玉 | 0.3 | 0.3 | 0.24 | 0.1 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 27 | Ⅱ | | Z-2 | 小玉 | 0.35 | 0.5 | 0.45 | 0.2 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 28 | Ⅱ | | Z-2 | 小玉 | 0.43 | 0.44 | 0.5 | 0.25 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 29 | Ⅱ | | Y・Z-2 | 小玉 | 0.5 | 0.65 | 0.66 | 0.15 | | 水晶 | 透明 | 穿孔時のドリルの痕が明瞭 |
| 141 | 30 | Ⅱ | | X-4 | 小玉 | 0.2 | 0.4 | 0.4 | 0.2 | | ガラス | 濁緑色 | かなり風化がすすむ |
| 141 | 31 | Ⅱ | | X-3 | 小玉 | 0.26 | — | 0.28 | 0.1 | | ガラス | 淡青色 | 半欠 |
| 141 | 32 | Ⅱ | | Y-3 | 小玉 | 0.2 | 0.37 | 0.37 | 0.2 | | ガラス | 淡青色 | |
| 141 | 33 | Ⅱ | | Y-3 | 臼玉 | 0.25 | 0.48 | 0.48 | 0.15 | | 滑石 | 灰色 | 部分的に黒色を呈する |
| 141 | 34 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.23 | 0.48 | 0.52 | 0.15 | | 滑石 | 褐色気味の灰色 | |
| 141 | 35 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.25 | 0.5 | 0.44 | 0.15 | | 滑石 | 褐色気味の灰色 | |
| 141 | 36 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.15 | 0.5 | 0.44 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 37 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.33 | 0.51 | 0.49 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 38 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.32 | 0.39 | 0.48 | 0.2 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 39 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.32 | 0.52 | 0.55 | 0.15 | | 滑石 | やや褐色気味の灰色 | |
| 141 | 40 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.2 | 0.58 | 0.57 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 41 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.23 | 0.47 | 0.48 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 42 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.34 | 0.5 | 0.5 | 0.15 | | 滑石 | やや薄い褐色 | |
| 141 | 43 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.32 | 0.51 | 0.53 | 0.15 | | 滑石 | やや褐色気味の灰色 | |
| 141 | 44 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.25 | 0.54 | 0.54 | 0.25 | | 滑石 | 灰色 | |
| 141 | 45 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.3 | 0.5 | 0.48 | 0.16 | | 滑石 | やや青みがかった灰色 | |
| 141 | 46 | Ⅱ | 115 | Y-3 | 臼玉 | 0.23 | 0.44 | 0.44 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 47 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.23 | 0.5 | 0.48 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 48 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.18 | 0.37 | 0.41 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 49 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.27 | 0.4 | 0.44 | 0.15 | | 滑石 | やや褐色気味の灰色 | |
| 141 | 50 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.2 | 0.48 | 0.48 | 0.15 | | 滑石 | やや褐色気味の灰色 | |
| 141 | 51 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.13 | 0.43 | 0.46 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 52 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.11 | 0.43 | 0.45 | 0.15 | | 滑石 | やや青みがかった灰色 | |
| 141 | 53 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.22 | 0.46 | 0.48 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 54 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.2 | 0.5 | 0.5 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 55 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.42 | 0.47 | 0.5 | 0.12 | | 滑石 | やや褐色気味の灰白色 | |
| 141 | 56 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.18 | 0.48 | 0.5 | 0.2 | | 滑石 | やや褐色気味の灰白色 | |
| 141 | 57 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.25 | 0.46 | 0.5 | 0.2 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 58 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.34 | 0.5 | 0.48 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 59 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.27 | 0.48 | 0.48 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 60 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.34 | 0.47 | 0.5 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 61 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.2 | 0.5 | 0.55 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 62 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.27 | 0.5 | 0.5 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 141 | 63 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.2 | 0.5 | 0.43 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 64 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.3 | 0.58 | 0.55 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 65 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.25 | 0.5 | 0.48 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 66 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.2 | 0.5 | 0.5 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 67 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.2 | 0.51 | 0.47 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 68 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.23 | 0.45 | 0.47 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 69 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.17 | 0.49 | 0.49 | 0.2 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 70 | Ⅱ | 115 | Y-2 | 臼玉 | 0.25 | 0.5 | 0.44 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 71 | Ⅱ | | X-5 | 臼玉 | 0.23 | 0.4 | 0.45 | 0.2 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 72 | Ⅱ | | X-5 | 臼玉 | 0.22 | 0.48 | 0.42 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 73 | Ⅱ | | X-5 | 臼玉 | 0.24 | 0.59 | 0.53 | 0.2 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 74 | Ⅱ | | X-5 | 臼玉 | 0.2 | 0.53 | 0.47 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 75 | Ⅱ | | X-5 | 臼玉 | 0.26 | 0.53 | 0.51 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 142 | 76 | Ⅱ | | X-5 | 臼玉 | 0.2 | 0.45 | 0.5 | 0.15 | | 滑石 | 灰白色 | |
| 27 | 77 | Ⅱ | 113 | K-02 | 管玉 | 1.7 | 0.59 | 0.59 | 0.25 | 1.0 | 緑泥変岩 | 暗緑灰色 | 完形品 |

## 15　縄文時代の遺物




**第 143 図**　元岡･桑原遺跡群　第 42 次調査Ⅱ区出土縄文土器実測図 [ 1/ 3]

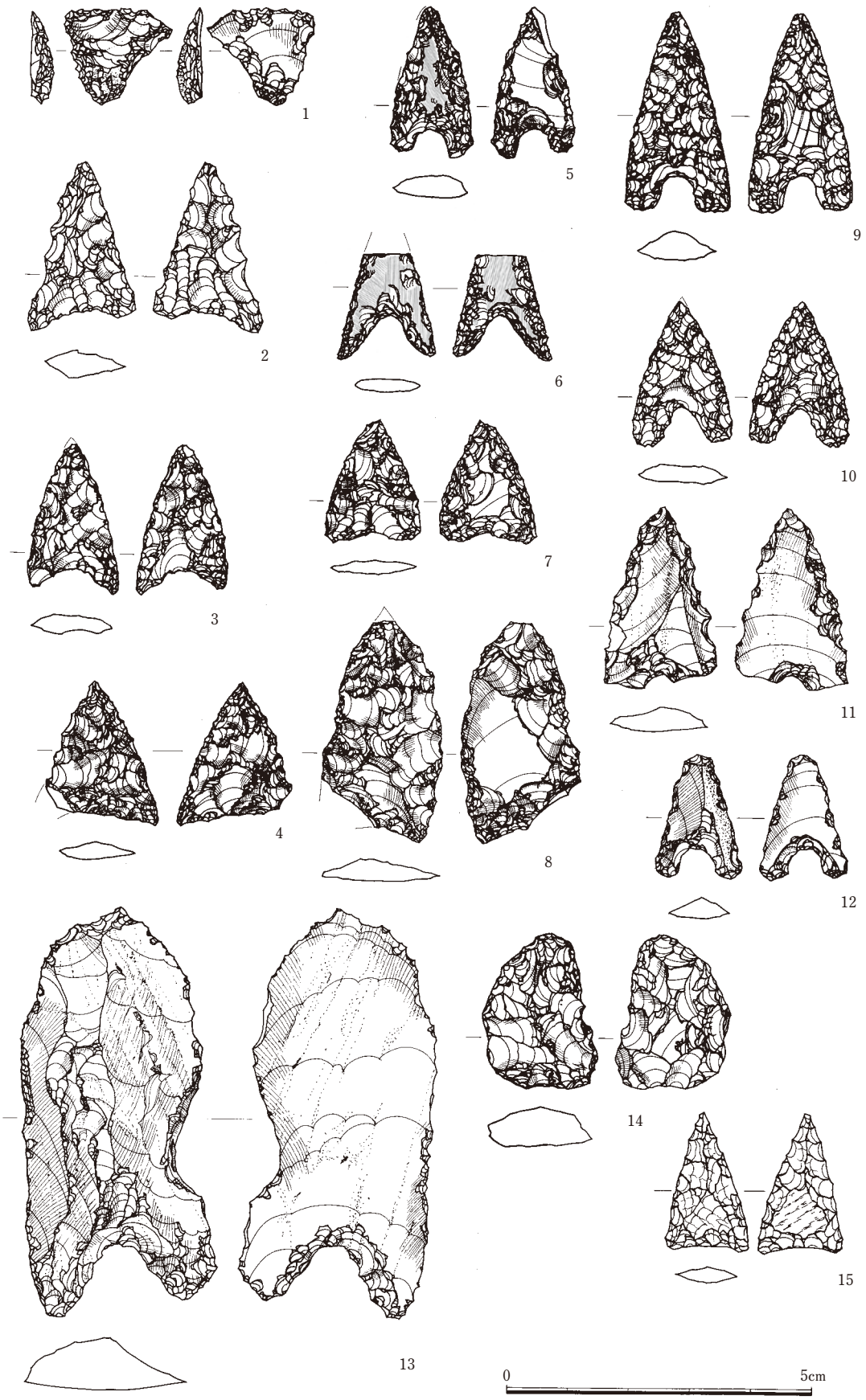
**表 73**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次調査Ⅱ区出土縄文土器観察表

| 図 | No. | 器形 | 器高 | 口径 | 底径 | 調整 外面 | 調整 内面 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 備考 | 出土地点 区 | 出土地点 土器群 | 出土地点 位置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 143 | 1 | 深鉢 | | | | 指圧痕 | ナデ | 茶色をおびた灰色 | 滑石粒多い | 普通 | 器壁は薄い。図の口縁部は疑似口縁か。外面には横方向に指でなでつけたような浅い凹線を施し、凹部間は突線状を呈す。 | Ⅱ | 109 | |
| 143 | 2 | 深鉢 | | | | ナデ　凹線紋 | ナデ | 灰茶褐色 | 4㎜以下滑石粒多い | 普通 | 胴部破片 阿高式の胴部片で滑石を多く含む。凹線による渦文を施す。 | Ⅱ | | Y-4 |
| 143 | 3 | 深鉢 | | | | ナデ　刺突文 | ナデ | 外面：暗褐色<br>内面：淡灰黄褐色 | 4㎜以下の滑石粒多く含む | 普通 | 並木式の口縁部で波状になる可能性がある。ナデ調整の後、外面と口唇部に２列の連続刺突文を帯状に施す。文様間は浅い凹線状をなす。刺突は外面のものは上の列、口唇部は外側の列が深く、二股の同じ施文具を使用か。施文は外面、後円部直下、口唇部の面取､口唇部の順で成形､施文。 | Ⅱ | | Y-2 |
| 143 | 4 | 浅鉢 | | 21.2 | | 荒れ　研磨か | 口縁端部 擦痕<br>他は荒れ　研磨か | 外面：淡い灰褐色<br>内面：灰茶色 | 2㎜以下の石英・長石粒・滑石粒・角閃石・雲母。多く含む | 普通 | 広田式の浅鉢。口縁部は短く立ち上がり、内面はシャープな段を成す。口縁部には山形部を有すか。焼成後に内外両面からの穿孔１つ。1/8 から復元。 | Ⅱ | | |
| 143 | 5 | 深鉢 | | | | 口縁部は指圧痕、他は横方向の擦痕 | 横方向の条痕<br>ナデ仕上げ | やや赤みをおびた灰褐色 | 3㎜以下の滑石粒多い | 良好 | 口唇部は指押さえにより面取し、わずかに波打つ。 | Ⅱ | 136 | Y-2 |
| 143 | 6 | 胴部破片 | | | | 斜めの条痕 | 横方向の条痕 | 暗茶褐色 | 2㎜以下の石英・長石粒 | 普通 | 粗製深鉢胴部片。器面に 1.2㎜大の気泡、圧痕が多くみられる。１㎜大の砂粒を含むが胎土は細かい。後晩期。 | Ⅱ | | |
| 143 | 7 | 底部 | | | 10.0 | 全体にあれ<br>横方向のナデ | ナデ | 暗灰褐色 | ２㎜大までの砂粒多い<br>6㎜大まで含む | 良好 | 深鉢の底部で若干台形状に張り出す。1/4 強からの復元。内面胴部は焦げ様の暗褐色部がある。種子状の圧痕もみられる。 | Ⅱ | | Z-2 |
| 143 | 8 | 底部 | | | 10.4 | 横方向のナデ | ナデか | 外側：灰白色～浅黄橙色<br>内側：浅黄色 | ２㎜大までの砂粒多い<br>6㎜大も含む<br>白色粒・黒色粒・雲母 | 良 | 深鉢の底部。若干台形状に張り出す。1/4 強からの復元。胎土には２㎜大までの砂粒を多く含み 5.6㎜大もみられる。内外面とも暗灰褐色を呈し、内面胴部は焦げ様の暗褐色部がある。種子状の圧痕あり。 | Ⅱ | | X-5 |
| 143 | 9 | 底部 | | | | ナデか | ナデか | 灰橙色<br>一部灰褐色 | 3㎜以下の滑石粒・黒色粒・雲母 | 普通 | 深鉢の底部片で外に大きく張出し、底面は不安定。内面・底面に指圧痕。 | Ⅱ | 136 | Y-3 |

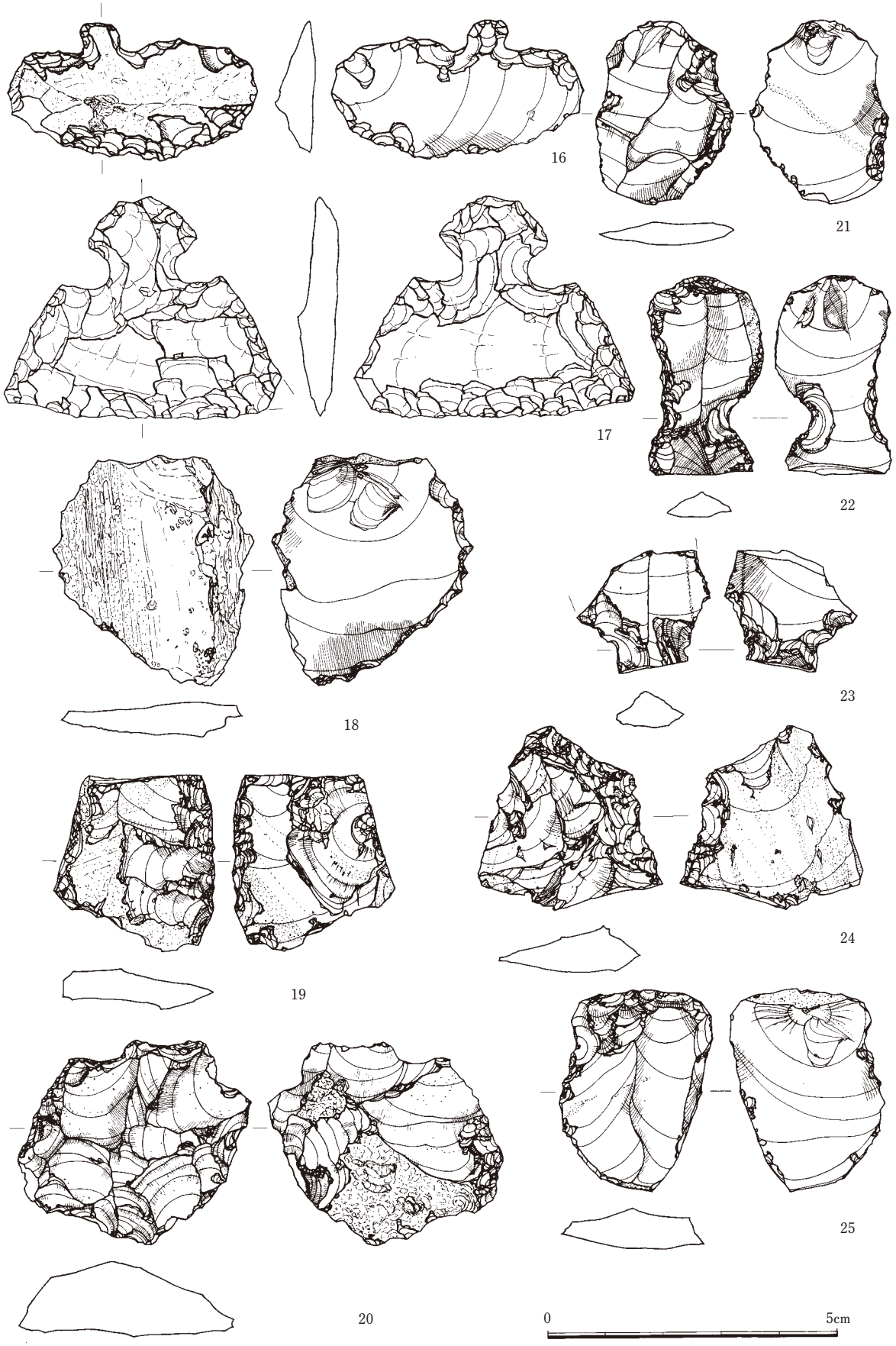
## 16 剥片石器（第 144 ～ 146 図）

**表 74**　元岡桑原遺跡群第 42 次調査出土剥片石器計測表

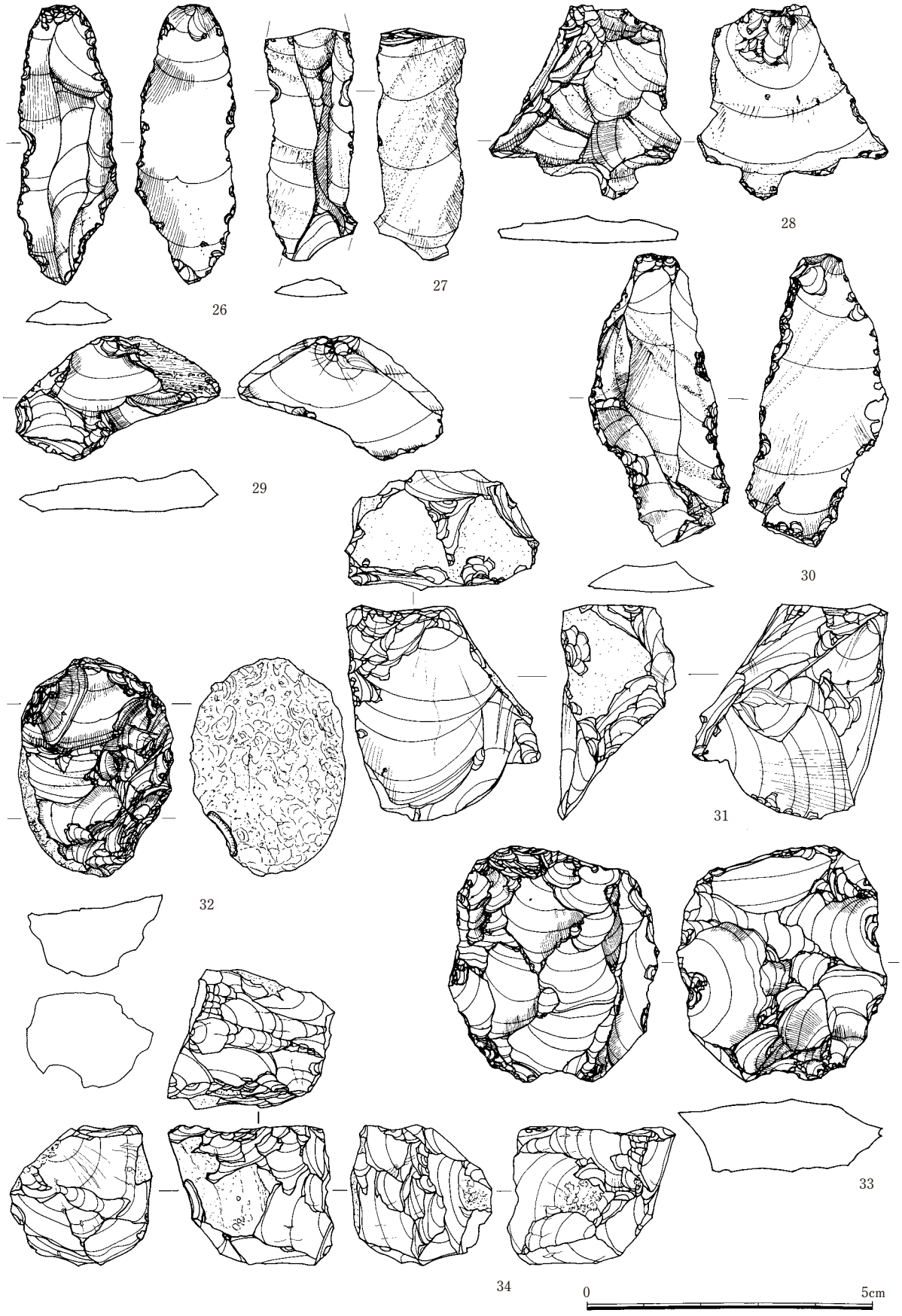
| 図 | No. | 種類 | 器種 | 残存状態 | 法量 | | | | 石材 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 長さ (cm) | 幅 (cm) | 厚さ (cm) | 重量 (g) | | |
| 144 | 1 | 剥片石器 | 台形石器 | 完形 | 1.6 | 1.7 | 0.4 | 0.89 | 黒曜石 | 旧石器時代ナイフ形石器文化期 |
| 144 | 2 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 完形 | 2.6 | 1.8 | 0.5 | (1.14) | 黒曜石 | 凹基無茎鏃 |
| 144 | 3 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 先端欠損 | (2.6) | 1.5 | 0.4 | 2.08 | 黒曜石<br>(黒色) | 表裏面とも素材面がわずかに残る<br>凹基無茎鏃 |
| 144 | 4 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 片脚欠損 | (2.3) | 1.8+ α | 0.3 | (1.37) | 黒曜石 | 凹基無茎鏃 |
| 144 | 5 | 剥片石器 | 局部磨製石鏃 | 先端部欠損 | 2.5+ α | 1.4 | 0.4 | (0.50) | 黒曜石<br>(漆黒) | 表面中央に研磨痕<br>裏側には素材剥離面が残る<br>凹基無茎鏃 |
| 144 | 6 | 剥片石器 | 局部磨製石鏃 | 先端部欠損 | 1.7+ α | 1.6 | 0.2 | (1.11) | 黒曜石 | 表裏面とも中央部から脚部にかけて研磨が施されている<br>凹基無茎鏃 |
| 144 | 7 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 完形 | 2.0 | 1.6 | 0.2 | 0.95 | 黒曜石 | 裏面に素材剥離面が残る<br>凹基無茎鏃 |
| 144 | 8 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 先端部・片脚欠損 | 3.6+ α | 2+ α | 0.4 | 2.61 | 黒曜石 | 裏面に素材剥離面が残る<br>凹基無茎鏃 |
| 144 | 9 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 完形 | 3.3 | 1.7 | 0.5 | 2.08 | 黒曜石<br>(黒色) | 裏面中央に素材面が残る<br>凹基無茎鏃 |
| 144 | 10 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 先端欠損 | (2.4) | 1.7 | 0.3 | (0.98) | 黒曜石 | 凹基無茎鏃 |
| 144 | 11 | 剥片石器 | 剥片鏃 | 脚欠損 | 3.0+ α | (1.9) | 0.4 | (2.09) | 腰岳産<br>黒曜石 | 縦長剥片を素材とする<br>表面に素材剥離面が裏面には主要剥離面が残る |
| 144 | 12 | 剥片石器 | 剥片鏃 | 完形 | 2.0 | 1.4 | 0.4 | 0.77 | 腰岳産<br>黒曜石 | 表面に自然面と素材剥離面が残る<br>裏面には主要剥離面が残る |
| 144 | 13 | 剥片石器 | 剥片鏃 | 完形 | 6.7 | 3.1 | 0.9 | 14.49 | 腰岳産<br>黒曜石 | 表面に素材剥離面を裏面には主要剥離面を大きく残す |
| 144 | 14 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 完形<br>ガジリ有り | 2.5 | 1.9 | 0.7 | 3.45 | 淀姫産<br>黒曜石 | 裏面は素材の剥離面が残る<br>平基無茎鏃 |
| 144 | 15 | 剥片石器 | 打製石鏃 | 完形 | 2.3 | 1.4 | 0.3 | 0.20 | 黒曜石 | 裏面に素材面を残す |
| 145 | 16 | 剥片石器 | 石匙 | 完形<br>ガジリ有り | 2.4 | 4.3 | 0.9 | 6.45 | 黒曜石<br>(漆黒) | 表裏面とも左右両側縁に微細剥離が見られる<br>表面に素材表皮が残る<br>裏面に主要剥離面を残す |
| 145 | 17 | 剥片石器 | 石匙 | 先端部欠損<br>(片側) | 3.8 | (4.8) | 0.8 | (10.48) | 古銅輝石<br>安山岩 | 素材剥片の左右両側縁に微細剥離が見られる<br>表面・裏面に素材剥離面が残る |
| 145 | 18 | 剥片石器 | 剥片石器 | 完形 | 4.0 | 3.5 | 0.8 | 8.71 | 腰岳産<br>黒曜石 | 表面には自然面が残り、裏面は主要剥離面が残る<br>縁辺に主要剥離面が二次加工を加えている |
| 145 | 19 | 剥片石器 | 削器<br>(スクレイパー) | 完形 | 3.1 | 2.8 | 0.7 | 4.36 | 腰岳産<br>黒曜石 | 表面に自然面が残る<br>縁辺に表裏から二次加工を加えている |
| 145 | 20 | 剥片石器 | 掻器<br>(スクレイパー) | 完形 | 3.5 | 4.0 | 1.3 | 7.96 | 黒曜石<br>(漆黒) | 残核の縁辺に二次加工を加えている<br>旧石器時代？ |
| 145 | 21 | 剥片石器 | 剥片石器 | 完形 | 3.2 | 2.4 | 0.4 | 3.24 | 黒曜石<br>(漆黒半透明) | 剥片の縁辺に二次加工が加えられている |
| 145 | 22 | 剥片石器 | 剥片鏃素材剥片 | ほぼ完形 | 3.4 | 2.0 | 0.7 | 4.36 | 腰岳産<br>黒曜石 | 剥片鏃製作のため折り取った後、縁辺に二次加工を加え刃器として使用か<br>縁辺の一部に微細剥離有り |
| 145 | 23 | 剥片石器 | 剥片鏃素材剥片 | 素材基部欠損 | 2.1+ α | 2.3+ α | (0.6) | 2.65+ α | 腰岳産<br>黒曜石 | 剥片鏃製作のため折り取った後破棄 |
| 145 | 24 | 石核石器 | 掻器 | 完形 | 3.2 | 3.2 | 0.8 | 6.00 | 黒曜石<br>(黒色気泡多い) | 右縁辺に裏から二次加工を加えている |
| 145 | 25 | 剥片石器 | 剥片石器 | 完形 | 3.5 | 2.7 | 0.9 | 7.56 | 黒曜石 | 表裏とも素材剥離面を残す |
| 146 | 26 | 剥片石器 | 刃器 | 完形 | 4.9 | 1.8 | 0.6 | 3.64 | 腰岳産<br>黒曜石 | 交互剥離の石核から剥出されている |
| 146 | 27 | 剥片石器 | 刃器 | 上下両端部欠損 | (4.0) | (1.6) | (0.4) | (2.47) | 黒曜石<br>(漆黒半透明) | 縁辺に刃こぼれあり |
| 146 | 28 | 剥片石器 | 剥片 | 完形 | 3.4 | 3.4 | 0.8 | 5.89 | 腰岳産<br>黒曜石 | 自然面が一部残る |
| 146 | 29 | 剥片石器 | 剥片 | ガジリ有り | 2.2 | 3.6 | 0.8 | 4.39 | 黒曜石<br>(漆黒) | 主要剥離面にバルブ及びバルバスカーが残る |
| 146 | 30 | 剥片石器 | 刃器 | 完形 | 5.1 | 2.5 | 0.9 | 7.20 | 腰岳産<br>黒曜石 | 交互剥離の石核から剥出されている<br>縁辺に二次加工あり |
| 146 | 31 | 石核石器 | 石核 | 完形 | 3.8 | 3.4 | 2.1 | 19.35 | 黒曜石 | |
| 146 | 32 | 石核石器 | 石核 | 完形 | 3.8 | 2.8 | 2.2 | 22.02 | 黒曜石 | 打面を変えて二箇所の作業面を作り出している<br>裏側は自然面 |
| 146 | 33 | 石核石器 | 石核 | ガジリ有り | 4.1 | 3.7 | 1.4 | 20.59 | 黒曜石 | |
| 146 | 34 | 石核石器 | 石核 | 完形 | 2.4 | 2.9 | 2.5 | 18.19 | 腰岳産<br>黒曜石 | |




**第 144 図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次調査Ⅱ区出土剥片石器実測図（1）[ 実大 ]




**第 145 図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次調査Ⅱ区出土剥片石器実測図（2）[ 実大 ]




**第 146 図**　元岡・桑原遺跡群　第 42 次調査Ⅱ区出土剥片石器実測図（3）[ 実大 ]

# Ⅱ　結　語

**検出遺構**

第 42 次調査区で検出された遺構は、調査区の東西の谷筋を流れる幅 20 ～ 30 ｍの２条の流路（ＳＤ０１・０２）と、両者にはさまれた中州部分に分布する掘立柱建物および竪穴住居跡である。南北約 80 ｍにわたって蛇行する流路は、自然の開析によって形成されたと推定され、護岸や井堰など人為的な遺構は確認されなかった。

流路内および流路の岸には土器群の集積が確認された。流路で検出された弥生中期後半から後期、さらに古墳時代前期にかけての膨大な土器は、この斜面に紀元前後から 3・4 世紀代にかけて消費が継続したことを意味している。

Ⅱ区の土器群という呼称には①集積となった土器の分布範囲を括ったものと②流路内で検出された土器の混在を防ぐ意図でグリッド単位に設けた両者が含まれている。①については該当する土器群がどのような過程を経て集積が形成されたのか見解を示すのは容易ではない。

流路の西側で検出された土器群 106 を例にとると、この土器群は約６ｍ四方の範囲で厚さが 30 ～ 40㎝ある土器の堆積層である。上層では弥生後期前半から終末にかけての在来の器種、以下に弥生中期後半の土器が堆積していた。出土した土器はコンテナ 600 箱をこす量で、下層の弥生中期後半の土器には有窓の甕形土器が 20 点以上含まれていた。流路の岸で検出された土器群 102 や 103・106 の土器はほとんどローリングを受けていない。

糸島半島の東岸で多量の土器が出土した調査としては小葎遺跡（大原Ｂ遺跡第１次調査）の調査が想起される。ここでは径約 11 ｍの円形住居跡において弥生中期後半から後期後葉にかけての土器や石錘が出土した。調査者は多量の土器を継続的に投棄されたと考えているが、出土状況から推測できるのはここまでである（福岡市 1997）。

42 次調査区の土器群 103 や 104、106、112、113 など流路の岸に集積された土器群をどのような行為の結果とみるべきか。土器群 106 の最下層では赤彩を施した鋸歯文を二重に回らして彫られた有文木製品が出土している。この木製品の用途のひとつとして大型の団扇のような貴人に差し掛ける一種の威儀具を想定している。また有窓の甕形土器は、対岸の土器群 103 でも検出されたが、ここでは破片が多くを占め、全形をとどめておらず土器群 106 の組成とは異なっている。現状では個々の土器群の成立を結論づけるまでに至っていないが、土器群によって器種の違いや石器類の構成の違いについても分析を行い、次報告までに所見を示したいと考えている。

**出土遺物**

42 次調査区の遺物として注目されるのは、木製品、金属器、動植物遺体、石器などの出土品に地域間交流を示す資料が少なからず含まれていたことである。特徴的なものでは「元岡桑原遺跡群 23」で報告した線刻絵画のある琴板や祭祀儀礼に用いられた木製品（常松 2009）、五銖銭や貨泉など漢代の貨幣９点、青銅製鞘尻金具、辰砂の粒子、小銅鐸２点、小形仿製鏡４点、イノシシの下顎骨の集積がある。また原の辻遺跡などで破片が出土していたが全体の形状が分からなかった土器が 60 年ぶりにヒョウタン形に復元できたのも貴重な成果である（常松 2013）。

本書では調査区西側の流路ＳＤ０２で出土した土器、土製品、石器、玉類について報告を行った。このなかで山陰や中国山地の塩町式などの外来系土器、後期無文土器や楽浪系土器は、北部九州と各地の併行関係を示す材料となった。

１．国内外の土器

土器群 106 の東寄りで検出された塩町式土器（38-268）は広島県北部の三次盆地の塩町遺跡を標識とする弥生時代中期の土器型式で、凹線文に櫛描文、円形浮文を加えた繁縟な装飾をもつ土器で知られている。小壷の胴部は中期後葉の須玖Ⅱ式土器にともなって出土した。これまで塩町式土器の西限は山口県内とされてきたが、今回の発見は分布域の西への広がりと、北部九州の土器型式との併行関係を示す点で重要である。

土器群 104 で出土した口縁部に擬凹線がめぐる甕形土器（31-208）は、出雲地方からの搬入品と考えられる。表面に煤、内面にはおこげの付着がみられる。こちらも須玖Ⅱ式土器にともなって出土した。このほか複合口縁壷（18-75）は、西部瀬戸内からの搬入と考えられる。出雲の特徴をもつ土器に低脚の坏（31-207）がある。肩部に全周しない刻み目を加えた壷（114-1239）も地域は特定できないが近畿方面などの外来系土器と推定される。このほか 87-883・104-1100・103-1093・20-112 や 114-1240 ～ 1250 なども広義の中国地方からの搬入土器である。

朝鮮半島の土器では、後期無文土器と楽浪系土器が確認された。粘土帯土器（742）は小型の甕で、口縁部をめぐる粘土帯の断面がそら豆状を呈していることから、勒島タイプに分類される。底部の縁にある放射状の刻目は、蓋を緊縛する際の機能を配慮したものかもしれない。もう１点の作風の異なる粘土帯土器（101-1070）は中期後半の弥生土器と共伴している。

楽浪系土器は浅鉢（34-240・50-450・115-1261）が出土しているが、いずれも小片である。このほか原三国系の把手付土器や陶質土器の胴部破片が出土している（115-1262 ～ 1271）。

京都大学総合博物館には、福岡県元岡出土とされる斜格子の叩き目のある弥生後期後半から終末の器台が所蔵されている（148）。この資料は、1950 年に糸島高校から寄贈されたもので、武末純一氏は、弥生土器の製作に三韓土器の斜格子叩き目を採用した“文化受容の失敗事例”として紹介した（武末 1991）。その後も斜格子の叩き目のある弥生土器は糸島域で全く確認されていないことから、筆者も京大資料は、試作品にとどまった例外的な事例と考えていた。ところが元岡・桑原 42 次の調査で斜格子の叩き目のある弥生土器がまとまって出土したという情報が寄せられた。出土地はⅠ区とよぶ調査区の東側に集中しており、器種は器台だけでなく支脚や壺、甕など様々な器種がコンテナ 10 箱近くあることがわかり、一方Ⅱ区では斜格子の叩き目のある土器（113-1227 ～ 1238）は少ないことから、朝鮮半島の叩き技法を採用したともいえる土器の分布の中心が 42 次調査区の東側であることがわかってきた。さらに近年の調査で板付遺跡において斜格子の叩き目のある器台（148）の出土が確認された（宮本 2011）。糸島北部と福岡平野における地域間の流通を考えるうえで、興味深い事例である。

土器の肩部に鈎状文をレリーフした土器（92-957・92-959・100-1051）が３点出土した。糸島地域において鈎状文をもつ土器は、御床松原遺跡や上鑵子遺跡、千里などで出土している（147・常松 1997）。

ミニュチュア土器には有蓋の無頸壷（100-1054）や有脚の有蓋壷（94-1184）、甕形土器（94-990）などは丁寧な調整が施されている。双孔をもつ鉢（1185）は、釣瓶をイメージしてつくられた可能性がある。

２土製品

動物形土製品（121-92）は、西側河川が埋没する段階で貫流した粗砂層の下層で、土層ベルトを除去する際に出土した。ブタを象ったともいわれるが弥生時代の動物形土製品としては珍しい。

土器群 112 で出土した鐸形土製品（62-598）は正面に２穴を有し舞に１孔を有するタイプである。

Ⅰ区では小銅鐸２点が出土していることから､水際の祭祀の道具立てとしての鐸の役割を彷彿させる。

杓子形土製品も多量に出土した。このなかで把手の先がハンマーヘッド状になったタイプ（120-78）は精巧な仕上がりである。Ⅱ区の木製品には同タイプの杓子があり、関連が注目される。

２．石製品

石製品で最も目立つのは石錘である。大小の扁平な自然石の両端を打ち欠いたものから、軟質な滑石や泥岩に縦横の溝や穿孔を施したものなどさまざまである。石錘など生業にかかる製品がどのような経緯で使用されなくなったかは不明だが、上流域の第 52 次調査区では大型の石錘が一定間隔で並んで出土したものもあり漁網を括りつけた状態のものもあったようである。

石斧では今山の玄武岩製の太形蛤刃石斧が出土した。何れも刃部を欠くことから折損によって廃棄されたものであろう。

石庖丁は頁岩質の砂岩のほか輝緑凝灰岩製の石材が多く含まれている。輝緑凝灰岩製の石材は若宮市笠置山麓に産地がもとめられている（福島 2010)。粗割の状態（132-84 ～ 88）や木葉形（122- 4 ）で丁寧な研磨が行われたものもみられる。型式は外湾刃半月形が多くを占めるが杏仁形や直線刃半月形のものもみられる。穿孔については、外径と内径の差があるものから外径が小さくなって内径に近くなる金属穿孔とよばれるタイプがある。

武器形の石製品としては石剣の先端部（123-16・132-91・16・91）と石戈（123-17）がある。このほか黄灰色の石材を多面的に研磨した石器（123-19 ～ 22）などがある。

紡錘車も多く出土しているが、この中には石製で穿孔途中のものや、土器片に穿孔したものなど多様である。

**まとめ**

今回紹介した楽浪系の土器や無文土器、出雲など中国地方の土器の出土は、紀元前後から約３世紀の間、この地が国内外の交易の拠点として機能していたことを傍証する資料である。大小の石錘やイルカや鯨の骨に加え、イノシシやシカの骨がまとまって出土している。南は今津湾の奥部に面し、北の丘陵部に杜をいだく立地から「豊穣を祈念する祭祀の場」としての性格も兼ね備えていたといえよう。こうした遺物の集中は、この地が祭祀遂行の場であると同時に対外交流や生業の拠点としても機能していたことを示唆するものである。

包含層出土の土器の項で示したように流路から出土した土器のなかには絵画や特殊な文様をもつ資料が含まれていた。シカの線刻画のある支脚（107-1141）は破片なのが残念だが、シカを側面からみた頸から胴部をＬ字型で表現は見事である。高床建物の線刻画のある支脚（107-1142）も珍しい。このほか弥生後期の短頸壷（107-1079）に伏竜と昇竜を画題とした線刻がある。高床建物は、前回報告した琴板の絵画にもみられるもので膨大な出土遺物だったとはいえ弥生時代の精神世界の研究において絵画資料を追認できた意義は大きい。

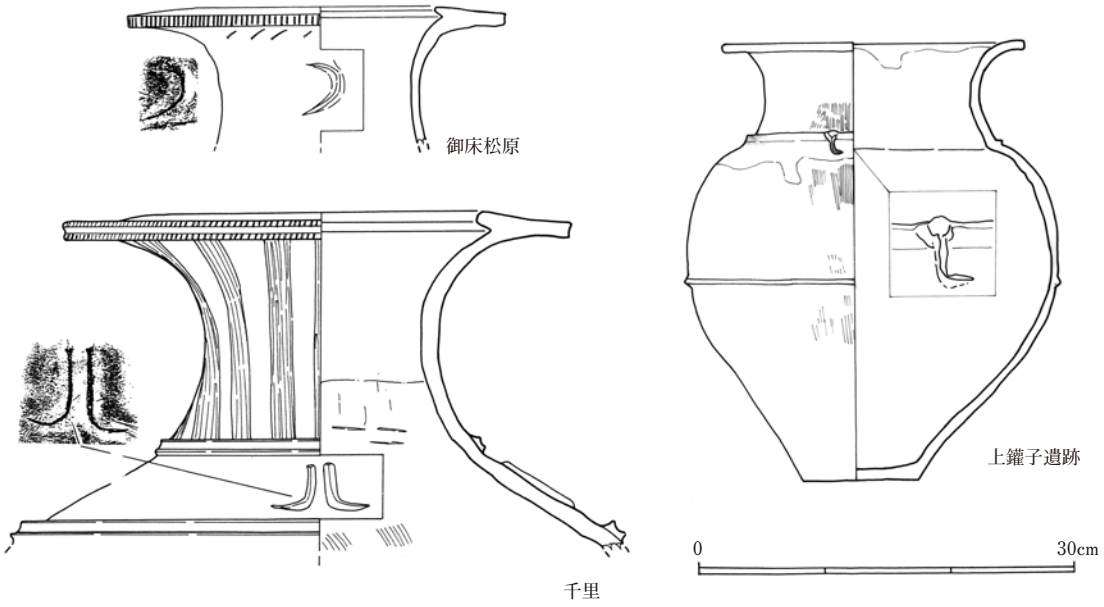
今後は上流域の 52 次調査区の事実報告とともに動物遺体についても分析結果を明らかにしたい。

【参考文献】

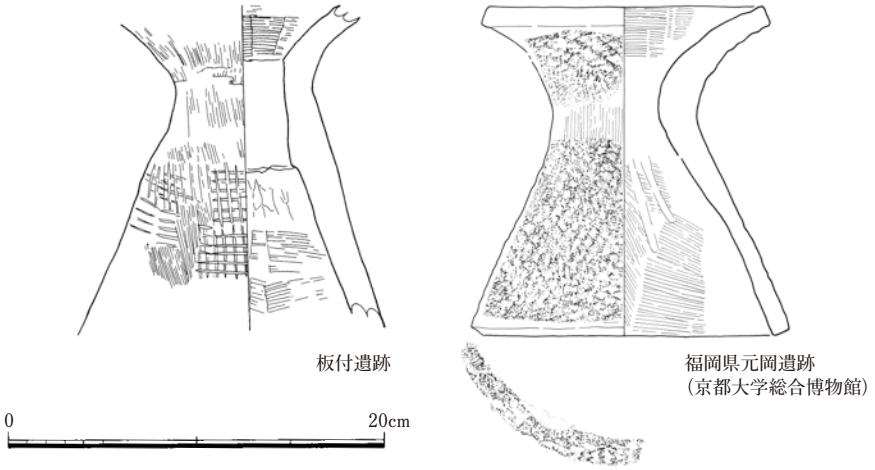
武末純一 1991「福岡市元岡遺跡の器台」『交流の考古学』肥後考古学会

常松幹雄 1997「弥生時代の甕棺に描かれた絵画と記号」『福岡市博物館研究紀要』第７号、福岡市博物館

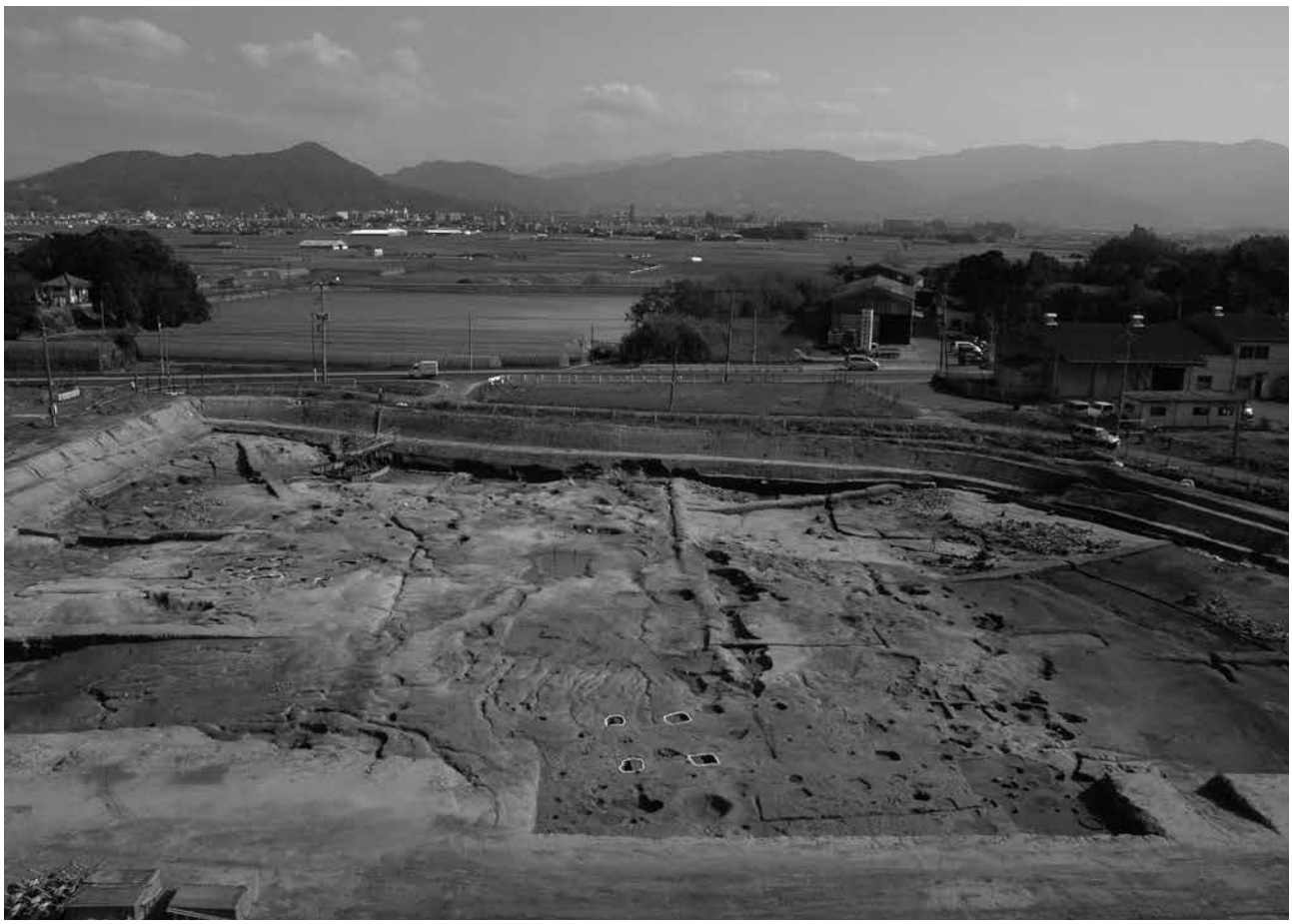
常松幹雄 2009「弥生時代の木製祭祀具　―福岡県　元岡・桑原遺跡群の調査から―」『考古学ジャーナル』No.591、ニューサイエンス社
常松幹雄 2013「弥生土器の東漸」『弥生時代政治社会構造論』雄山閣
福岡市教育委員会 1997「小葎遺跡」『福岡市埋蔵文化財調査報告書』第 541 集
福島日出海 2010「福岡県若宮市笠置山麓における磨製石器の石材産出地について」『古文化談叢』第 65 集（２）九州古文化研究会
宮本一夫 2011「板付遺跡―1951 ～ 1954 年発掘調査資料」『新修福岡市史資料編』考古３、福岡市史編集委員会



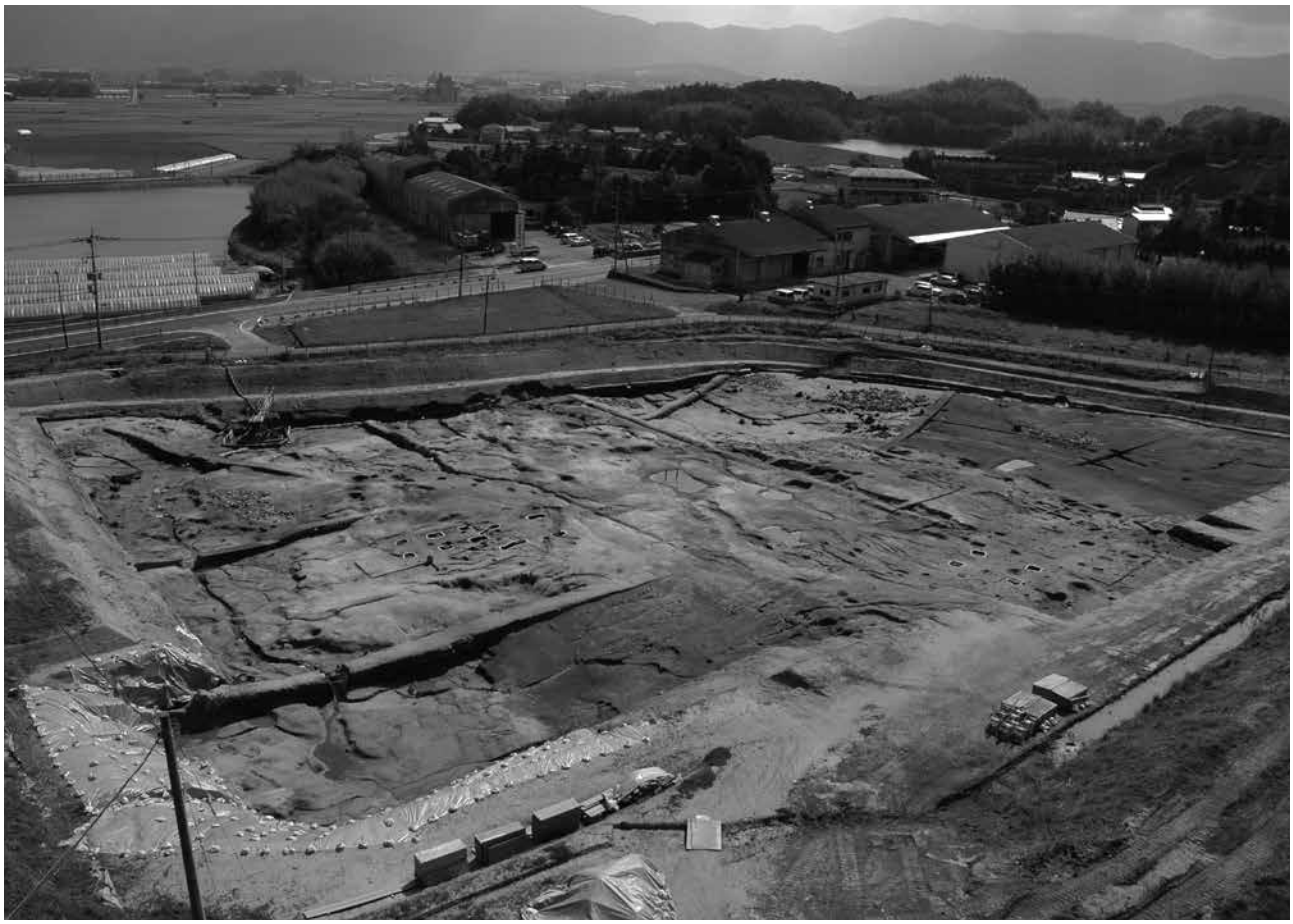

**第 147 図**　糸島における鈎状文のある土器（1/ 6）




**第 148 図**　格子タタキのある器台（1/ 4）



1　第 42 次調査区全景（北より）



2　第 42 次調査区全景（北東より）

## 図版２

3　第 42 次調査区 SD02（南より）

4　第 42 次調査区 SD02 全景（南より）

5　第 42 次調査区　126 号住居跡（SC126）上面（西より）

6　第 42 次調査区　126 号住居跡（SC126）下面（西より）

## 図版４

7　第 42 次調査区　126 号住居跡（SC126）下面（北より）

8　第 42 次調査区　126 号住居跡（SC126）南側土坑（北より）

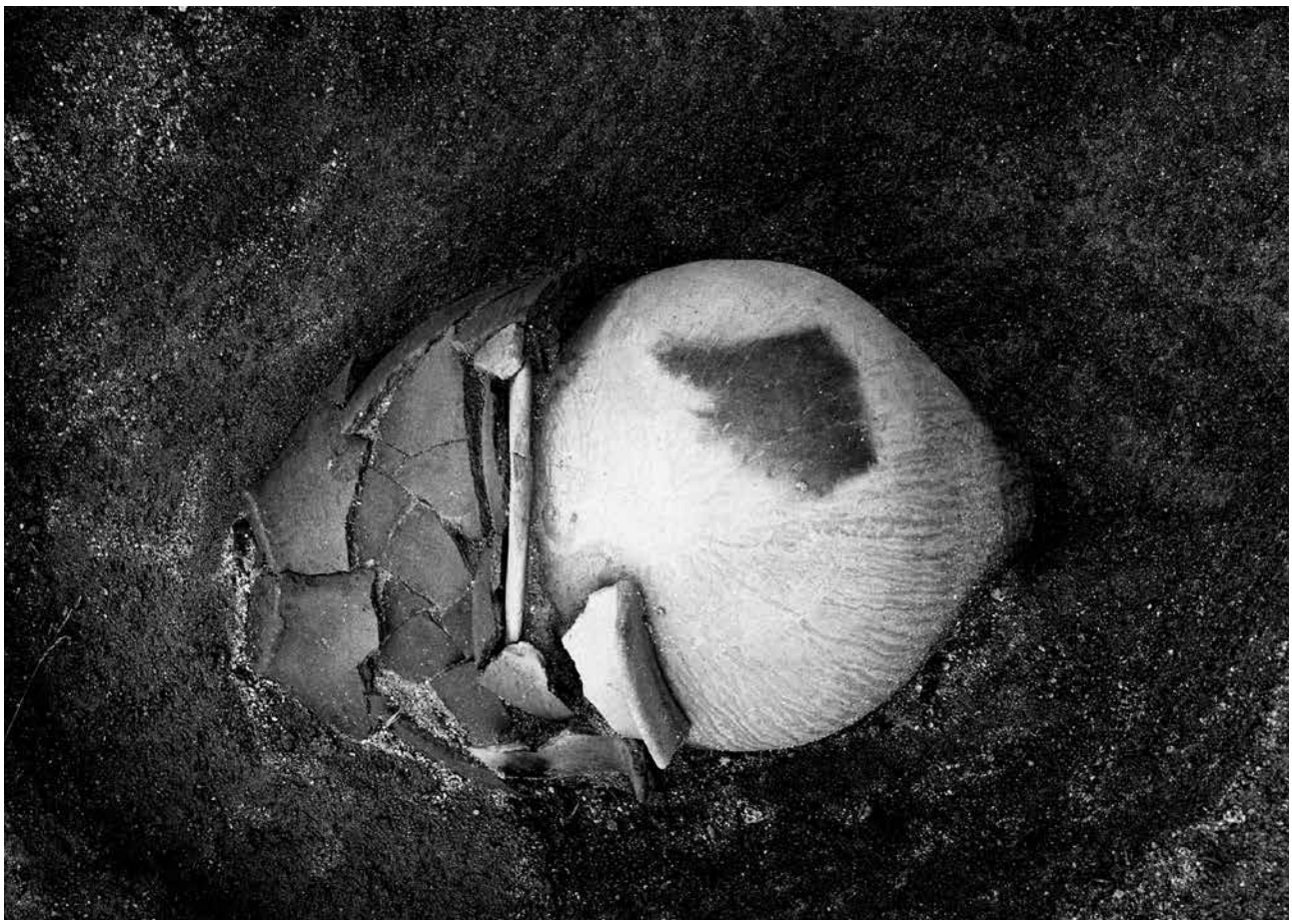
9　土器群 103　土器出土状況（南より）

10　土器群 103　土器（24-162）出土状況

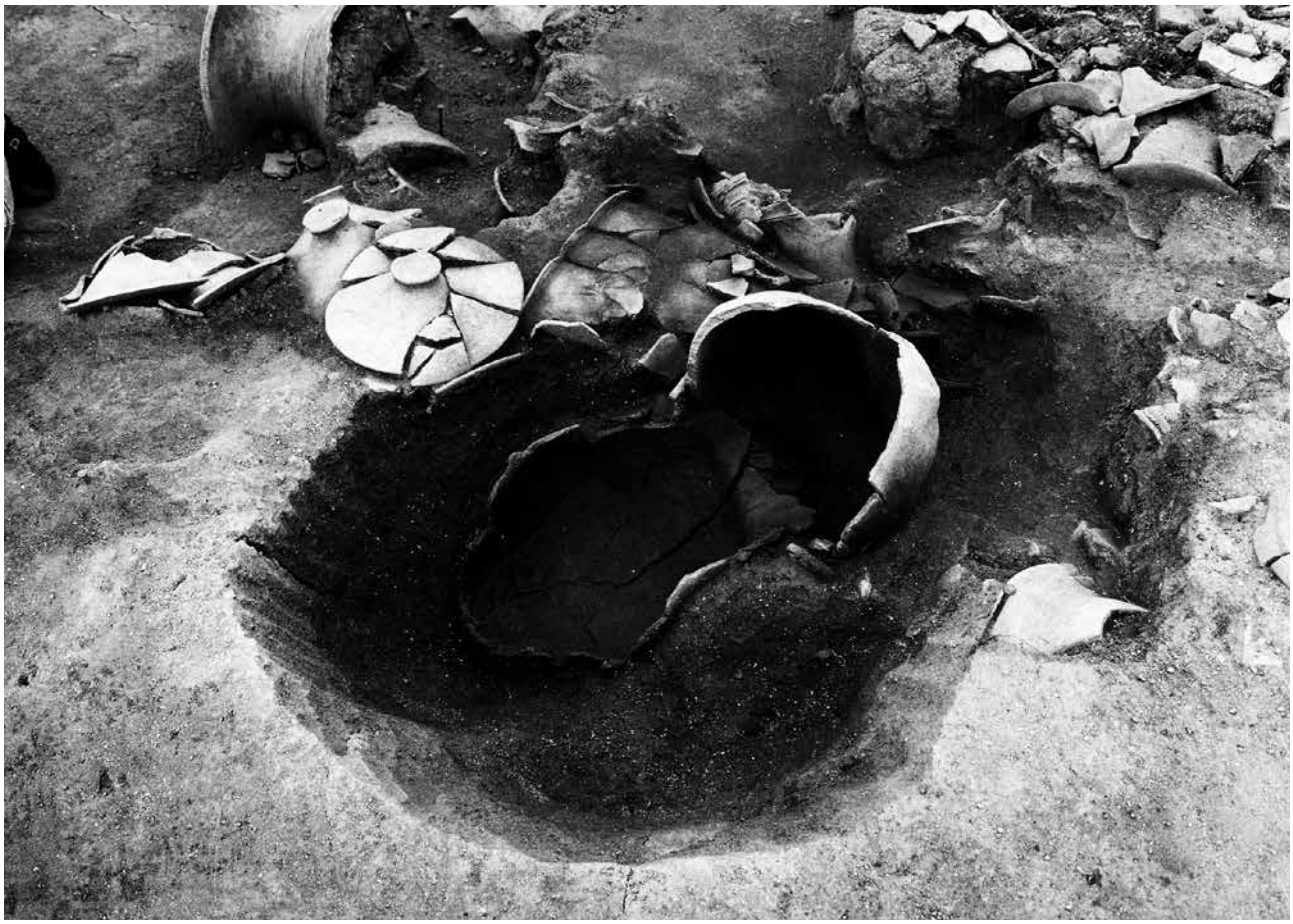
## 図版６

11　土器群 103　土器出土状況

12　土器群 103（Y- 3）　壷形土器（18-77）出土状況



13　土器群 103　出土甕棺墓検出状況　K-01（北より）



14　土器群 103　出土甕棺墓検出状況　K-02（南より）

## 図版８

15　第 42 次調査区 SD02（東より）

16　第 42 次調査区 SD02 下流（南より）

17　土器群 104　土器出土状況（東より）

18　土器群 104　山陰系土器（31-208）出土状況（南より）

図版 10

19　土器群 106 全景（西より）

20　土器群 106　塩町式土器（38-268）出土状況（南より）

21　土器群 106 南　イノシシ下顎出土状況全景（東より）

22　土器群 106 南　イノシシ下顎骨出土状況（東より）

23　土器群 113（Z-2）シカ角出土状況（北より）

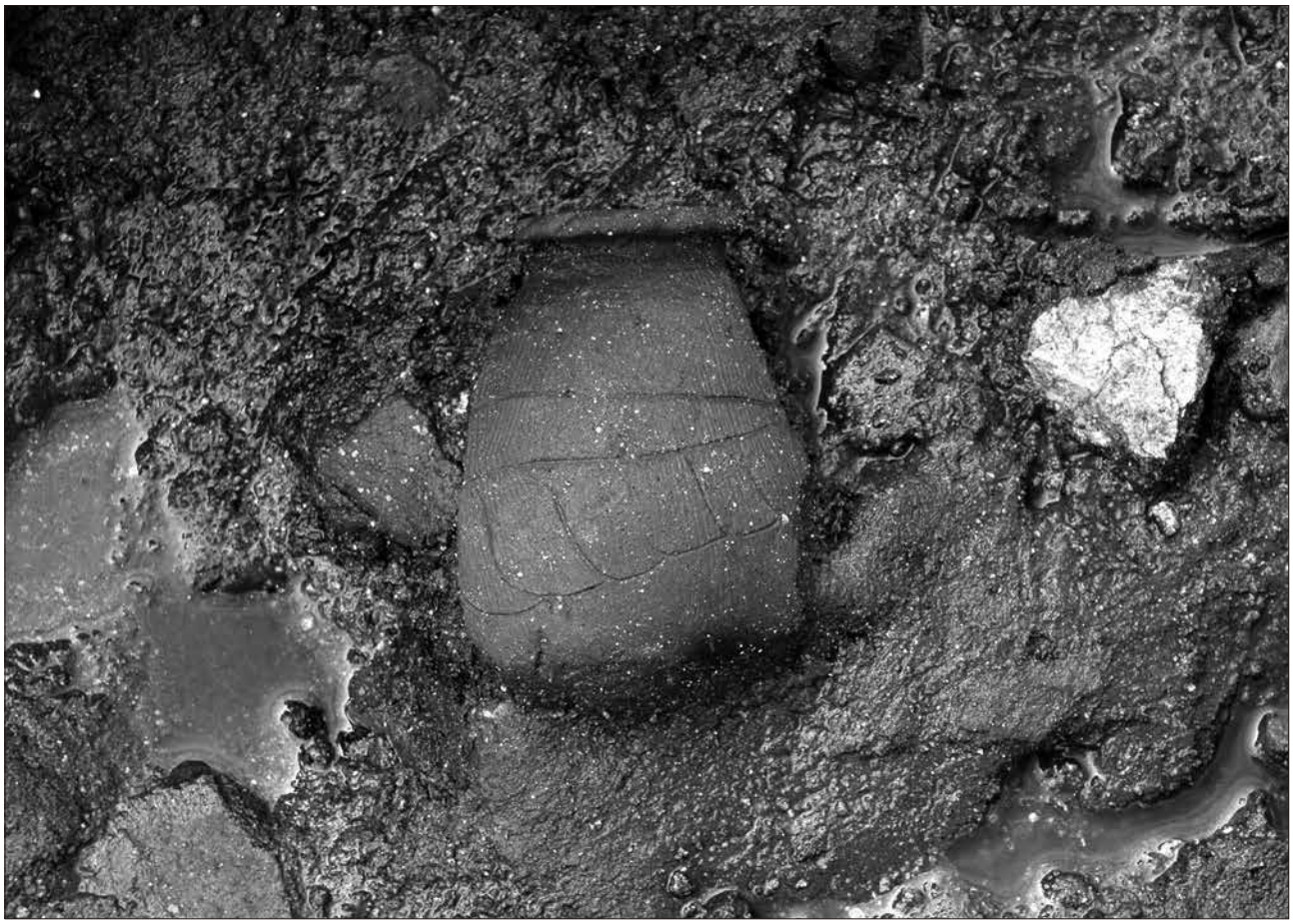
24　土器群 112　土器出土状況（南より）

25　土器群 112 下層　土器出土状況（南東より）

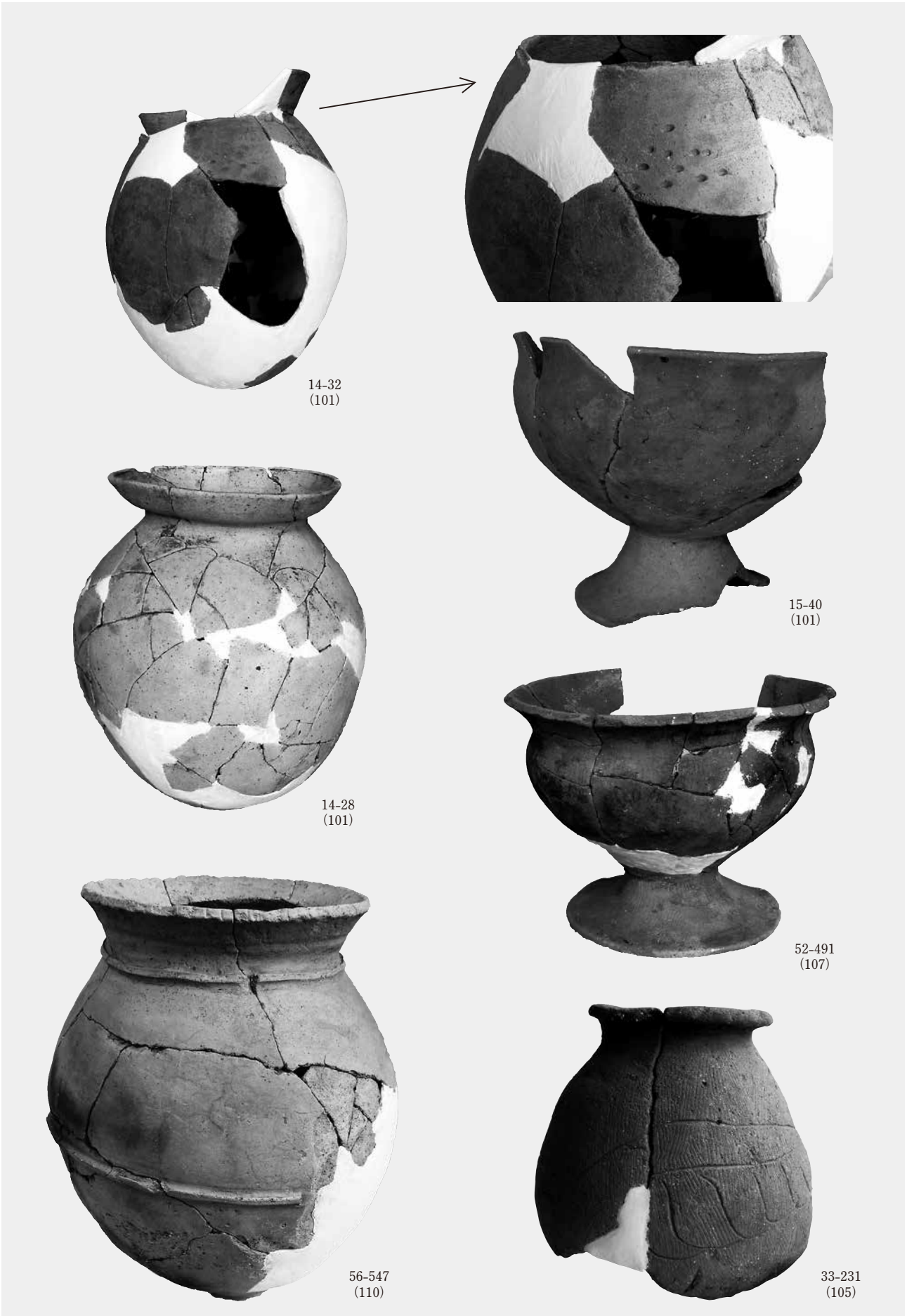
26　第 42 次調査区 SD02 北西　土器出土状況（南東より）

**図版 14**

27　土器群 112（W-5）石錘（130-72）出土状況

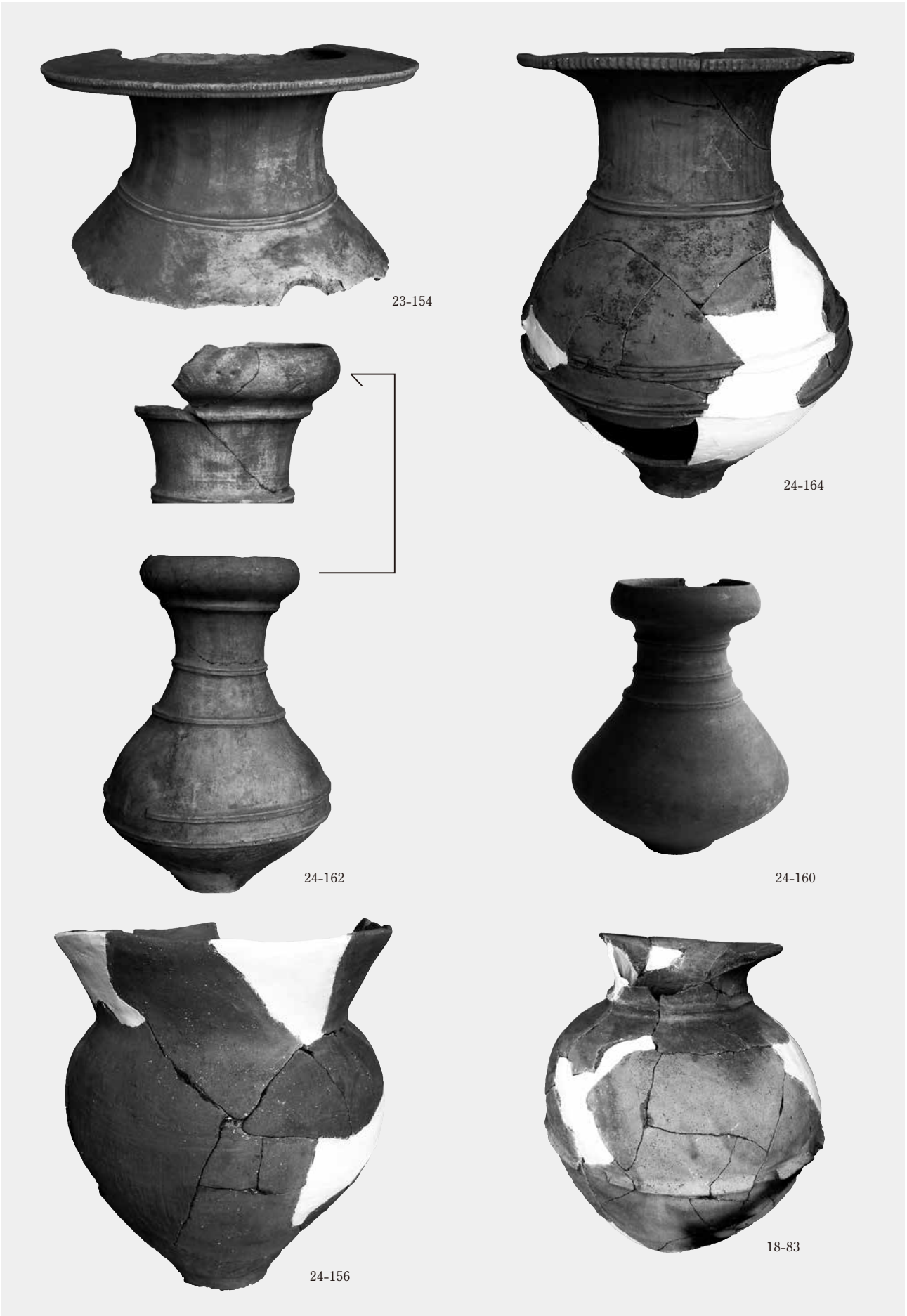


28　土器群 105　線刻土器（33-231）出土状況（東より）




第 42 次調査区土器群 101・105・107・110 出土土器

図版 16




第 42 次調査区土器群 103 出土土器（1）

20-117

20-116

20-115

20-118

18-77

18-75

第 42 次調査区土器群 103 出土土器（2）

## 図版 18

K-02

27-176

K-01

27-174

27-177

27-175

第 42 次調査区土器群 103 内検出の K-01・02 号甕棺

29-194

28-187

28-189

31-208

31-207

第 42 次調査区土器群 104 出土土器

36-254

36-253

36-258

35-245

36-255

36-256

第 42 次調査区土器群 106 出土土器（1）

37-262

37-263

37-267

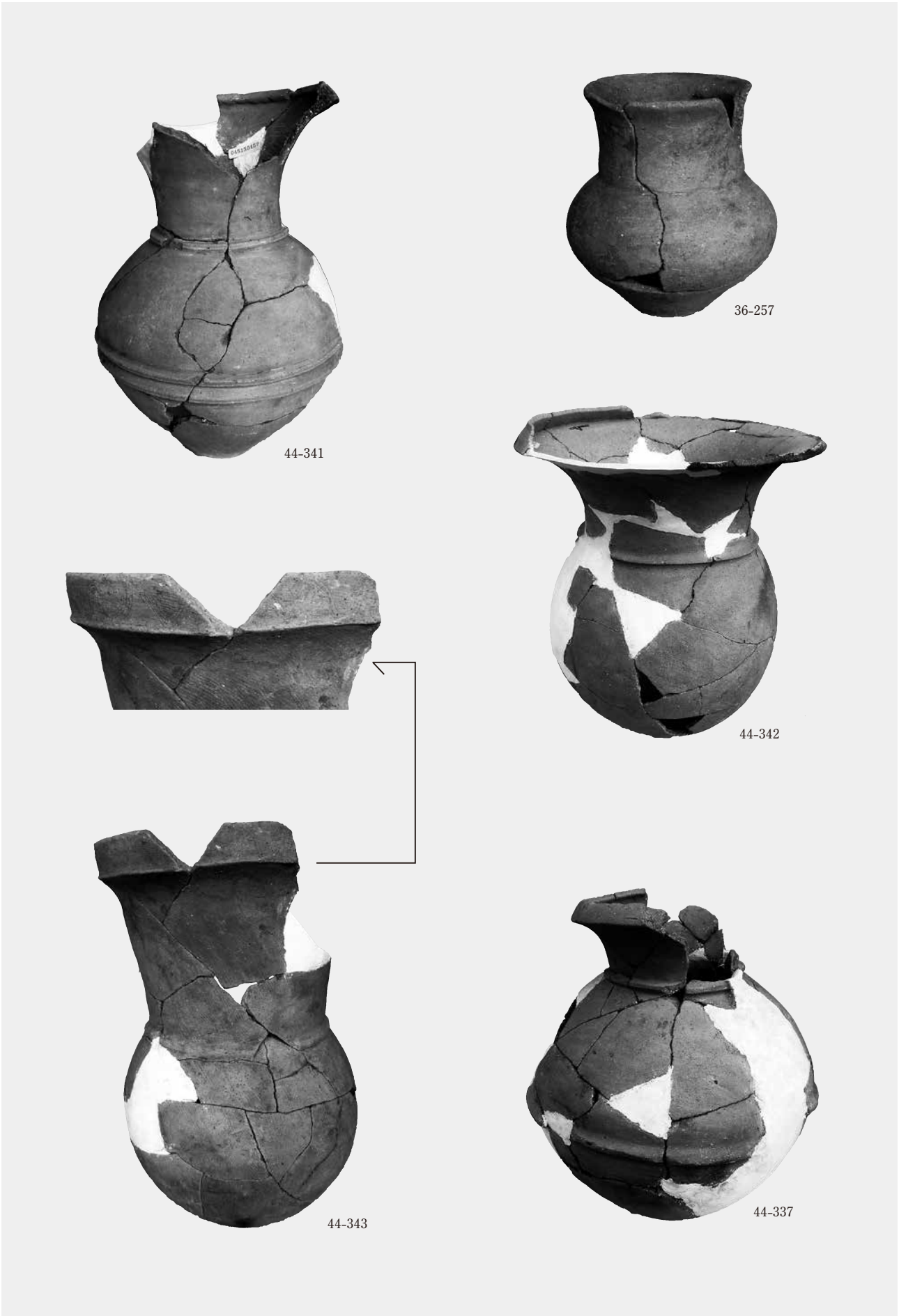
37-265

35-252

24-163

第 42 次調査区土器群 106 出土土器（2）

**図版 22**




第 42 次調査区土器群 106 出土土器（3）

39-285

39-288

39-287

41-302

40-295

40-294

第 42 次調査区土器群 106 出土土器（4）

**図版 24**

第 42 次調査区土器群 106 出土土器（5）

64-616

60-578

61-589

61-592

61-591

65-626

第 42 次調査区土器群 112 出土土器（1）

65-629

64-618

64-619

65-630

67-639

67-640

第 42 次調査区土器群 112 出土土器（2）

66-637

67-644

66-636

66-635

66-633

63-605

第 42 次調査区土器群 112 出土土器（3）

63-607

63-614

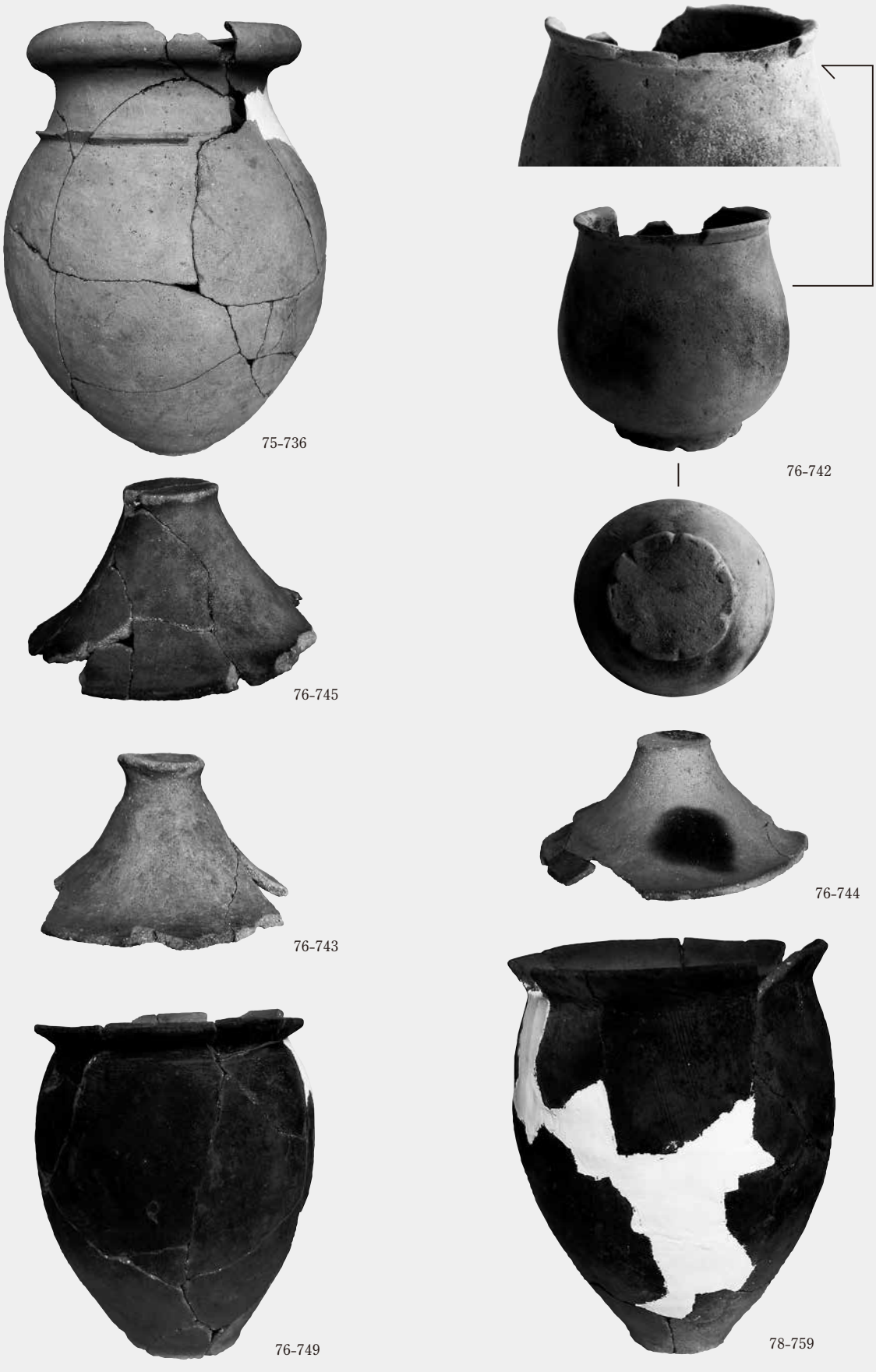
73-712

89-913
(120)

89-912
(120)

90-917
(120)

第 42 次調査区土器群 112・120 出土土器（4）




第 42 次調査区土器群 113 出土土器（1）

**図版 30**

77-758

80-771

78-762

79-766

78-764

79-767

第 42 次調査区土器群 113 出土土器（2）

76-751

78-760

79-768

76-753

76-752

78-761

第 42 次調査区土器群 113 出土土器（3）

図版 32

77-756

79-770

78-763

79-769

75-738

第 42 次調査区土器群 113 出土土器（4）

93-979

93-980

94-995

93-970

92-959

94-990

第 42 次調査区土器群 123 出土土器

**図版 34**

99-1044
(134)

99-1045
(134)

104-1100
(136)

105-1112
(136)

101-1070
(135)

102-1079
(136)

100-1051
(135)

第 42 次調査区土器群 134・135・136 出土土器

106-1135
(164)

106-1136
(164)

106-1137
(164)

106-1139
(164)

51-479
(107)

第 42 次調査区土器群 107・164 出土土器

**図版 36**

108-1146

108-1147

108-1148

111-1185

108-1145

111-1186

108-1144

113-1238

112-1206

第 42 次調査区包含層出土土器（1）

114-1255

111-1184

111-1184

112-1204

114-1256

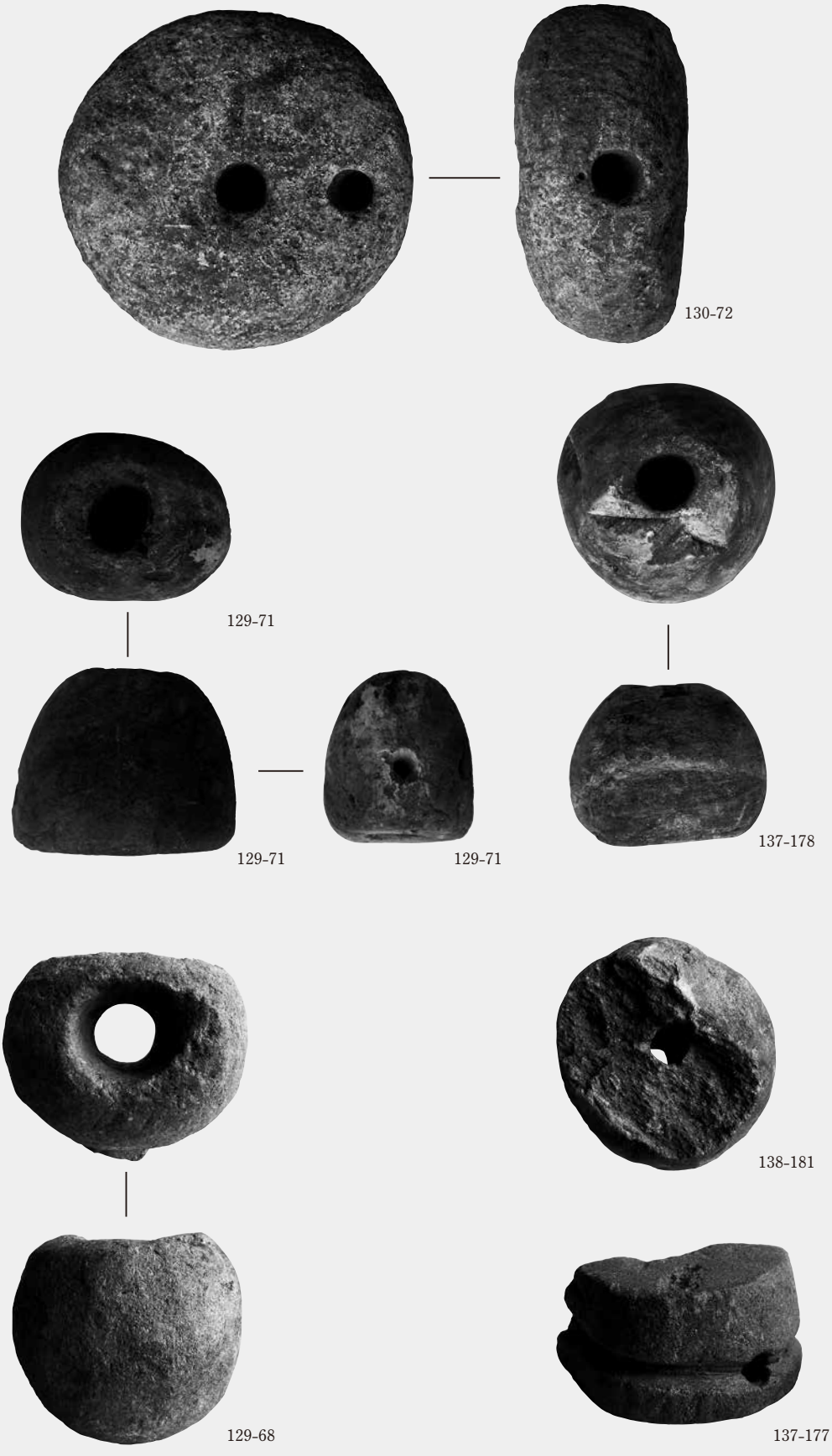
107-1142

111-1196

第 42 次調査区包含層出土土器（2）

図版 38

第 42 次調査区遺構・包含層出土土製品




第 42 次調査区出土石錘（1）

129-69

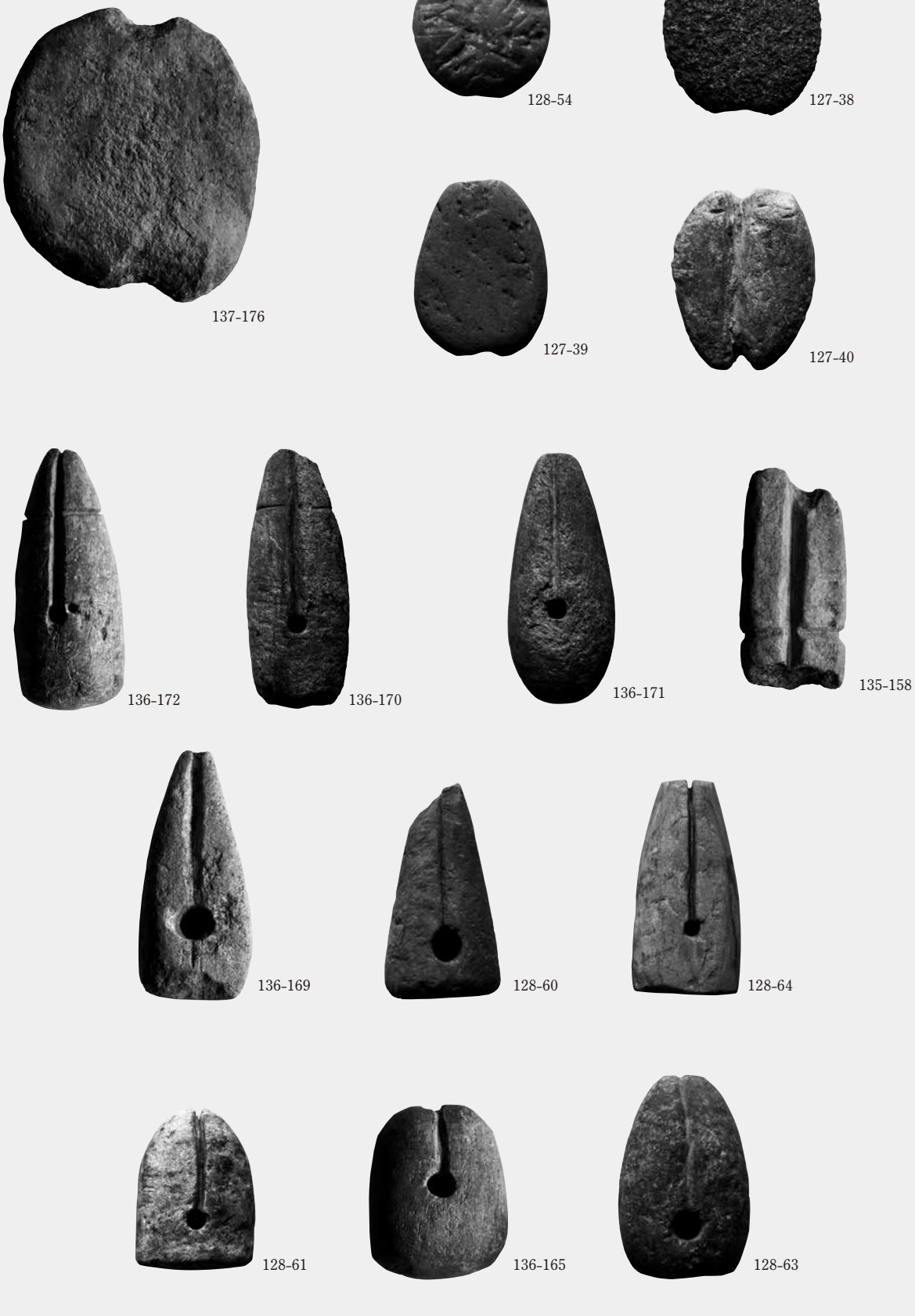
138-182

138-180

138-179

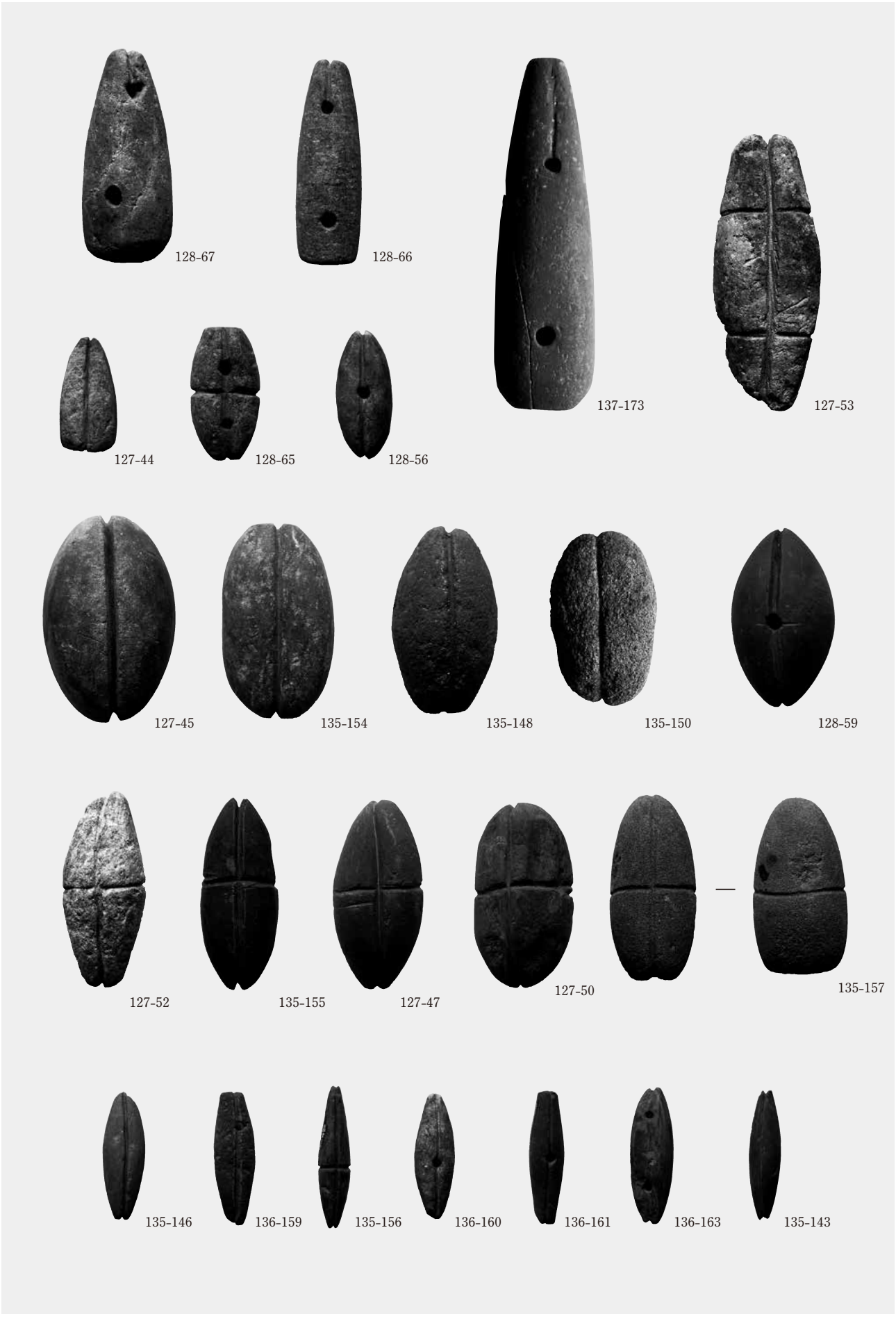
130-73

第 42 次調査区出土石錘（2）

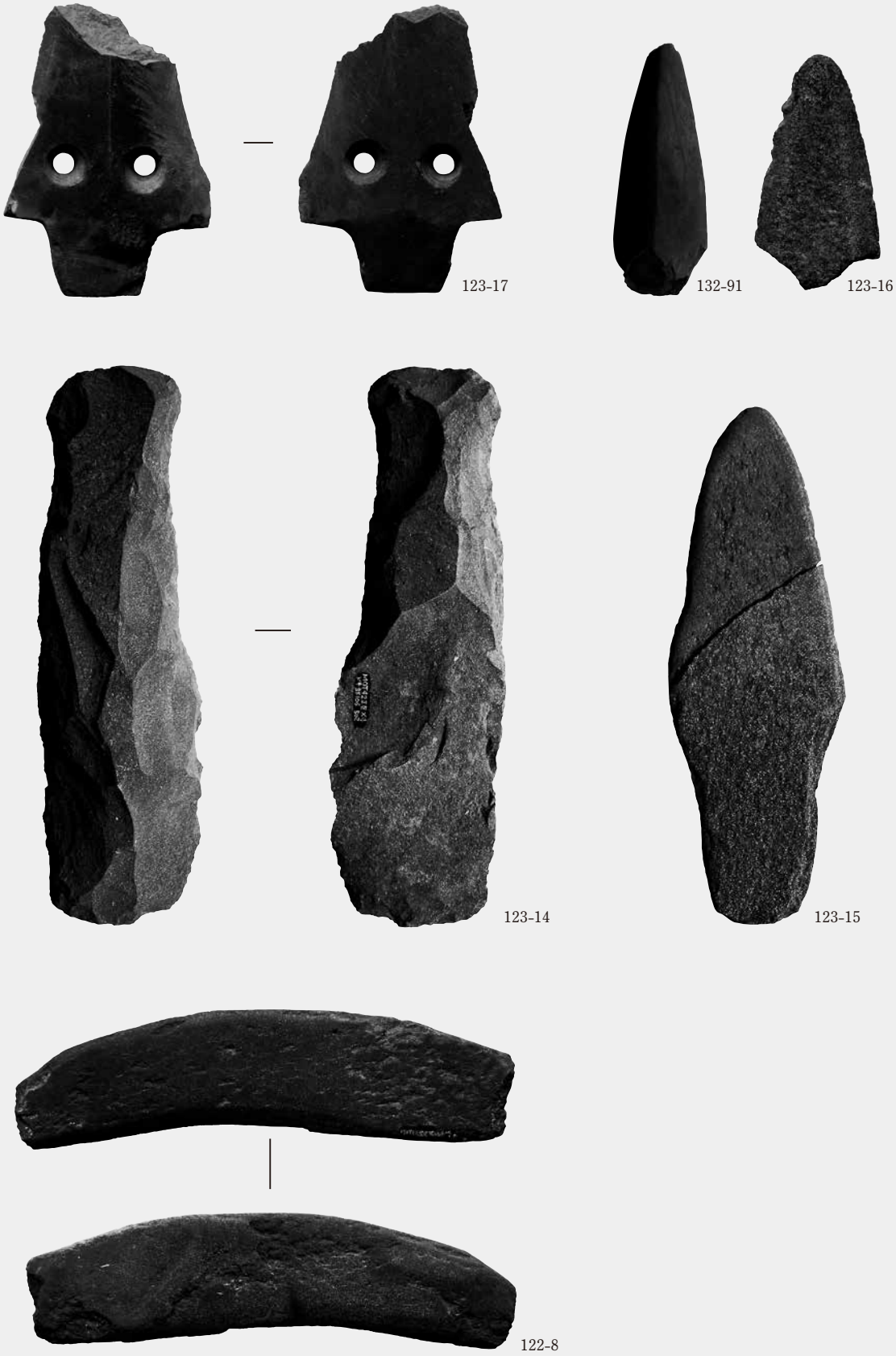



第 42 次調査区出土石錘（3）

図版 42

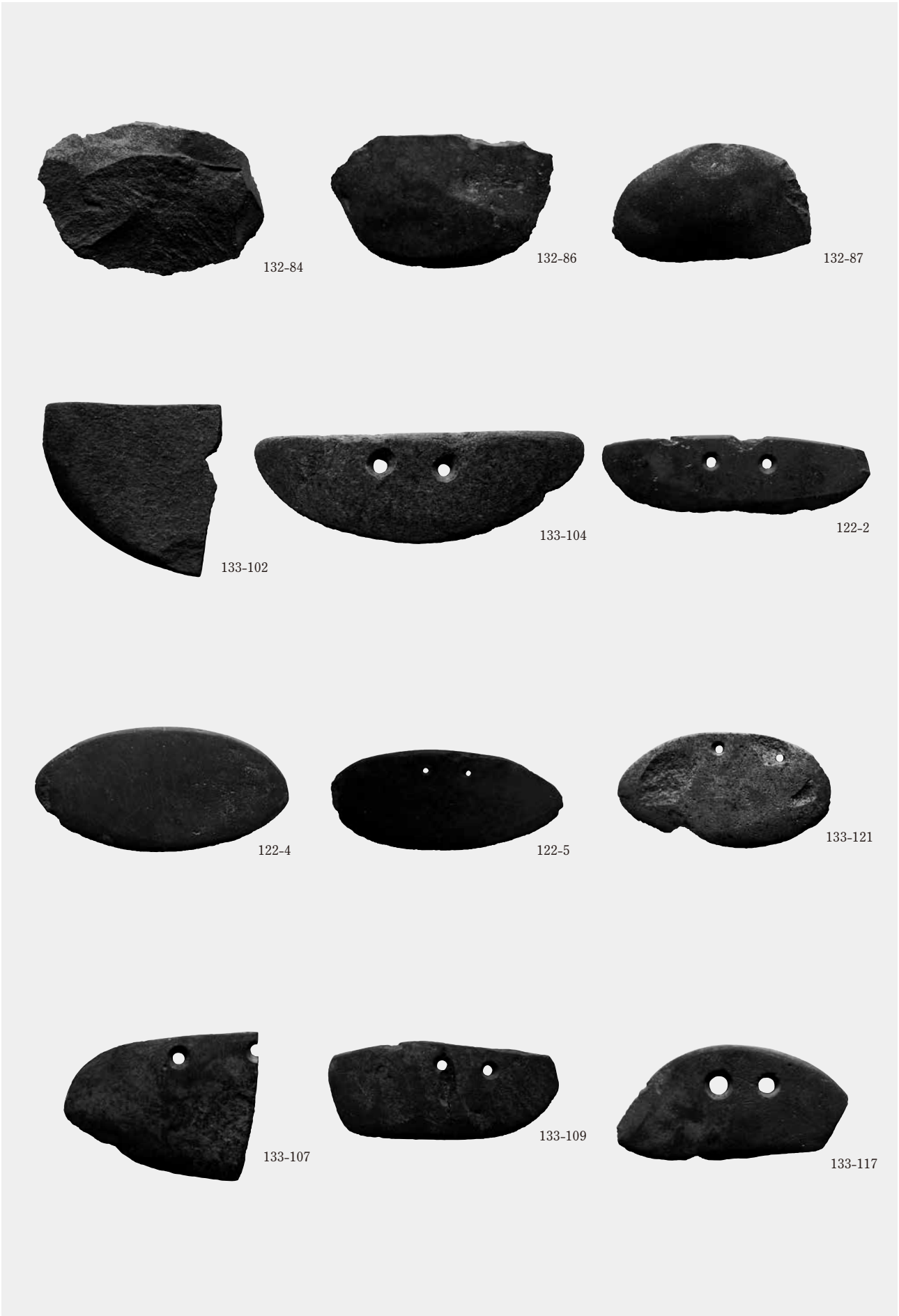



第 42 次調査区出土石錘（4）

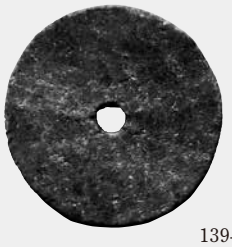



第 42 次調査区出土石器（1）

**図版 44**




第 42 次調査区出土石器（2）


139-203

139-204

139-205

131-80

139-199

139-198

139-206

140-220

140-232

140-230

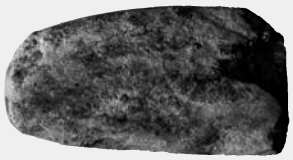
131-81

140-231

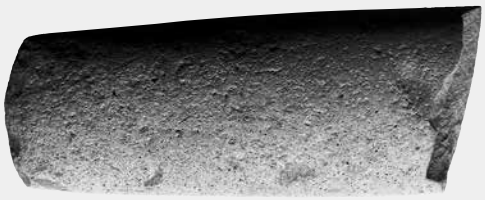
140-229

第 42 次調査区出土石器（3）

## 図版 46



122-10



132-100

122-13

122-12

132-99

123-19

123-20

123-24

第 42 次調査区出土石器（4）

# 報　告　書　抄　録

| | |
|---|---|
| ふりがな | もとおか・くわばらいせきぐん 25 |
| 書名 | 元岡・桑原遺跡群 25 |
| 副書名 | ―第 42 次調査報告（4）― |
| シリーズ名 | 福岡市埋蔵文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第 1276 集 |
| 編著者名 | 常松幹雄（編） |
| 編集機関 | 福岡市教育委員会 |
| 所在地 | 〒 810-8620　福岡県福岡市中央区天神 1 丁目 8 番 1 |
| 発行年月日 | 2015 年 3 月 25 日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯 | 東経 | 発掘期間 | 発掘面積 | 発掘原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| もとおか・くわばらいせきぐん<br>元岡・桑原遺跡群<br>だいよんじゅうにじ<br>第 42 次 | ふくおかけんふくおかし<br>福岡県福岡市<br>にしくおおあざもとおか<br>西区大字元岡 | 40137 | 2782 | 33-35-6 | 130-12-4 | 2004.10.1<br>～<br>2009.6.30 | 4,800㎡ | 記録保存<br>調査 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 桑原遺跡群<br>第 42 次 | 集落 | 縄文時代～<br>古墳時代 | 自然流路 竪穴住居 | 縄文土器、弥生土器・土師器・楽浪系土器、土製品、石錘、紡錘車、石斧、石包丁、石鏃、武器形石製品 | 絵画のある土器、朝鮮系無文土器や山陰・瀬戸内などの外来系土器が出土。総数 1 万箱。 |

| | |
|---|---|
| 要　約 | 谷を南北に流れる２本の自然流路 ( 幅 30 m前後）の中からコンテナ１万箱をこえる遺物が出土した。時代は縄文時代晩期・弥生時代中期から古墳時代前期に及んでいる。土器の集積を構成する在来系土器には絵画土器なども含まれている。外来系の土器では無文土器や楽浪系土器などの朝鮮半島系の土器が出土した。小銅鐸２点、五銖銭・貨泉などの漢代の貨幣、小形仿製鏡、青銅製鞘尻金具、辰砂の粒子、銅鏃 などの金属器類 が出土しており 1246 集で報告した。絵画のある琴、トリ形木製品、翳とみられる有文木製品、木偶など祭祀系遺物、船材を始めとする多種多様な木製品など、特徴的な遺物が出土した。ＳＤ０１・０２、これら２本の流路の間には、竪穴住居や掘立柱建物群があり、弥生時代中期中頃から古墳時代初頭における糸島地方の祭祀・交易の拠点として機能したと考えられる。 |

元岡・桑原遺跡群 25

―第42次調査報告（４）―

福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1276集

平成27年3月25日

発　行　福岡市教育委員会
福岡県福岡市中央区天神１丁目８番１号

印　刷　久野印刷株式会社
福岡市博多区奈良屋町３－１